

池田市

子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

池田市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	5
8. 研究者一覧	5
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い.....	5
II 調査結果	7
1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕	7
2. 単純集計結果〔保護者〕	78
3. クロス集計および分析結果	161
3－1. 基本情報	161
(1) 経済状況	161
(2) 家庭状況（制度等）	179
3－2. 雇用	223
3－3. 健康	231
3－4. 家庭生活、学習	273
3－5. 対人関係	332
III 調査研究業務共同実施者公立大学法人大阪大阪公立大学による総合考察.....	399
1) 大阪府共同調査の意義	399
2) 単純集計	399
3) クロス集計	402
まとめ	404
IV 資料編	411

はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

I 調査概要

1. 調査の目的

池田市では、令和7年度を始期とする「(仮称)池田市こども計画」の策定に向けて、子どもの生活実態や学習環境などを把握するため大阪府と共同で調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

2. 調査方法

池田市内の調査対象の世帯に、各小・中学校を通じて調査票を配付し、回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

池田市内の公立小学校に在籍する小学5年生とその保護者：876世帯

池田市内の公立中学校に在籍する中学2年生とその保護者：841世帯

5. 調査実施日

池田市：令和5年7月5日～令和5年7月19日

大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
池 田 市	小学5年生	66.8	585	876
	小学5年生の保護者	65.0	569	876
	中学2年生	51.4	432	841
	中学2年生の保護者	47.8	402	841
	小学5年生・中学2年生合計	59.2	1,017	1,717
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	56.6	971	1,717
	計	57.9	1,988	3,434
大 阪 府 全 自 治 体	小学5年生	56.2	23,289	41,458
	小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学2年生	51.4	19,990	38,911
	中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている(子ども：91件、保護者：1,149件)

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91件、保護者：1,149件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学5年生・中学2年生合計」と「小学5年生保護者・中学2年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は、14,626件、回収率75.0%であった。

7. 調査実施主体

池田市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

教授 山野 則子（業務責任者）

特任講師 橋本 磨和

シニア研究員 永田 麻衣 佐伯 厘咲 李 孟

協力者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

准教授 嵯峨 嘉子

研究補助者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科

准教授 牛 冰

武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 助教 駒田 安紀

大阪商業大学 公共学部 公共学科 助教 林 萍萍

奈良佐保短期大学 地域こども学科 講師 河村 信子

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

研究員 黄 健育 渡邊 陽亮

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野 林 慎吾

松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、池田市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。池田市のデータについては既に「I 調査概要 2～8」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、池田市のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体について

データの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「池田市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 単純集計結果〔小学生・中学生〕

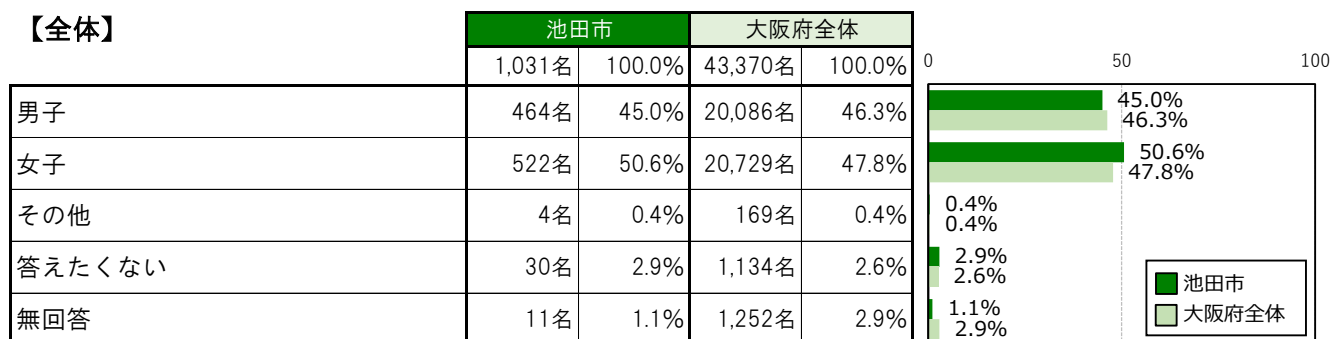
池田市

回答者の属性

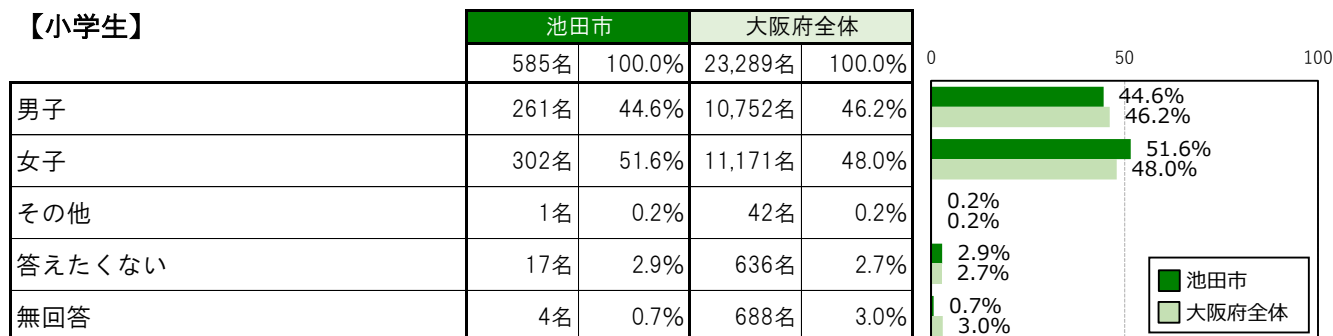
問27 性別

全体は、「女子」が50.6%で最も多く、次いで「男子」が45.0%となっている。
小学生は、「女子」が51.6%で最も多く、次いで「男子」が44.6%となっている。
中学生は、「女子」が49.1%で最も多く、次いで「男子」が45.6%となっている。

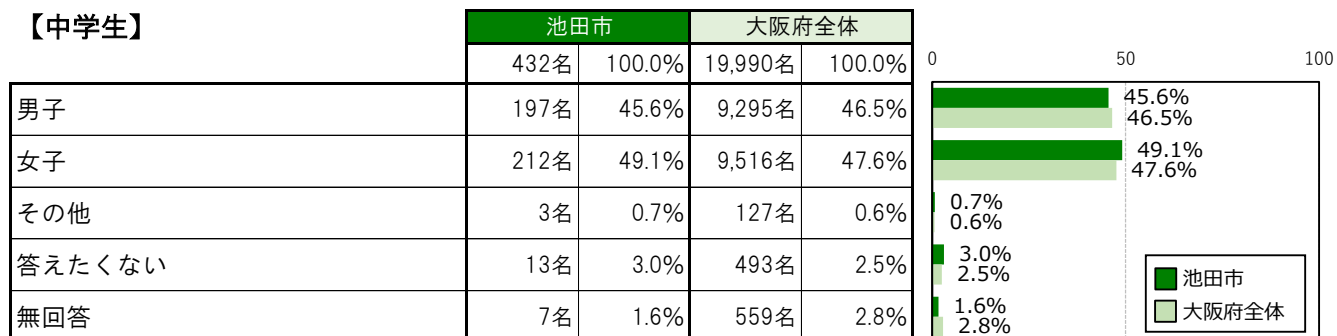
【全体】



【小学生】



【中学生】



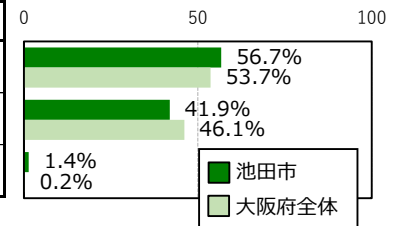
回答者の属性

問1 学年

回答者の学年は、「小学生」が585名・56.7%、「中学生」が432名・41.9%となっている。

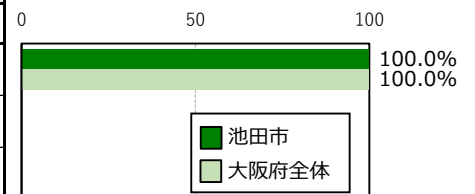
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
小学生	585名	56.7%	23,289名	53.7%
中学生	432名	41.9%	19,990名	46.1%
無回答	14名	1.4%	91名	0.2%



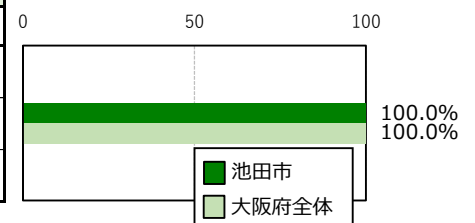
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
小学生	585名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
小学生	-	-	-	-
中学生	432名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	-	-	-	-



ふだんの生活のことについて

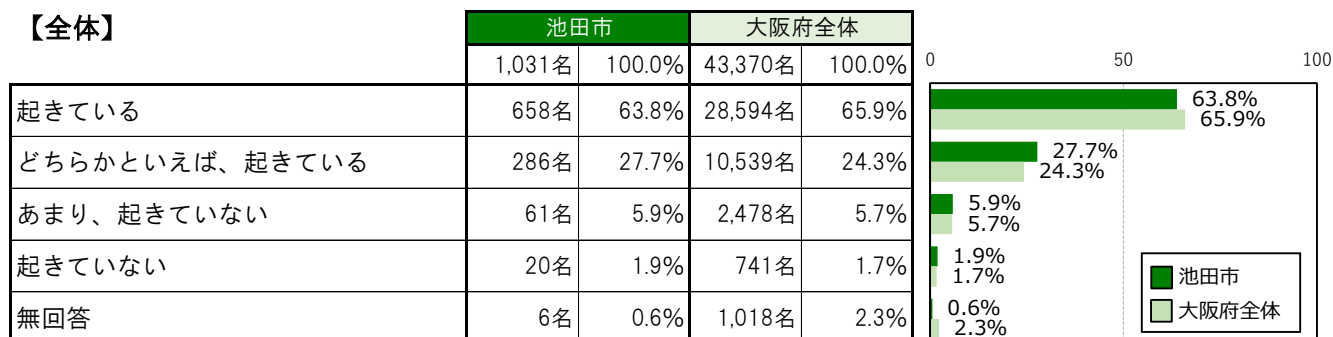
問2 起床時間の規則性

全体は、「起きている」が63.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が27.7%、「あまり、起きていない」が5.9%となっている。

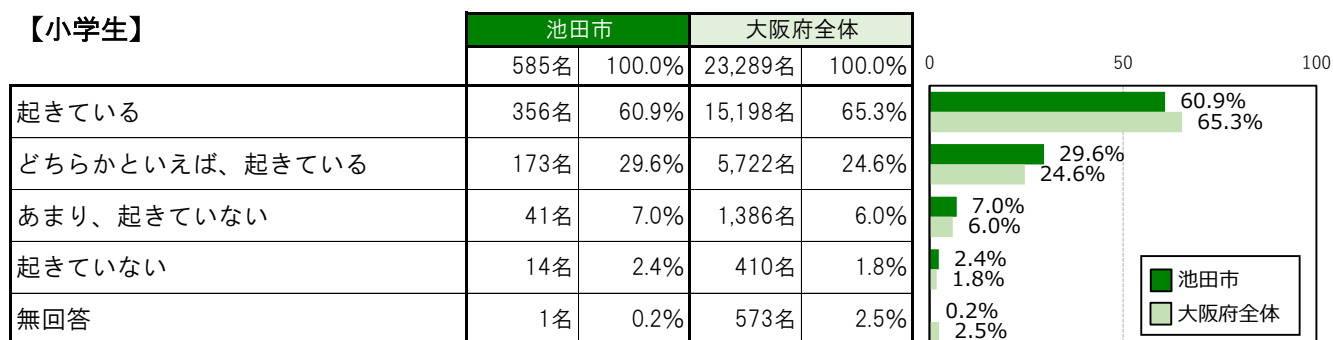
小学生は、「起きている」が60.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が29.6%、「あまり、起きていない」が7.0%となっている。

中学生は、「起きている」が68.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が25.2%、「あまり、起きていない」が4.6%となっている。

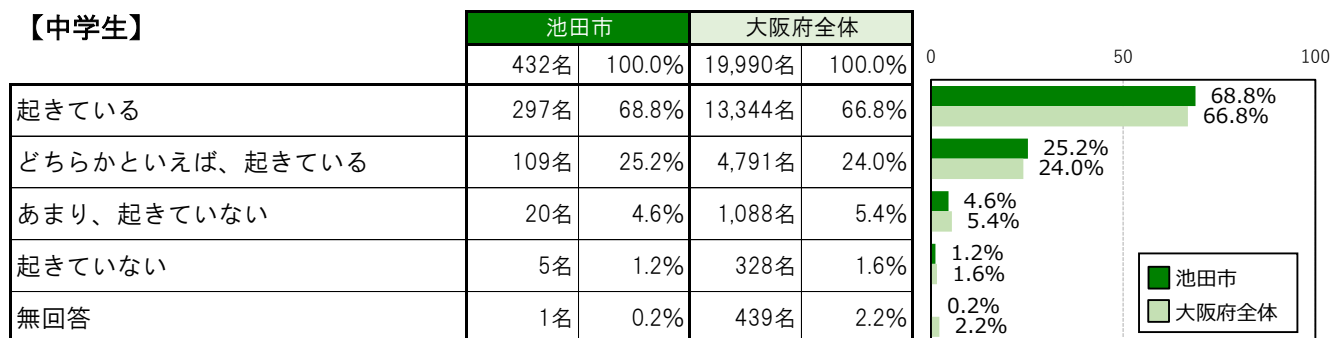
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

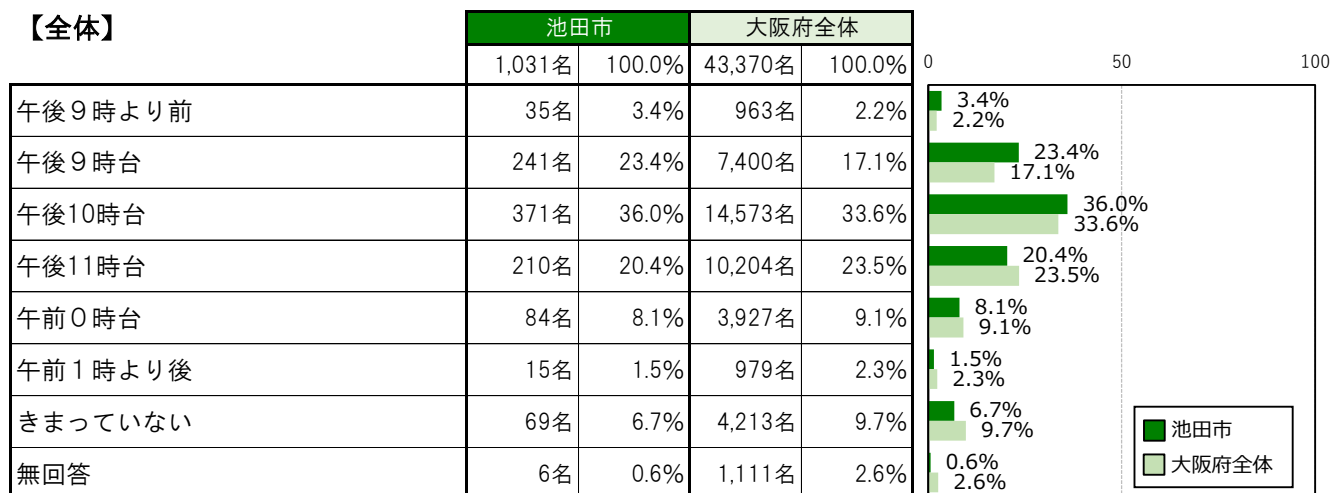
問3 就寝時間

全体は、「午後10時台」が36.0%で最も多く、次いで「午後9時台」が23.4%、「午後11時台」が20.4%、「午前0時台」が8.1%となっている。

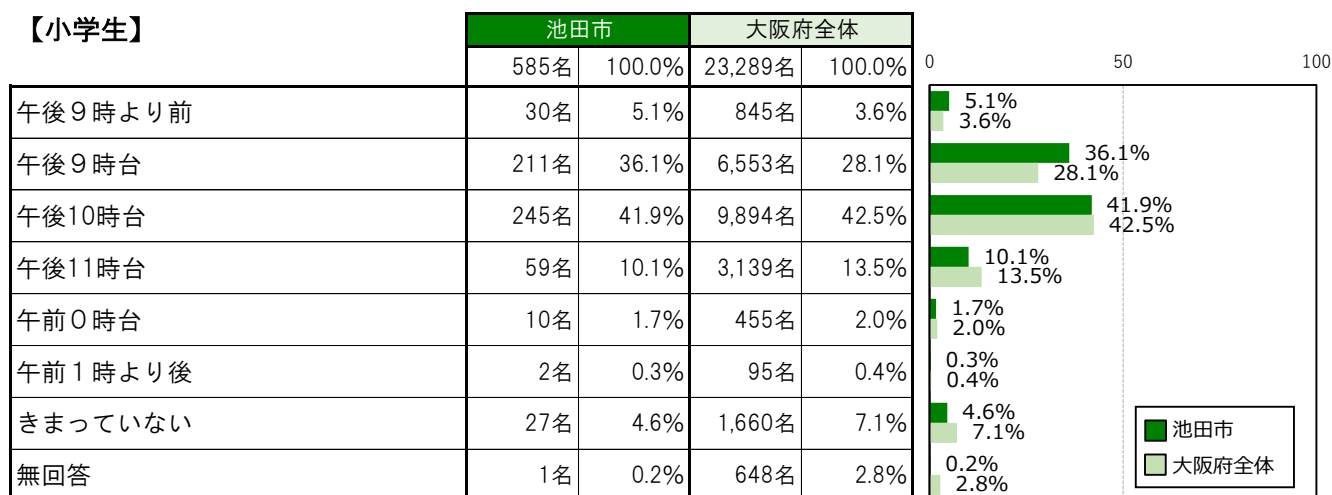
小学生は、「午後10時台」が41.9%で最も多く、次いで「午後9時台」が36.1%、「午後11時台」が10.1%、「午後9時より前」が5.1%となっている。

中学生は、「午後11時台」が34.7%で最も多く、次いで「午後10時台」が28.9%、「午前0時台」が17.1%、「きまっていない」が9.3%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

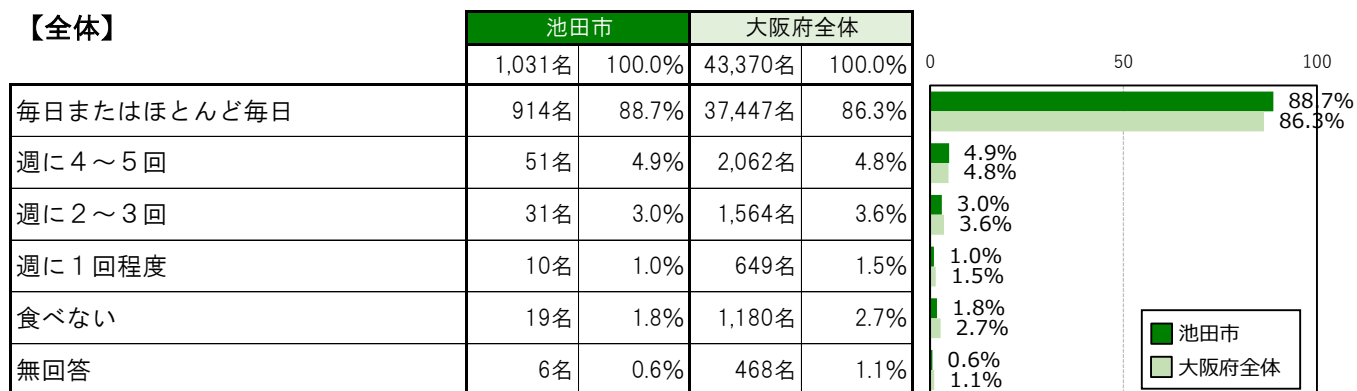
問４（１）朝食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が88.7%で最も多く、次いで「週に４～５回」が4.9%、「週に２～３回」が3.0%となっている。

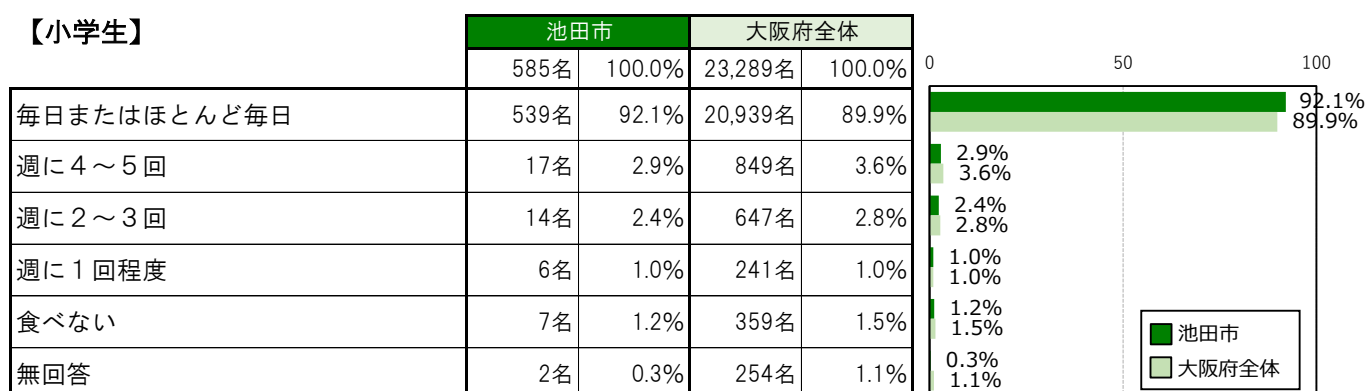
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が92.1%で最も多く、次いで「週に４～５回」が2.9%、「週に２～３回」が2.4%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が84.7%で最も多く、次いで「週に４～５回」が7.6%、「週に２～３回」が3.9%となっている。

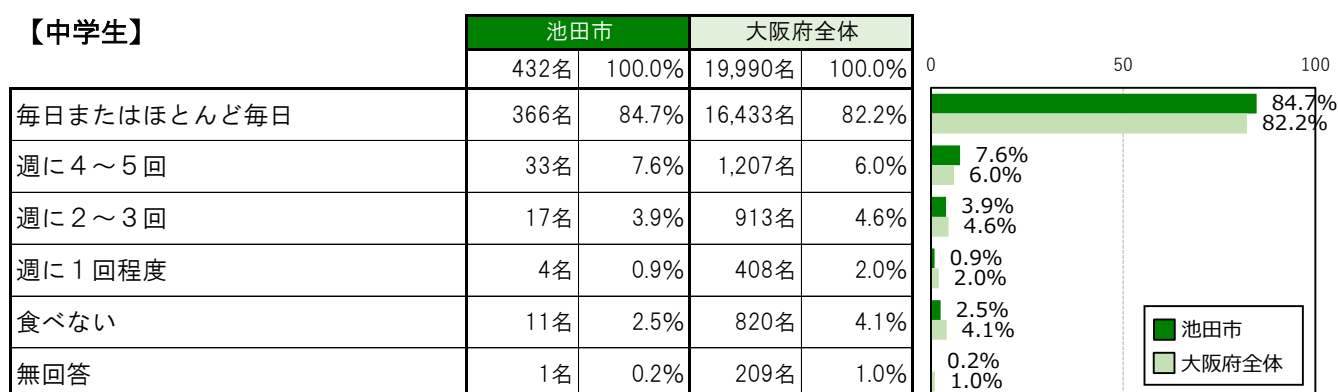
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問4（2）朝食を食べない理由

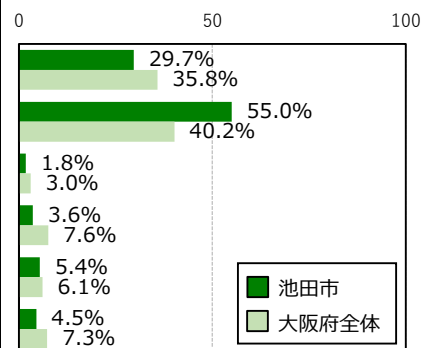
全体は、「おなかがすいていない」が55.0%で最も多く、次いで「時間がない」が29.7%、「食べる習慣がない」が3.6%となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が54.5%で最も多く、次いで「時間がない」が34.1%、「用意されていない」と「食べる習慣がない」がそれぞれ2.3%となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が55.4%で最も多く、次いで「時間がない」が27.7%、「食べる習慣がない」が4.6%となっている。

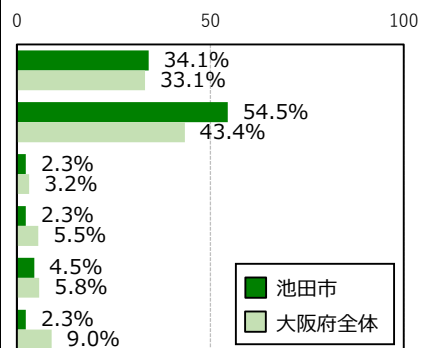
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	111名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	33名	29.7%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	61名	55.0%	2,194名	40.2%
用意されていない	2名	1.8%	162名	3.0%
食べる習慣がない	4名	3.6%	414名	7.6%
わからない	6名	5.4%	334名	6.1%
無回答	5名	4.5%	397名	7.3%



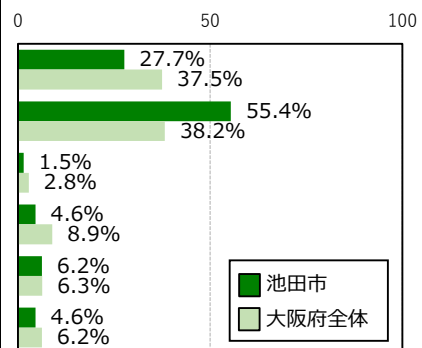
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	44名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	15名	34.1%	694名	33.1%
おなかがすいていない	24名	54.5%	909名	43.4%
用意されていない	1名	2.3%	68名	3.2%
食べる習慣がない	1名	2.3%	116名	5.5%
わからない	2名	4.5%	121名	5.8%
無回答	1名	2.3%	188名	9.0%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	65名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	18名	27.7%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	36名	55.4%	1,280名	38.2%
用意されていない	1名	1.5%	94名	2.8%
食べる習慣がない	3名	4.6%	298名	8.9%
わからない	4名	6.2%	212名	6.3%
無回答	3名	4.6%	207名	6.2%



ふだんの生活のことについて

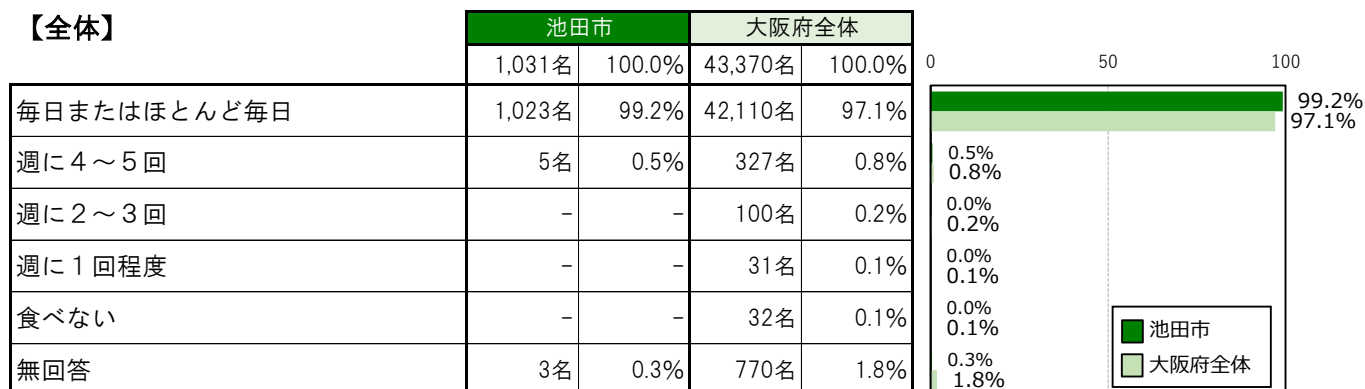
問5（1）夕食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が99.2%で最も多く、次いで「週に4～5回」が0.5%となっている。

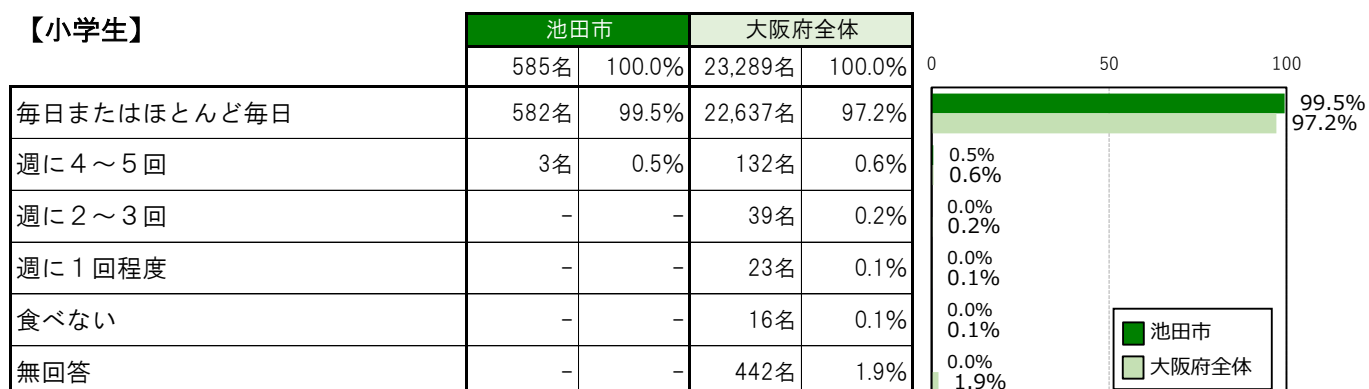
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が99.5%で最も多く、次いで「週に4～5回」が0.5%となっている。

中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が99.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が0.5%となっている。

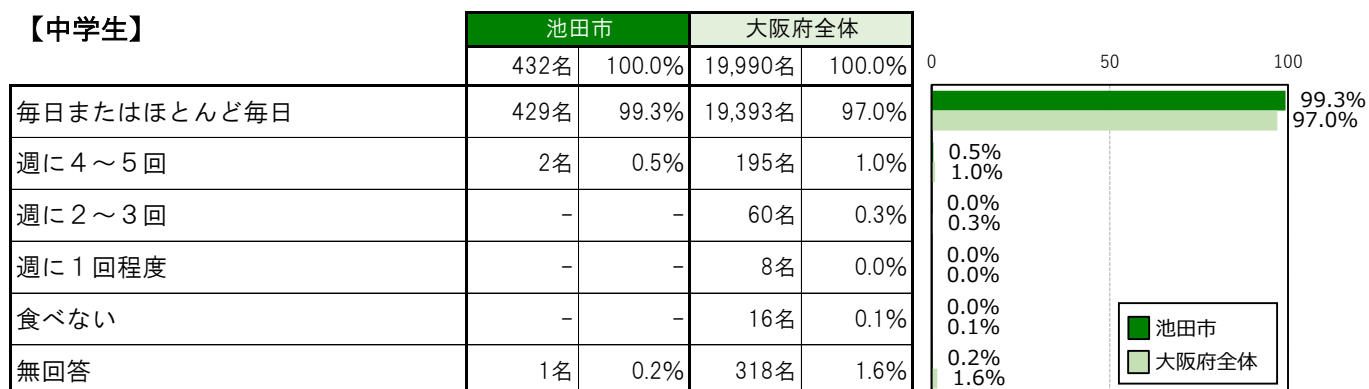
【全体】



【小学生】



【中学生】



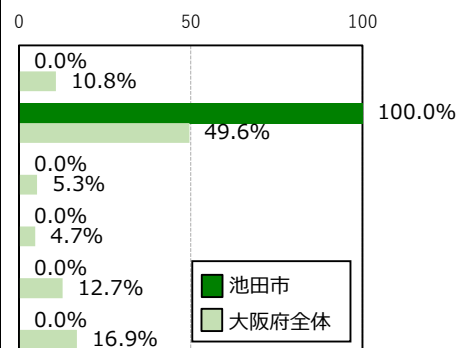
ふだんの生活のことについて

問5（2）夕食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が100.0%（5名）となっている。
 小学生は、「おなかがすいていない」が100.0%（3名）となっている。
 中学生は、「おなかがすいていない」が100.0%（2名）となっている。

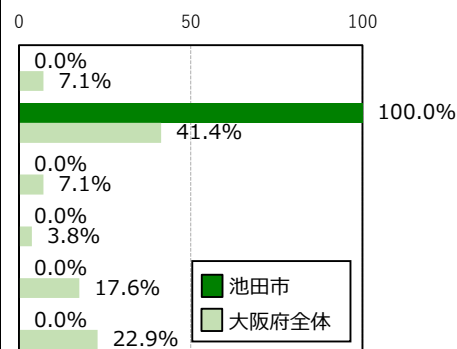
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	5名	100.0%	490名	100.0%
時間がない	-	-	53名	10.8%
おなかがすいていない	5名	100.0%	243名	49.6%
用意されていない	-	-	26名	5.3%
食べる習慣がない	-	-	23名	4.7%
わからない	-	-	62名	12.7%
無回答	-	-	83名	16.9%



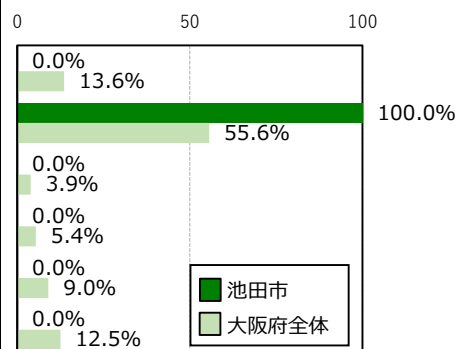
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	3名	100.0%	210名	100.0%
時間がない	-	-	15名	7.1%
おなかがすいていない	3名	100.0%	87名	41.4%
用意されていない	-	-	15名	7.1%
食べる習慣がない	-	-	8名	3.8%
わからない	-	-	37名	17.6%
無回答	-	-	48名	22.9%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	2名	100.0%	279名	100.0%
時間がない	-	-	38名	13.6%
おなかがすいていない	2名	100.0%	155名	55.6%
用意されていない	-	-	11名	3.9%
食べる習慣がない	-	-	15名	5.4%
わからない	-	-	25名	9.0%
無回答	-	-	35名	12.5%



ふだんの生活のことについて

問6（１）休日の昼食の頻度

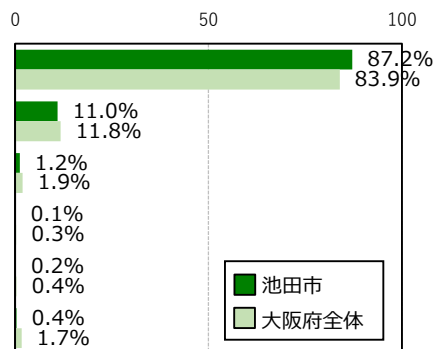
全体は、「必ず食べる」が87.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が11.0%、「食べないことが多い」が1.2%となっている。

小学生は、「必ず食べる」が89.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が9.6%、「食べないことが多い」が0.9%となっている。

中学生は、「必ず食べる」が84.7%で最も多く、次いで「食べることが多い」が13.0%、「食べないことが多い」が1.6%となっている。

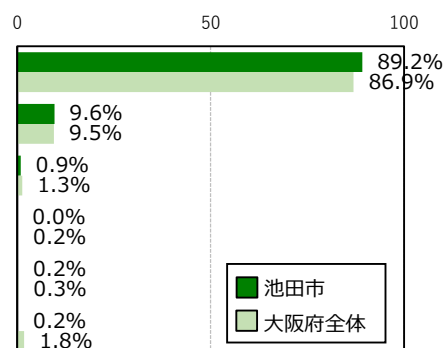
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	899名	87.2%	36,388名	83.9%
食べるが多い	113名	11.0%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	12名	1.2%	830名	1.9%
食べない	1名	0.1%	117名	0.3%
わからない	2名	0.2%	180名	0.4%
無回答	4名	0.4%	737名	1.7%



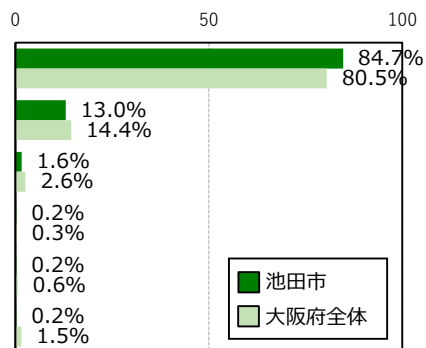
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	522名	89.2%	20,227名	86.9%
食べるが多い	56名	9.6%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	5名	0.9%	306名	1.3%
食べない	-	-	51名	0.2%
わからない	1名	0.2%	62名	0.3%
無回答	1名	0.2%	422名	1.8%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	366名	84.7%	16,090名	80.5%
食べるが多い	56名	13.0%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	7名	1.6%	524名	2.6%
食べない	1名	0.2%	66名	0.3%
わからない	1名	0.2%	117名	0.6%
無回答	1名	0.2%	307名	1.5%



ふだんの生活のことについて

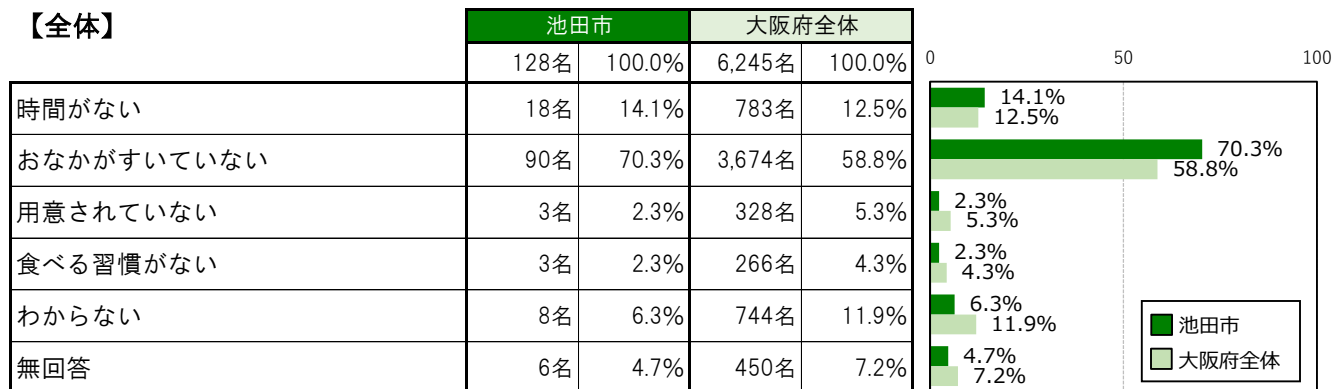
問6（2）休日に昼食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が70.3%で最も多く、次いで「時間がない」が14.1%、「用意されていない」と「食べる習慣がない」がそれぞれ2.3%となっている。

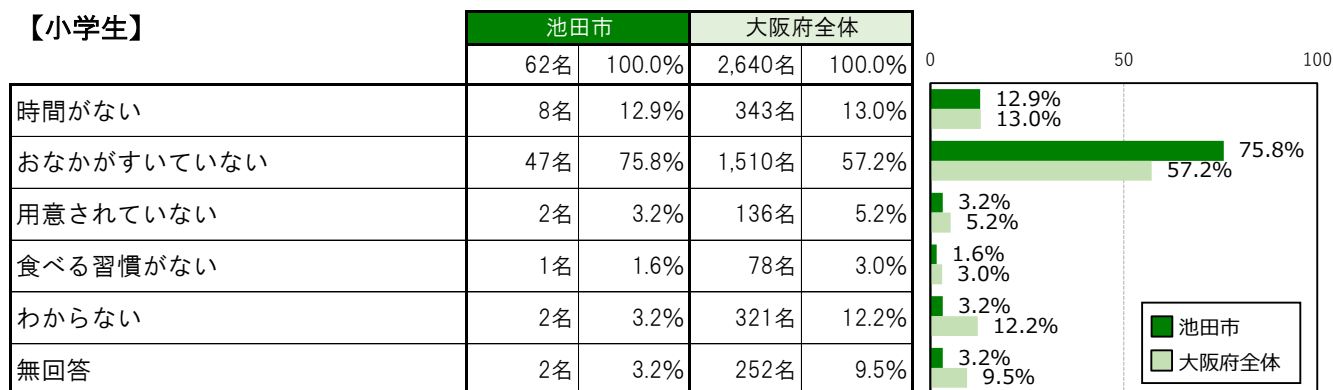
小学生は、「おなかがすいていない」が75.8%で最も多く、次いで「時間がない」が12.9%、「用意されていない」が3.2%となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が64.6%で最も多く、次いで「時間がない」が15.4%、「食べる習慣がない」が3.1%となっている。

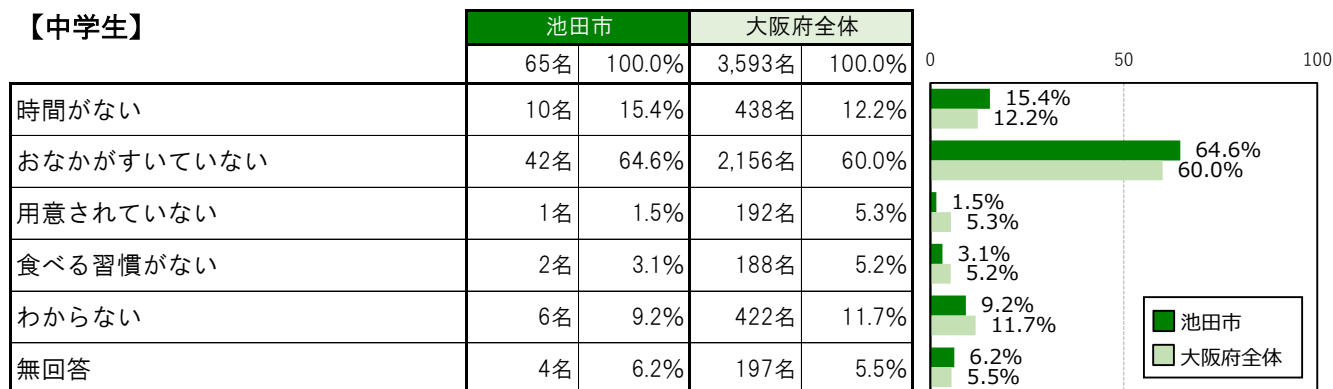
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

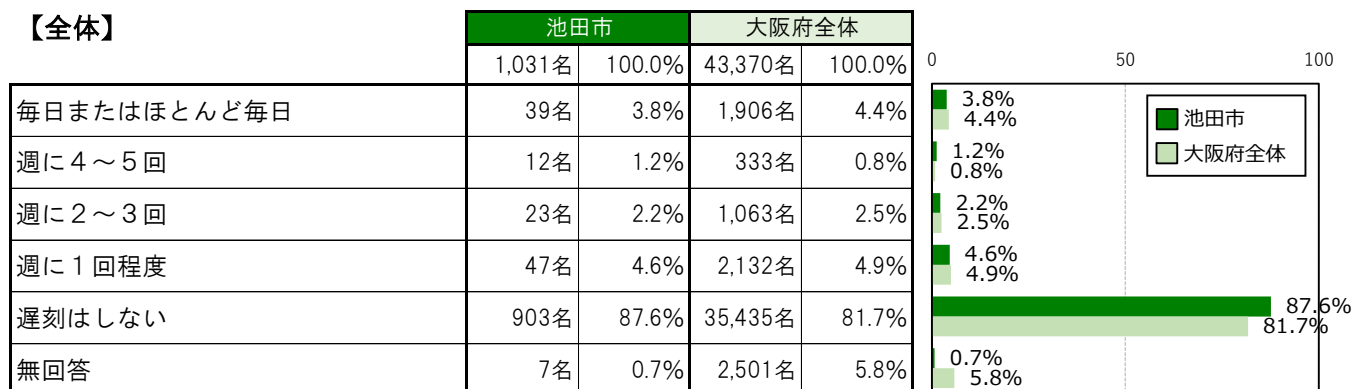
問7 学校への遅刻

全体は、「遅刻はしない」が87.6%で最も多く、次いで「週に1回程度」が4.6%、「毎日またはほとんど毎日」が3.8%となっている。

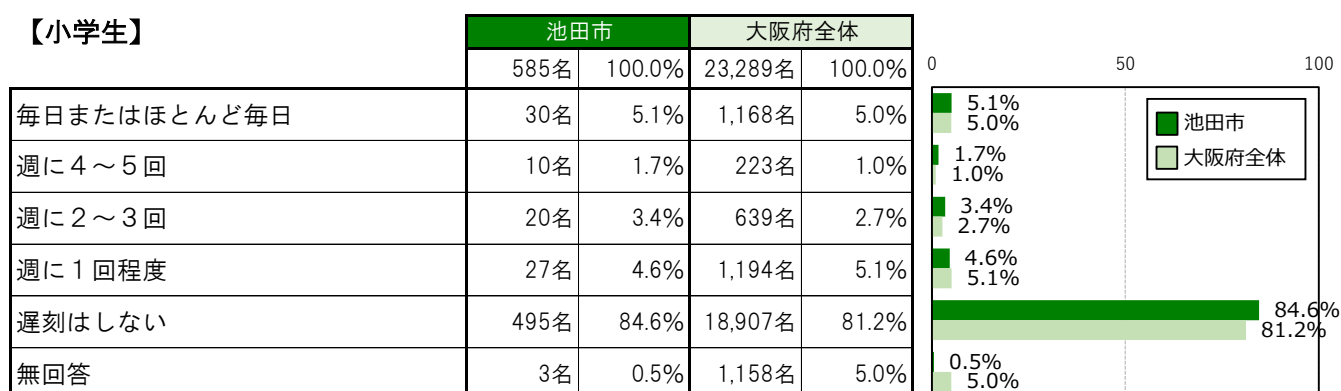
小学生は、「遅刻はしない」が84.6%で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が5.1%、「週に1回程度」が4.6%となっている。

中学生は、「遅刻はしない」が92.1%で最も多く、次いで「週に1回程度」が4.6%、「毎日またはほとんど毎日」が1.6%となっている。

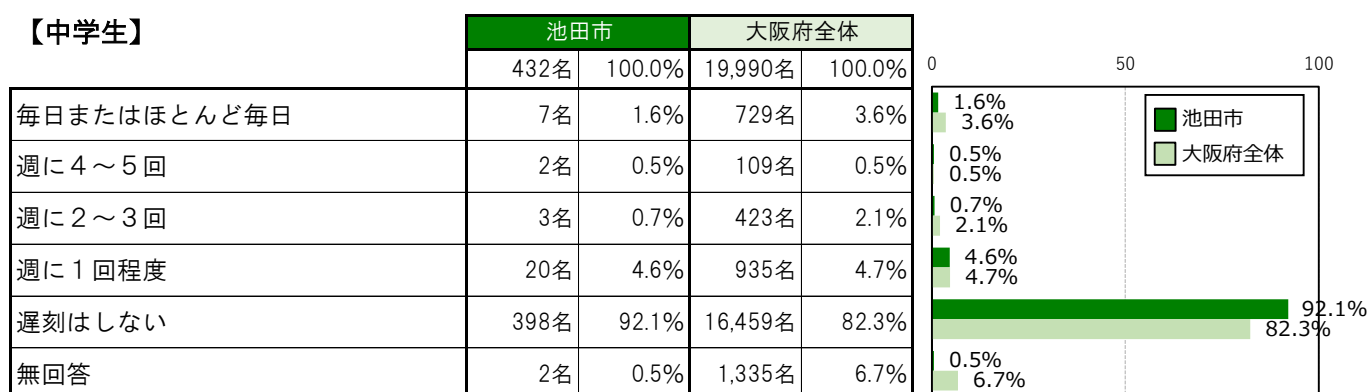
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が46.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.9%、「週に2～3回」が10.4%、「まったくない」が10.2%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が53.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が15.0%、「週に2～3回」が10.3%、「週に4～5回」が6.2%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が38.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が19.4%、「まったくない」が15.7%、「週に2～3回」が10.4%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が76.3%で最も多く、次いで「週に4～5回」が10.7%、「週に2～3回」が6.9%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が81.9%で最も多く、次いで「週に4～5回」が8.2%、「週に2～3回」が4.8%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が68.8%で最も多く、次いで「週に4～5回」が14.1%、「週に2～3回」が9.7%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

全体は、「ほとんど毎日」が40.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が13.7%、「まったくない」が13.3%、「週に4～5回」が12.3%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が43.4%で最も多く、次いで「まったくない」が14.5%、「ほとんどない」が12.8%、「週に4～5回」が11.3%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が37.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が14.8%、「週に4～5回」が13.7%、「週に2～3回」と「まったくない」がそれぞれ11.8%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ④おうちの手伝いをしているか

全体は、「ほとんど毎日」が20.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.1%、「週に1回程度」が15.9%、「ほとんどない」が14.5%となっている。

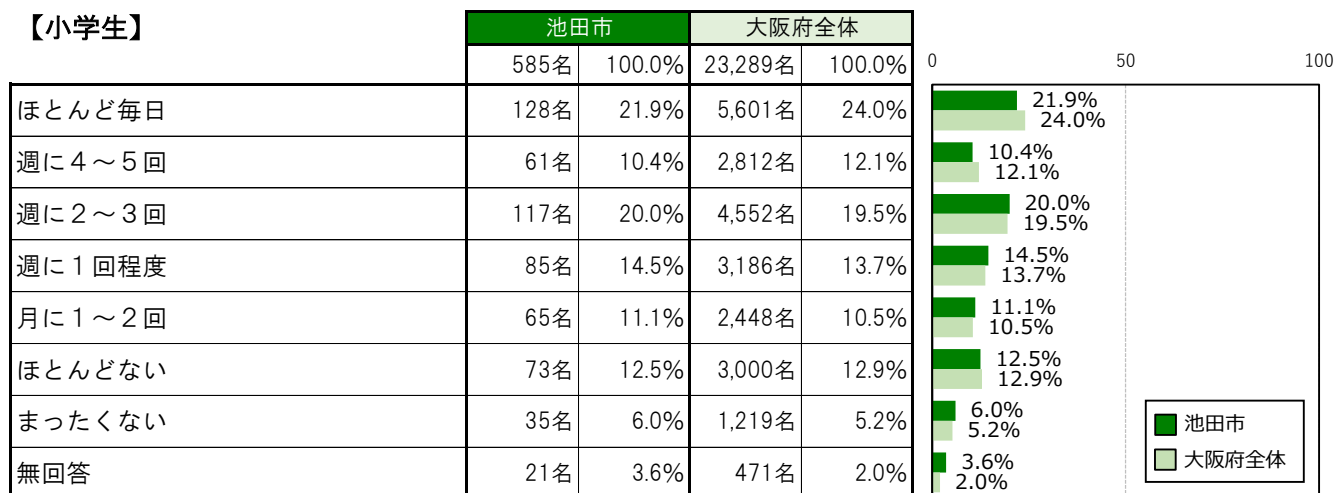
小学生は、「ほとんど毎日」が21.9%で最も多く、次いで「週に2～3回」が20.0%、「週に1回程度」が14.5%、「ほとんどない」が12.5%となっている。

中学生は、「週に2～3回」が20.1%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が18.8%、「週に1回程度」が17.8%、「ほとんどない」が17.4%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

全体は、「ほとんどない」が29.0%で最も多く、次いで「まったくない」が25.2%、「ほとんど毎日」が11.3%、「週に1回程度」が10.2%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が24.8%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が17.3%、「まったくない」が16.9%、「週に1回程度」が11.6%となっている。

中学生は、「まったくない」が36.6%で最も多く、次いで「ほとんどない」が35.0%、「月に1～2回」が8.6%、「週に1回程度」が7.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑥おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

全体は、「ほとんど毎日」が44.9%で最も多く、次いで「週に2～3回」が17.0%、「週に4～5回」が15.1%、「ほとんどない」が7.2%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が51.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が17.8%、「週に4～5回」が13.0%、「ほとんどない」が6.0%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が36.1%で最も多く、次いで「週に4～5回」が17.8%、「週に2～3回」が15.7%、「週に1回程度」が10.2%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑦おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか

全体は、「ほとんどない」が24.3%で最も多く、次いで「週に2～3回」が15.3%、「月に1～2回」が14.2%、「週に1回程度」が13.8%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が22.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.6%、「ほとんど毎日」が16.4%、「週に1回程度」が15.0%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が34.0%で最も多く、次いで「月に1～2回」が19.2%、「まったくない」が17.1%、「週に1回程度」が12.0%となっている。

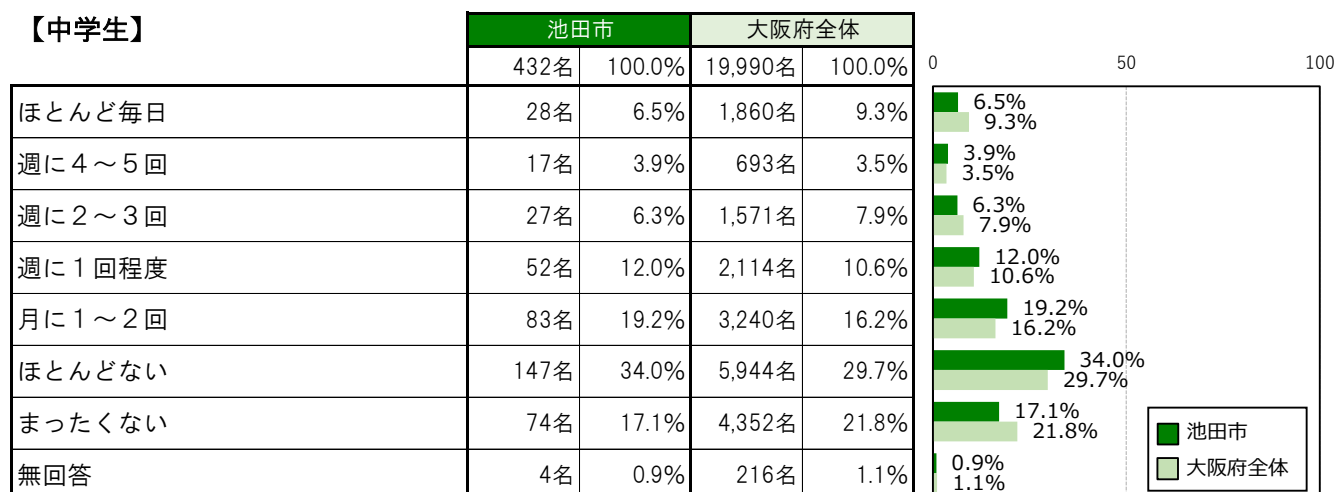
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

全体は、「ほとんどない」が18.5%で最も多く、次いで「週に2～3回」が18.0%、「ほとんど毎日」が17.5%、「週に4～5回」が13.6%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が20.2%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が19.7%、「週に2～3回」が17.3%、「週に4～5回」が13.0%となっている。

中学生は、「週に2～3回」が19.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.7%、「ほとんど毎日」と「週に1回程度」がそれぞれ14.6%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

全体は、「ほとんどない」が40.6%で最も多く、次いで「月に1～2回」が25.2%、「まったくない」が20.5%、「週に1回程度」が4.6%となっている。

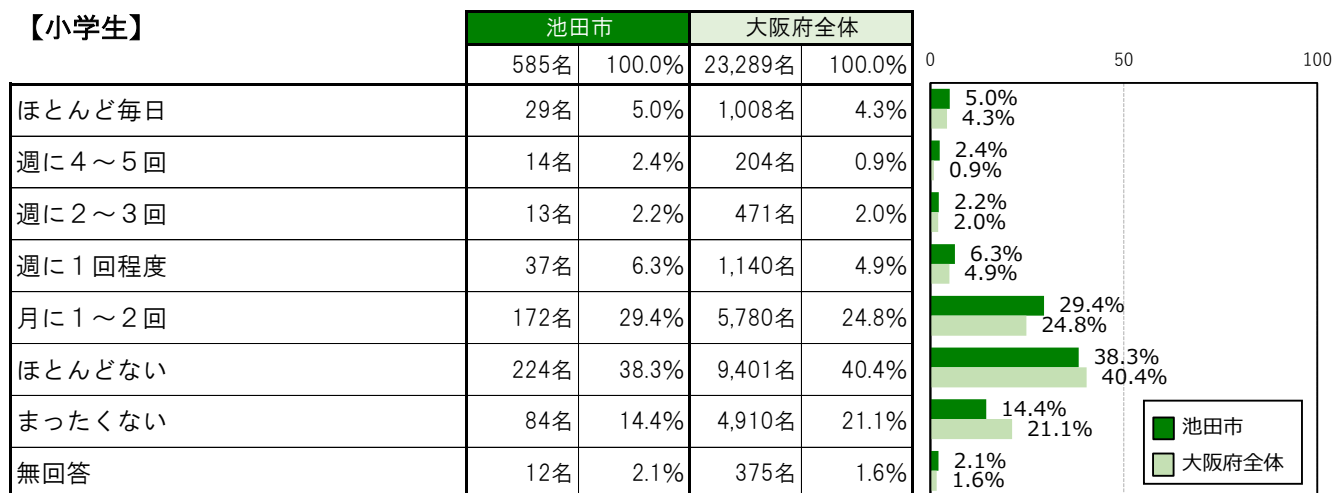
小学生は、「ほとんどない」が38.3%で最も多く、次いで「月に1～2回」が29.4%、「まったくない」が14.4%、「週に1回程度」が6.3%となっている。

中学生は、「ほとんどない」が44.2%で最も多く、次いで「まったくない」が28.5%、「月に1～2回」が19.4%、「ほとんど毎日」と「週に1回程度」がそれぞれ2.3%となっている。

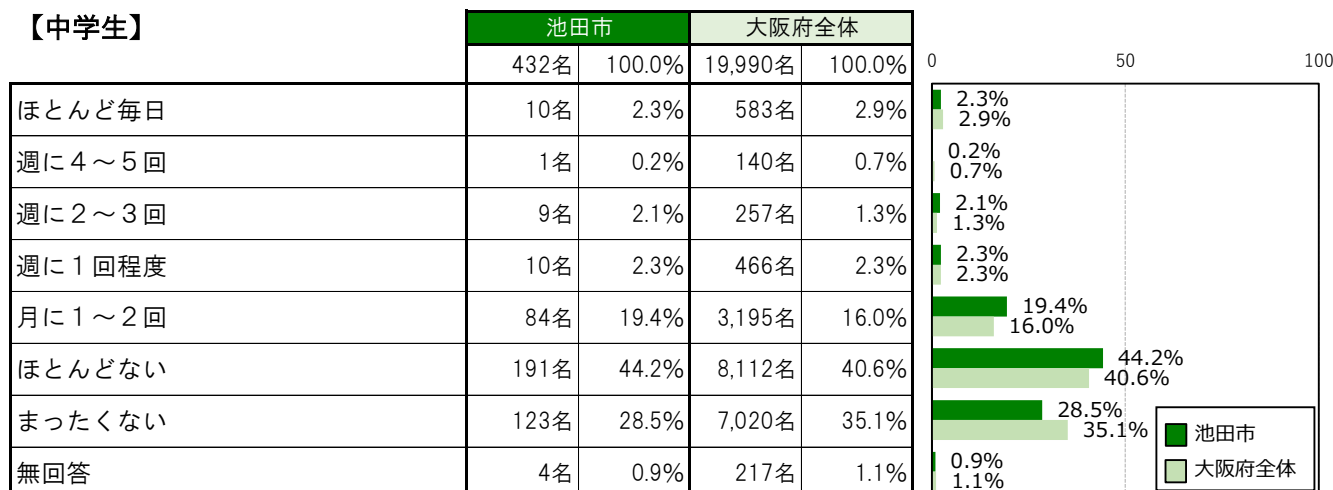
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問8 保護者との関係性 ⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

全体は、「週に1回程度」が29.7%で最も多く、次いで「週に2～3回」が27.4%、「月に1～2回」が19.6%、「ほとんど毎日」が8.2%となっている。

小学生は、「週に2～3回」が33.2%で最も多く、次いで「週に1回程度」が26.2%、「月に1～2回」が14.0%、「ほとんど毎日」が11.1%となっている。

中学生は、「週に1回程度」が35.2%で最も多く、次いで「月に1～2回」が27.8%、「週に2～3回」が18.8%、「ほとんどない」が7.4%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問9 毎日の生活で楽しいこと

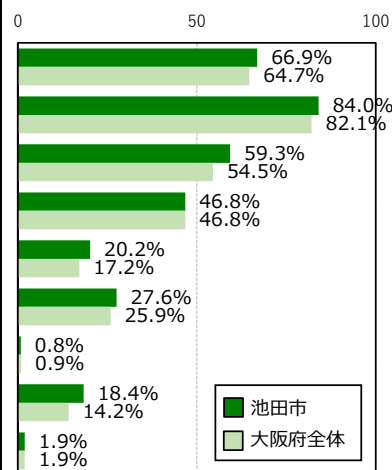
全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が84.0%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が66.9%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が59.3%、「ひとりで過ごしているとき」が46.8%となっている。

小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が84.3%で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が75.9%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が60.9%、「ひとりで過ごしているとき」が37.8%となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が84.0%で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が60.2%、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が58.1%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が54.9%となっている。

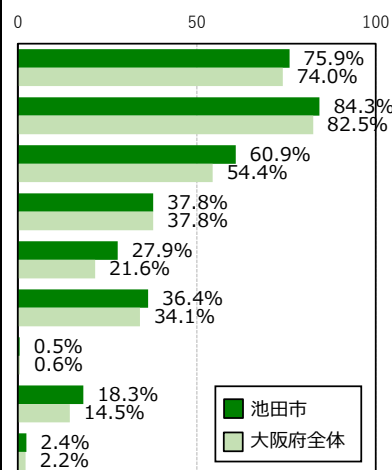
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	690名	66.9%	28,070名	64.7%
ともだちと一緒に過ごしているとき	866名	84.0%	35,599名	82.1%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	611名	59.3%	23,630名	54.5%
ひとりで過ごしているとき	483名	46.8%	20,290名	46.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	208名	20.2%	7,469名	17.2%
塾や習いごとで過ごしているとき	285名	27.6%	11,215名	25.9%
特に楽しいと思うときはない	8名	0.8%	407名	0.9%
その他	190名	18.4%	6,162名	14.2%
無回答	20名	1.9%	829名	1.9%



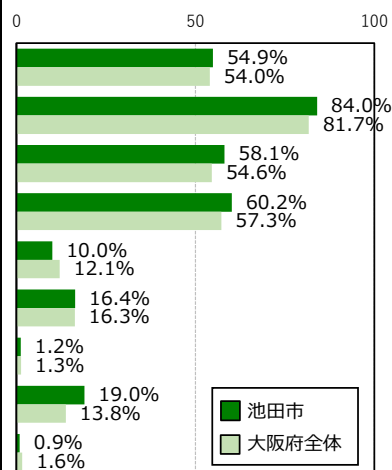
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	444名	75.9%	17,231名	74.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	493名	84.3%	19,212名	82.5%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	356名	60.9%	12,660名	54.4%
ひとりで過ごしているとき	221名	37.8%	8,805名	37.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	163名	27.9%	5,032名	21.6%
塾や習いごとで過ごしているとき	213名	36.4%	7,944名	34.1%
特に楽しいと思うときはない	3名	0.5%	143名	0.6%
その他	107名	18.3%	3,380名	14.5%
無回答	14名	2.4%	501名	2.2%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	237名	54.9%	10,789名	54.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	363名	84.0%	16,324名	81.7%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	251名	58.1%	10,924名	54.6%
ひとりで過ごしているとき	260名	60.2%	11,451名	57.3%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	43名	10.0%	2,426名	12.1%
塾や習いごとで過ごしているとき	71名	16.4%	3,256名	16.3%
特に楽しいと思うときはない	5名	1.2%	264名	1.3%
その他	82名	19.0%	2,768名	13.8%
無回答	4名	0.9%	319名	1.6%



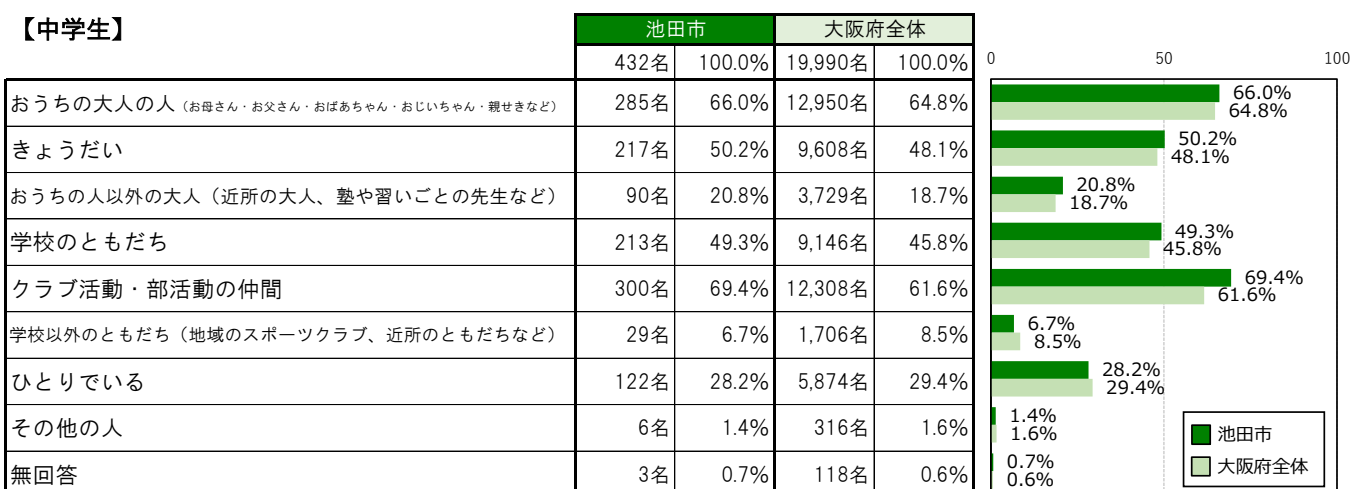
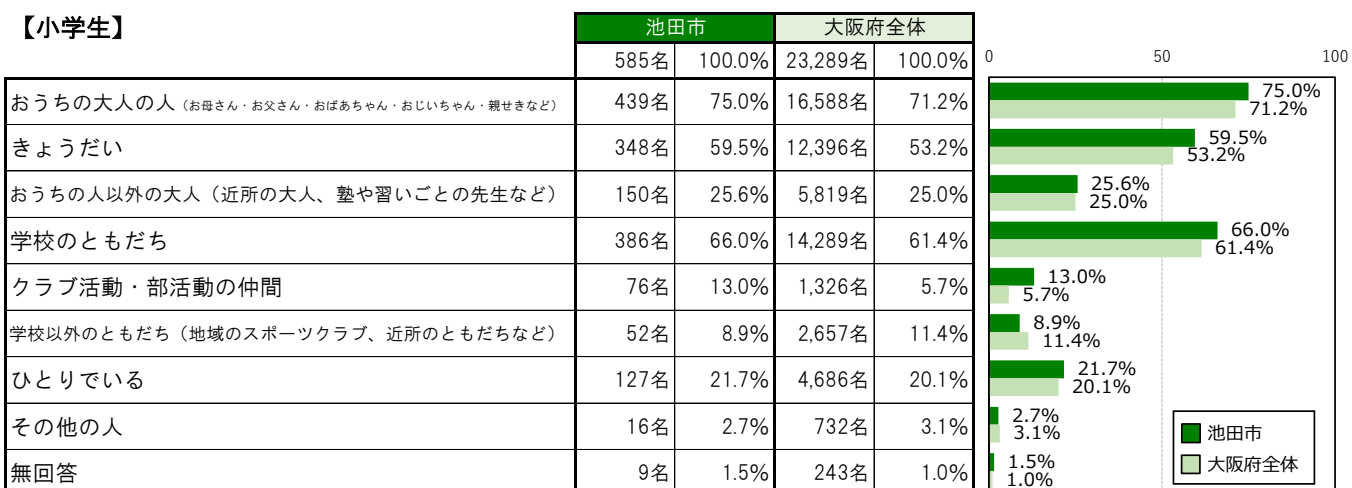
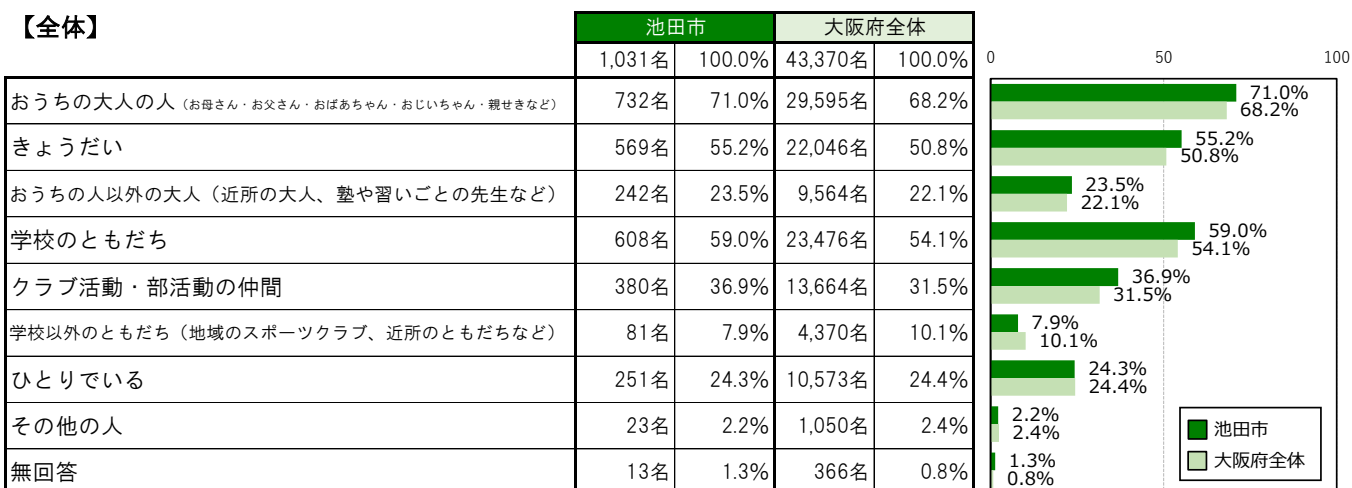
ふだんの生活のことについて

問10 放課後を一緒に過ごす人

全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が71.0%で最も多く、次いで「学校のともだち」が59.0%、「きょうだい」が55.2%、「クラブ活動・部活動の仲間」が36.9%となっている。

小学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が75.0%で最も多く、次いで「学校のともだち」が66.0%、「きょうだい」が59.5%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が25.6%となっている。

中学生は、「クラブ活動・部活動の仲間」が69.4%で最も多く、次いで「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が66.0%、「きょうだい」が50.2%、「学校のともだち」が49.3%となっている。



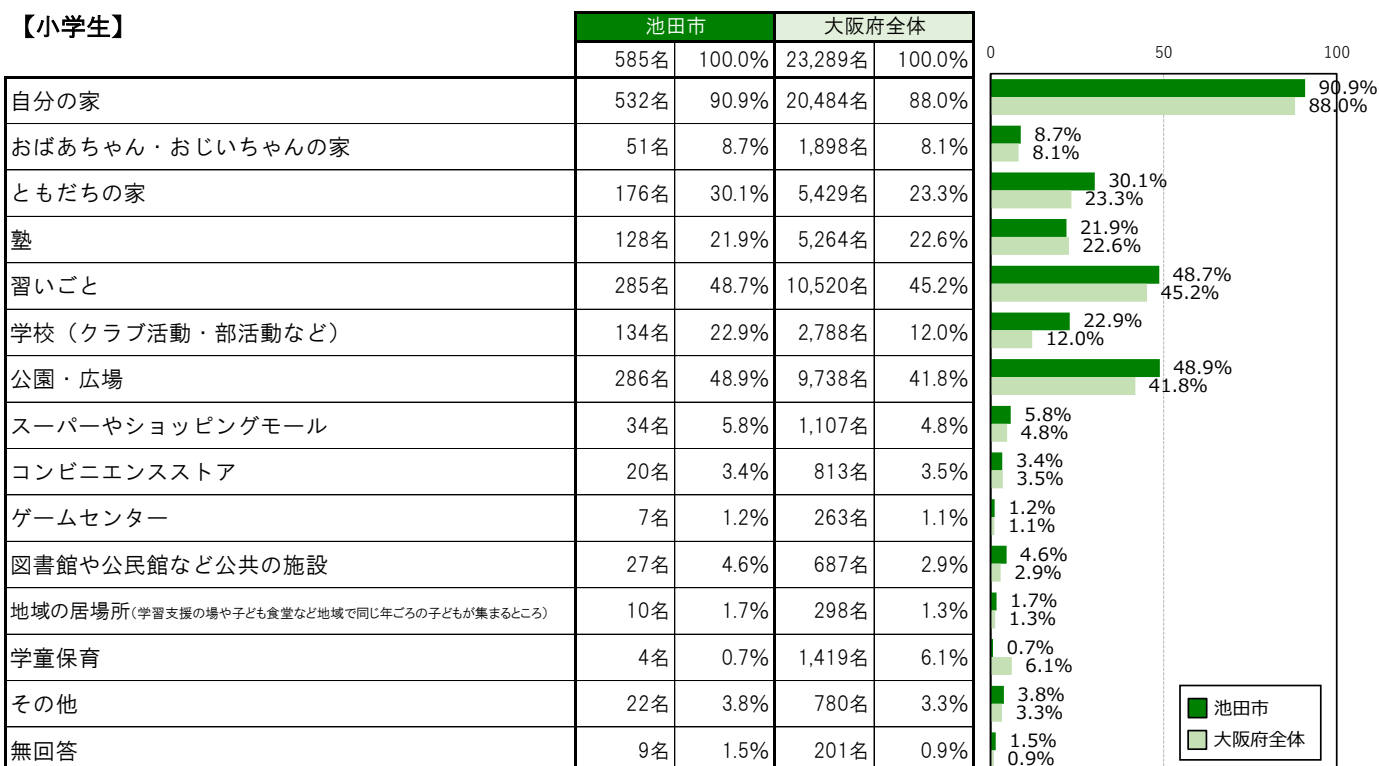
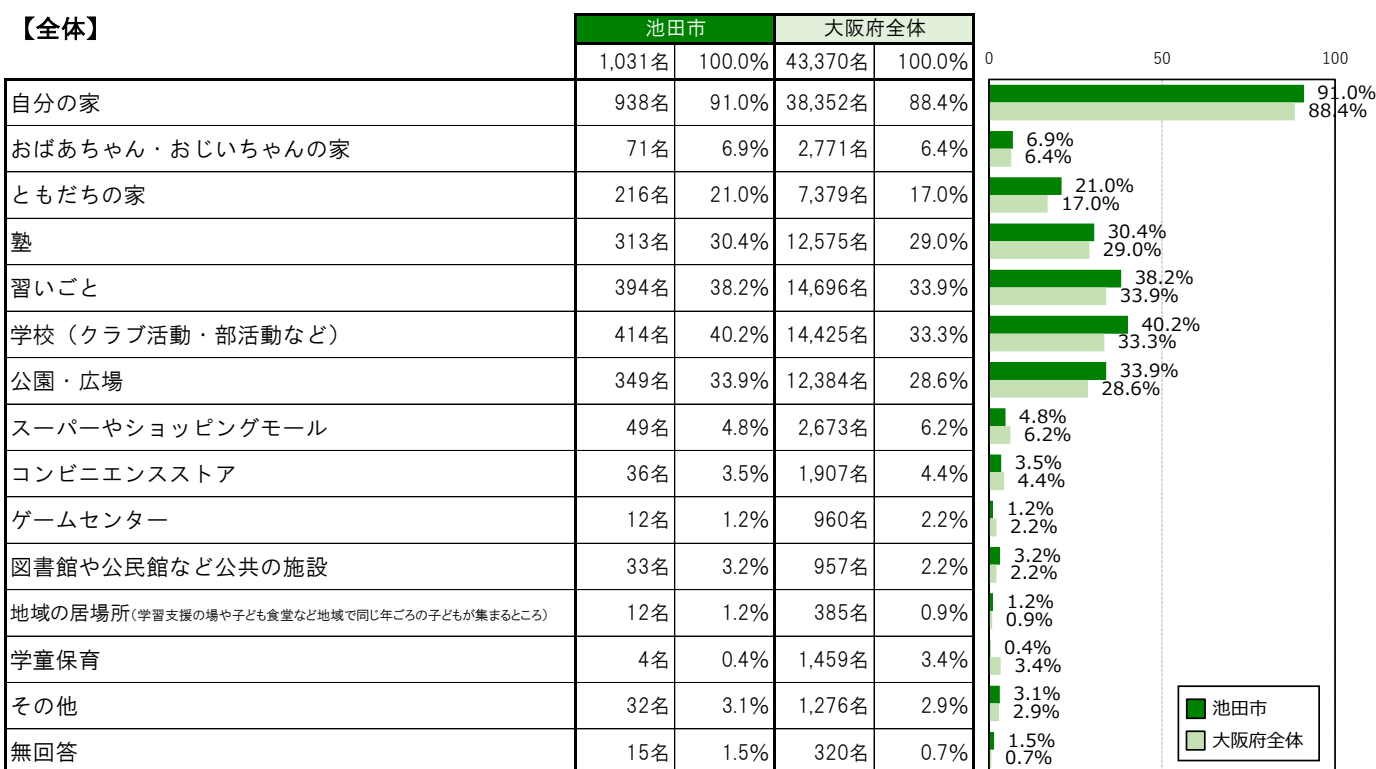
ふだんの生活のことについて

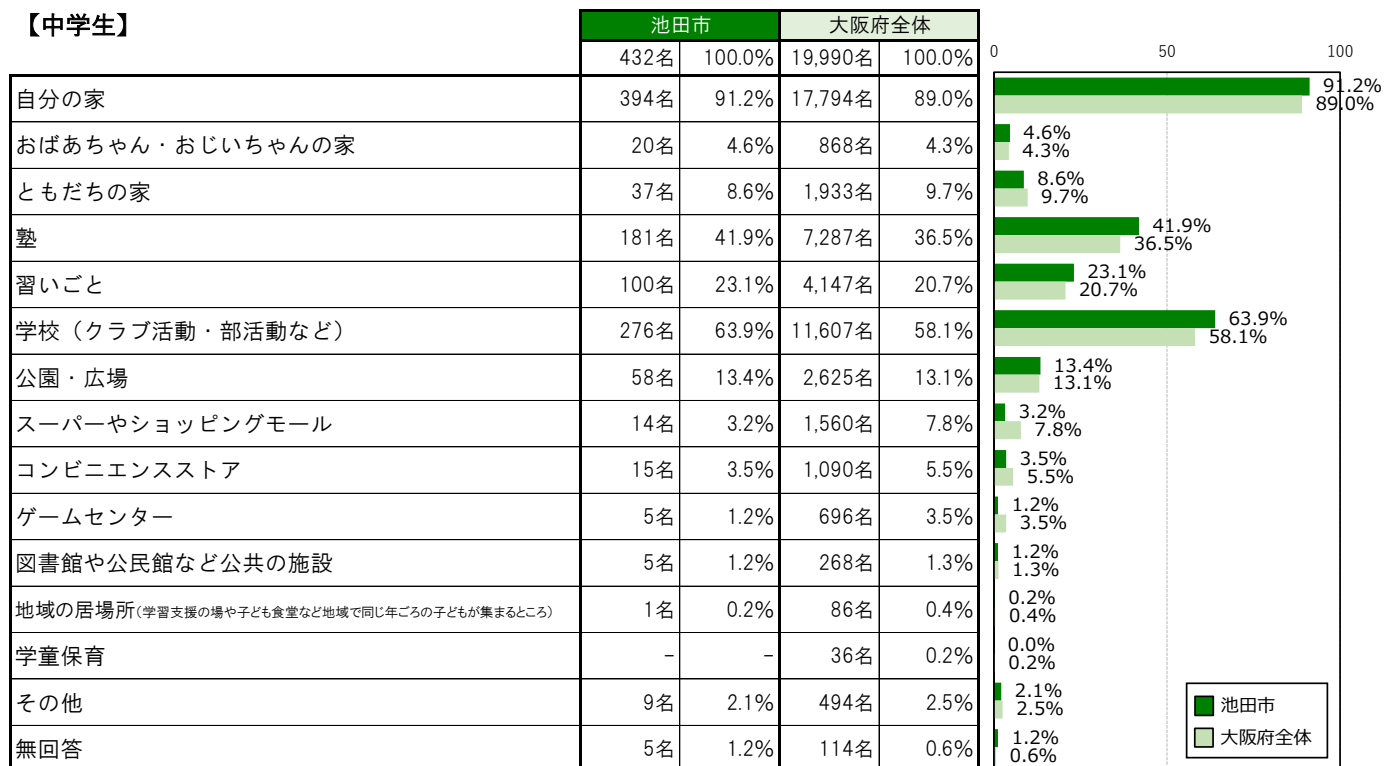
問11 放課後を過ごす場所

全体は、「自分の家」が91.0%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が40.2%、「習いごと」が38.2%、「公園・広場」が33.9%となっている。

小学生は、「自分の家」が90.9%で最も多く、次いで「公園・広場」が48.9%、「習いごと」が48.7%、「ともだちの家」が30.1%となっている。

中学生は、「自分の家」が91.2%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が63.9%、「塾」が41.9%、「習いごと」が23.1%となっている。





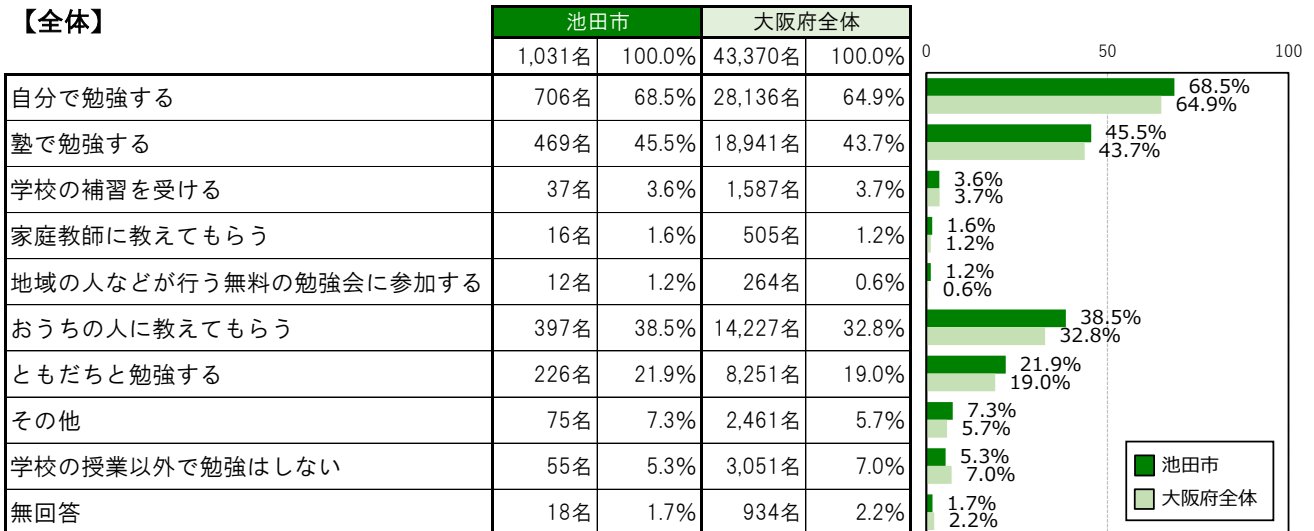
ふだんの生活のことについて

問12 授業以外の勉強状況

全体は、「自分で勉強する」が68.5%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が45.5%、「おうちの人に教えてもらう」が38.5%、「ともだちと勉強する」が21.9%となっている。

小学生は、「自分で勉強する」が67.9%で最も多く、次いで「おうちの人に教えてもらう」が49.1%、「塾で勉強する」が35.0%、「ともだちと勉強する」が22.9%となっている。

中学生は、「自分で勉強する」が69.7%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が60.2%、「おうちの人に教えてもらう」が24.5%、「ともだちと勉強する」が20.6%となっている。



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）

全体は、「30分以上、1時間より少ない」が25.6%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.6%、「30分より少ない」が19.5%、「2時間以上、3時間より少ない」が13.4%となっている。

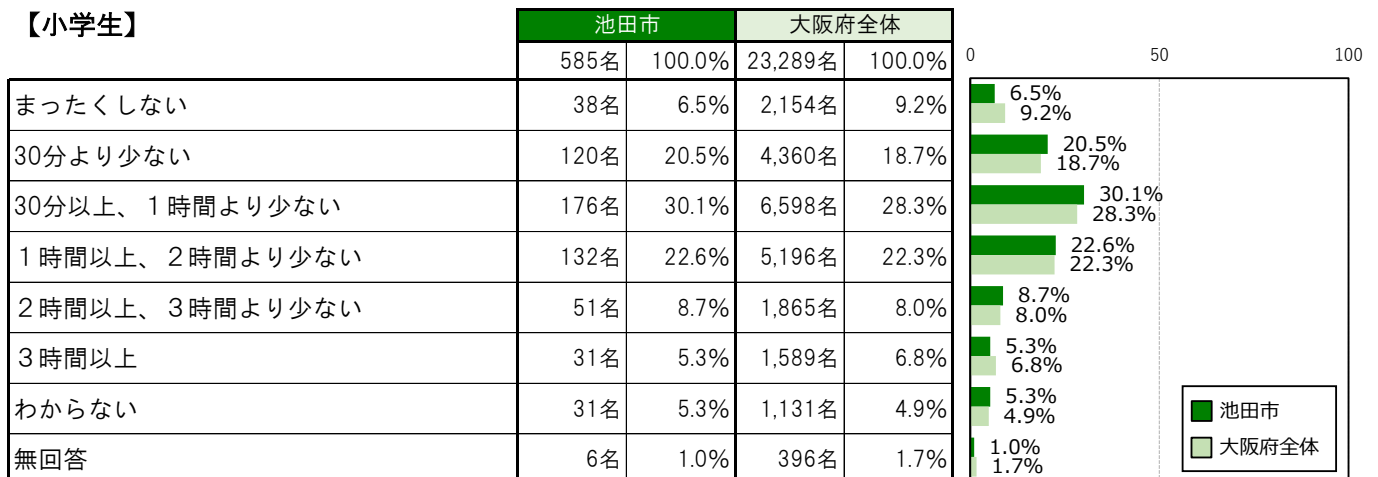
小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が30.1%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.6%、「30分より少ない」が20.5%、「2時間以上、3時間より少ない」が8.7%となっている。

中学生は、「1時間以上、2時間より少ない」が22.9%で最も多く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が19.9%、「30分以上、1時間より少ない」が19.4%、「30分より少ない」が17.6%となっている。

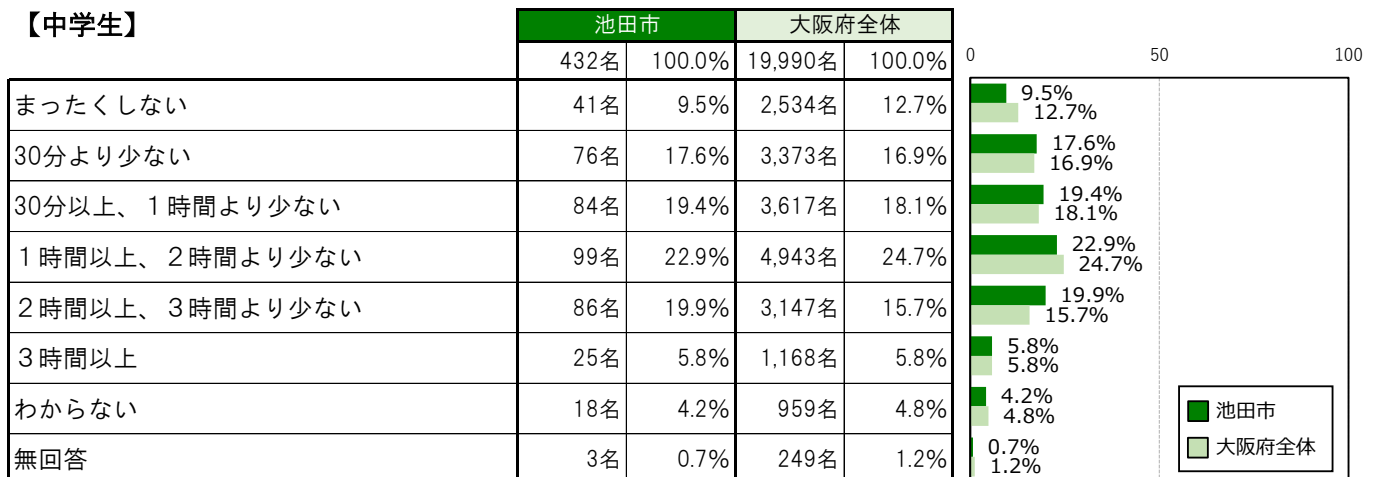
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問13 授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）

全体は、「30分以上、1時間より少ない」が22.9%で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.3%、「まったくしない」、「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ16.6%となっている。

小学生は、「30分以上、1時間より少ない」が24.8%で最も多く、次いで「30分より少ない」が22.9%、「まったくしない」と「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ15.9%となっている。

中学生は、「30分以上、1時間より少ない」が20.4%で最も多く、次いで「30分より少ない」が19.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.8%、「まったくしない」が17.4%となっている。

【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

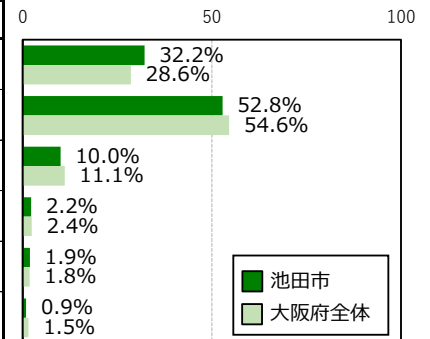
全体は、「だいたいわかる」が52.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が32.2%、「あまりわからない」が10.0%となっている。

小学生は、「だいたいわかる」が50.3%で最も多く、次いで「よくわかる」が37.6%、「あまりわからない」が8.0%となっている。

中学生は、「だいたいわかる」が56.0%で最も多く、次いで「よくわかる」が25.5%、「あまりわからない」が12.3%となっている。

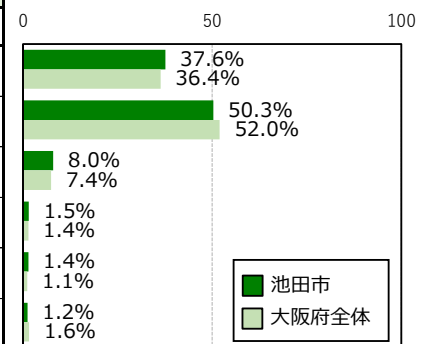
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
よくわかる	332名	32.2%	12,407名	28.6%
だいたいわかる	544名	52.8%	23,680名	54.6%
あまりわからない	103名	10.0%	4,834名	11.1%
ほとんどわからない	23名	2.2%	1,047名	2.4%
わからない	20名	1.9%	762名	1.8%
無回答	9名	0.9%	640名	1.5%



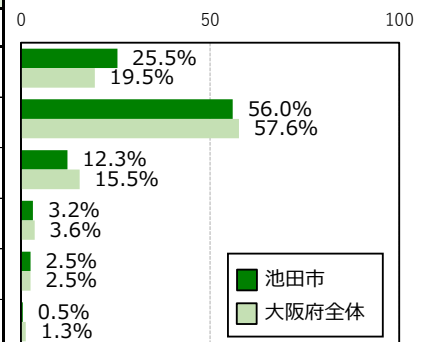
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
よくわかる	220名	37.6%	8,481名	36.4%
だいたいわかる	294名	50.3%	12,116名	52.0%
あまりわからない	47名	8.0%	1,721名	7.4%
ほとんどわからない	9名	1.5%	331名	1.4%
わからない	8名	1.4%	258名	1.1%
無回答	7名	1.2%	382名	1.6%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
よくわかる	110名	25.5%	3,902名	19.5%
だいたいわかる	242名	56.0%	11,516名	57.6%
あまりわからない	53名	12.3%	3,103名	15.5%
ほとんどわからない	14名	3.2%	715名	3.6%
わからない	11名	2.5%	500名	2.5%
無回答	2名	0.5%	254名	1.3%



ふだんの生活のことについて

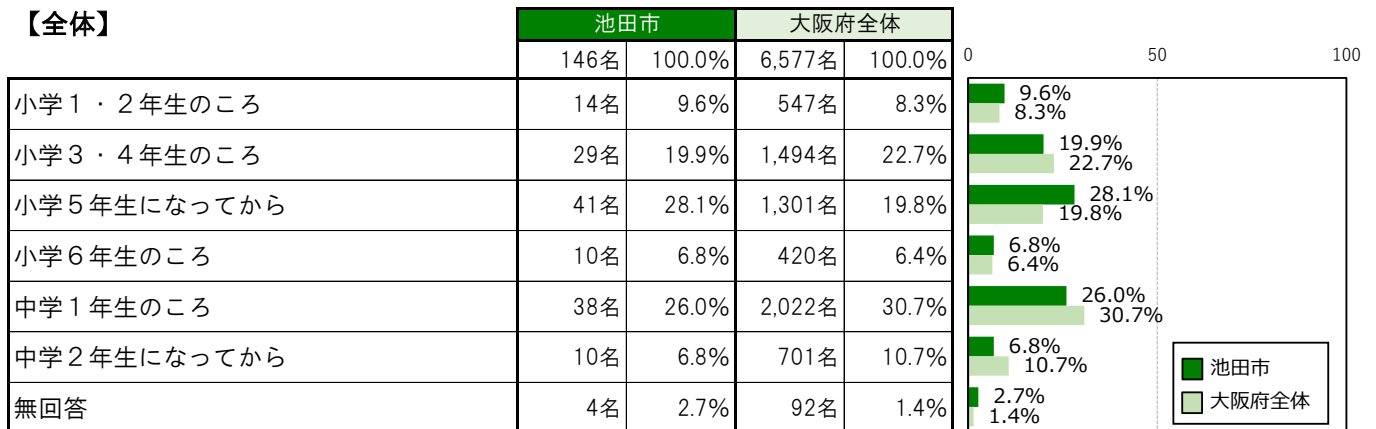
問14（２）授業がわからなくなった時期

全体は、「小学５年生になってから」が28.1%で最も多く、次いで「中学１年生のころ」が26.0%、「小学３・４年生のころ」が19.9%、「小学１・２年生のころ」が9.6%となっている。

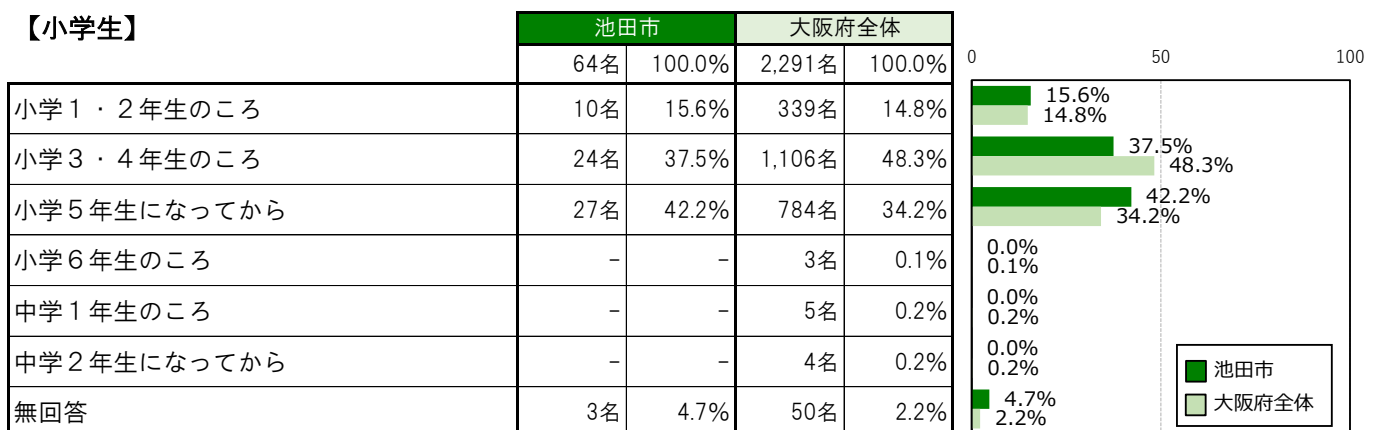
小学生は、「小学５年生になってから」が42.2%で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が37.5%、「小学１・２年生のころ」が15.6%となっている。

中学生は、「中学１年生のころ」が47.4%で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が15.4%、「小学６年生のころ」と「中学２年生になってから」がそれぞれ12.8%となっている。

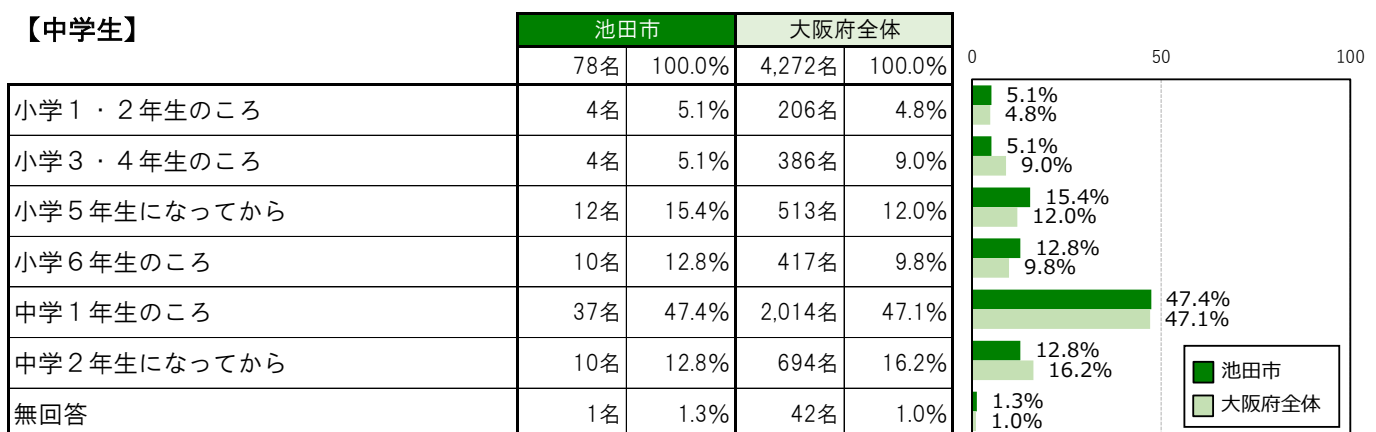
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問15 授業以外の読書時間

全体は、「30分より少ない」が34.7%で最も多く、次いで「まったくしない」が34.3%、「30分以上、1時間より少ない」が15.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.9%となっている。

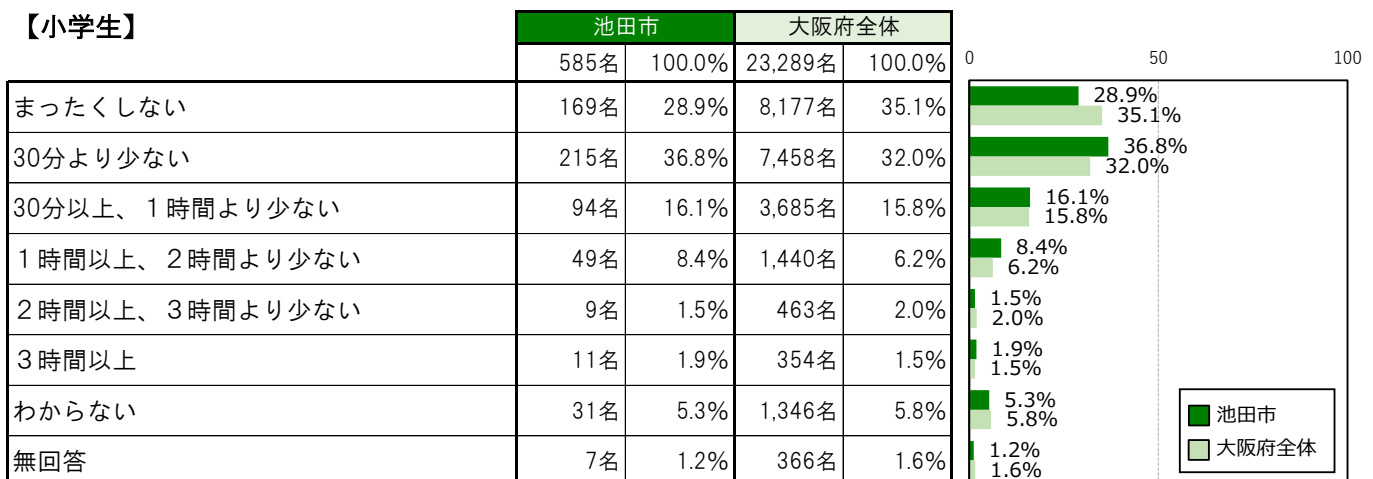
小学生は、「30分より少ない」が36.8%で最も多く、次いで「まったくしない」が28.9%、「30分以上、1時間より少ない」が16.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が8.4%となっている。

中学生は、「まったくしない」が41.2%で最も多く、次いで「30分より少ない」が32.6%、「30分以上、1時間より少ない」が13.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.4%となっている。

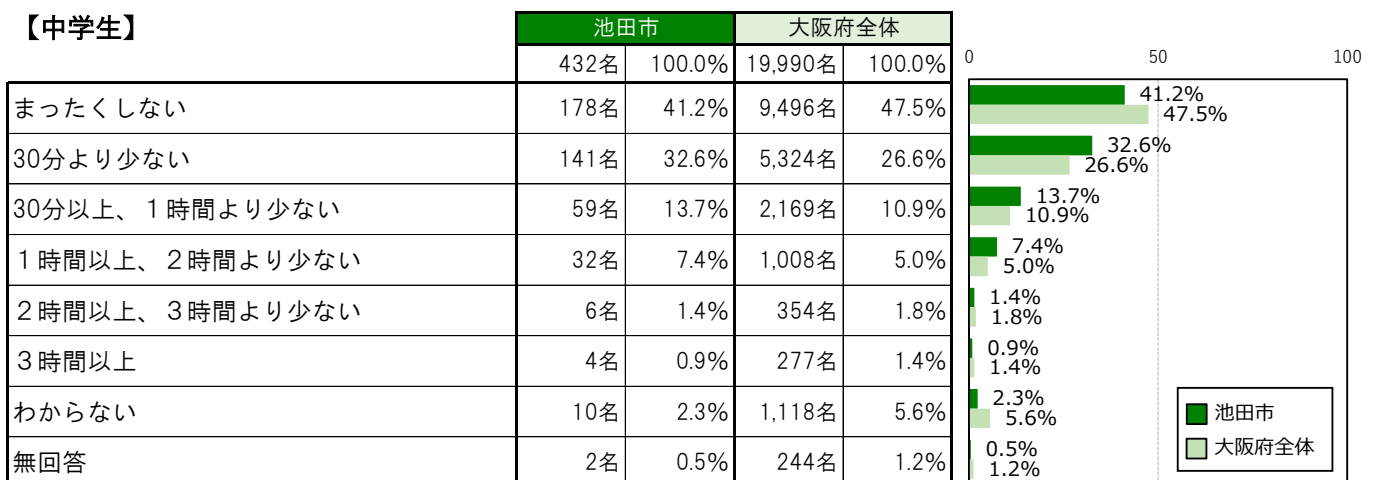
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

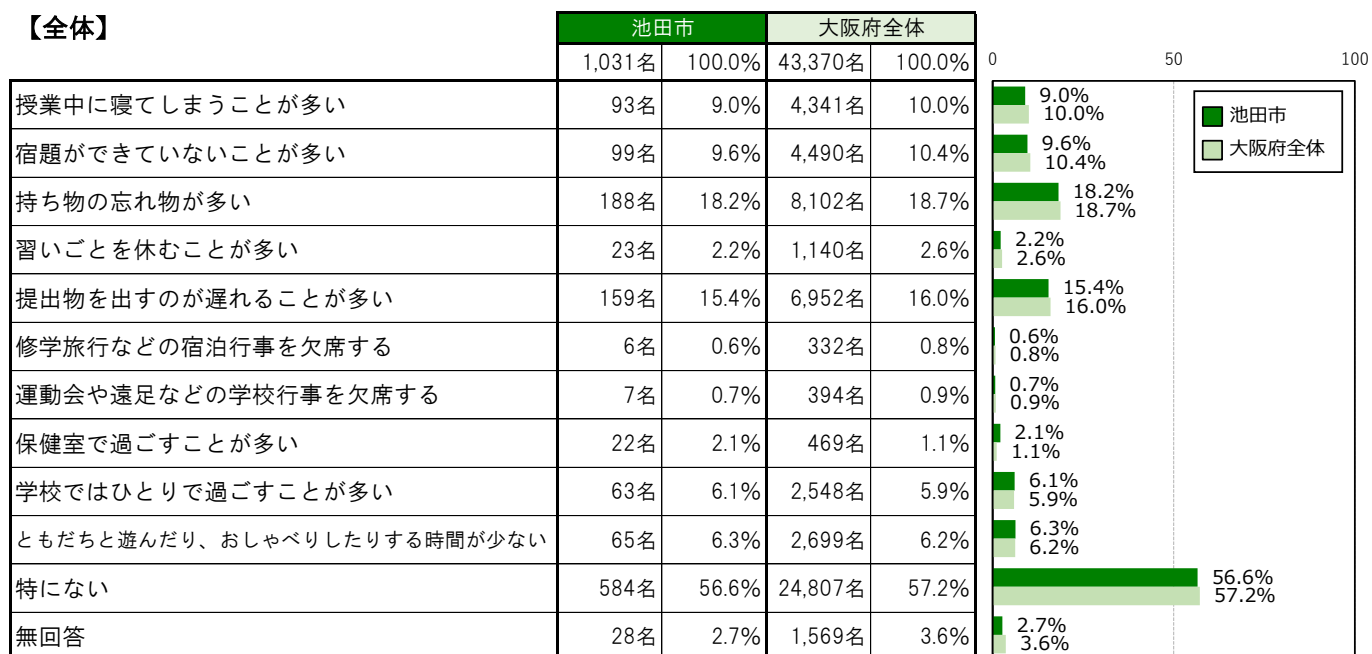
問16 学校や学校の行事等の状況

全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が18.2%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が15.4%、「宿題ができていないことが多い」が9.6%、「授業中に寝てしまうことが多い」が9.0%となっている。一方、「特にない」は56.6%となっている。

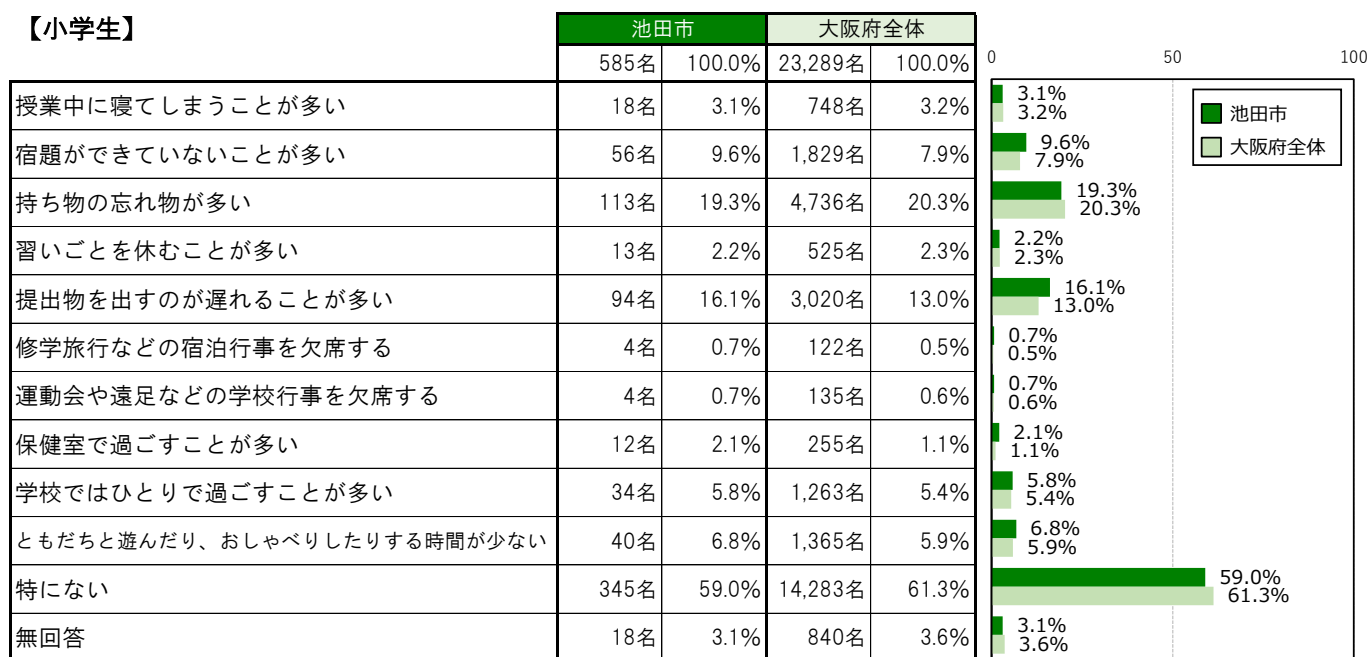
小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が19.3%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が16.1%、「宿題ができていないことが多い」が9.6%となっている。一方、「特にない」は59.0%となっている。

中学生は、「授業中に寝てしまうことが多い」が16.7%で最も多く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が16.4%、「提出物を出すのが遅れることが多い」が14.6%となっている。一方、「特にない」は53.9%となっている。

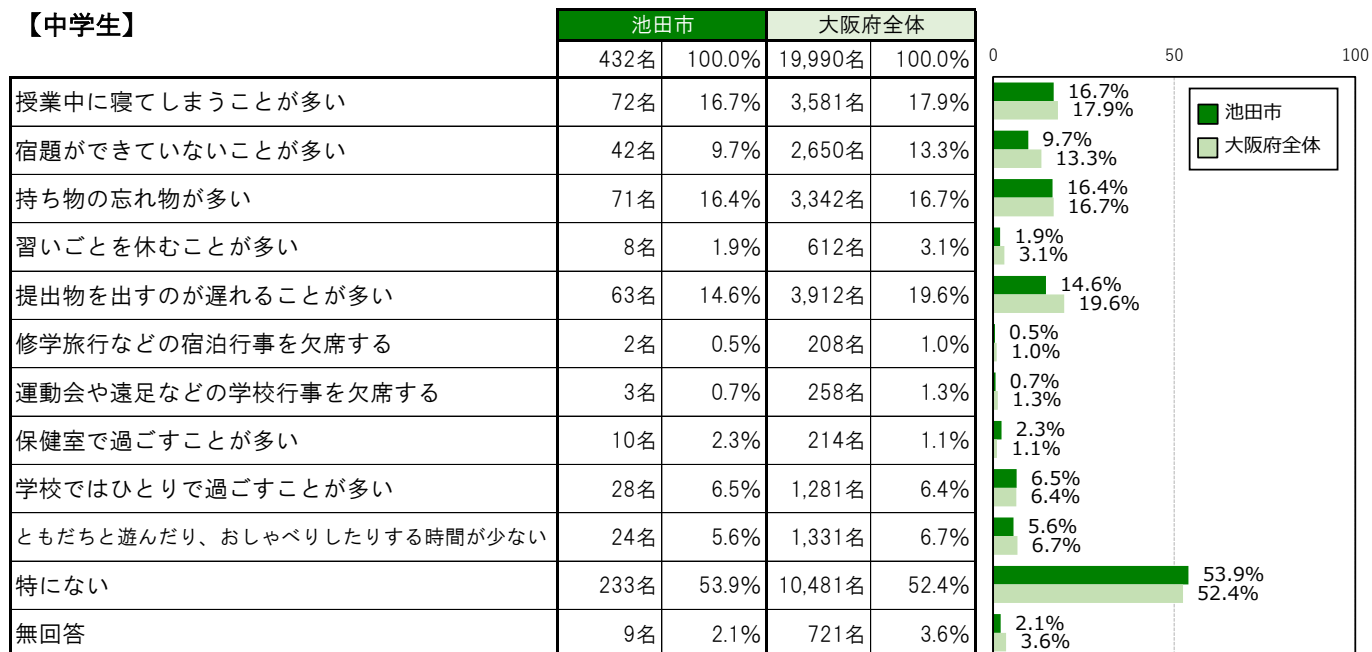
【全体】



【小学生】



【中学生】



ふだんの生活のことについて

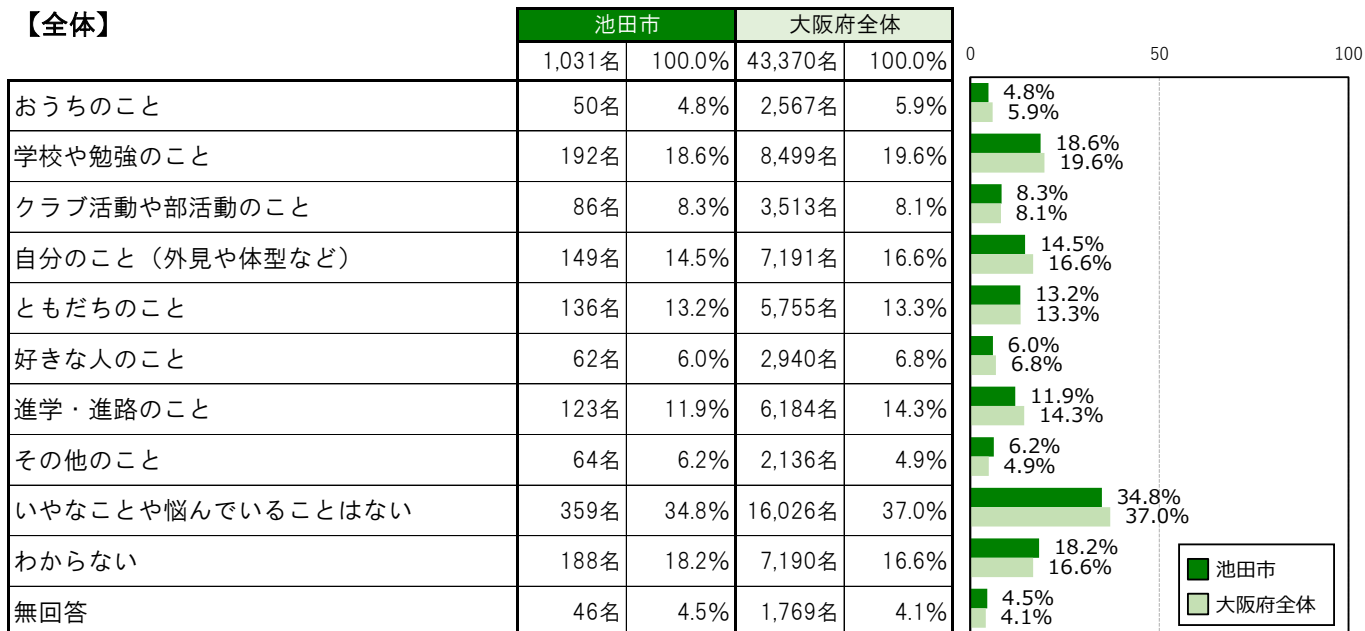
問17 嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が34.8%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が18.6%、「自分のこと（外見や体型など）」が14.5%、「ともだちのこと」が13.2%となっている。

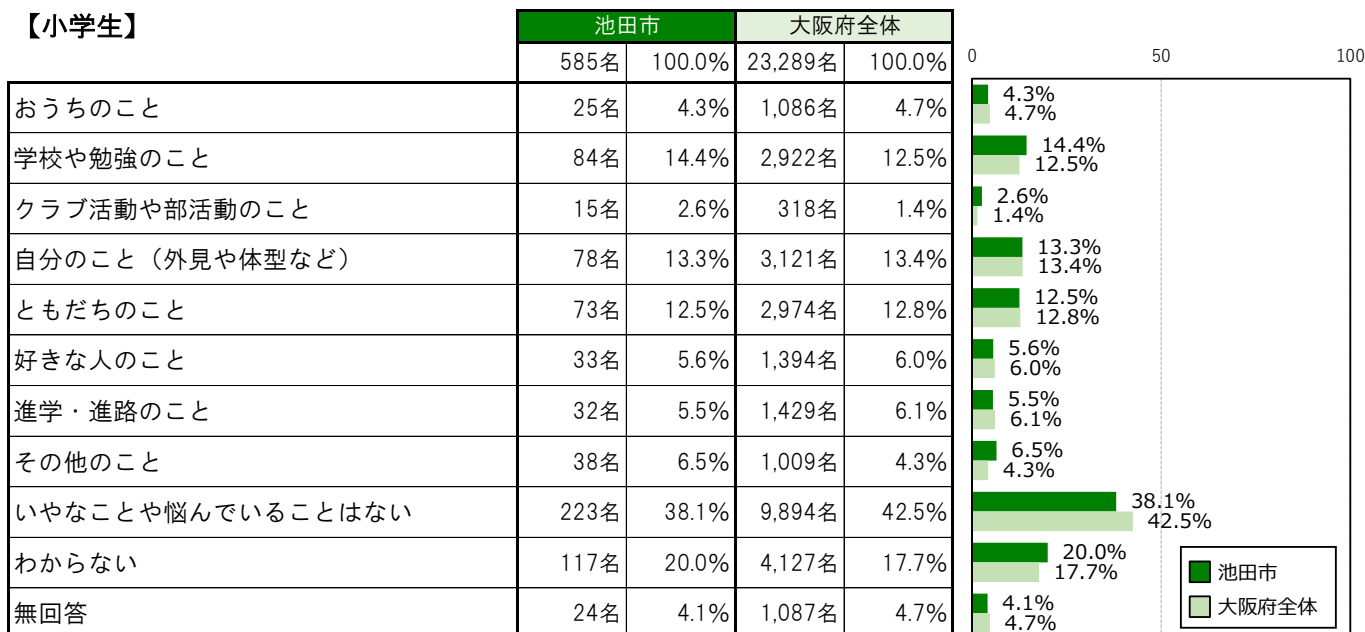
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が38.1%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が14.4%、「自分のこと（外見や体型など）」が13.3%、「ともだちのこと」が12.5%となっている。

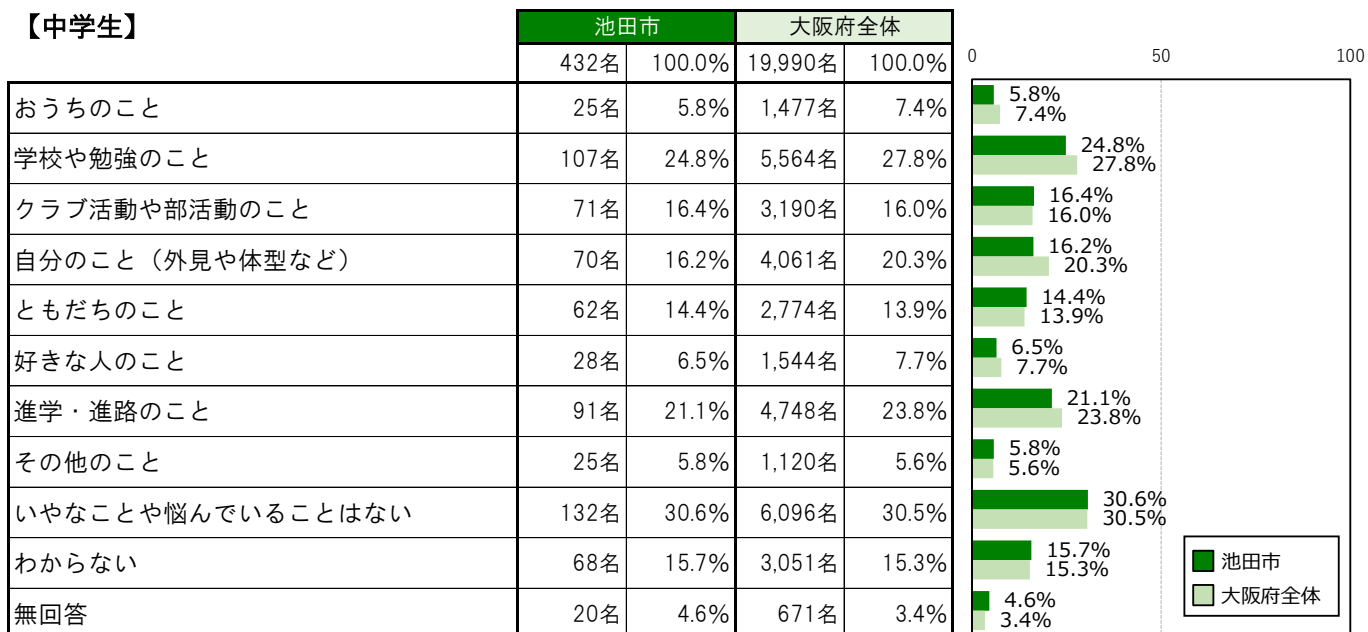
中学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が30.6%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が24.8%、「進学・進路のこと」が21.1%、「クラブ活動や部活動のこと」が16.4%となっている。

【全体】



【小学生】





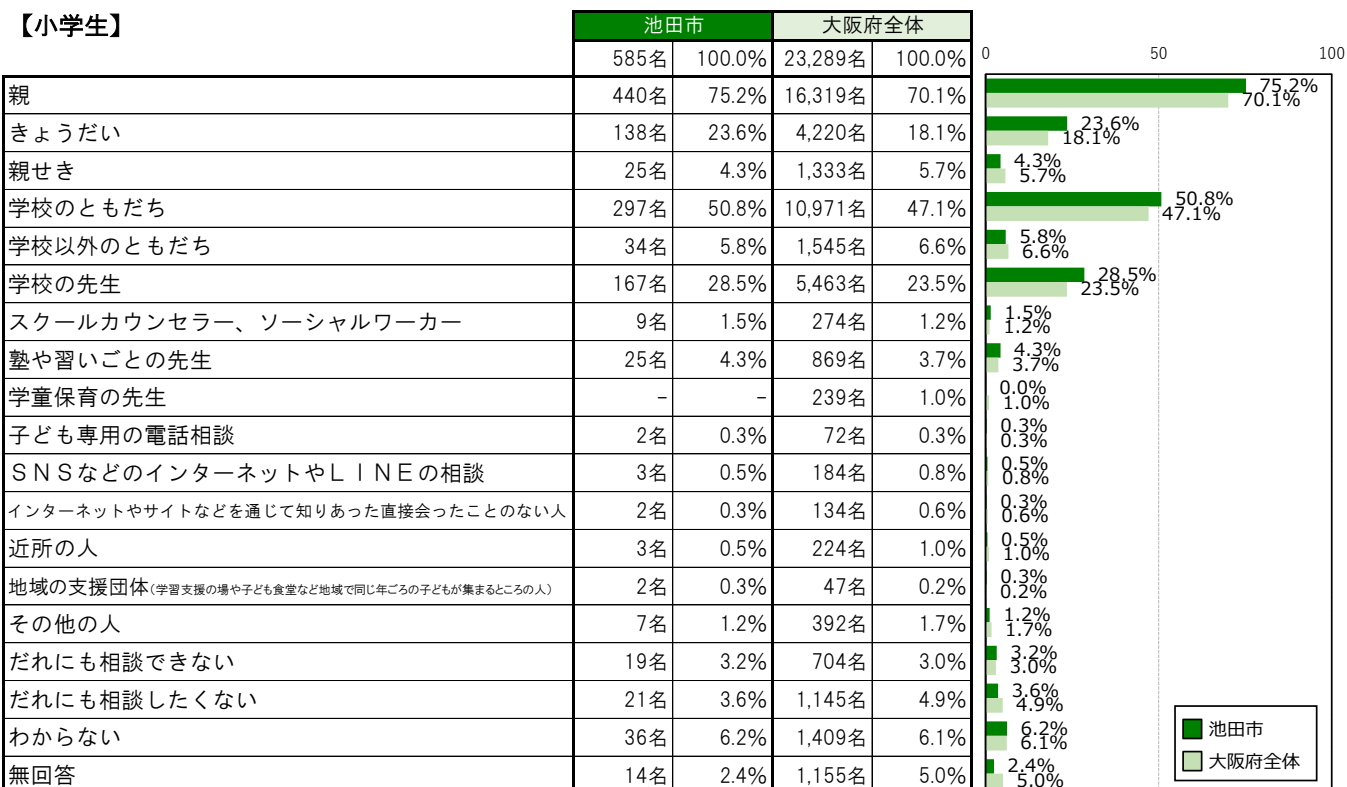
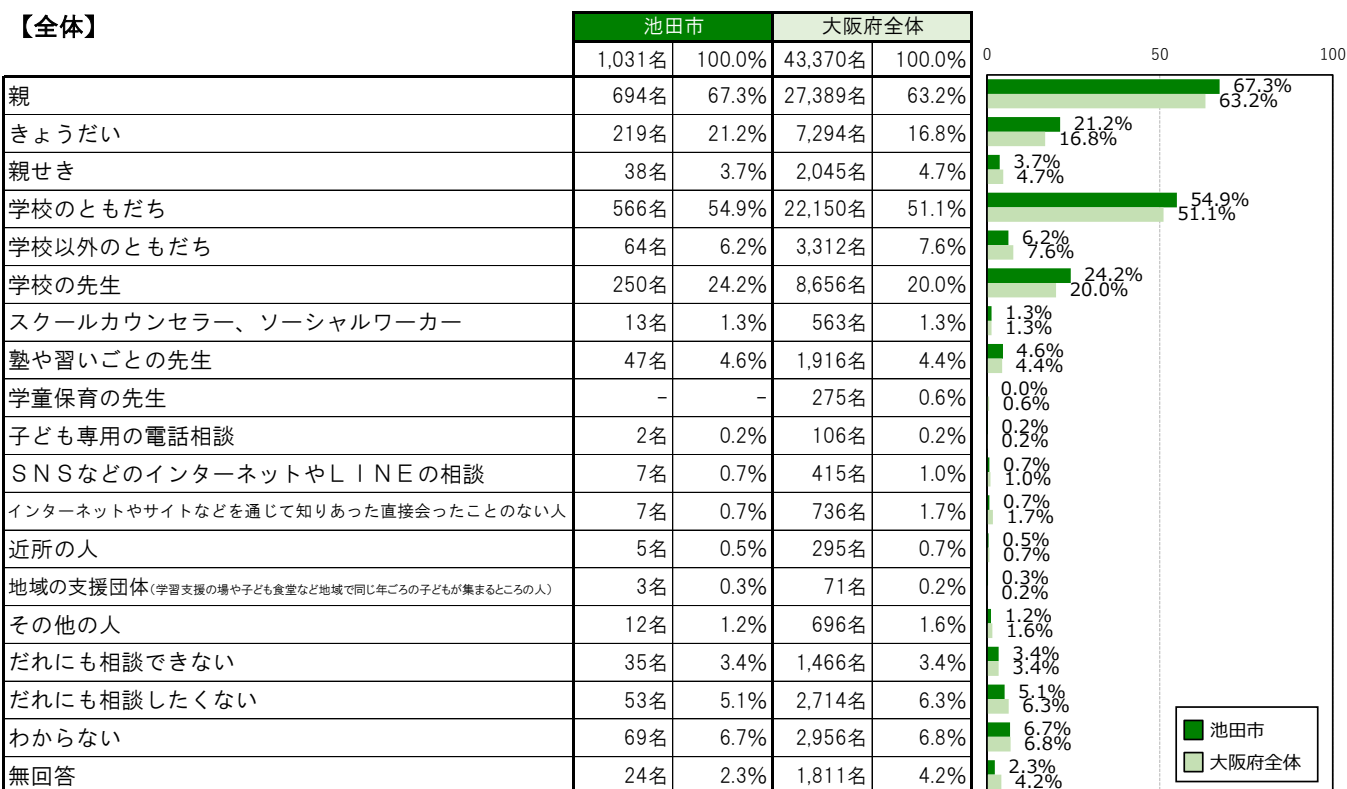
ふだんの生活のことについて

問18 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

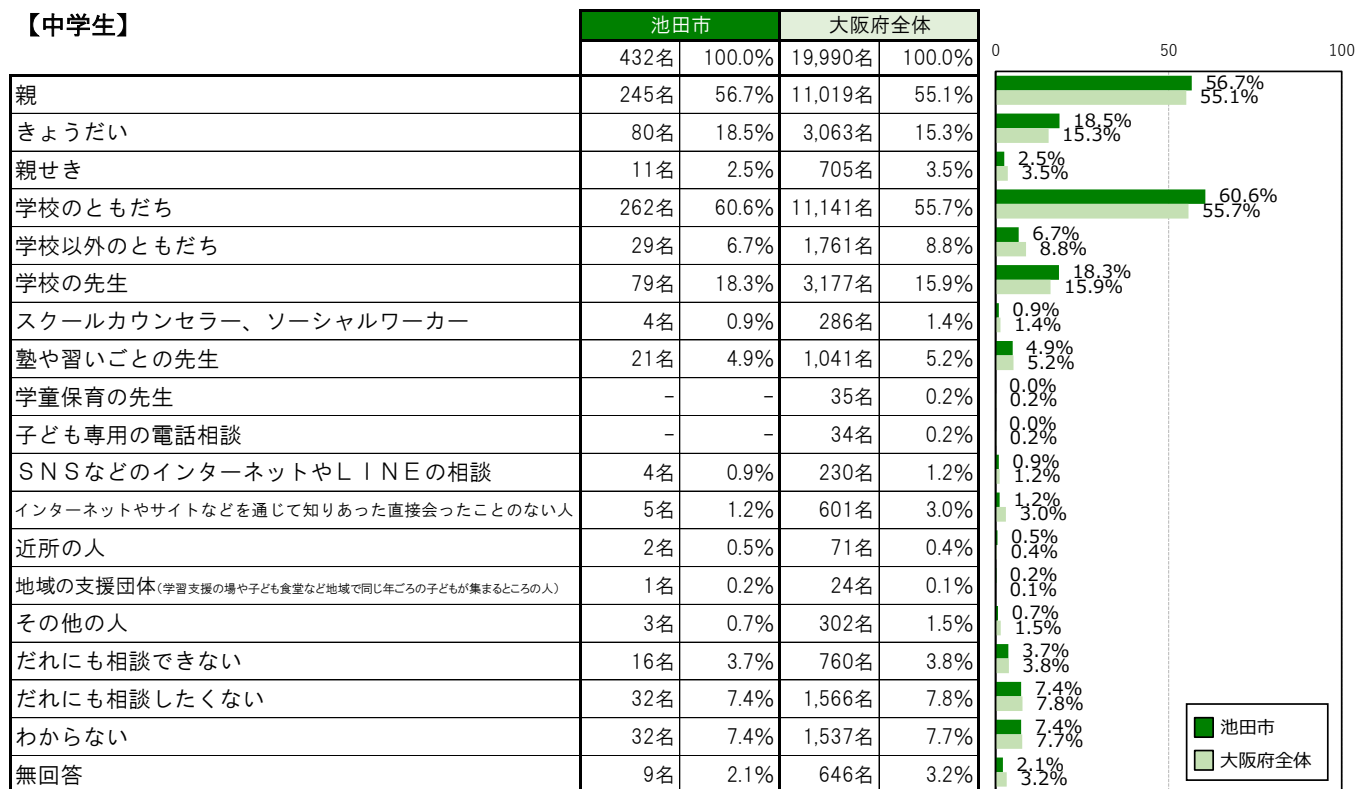
全体は、「親」が67.3%で最も多く、次いで「学校のともだち」が54.9%、「学校の先生」が24.2%、「きょうだい」が21.2%となっている。

小学生は、「親」が75.2%で最も多く、次いで「学校のともだち」が50.8%、「学校の先生」が28.5%、「きょうだい」が23.6%となっている。

中学生は、「学校のともだち」が60.6%で最も多く、次いで「親」が56.7%、「きょうだい」が18.5%、「学校の先生」が18.3%となっている。



【中学生】



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

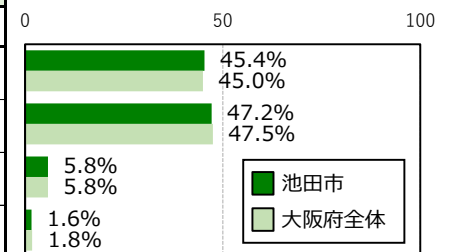
全体は、「ときどきそうだ」が47.2%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が45.4%、「そんなことはない」が5.8%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が48.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が46.2%、「そんなことはない」が3.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が48.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が41.0%、「そんなことはない」が9.7%となっている。

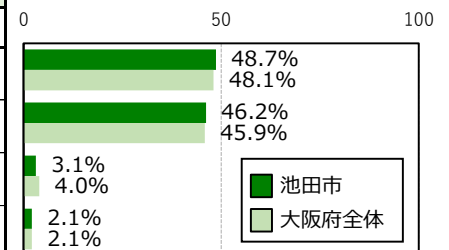
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	468名	45.4%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	487名	47.2%	20,583名	47.5%
そんなことはない	60名	5.8%	2,517名	5.8%
無回答	16名	1.6%	765名	1.8%



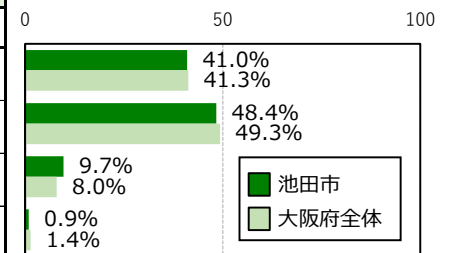
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	285名	48.7%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	270名	46.2%	10,683名	45.9%
そんなことはない	18名	3.1%	922名	4.0%
無回答	12名	2.1%	478名	2.1%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	177名	41.0%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	209名	48.4%	9,858名	49.3%
そんなことはない	42名	9.7%	1,595名	8.0%
無回答	4名	0.9%	281名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

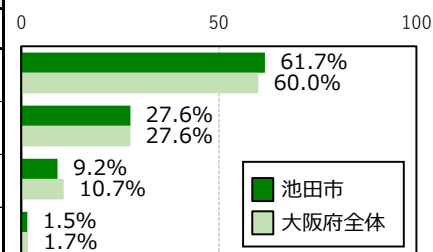
全体は、「いつもそうだ」が61.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.6%、「そんなことはない」が9.2%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が65.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が25.0%、「そんなことはない」が7.9%となっている。

中学生は、「いつもそうだ」が57.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.8%、「そんなことはない」が11.1%となっている。

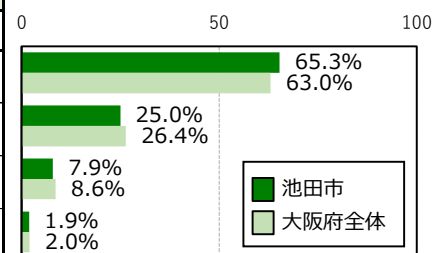
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	636名	61.7%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	285名	27.6%	11,956名	27.6%
そんなことはない	95名	9.2%	4,638名	10.7%
無回答	15名	1.5%	737名	1.7%



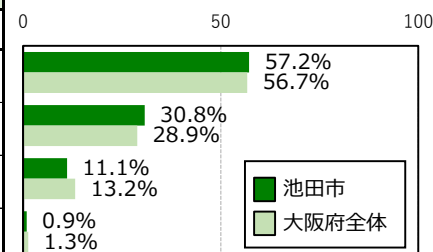
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	382名	65.3%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	146名	25.0%	6,154名	26.4%
そんなことはない	46名	7.9%	1,996名	8.6%
無回答	11名	1.9%	473名	2.0%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	247名	57.2%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	133名	30.8%	5,773名	28.9%
そんなことはない	48名	11.1%	2,634名	13.2%
無回答	4名	0.9%	258名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

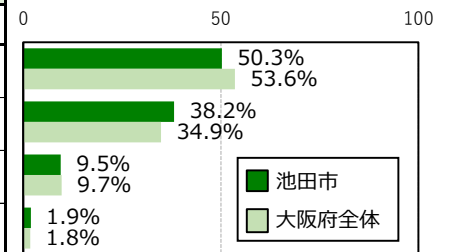
全体は、「いつもそうだ」が50.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.2%、「そんなことはない」が9.5%となっている。

小学生は、「いつもそうだ」が58.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が33.3%、「そんなことはない」が6.0%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が44.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が39.6%、「そんなことはない」が14.6%となっている。

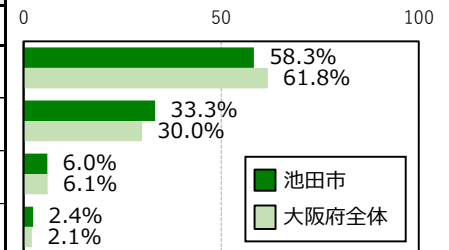
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	519名	50.3%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	394名	38.2%	15,146名	34.9%
そんなことはない	98名	9.5%	4,217名	9.7%
無回答	20名	1.9%	773名	1.8%



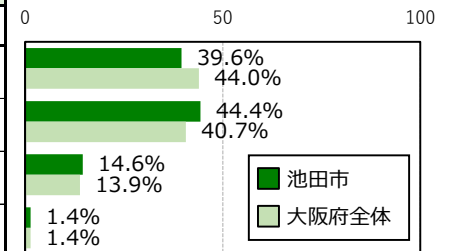
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	341名	58.3%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	195名	33.3%	6,978名	30.0%
そんなことはない	35名	6.0%	1,431名	6.1%
無回答	14名	2.4%	483名	2.1%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	171名	39.6%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	192名	44.4%	8,128名	40.7%
そんなことはない	63名	14.6%	2,782名	13.9%
無回答	6名	1.4%	284名	1.4%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

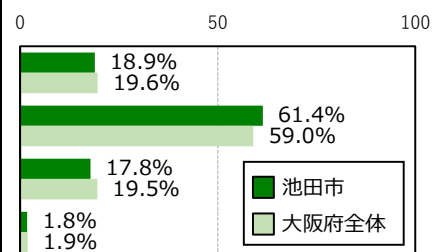
全体は、「ときどきそうだ」が61.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が18.9%、「そんなことはない」が17.8%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が60.9%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が22.7%、「そんなことはない」が13.8%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が61.8%で最も多く、次いで「そんなことはない」が23.6%、「いつもそうだ」が13.7%となっている。

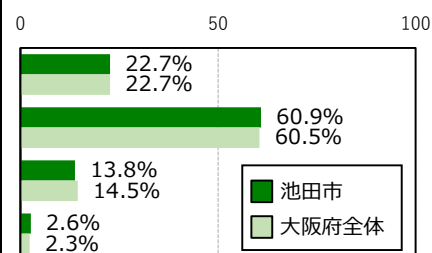
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	195名	18.9%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	633名	61.4%	25,567名	59.0%
そんなことはない	184名	17.8%	8,460名	19.5%
無回答	19名	1.8%	840名	1.9%



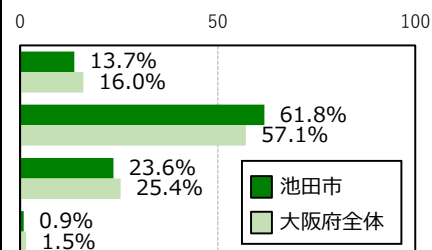
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	133名	22.7%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	356名	60.9%	14,099名	60.5%
そんなことはない	81名	13.8%	3,367名	14.5%
無回答	15名	2.6%	540名	2.3%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	59名	13.7%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	267名	61.8%	11,416名	57.1%
そんなことはない	102名	23.6%	5,081名	25.4%
無回答	4名	0.9%	294名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

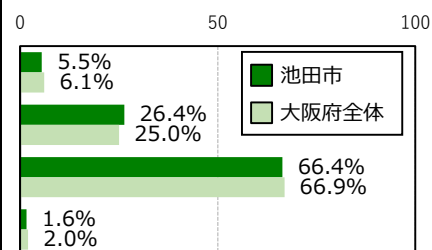
全体は、「そんなことはない」が66.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が26.4%、「いつもそうだ」が5.5%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が70.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が22.2%、「いつもそうだ」が5.0%となっている。

中学生は、「そんなことはない」が60.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が31.7%、「いつもそうだ」が6.5%となっている。

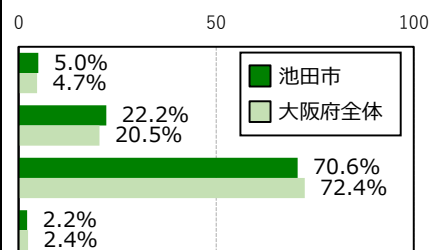
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	57名	5.5%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	272名	26.4%	10,860名	25.0%
そんなことはない	685名	66.4%	29,021名	66.9%
無回答	17名	1.6%	861名	2.0%



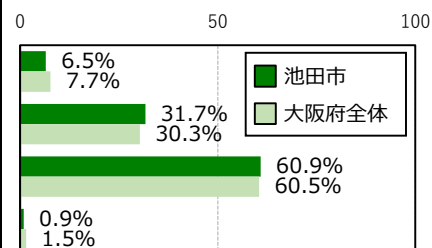
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	29名	5.0%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	130名	22.2%	4,776名	20.5%
そんなことはない	413名	70.6%	16,872名	72.4%
無回答	13名	2.2%	550名	2.4%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いつもそうだ	28名	6.5%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	137名	31.7%	6,057名	30.3%
そんなことはない	263名	60.9%	12,095名	60.5%
無回答	4名	0.9%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

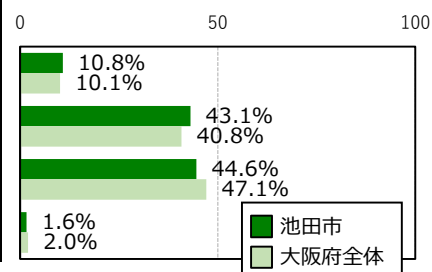
全体は、「そんなことはない」が44.6%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が43.1%、「いつもそうだ」が10.8%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が50.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.5%、「いつもそうだ」が9.1%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が49.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が36.6%、「いつもそうだ」が13.4%となっている。

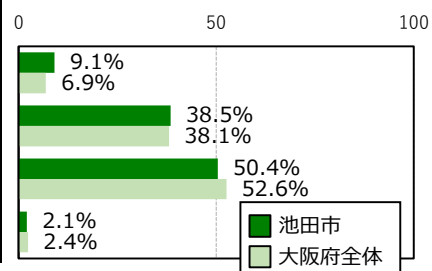
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	111名	10.8%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	444名	43.1%	17,713名	40.8%
そんなことはない	460名	44.6%	20,421名	47.1%
無回答	16名	1.6%	867名	2.0%



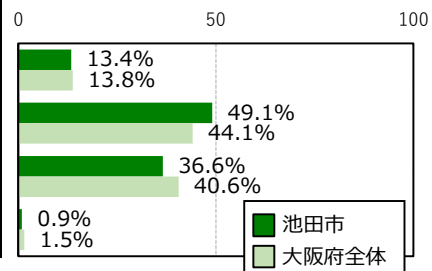
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	53名	9.1%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	225名	38.5%	8,865名	38.1%
そんなことはない	295名	50.4%	12,251名	52.6%
無回答	12名	2.1%	557名	2.4%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	58名	13.4%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	212名	49.1%	8,814名	44.1%
そんなことはない	158名	36.6%	8,122名	40.6%
無回答	4名	0.9%	304名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

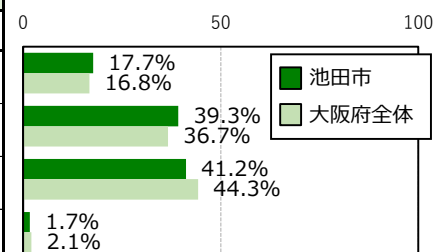
全体は、「そんなことはない」が41.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.3%、「いつもそうだ」が17.7%となっている。

小学生は、「そんなことはない」が50.3%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.7%、「いつもそうだ」が12.6%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が44.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が29.4%、「いつもそうだ」が25.2%となっている。

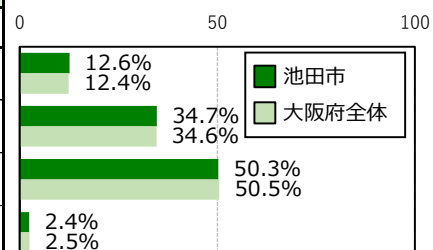
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	183名	17.7%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	405名	39.3%	15,932名	36.7%
そんなことはない	425名	41.2%	19,222名	44.3%
無回答	18名	1.7%	916名	2.1%



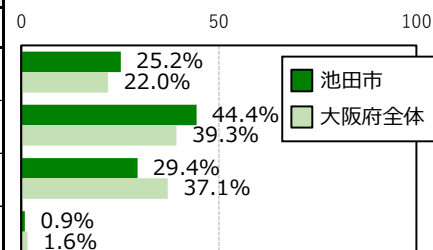
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	74名	12.6%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	203名	34.7%	8,049名	34.6%
そんなことはない	294名	50.3%	11,759名	50.5%
無回答	14名	2.4%	588名	2.5%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	109名	25.2%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	192名	44.4%	7,848名	39.3%
そんなことはない	127名	29.4%	7,422名	37.1%
無回答	4名	0.9%	321名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

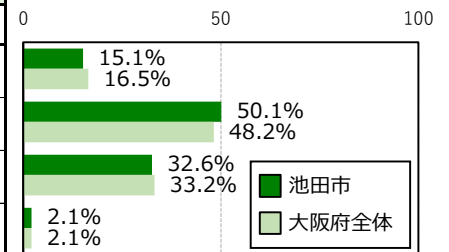
全体は、「ときどきそうだ」が50.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が32.6%、「いつもそうだ」が15.1%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が44.6%で最も多く、次いで「そんなことはない」が41.7%、「いつもそうだ」が10.6%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が56.9%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が21.8%、「そんなことはない」が20.4%となっている。

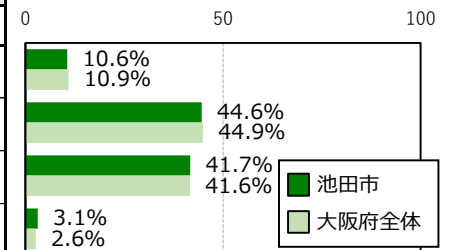
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	156名	15.1%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	517名	50.1%	20,902名	48.2%
そんなことはない	336名	32.6%	14,387名	33.2%
無回答	22名	2.1%	929名	2.1%



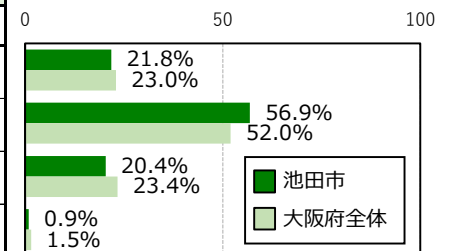
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	62名	10.6%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	261名	44.6%	10,454名	44.9%
そんなことはない	244名	41.7%	9,677名	41.6%
無回答	18名	3.1%	617名	2.6%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	94名	21.8%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	246名	56.9%	10,396名	52.0%
そんなことはない	88名	20.4%	4,682名	23.4%
無回答	4名	0.9%	306名	1.5%



ふだんの生活のことについて

問19 この一週間の気持ちの状況 ⑨いろいろする

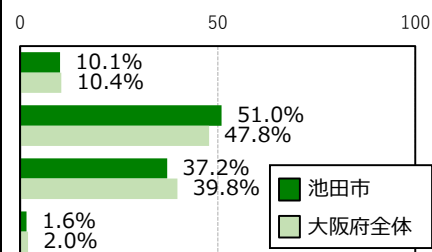
全体は、「ときどきそうだ」が51.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.2%、「いつもそうだ」が10.1%となっている。

小学生は、「ときどきそうだ」が50.4%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.1%、「いつもそうだ」が10.3%となっている。

中学生は、「ときどきそうだ」が52.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が36.8%、「いつもそうだ」が10.0%となっている。

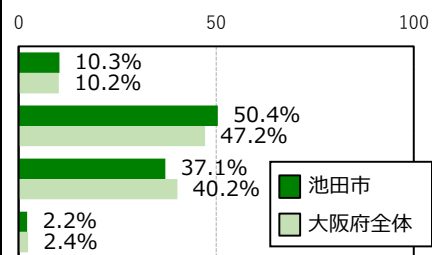
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	104名	10.1%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	526名	51.0%	20,712名	47.8%
そんなことはない	384名	37.2%	17,270名	39.8%
無回答	17名	1.6%	863名	2.0%



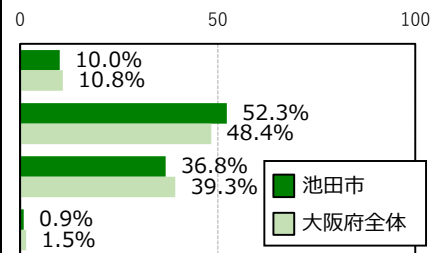
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	60名	10.3%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	295名	50.4%	10,997名	47.2%
そんなことはない	217名	37.1%	9,370名	40.2%
無回答	13名	2.2%	558名	2.4%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	43名	10.0%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	226名	52.3%	9,674名	48.4%
そんなことはない	159名	36.8%	7,865名	39.3%
無回答	4名	0.9%	299名	1.5%



ふだんの生活のことについて

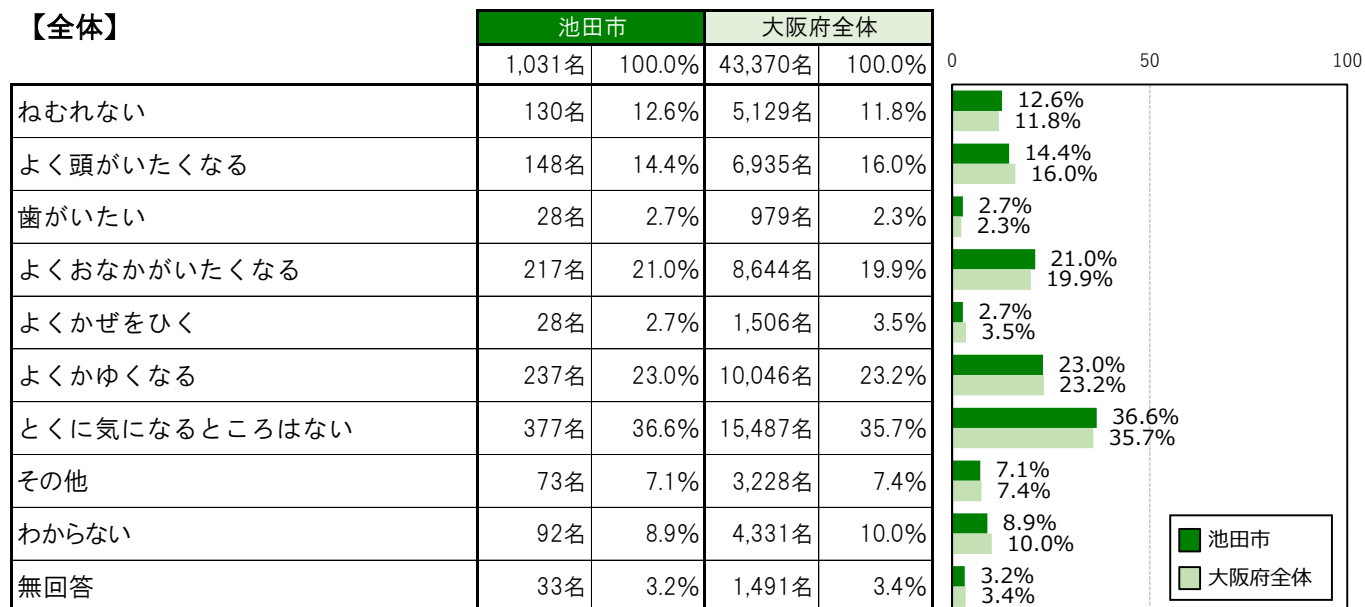
問20 自分の体の状態で気になること

全体は、「とくに気になるところはない」が36.6%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が23.0%、「よくおなかがいたくなる」が21.0%、「よく頭がいたくなる」が14.4%となっている。

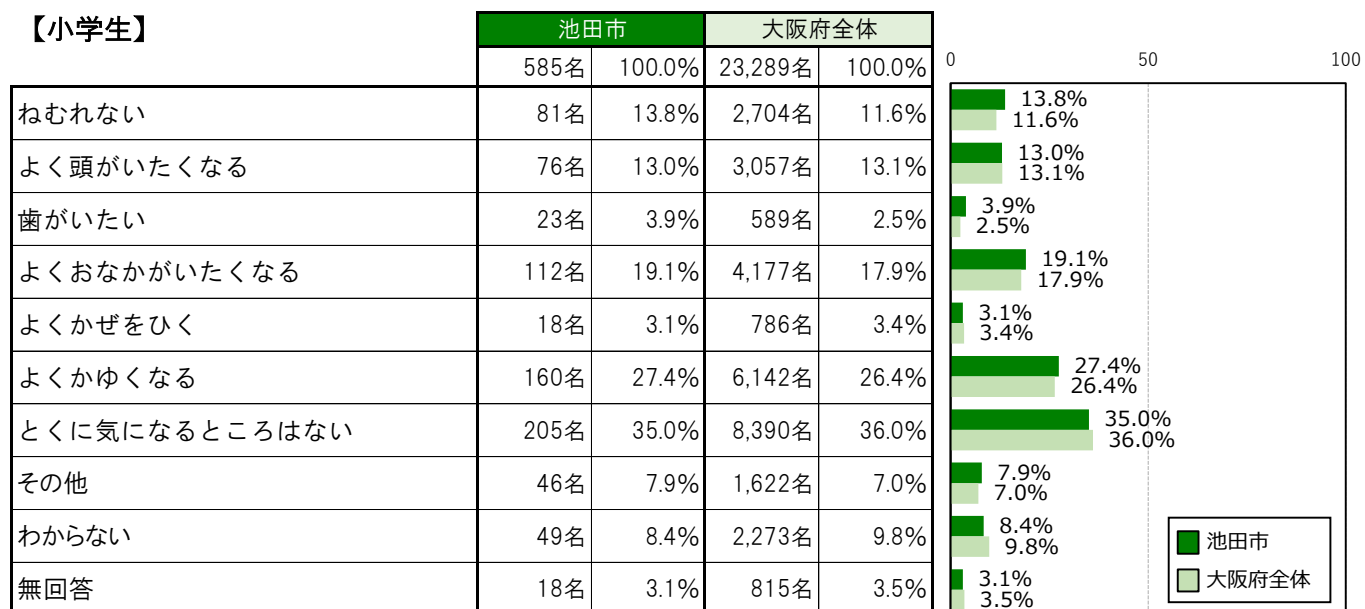
小学生は、「とくに気になるところはない」が35.0%で最も多く、次いで「よくかゆくなる」が27.4%、「よくおなかがいたくなる」が19.1%、「ねむれない」が13.8%となっている。

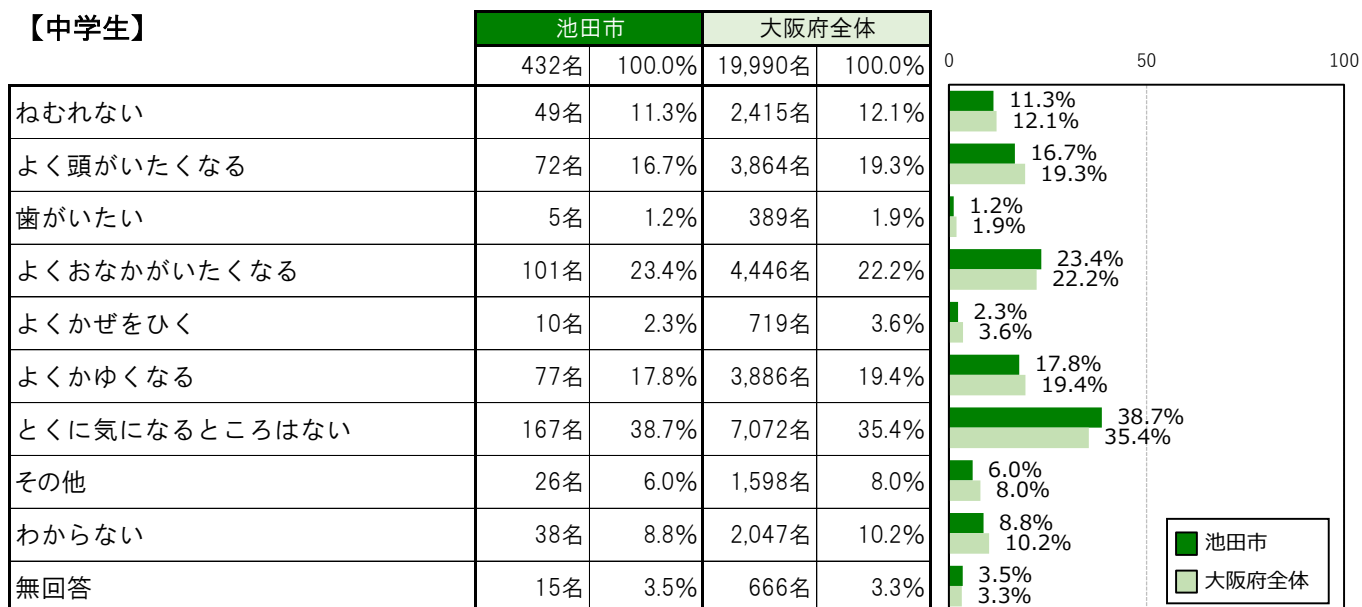
中学生は、「とくに気になるところはない」が38.7%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が23.4%、「よくかゆくなる」が17.8%、「よく頭がいたくなる」が16.7%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだんの生活のことについて

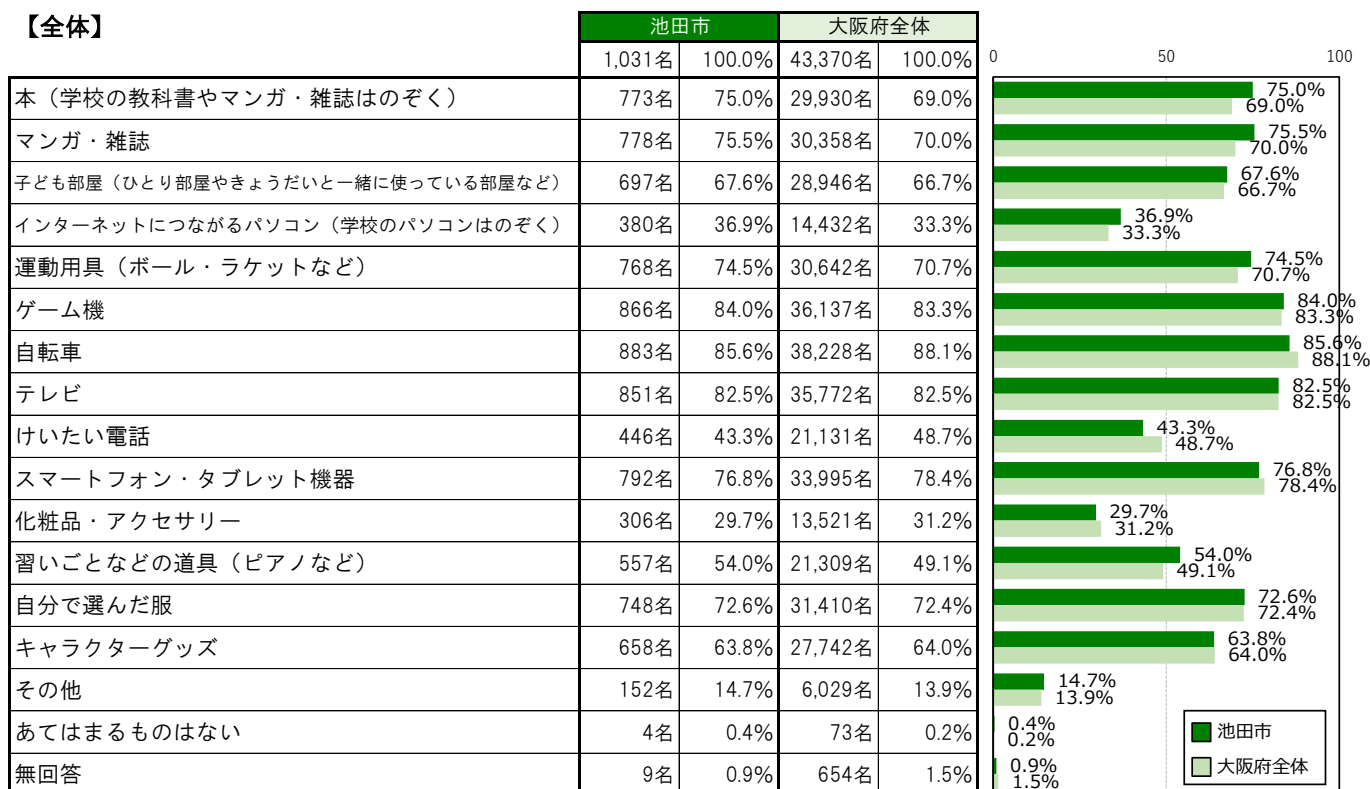
問21 持っているもの、使うことができるもの

全体は、「自転車」が85.6%で最も多く、次いで「ゲーム機」が84.0%、「テレビ」が82.5%、「スマートフォン・タブレット機器」が76.8%となっている。

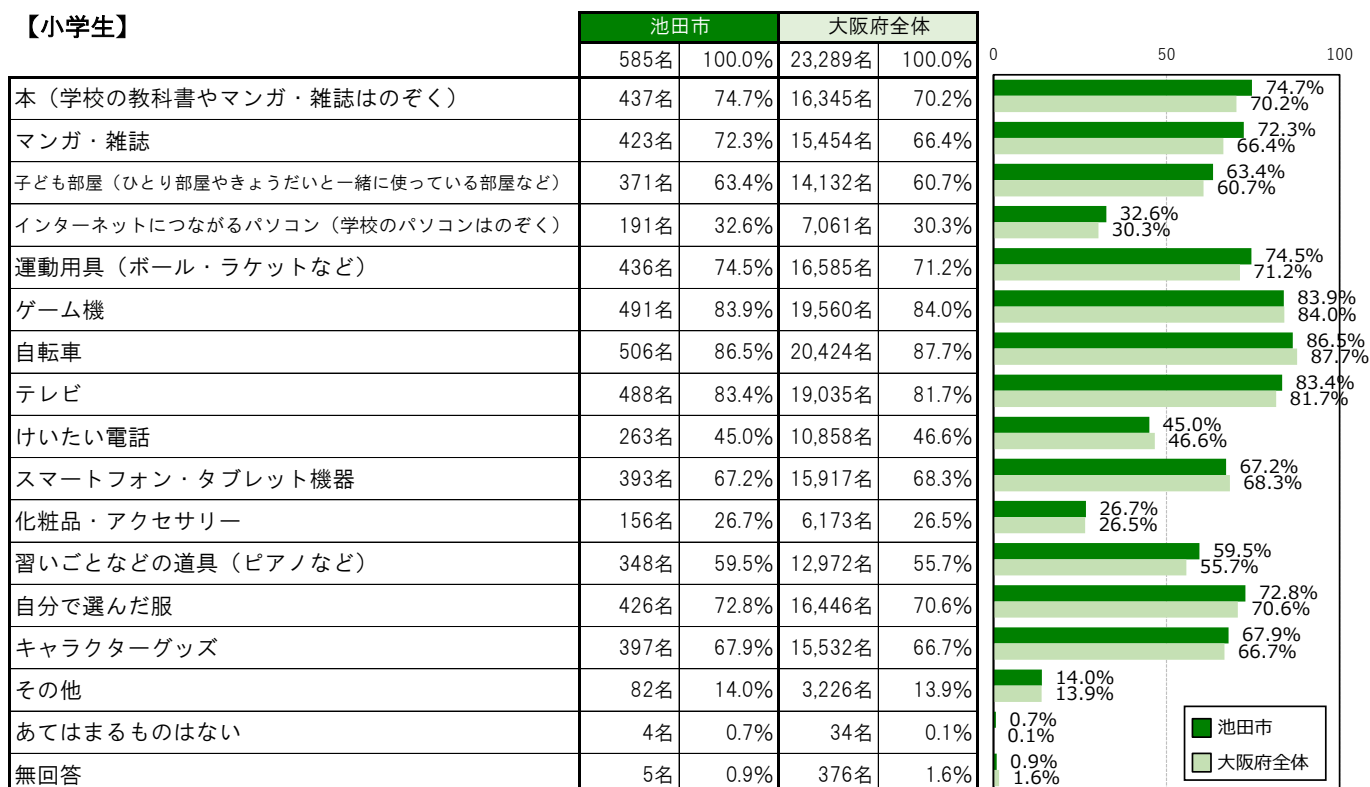
小学生は、「自転車」が86.5%で最も多く、次いで「ゲーム機」が83.9%、「テレビ」が83.4%、「本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）」が74.7%となっている。

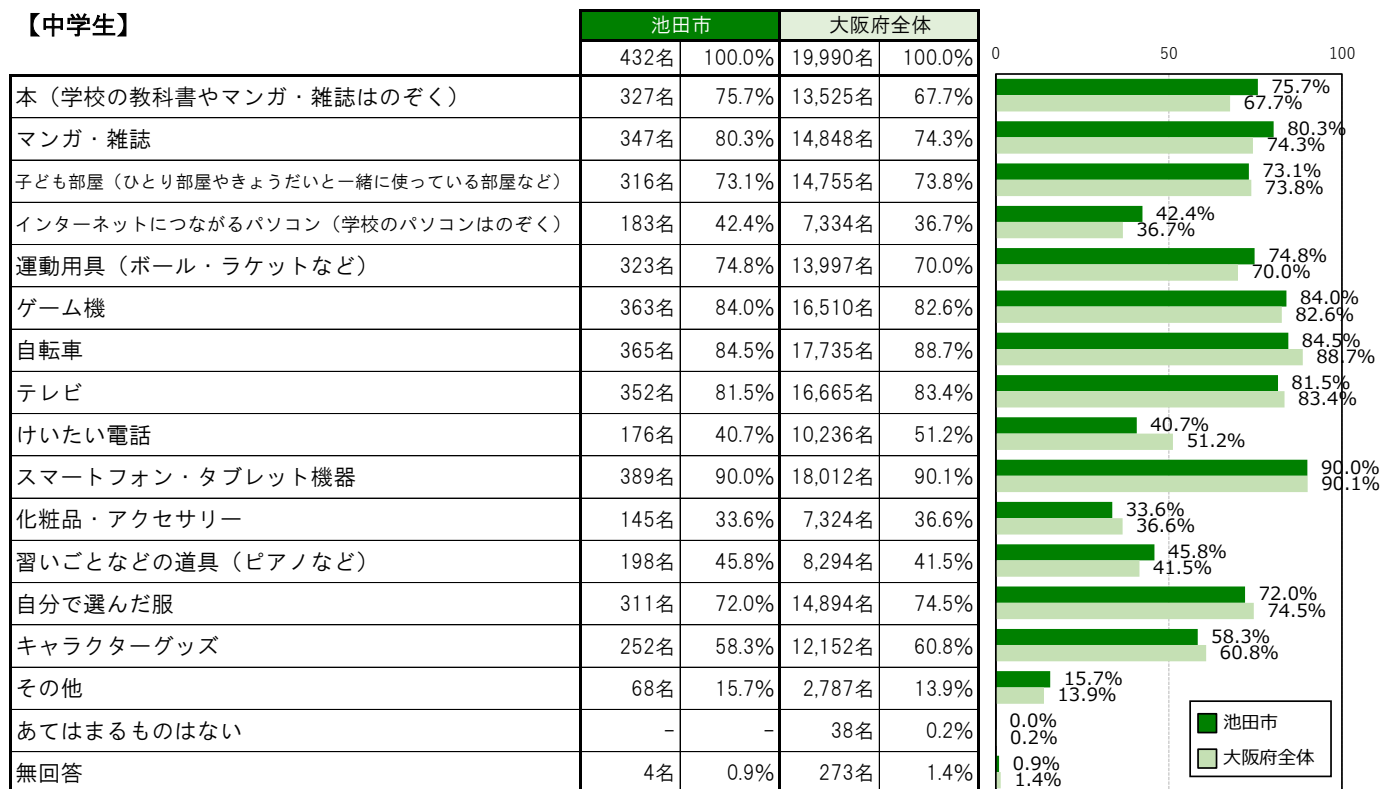
中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」が90.0%で最も多く、次いで「自転車」が84.5%、「ゲーム機」が84.0%、「テレビ」が81.5%となっている。

【全体】



【小学生】





ふだん考えていることについて

問22 すぐに立ち直ることができる

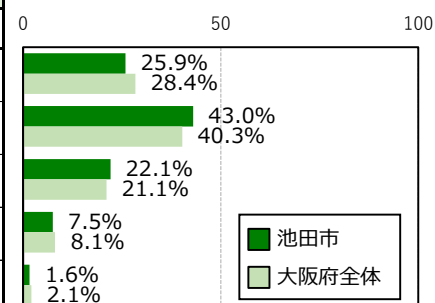
全体は、「どちらかというと思う」が43.0%で最も多く、次いで「そう思う」が25.9%、「どちらかというと思わない」が22.1%となっている。

小学生は、「どちらかというと思う」が42.2%で最も多く、次いで「そう思う」が29.7%、「どちらかというと思わない」が19.8%となっている。

中学生は、「どちらかというと思う」が43.1%で最も多く、次いで「どちらかというと思わない」が25.5%、「そう思う」が21.1%となっている。

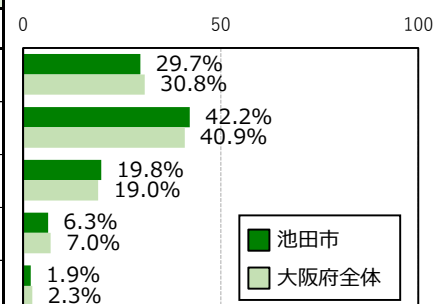
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
そう思う	267名	25.9%	12,318名	28.4%
どちらかというと思う	443名	43.0%	17,480名	40.3%
どちらかというと思わない	228名	22.1%	9,144名	21.1%
そう思わない	77名	7.5%	3,521名	8.1%
無回答	16名	1.6%	907名	2.1%



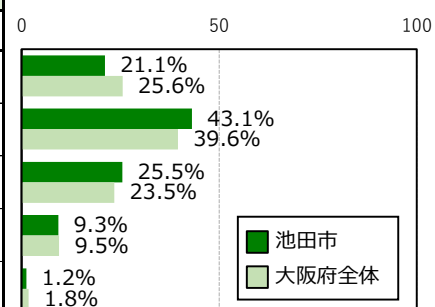
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
そう思う	174名	29.7%	7,172名	30.8%
どちらかというと思う	247名	42.2%	9,521名	40.9%
どちらかというと思わない	116名	19.8%	4,431名	19.0%
そう思わない	37名	6.3%	1,625名	7.0%
無回答	11名	1.9%	540名	2.3%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
そう思う	91名	21.1%	5,119名	25.6%
どちらかというと思う	186名	43.1%	7,917名	39.6%
どちらかというと思わない	110名	25.5%	4,703名	23.5%
そう思わない	40名	9.3%	1,891名	9.5%
無回答	5名	1.2%	360名	1.8%



ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（１）自分に自信がある

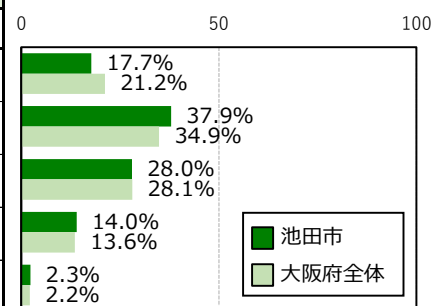
全体は、「どちらかというところがある」が37.9%で最も多く、次いで「どちらかというところはない」が28.0%、「ある」が17.7%となっている。

小学生は、「どちらかというところがある」が42.2%で最も多く、次いで「ある」が23.1%、「どちらかというところはない」が22.6%となっている。

中学生は、「どちらかというところはない」が35.0%で最も多く、次いで「どちらかというところがある」が32.6%、「ない」が19.9%となっている。

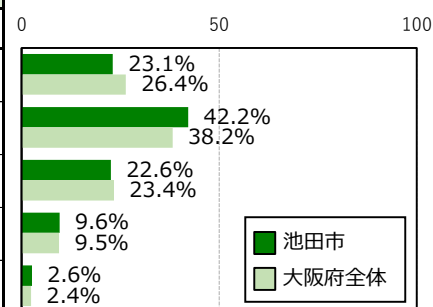
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
ある	183名	17.7%	9,192名	21.2%
どちらかというところがある	391名	37.9%	15,132名	34.9%
どちらかというところはない	289名	28.0%	12,192名	28.1%
ない	144名	14.0%	5,898名	13.6%
無回答	24名	2.3%	956名	2.2%



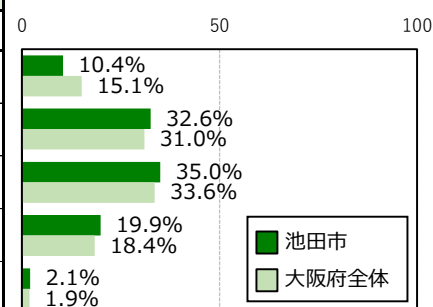
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
ある	135名	23.1%	6,157名	26.4%
どちらかというところがある	247名	42.2%	8,904名	38.2%
どちらかというところはない	132名	22.6%	5,450名	23.4%
ない	56名	9.6%	2,211名	9.5%
無回答	15名	2.6%	567名	2.4%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
ある	45名	10.4%	3,011名	15.1%
どちらかというところがある	141名	32.6%	6,202名	31.0%
どちらかというところはない	151名	35.0%	6,716名	33.6%
ない	86名	19.9%	3,679名	18.4%
無回答	9名	2.1%	382名	1.9%



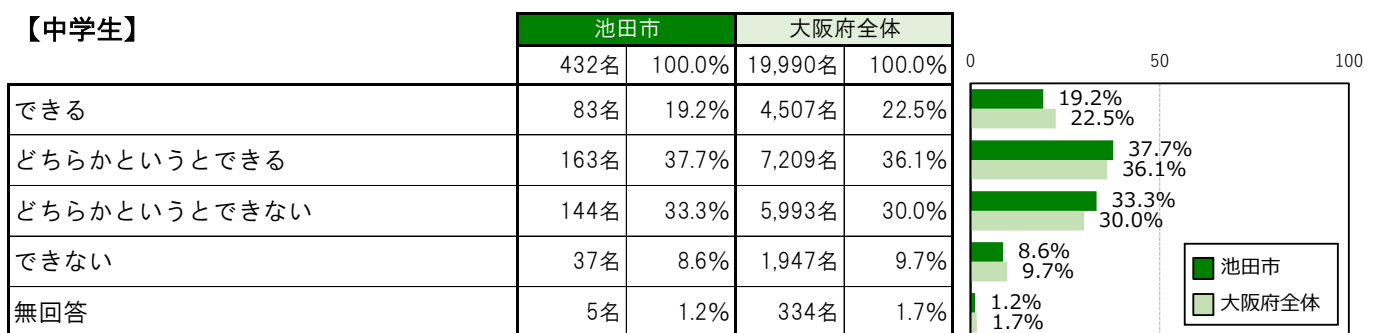
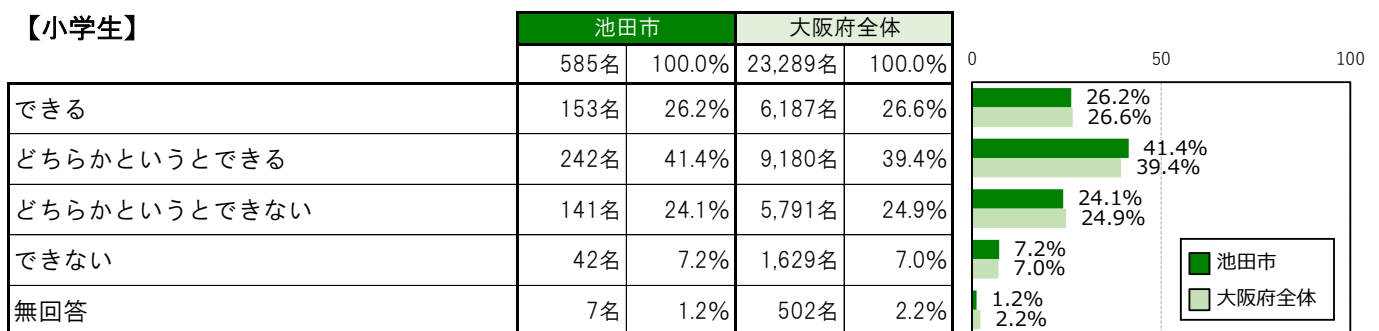
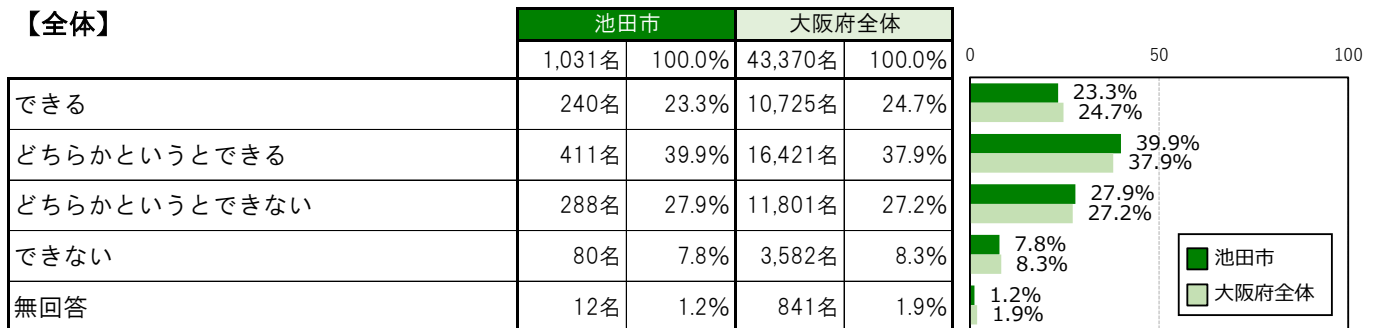
ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体は、「どちらかというところできる」が39.9%で最も多く、次いで「どちらかというところできない」が27.9%、「できる」が23.3%となっている。

小学生は、「どちらかというところできる」が41.4%で最も多く、次いで「できる」が26.2%、「どちらかというところできない」が24.1%となっている。

中学生は、「どちらかというところできる」が37.7%で最も多く、次いで「どちらかというところできない」が33.3%、「できる」が19.2%となっている。



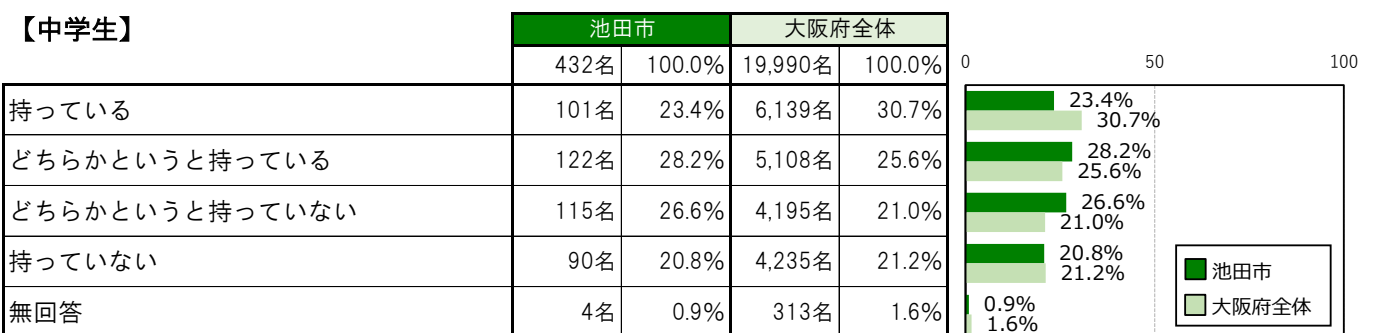
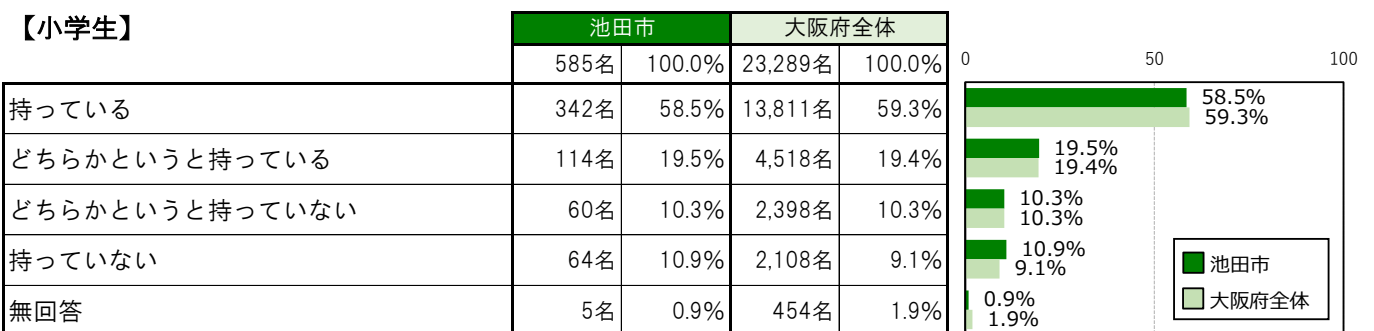
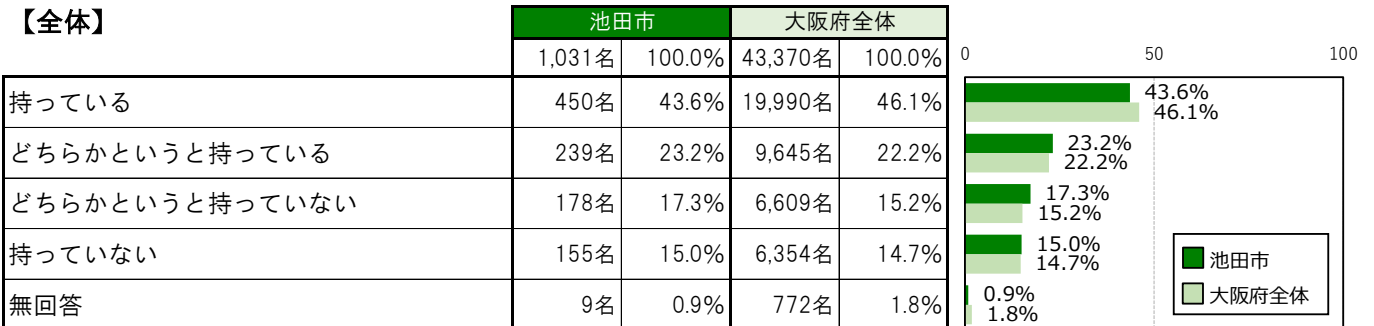
ふだん考えていることについて

問23 ふだん考えていること（3）自分の将来の夢や目標を持っている

全体は、「持っている」が43.6%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が23.2%、「どちらかというを持っていない」が17.3%となっている。

小学生は、「持っている」が58.5%で最も多く、次いで「どちらかというを持っている」が19.5%、「持ってない」が10.9%となっている。

中学生は、「どちらかというを持っている」が28.2%で最も多く、次いで「どちらかというを持っていない」が26.6%、「持っている」が23.4%となっている。



ふだん考えていることについて

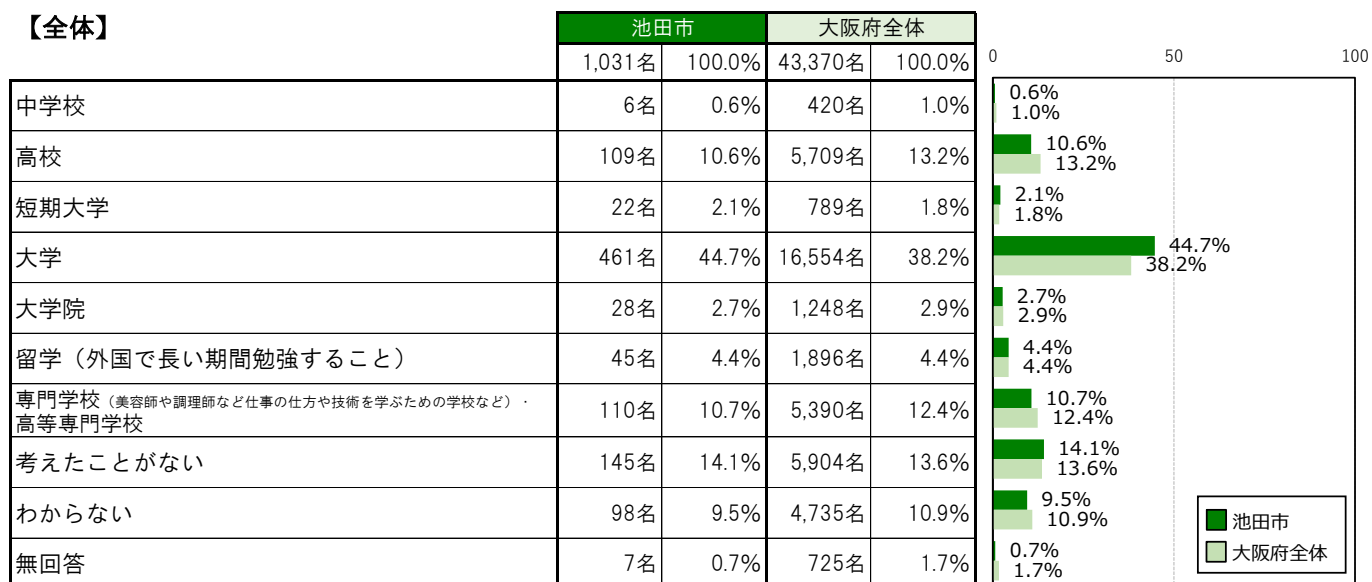
問24 希望する進学先

全体は、「大学」が44.7%で最も多く、次いで「考えたことがない」が14.1%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が10.7%、「高校」が10.6%となっている。

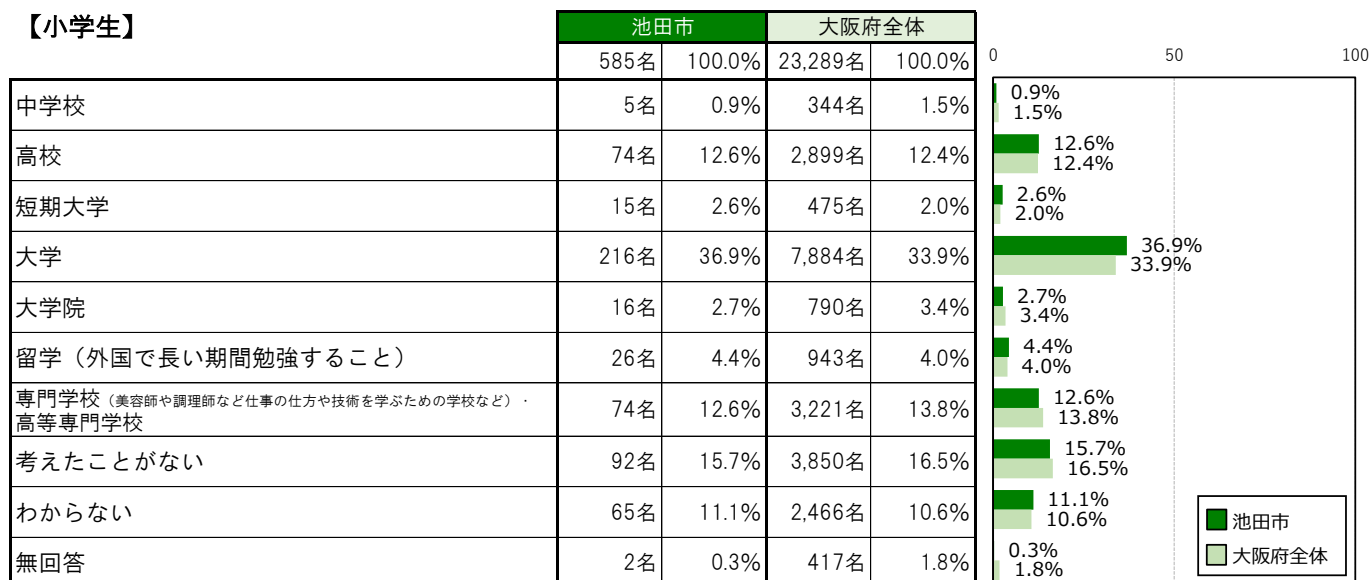
小学生は、「大学」が36.9%で最も多く、次いで「考えたことがない」が15.7%、「高校」と「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」がそれぞれ12.6%となっている。

中学生は、「大学」が56.0%で最も多く、次いで「考えたことがない」が11.6%、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が8.1%、「高校」が7.6%となっている。

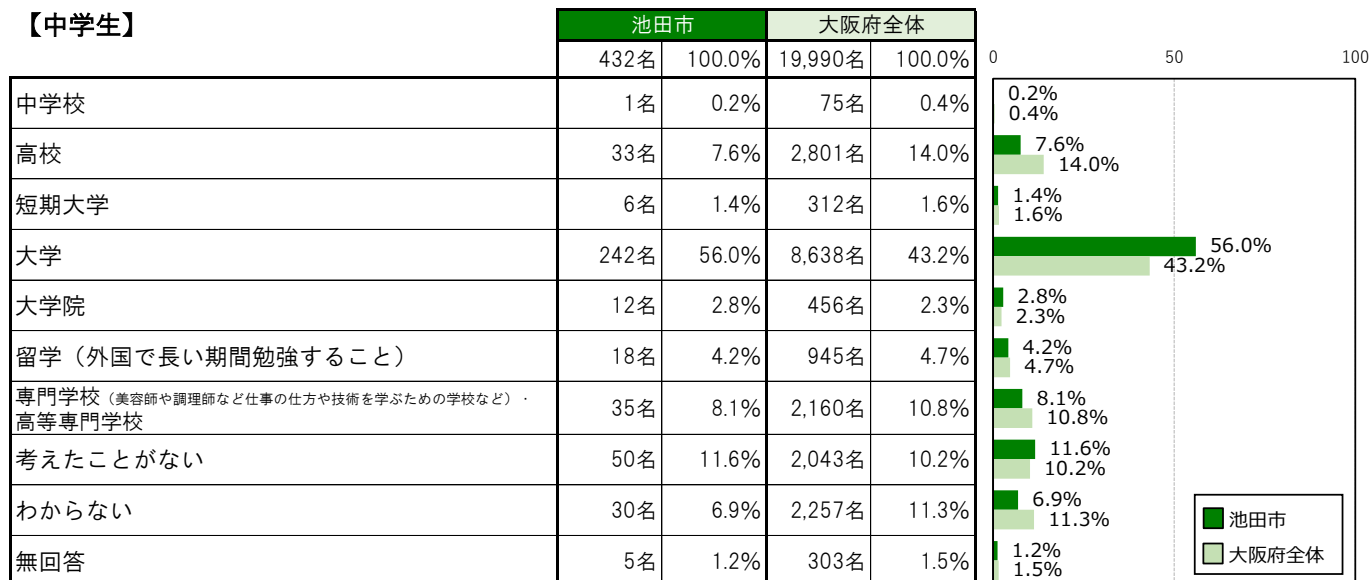
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

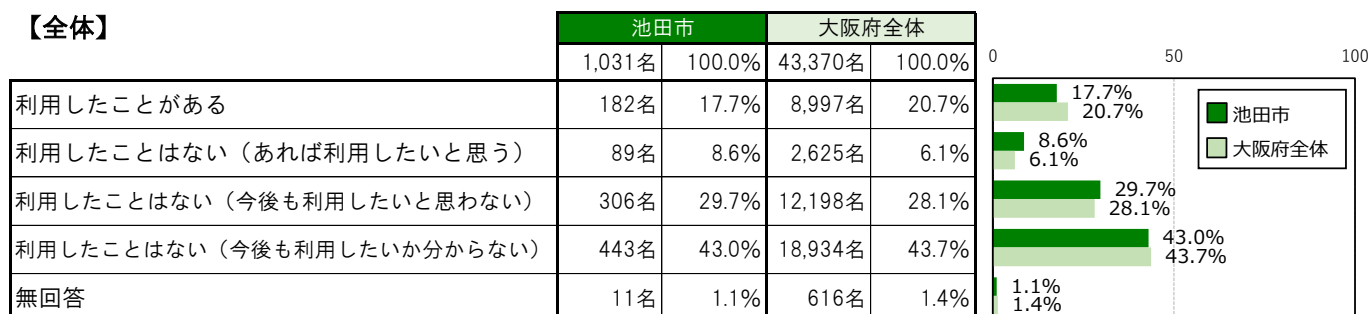
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が43.0%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.7%、「利用したことがある」が17.7%となっている。

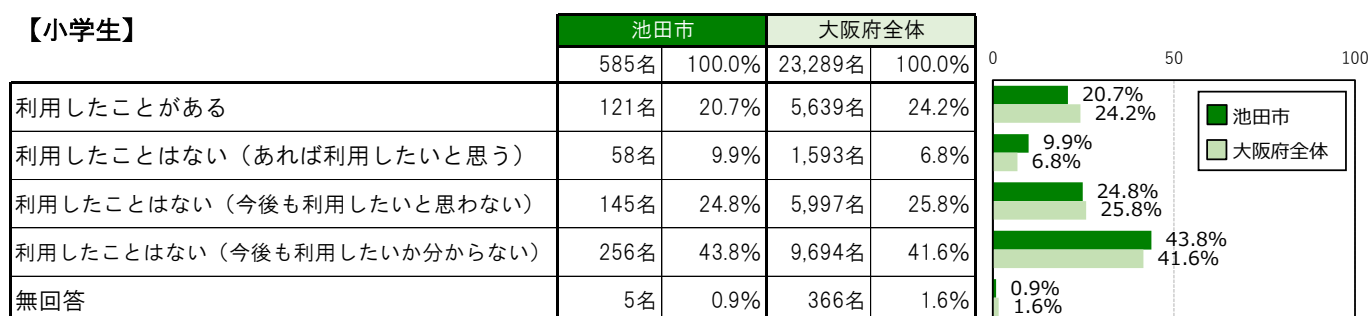
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が43.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.8%、「利用したことがある」が20.7%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が42.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が35.9%、「利用したことがある」が13.7%となっている。

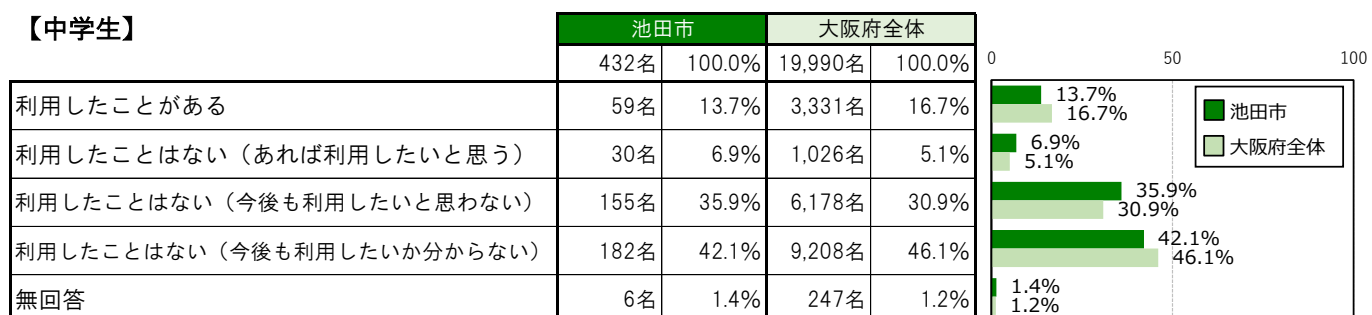
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

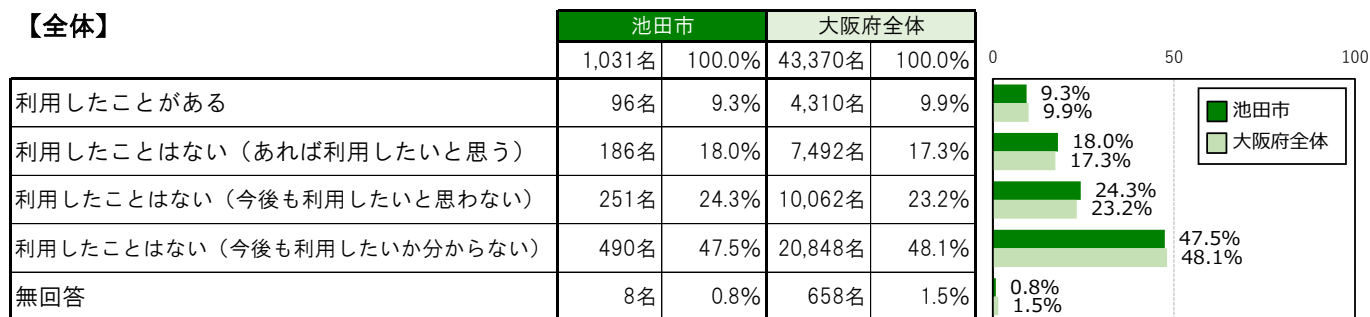
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が47.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が18.0%となっている。

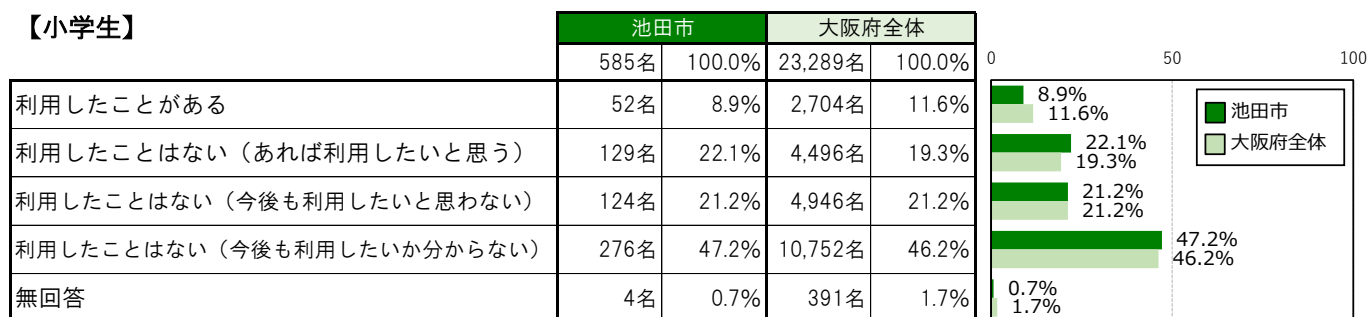
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が47.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.1%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.2%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が12.7%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.5%となっている。

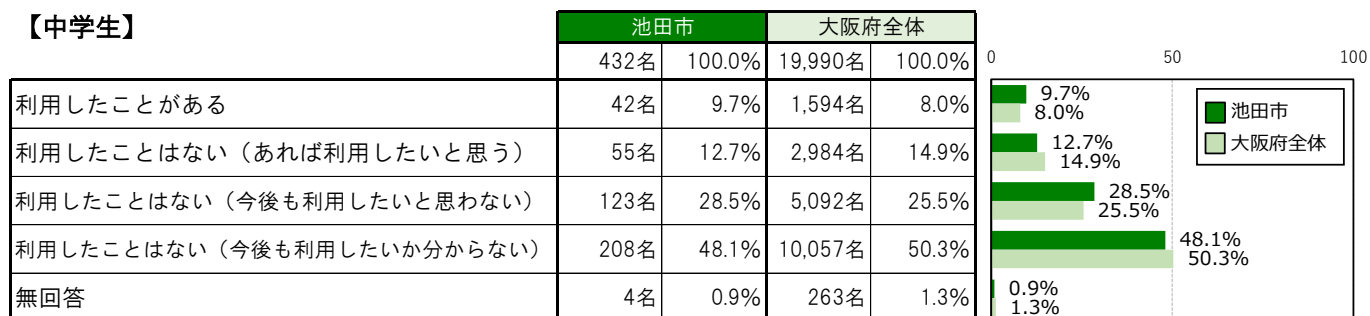
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況

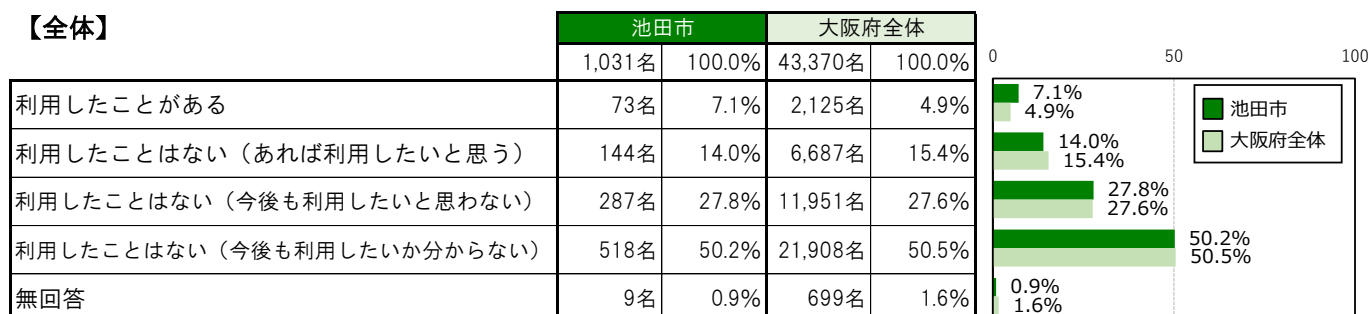
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.0%となっている。

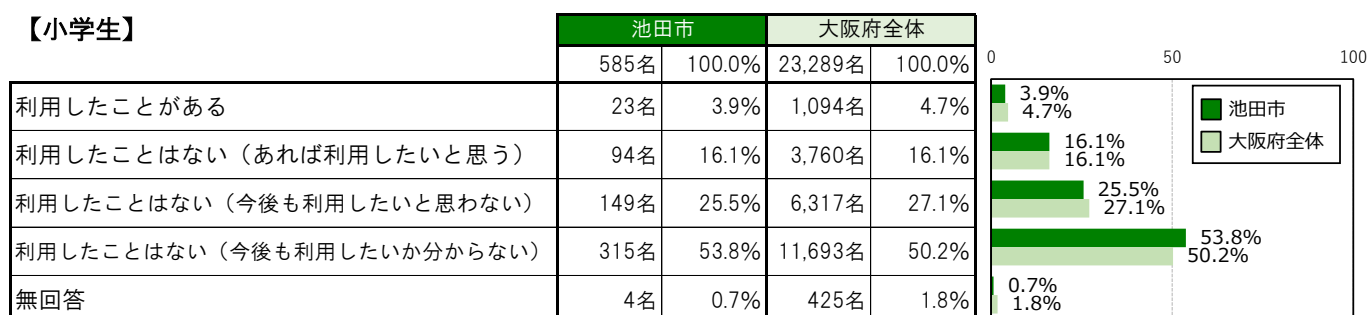
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.1%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が31.5%、「利用したことがある」と「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」がそれぞれ11.1%となっている。

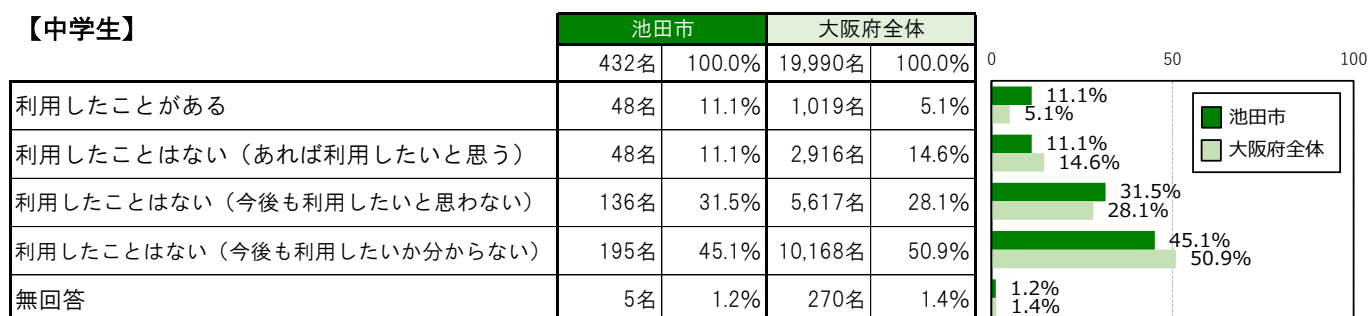
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

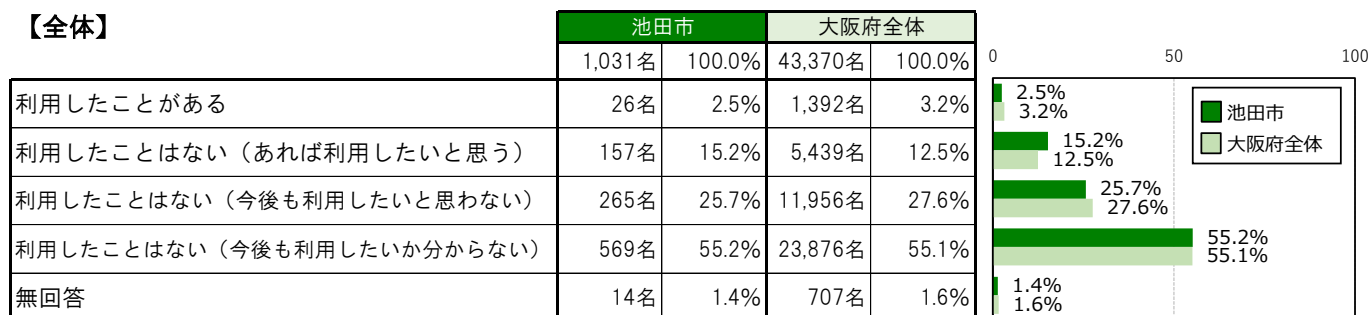
問25（１）子どもの居場所の利用状況 ④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が55.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が15.2%となっている。

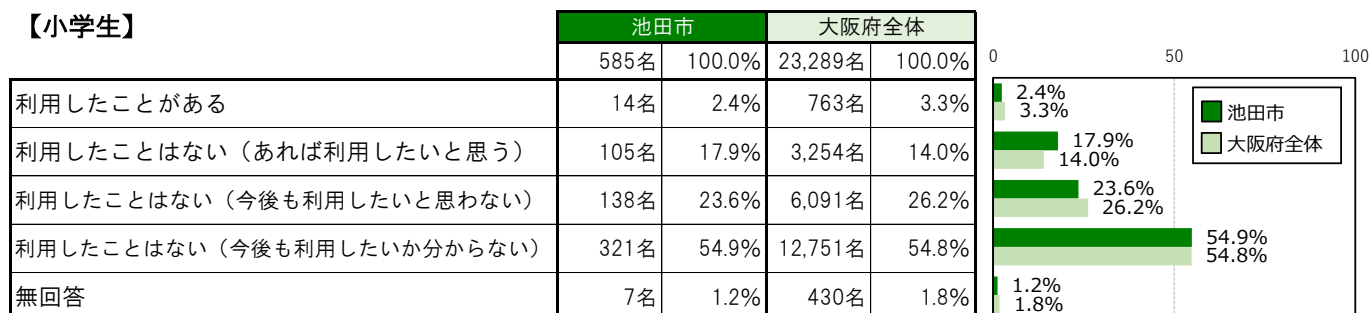
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が54.9%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.6%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が17.9%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が56.0%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が28.2%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が11.6%となっている。

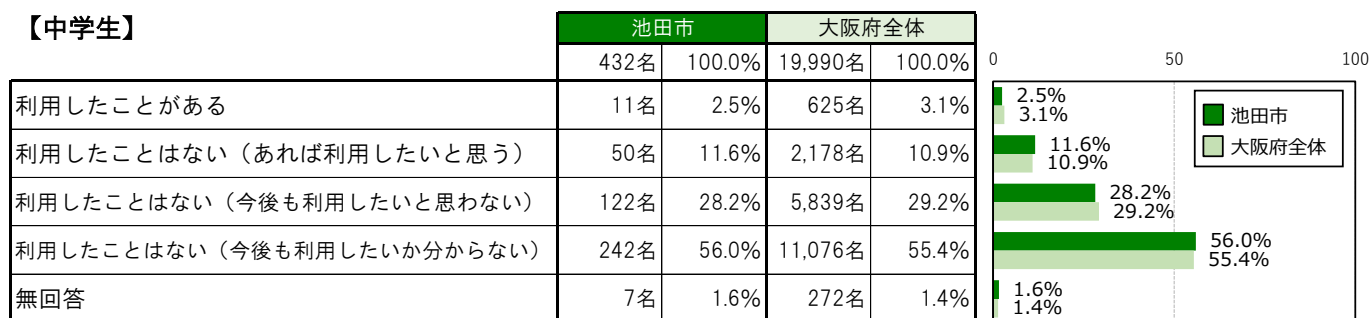
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

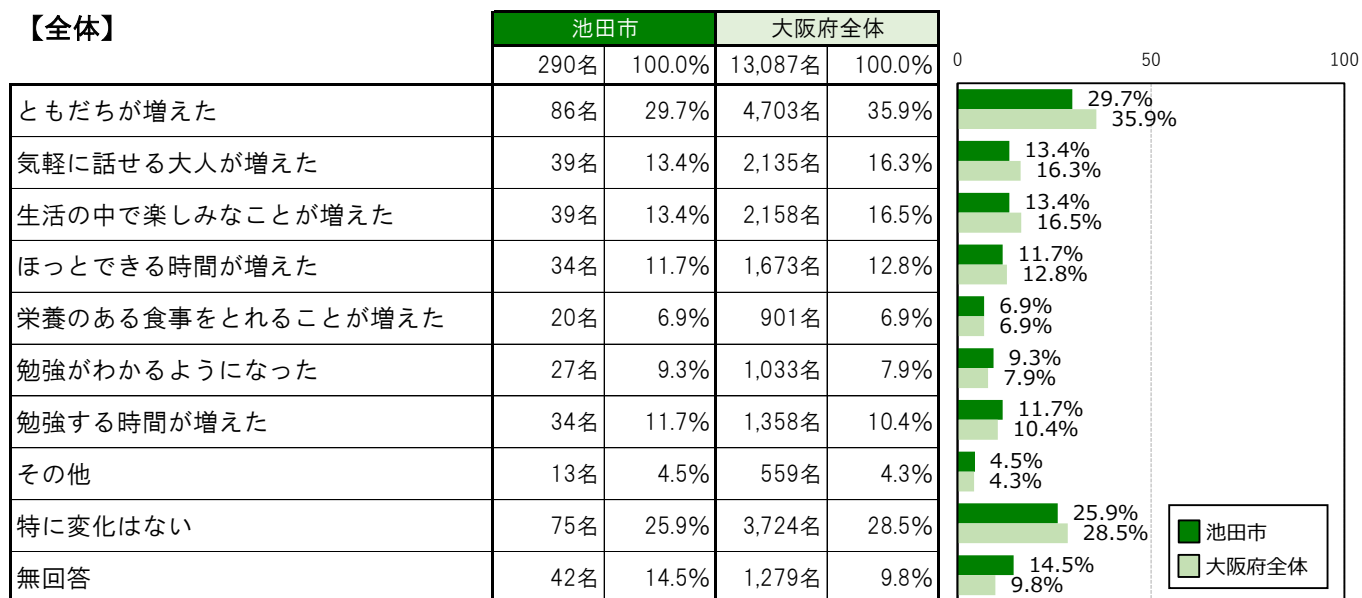
問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が29.7%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」と「生活の中で楽しみなことが増えた」がそれぞれ13.4%、「ほっとできる時間が増えた」と「勉強する時間が増えた」がそれぞれ11.7%となっている。

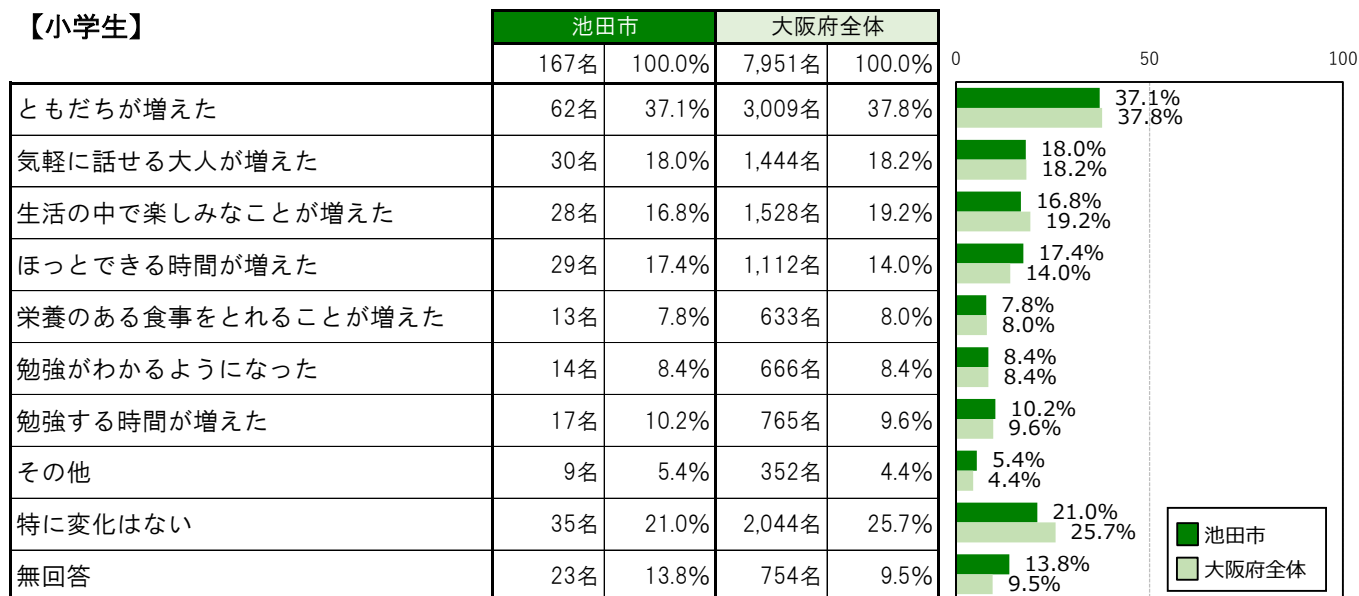
小学生は、「ともだちが増えた」が37.1%で最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が18.0%、「ほっとできる時間が増えた」が17.4%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が16.8%となっている。

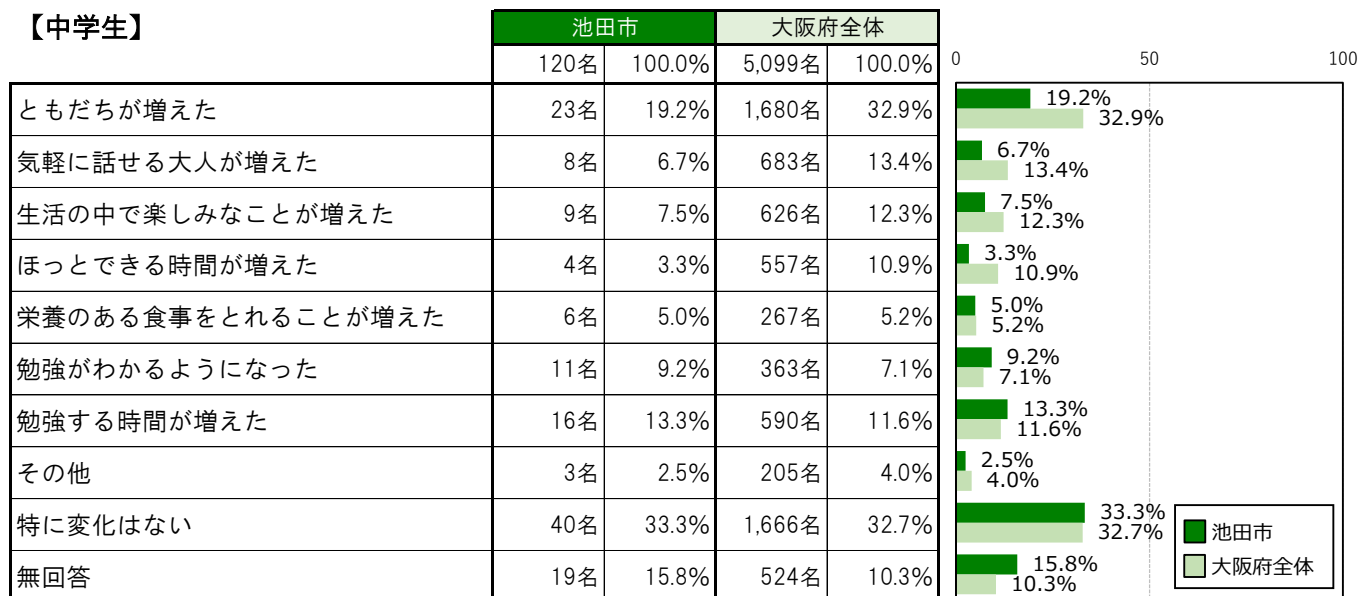
中学生は、「ともだちが増えた」が19.2%で最も多く、次いで「勉強する時間が増えた」が13.3%、「勉強がわかるようになった」が9.2%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が7.5%となっている。一方、「特に変化はない」は33.3%となっている。

【全体】



【小学生】





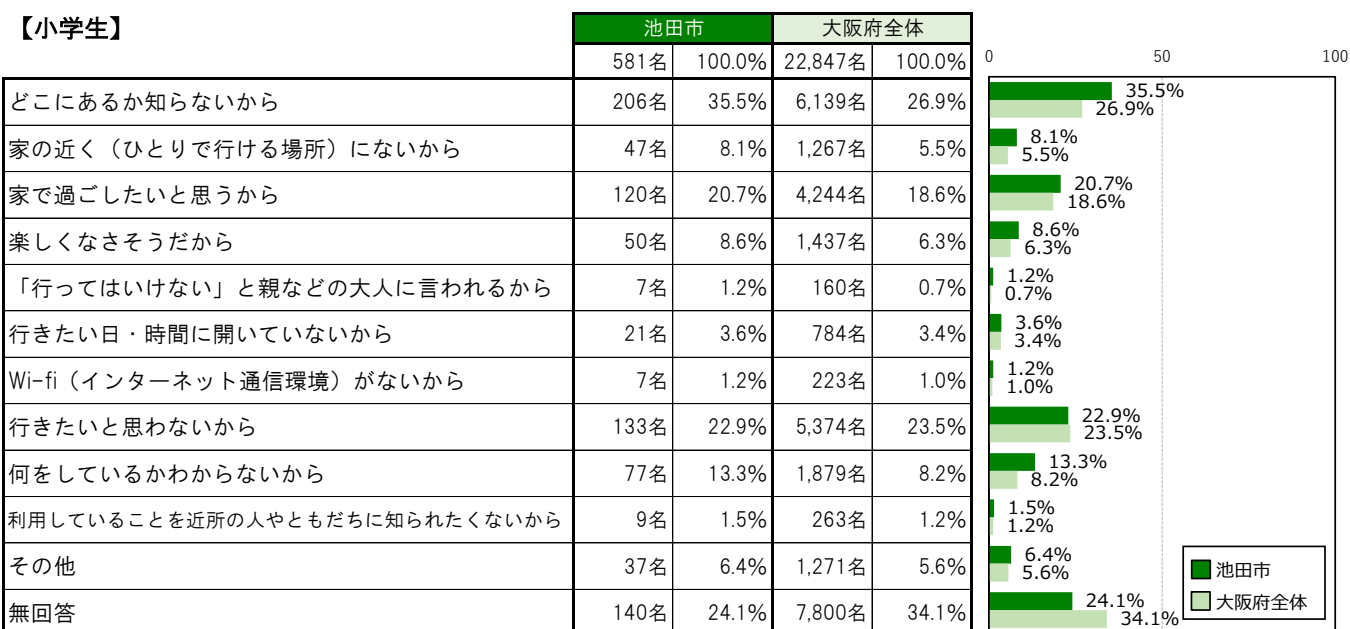
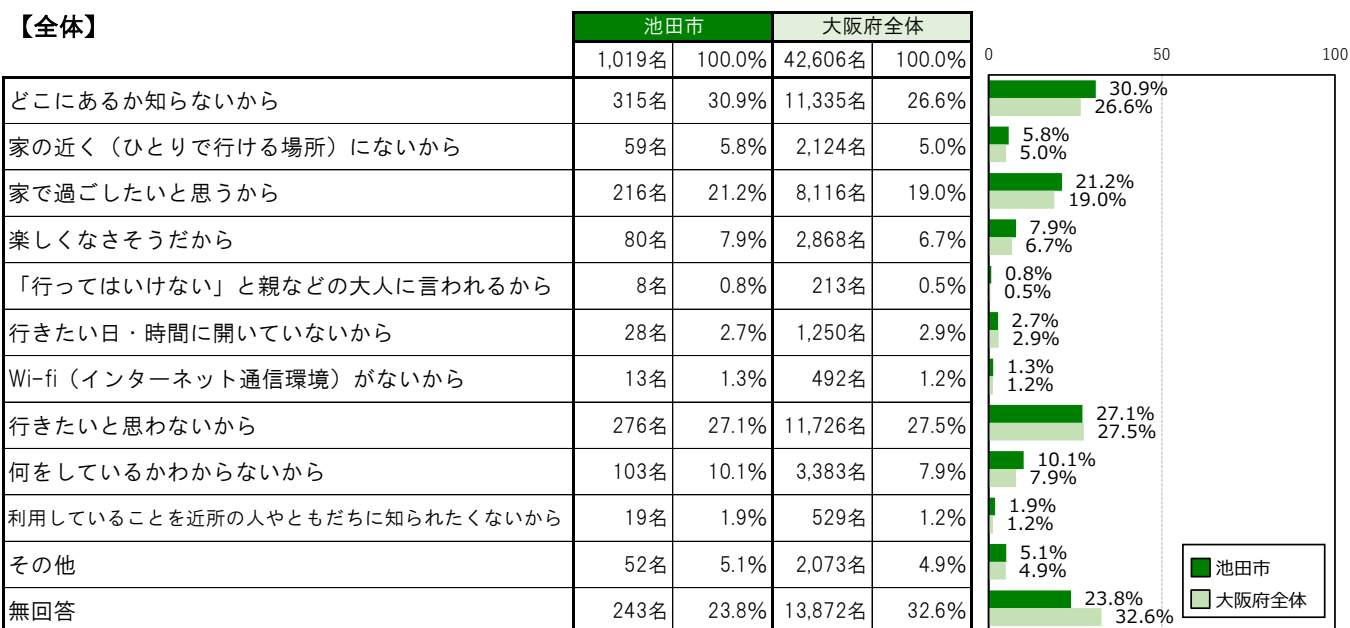
あなたのことについて

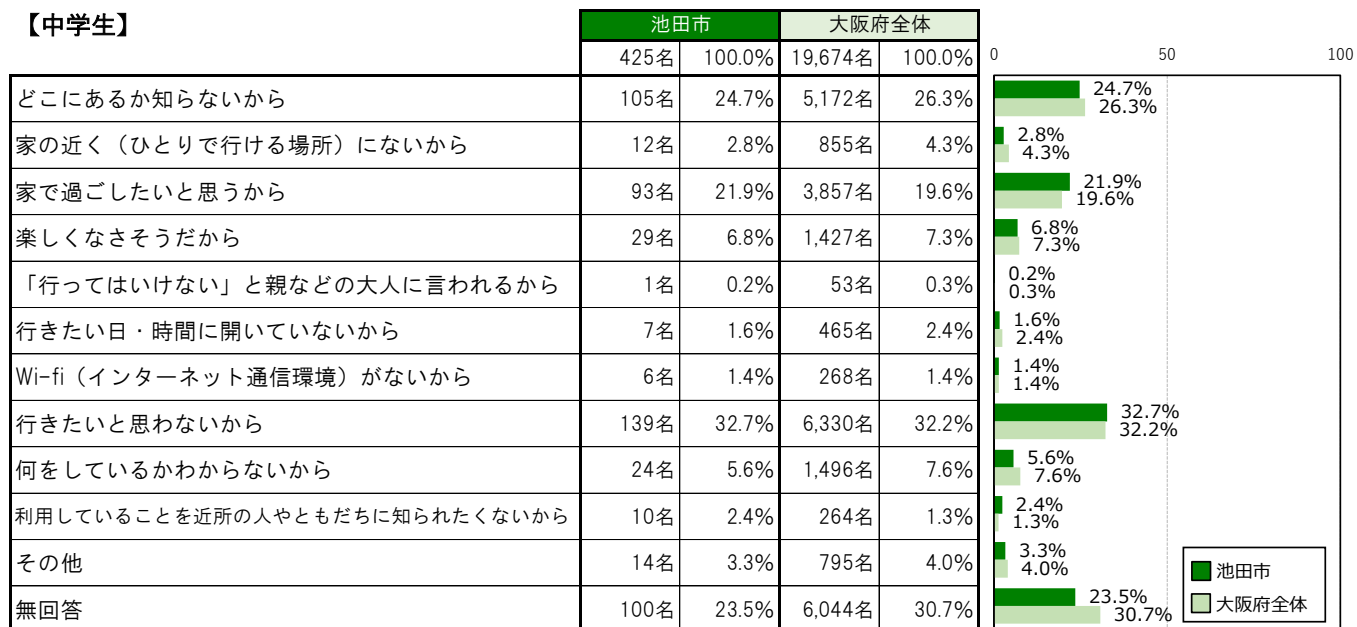
問25（3）子どもの居場所を利用したことがない理由

全体は、「どこにあるか知らないから」が30.9%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が27.1%、「家で過ごしたいと思うから」が21.2%、「何をしているかわからないから」が10.1%となっている。

小学生は、「どこにあるか知らないから」が35.5%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が22.9%、「家で過ごしたいと思うから」が20.7%、「何をしているかわからないから」が13.3%となっている。

中学生は、「行きたいと思わないから」が32.7%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が24.7%、「家で過ごしたいと思うから」が21.9%、「楽しくなさそうだから」が6.8%となっている。





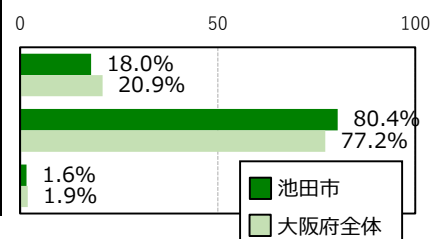
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いない」が80.4%で、「いる」が18.0%となっている。
 小学生は、「いない」が74.4%で、「いる」が24.6%となっている。
 中学生は、「いない」が88.2%で、「いる」が9.5%となっている。

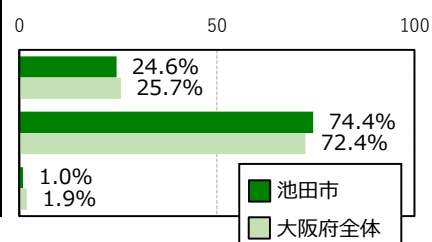
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,031名	100.0%	43,370名	100.0%
いる	186名	18.0%	9,054名	20.9%
いない	829名	80.4%	33,476名	77.2%
無回答	16名	1.6%	840名	1.9%



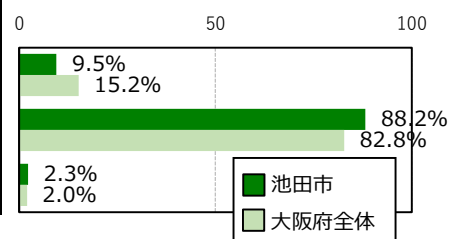
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	585名	100.0%	23,289名	100.0%
いる	144名	24.6%	5,988名	25.7%
いない	435名	74.4%	16,856名	72.4%
無回答	6名	1.0%	445名	1.9%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	432名	100.0%	19,990名	100.0%
いる	41名	9.5%	3,045名	15.2%
いない	381名	88.2%	16,553名	82.8%
無回答	10名	2.3%	392名	2.0%



あなたのことについて

問26（２）世話をしている相手

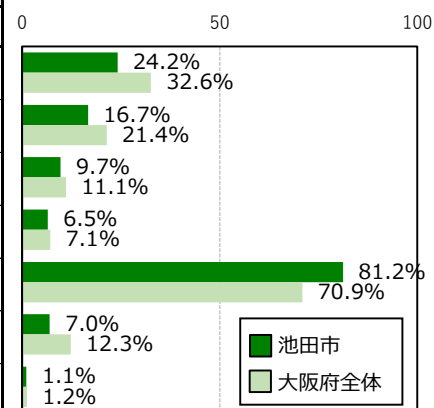
全体は、「きょうだい」が81.2%で最も多く、次いで「お母さん」が24.2%、「お父さん」が16.7%となっている。

小学生は、「きょうだい」が83.3%で最も多く、次いで「お母さん」が22.2%、「お父さん」が16.7%となっている。

中学生は、「きょうだい」が73.2%で最も多く、次いで「お母さん」が31.7%、「お父さん」が17.1%となっている。

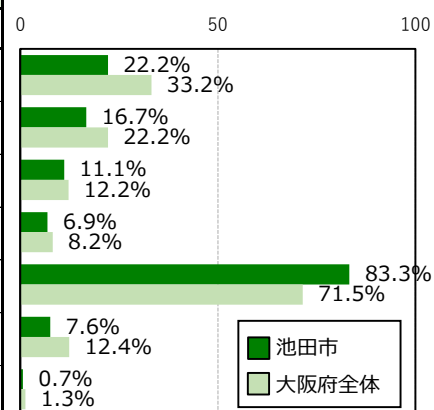
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	45名	24.2%	2,954名	32.6%
お父さん	31名	16.7%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	18名	9.7%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	12名	6.5%	647名	7.1%
きょうだい	151名	81.2%	6,419名	70.9%
その他	13名	7.0%	1,117名	12.3%
無回答	2名	1.1%	112名	1.2%



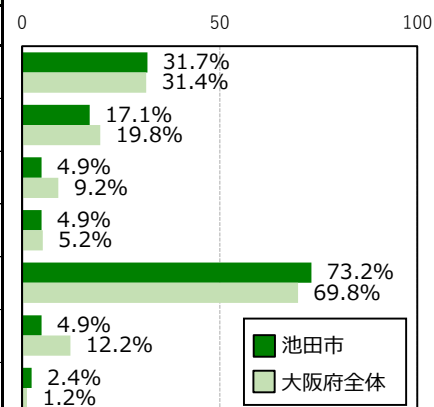
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	32名	22.2%	1,990名	33.2%
お父さん	24名	16.7%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	16名	11.1%	728名	12.2%
おじいちゃん	10名	6.9%	489名	8.2%
きょうだい	120名	83.3%	4,280名	71.5%
その他	11名	7.6%	741名	12.4%
無回答	1名	0.7%	75名	1.3%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	13名	31.7%	957名	31.4%
お父さん	7名	17.1%	604名	19.8%
おばあちゃん	2名	4.9%	280名	9.2%
おじいちゃん	2名	4.9%	157名	5.2%
きょうだい	30名	73.2%	2,125名	69.8%
その他	2名	4.9%	370名	12.2%
無回答	1名	2.4%	37名	1.2%



あなたのことについて

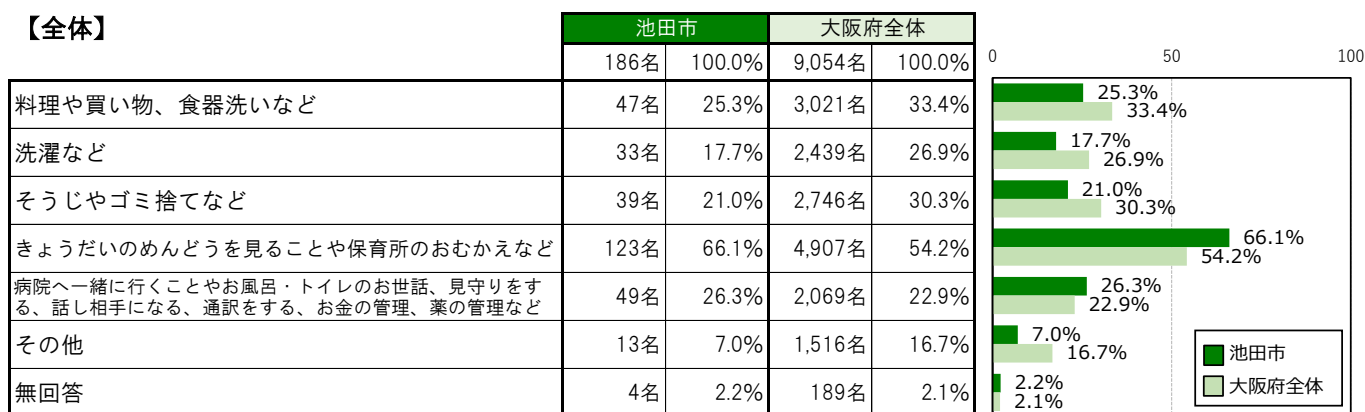
問26（3）世話をしている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が66.1%で最も多く、次いで「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など」が26.3%、「料理や買い物、食器洗いなど」が25.3%、「そうじやゴミ捨てなど」が21.0%となっている。

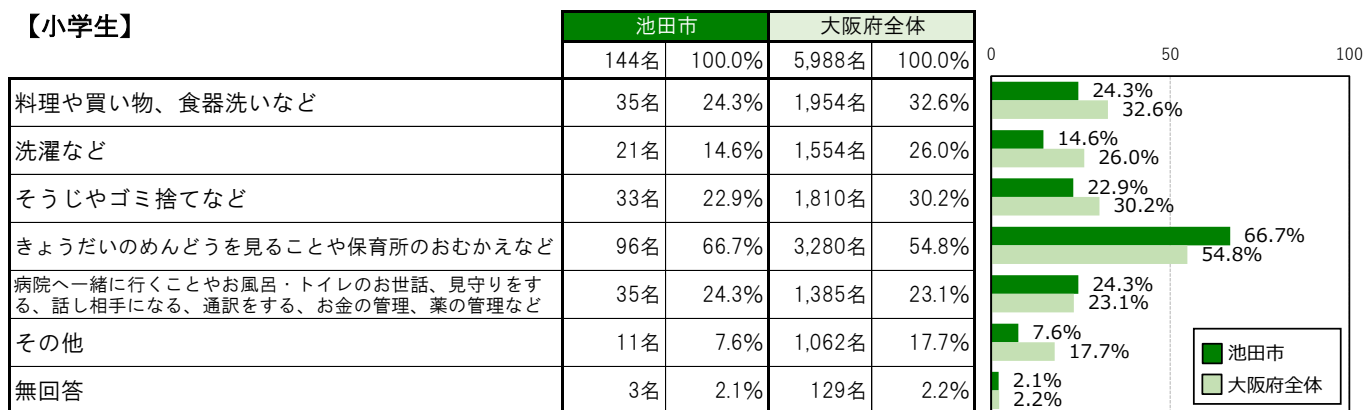
小学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が66.7%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」、「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など」がそれぞれ24.3%、「そうじやゴミ捨てなど」が22.9%となっている。

中学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が65.9%で最も多く、次いで「病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など」が31.7%、「料理や買い物、食器洗いなど」と「洗濯など」がそれぞれ29.3%となっている。

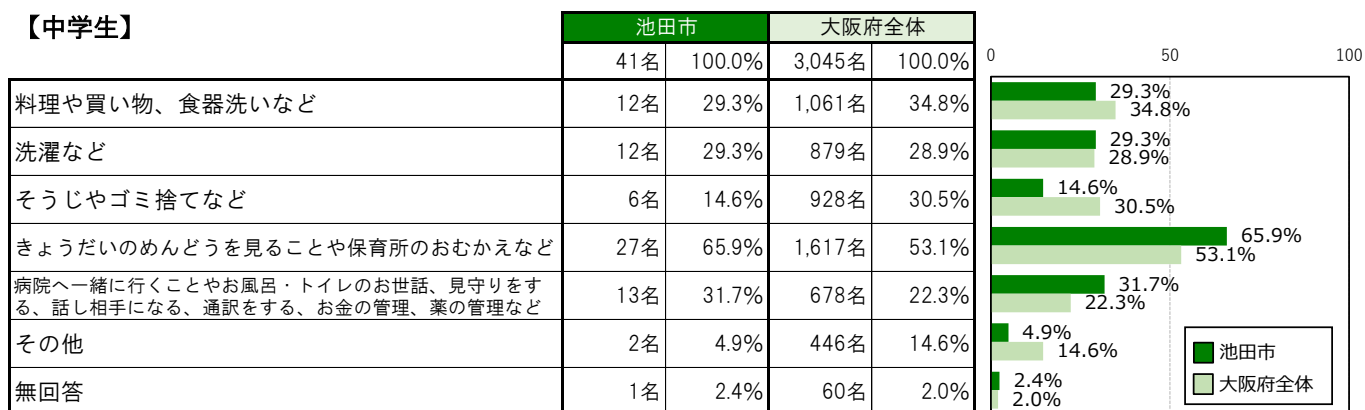
【全体】



【小学生】



【中学生】



あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

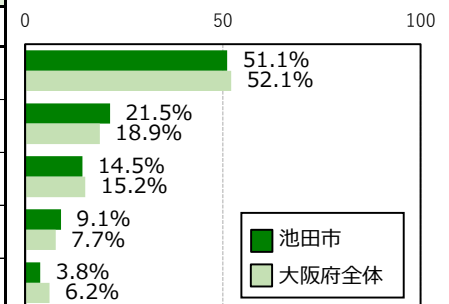
全体は、「ほぼ毎日」が51.1%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が21.5%、「週に1日または2日」が14.5%となっている。

小学生は、「ほぼ毎日」が50.7%で最も多く、次いで「週に3日～5日」が22.2%、「週に1日または2日」が12.5%となっている。

中学生は、「ほぼ毎日」が51.2%で最も多く、次いで「週に1日または2日」が22.0%、「週に3日～5日」が19.5%となっている。

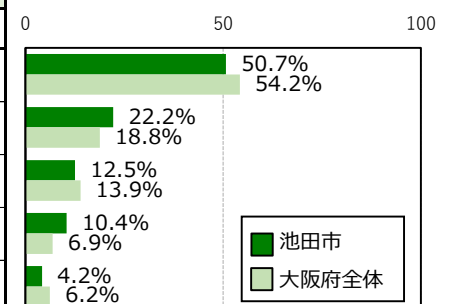
【全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	95名	51.1%	4,716名	52.1%
週に3日～5日	40名	21.5%	1,708名	18.9%
週に1日または2日	27名	14.5%	1,375名	15.2%
1か月に数日	17名	9.1%	694名	7.7%
無回答	7名	3.8%	561名	6.2%



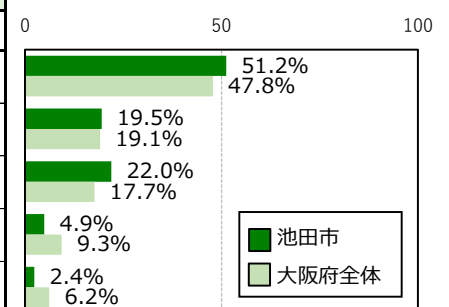
【小学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	73名	50.7%	3,246名	54.2%
週に3日～5日	32名	22.2%	1,125名	18.8%
週に1日または2日	18名	12.5%	832名	13.9%
1か月に数日	15名	10.4%	412名	6.9%
無回答	6名	4.2%	373名	6.2%



【中学生】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
ほぼ毎日	21名	51.2%	1,455名	47.8%
週に3日～5日	8名	19.5%	582名	19.1%
週に1日または2日	9名	22.0%	538名	17.7%
1か月に数日	2名	4.9%	282名	9.3%
無回答	1名	2.4%	188名	6.2%



あなたのことについて

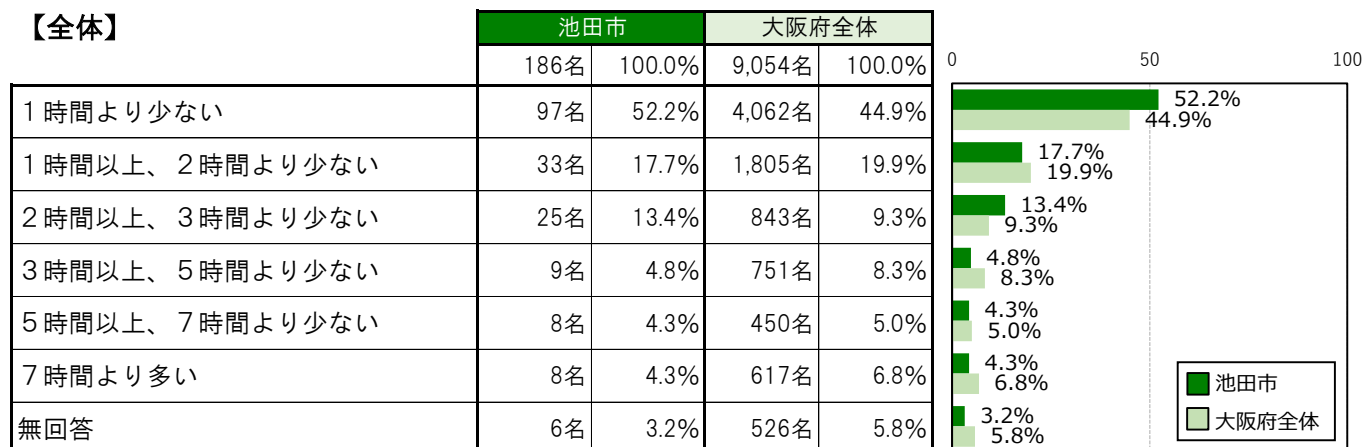
問26（6）学校がある日に世話をする1日の時間

全体は、「1時間より少ない」が52.2%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が17.7%、「2時間以上、3時間より少ない」が13.4%、「3時間以上、5時間より少ない」が4.8%となっている。

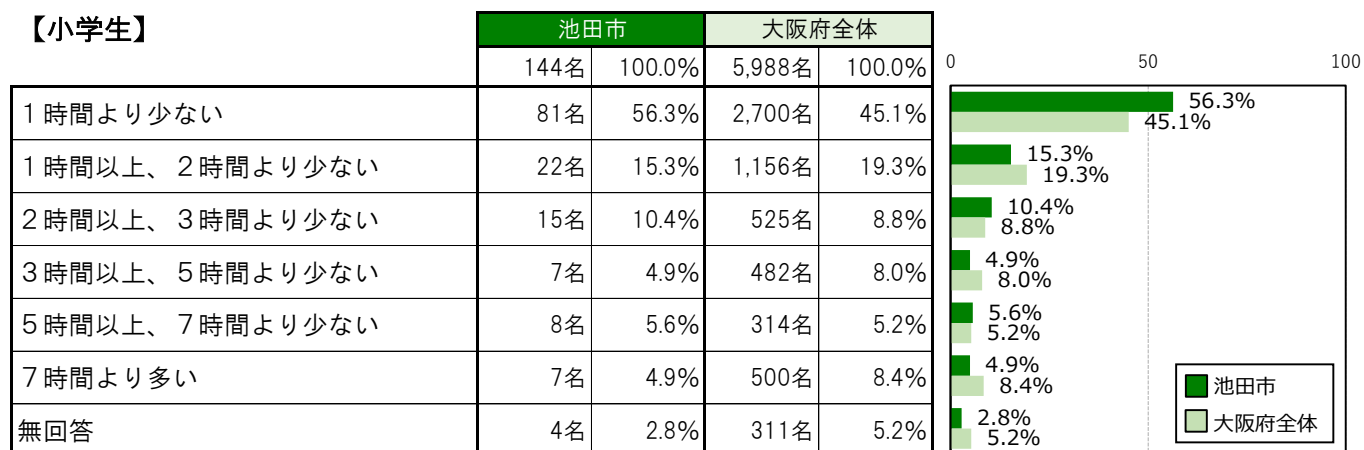
小学生は、「1時間より少ない」が56.3%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が15.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が10.4%、「5時間以上、7時間より少ない」が5.6%となっている。

中学生は、「1時間より少ない」が39.0%で最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」と「2時間以上、3時間より少ない」がそれぞれ24.4%となっている。

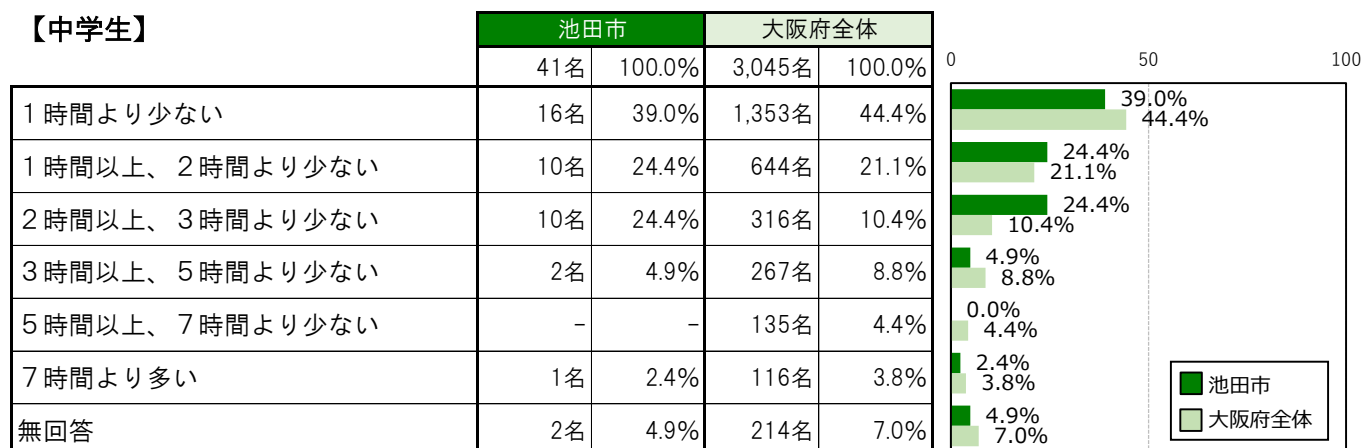
【全体】



【小学生】



【中学生】



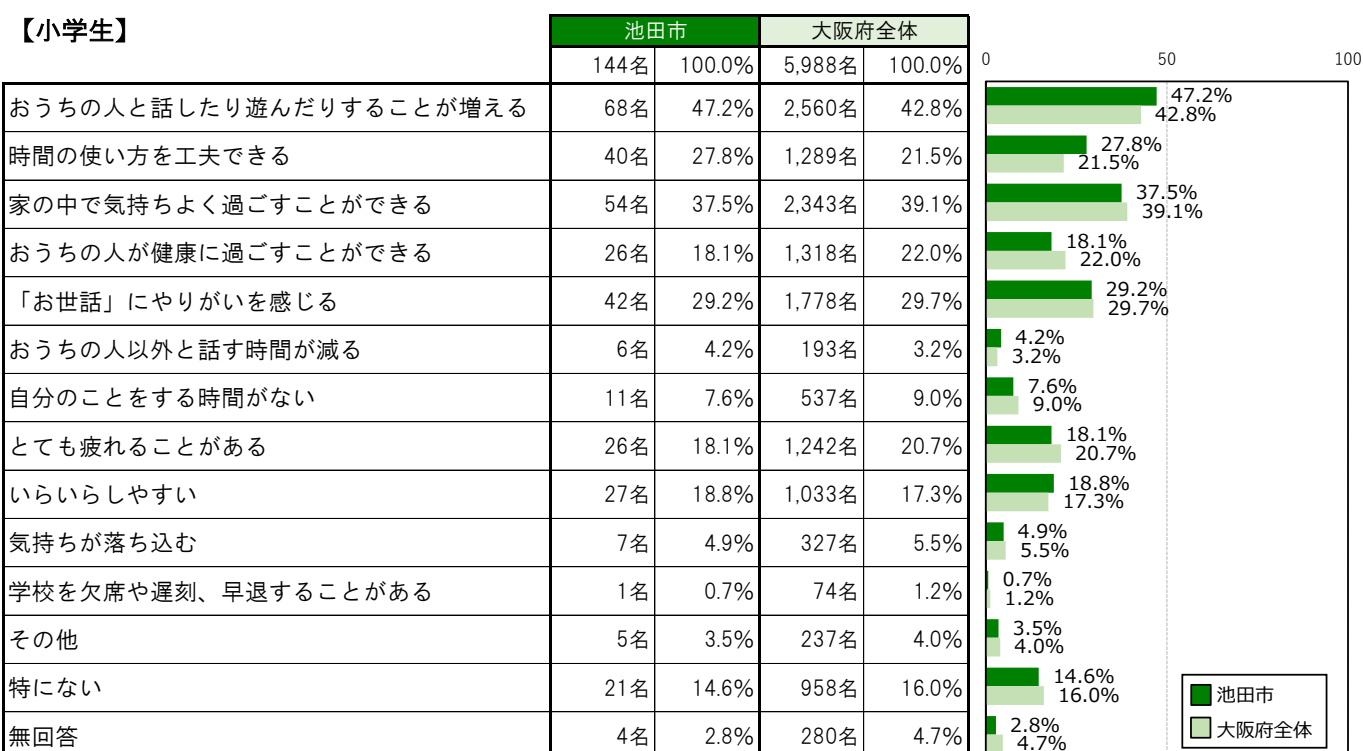
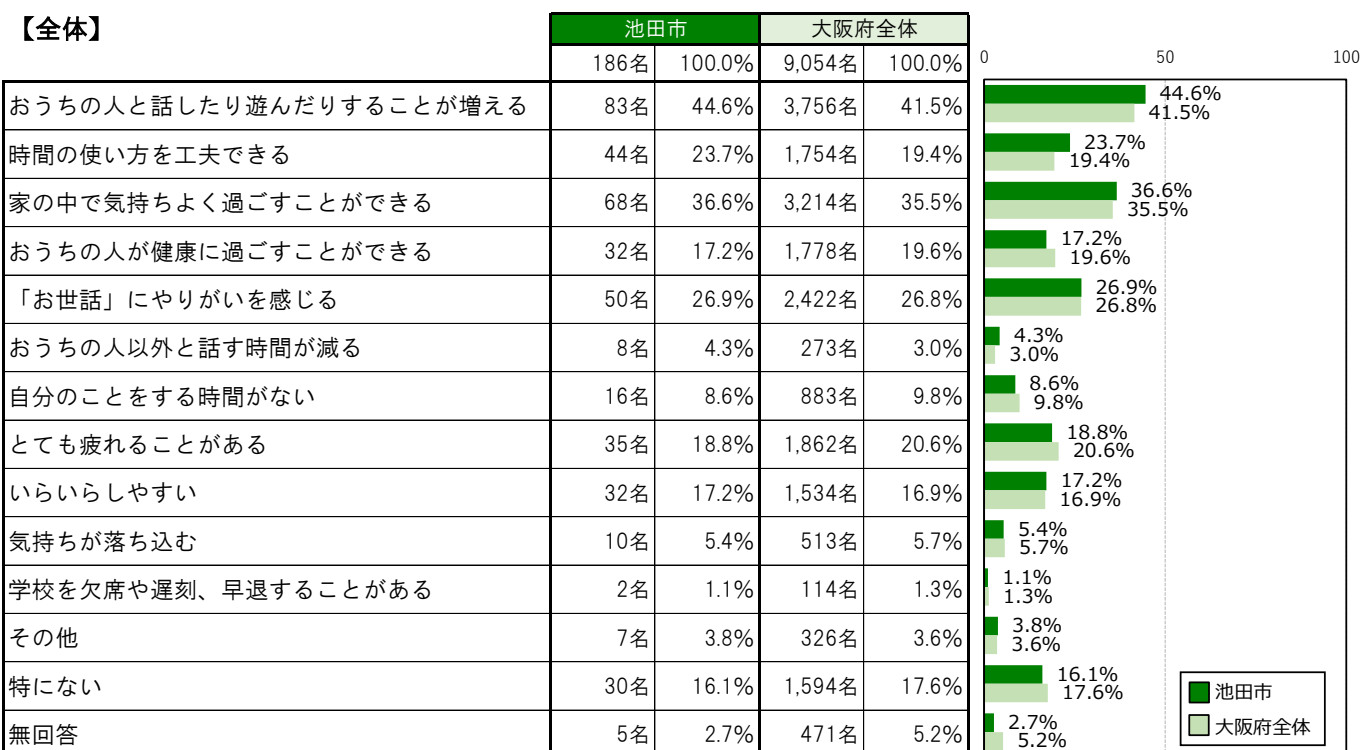
あなたのことについて

問26（7）世話をしていることの影響

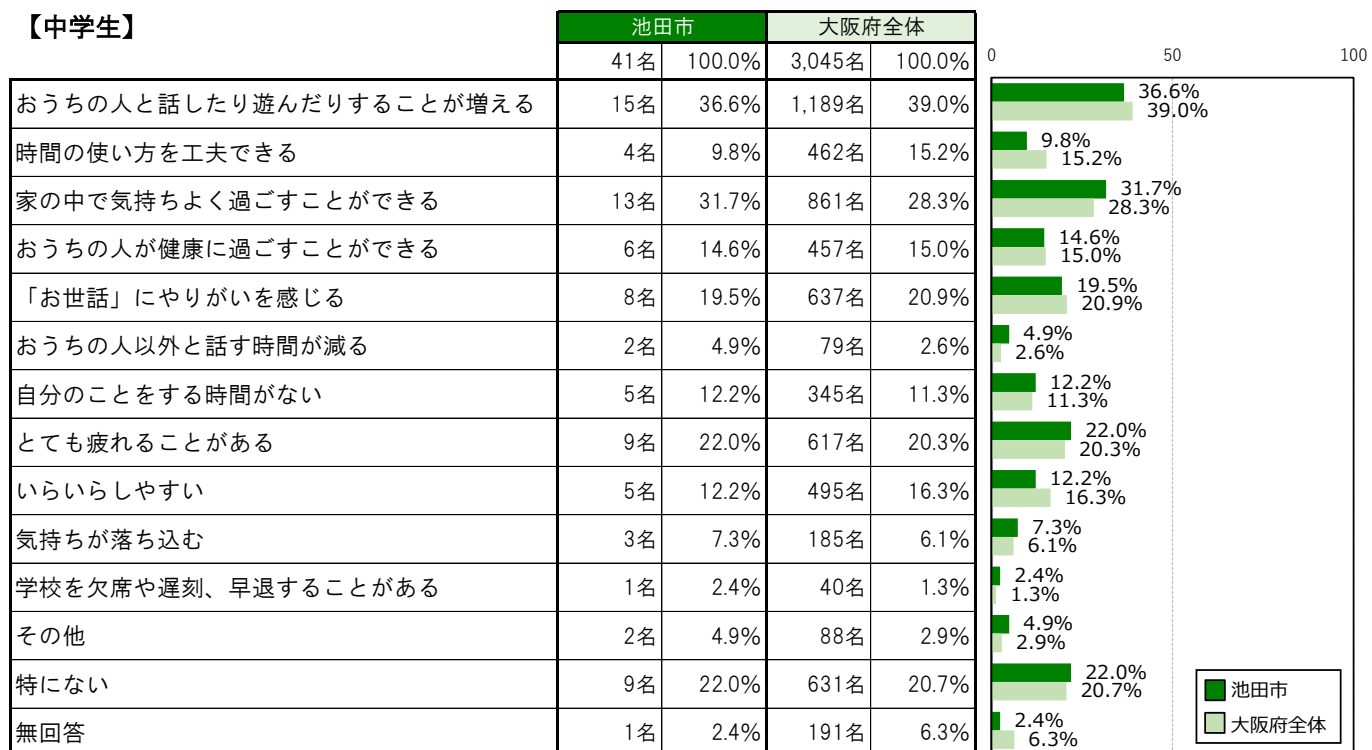
全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が44.6%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が36.6%、「「お世話」にやりがいを感じる」が26.9%、「時間の使い方を工夫できる」が23.7%となっている。

小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が47.2%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が37.5%、「「お世話」にやりがいを感じる」が29.2%、「時間の使い方を工夫できる」が27.8%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が36.6%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が31.7%、「とても疲れることがある」が22.0%、「「お世話」にやりがいを感じる」が19.5%となっている。



【中学生】



2. 単純集計結果〔保護者〕

池田市

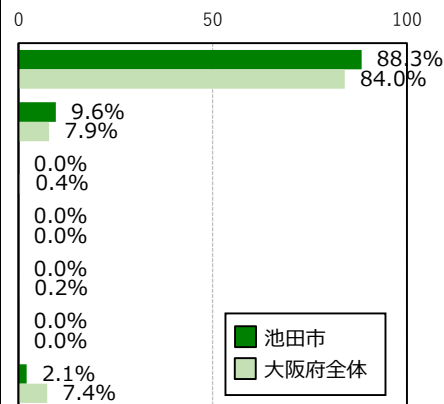
子どもとの関係について

問1 子どもとの続柄

保護者全体は、「お母さん」が88.3%で最も多く、次いで「お父さん」が9.6%となっている。
小学生の保護者は、「お母さん」が87.5%で最も多く、次いで「お父さん」が10.0%となっている。
中学生の保護者は、「お母さん」が89.6%で最も多く、次いで「お父さん」が9.2%となっている。

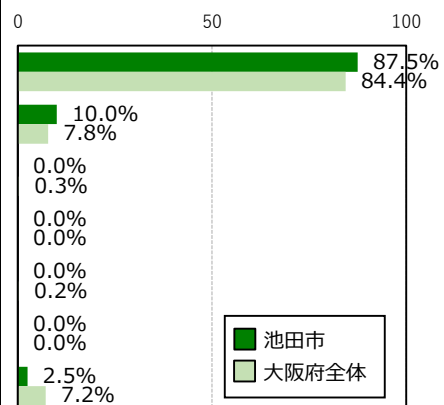
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	934名	88.3%	36,436名	84.0%
お父さん	102名	9.6%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	-	-	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	91名	0.2%
その他の人	-	-	14名	0.0%
無回答	22名	2.1%	3,222名	7.4%



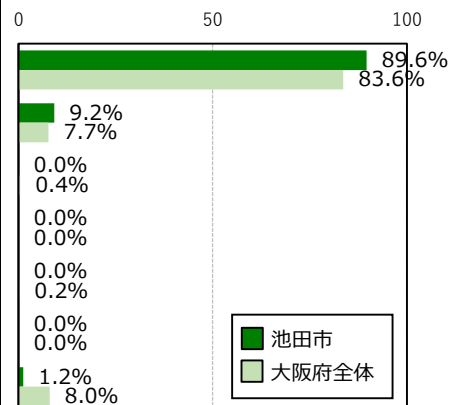
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	498名	87.5%	19,261名	84.4%
お父さん	57名	10.0%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	-	-	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	14名	2.5%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	360名	89.6%	16,208名	83.6%
お父さん	37名	9.2%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	-	-	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	5名	1.2%	1,558名	8.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ①おばあさん

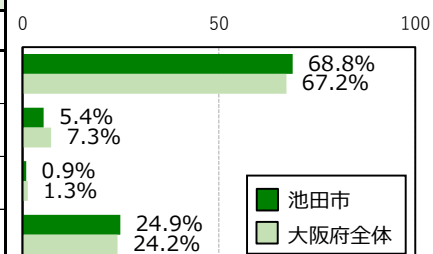
保護者全体は、「いない」が68.8%で最も多く、次いで「1人」が5.4%、「2人」が0.9%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が70.7%で最も多く、次いで「1人」が6.3%、「2人」が1.4%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が67.9%で最も多く、次いで「1人」が4.2%、「2人」が0.5%となっている。

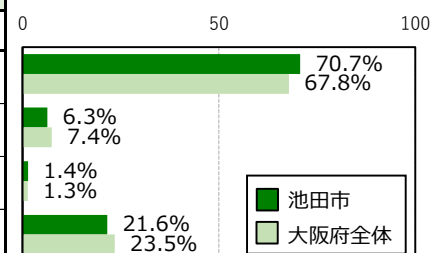
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	728名	68.8%	29,081名	67.2%
1人	57名	5.4%	3,181名	7.3%
2人	10名	0.9%	555名	1.3%
無回答	263名	24.9%	10,483名	24.2%



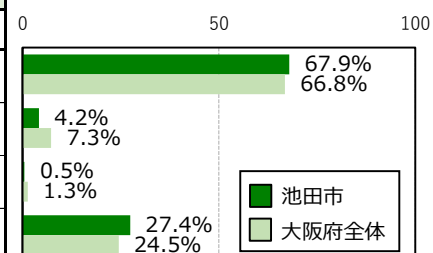
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	402名	70.7%	15,456名	67.8%
1人	36名	6.3%	1,681名	7.4%
2人	8名	1.4%	286名	1.3%
無回答	123名	21.6%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	273名	67.9%	12,942名	66.8%
1人	17名	4.2%	1,422名	7.3%
2人	2名	0.5%	257名	1.3%
無回答	110名	27.4%	4,744名	24.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ②おじいさん

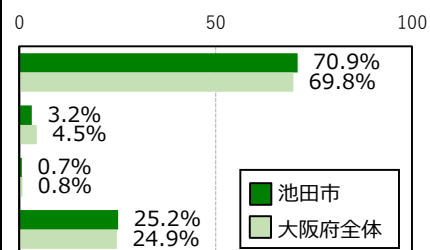
保護者全体は、「いない」が70.9%で最も多く、次いで「1人」が3.2%、「2人」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が73.1%で最も多く、次いで「1人」が3.7%、「2人」が0.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が69.9%で最も多く、次いで「1人」が2.5%、「2人」が0.5%となっている。

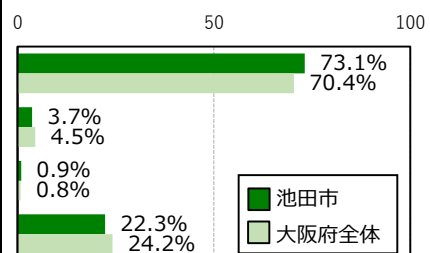
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	750名	70.9%	30,230名	69.8%
1人	34名	3.2%	1,932名	4.5%
2人	7名	0.7%	340名	0.8%
無回答	267名	25.2%	10,798名	24.9%



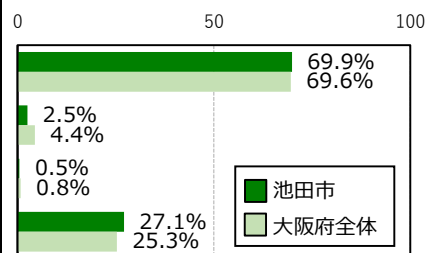
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	416名	73.1%	16,050名	70.4%
1人	21名	3.7%	1,031名	4.5%
2人	5名	0.9%	186名	0.8%
無回答	127名	22.3%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	281名	69.9%	13,474名	69.6%
1人	10名	2.5%	853名	4.4%
2人	2名	0.5%	148名	0.8%
無回答	109名	27.1%	4,890名	25.3%



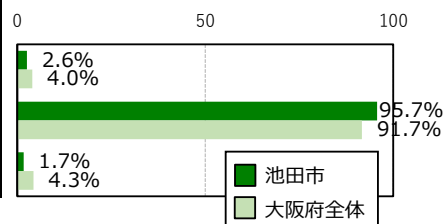
世帯の状況について

問2 世帯構成 ③お母さん

保護者全体は、「1人」が95.7%で、「いない」が2.6%となっている。
 小学生の保護者は、「1人」が96.5%で、「いない」が2.3%となっている。
 中学生の保護者は、「1人」が94.3%で、「いない」が3.5%となっている。

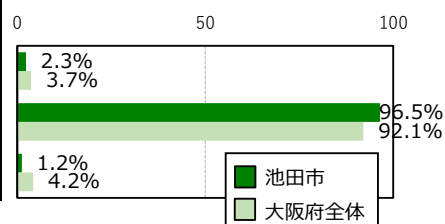
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	27名	2.6%	1,729名	4.0%
1人	1,013名	95.7%	39,706名	91.7%
無回答	18名	1.7%	1,865名	4.3%



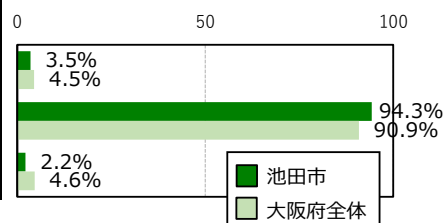
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	13名	2.3%	841名	3.7%
1人	549名	96.5%	20,990名	92.1%
無回答	7名	1.2%	955名	4.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いない	14名	3.5%	872名	4.5%
1人	379名	94.3%	17,597名	90.9%
無回答	9名	2.2%	896名	4.6%



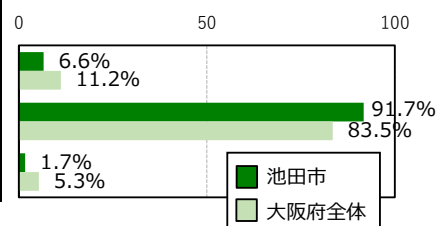
世帯の状況について

問2 世帯構成 ④お父さん

保護者全体は、「1人」が91.7%で、「いない」が6.6%となっている。
 小学生の保護者は、「1人」が91.2%で、「いない」が8.1%となっている。
 中学生の保護者は、「1人」が92.5%で、「いない」が5.0%となっている。

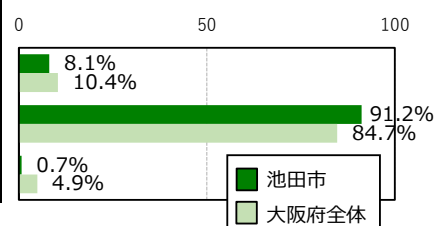
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	70名	6.6%	4,852名	11.2%
1人	970名	91.7%	36,166名	83.5%
無回答	18名	1.7%	2,282名	5.3%



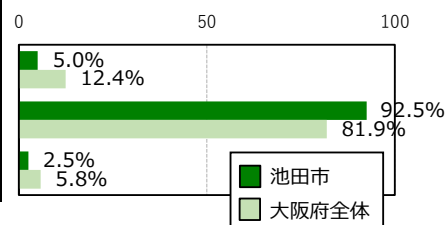
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	46名	8.1%	2,372名	10.4%
1人	519名	91.2%	19,301名	84.7%
無回答	4名	0.7%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	20名	5.0%	2,394名	12.4%
1人	372名	92.5%	15,852名	81.9%
無回答	10名	2.5%	1,119名	5.8%



世帯の状況について

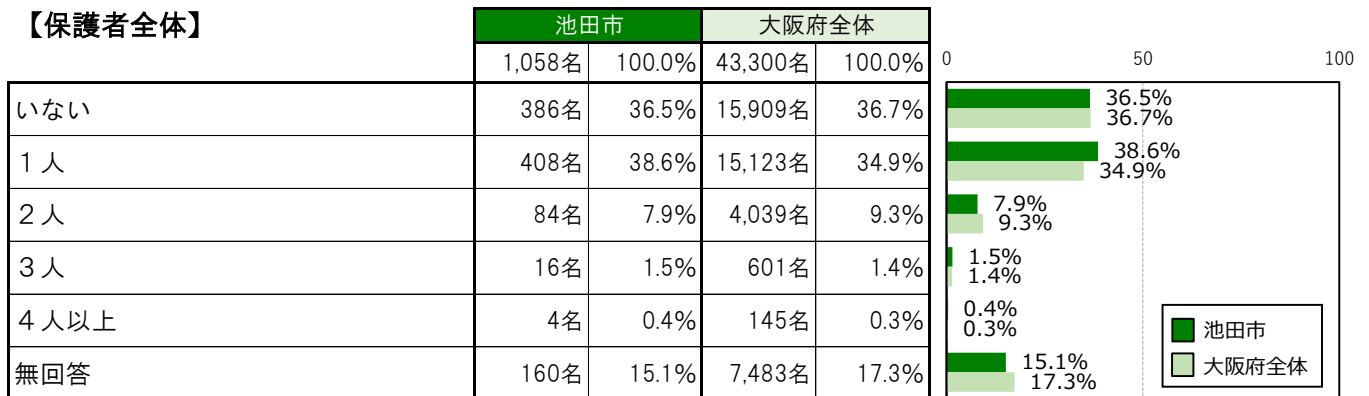
問2 世帯構成 ⑤姉・兄

保護者全体は、「1人」が38.6%で最も多く、次いで「いない」が36.5%、「2人」が7.9%、「3人」が1.5%となっている。

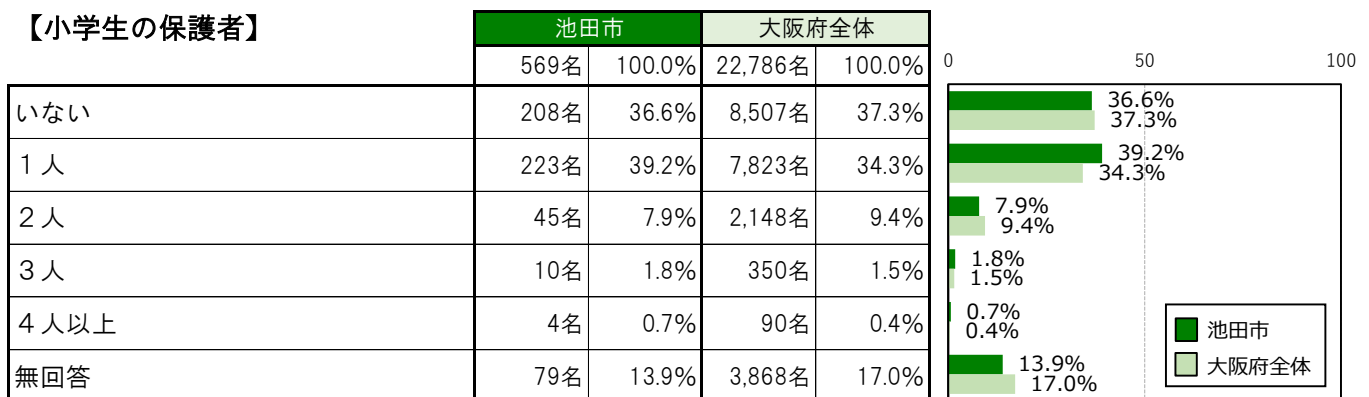
小学生の保護者は、「1人」が39.2%で最も多く、次いで「いない」が36.6%、「2人」が7.9%、「3人」が1.8%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が36.8%で最も多く、次いで「1人」が36.3%、「2人」が9.0%、「3人」が1.5%となっている。

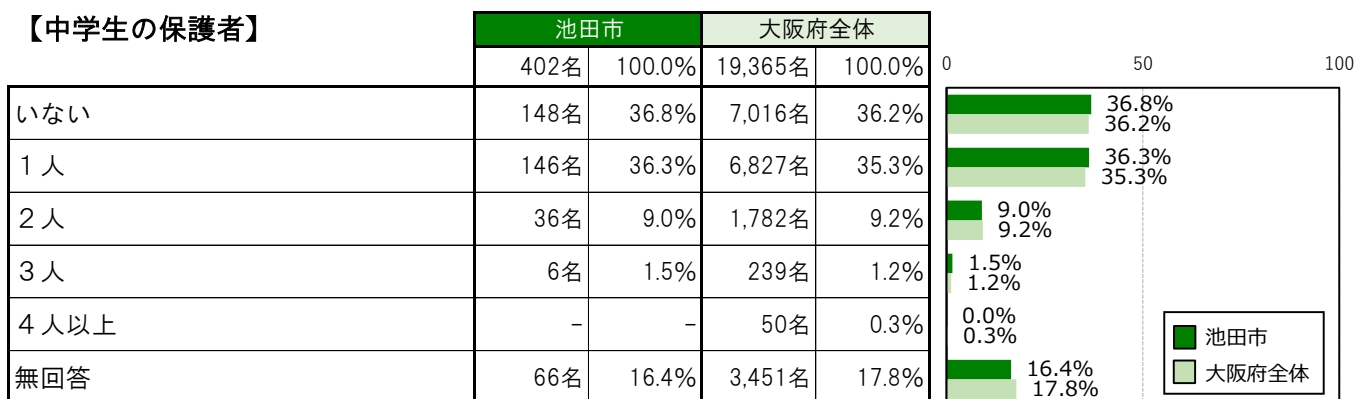
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

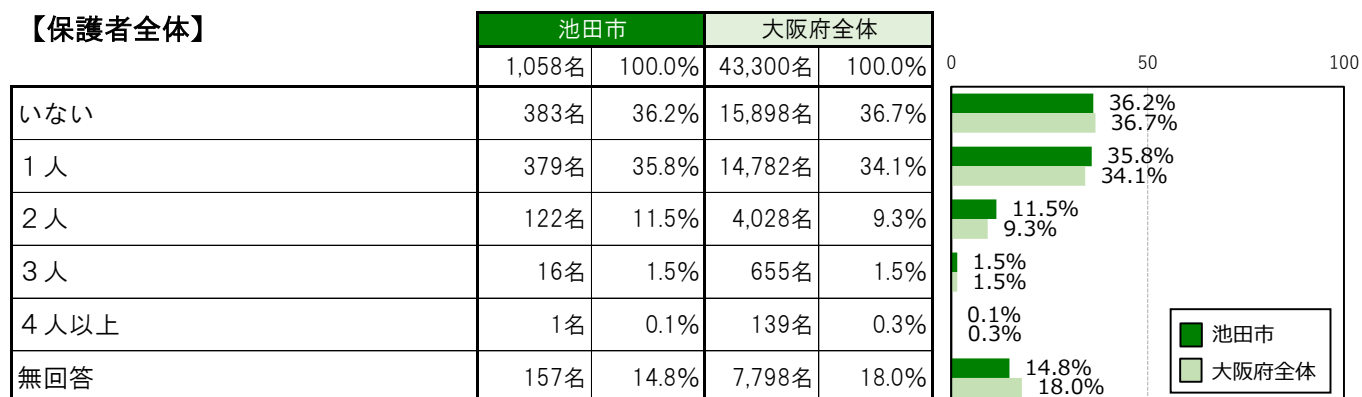
問2 世帯構成 ⑥妹・弟

保護者全体は、「いない」が36.2%で最も多く、次いで「1人」が35.8%、「2人」が11.5%、「3人」が1.5%となっている。

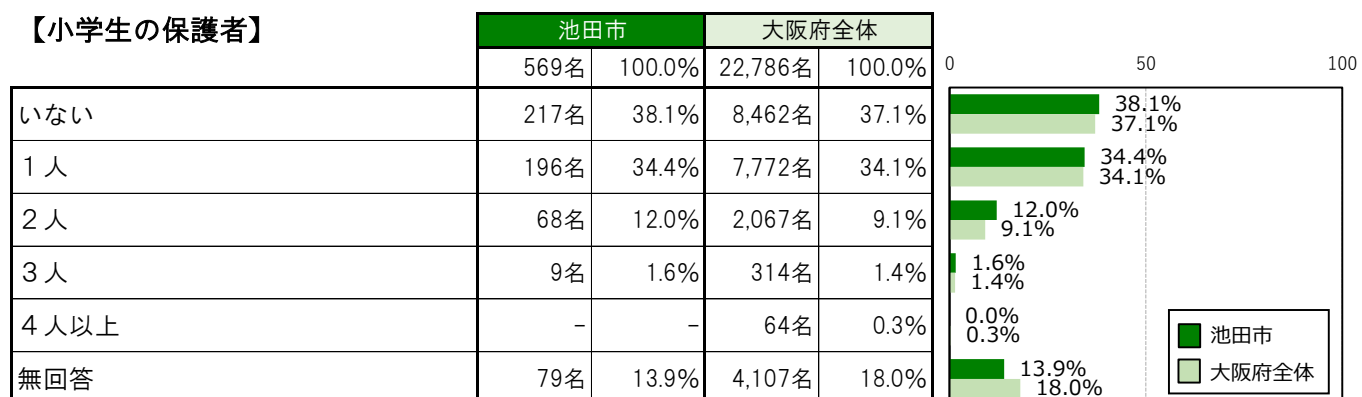
小学生の保護者は、「いない」が38.1%で最も多く、次いで「1人」が34.4%、「2人」が12.0%、「3人」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「1人」が38.6%で最も多く、次いで「いない」が34.3%、「2人」が10.7%、「3人」が1.2%となっている。

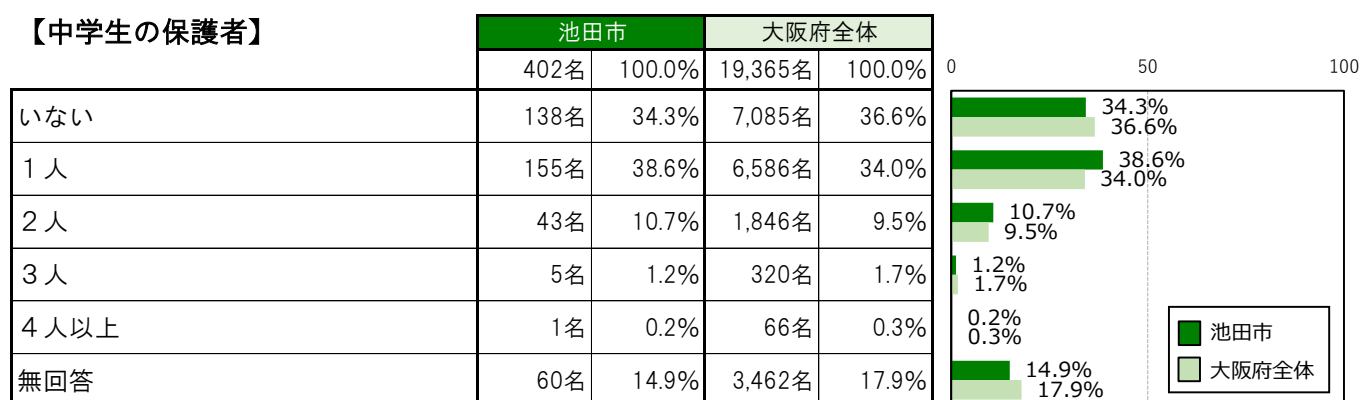
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑦その他

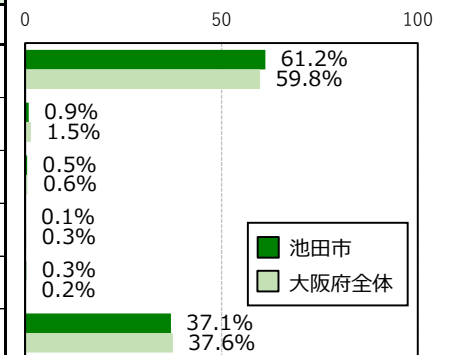
保護者全体は、「いない」が61.2%で最も多く、次いで「1人」が0.9%、「2人」が0.5%となっている。

小学生の保護者は、「いない」が64.5%で最も多く、次いで「1人」が1.4%、「2人」と「4人以上」がそれぞれ0.4%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が59.2%で最も多く、次いで「2人」が0.7%、「1人」と「4人以上」がそれぞれ0.2%となっている。

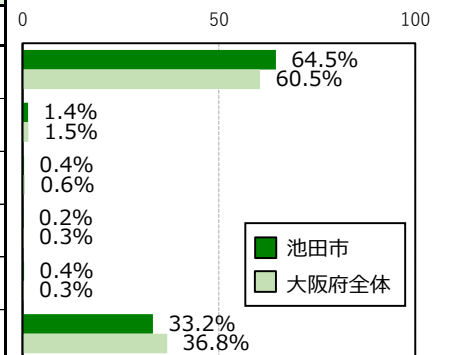
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	648名	61.2%	25,890名	59.8%
1人	9名	0.9%	628名	1.5%
2人	5名	0.5%	261名	0.6%
3人	1名	0.1%	133名	0.3%
4人以上	3名	0.3%	98名	0.2%
無回答	392名	37.1%	16,290名	37.6%



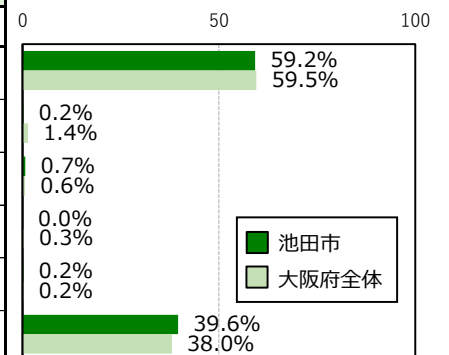
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	367名	64.5%	13,780名	60.5%
1人	8名	1.4%	347名	1.5%
2人	2名	0.4%	139名	0.6%
3人	1名	0.2%	73名	0.3%
4人以上	2名	0.4%	59名	0.3%
無回答	189名	33.2%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	238名	59.2%	11,529名	59.5%
1人	1名	0.2%	275名	1.4%
2人	3名	0.7%	119名	0.6%
3人	-	-	55名	0.3%
4人以上	1名	0.2%	36名	0.2%
無回答	159名	39.6%	7,351名	38.0%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ＜世帯員の続柄＞

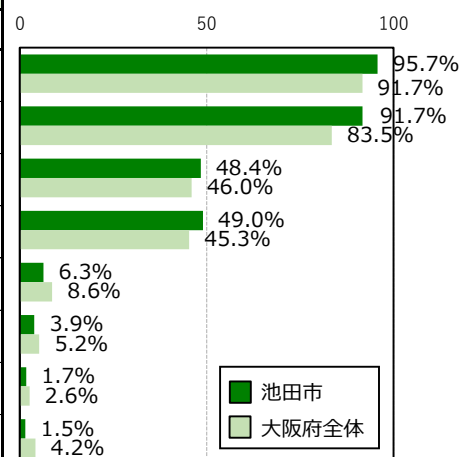
保護者全体は、「お母さん」が95.7%で最も多く、次いで「お父さん」が91.7%、「妹・弟」が49.0%、「姉・兄」が48.4%となっている。

小学生の保護者は、「お母さん」が96.5%で最も多く、次いで「お父さん」が91.2%、「姉・兄」が49.6%、「妹・弟」が48.0%となっている。

中学生の保護者は、「お母さん」が94.3%で最も多く、次いで「お父さん」が92.5%、「妹・弟」が50.7%、「姉・兄」が46.8%となっている。

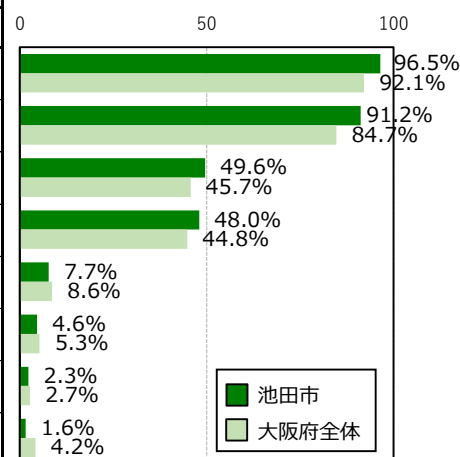
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	1,013名	95.7%	39,706名	91.7%
お父さん	970名	91.7%	36,166名	83.5%
姉・兄	512名	48.4%	19,908名	46.0%
妹・弟	518名	49.0%	19,604名	45.3%
おばあさん	67名	6.3%	3,736名	8.6%
おじいさん	41名	3.9%	2,272名	5.2%
その他	18名	1.7%	1,120名	2.6%
無回答	16名	1.5%	1,839名	4.2%



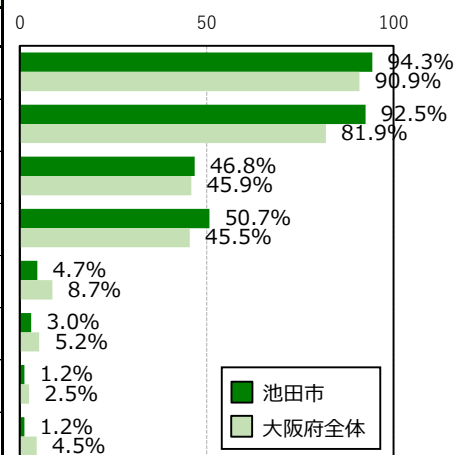
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	549名	96.5%	20,990名	92.1%
お父さん	519名	91.2%	19,301名	84.7%
姉・兄	282名	49.6%	10,411名	45.7%
妹・弟	273名	48.0%	10,217名	44.8%
おばあさん	44名	7.7%	1,967名	8.6%
おじいさん	26名	4.6%	1,217名	5.3%
その他	13名	2.3%	618名	2.7%
無回答	9名	1.6%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
お母さん	379名	94.3%	17,597名	90.9%
お父さん	372名	92.5%	15,852名	81.9%
姉・兄	188名	46.8%	8,898名	45.9%
妹・弟	204名	50.7%	8,818名	45.5%
おばあさん	19名	4.7%	1,679名	8.7%
おじいさん	12名	3.0%	1,001名	5.2%
その他	5名	1.2%	485名	2.5%
無回答	5名	1.2%	876名	4.5%



世帯の状況について

問2 世帯構成 ⑧世帯人数

保護者全体は、「4人」が46.6%で最も多く、次いで「5人」が26.2%、「3人」が14.4%となっている。

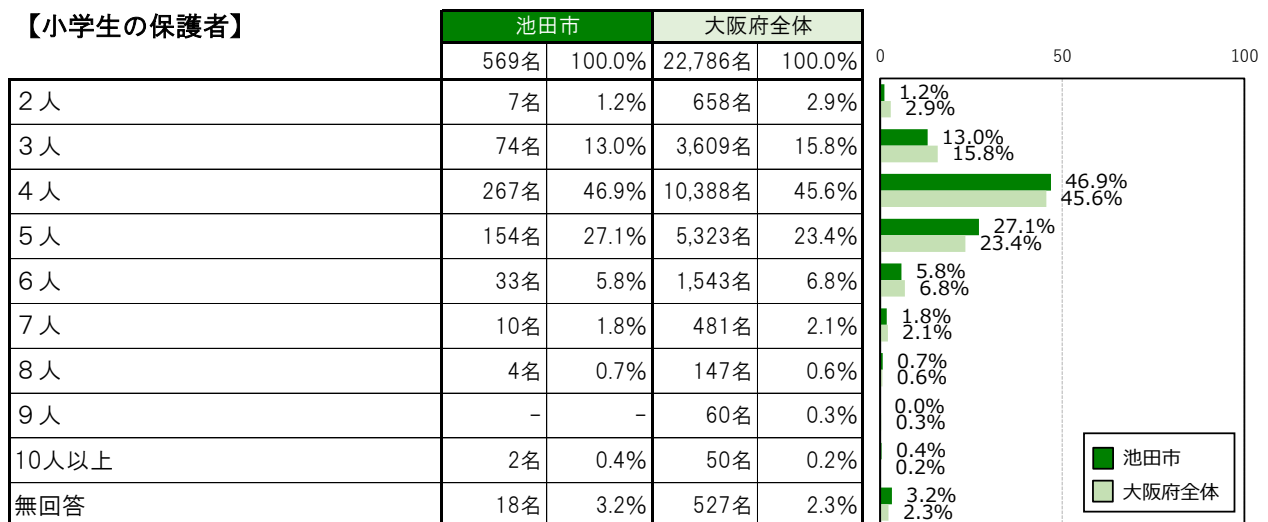
小学生の保護者は、「4人」が46.9%で最も多く、次いで「5人」が27.1%、「3人」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、「4人」が45.8%で最も多く、次いで「5人」が25.6%、「3人」が15.9%となっている。

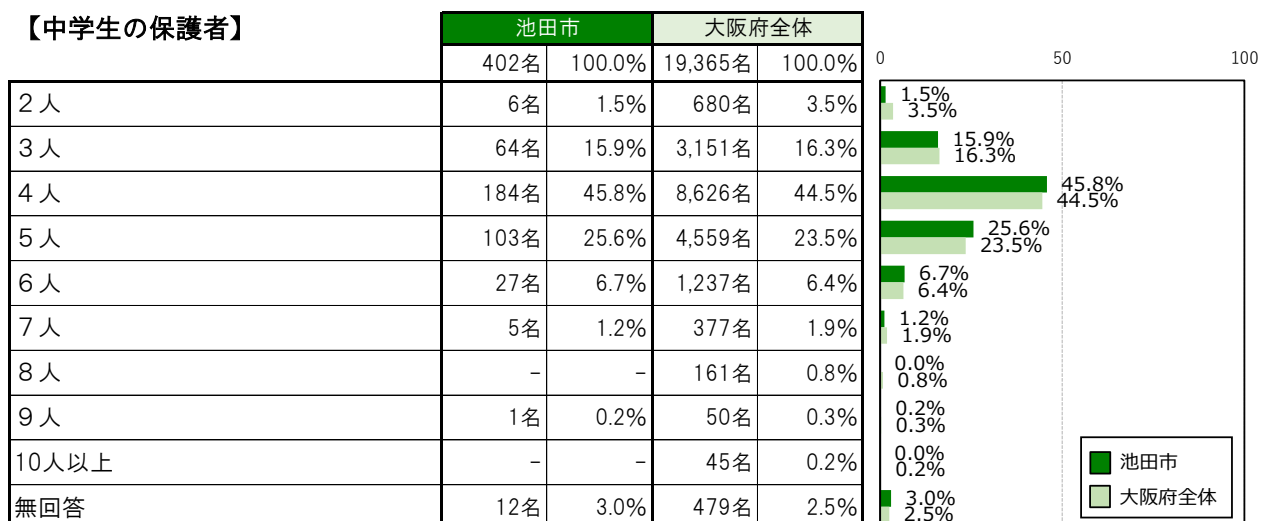
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問3 親の婚姻状況

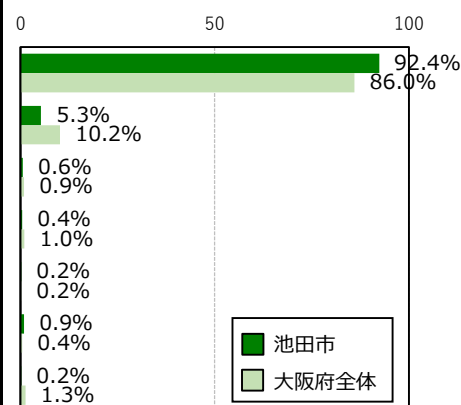
保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が92.4%で最も多く、次いで「離婚」が5.3%、「死別」が0.6%となっている。

小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が93.3%で最も多く、次いで「離婚」が4.6%、「死別」と「いない」がそれぞれ0.7%となっている。

中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が92.5%で最も多く、次いで「離婚」が6.0%、「いない」が0.7%となっている。

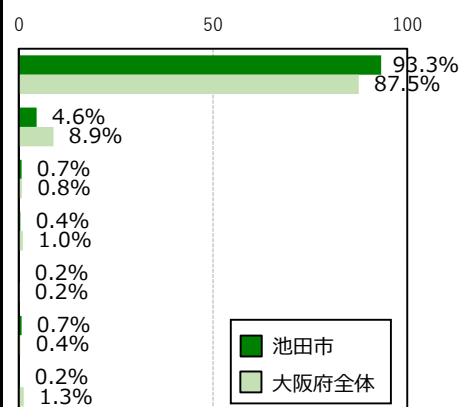
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	978名	92.4%	37,253名	86.0%
離婚	56名	5.3%	4,407名	10.2%
死別	6名	0.6%	400名	0.9%
未婚	4名	0.4%	412名	1.0%
わからない	2名	0.2%	77名	0.2%
いない	10名	0.9%	177名	0.4%
無回答	2名	0.2%	574名	1.3%



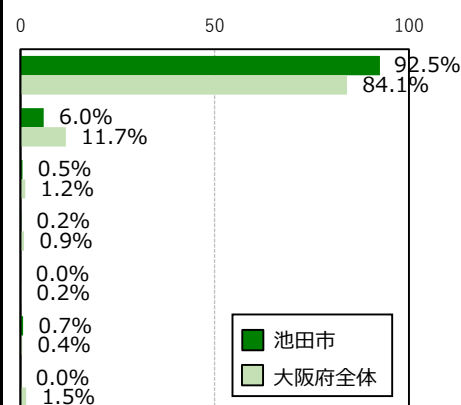
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	531名	93.3%	19,949名	87.5%
離婚	26名	4.6%	2,030名	8.9%
死別	4名	0.7%	172名	0.8%
未婚	2名	0.4%	224名	1.0%
わからない	1名	0.2%	39名	0.2%
いない	4名	0.7%	84名	0.4%
無回答	1名	0.2%	288名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	372名	92.5%	16,290名	84.1%
離婚	24名	6.0%	2,273名	11.7%
死別	2名	0.5%	223名	1.2%
未婚	1名	0.2%	181名	0.9%
わからない	-	-	34名	0.2%
いない	3名	0.7%	82名	0.4%
無回答	-	-	282名	1.5%



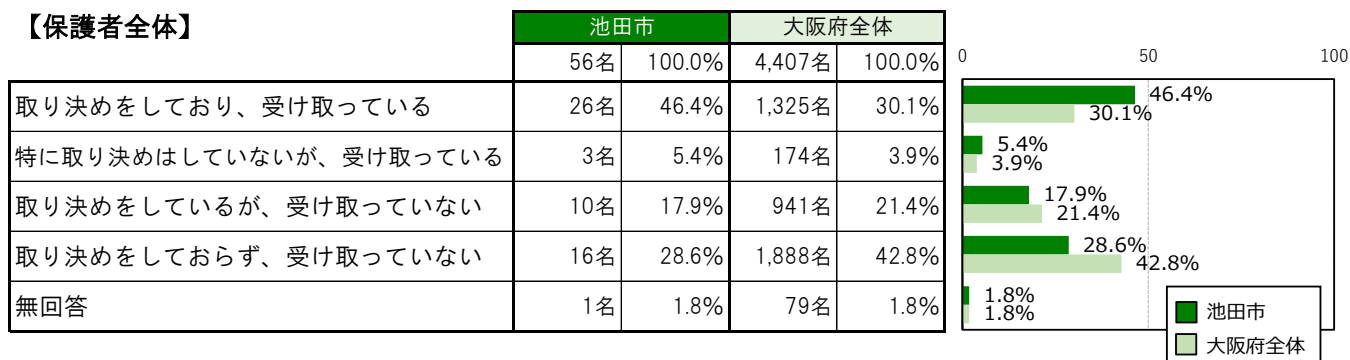
世帯の状況について

問4 離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

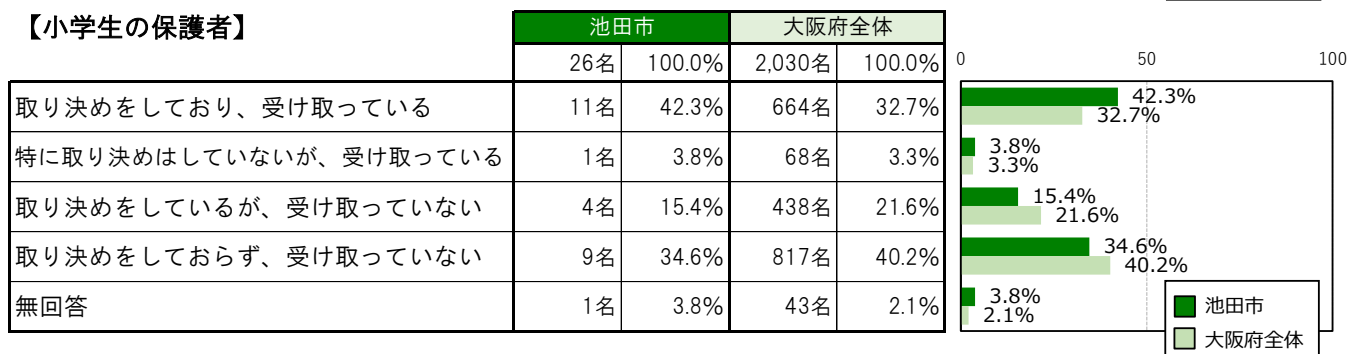
保護者全体は、「取り決めをしており、受け取っている」が46.4%で最も多く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が28.6%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が17.9%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」が42.3%で最も多く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が34.6%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が15.4%となっている。
中学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」が50.0%で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が25.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が20.8%となっている。

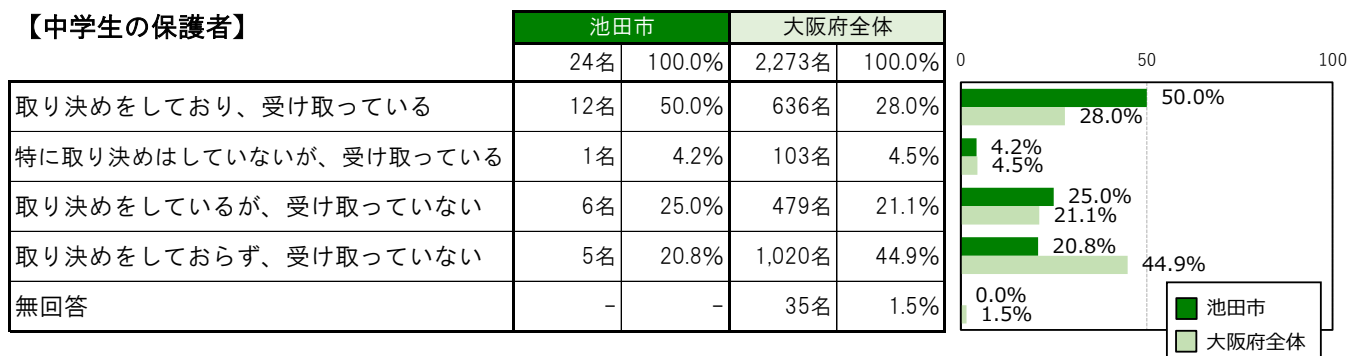
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

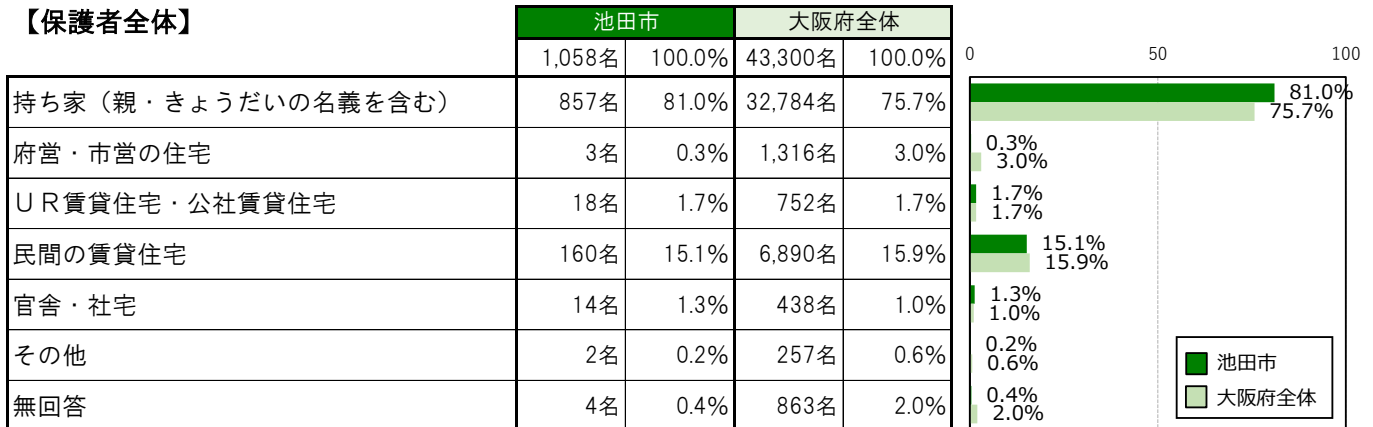
問5 住居形態

保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.0%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が15.1%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.7%となっている。

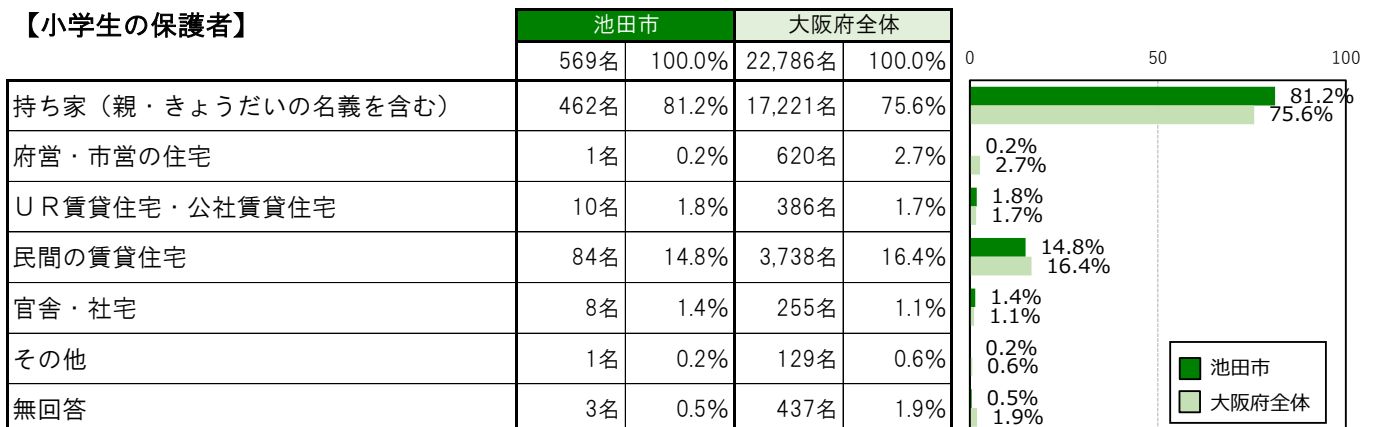
小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が81.2%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が14.8%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.8%となっている。

中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が80.8%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が15.9%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.7%となっている。

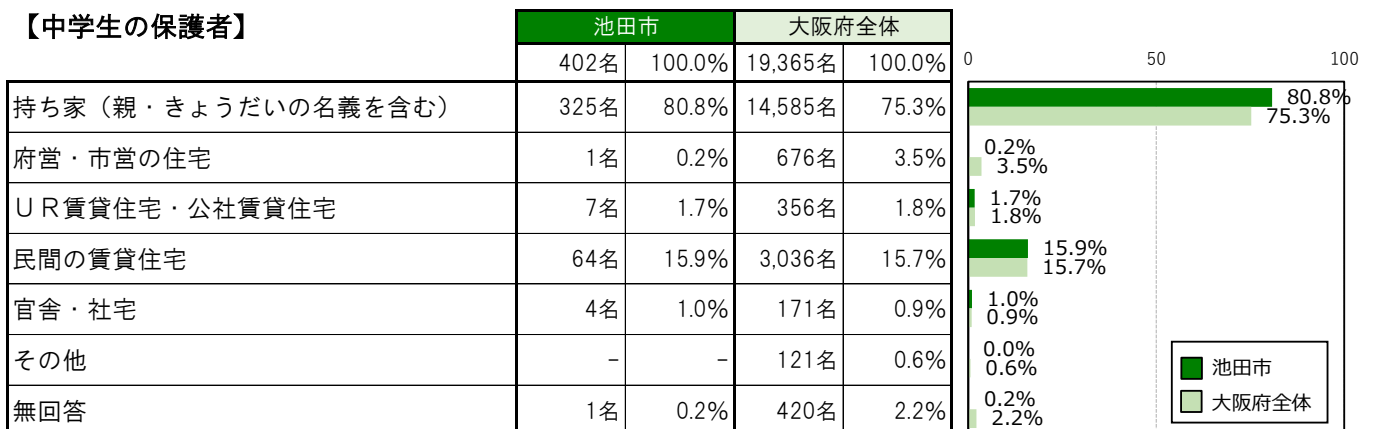
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問6(1) 家計の状況

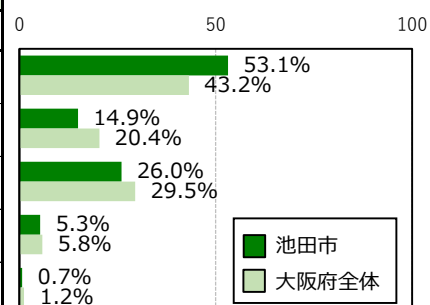
保護者全体は、「貯蓄ができています」が53.1%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が26.0%、「赤字である」が14.9%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄ができています」が54.8%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が25.5%、「赤字である」が13.4%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄ができています」が52.7%で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が26.6%、「赤字である」が15.9%となっている。

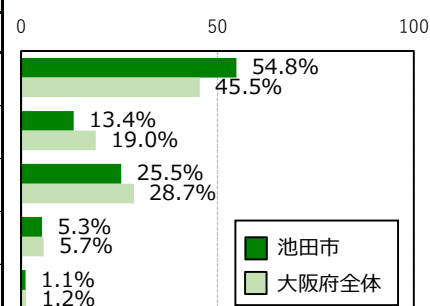
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄ができています	562名	53.1%	18,686名	43.2%
赤字である	158名	14.9%	8,818名	20.4%
赤字でもなく黒字でもない	275名	26.0%	12,767名	29.5%
わからない	56名	5.3%	2,523名	5.8%
無回答	7名	0.7%	506名	1.2%



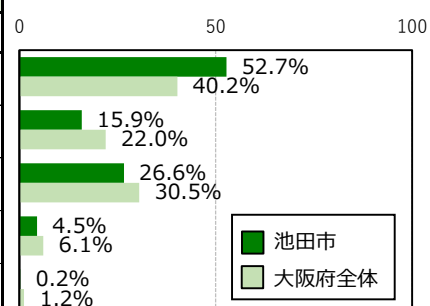
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄ができています	312名	54.8%	10,376名	45.5%
赤字である	76名	13.4%	4,319名	19.0%
赤字でもなく黒字でもない	145名	25.5%	6,535名	28.7%
わからない	30名	5.3%	1,292名	5.7%
無回答	6名	1.1%	264名	1.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄ができています	212名	52.7%	7,790名	40.2%
赤字である	64名	15.9%	4,255名	22.0%
赤字でもなく黒字でもない	107名	26.6%	5,912名	30.5%
わからない	18名	4.5%	1,173名	6.1%
無回答	1名	0.2%	235名	1.2%



世帯の状況について

問6（2）子どもの将来のための貯蓄状況

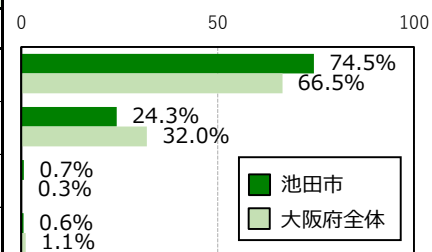
保護者全体は、「貯蓄をしている」が74.5%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が24.3%、「貯蓄をするつもりはない」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が75.2%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が23.2%となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が75.1%で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が23.9%となっている。

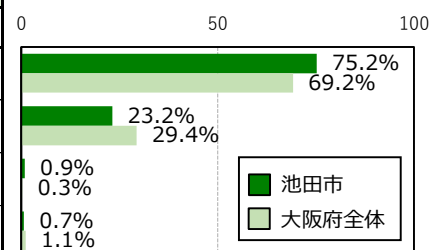
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄をしている	788名	74.5%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	257名	24.3%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	7名	0.7%	138名	0.3%
無回答	6名	0.6%	483名	1.1%



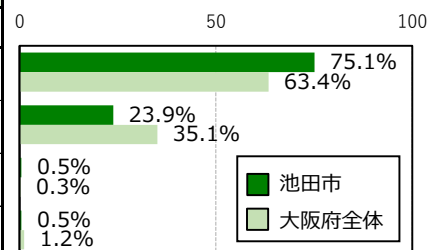
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄をしている	428名	75.2%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	132名	23.2%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	5名	0.9%	74名	0.3%
無回答	4名	0.7%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄をしている	302名	75.1%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	96名	23.9%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	2名	0.5%	63名	0.3%
無回答	2名	0.5%	227名	1.2%



世帯の状況について

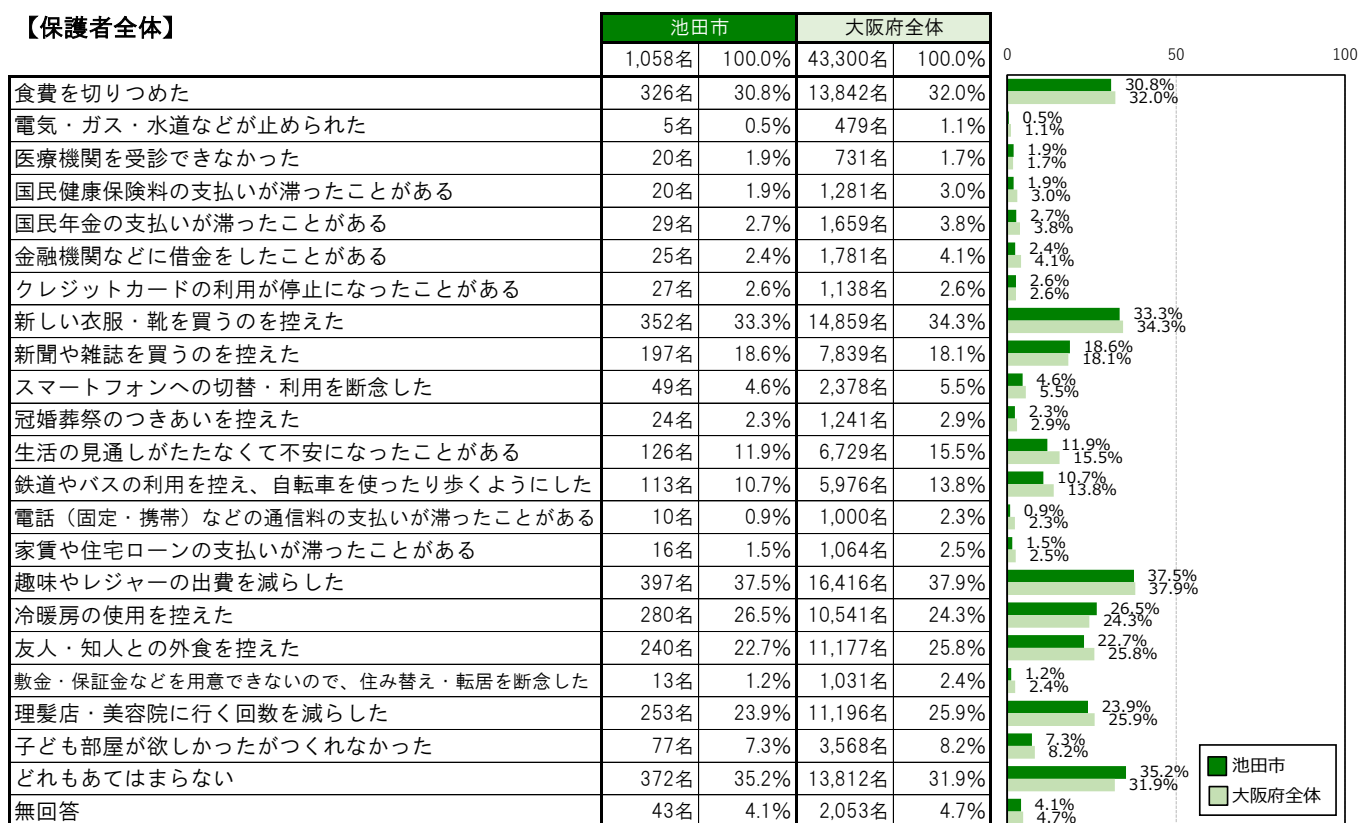
問7 経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.5%で最も多く、次いで「どれもあてはまらない」が35.2%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が33.3%、「食費を切りつめた」が30.8%となっている。

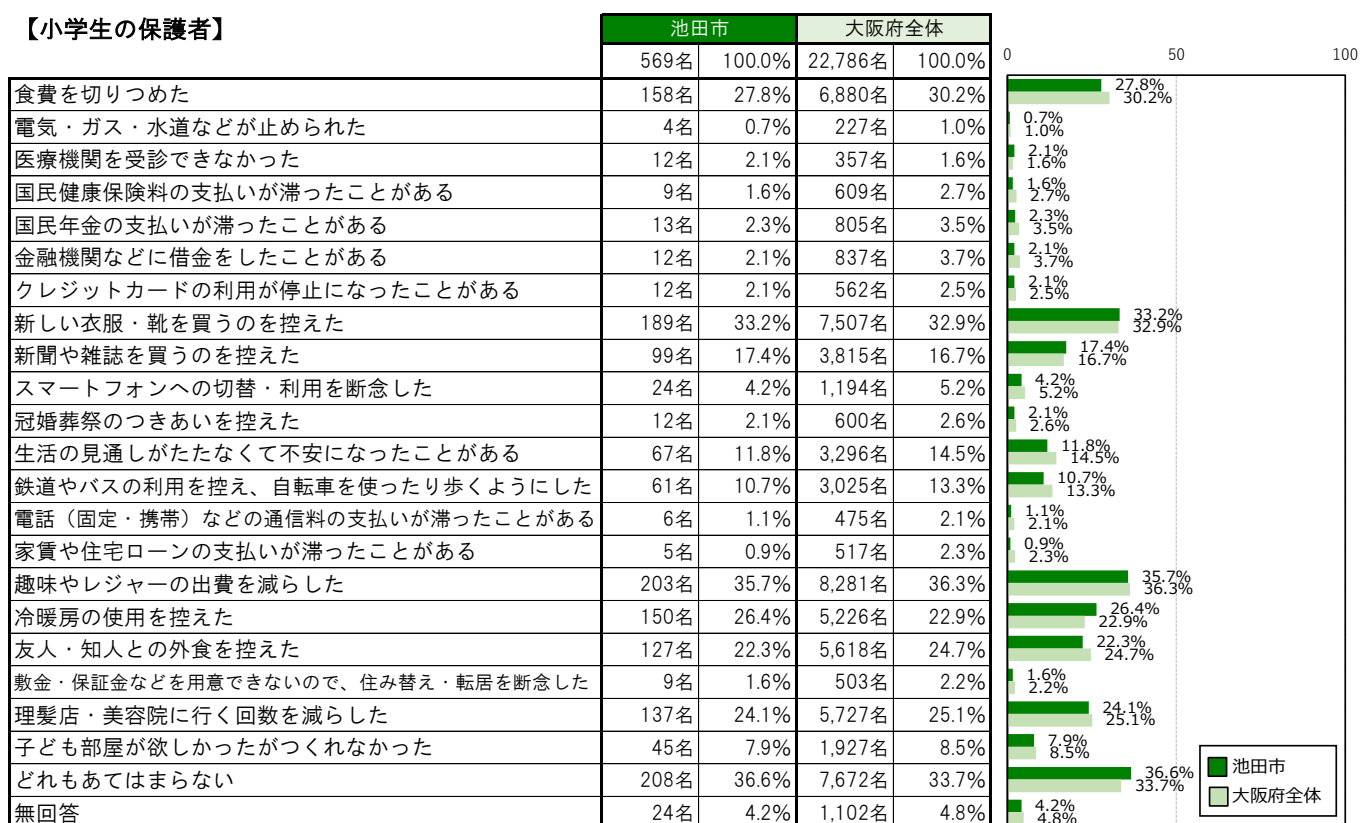
小学生の保護者は、「どれもあてはまらない」が36.6%で最も多く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が35.7%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が33.2%、「食費を切りつめた」が27.8%となっている。

中学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.6%で最も多く、次いで「食費を切りつめた」が34.1%、「どれもあてはまらない」が33.8%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が33.6%となっている。

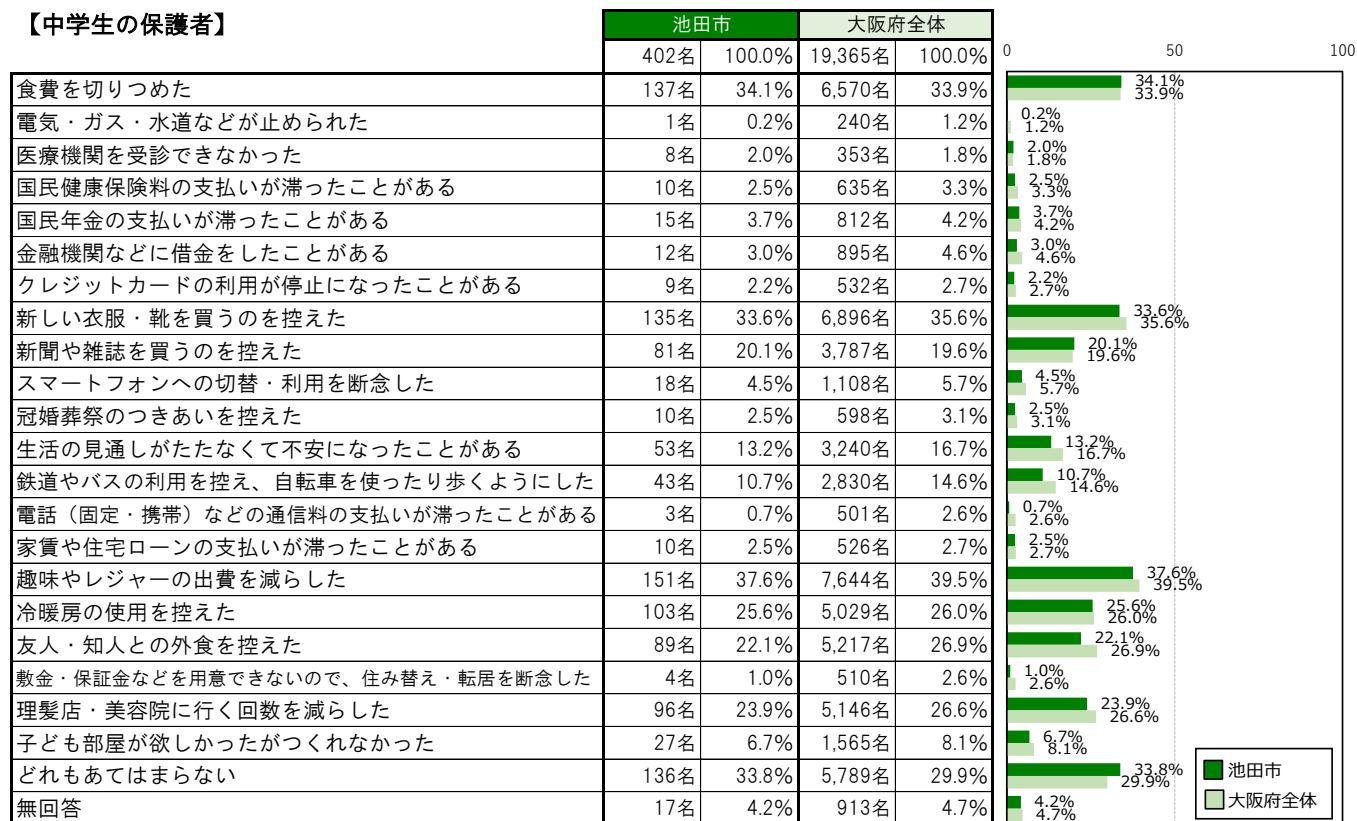
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



世帯の状況について

問7 経済的な理由による経験（はく奪指標）

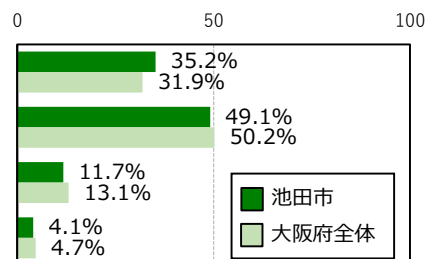
経済的な理由による経験について、はく奪指標で見ると、保護者全体は、「1～6個に該当」が49.1%で最も多く、次いで「該当なし」が35.2%、「7個以上に該当」が11.7%となっている。

小学生の保護者は、「1～6個に該当」が47.1%で最も多く、次いで「該当なし」が36.6%、「7個以上に該当」が12.1%となっている。

中学生の保護者は、「1～6個に該当」が50.5%で最も多く、次いで「該当なし」が33.8%、「7個以上に該当」が11.4%となっている。

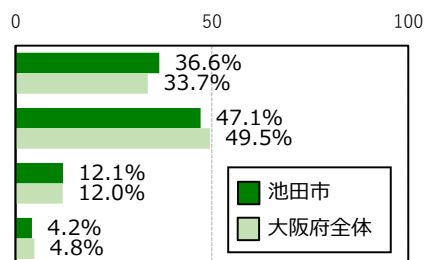
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
該当なし	372名	35.2%	13,812名	31.9%
1～6個に該当	519名	49.1%	21,747名	50.2%
7個以上に該当	124名	11.7%	5,688名	13.1%
無回答	43名	4.1%	2,053名	4.7%



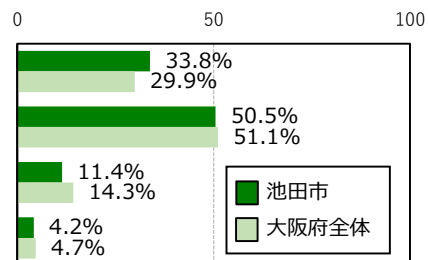
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
該当なし	208名	36.6%	7,672名	33.7%
1～6個に該当	268名	47.1%	11,270名	49.5%
7個以上に該当	69名	12.1%	2,742名	12.0%
無回答	24名	4.2%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
該当なし	136名	33.8%	5,789名	29.9%
1～6個に該当	203名	50.5%	9,888名	51.1%
7個以上に該当	46名	11.4%	2,775名	14.3%
無回答	17名	4.2%	913名	4.7%



世帯の状況について

問8 お母さんの最終学歴

保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が40.9%で最も多く、次いで「大学卒業」が34.7%、「高等学校卒業」が17.2%となっている。

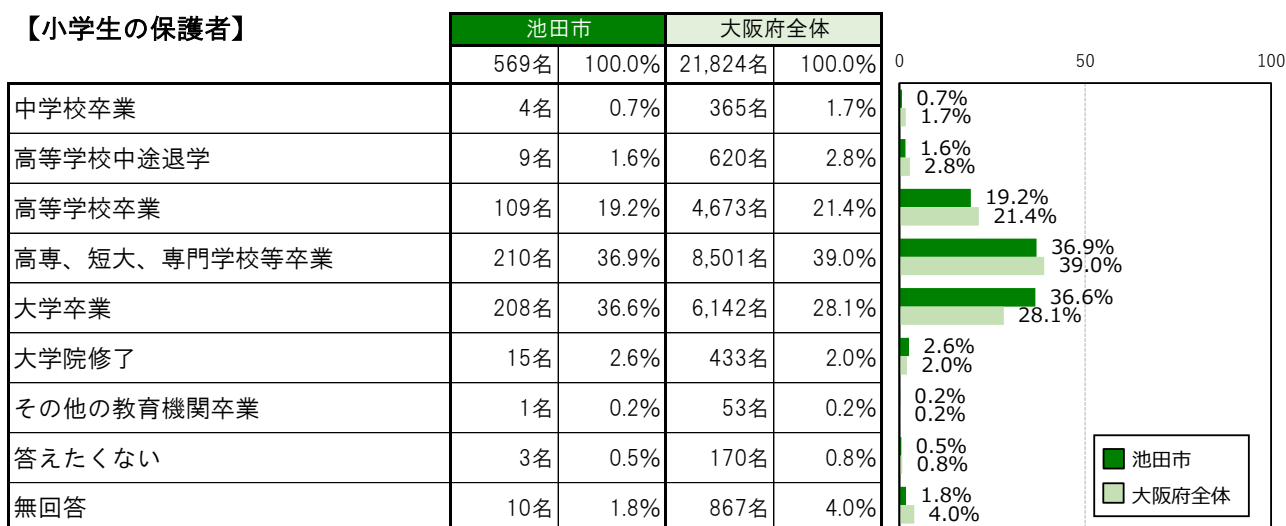
小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が36.9%で最も多く、次いで「大学卒業」が36.6%、「高等学校卒業」が19.2%となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が46.0%で最も多く、次いで「大学卒業」が30.3%、「高等学校卒業」が15.7%となっている。

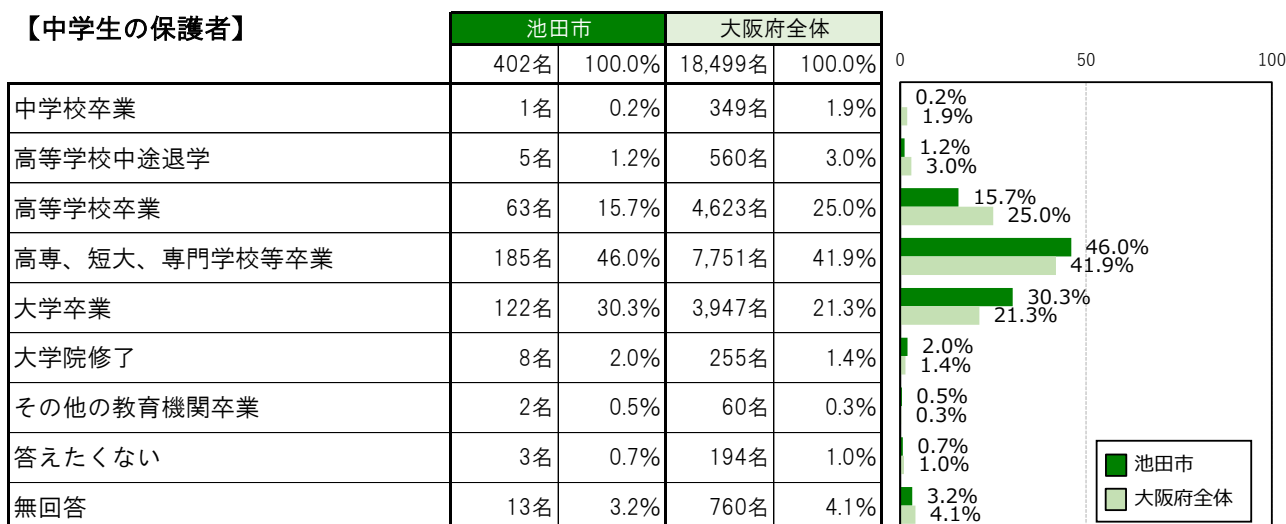
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



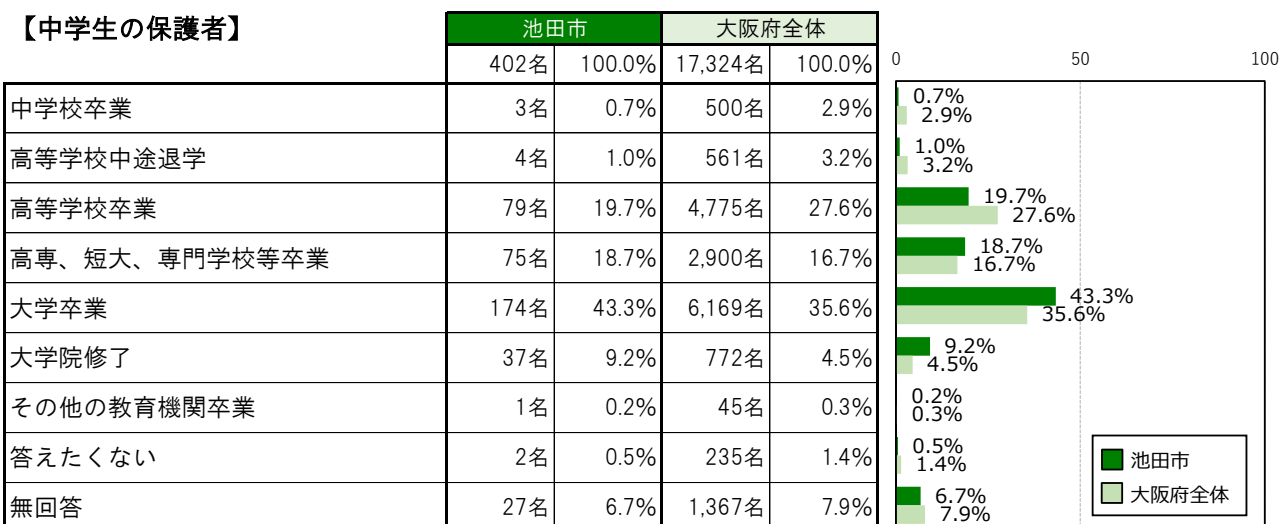
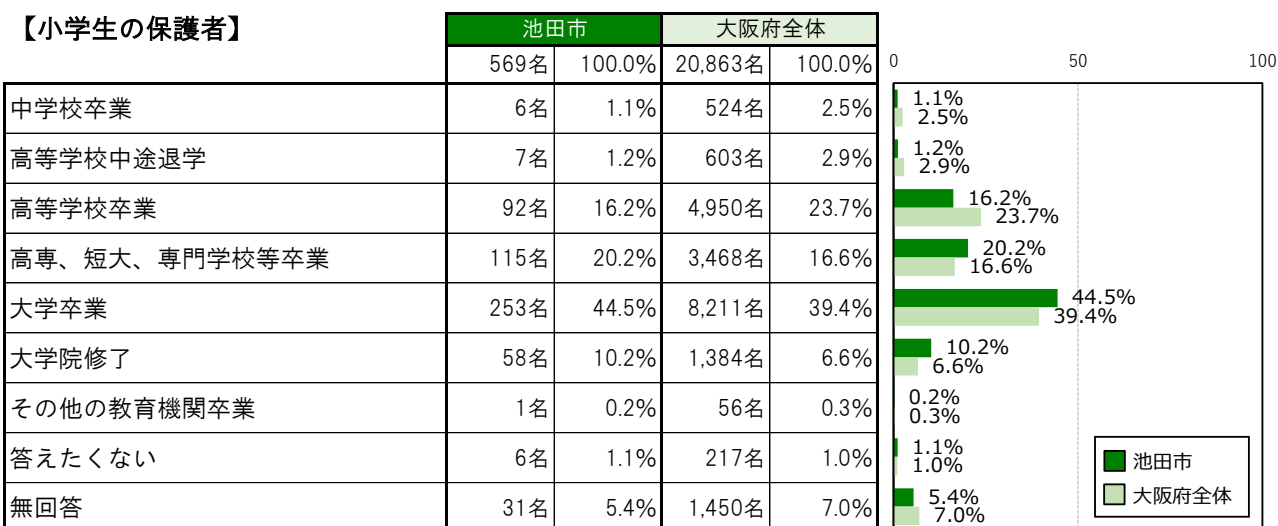
世帯の状況について

問8 お父さんの最終学歴

保護者全体は、「大学卒業」が44.0%で最も多く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が19.5%、「高等学校卒業」が17.8%、「大学院修了」が9.9%となっている。

小学生の保護者は、「大学卒業」が44.5%で最も多く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が20.2%、「高等学校卒業」が16.2%、「大学院修了」が10.2%となっている。

中学生の保護者は、「大学卒業」が43.3%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が19.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」が18.7%、「大学院修了」が9.2%となっている。



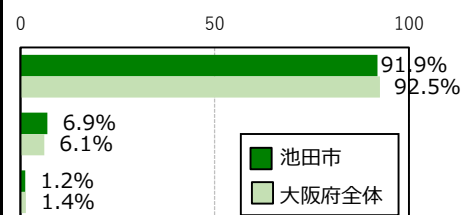
世帯の状況について

問9 お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が91.9%で、「いない」が6.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が92.6%で、「いない」が6.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が91.0%で、「いない」が7.0%となっている。

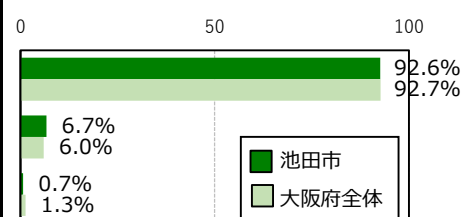
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	972名	91.9%	40,053名	92.5%
いない	73名	6.9%	2,634名	6.1%
無回答	13名	1.2%	613名	1.4%



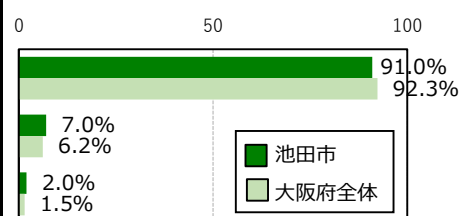
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	527名	92.6%	21,115名	92.7%
いない	38名	6.7%	1,368名	6.0%
無回答	4名	0.7%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	366名	91.0%	17,877名	92.3%
いない	28名	7.0%	1,192名	6.2%
無回答	8名	2.0%	296名	1.5%



世帯の状況について

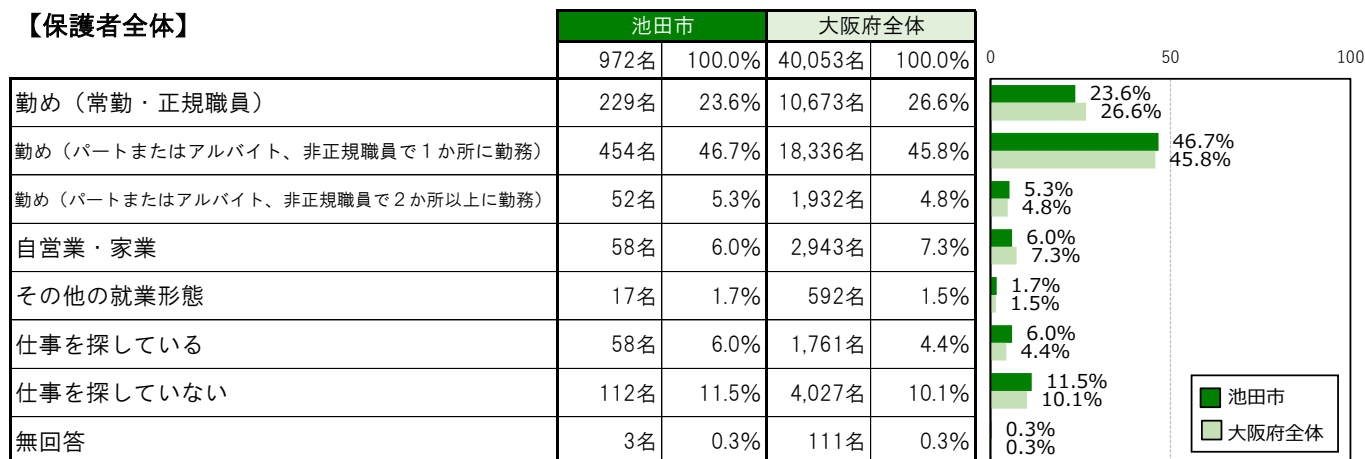
問9 お母さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が46.7%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が23.6%、「仕事を探していない」が11.5%となっている。

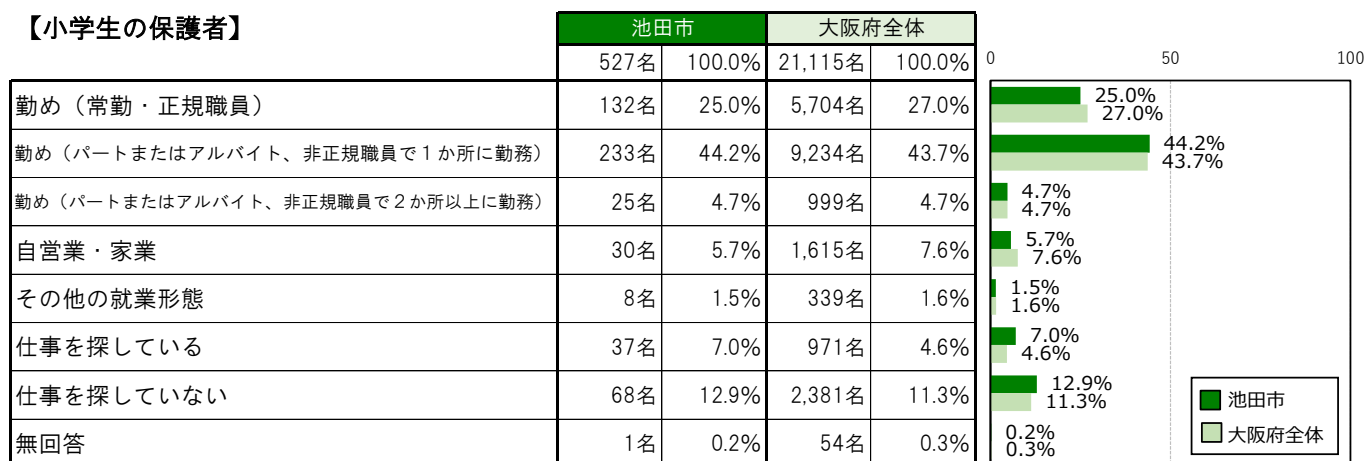
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が44.2%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が25.0%、「仕事を探していない」が12.9%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が49.7%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が20.2%、「仕事を探していない」が10.9%となっている。

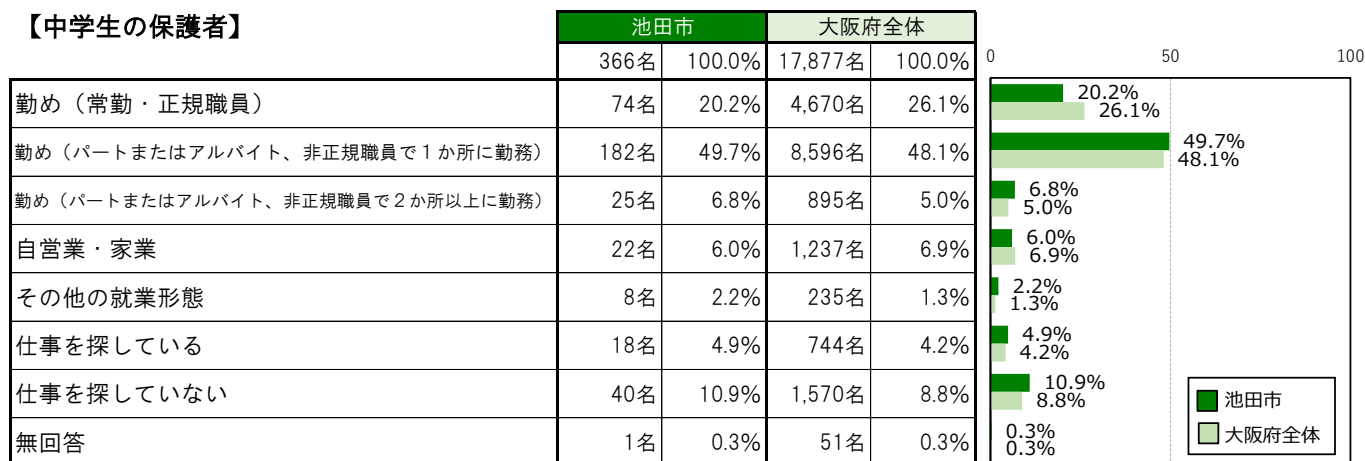
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



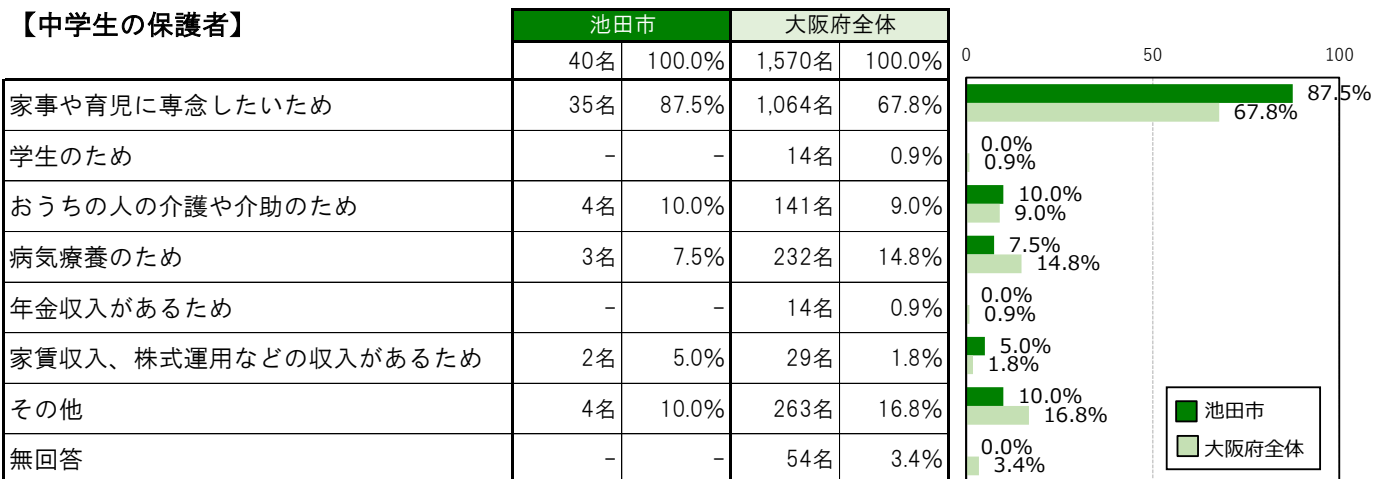
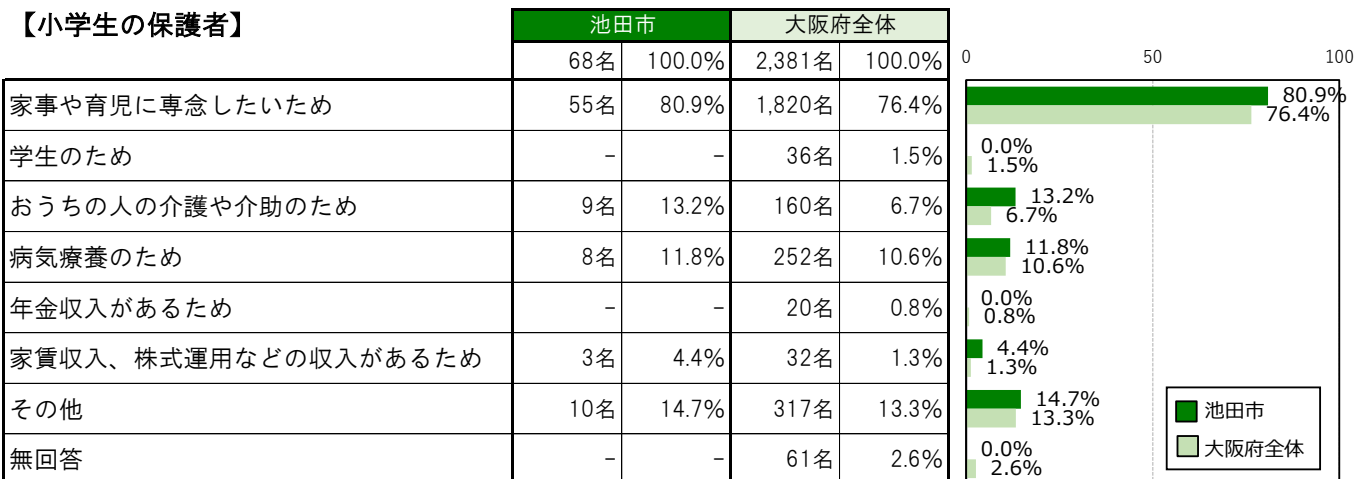
世帯の状況について

問9 お母さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が81.3%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が12.5%、「病気療養のため」が10.7%となっている。

小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が80.9%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が13.2%、「病気療養のため」が11.8%となっている。

中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が87.5%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が10.0%、「病気療養のため」が7.5%となっている。



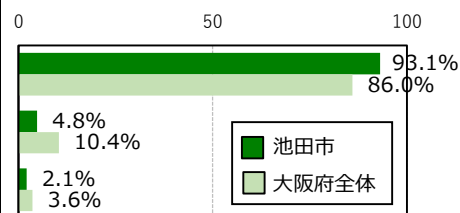
世帯の状況について

問9 お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が93.1%で、「いない」が4.8%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が93.1%で、「いない」が5.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が93.3%で、「いない」が3.7%となっている。

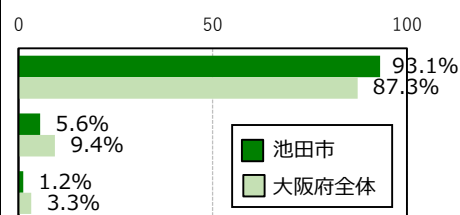
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	985名	93.1%	37,256名	86.0%
いない	51名	4.8%	4,504名	10.4%
無回答	22名	2.1%	1,540名	3.6%



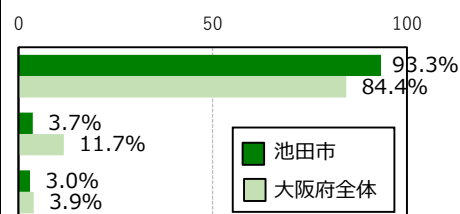
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	530名	93.1%	19,882名	87.3%
いない	32名	5.6%	2,149名	9.4%
無回答	7名	1.2%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	375名	93.3%	16,352名	84.4%
いない	15名	3.7%	2,261名	11.7%
無回答	12名	3.0%	752名	3.9%



世帯の状況について

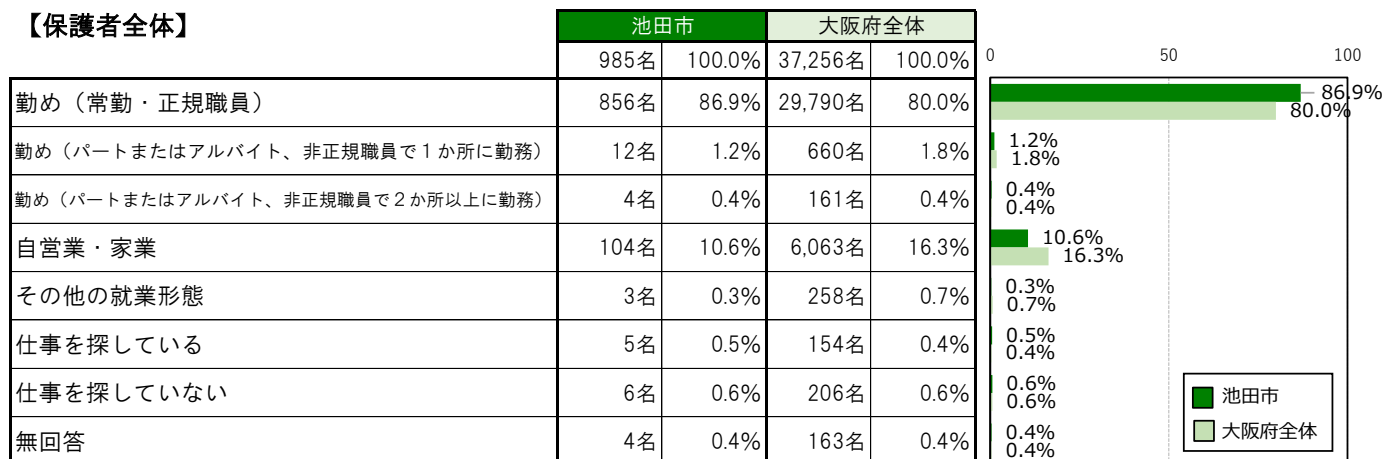
問9 お父さんの就業状況

保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が86.9%で最も多く、次いで「自営業・家業」が10.6%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.2%となっている。

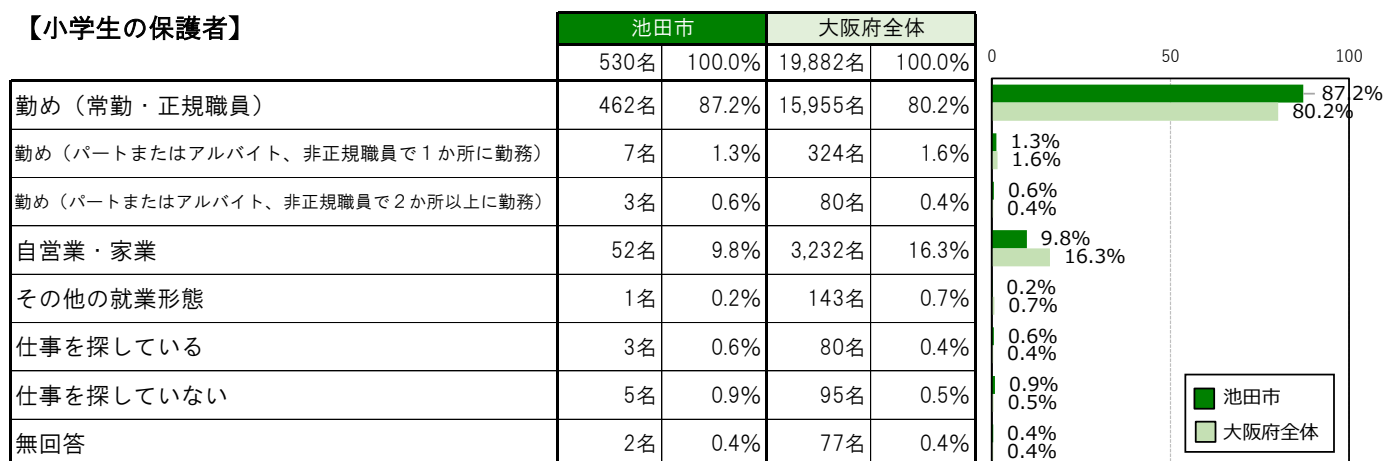
小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が87.2%で最も多く、次いで「自営業・家業」が9.8%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.3%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が86.1%で最も多く、次いで「自営業・家業」が11.5%、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が1.3%となっている。

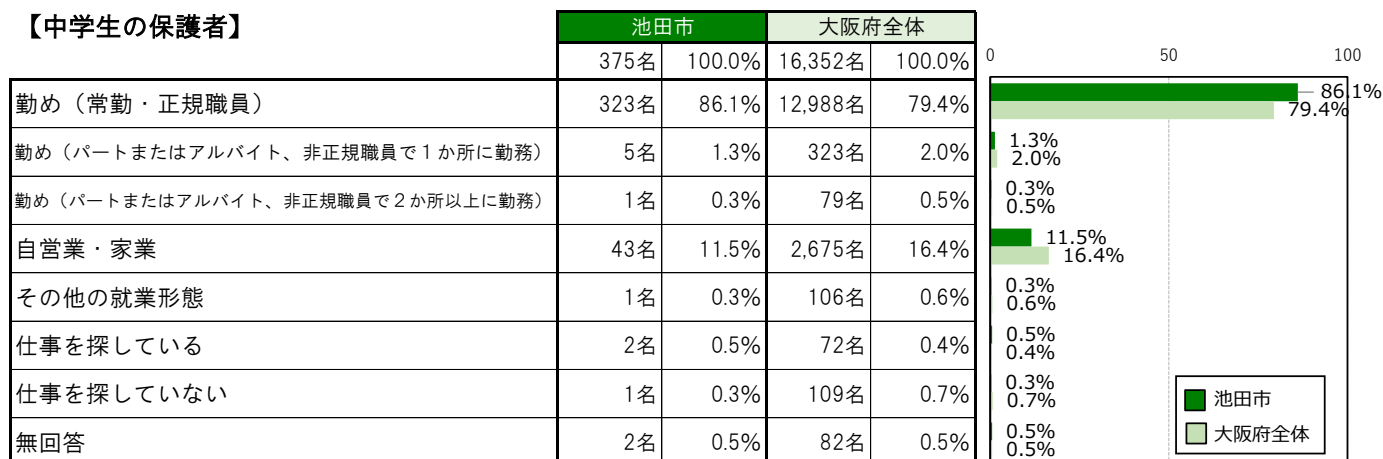
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】

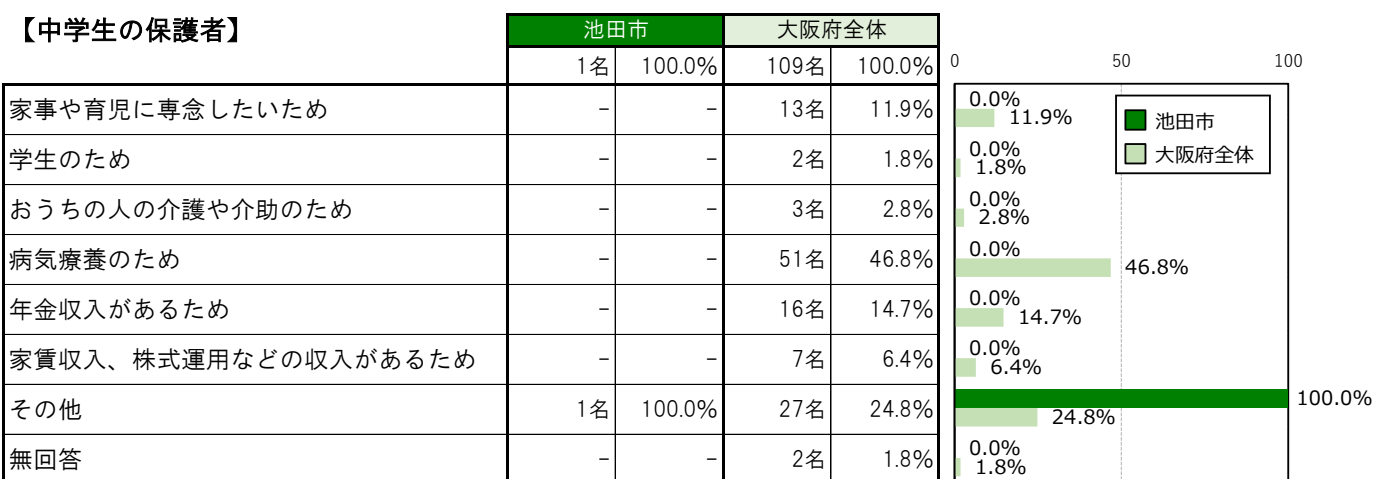
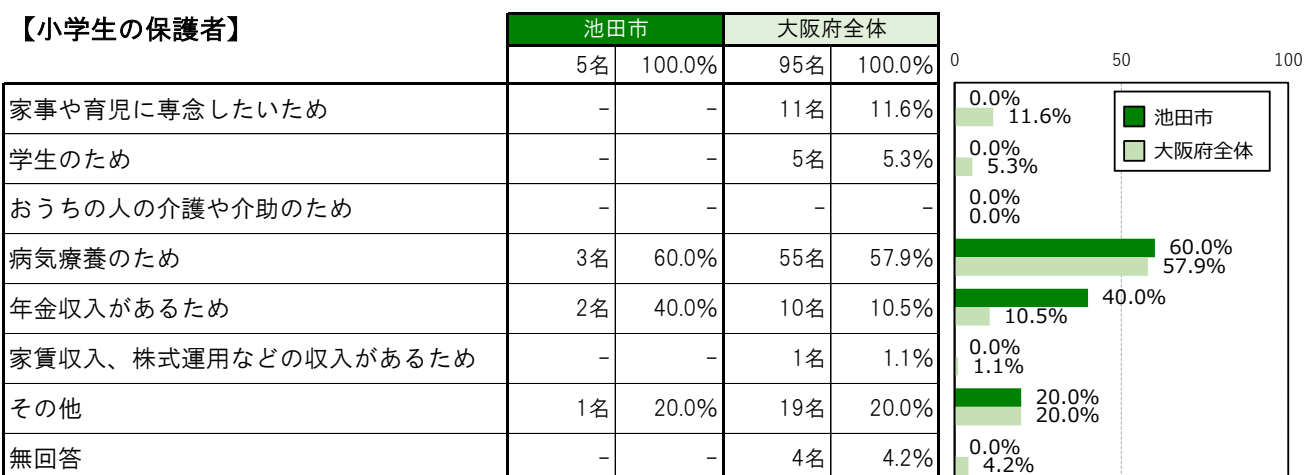


世帯の状況について

問9 お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」が50.0%（3名）で最も多く、次いで「年金収入があるため」が33.3%（2名）となっている。

小学生の保護者は、「病気療養のため」が60.0%（3名）で最も多く、次いで「年金収入があるため」が40.0%（2名）となっている。



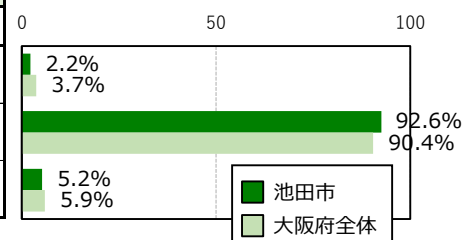
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いない」が92.6%で、「いる」が2.2%となっている。
 小学生の保護者は、「いない」が92.4%で、「いる」が2.8%となっている。
 中学生の保護者は、「いない」が94.0%で、「いる」が1.5%となっている。

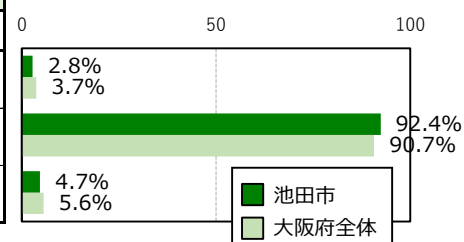
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	23名	2.2%	1,611名	3.7%
いない	980名	92.6%	39,140名	90.4%
無回答	55名	5.2%	2,549名	5.9%



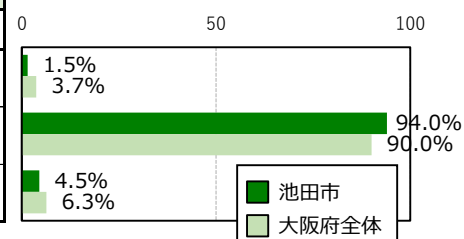
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	16名	2.8%	854名	3.7%
いない	526名	92.4%	20,666名	90.7%
無回答	27名	4.7%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	6名	1.5%	718名	3.7%
いない	378名	94.0%	17,432名	90.0%
無回答	18名	4.5%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

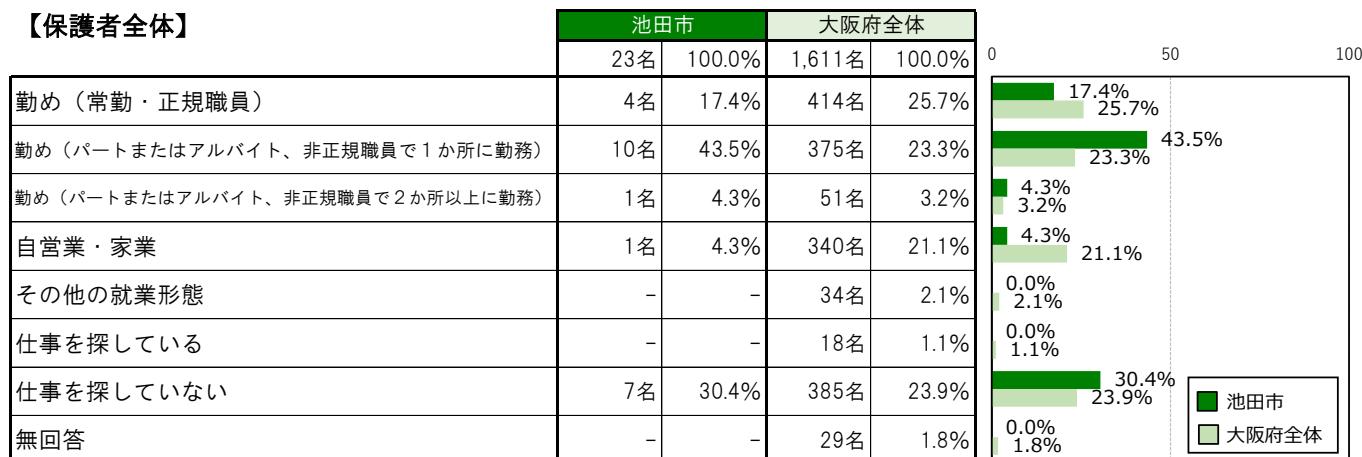
問9 親以外に主として家計を支えている人の就業状況

保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が43.5%（10名）で最も多く、次いで「仕事を探していない」が30.4%（7名）、「勤め（常勤・正規職員）」が17.4%（4名）となっている。

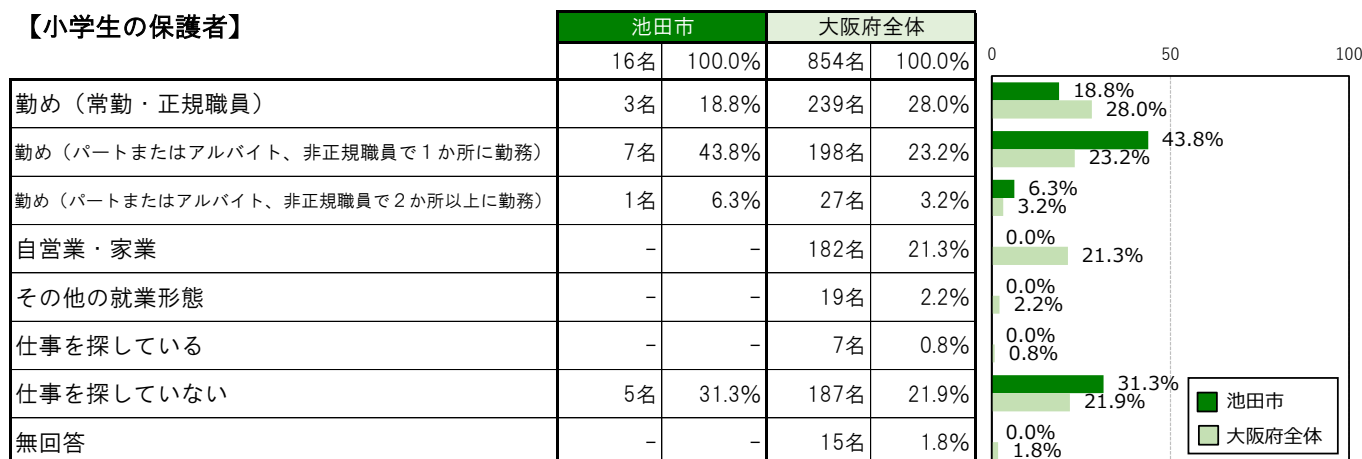
小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」が43.8%（7名）で最も多く、次いで「仕事を探していない」が31.3%（5名）、「勤め（常勤・正規職員）」が18.8%（3名）となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」と「仕事を探していない」がそれぞれ33.3%（2名）で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」と「自営業・家業」がそれぞれ16.7%（1名）となっている。

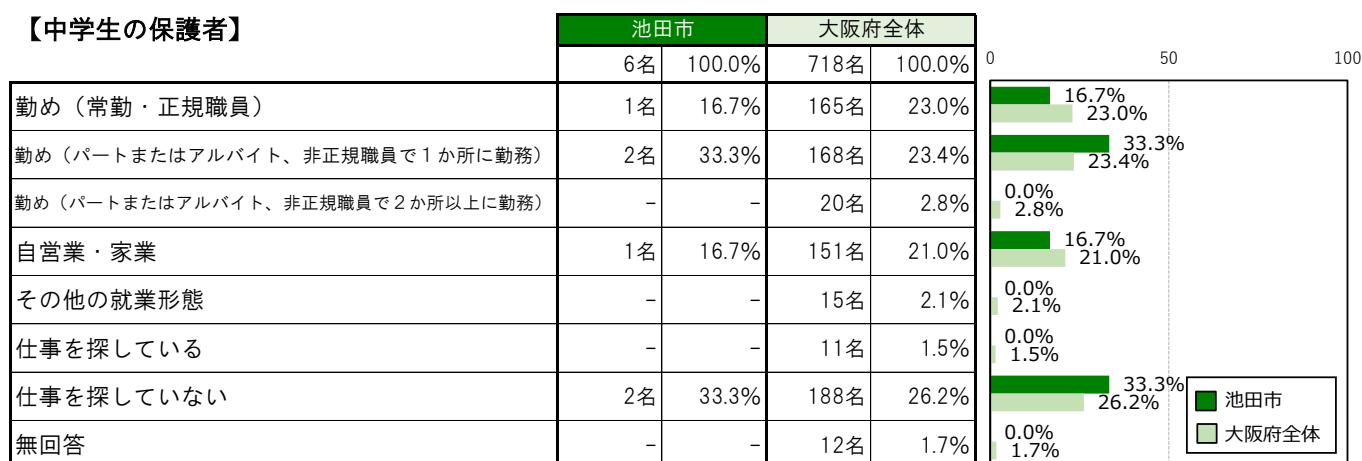
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



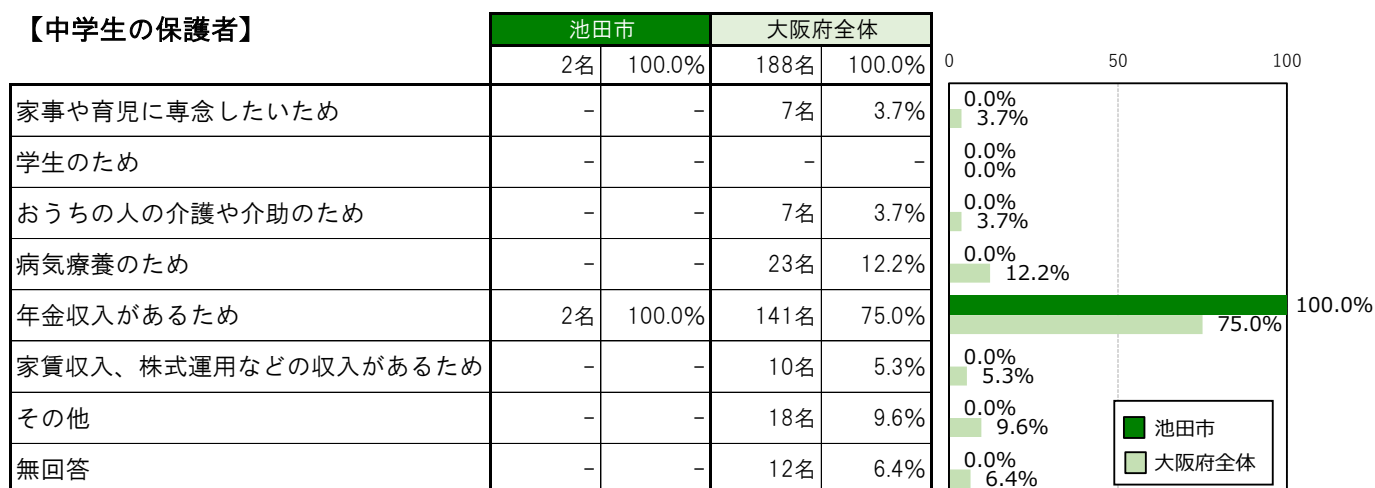
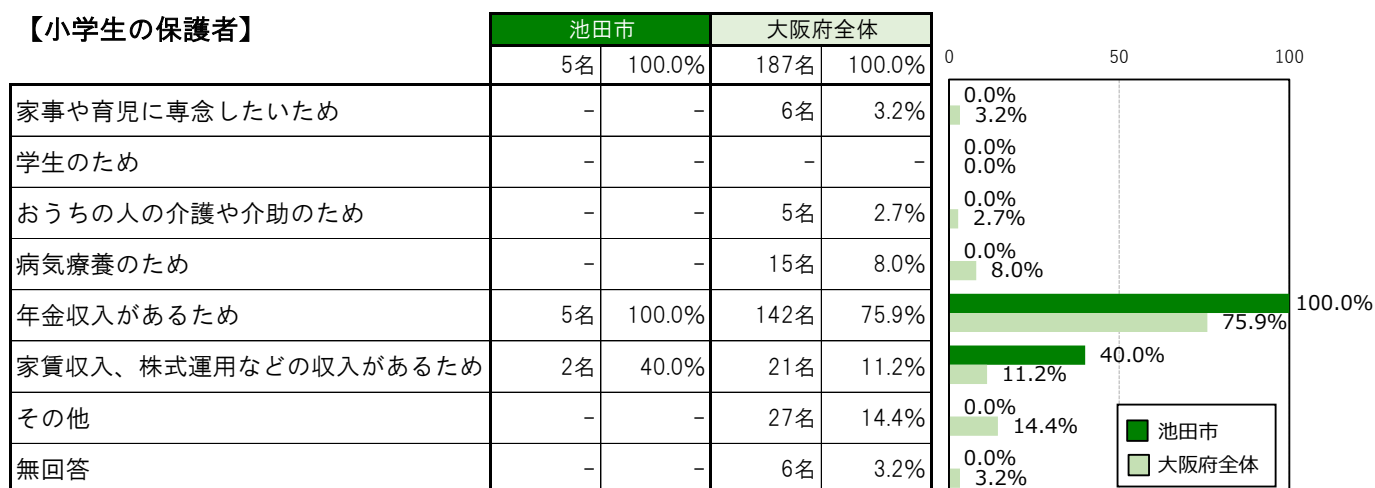
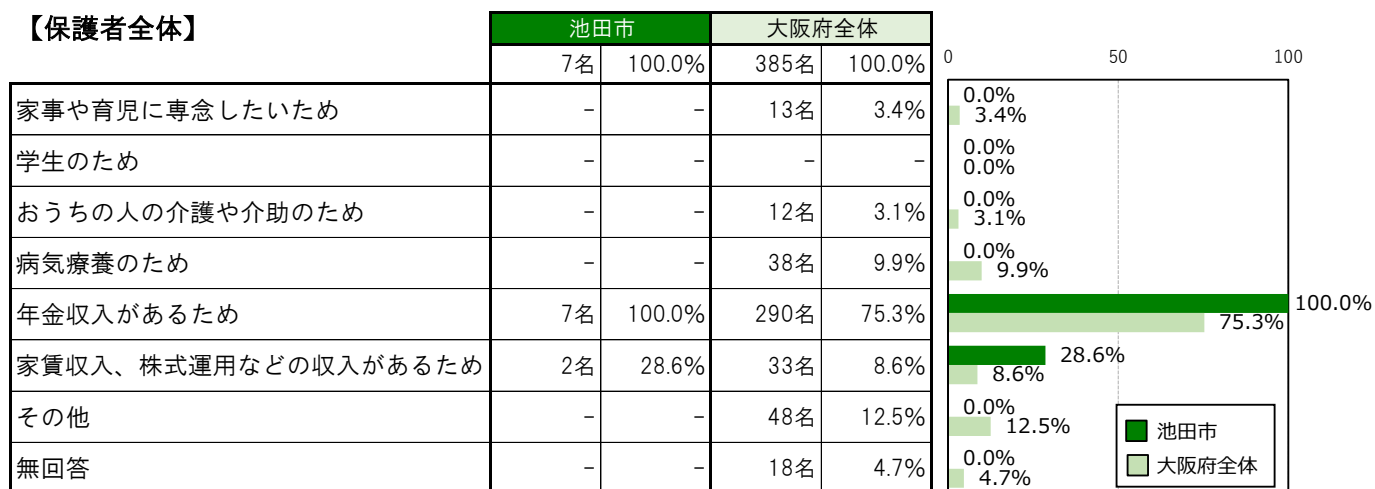
世帯の状況について

問9 親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「年金収入があるため」が100.0%（7名）で最も多く、次いで「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が28.6%（2名）となっている。

小学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%（5名）で最も多く、次いで「家賃収入、株式運用などの収入があるため」が40.0%（2名）となっている。

中学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%（2名）となっている。



世帯の状況について

問10 保護者が家にいる時間帯

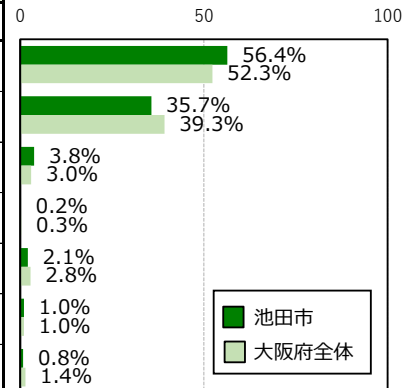
保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が56.4%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が35.7%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.8%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が58.7%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が34.8%、「帰宅時間が決まっていない」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が54.7%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が34.6%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が7.0%となっている。

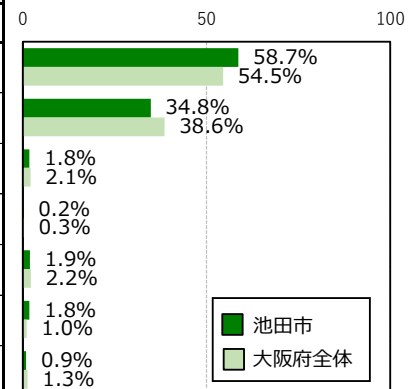
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	597名	56.4%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	378名	35.7%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	40名	3.8%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	2名	0.2%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	22名	2.1%	1,212名	2.8%
その他	11名	1.0%	416名	1.0%
無回答	8名	0.8%	593名	1.4%



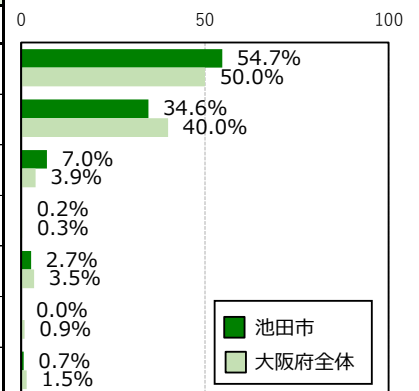
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	334名	58.7%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	198名	34.8%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	10名	1.8%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.2%	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	11名	1.9%	505名	2.2%
その他	10名	1.8%	222名	1.0%
無回答	5名	0.9%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	220名	54.7%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	139名	34.6%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	28名	7.0%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.2%	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	11名	2.7%	676名	3.5%
その他	-	-	182名	0.9%
無回答	3名	0.7%	286名	1.5%



世帯の状況について

問11 日本語以外の言語の使用状況

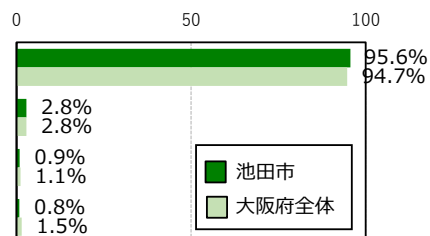
保護者全体は、「日本語のみを使用している」が95.6%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.8%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.9%となっている。

小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が94.4%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.3%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が1.2%となっている。

中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が97.3%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.5%となっている。

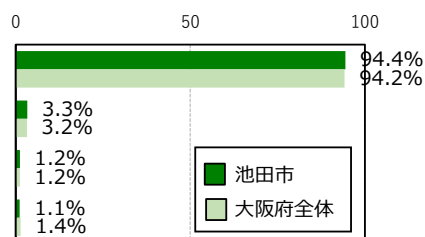
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	1,011名	95.6%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	30名	2.8%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	9名	0.9%	476名	1.1%
無回答	8名	0.8%	632名	1.5%



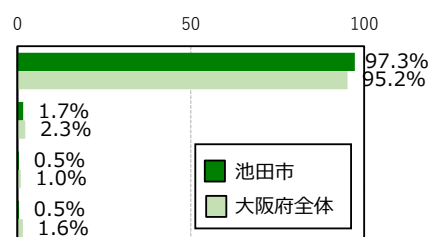
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	537名	94.4%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	19名	3.3%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	7名	1.2%	280名	1.2%
無回答	6名	1.1%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	391名	97.3%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	7名	1.7%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.5%	188名	1.0%
無回答	2名	0.5%	305名	1.6%



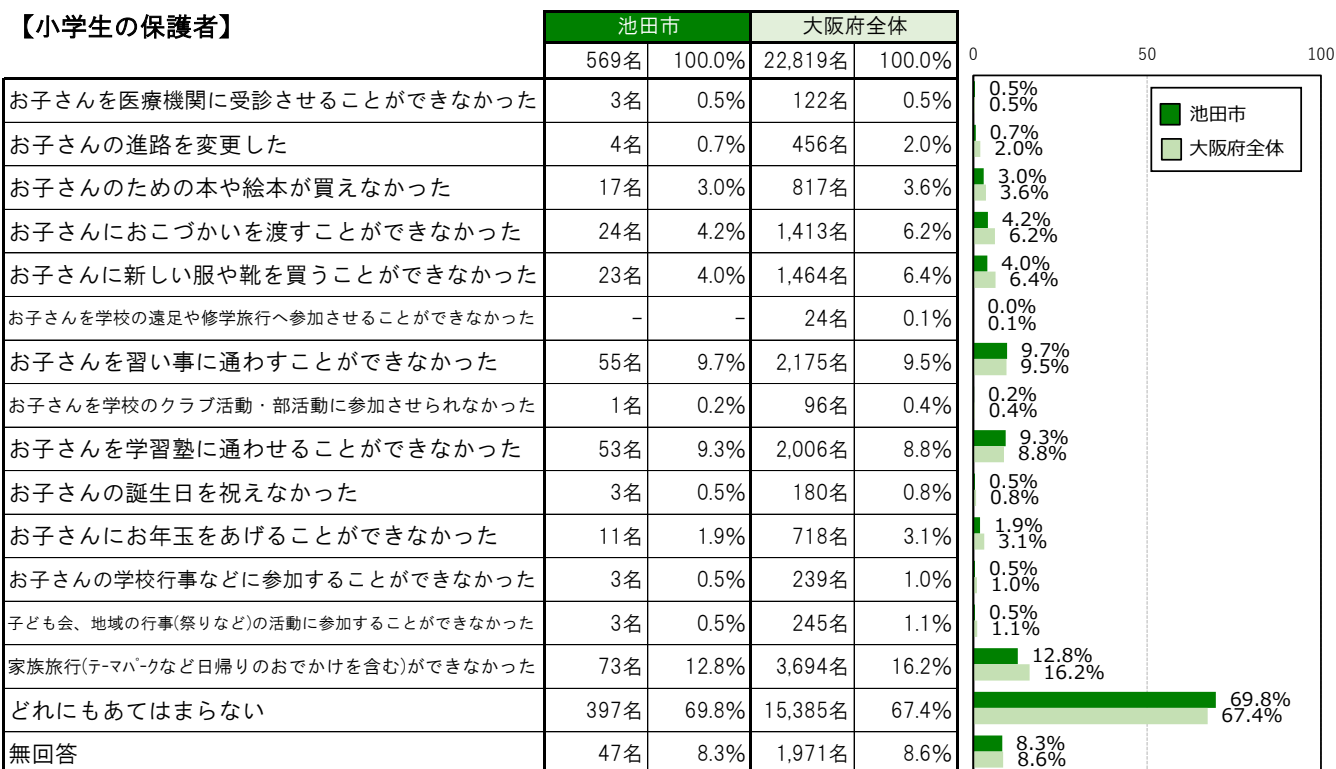
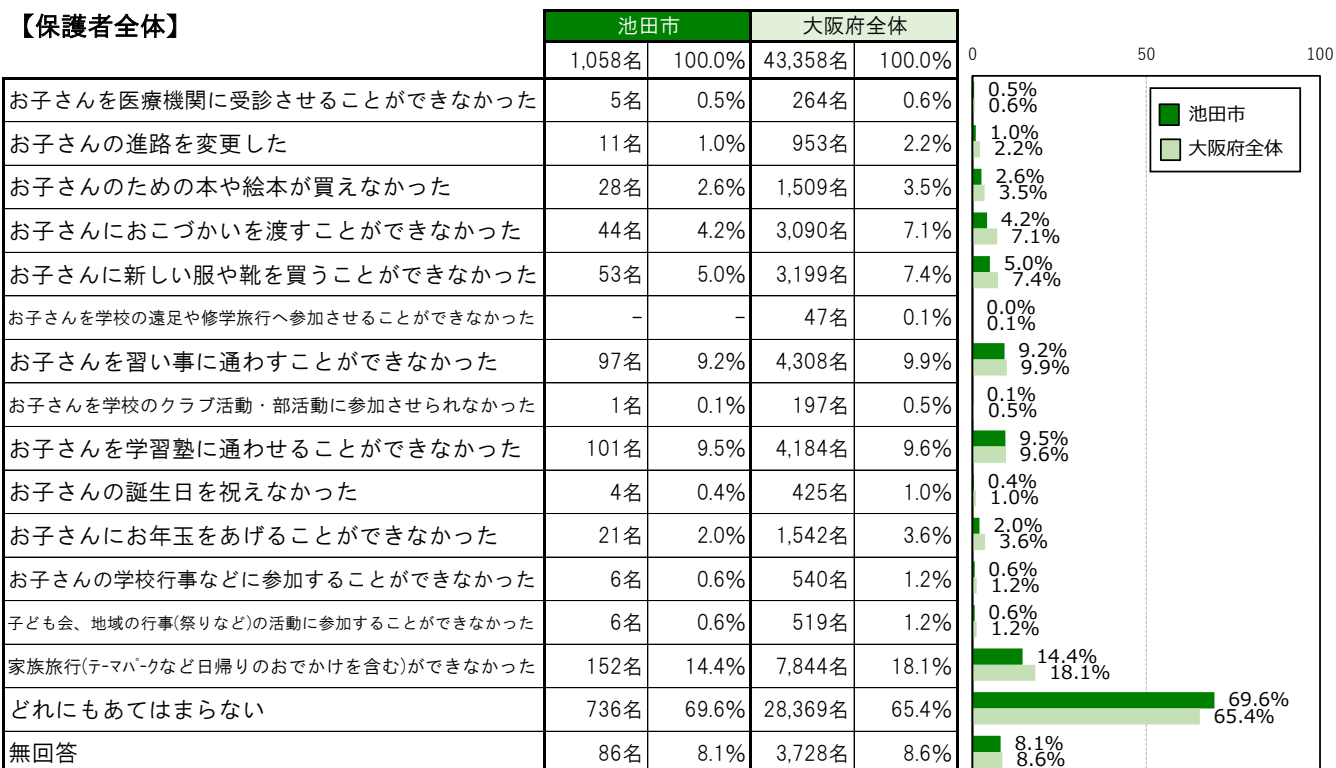
子どもに関することについて

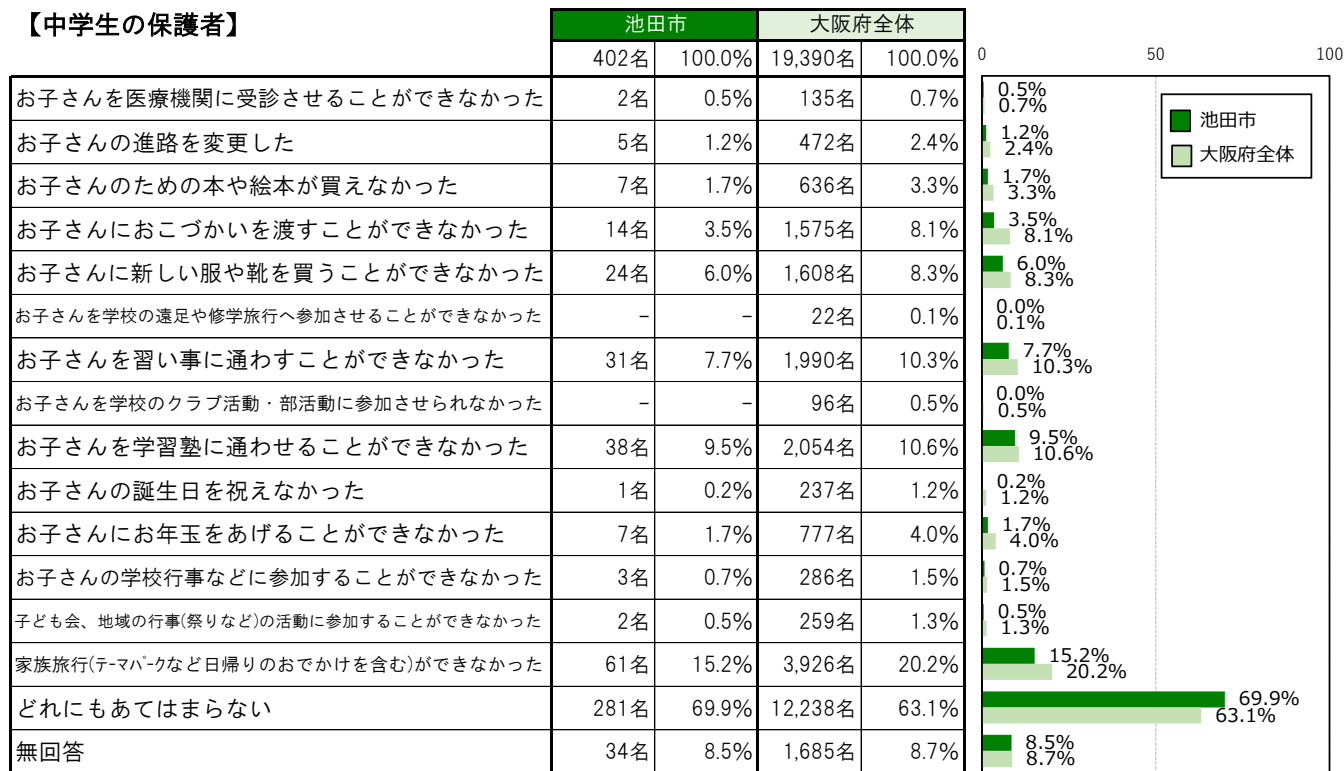
問12 経済的な理由による子どもに関する経験

保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が69.6%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が14.4%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が9.5%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.2%となっている。

小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が69.8%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が12.8%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.7%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が9.3%となっている。

中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が69.9%で最も多く、次いで「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が15.2%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が9.5%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が7.7%となっている。





子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

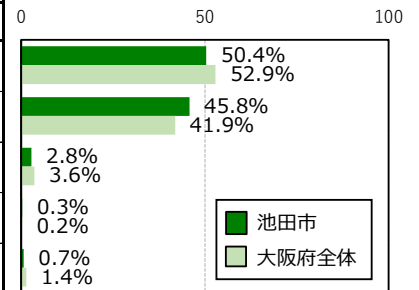
保護者全体は、「とても信頼している」が50.4%で最も多く、次いで「信頼している」が45.8%、「あまり信頼していない」が2.8%となっている。

小学生の保護者は、「とても信頼している」が52.7%で最も多く、次いで「信頼している」が44.1%、「あまり信頼していない」が2.1%となっている。

中学生の保護者は、「信頼している」が49.3%で最も多く、次いで「とても信頼している」が46.8%、「あまり信頼していない」が3.2%となっている。

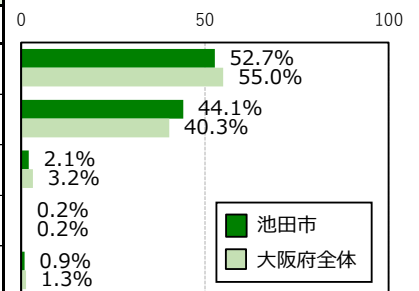
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
とても信頼している	533名	50.4%	22,948名	52.9%
信頼している	485名	45.8%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	30名	2.8%	1,566名	3.6%
信頼していない	3名	0.3%	101名	0.2%
無回答	7名	0.7%	592名	1.4%



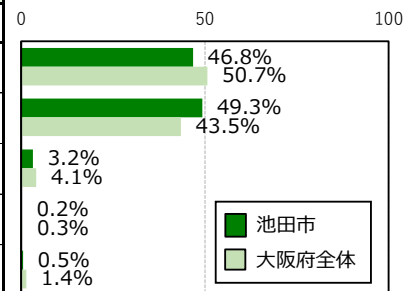
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
とても信頼している	300名	52.7%	12,553名	55.0%
信頼している	251名	44.1%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	12名	2.1%	720名	3.2%
信頼していない	1名	0.2%	48名	0.2%
無回答	5名	0.9%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
とても信頼している	188名	46.8%	9,835名	50.7%
信頼している	198名	49.3%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	13名	3.2%	796名	4.1%
信頼していない	1名	0.2%	50名	0.3%
無回答	2名	0.5%	280名	1.4%



子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

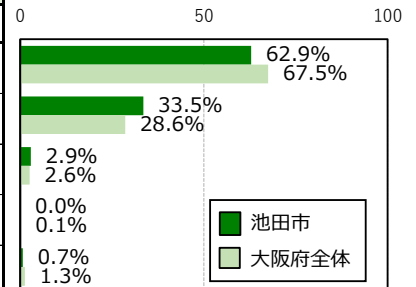
保護者全体は、「よくする」が62.9%で最も多く、次いで「する」が33.5%、「あまりしない」が2.9%となっている。

小学生の保護者は、「よくする」が67.1%で最も多く、次いで「する」が30.9%、「あまりしない」が1.2%となっている。

中学生の保護者は、「よくする」が58.2%で最も多く、次いで「する」が36.1%、「あまりしない」が5.0%となっている。

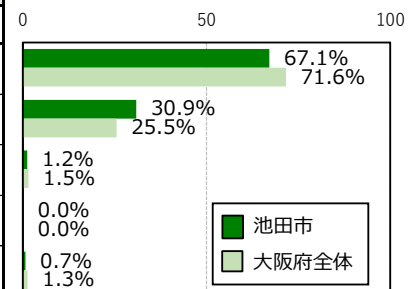
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
よくする	666名	62.9%	29,262名	67.5%
する	354名	33.5%	12,391名	28.6%
あまりしない	31名	2.9%	1,110名	2.6%
しない	-	-	30名	0.1%
無回答	7名	0.7%	565名	1.3%



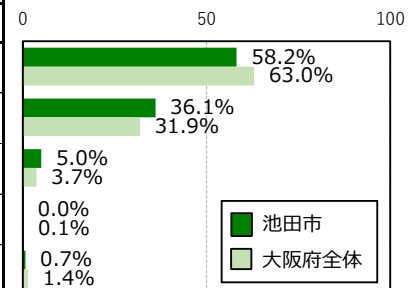
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
よくする	382名	67.1%	16,345名	71.6%
する	176名	30.9%	5,827名	25.5%
あまりしない	7名	1.2%	337名	1.5%
しない	-	-	10名	0.0%
無回答	4名	0.7%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
よくする	234名	58.2%	12,214名	63.0%
する	145名	36.1%	6,176名	31.9%
あまりしない	20名	5.0%	719名	3.7%
しない	-	-	19名	0.1%
無回答	3名	0.7%	262名	1.4%



子どもに関することについて

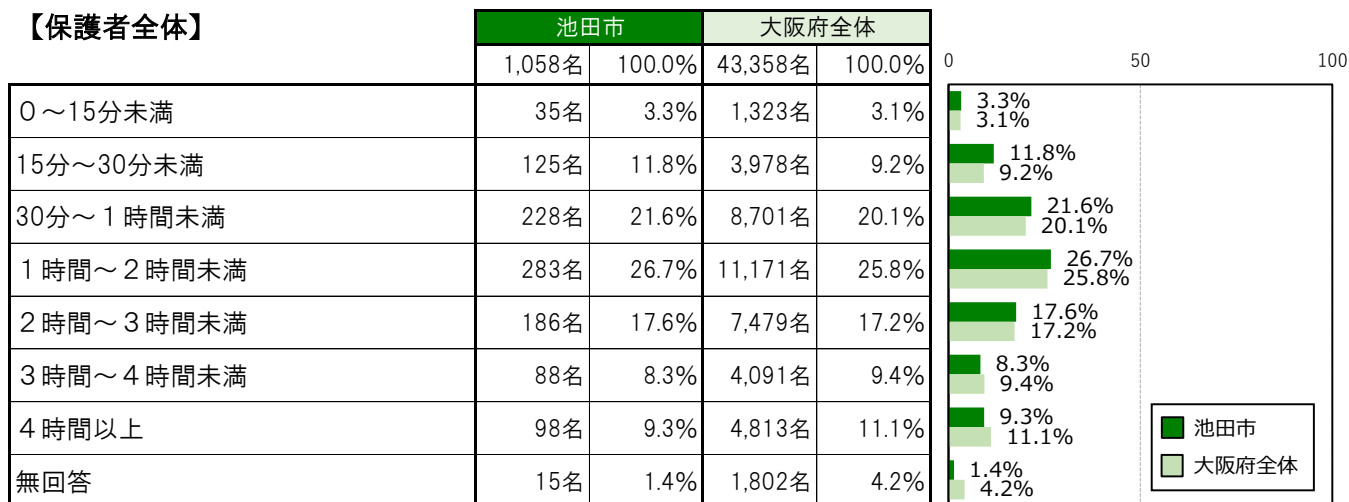
問13（３）平日での子どもとの関わり時間

保護者全体は、「１時間～２時間未満」が26.7%で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が21.6%、「２時間～３時間未満」が17.6%、「15分～30分未満」が11.8%となっている。

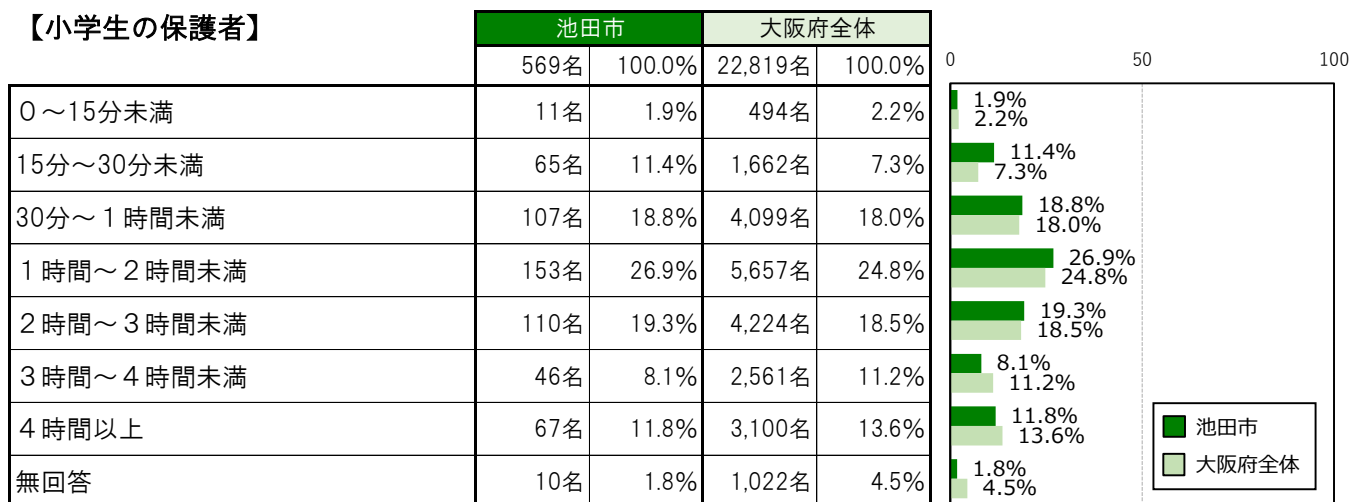
小学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が26.9%で最も多く、次いで「２時間～３時間未満」が19.3%、「30分～１時間未満」が18.8%、「４時間以上」が11.8%となっている。

中学生の保護者は、「30分～１時間未満」と「１時間～２時間未満」がそれぞれ26.6%で最も多く、次いで「２時間～３時間未満」が14.4%、「15分～30分未満」が12.2%となっている。

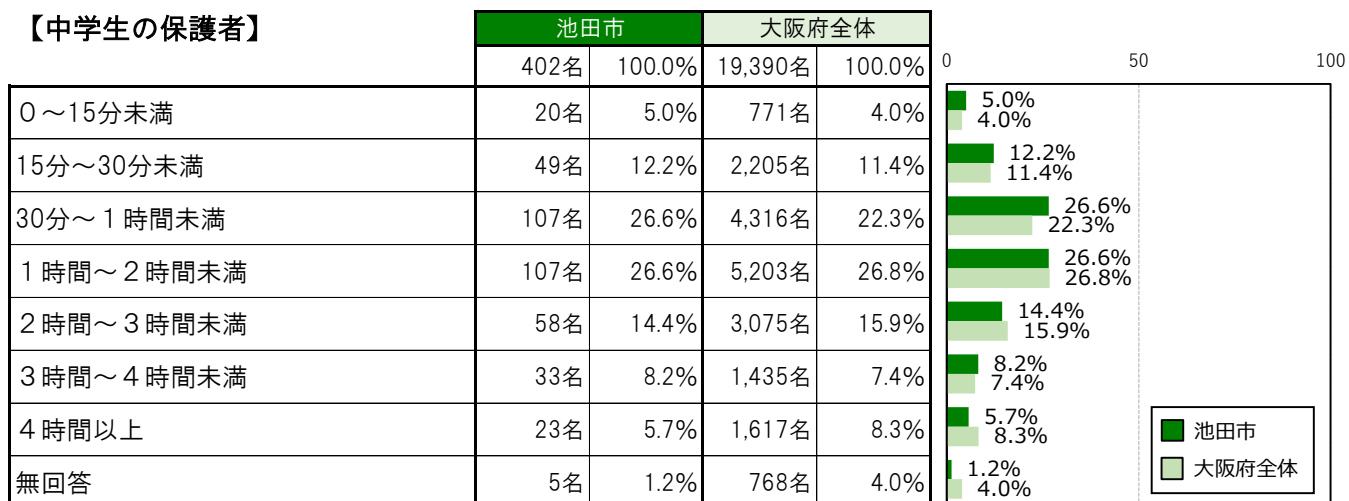
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問13（３）休日での子どもとの関わり時間

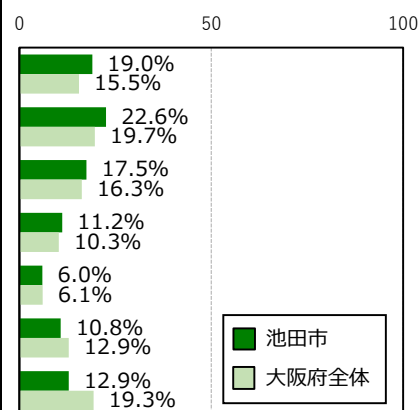
保護者全体は、「２時間～４時間未満」が22.6%で最も多く、次いで「２時間未満」が19.0%、「４時間～６時間未満」が17.5%、「６時間～８時間未満」が11.2%となっている。

小学生の保護者は、「２時間～４時間未満」が21.4%で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が18.1%、「10時間以上」が14.8%、「６時間～８時間未満」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、「２時間未満」が27.9%で最も多く、次いで「２時間～４時間未満」が24.4%、「４時間～６時間未満」が16.4%、「６時間～８時間未満」が8.0%となっている。

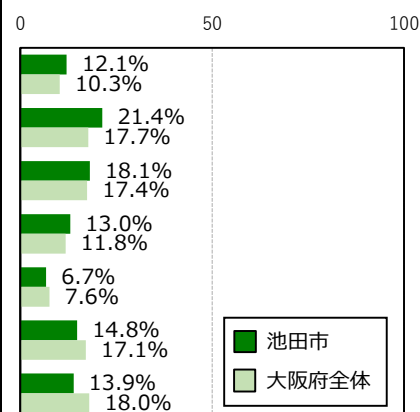
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
２時間未満	201名	19.0%	6,723名	15.5%
２時間～４時間未満	239名	22.6%	8,521名	19.7%
４時間～６時間未満	185名	17.5%	7,050名	16.3%
６時間～８時間未満	118名	11.2%	4,454名	10.3%
８時間～10時間未満	64名	6.0%	2,659名	6.1%
10時間以上	114名	10.8%	5,577名	12.9%
無回答	137名	12.9%	8,374名	19.3%



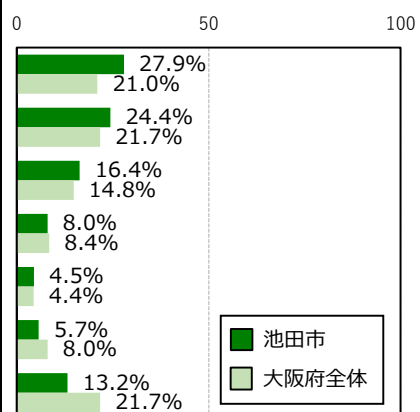
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
２時間未満	69名	12.1%	2,357名	10.3%
２時間～４時間未満	122名	21.4%	4,031名	17.7%
４時間～６時間未満	103名	18.1%	3,977名	17.4%
６時間～８時間未満	74名	13.0%	2,700名	11.8%
８時間～10時間未満	38名	6.7%	1,740名	7.6%
10時間以上	84名	14.8%	3,896名	17.1%
無回答	79名	13.9%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
２時間未満	112名	27.9%	4,070名	21.0%
２時間～４時間未満	98名	24.4%	4,216名	21.7%
４時間～６時間未満	66名	16.4%	2,876名	14.8%
６時間～８時間未満	32名	8.0%	1,632名	8.4%
８時間～10時間未満	18名	4.5%	845名	4.4%
10時間以上	23名	5.7%	1,542名	8.0%
無回答	53名	13.2%	4,209名	21.7%



子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

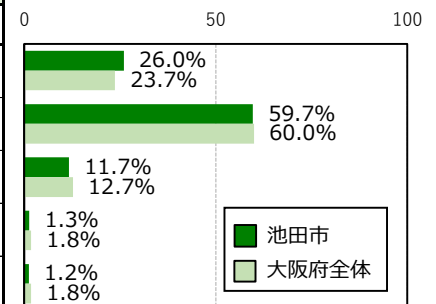
保護者全体は、「期待している」が59.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が26.0%、「あまり期待していない」が11.7%となっている。

小学生の保護者は、「期待している」が57.6%で最も多く、次いで「とても期待している」が28.8%、「あまり期待していない」が11.2%となっている。

中学生の保護者は、「期待している」が62.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が21.6%、「あまり期待していない」が12.7%となっている。

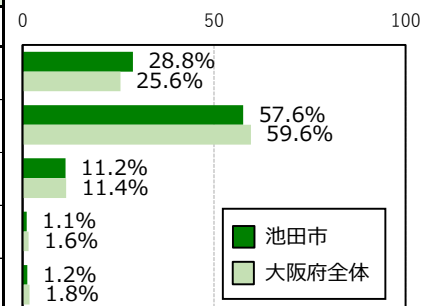
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
とても期待している	275名	26.0%	10,264名	23.7%
期待している	632名	59.7%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	124名	11.7%	5,485名	12.7%
期待していない	14名	1.3%	779名	1.8%
無回答	13名	1.2%	795名	1.8%



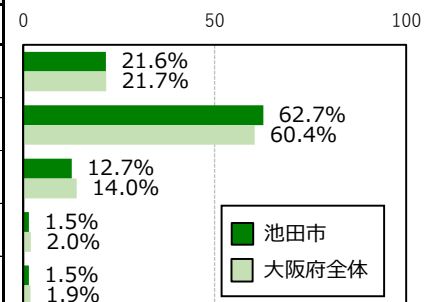
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
とても期待している	164名	28.8%	5,831名	25.6%
期待している	328名	57.6%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	64名	11.2%	2,603名	11.4%
期待していない	6名	1.1%	363名	1.6%
無回答	7名	1.2%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
とても期待している	87名	21.6%	4,207名	21.7%
期待している	252名	62.7%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	51名	12.7%	2,717名	14.0%
期待していない	6名	1.5%	388名	2.0%
無回答	6名	1.5%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

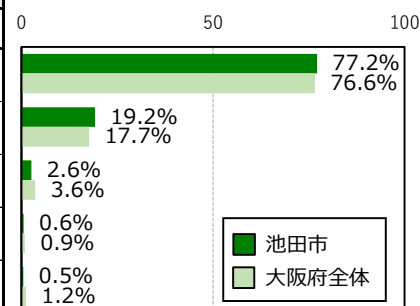
保護者全体は、「よく参加している」が77.2%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が19.2%、「あまり参加していない」が2.6%となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が87.2%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が11.1%となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が62.9%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が30.6%、「あまり参加していない」が4.7%となっている。

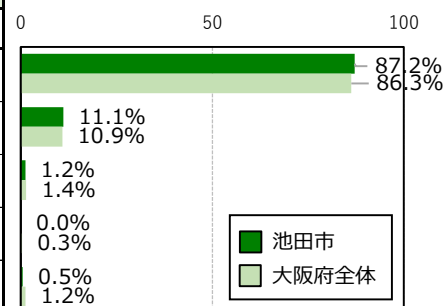
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
よく参加している	817名	77.2%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	203名	19.2%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	27名	2.6%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	6名	0.6%	376名	0.9%
無回答	5名	0.5%	526名	1.2%



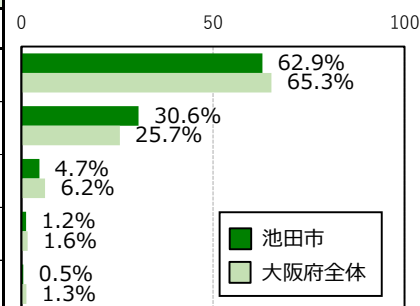
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
よく参加している	496名	87.2%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	63名	11.1%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	7名	1.2%	309名	1.4%
まったく参加していない	-	-	58名	0.3%
無回答	3名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
よく参加している	253名	62.9%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	123名	30.6%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	19名	4.7%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	5名	1.2%	304名	1.6%
無回答	2名	0.5%	244名	1.3%



子どもに関することについて

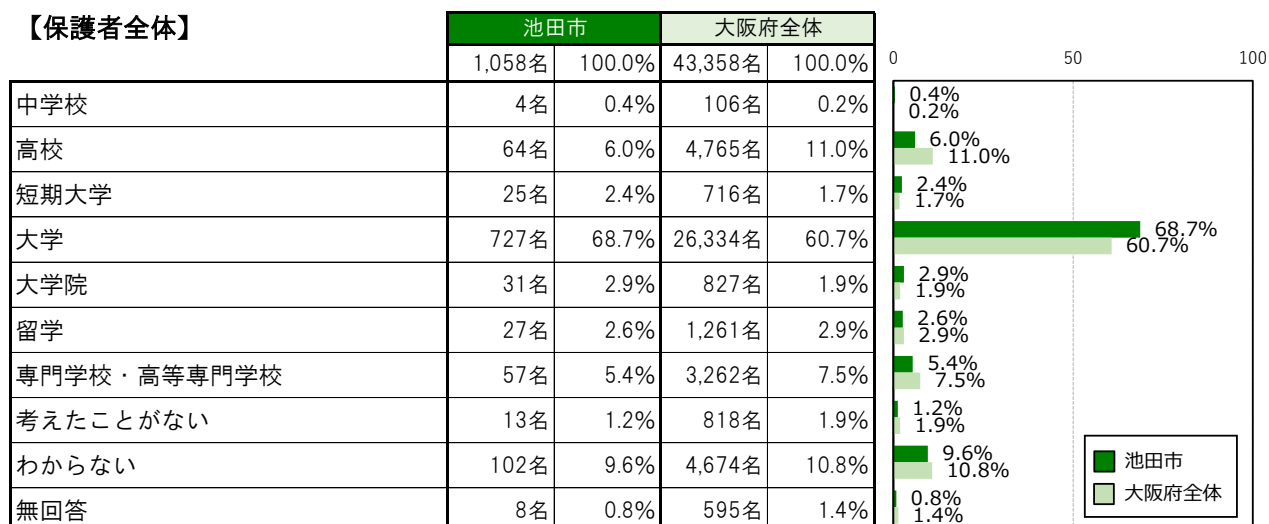
問14 子どもに希望する進学

保護者全体は、「大学」が68.7%で最も多く、次いで「高校」が6.0%、「専門学校・高等専門学校」が5.4%となっている。

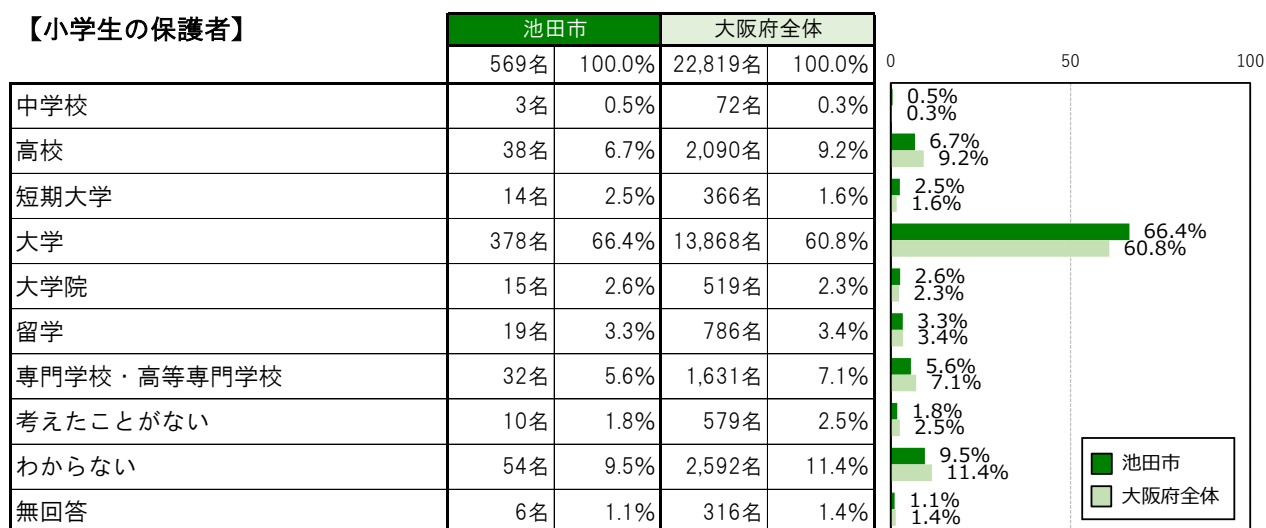
小学生の保護者は、「大学」が66.4%で最も多く、次いで「高校」が6.7%、「専門学校・高等専門学校」が5.6%となっている。

中学生の保護者は、「大学」が71.1%で最も多く、次いで「高校」が6.0%、「専門学校・高等専門学校」が5.5%となっている。

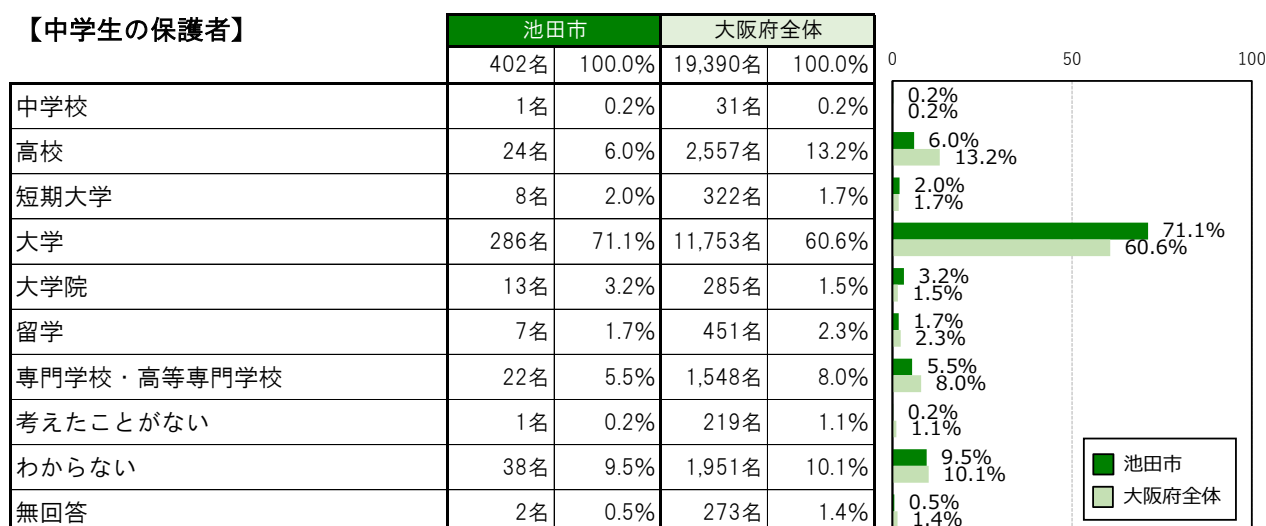
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



子どもに関することについて

問15 子どもの通学状況

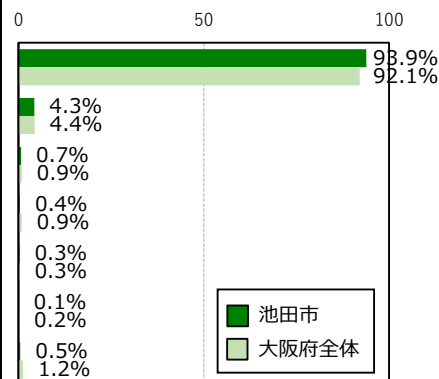
保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が93.9%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.3%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が93.3%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.7%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.7%となっている。

中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が93.8%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が4.2%、「欠席が年間30日以上、60日未満である」が0.7%となっている。

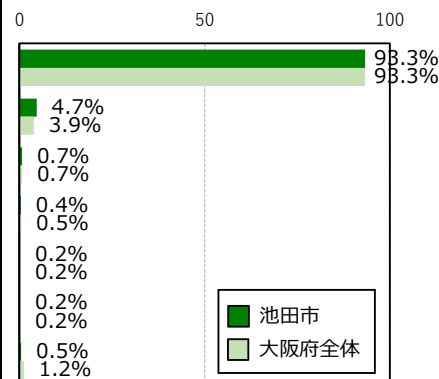
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	993名	93.9%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	45名	4.3%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	7名	0.7%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、1年未満である	4名	0.4%	379名	0.9%
欠席が1年以上続いている	3名	0.3%	127名	0.3%
わからない	1名	0.1%	108名	0.2%
無回答	5名	0.5%	522名	1.2%



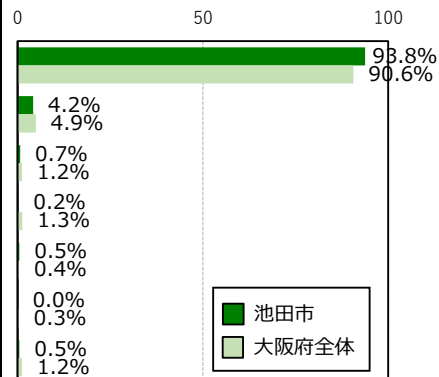
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	531名	93.3%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	27名	4.7%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	4名	0.7%	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、1年未満である	2名	0.4%	107名	0.5%
欠席が1年以上続いている	1名	0.2%	36名	0.2%
わからない	1名	0.2%	44名	0.2%
無回答	3名	0.5%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	377名	93.8%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	17名	4.2%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	3名	0.7%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、1年未満である	1名	0.2%	257名	1.3%
欠席が1年以上続いている	2名	0.5%	86名	0.4%
わからない	-	-	62名	0.3%
無回答	2名	0.5%	240名	1.2%



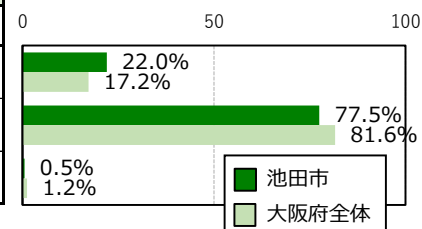
子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

保護者全体は、「利用したことがない」が77.5%で、「利用したことがある」が22.0%となっている。
 小学生の保護者は、「利用したことがない」が76.8%で、「利用したことがある」が22.5%となっている。
 中学生の保護者は、「利用したことがない」が79.4%で、「利用したことがある」が20.4%となっている。

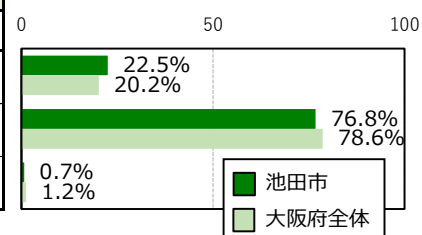
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,358名	100.0%
利用したことがある	233名	22.0%	7,459名	17.2%
利用したことがない	820名	77.5%	35,367名	81.6%
無回答	5名	0.5%	532名	1.2%



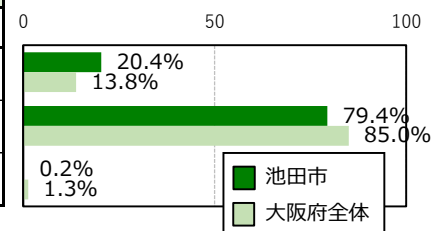
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,819名	100.0%
利用したことがある	128名	22.5%	4,599名	20.2%
利用したことがない	437名	76.8%	17,945名	78.6%
無回答	4名	0.7%	275名	1.2%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,390名	100.0%
利用したことがある	82名	20.4%	2,667名	13.8%
利用したことがない	319名	79.4%	16,472名	85.0%
無回答	1名	0.2%	251名	1.3%



子どもに関することについて

問16（２）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

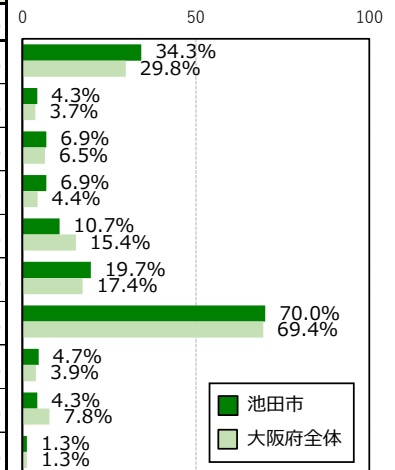
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が70.0%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が34.3%、「宿題など勉強を見てくれるから」が19.7%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が10.7%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が75.0%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が39.8%、「宿題など勉強を見てくれるから」が16.4%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が13.3%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が64.6%で最も多く、次いで「宿題など勉強を見てくれるから」が25.6%、「地域の人とつながれるから」が24.4%、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」が8.5%となっている。

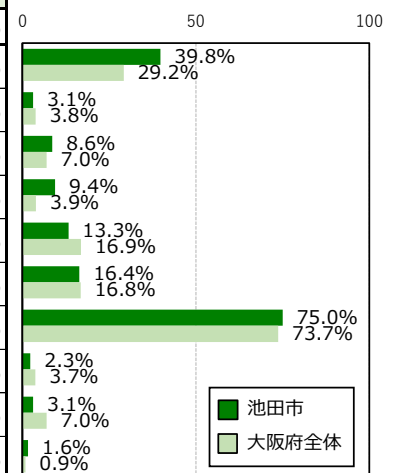
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	233名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	80名	34.3%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	10名	4.3%	275名	3.7%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	16名	6.9%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	16名	6.9%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	25名	10.7%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	46名	19.7%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	163名	70.0%	5,178名	69.4%
特になし	11名	4.7%	291名	3.9%
その他	10名	4.3%	579名	7.8%
無回答	3名	1.3%	95名	1.3%



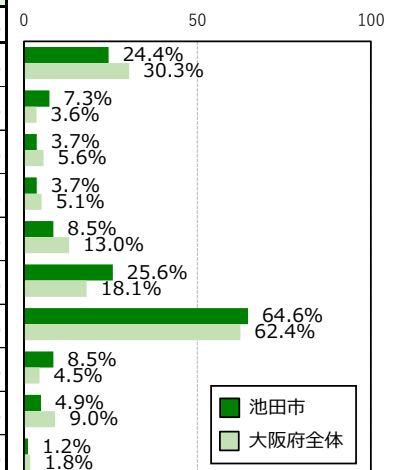
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	128名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	51名	39.8%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	4名	3.1%	173名	3.8%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	11名	8.6%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	12名	9.4%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	17名	13.3%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	21名	16.4%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	96名	75.0%	3,388名	73.7%
特になし	3名	2.3%	168名	3.7%
その他	4名	3.1%	324名	7.0%
無回答	2名	1.6%	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	82名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	20名	24.4%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	6名	7.3%	97名	3.6%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	3名	3.7%	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	3名	3.7%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	7名	8.5%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	21名	25.6%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	53名	64.6%	1,664名	62.4%
特になし	7名	8.5%	120名	4.5%
その他	4名	4.9%	241名	9.0%
無回答	1名	1.2%	47名	1.8%



子どもに関することについて

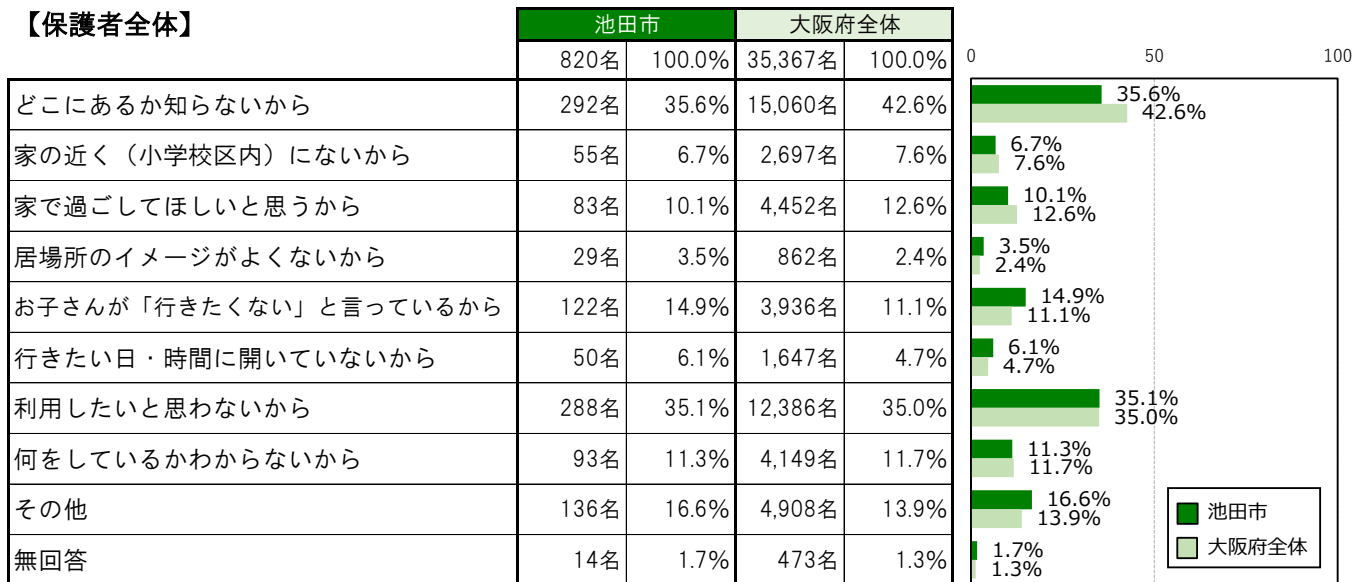
問16（３）子どもの居場所を利用しない理由

保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が35.6%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が35.1%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が14.9%、「何をしているかわからないから」が11.3%となっている。

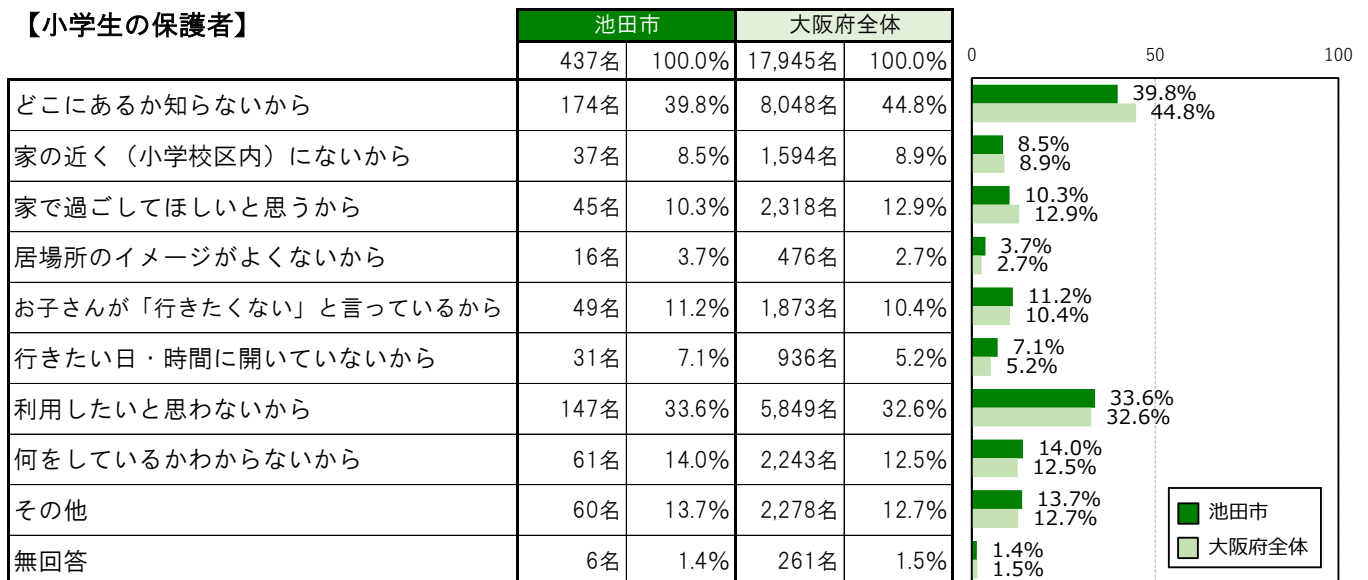
小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が39.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が33.6%、「何をしているかわからないから」が14.0%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が11.2%となっている。

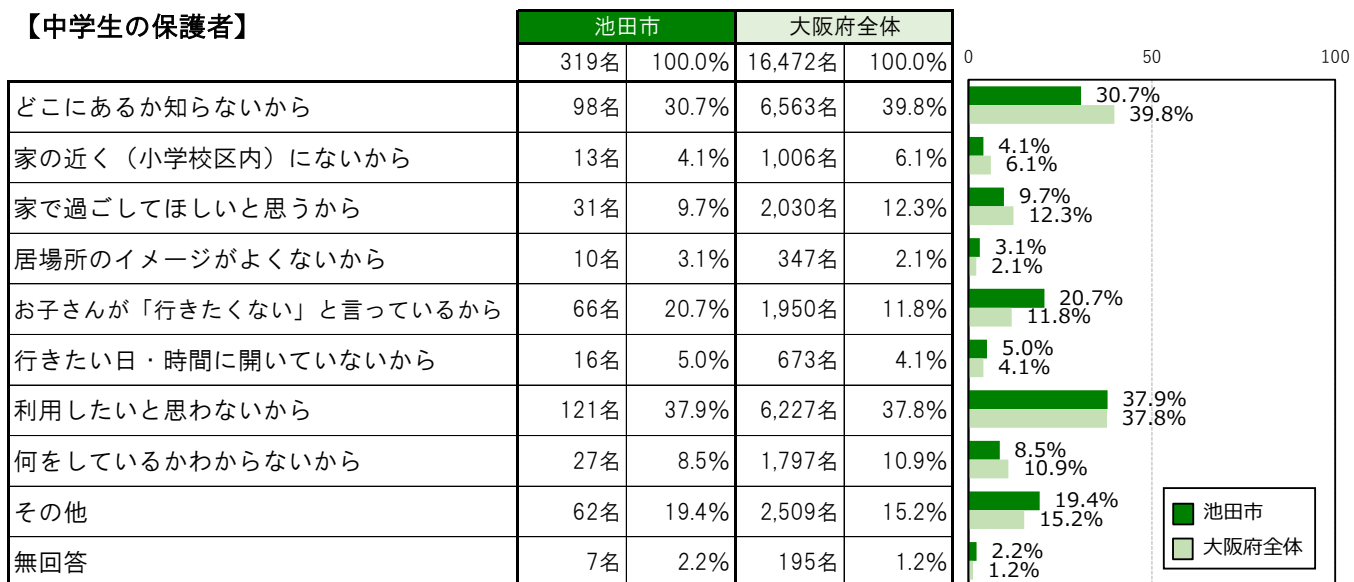
中学生の保護者は、「利用したいと思わないから」が37.9%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が30.7%、「お子さんが「行きたくない」と言っているから」が20.7%、「家で過ごしてほしいと思うから」が9.7%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





保護者のことについて

問17 初めて親となった年齢

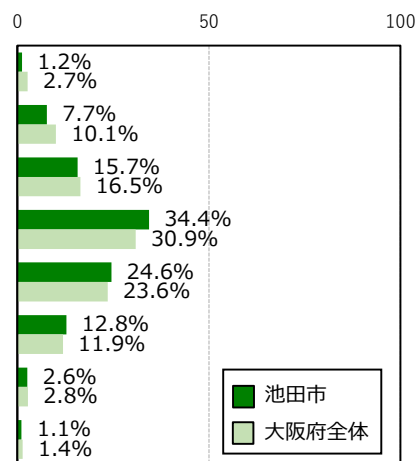
保護者全体は、「27～30歳」が34.4%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.6%、「24～26歳」が15.7%、「35～39歳」が12.8%となっている。

小学生の保護者は、「27～30歳」が33.9%で最も多く、次いで「31～34歳」が24.3%、「24～26歳」が15.6%、「35～39歳」が13.0%となっている。

中学生の保護者は、「27～30歳」が34.6%で最も多く、次いで「31～34歳」が25.1%、「24～26歳」が16.2%、「35～39歳」が12.7%となっている。

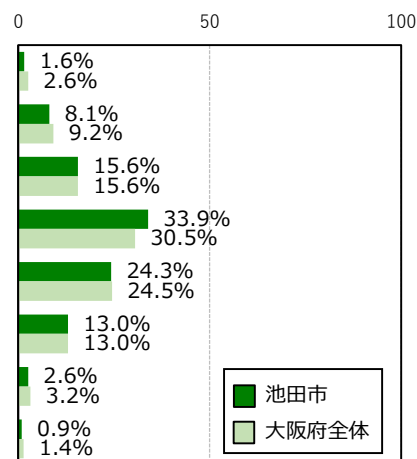
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
10代	13名	1.2%	1,166名	2.7%
20～23歳	81名	7.7%	4,373名	10.1%
24～26歳	166名	15.7%	7,159名	16.5%
27～30歳	364名	34.4%	13,389名	30.9%
31～34歳	260名	24.6%	10,233名	23.6%
35～39歳	135名	12.8%	5,150名	11.9%
40歳以上	27名	2.6%	1,206名	2.8%
無回答	12名	1.1%	624名	1.4%



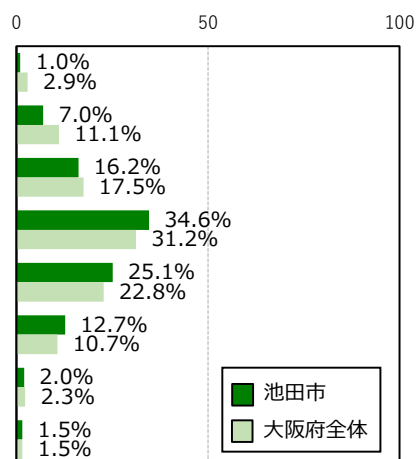
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
10代	9名	1.6%	587名	2.6%
20～23歳	46名	8.1%	2,104名	9.2%
24～26歳	89名	15.6%	3,559名	15.6%
27～30歳	193名	33.9%	6,941名	30.5%
31～34歳	138名	24.3%	5,575名	24.5%
35～39歳	74名	13.0%	2,969名	13.0%
40歳以上	15名	2.6%	735名	3.2%
無回答	5名	0.9%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
10代	4名	1.0%	552名	2.9%
20～23歳	28名	7.0%	2,142名	11.1%
24～26歳	65名	16.2%	3,389名	17.5%
27～30歳	139名	34.6%	6,049名	31.2%
31～34歳	101名	25.1%	4,419名	22.8%
35～39歳	51名	12.7%	2,069名	10.7%
40歳以上	8名	2.0%	447名	2.3%
無回答	6名	1.5%	298名	1.5%



保護者のことについて

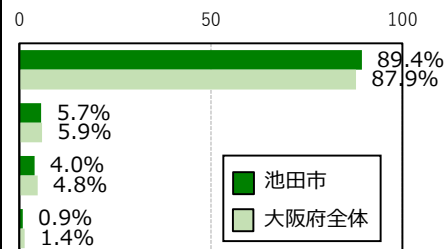
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が89.4%で、「いない」が5.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が89.8%で、「いない」が5.3%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が87.8%で、「いない」が6.7%となっている。

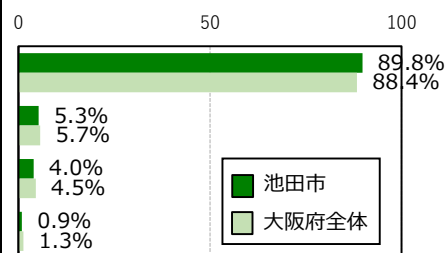
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	946名	89.4%	38,049名	87.9%
いない	60名	5.7%	2,548名	5.9%
わからない	42名	4.0%	2,099名	4.8%
無回答	10名	0.9%	604名	1.4%



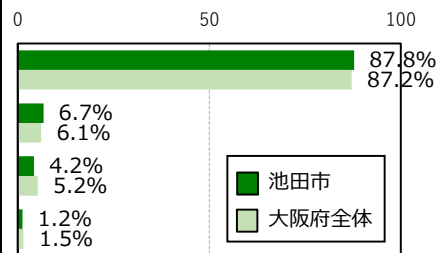
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	511名	89.8%	20,150名	88.4%
いない	30名	5.3%	1,304名	5.7%
わからない	23名	4.0%	1,026名	4.5%
無回答	5名	0.9%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	353名	87.8%	16,885名	87.2%
いない	27名	6.7%	1,173名	6.1%
わからない	17名	4.2%	1,016名	5.2%
無回答	5名	1.2%	291名	1.5%



保護者のことについて

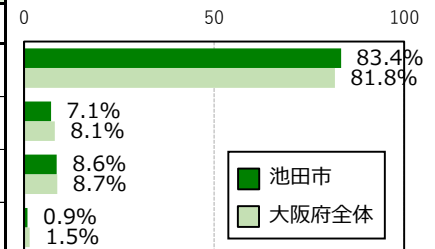
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が83.4%で、「いない」が7.1%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が83.3%で、「いない」が7.2%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が83.1%で、「いない」が7.0%となっている。

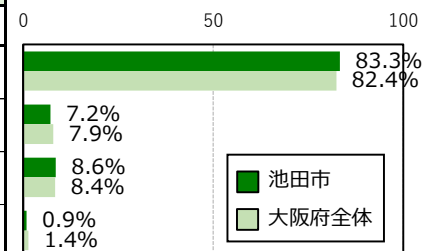
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	882名	83.4%	35,406名	81.8%
いない	75名	7.1%	3,491名	8.1%
わからない	91名	8.6%	3,748名	8.7%
無回答	10名	0.9%	655名	1.5%



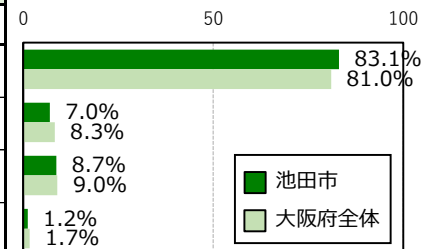
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	474名	83.3%	18,767名	82.4%
いない	41名	7.2%	1,791名	7.9%
わからない	49名	8.6%	1,904名	8.4%
無回答	5名	0.9%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	334名	83.1%	15,691名	81.0%
いない	28名	7.0%	1,610名	8.3%
わからない	35名	8.7%	1,741名	9.0%
無回答	5名	1.2%	323名	1.7%



保護者のことについて

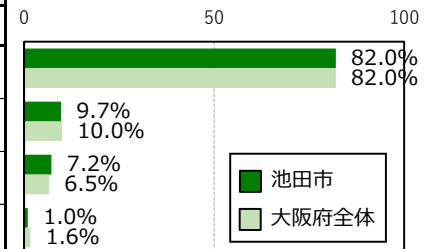
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が82.0%で、「いない」が9.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が81.9%で、「いない」が8.6%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が80.6%で、「いない」が11.9%となっている。

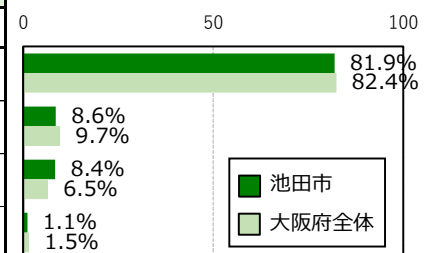
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	868名	82.0%	35,496名	82.0%
いない	103名	9.7%	4,317名	10.0%
わからない	76名	7.2%	2,806名	6.5%
無回答	11名	1.0%	681名	1.6%



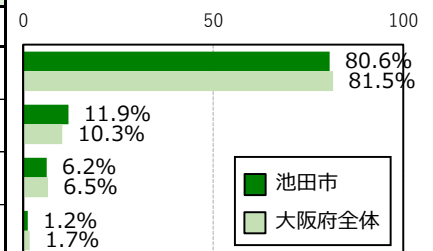
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	466名	81.9%	18,771名	82.4%
いない	49名	8.6%	2,201名	9.7%
わからない	48名	8.4%	1,474名	6.5%
無回答	6名	1.1%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	324名	80.6%	15,782名	81.5%
いない	48名	11.9%	1,990名	10.3%
わからない	25名	6.2%	1,259名	6.5%
無回答	5名	1.2%	334名	1.7%



保護者のことについて

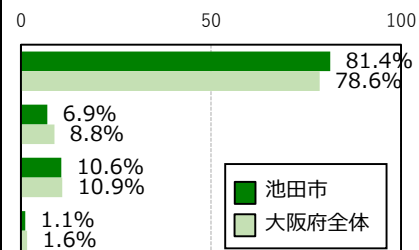
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が81.4%で、「いない」が6.9%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が81.0%で、「いない」が7.0%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が80.8%で、「いない」が6.5%となっている。

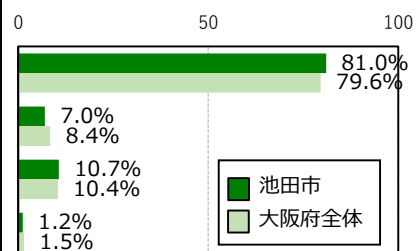
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	861名	81.4%	34,034名	78.6%
いない	73名	6.9%	3,824名	8.8%
わからない	112名	10.6%	4,731名	10.9%
無回答	12名	1.1%	711名	1.6%



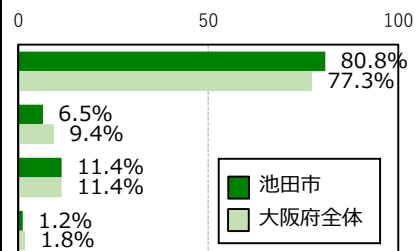
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	461名	81.0%	18,149名	79.6%
いない	40名	7.0%	1,912名	8.4%
わからない	61名	10.7%	2,381名	10.4%
無回答	7名	1.2%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	325名	80.8%	14,966名	77.3%
いない	26名	6.5%	1,826名	9.4%
わからない	46名	11.4%	2,217名	11.4%
無回答	5名	1.2%	356名	1.8%



保護者のことについて

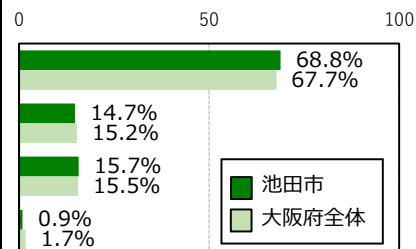
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が68.8%で、「いない」が14.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が71.4%で、「いない」が12.7%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が62.9%で、「いない」が18.2%となっている。

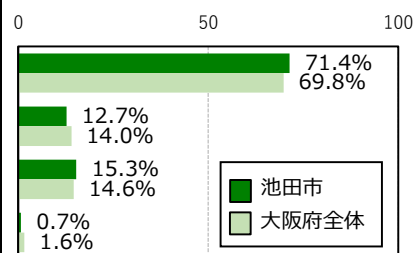
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	728名	68.8%	29,297名	67.7%
いない	155名	14.7%	6,570名	15.2%
わからない	166名	15.7%	6,713名	15.5%
無回答	9名	0.9%	720名	1.7%



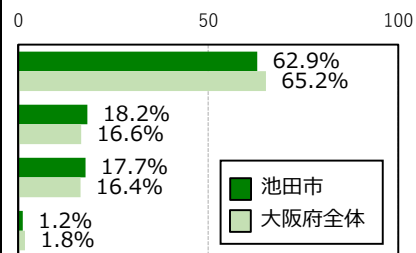
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	406名	71.4%	15,896名	69.8%
いない	72名	12.7%	3,195名	14.0%
わからない	87名	15.3%	3,334名	14.6%
無回答	4名	0.7%	361名	1.6%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	253名	62.9%	12,629名	65.2%
いない	73名	18.2%	3,218名	16.6%
わからない	71名	17.7%	3,167名	16.4%
無回答	5名	1.2%	351名	1.8%



保護者のことについて

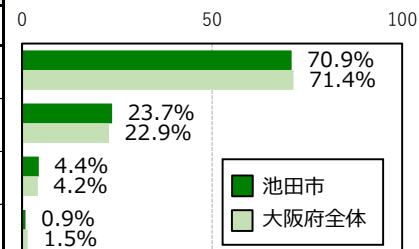
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が70.9%で、「いない」が23.7%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が69.9%で、「いない」が24.4%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が73.1%で、「いない」が21.4%となっている。

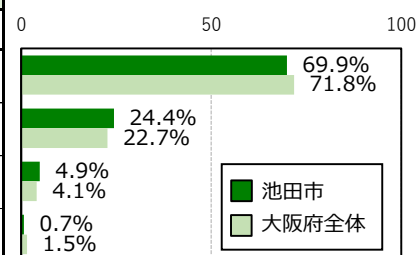
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	750名	70.9%	30,902名	71.4%
いない	251名	23.7%	9,922名	22.9%
わからない	47名	4.4%	1,822名	4.2%
無回答	10名	0.9%	654名	1.5%



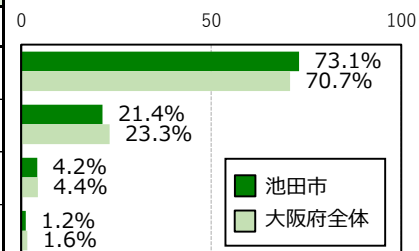
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	398名	69.9%	16,360名	71.8%
いない	139名	24.4%	5,164名	22.7%
わからない	28名	4.9%	930名	4.1%
無回答	4名	0.7%	332名	1.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	294名	73.1%	13,687名	70.7%
いない	86名	21.4%	4,519名	23.3%
わからない	17名	4.2%	850名	4.4%
無回答	5名	1.2%	309名	1.6%



保護者のことについて

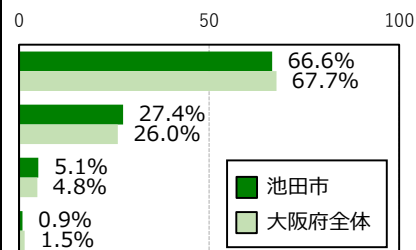
問18 支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無

⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が66.6%で、「いない」が27.4%となっている。
 小学生の保護者は、「いる」が67.3%で、「いない」が27.1%となっている。
 中学生の保護者は、「いる」が67.4%で、「いない」が25.4%となっている。

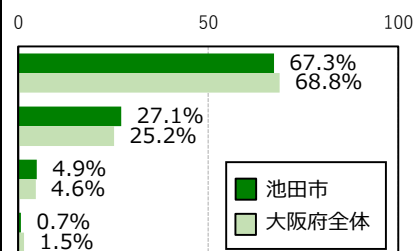
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	705名	66.6%	29,312名	67.7%
いない	290名	27.4%	11,256名	26.0%
わからない	54名	5.1%	2,066名	4.8%
無回答	9名	0.9%	666名	1.5%



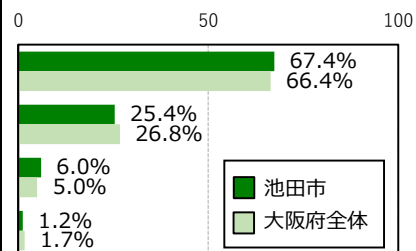
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	383名	67.3%	15,668名	68.8%
いない	154名	27.1%	5,746名	25.2%
わからない	28名	4.9%	1,037名	4.6%
無回答	4名	0.7%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	人数	割合	人数	割合
いる	271名	67.4%	12,868名	66.4%
いない	102名	25.4%	5,198名	26.8%
わからない	24名	6.0%	977名	5.0%
無回答	5名	1.2%	322名	1.7%



保護者のことについて

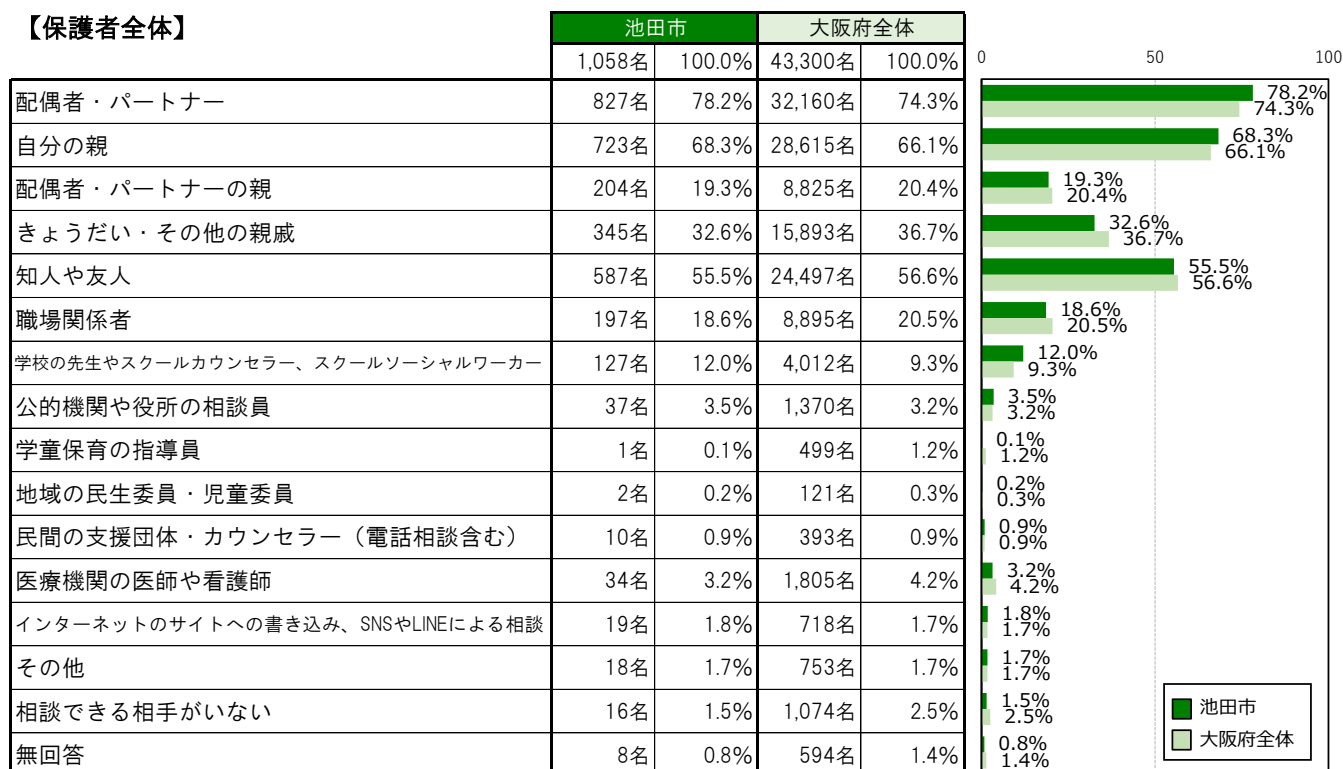
問19 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

保護者全体は、「配偶者・パートナー」が78.2%で最も多く、次いで「自分の親」が68.3%、「知人や友人」が55.5%、「きょうだい・その他の親戚」が32.6%となっている。

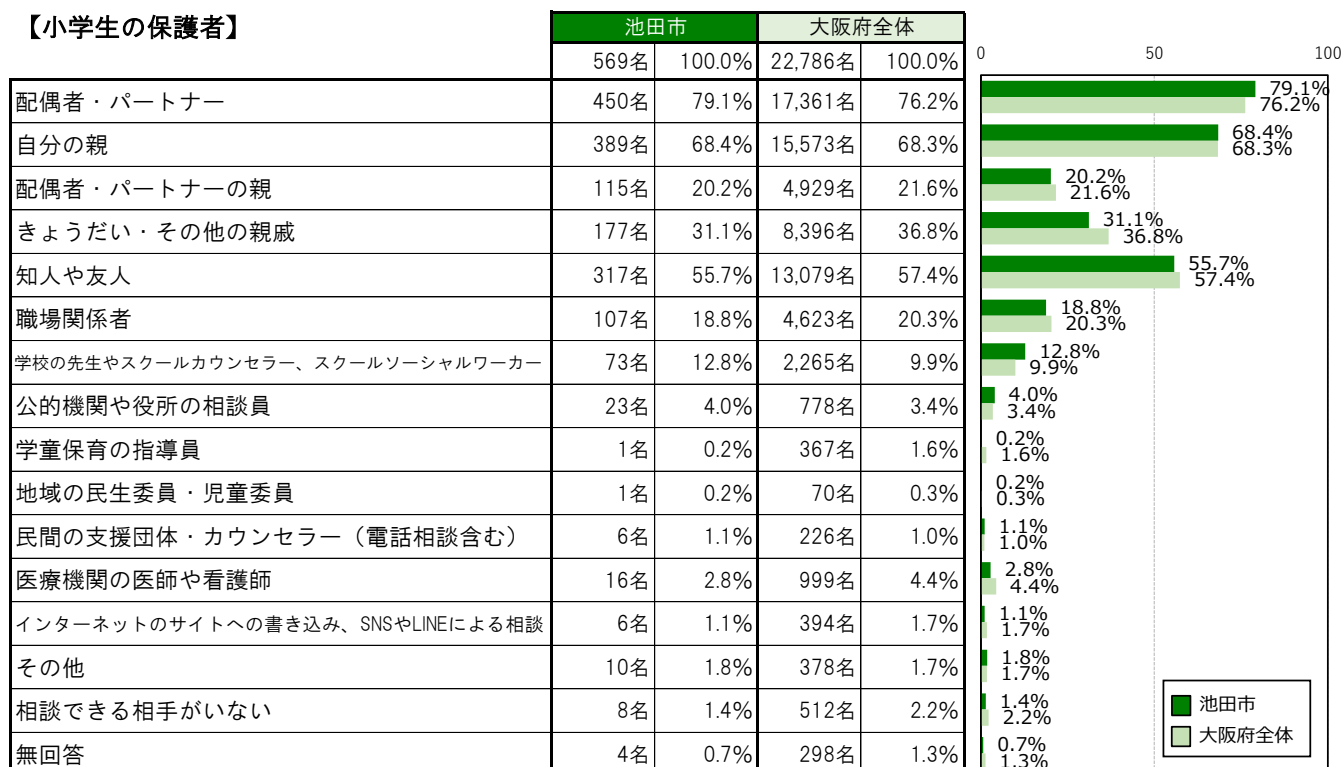
小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が79.1%で最も多く、次いで「自分の親」が68.4%、「知人や友人」が55.7%、「きょうだい・その他の親戚」が31.1%となっている。

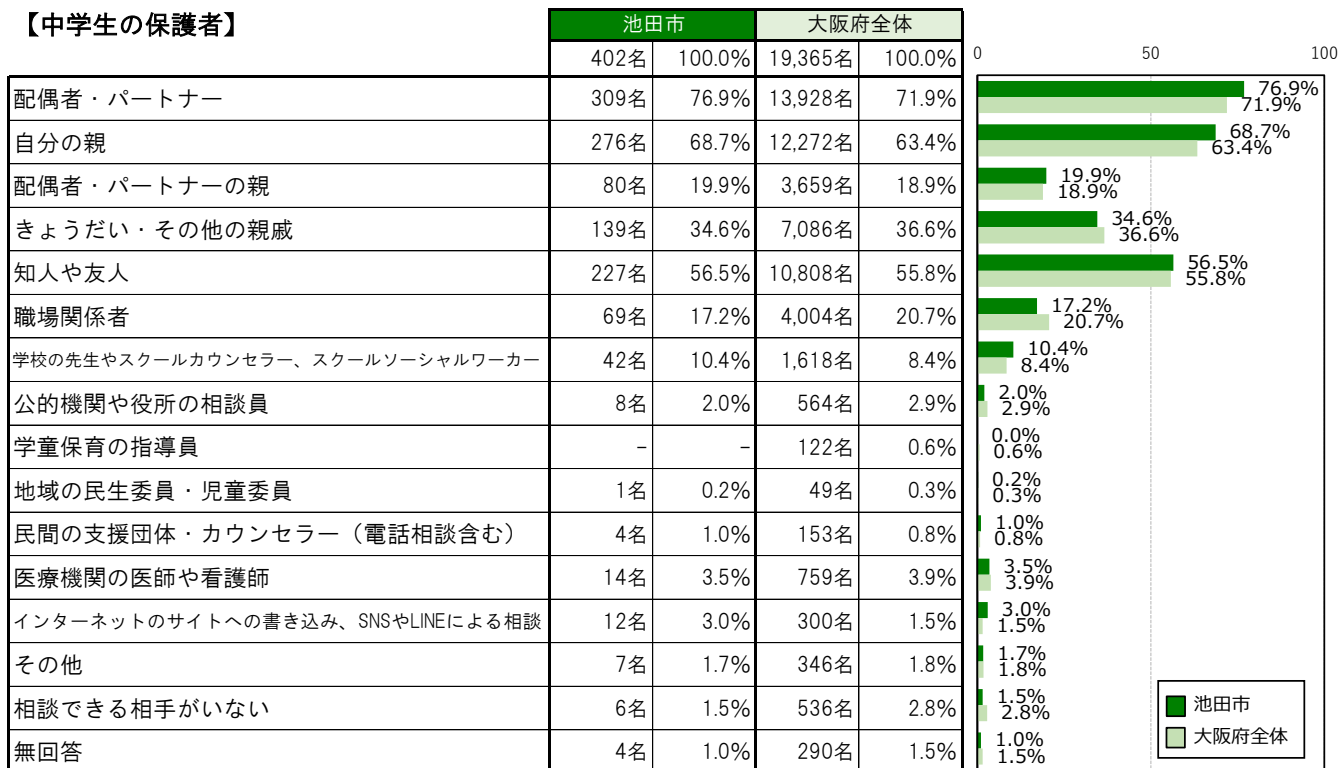
中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が76.9%で最も多く、次いで「自分の親」が68.7%、「知人や友人」が56.5%、「きょうだい・その他の親戚」が34.6%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





保護者のことについて

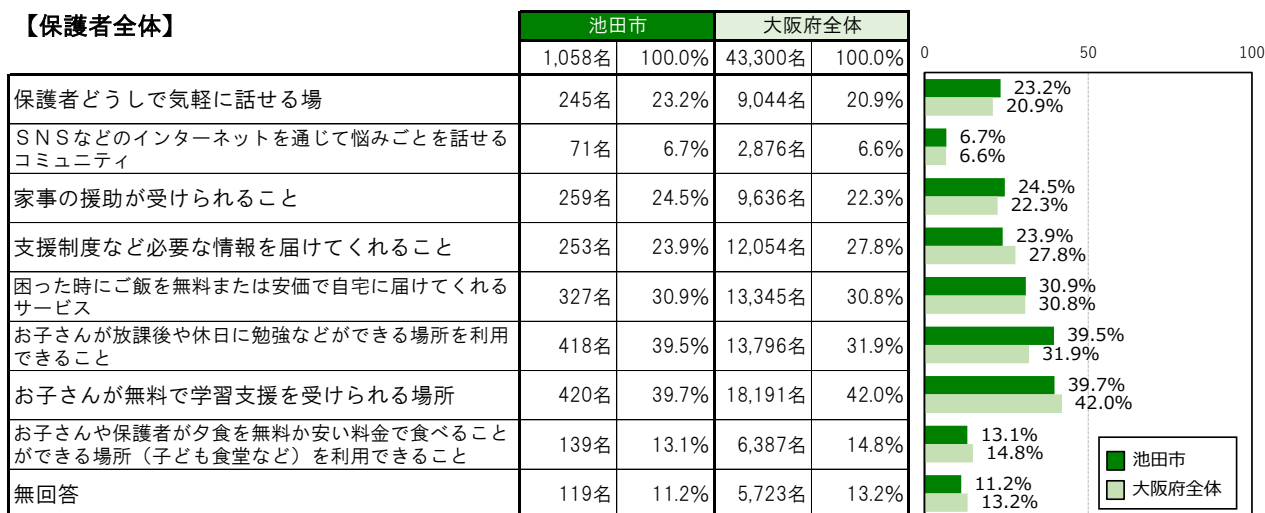
問20 身近にあると思うこと

保護者全体は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が39.7%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が39.5%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.9%、「家事の援助が受けられること」が24.5%となっている。

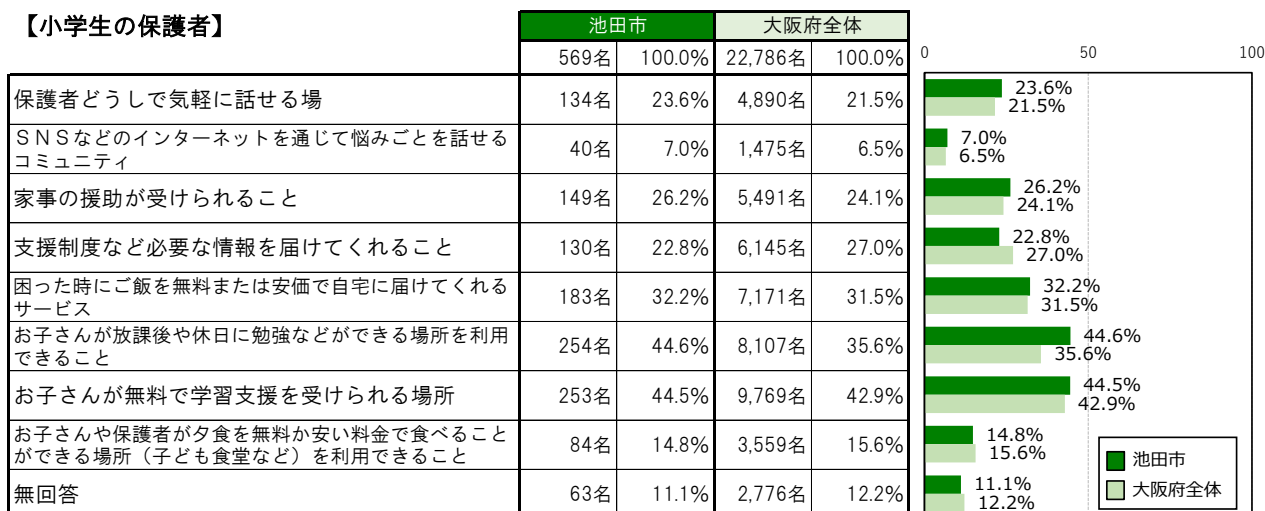
小学生の保護者は、「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が44.6%で最も多く、次いで「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.5%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が32.2%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が34.3%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が33.8%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が29.9%となっている。

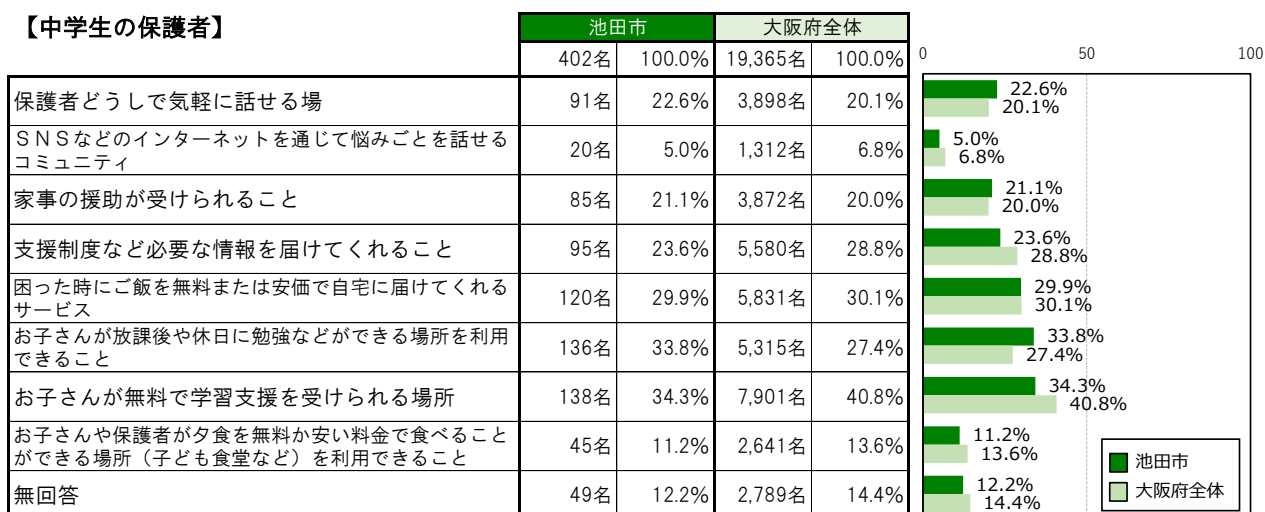
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

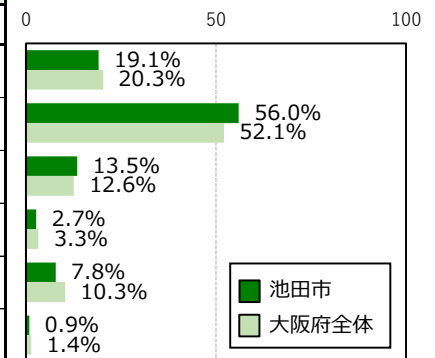
保護者全体は、「楽しんでいる」が56.0%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.1%、「あまり楽しんでいない」が13.5%となっている。

小学生の保護者は、「楽しんでいる」が57.3%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.5%、「あまり楽しんでいない」が12.7%となっている。

中学生の保護者は、「楽しんでいる」が54.2%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が16.7%、「あまり楽しんでいない」が15.4%となっている。

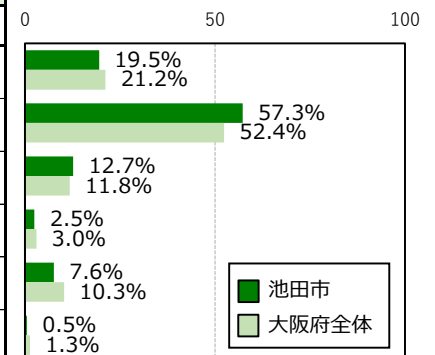
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	202名	19.1%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	592名	56.0%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	143名	13.5%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	29名	2.7%	1,411名	3.3%
わからない	83名	7.8%	4,473名	10.3%
無回答	9名	0.9%	604名	1.4%



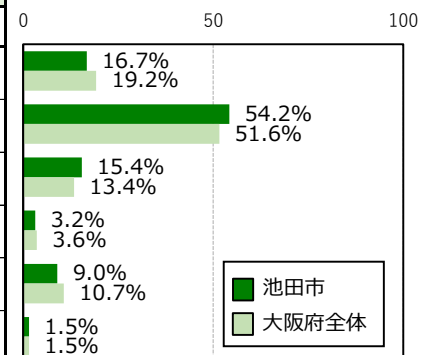
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	111名	19.5%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	326名	57.3%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	72名	12.7%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	14名	2.5%	680名	3.0%
わからない	43名	7.6%	2,340名	10.3%
無回答	3名	0.5%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	67名	16.7%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	218名	54.2%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	62名	15.4%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	13名	3.2%	690名	3.6%
わからない	36名	9.0%	2,070名	10.7%
無回答	6名	1.5%	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（２）将来に対して希望を持っているか

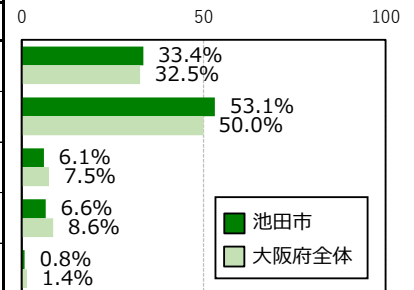
保護者全体は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が53.1%で最も多く、次いで「希望が持てる」が33.4%となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が51.7%で最も多く、次いで「希望が持てる」が35.3%となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が56.2%で最も多く、次いで「希望が持てる」が28.1%となっている。

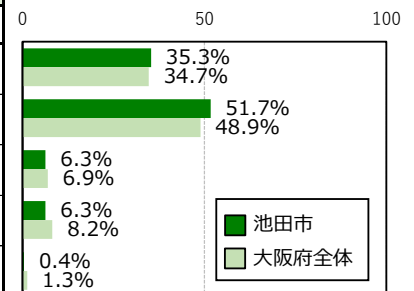
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	353名	33.4%	14,080名	32.5%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	562名	53.1%	21,662名	50.0%
希望が持てない	65名	6.1%	3,239名	7.5%
わからない	70名	6.6%	3,718名	8.6%
無回答	8名	0.8%	601名	1.4%



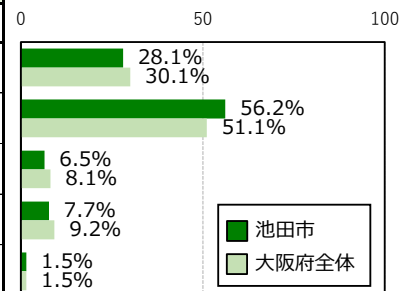
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	201名	35.3%	7,896名	34.7%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	294名	51.7%	11,142名	48.9%
希望が持てない	36名	6.3%	1,575名	6.9%
わからない	36名	6.3%	1,874名	8.2%
無回答	2名	0.4%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	113名	28.1%	5,831名	30.1%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	226名	56.2%	9,890名	51.1%
希望が持てない	26名	6.5%	1,574名	8.1%
わからない	31名	7.7%	1,774名	9.2%
無回答	6名	1.5%	296名	1.5%



保護者のことについて

問21（３）ストレスを発散できるものがあるか

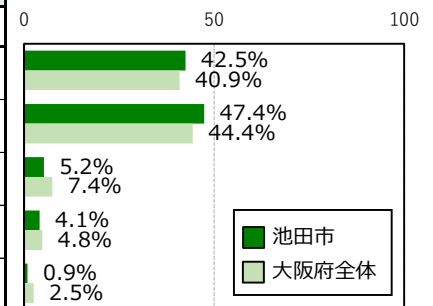
保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が47.4%で最も多く、次いで「ある」が42.5%、「ない」が5.2%となっている。

小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が46.2%で最も多く、次いで「ある」が45.3%、「ない」が4.6%となっている。

中学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が48.3%で最も多く、次いで「ある」が38.6%、「ない」が6.2%となっている。

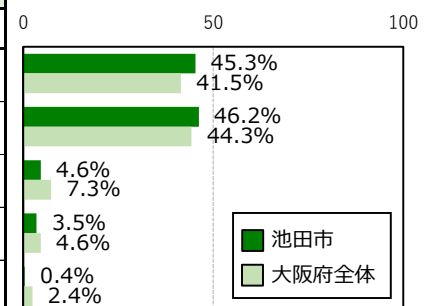
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
ある	450名	42.5%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	501名	47.4%	19,240名	44.4%
ない	55名	5.2%	3,221名	7.4%
わからない	43名	4.1%	2,061名	4.8%
無回答	9名	0.9%	1,071名	2.5%



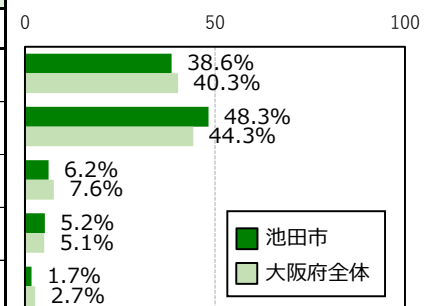
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
ある	258名	45.3%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	263名	46.2%	10,090名	44.3%
ない	26名	4.6%	1,668名	7.3%
わからない	20名	3.5%	1,037名	4.6%
無回答	2名	0.4%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
ある	155名	38.6%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	194名	48.3%	8,576名	44.3%
ない	25名	6.2%	1,467名	7.6%
わからない	21名	5.2%	990名	5.1%
無回答	7名	1.7%	529名	2.7%



保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

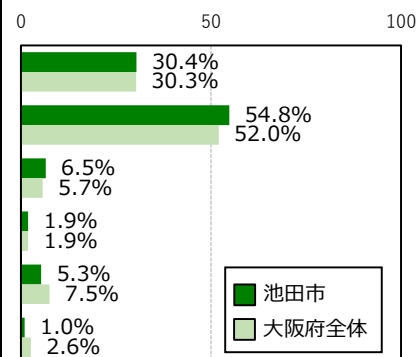
保護者全体は、「幸せだと思う」が54.8%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.4%、「あまり幸せだと思わない」が6.5%となっている。

小学生の保護者は、「幸せだと思う」が52.5%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が32.5%、「あまり幸せだと思わない」が6.3%となっている。

中学生の保護者は、「幸せだと思う」が58.0%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が25.9%、「あまり幸せだと思わない」が7.2%となっている。

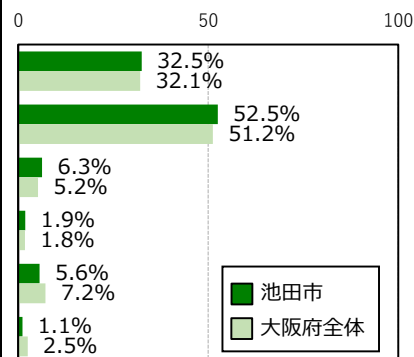
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	322名	30.4%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	580名	54.8%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	69名	6.5%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	20名	1.9%	819名	1.9%
わからない	56名	5.3%	3,246名	7.5%
無回答	11名	1.0%	1,135名	2.6%



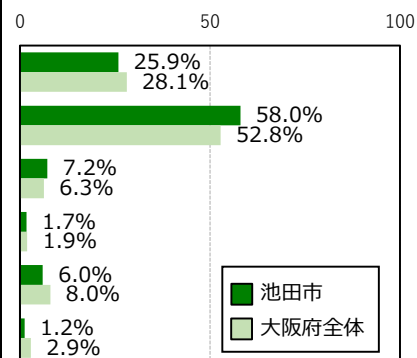
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	185名	32.5%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	299名	52.5%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	36名	6.3%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	11名	1.9%	413名	1.8%
わからない	32名	5.6%	1,640名	7.2%
無回答	6名	1.1%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	104名	25.9%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	233名	58.0%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	29名	7.2%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	7名	1.7%	376名	1.9%
わからない	24名	6.0%	1,555名	8.0%
無回答	5名	1.2%	559名	2.9%



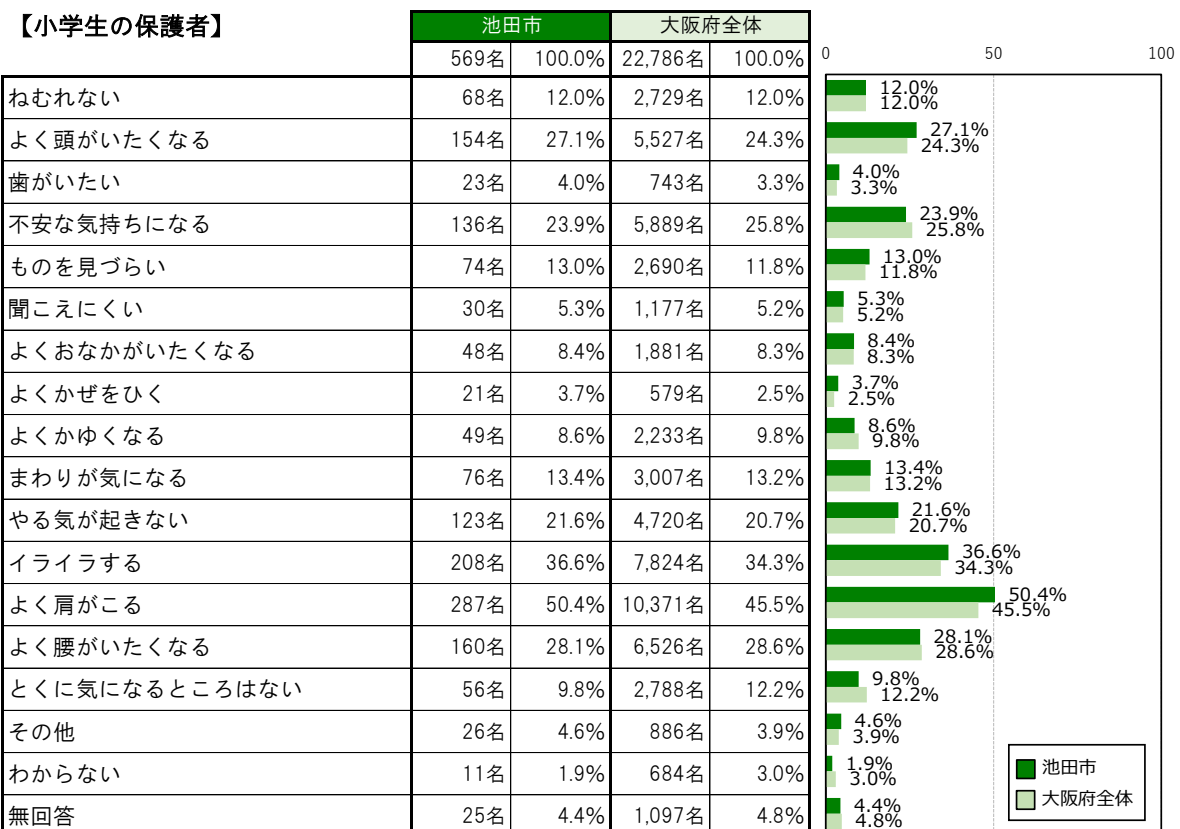
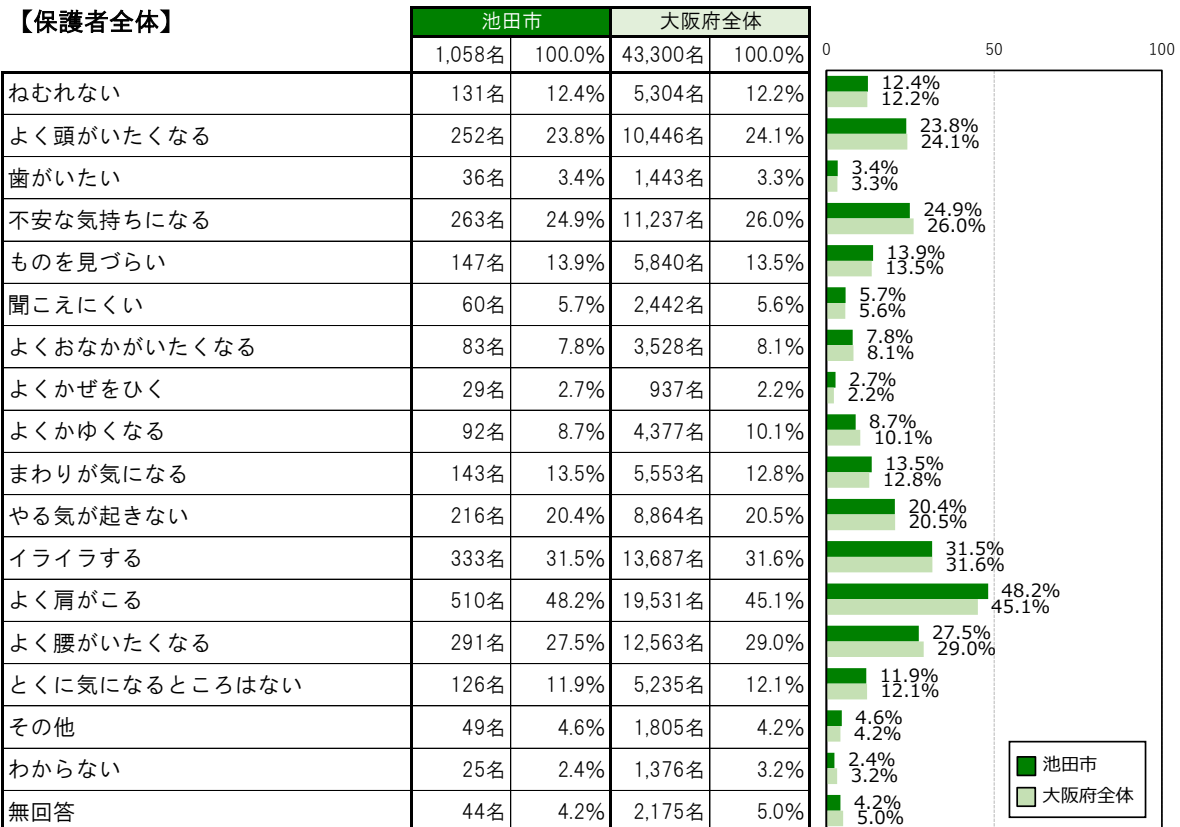
保護者のことについて

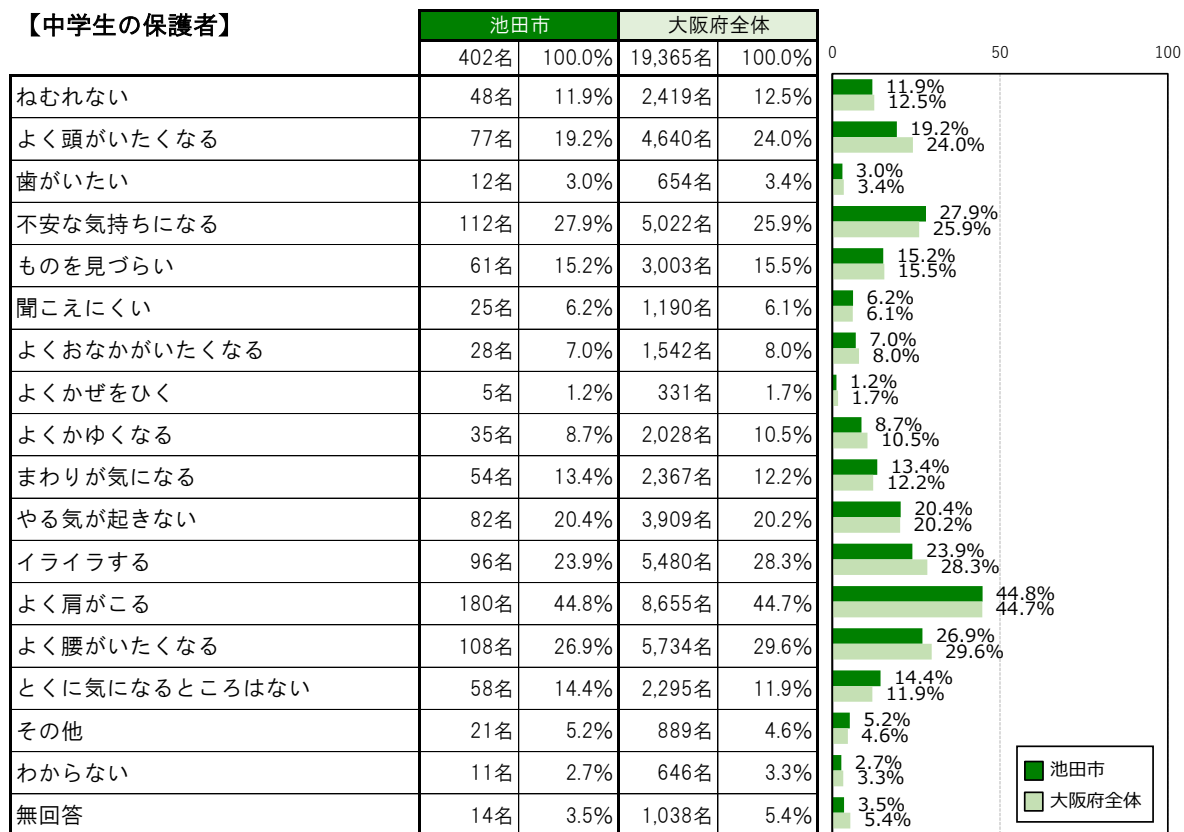
問22 自分の体や気持ちで気になること

保護者全体は、「よく肩がこる」が48.2%で最も多く、次いで「イライラする」が31.5%、「よく腰がいたくなる」が27.5%、「不安な気持ちになる」が24.9%となっている。

小学生の保護者は、「よく肩がこる」が50.4%で最も多く、次いで「イライラする」が36.6%、「よく腰がいたくなる」が28.1%、「よく頭がいたくなる」が27.1%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が44.8%で最も多く、次いで「不安な気持ちになる」が27.9%、「よく腰がいたくなる」が26.9%、「イライラする」が23.9%となっている。





保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助

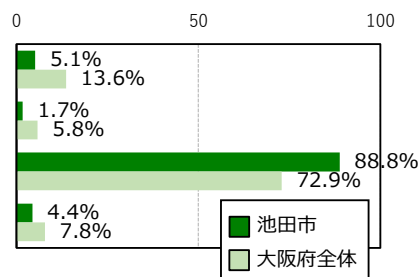
保護者全体は、「利用したことがない」が88.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.1%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が87.7%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.1%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が89.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.2%となっている。

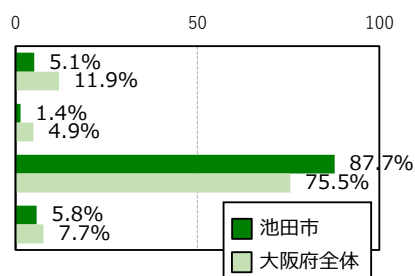
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	54名	5.1%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	18名	1.7%	2,503名	5.8%
利用したことがない	939名	88.8%	31,557名	72.9%
無回答	47名	4.4%	3,371名	7.8%



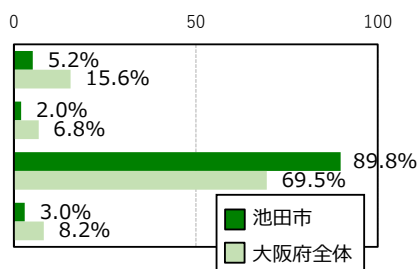
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	29名	5.1%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	8名	1.4%	1,110名	4.9%
利用したことがない	499名	87.7%	17,198名	75.5%
無回答	33名	5.8%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	21名	5.2%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	8名	2.0%	1,308名	6.8%
利用したことがない	361名	89.8%	13,453名	69.5%
無回答	12名	3.0%	1,584名	8.2%



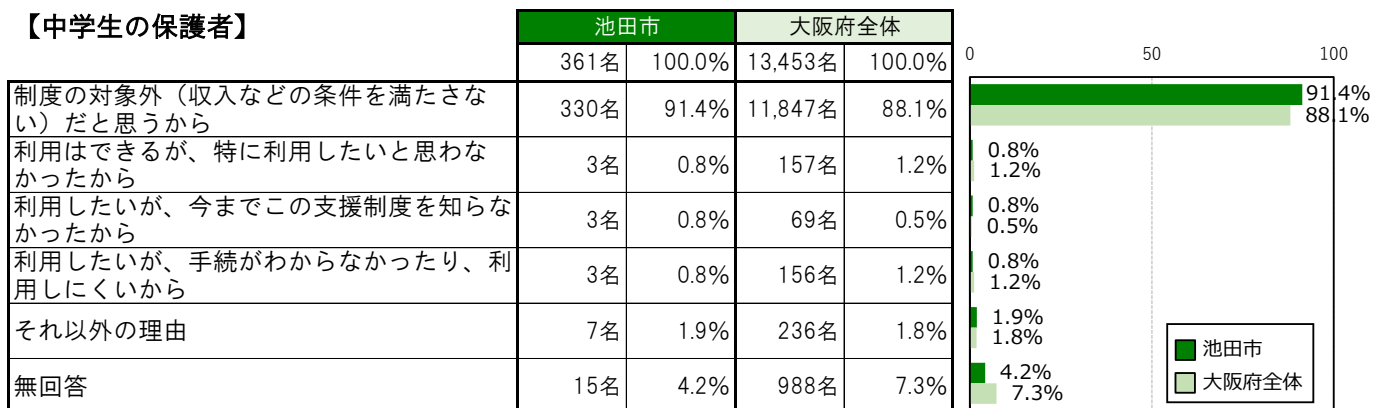
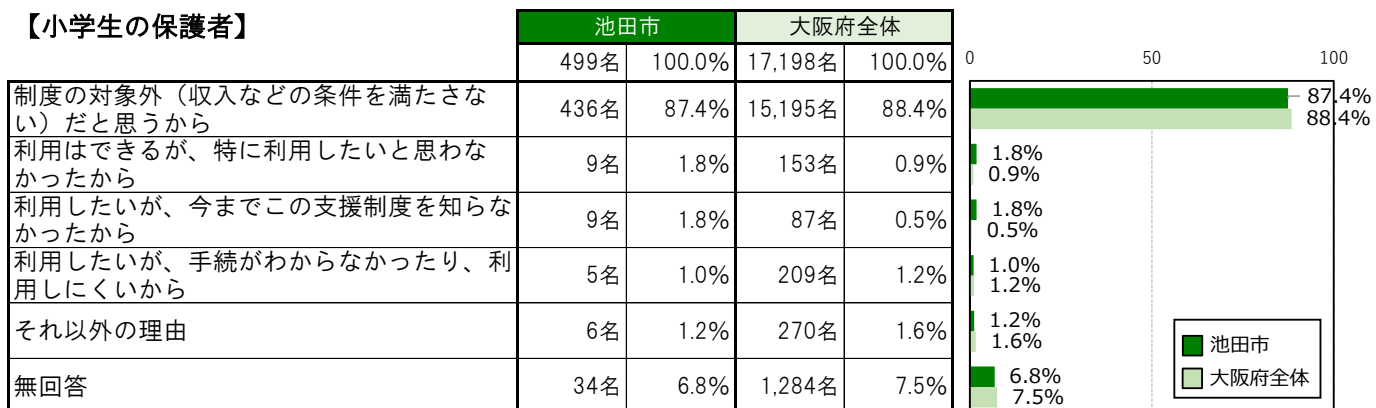
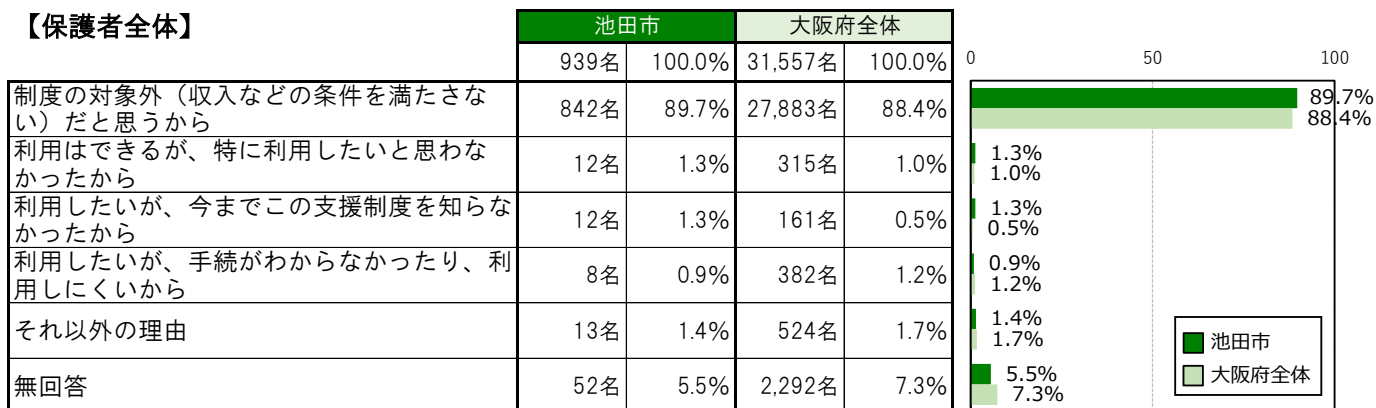
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 a 就学援助 <利用したことがない理由>

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」がそれぞれ1.3%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.4%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」がそれぞれ1.8%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.9%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護

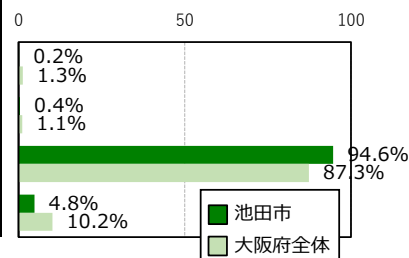
保護者全体は、「利用したことがない」が94.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が95.5%で最も多く、次いで「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」がそれぞれ0.2%となっている。

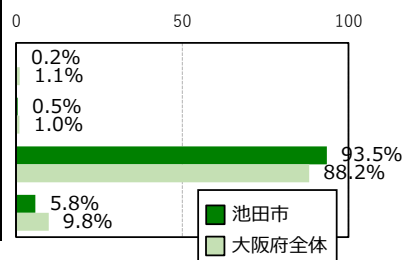
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	2名	0.2%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	0.4%	497名	1.1%
利用したことがない	1,001名	94.6%	37,793名	87.3%
無回答	51名	4.8%	4,430名	10.2%



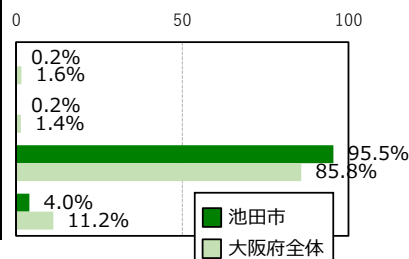
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	0.5%	218名	1.0%
利用したことがない	532名	93.5%	20,090名	88.2%
無回答	33名	5.8%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	1名	0.2%	267名	1.4%
利用したことがない	384名	95.5%	16,608名	85.8%
無回答	16名	4.0%	2,174名	11.2%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 b 生活保護 <利用したことがない理由>

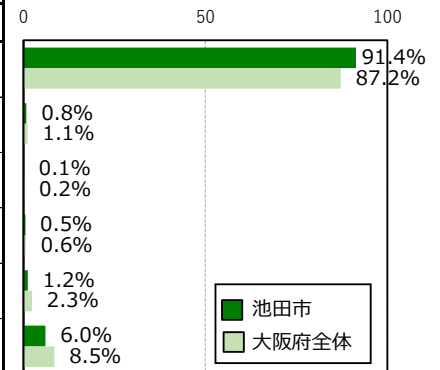
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が91.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が0.8%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が89.7%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「それ以外の理由」がそれぞれ1.1%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が92.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.6%となっている。

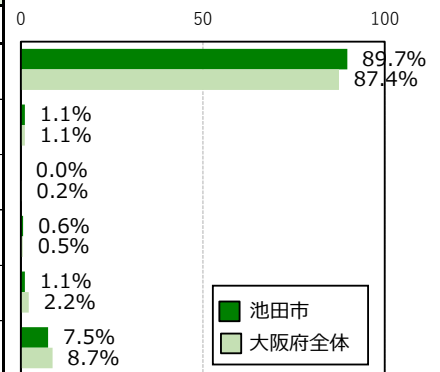
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,001名	100.0%	37,793名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから	915名	91.4%	32,964名	87.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	0.8%	434名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.1%	73名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	5名	0.5%	230名	0.6%
それ以外の理由	12名	1.2%	867名	2.3%
無回答	60名	6.0%	3,225名	8.5%



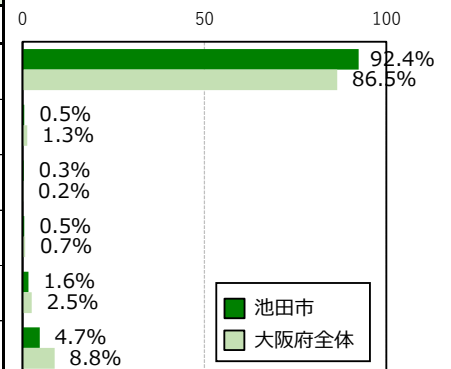
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	532名	100.0%	20,090名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから	477名	89.7%	17,567名	87.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	6名	1.1%	211名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	31名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.6%	104名	0.5%
それ以外の理由	6名	1.1%	433名	2.2%
無回答	40名	7.5%	1,744名	8.7%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	384名	100.0%	16,608名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから	355名	92.4%	14,367名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.5%	219名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.3%	40名	0.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	2名	0.5%	117名	0.7%
それ以外の理由	6名	1.6%	411名	2.5%
無回答	18名	4.7%	1,454名	8.8%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口

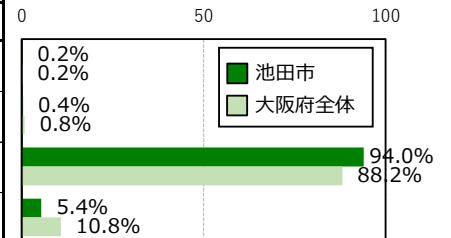
保護者全体は、「利用したことがない」が94.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「現在利用している」が0.2%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が92.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「現在利用している」が0.2%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が95.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「現在利用している」が0.2%となっている。

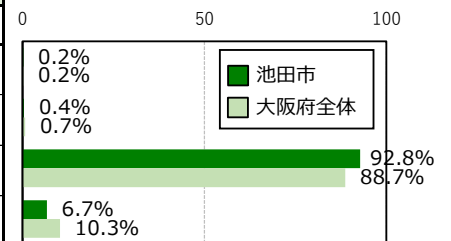
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	2名	0.2%	101名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	0.4%	338名	0.8%
利用したことがない	995名	94.0%	38,173名	88.2%
無回答	57名	5.4%	4,688名	10.8%



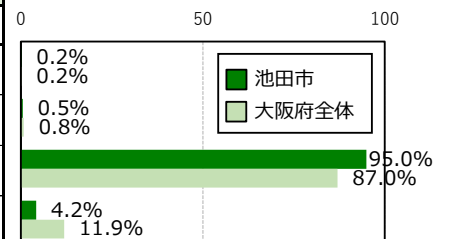
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	55名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.4%	163名	0.7%
利用したことがない	528名	92.8%	20,220名	88.7%
無回答	38名	6.7%	2,348名	10.3%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	44名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.5%	162名	0.8%
利用したことがない	382名	95.0%	16,851名	87.0%
無回答	17名	4.2%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 c 生活困窮者の自立支援相談窓口 <利用したことがない理由>

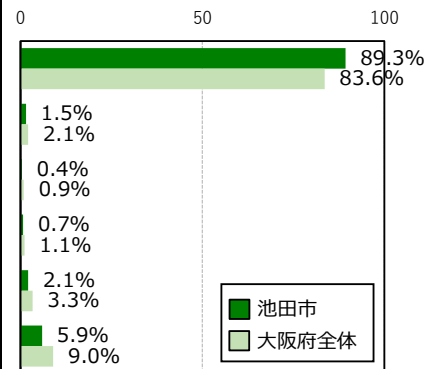
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.5%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.3%となっている。

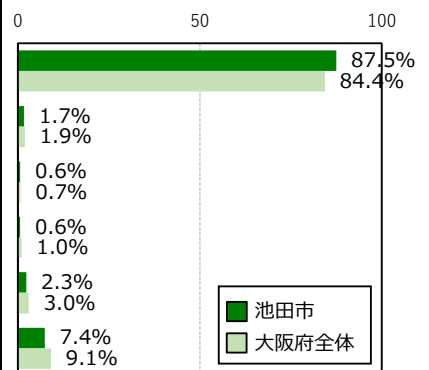
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	995名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	889名	89.3%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	15名	1.5%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	0.4%	332名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	7名	0.7%	410名	1.1%
それ以外の理由	21名	2.1%	1,275名	3.3%
無回答	59名	5.9%	3,447名	9.0%



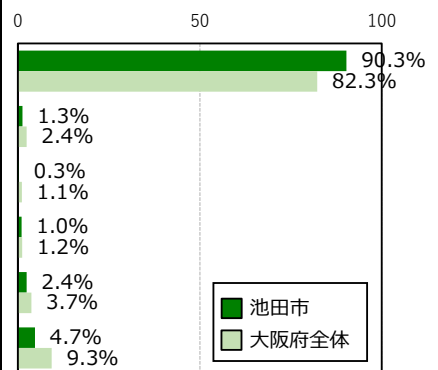
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	528名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	462名	87.5%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	9名	1.7%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.6%	134名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.6%	193名	1.0%
それ以外の理由	12名	2.3%	609名	3.0%
無回答	39名	7.4%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	382名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	345名	90.3%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	1.3%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.3%	192名	1.1%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	4名	1.0%	204名	1.2%
それ以外の理由	9名	2.4%	625名	3.7%
無回答	18名	4.7%	1,570名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

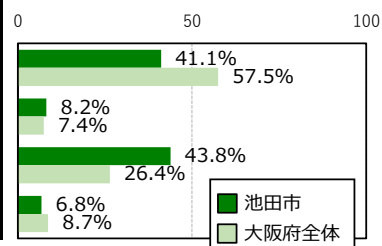
ひとり親世帯のみでみると、保護者全体は、「利用したことがない」が43.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が41.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が8.2%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が47.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が40.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.0%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が44.4%で最も多く、次いで「現在利用している」が37.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が11.1%となっている。

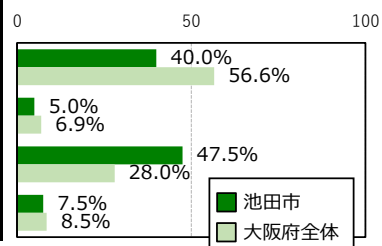
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	73名	100.0%	5,126名	100.0%
現在利用している	30名	41.1%	2,948名	57.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	8.2%	380名	7.4%
利用したことがない	32名	43.8%	1,354名	26.4%
無回答	5名	6.8%	444名	8.7%



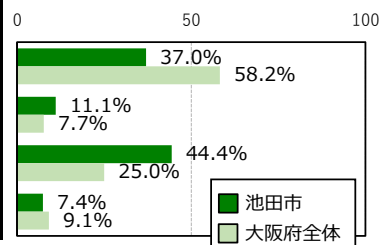
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	40名	100.0%	2,447名	100.0%
現在利用している	16名	40.0%	1,385名	56.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	5.0%	168名	6.9%
利用したことがない	19名	47.5%	686名	28.0%
無回答	3名	7.5%	208名	8.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	27名	100.0%	2,547名	100.0%
現在利用している	10名	37.0%	1,483名	58.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	11.1%	196名	7.7%
利用したことがない	12名	44.4%	636名	25.0%
無回答	2名	7.4%	232名	9.1%



※ひとり親世帯のみで集計

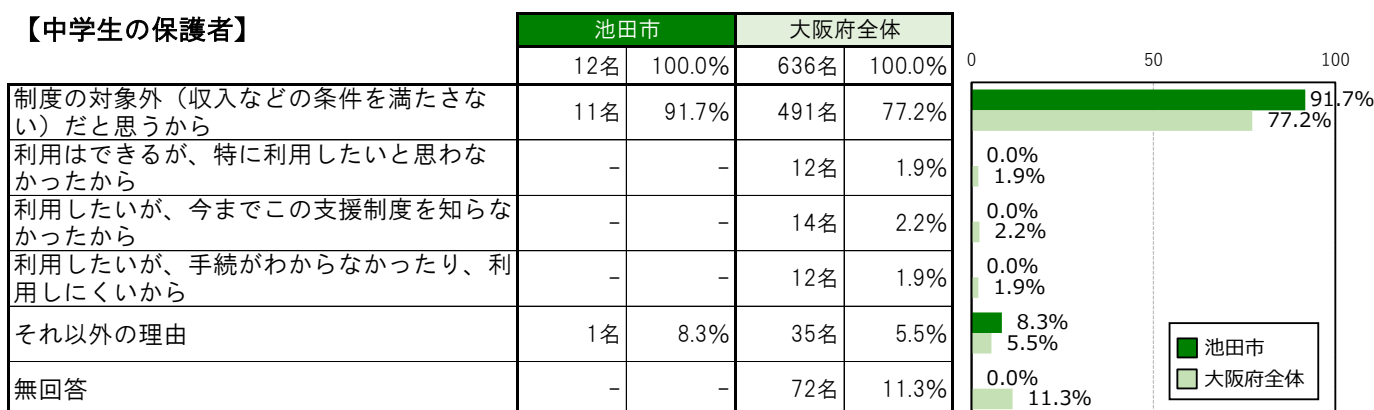
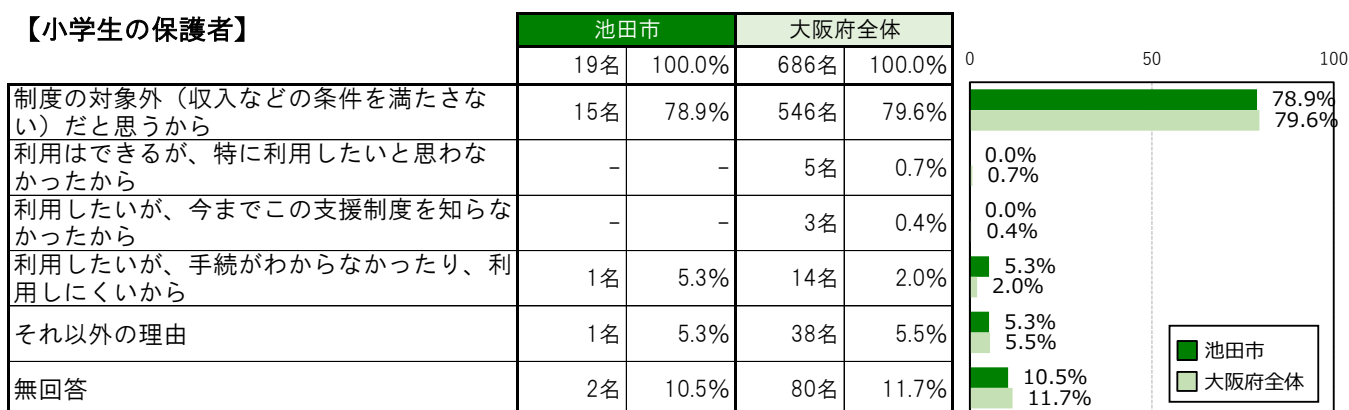
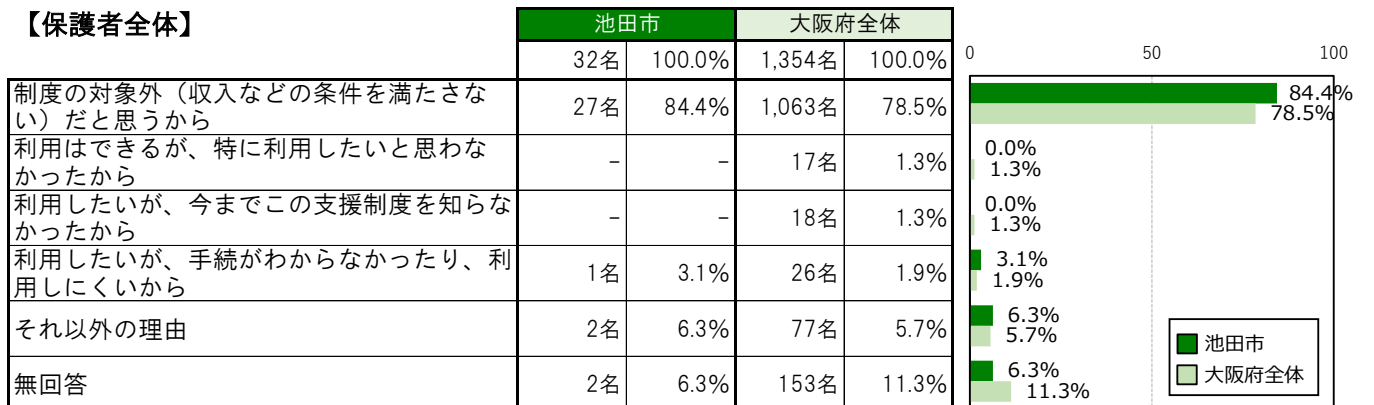
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 d 児童扶養手当 <利用したことがない理由> (ひとり親世帯のみ)

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が84.4%（27名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が6.3%（2名）となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が78.9%（15名）で最も多く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」と「それ以外の理由」がそれぞれ5.3%（1名）となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない） だと思うから」が91.7%（11名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が8.3%（1名）となっている。



※ひとり親世帯のみで集計

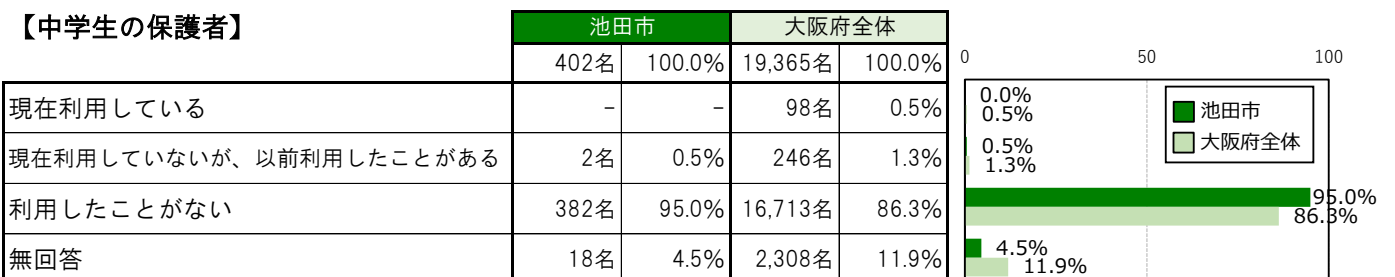
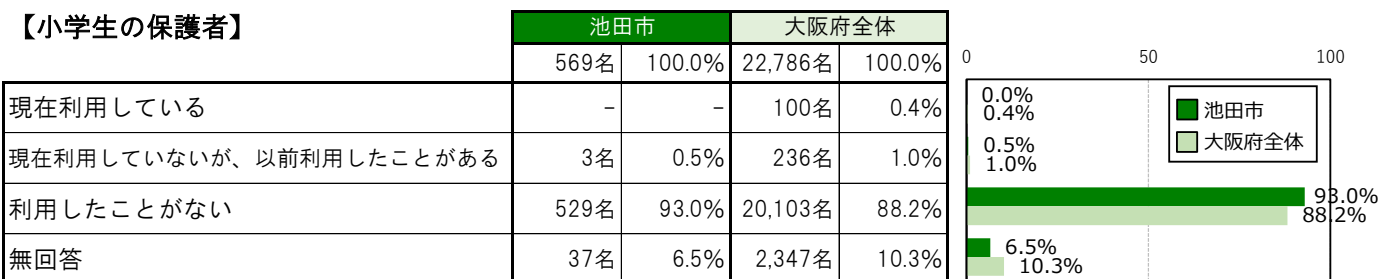
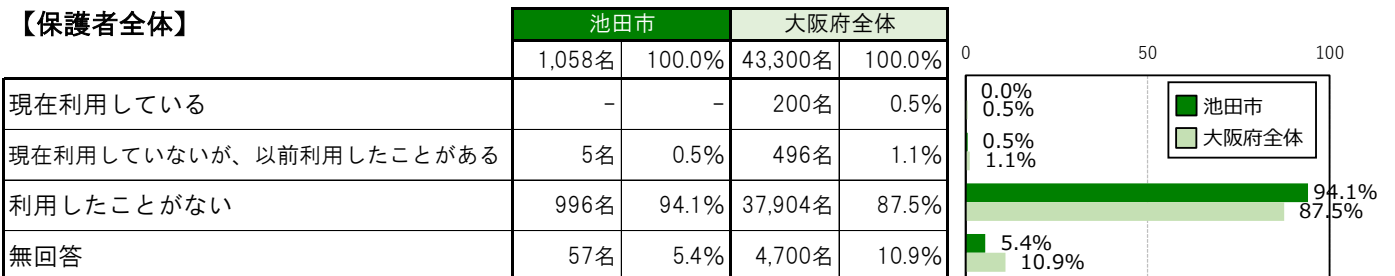
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター

保護者全体は、「利用したことがない」が94.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が93.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が95.0%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 e 母子家庭等就業・自立支援センター <利用したことがない理由>

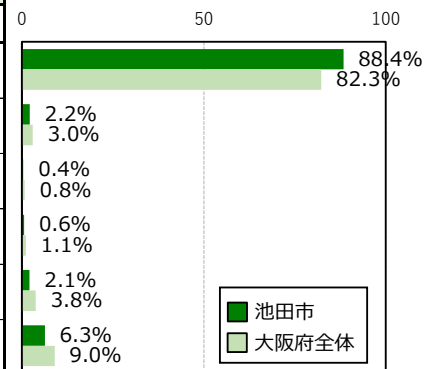
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.4%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.2%、「それ以外の理由」が2.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.2%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.3%、「それ以外の理由」が1.9%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.1%となっている。

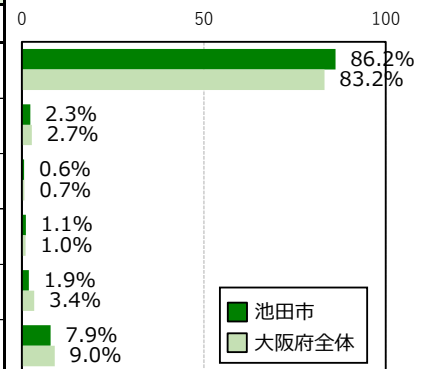
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	996名	100.0%	37,904名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	880名	88.4%	31,197名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	22名	2.2%	1,139名	3.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	4名	0.4%	316名	0.8%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	0.6%	401名	1.1%
それ以外の理由	21名	2.1%	1,448名	3.8%
無回答	63名	6.3%	3,403名	9.0%



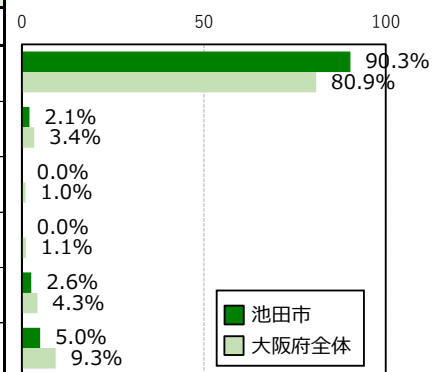
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	529名	100.0%	20,103名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	456名	86.2%	16,718名	83.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12名	2.3%	540名	2.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.6%	138名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	6名	1.1%	203名	1.0%
それ以外の理由	10名	1.9%	686名	3.4%
無回答	42名	7.9%	1,818名	9.0%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	382名	100.0%	16,713名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	345名	90.3%	13,516名	80.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	2.1%	572名	3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	169名	1.0%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	-	-	188名	1.1%
それ以外の理由	10名	2.6%	714名	4.3%
無回答	19名	5.0%	1,554名	9.3%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

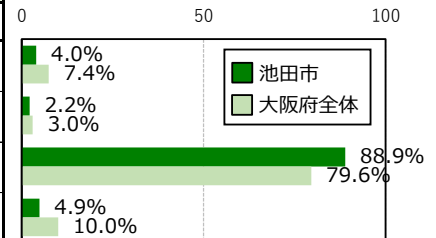
保護者全体は、「利用したことがない」が88.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が4.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.2%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が87.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が4.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が90.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が4.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%となっている。

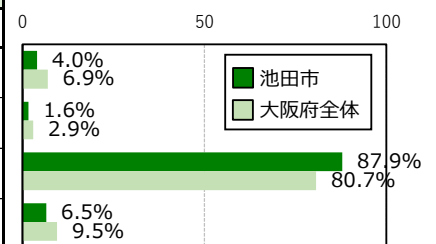
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	42名	4.0%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	23名	2.2%	1,293名	3.0%
利用したことがない	941名	88.9%	34,472名	79.6%
無回答	52名	4.9%	4,330名	10.0%



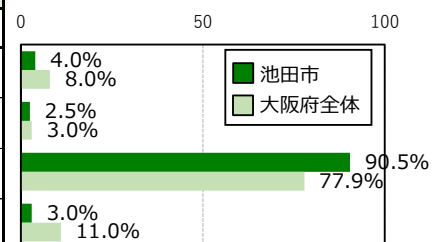
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	23名	4.0%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	9名	1.6%	672名	2.9%
利用したことがない	500名	87.9%	18,390名	80.7%
無回答	37名	6.5%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	16名	4.0%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	10名	2.5%	588名	3.0%
利用したことがない	364名	90.5%	15,094名	77.9%
無回答	12名	3.0%	2,126名	11.0%



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

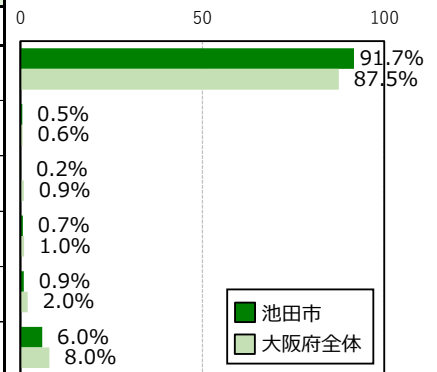
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.7%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が0.9%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.2%で最も多く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が0.8%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.6%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が1.1%となっている。

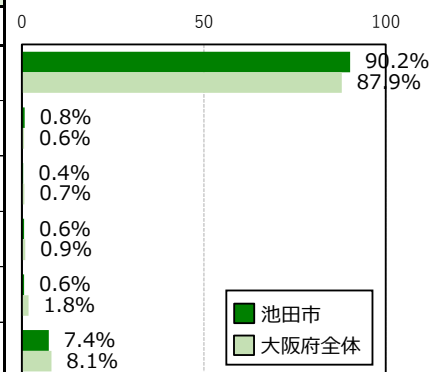
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	941名	100.0%	34,472名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	863名	91.7%	30,150名	87.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	0.5%	201名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.2%	322名	0.9%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	7名	0.7%	336名	1.0%
それ以外の理由	8名	0.9%	696名	2.0%
無回答	56名	6.0%	2,767名	8.0%



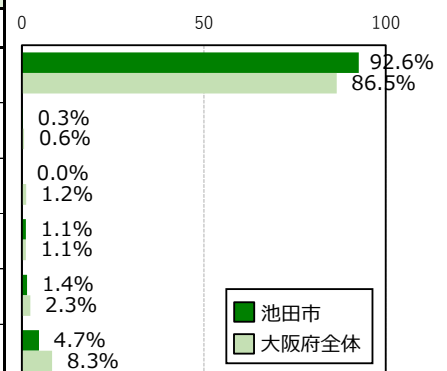
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	500名	100.0%	18,390名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	451名	90.2%	16,160名	87.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	0.8%	102名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.4%	133名	0.7%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.6%	168名	0.9%
それ以外の理由	3名	0.6%	338名	1.8%
無回答	37名	7.4%	1,489名	8.1%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	364名	100.0%	15,094名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	337名	92.6%	13,056名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.3%	98名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	182名	1.2%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	4名	1.1%	162名	1.1%
それ以外の理由	5名	1.4%	343名	2.3%
無回答	17名	4.7%	1,253名	8.3%



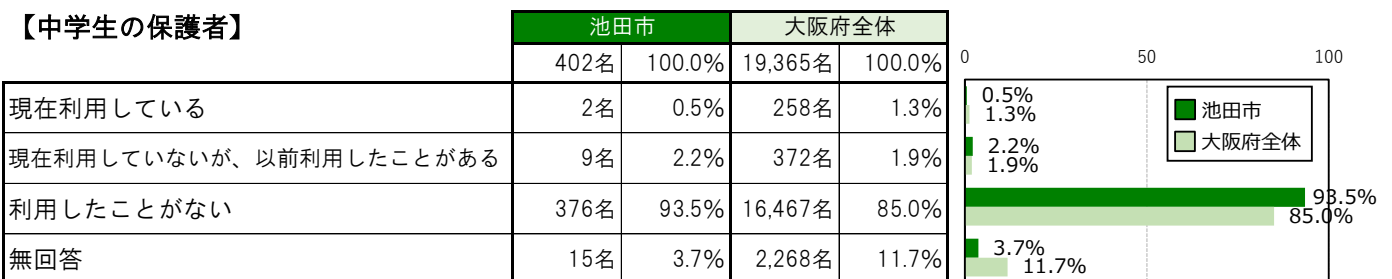
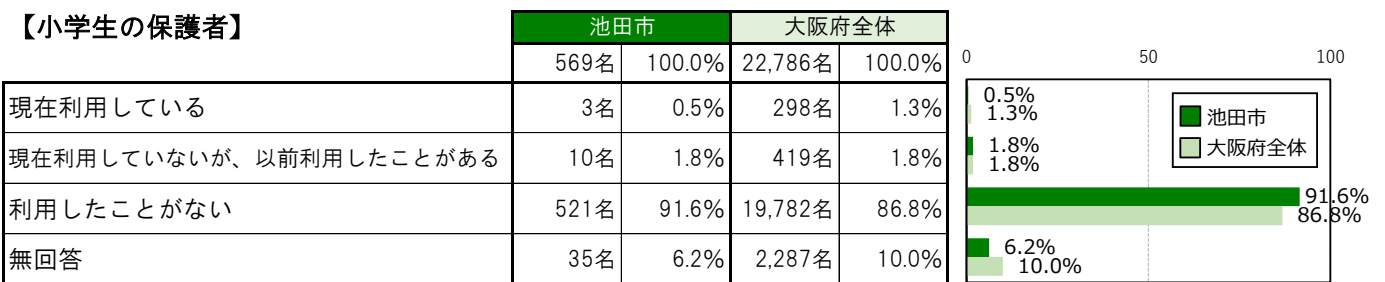
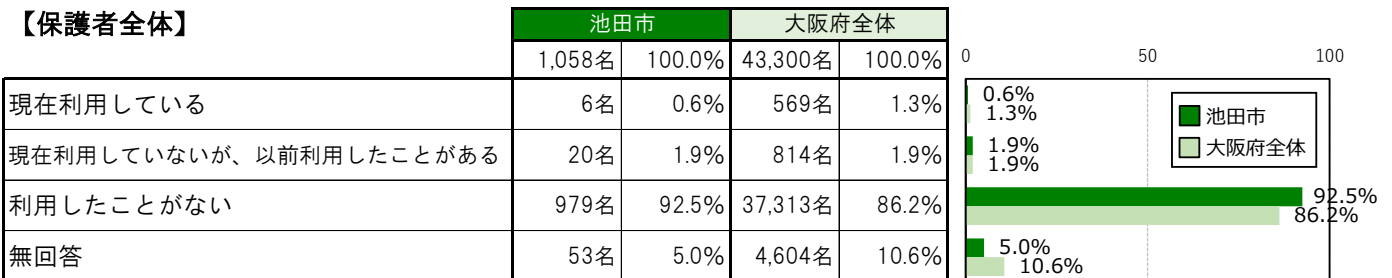
保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

保護者全体は、「利用したことがない」が92.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.9%、「現在利用している」が0.6%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が91.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%、「現在利用している」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が93.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.2%、「現在利用している」が0.5%となっている。



保護者のことについて

問23 支援制度の利用状況 g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）
＜利用したことがない理由＞

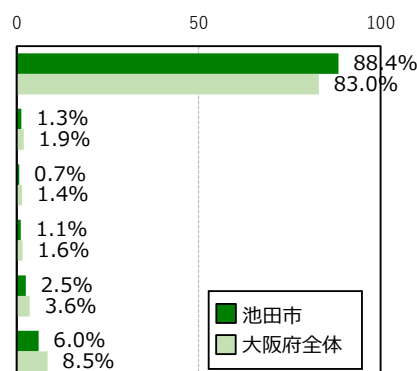
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.3%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.8%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ1.1%となっている。

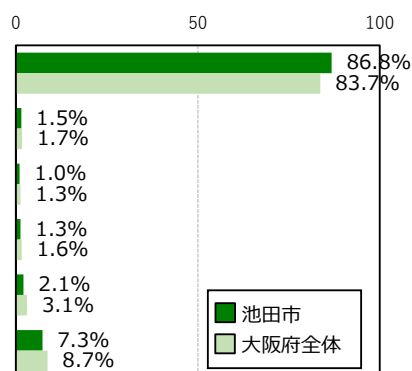
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	979名	100.0%	37,313名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	865名	88.4%	30,971名	83.0%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	13名	1.3%	708名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	7名	0.7%	529名	1.4%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	11名	1.1%	611名	1.6%
それ以外の理由	24名	2.5%	1,331名	3.6%
無回答	59名	6.0%	3,163名	8.5%



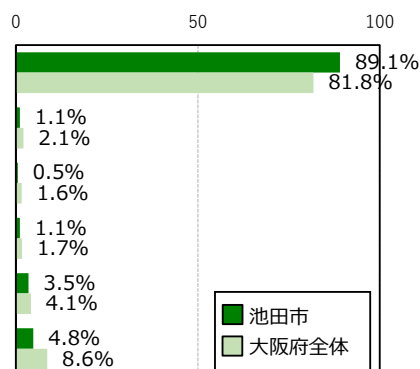
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	521名	100.0%	19,782名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	452名	86.8%	16,548名	83.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	1.5%	343名	1.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	1.0%	258名	1.3%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	7名	1.3%	308名	1.6%
それ以外の理由	11名	2.1%	613名	3.1%
無回答	38名	7.3%	1,712名	8.7%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	376名	100.0%	16,467名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	335名	89.1%	13,474名	81.8%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	1.1%	350名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.5%	263名	1.6%
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	4名	1.1%	284名	1.7%
それ以外の理由	13名	3.5%	675名	4.1%
無回答	18名	4.8%	1,421名	8.6%



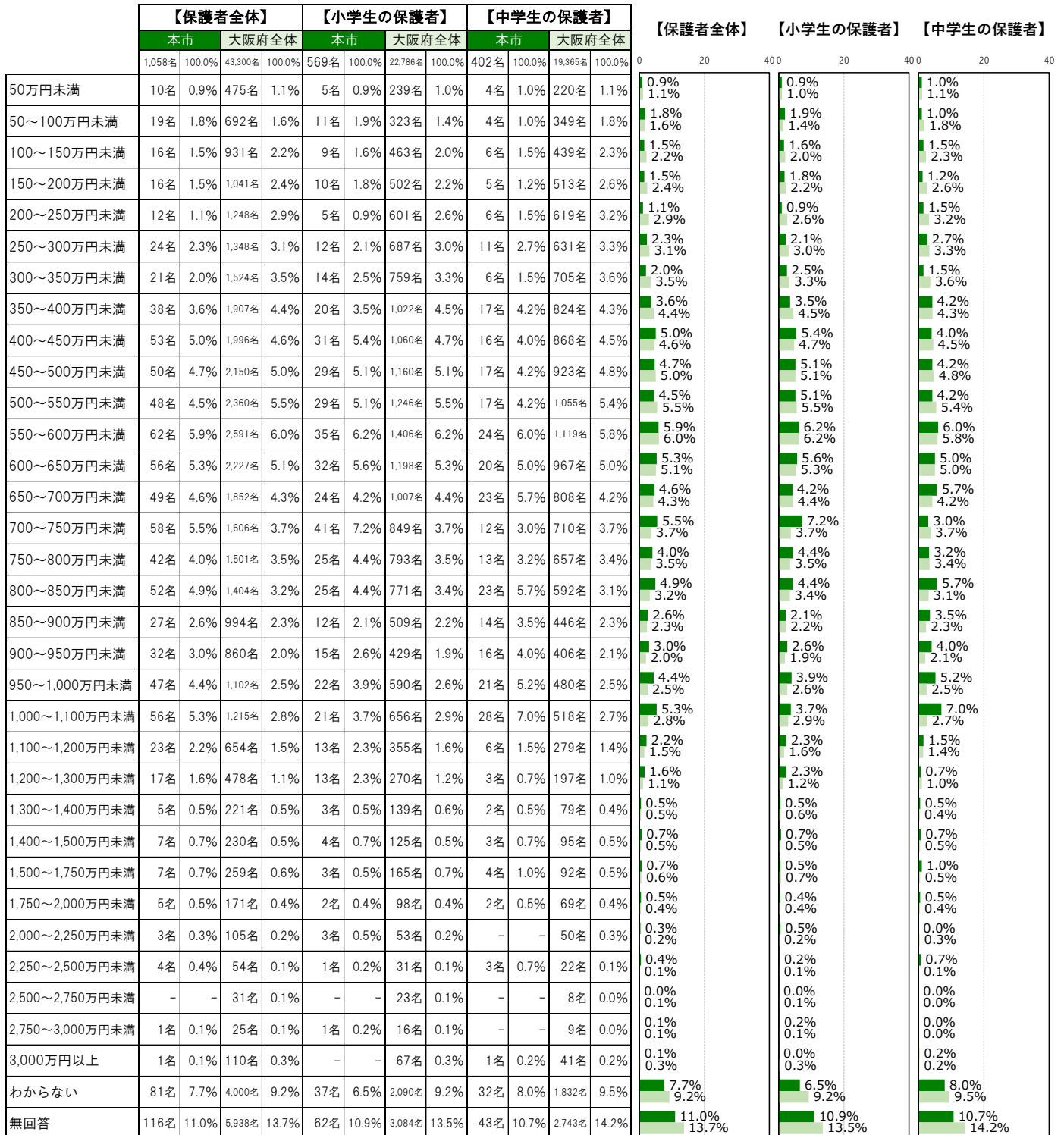
保護者のことについて

問24 世帯収入

保護者全体は、「550～600万円未満」が5.9%で最も多く、次いで「700～750万円未満」が5.5%、「600～650万円未満」と「1,000～1,100万円未満」がそれぞれ5.3%となっている。

小学生の保護者は、「700～750万円未満」が7.2%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が6.2%、「600～650万円未満」が5.6%、「400～450万円未満」が5.4%となっている。

中学生の保護者は、「1,000～1,100万円未満」が7.0%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が6.0%、「650～700万円未満」と「800～850万円未満」がそれぞれ5.7%となっている。



■ 池田市
■ 大阪府全体

世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要がある、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

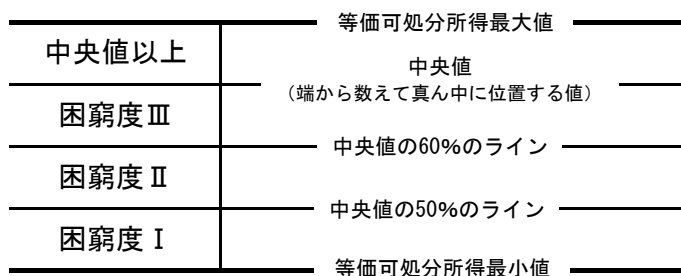
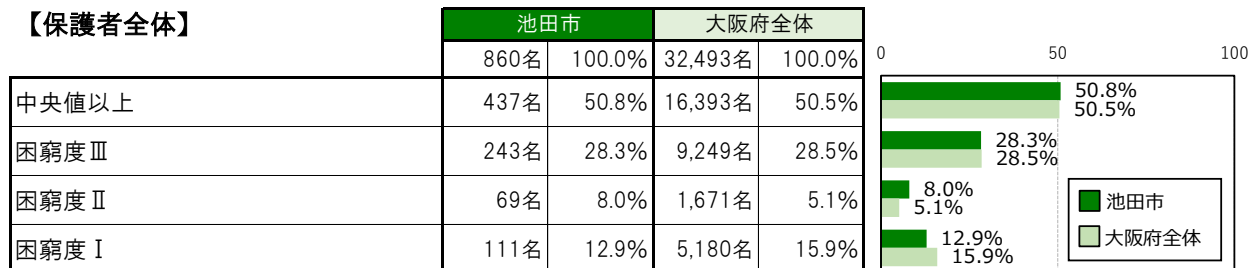


図 困窮度の分類と基準

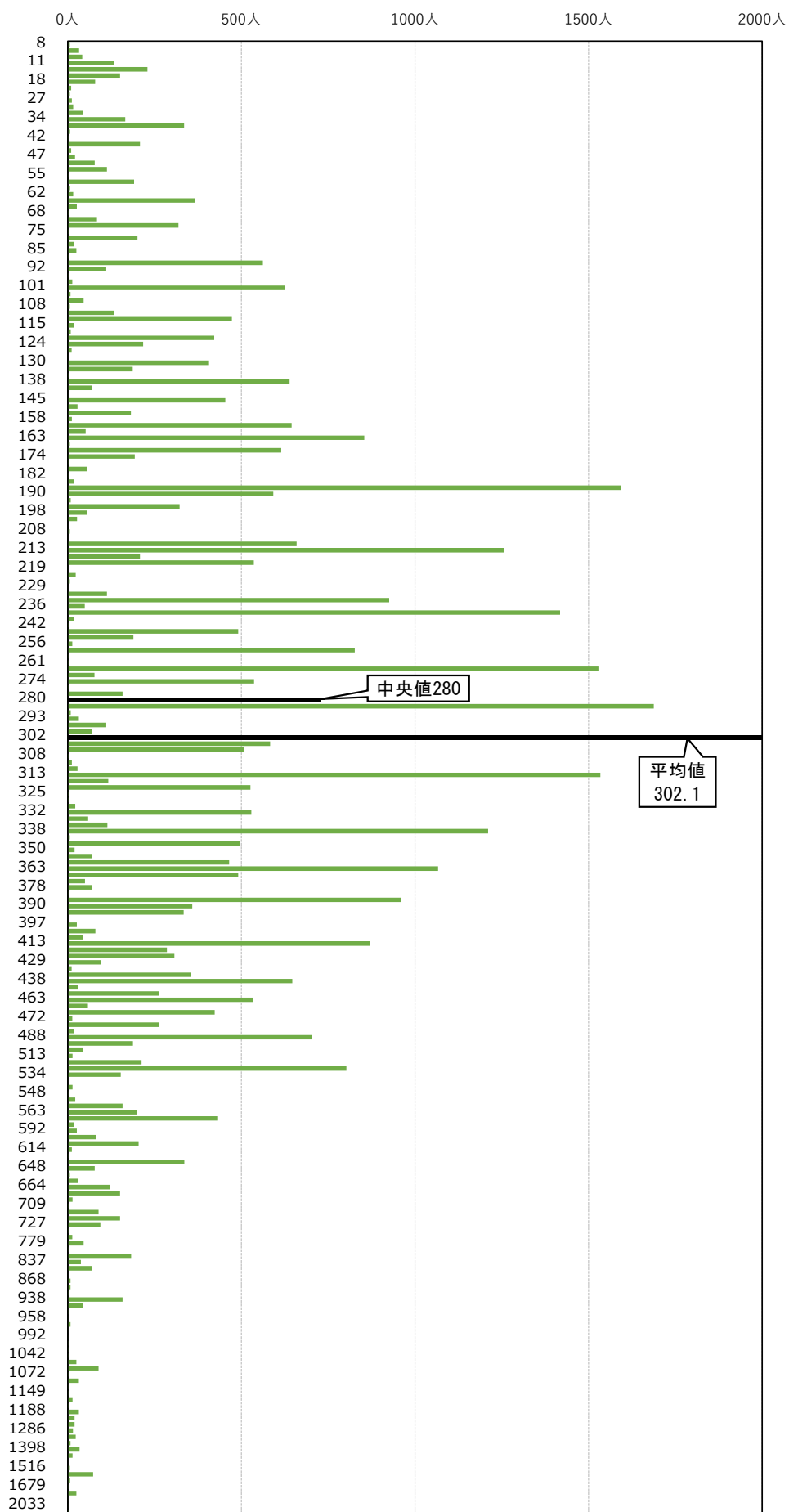
中央値は324万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は12.9%であった。

なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】



保護者全体は、「中央値以上」が50.8%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が28.3%、「困窮度Ⅰ」が12.9%、「困窮度Ⅱ」が8.0%となっている。



※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。

図 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者のことについて

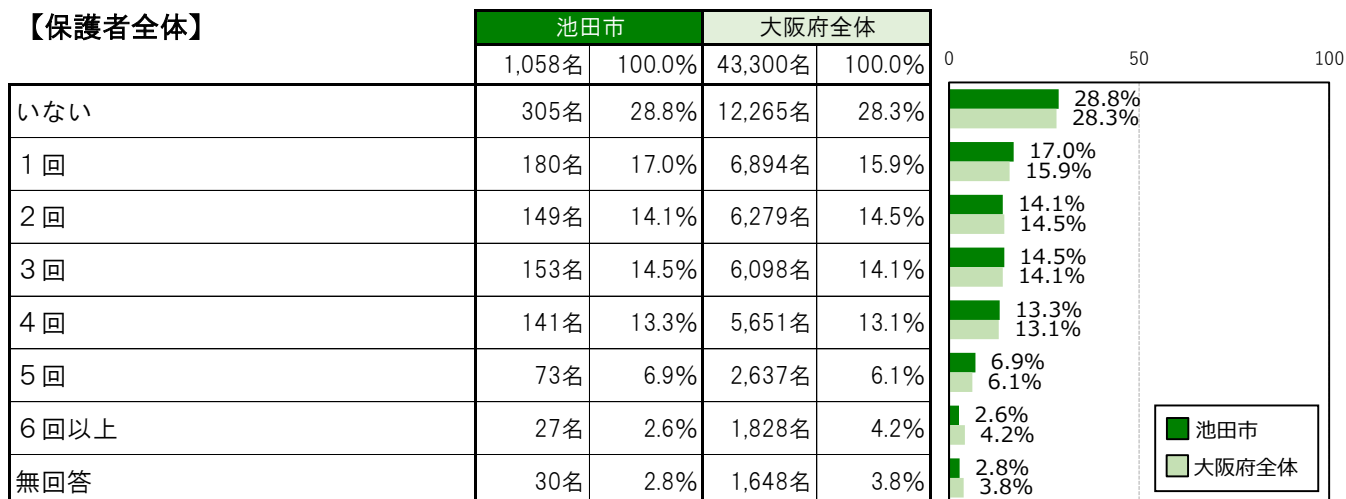
問25 同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が28.8%で最も多く、次いで「1回」が17.0%、「3回」が14.5%、「2回」が14.1%となっている。

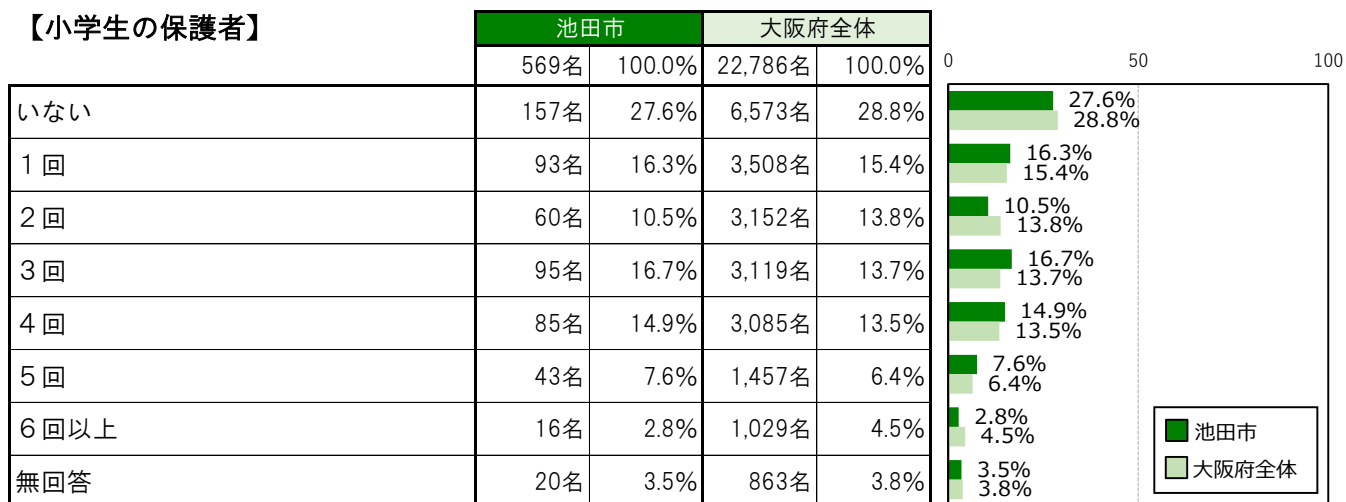
小学生の保護者は、「いない」が27.6%で最も多く、次いで「3回」が16.7%、「1回」が16.3%、「4回」が14.9%となっている。

中学生の保護者は、「いない」が33.3%で最も多く、次いで「2回」が18.4%、「1回」が17.2%、「3回」が11.2%となっている。

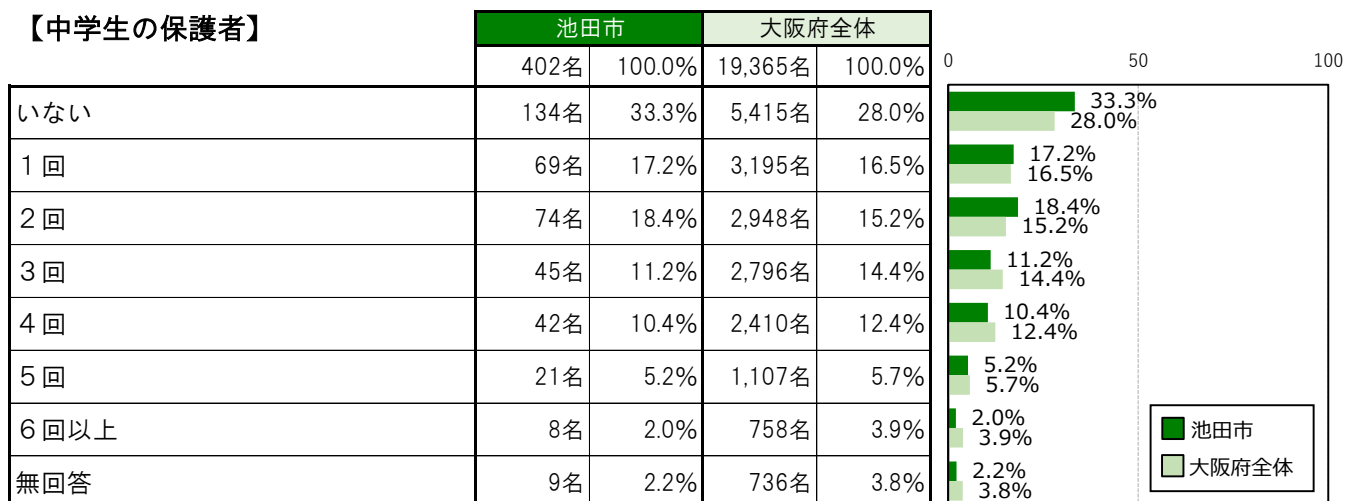
【保護者全体】



【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

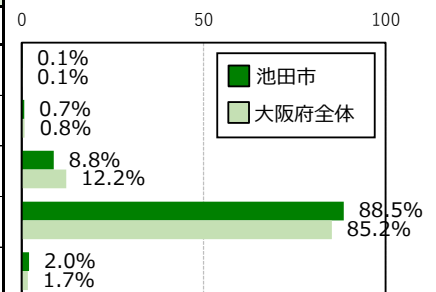
保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.5%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.8%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.7%となっている。

小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が87.5%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が9.3%、「居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）」が0.5%となっている。

中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.3%で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が8.0%となっている。

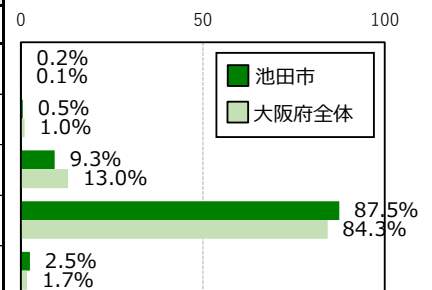
【保護者全体】

	池田市		大阪府全体	
	1,058名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	1名	0.1%	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	7名	0.7%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	93名	8.8%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	936名	88.5%	36,876名	85.2%
無回答	21名	2.0%	751名	1.7%



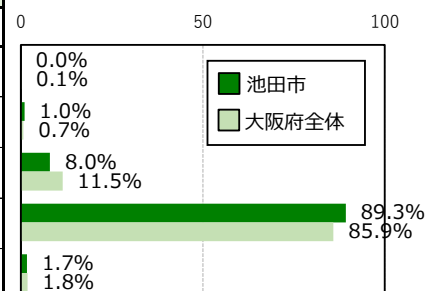
【小学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	569名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	1名	0.2%	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	3名	0.5%	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	53名	9.3%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	498名	87.5%	19,206名	84.3%
無回答	14名	2.5%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	池田市		大阪府全体	
	402名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	-	-	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	4名	1.0%	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	32名	8.0%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	359名	89.3%	16,638名	85.9%
無回答	7名	1.7%	339名	1.8%



保護者のことについて

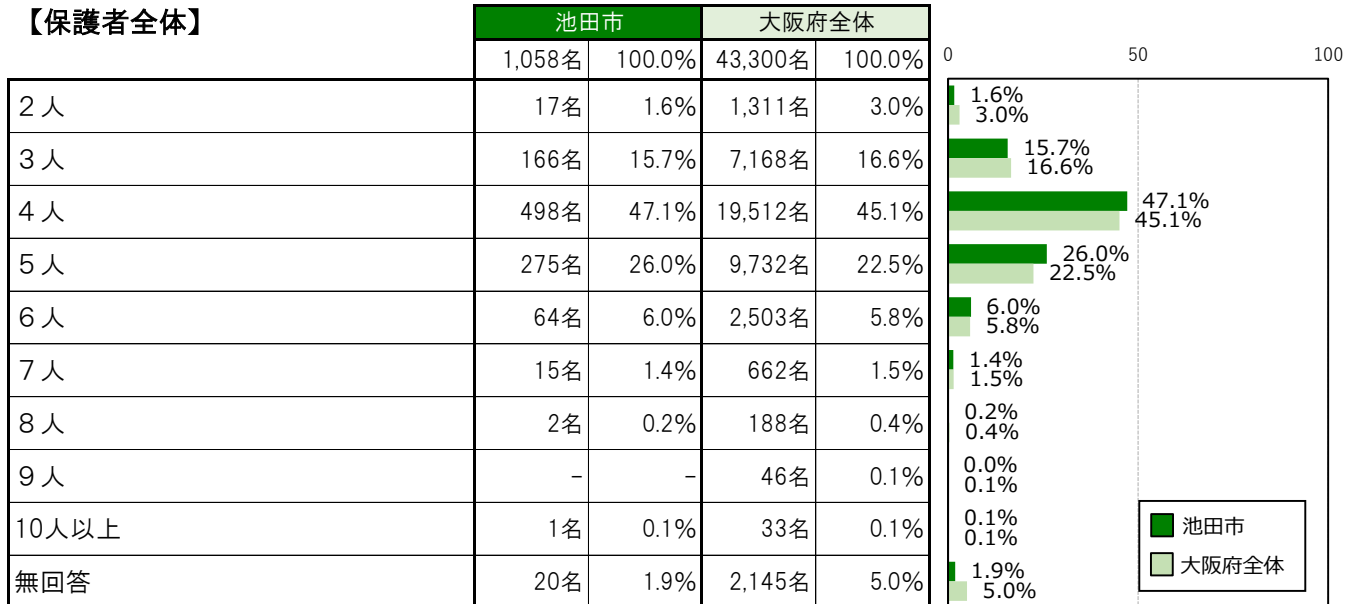
問26（2）同居人数

保護者全体は、「4人」が47.1%で最も多く、次いで「5人」が26.0%、「3人」が15.7%、「6人」が6.0%となっている。

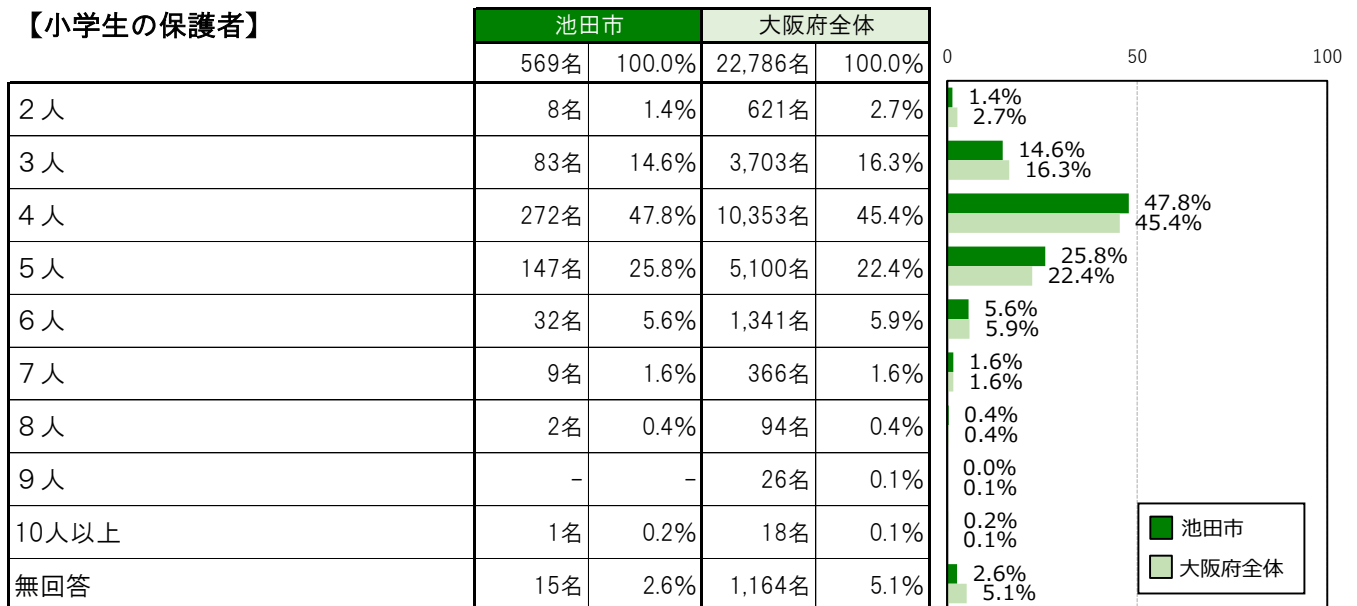
小学生の保護者は、「4人」が47.8%で最も多く、次いで「5人」が25.8%、「3人」が14.6%、「6人」が5.6%となっている。

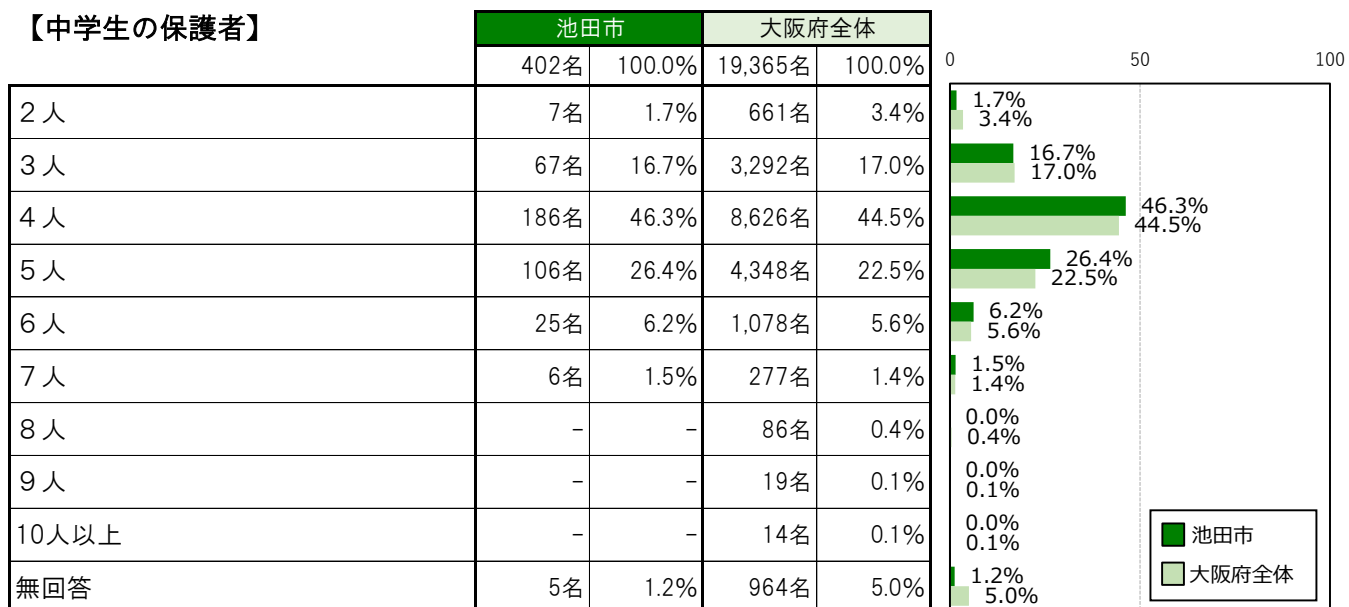
中学生の保護者は、「4人」が46.3%で最も多く、次いで「5人」が26.4%、「3人」が16.7%、「6人」が6.2%となっている。

【保護者全体】



【小学生の保護者】





3. クロス集計および分析結果

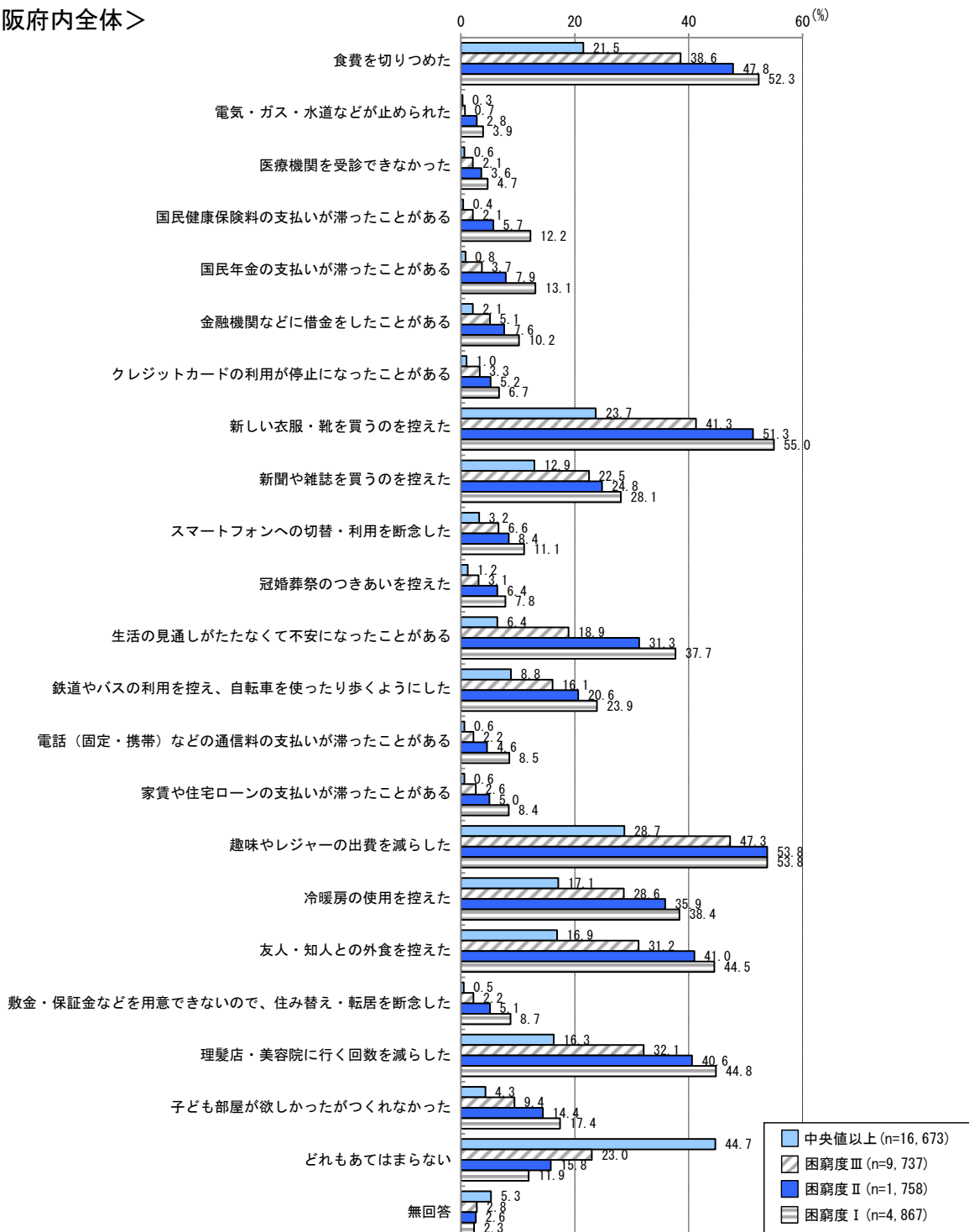
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<池田市>

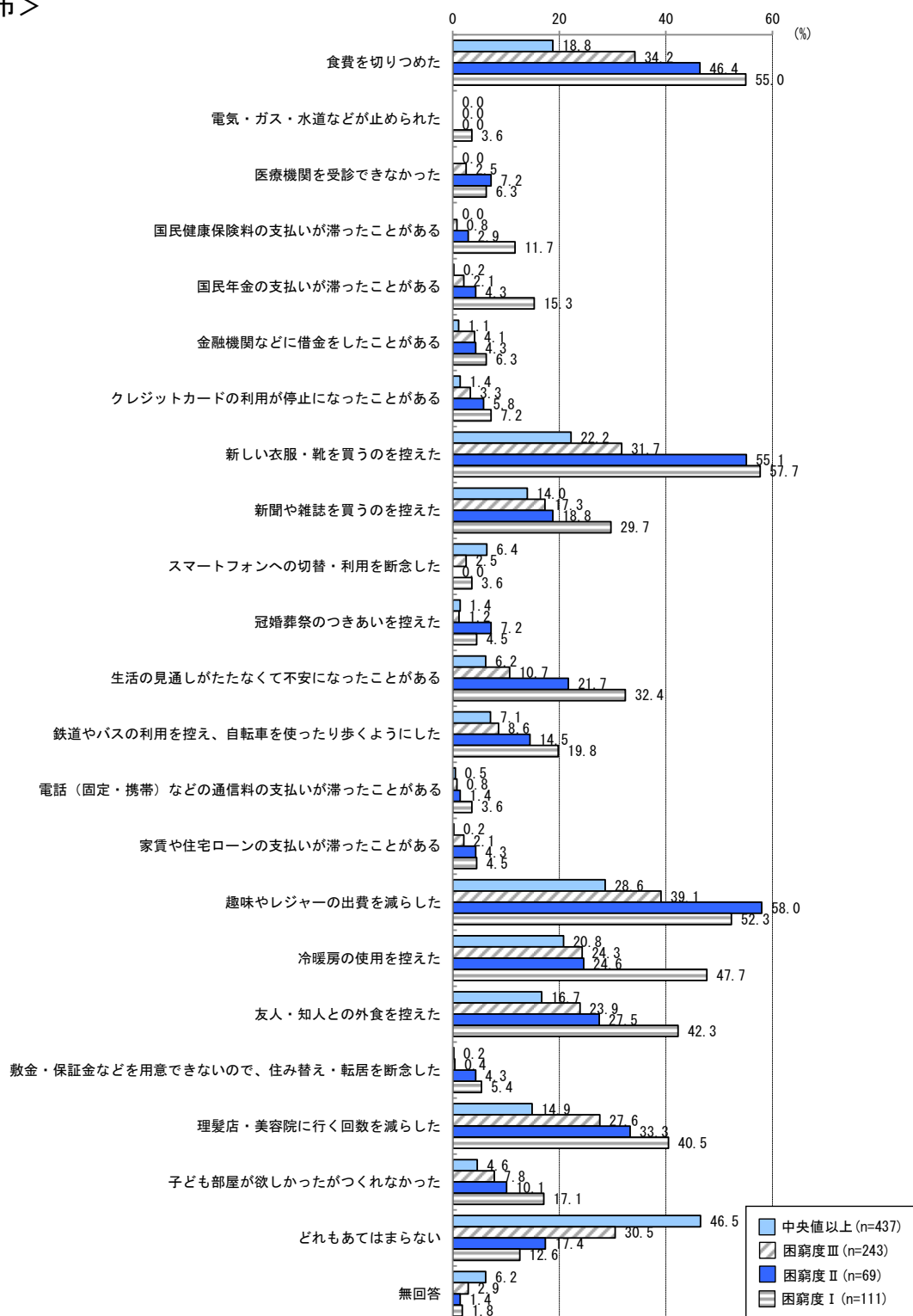
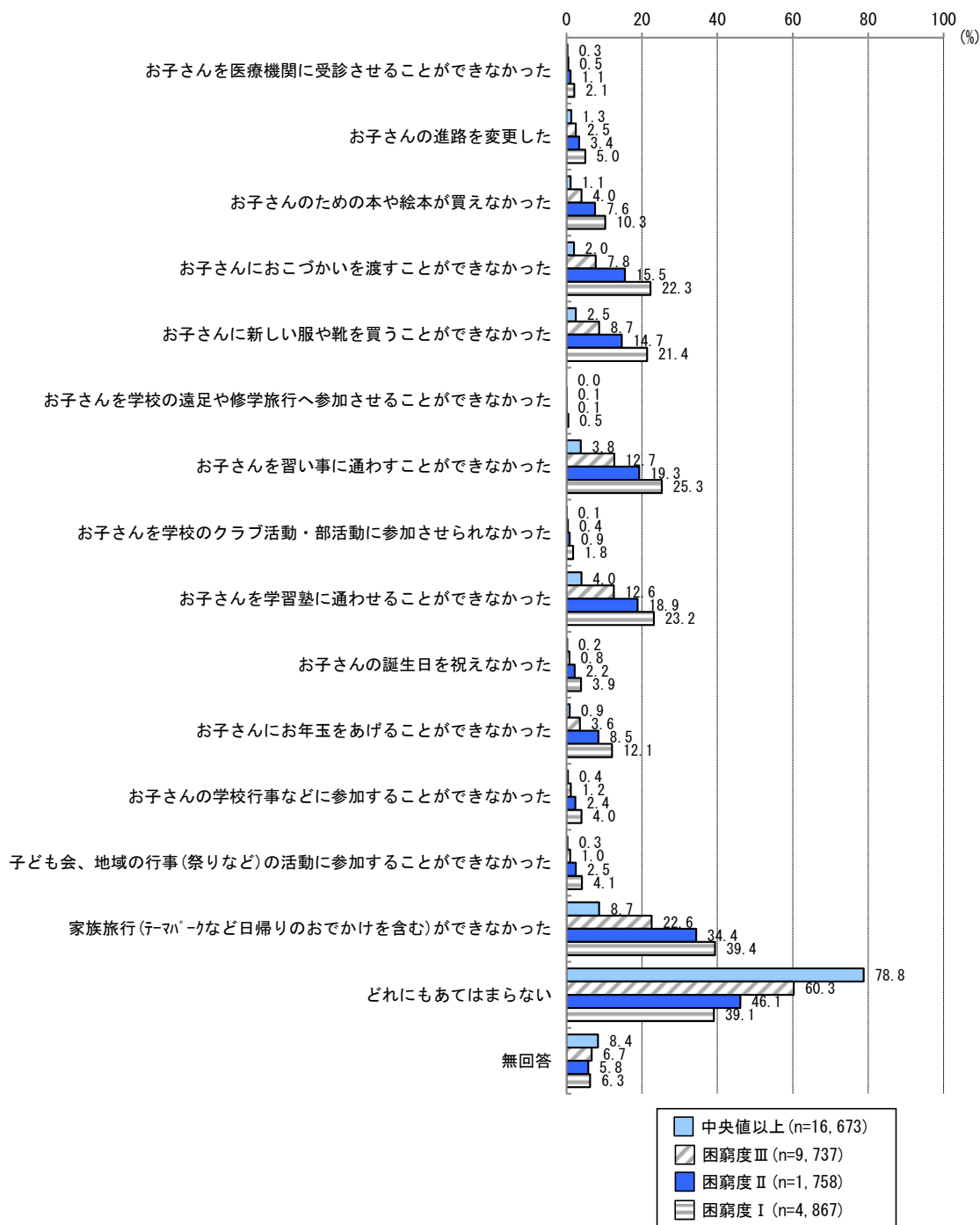


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「国民年金の支払いが滞ったことがある」が15.3%（中央値以上群に対して76.5倍）、「敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した」が5.4%（同じく27.0倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が4.5%（同じく22.5倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で46.5%に対して、困窮度Ⅰ群において12.6%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<池田市>

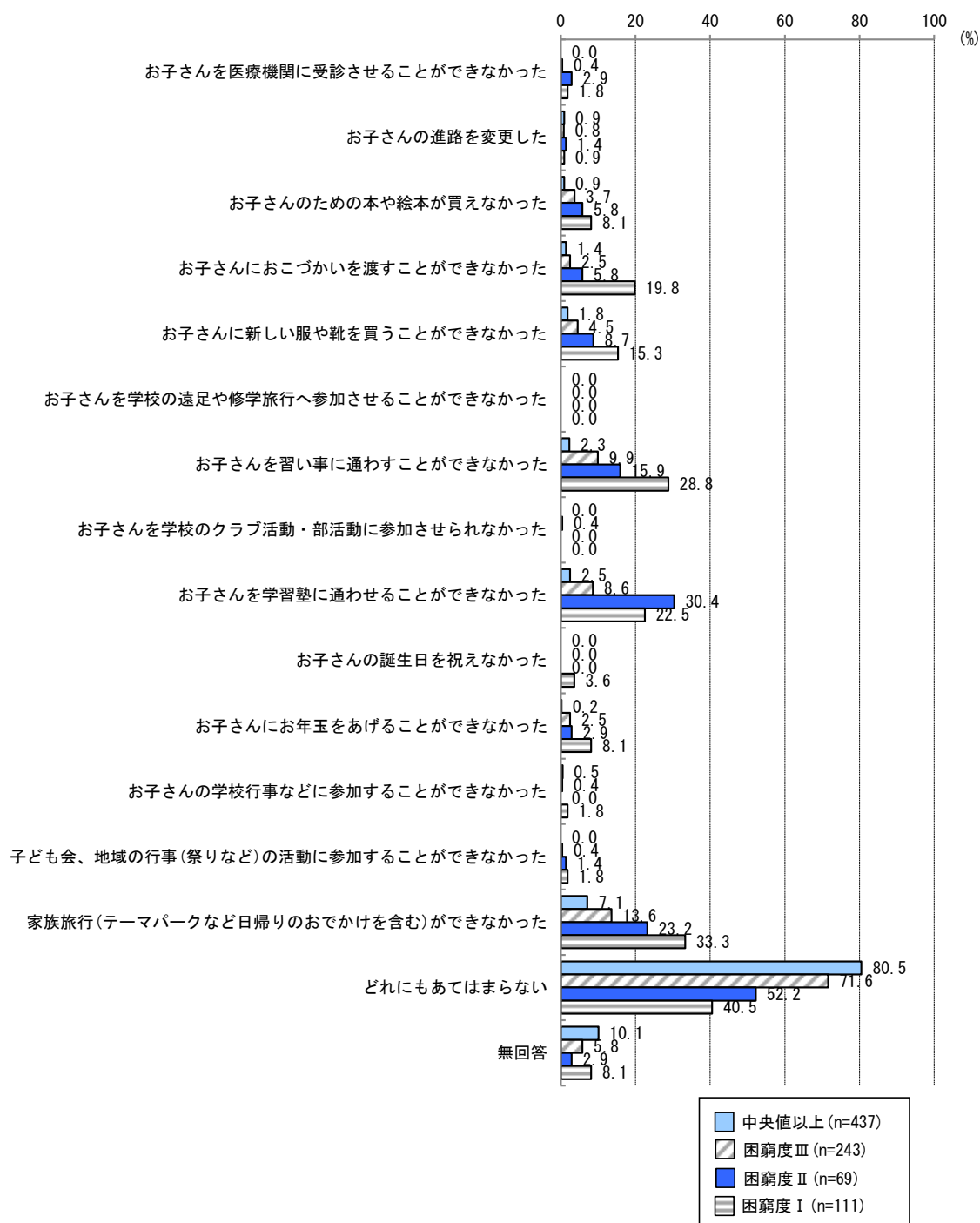


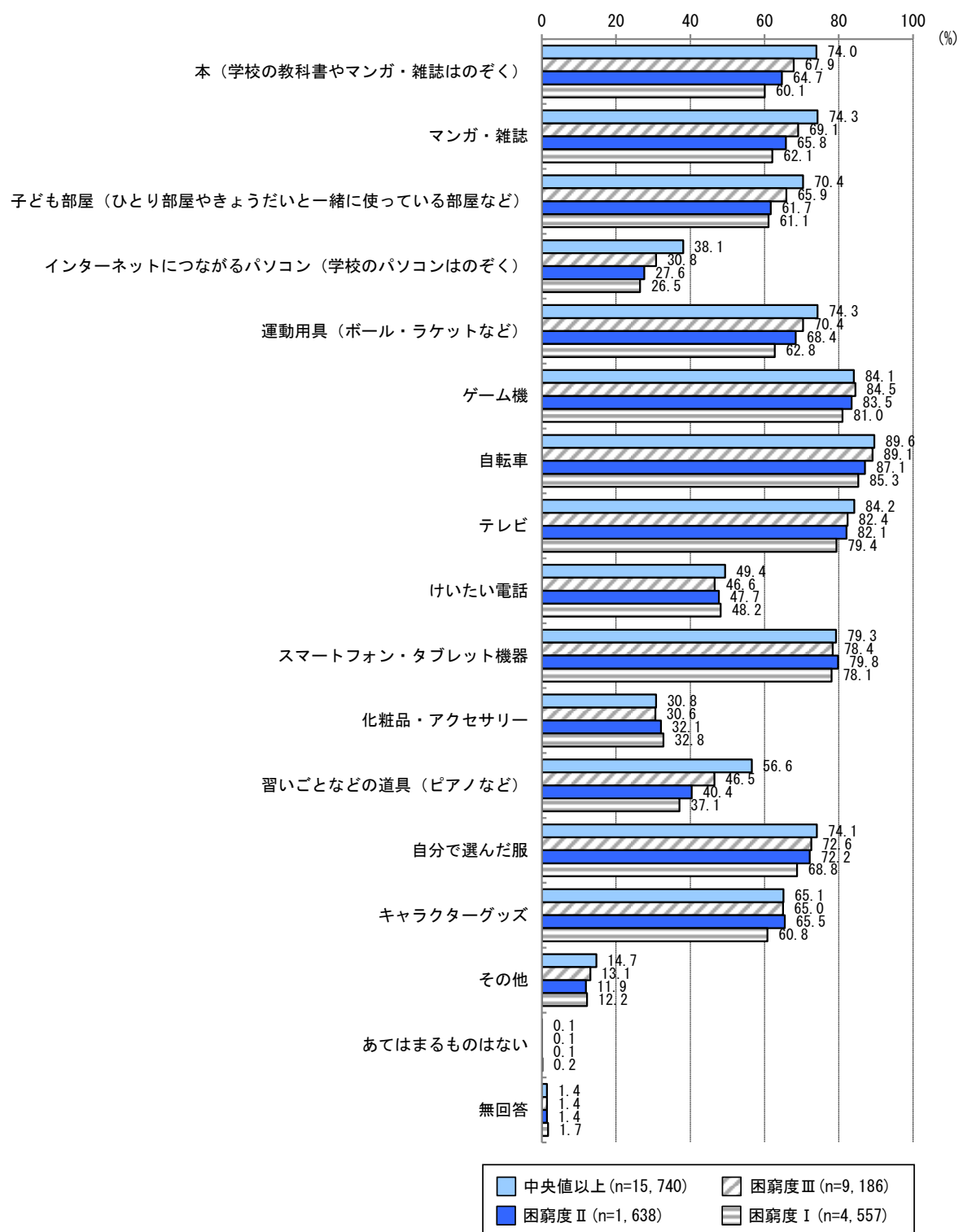
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんにお年玉をあげることができなかった」が8.1%（中央値以上群に対して40.5倍）、「お子さんにおこづかいを渡すことができなかった」が19.8%（同じく14.1倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で80.5%に対して、困窮度Ⅰ群において40.5%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<池田市>

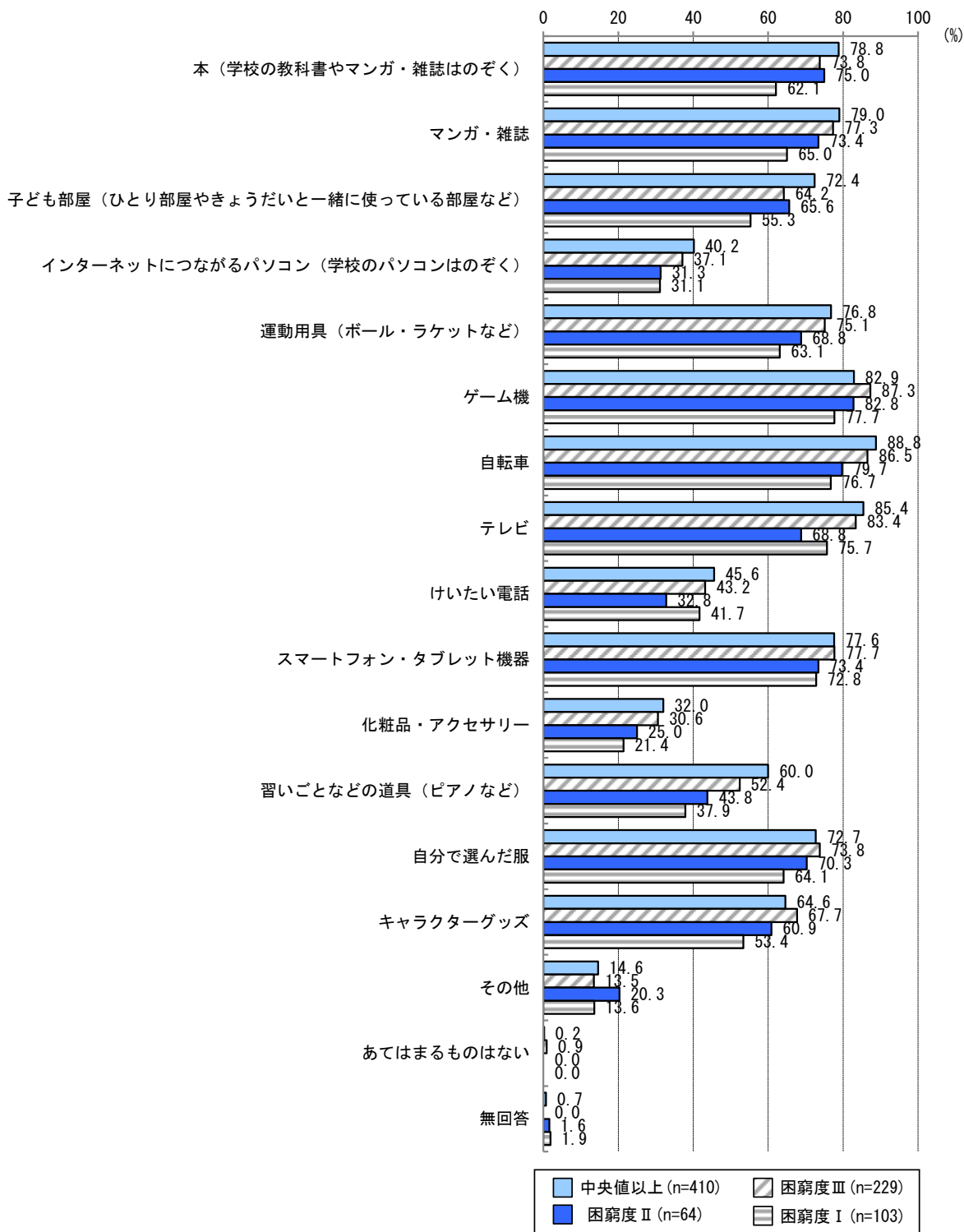
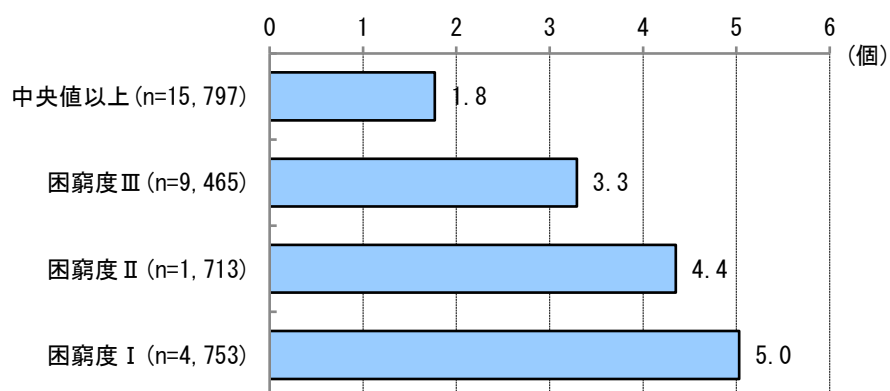


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が60.0%（困窮度Ⅰ群に対して1.6倍）、「化粧品・アクセサリ」が32.0%（同じく1.5倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全体>



<池田市>

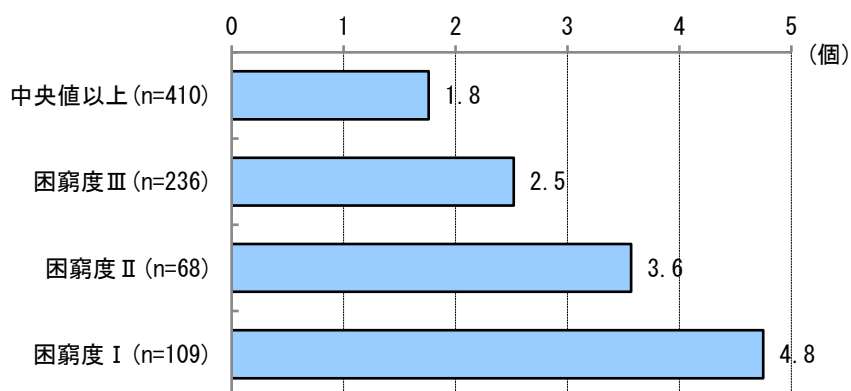


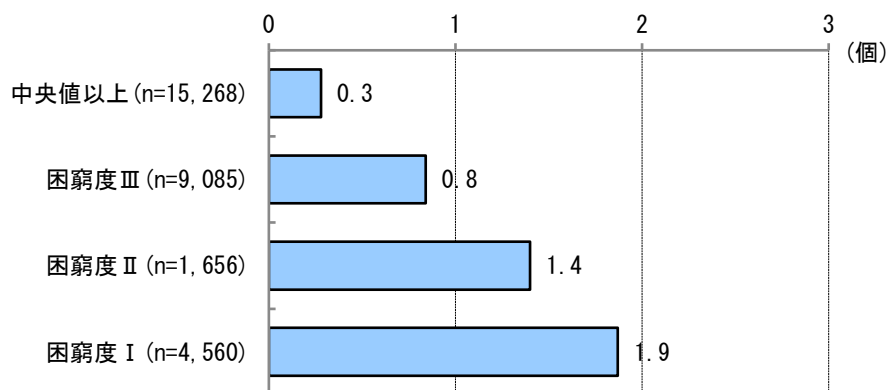
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

<大阪府内全体>



<池田市>

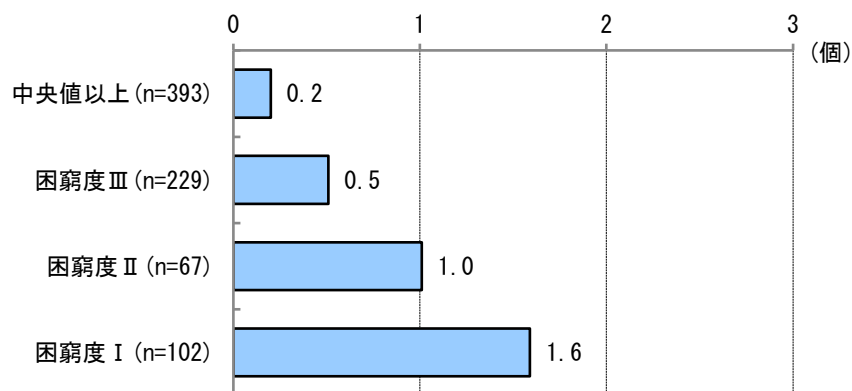


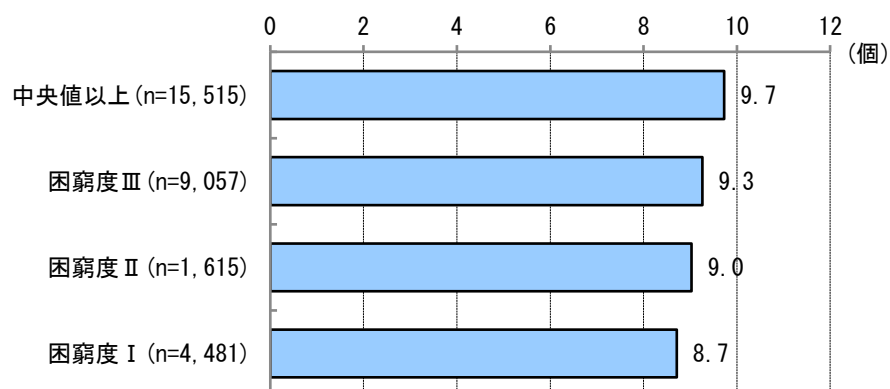
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっている。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

<大阪府内全体>



<池田市>

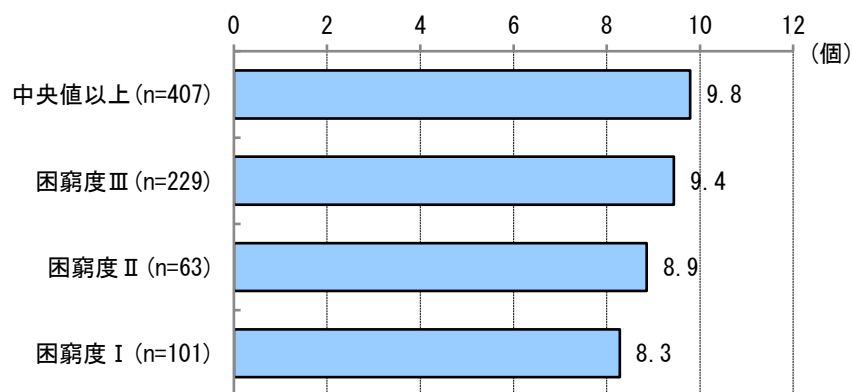


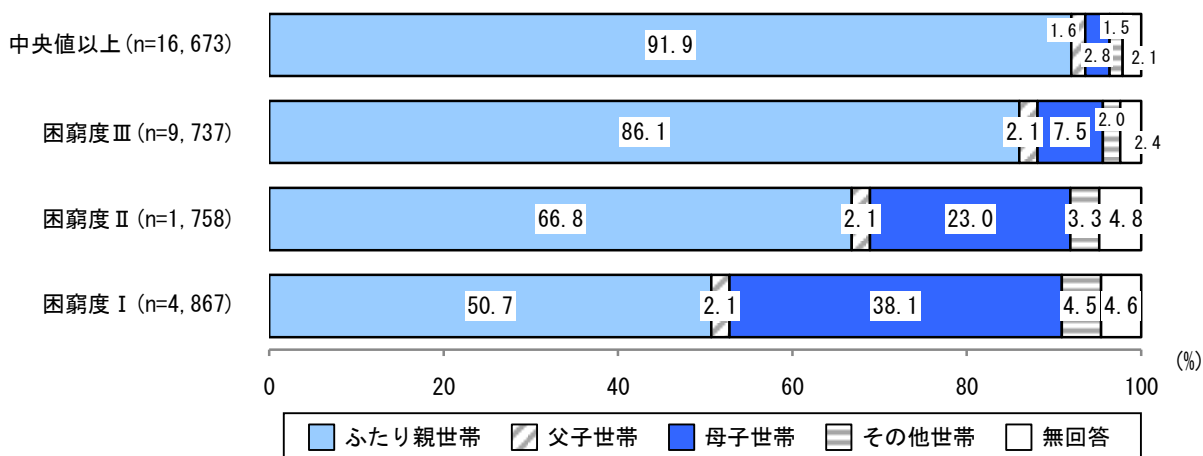
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度度が高くなるにつれ、子どもの持ちもの、使えるものの該当数が少なくなっている。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<池田市>

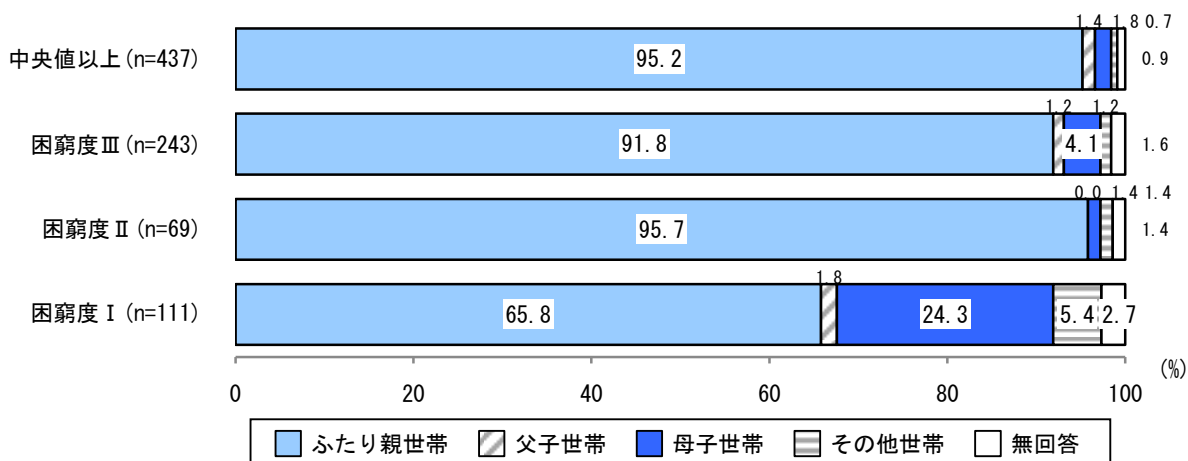
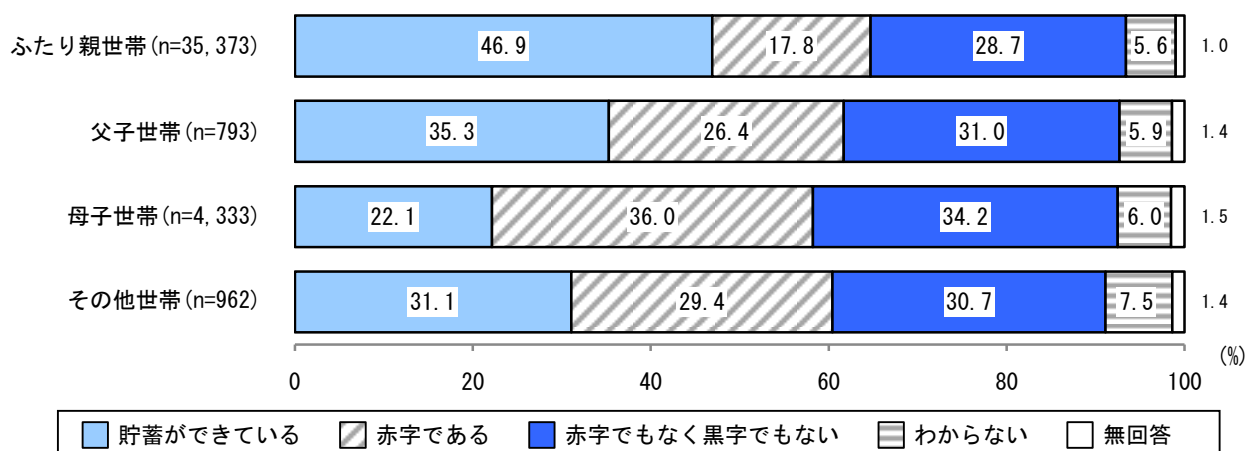


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が95.2%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は65.8%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が1.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は24.3%だった。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

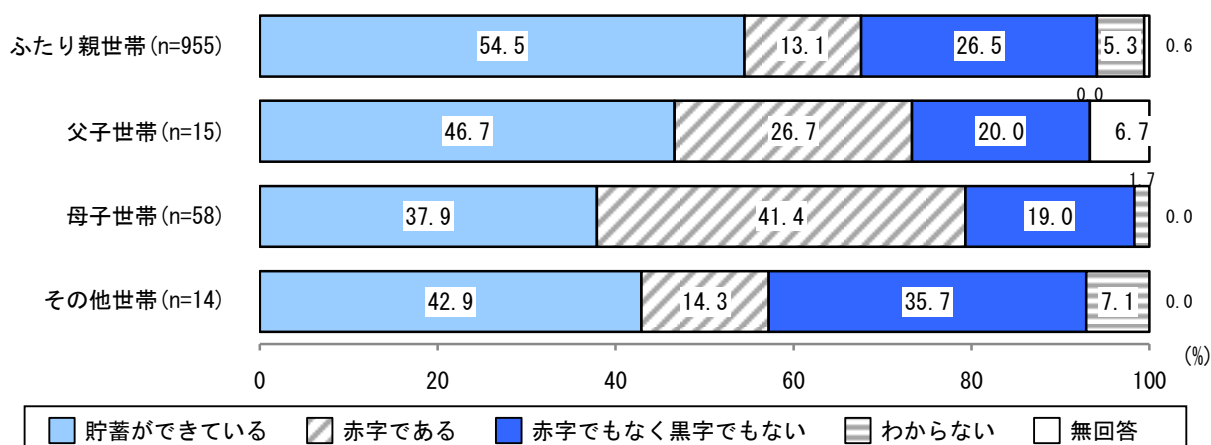
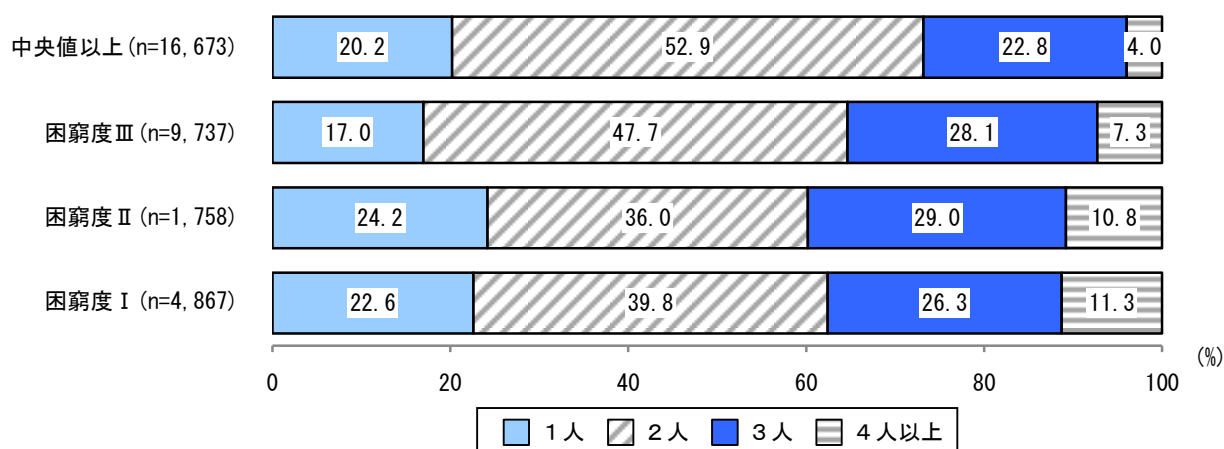


図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができていない」と回答した割合は、ふたり親世帯が 54.5%なのに対して、母子世帯は 37.9%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が 13.1%なのに対して、母子世帯は 41.4%だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問2より）

<大阪府内全体>



<池田市>

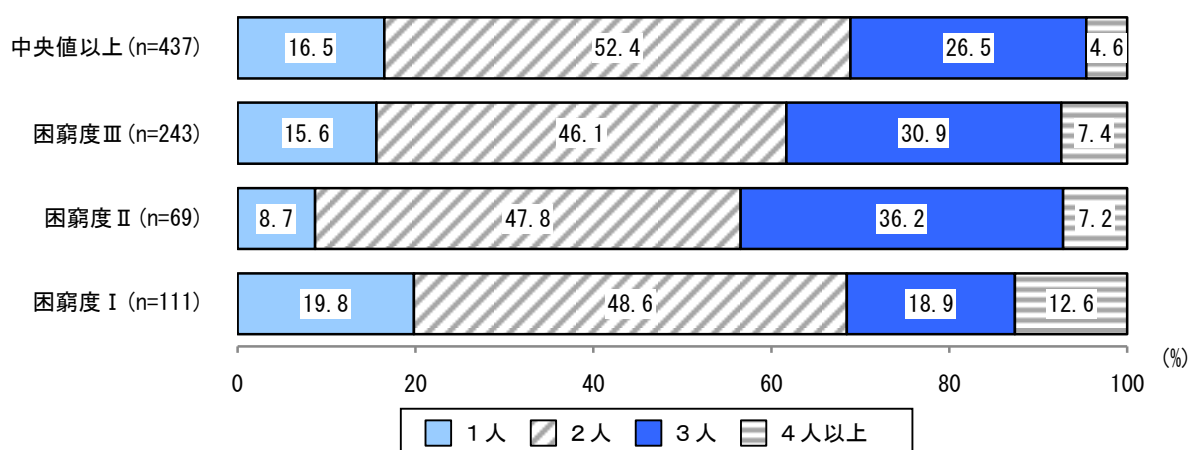
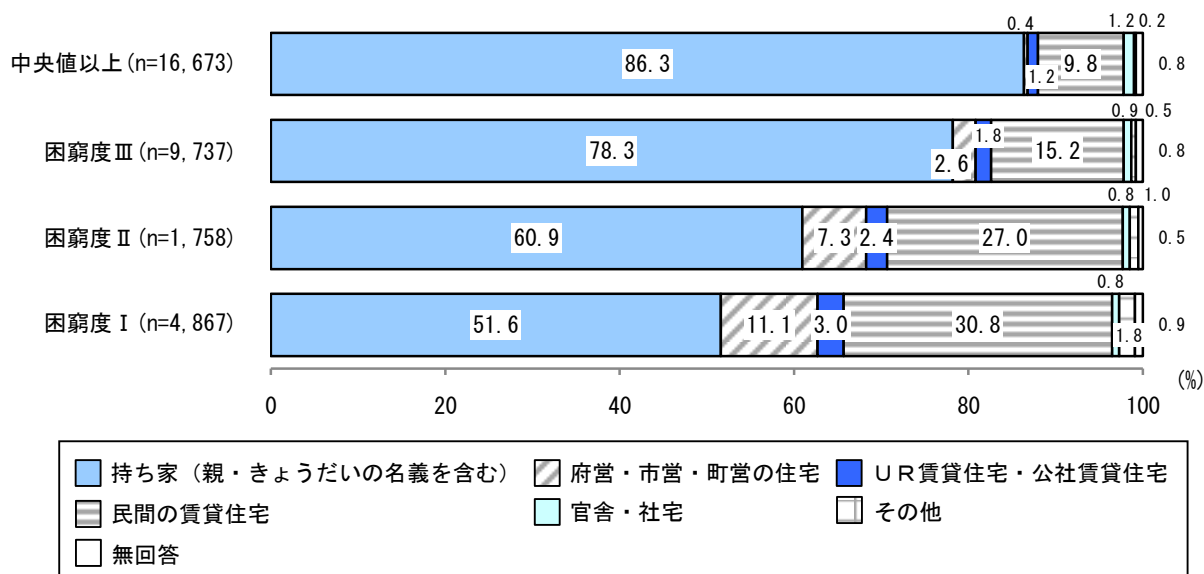


図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が31.1%（3人26.5%、4人以上4.6%）であるのに対して、困窮度Ⅱ群では、3人以上が43.4%（3人36.2%、4人以上7.2%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問5）

<大阪府内全体>



<池田市>

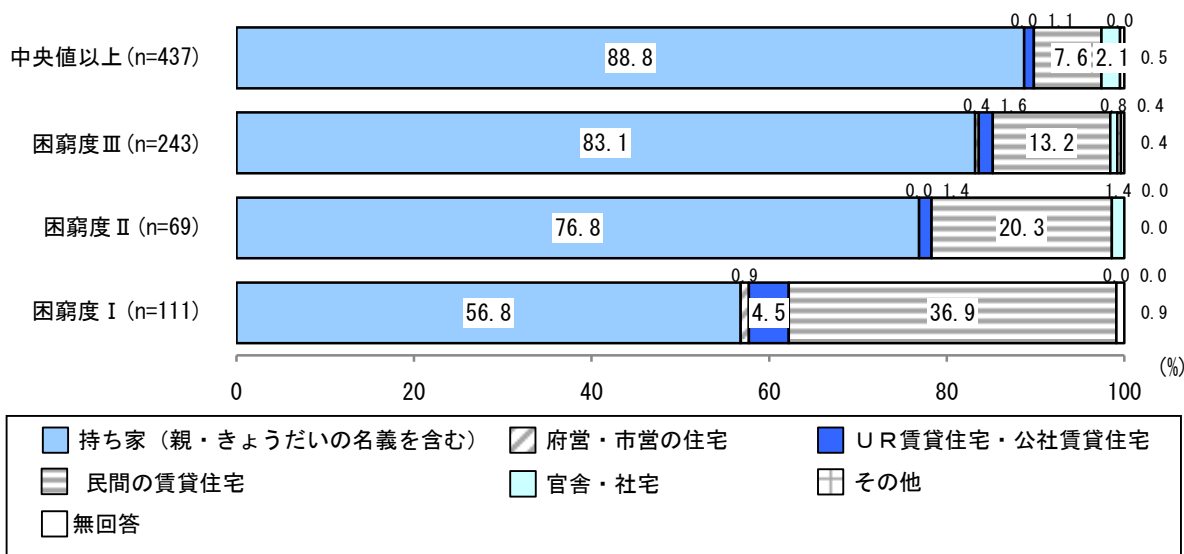
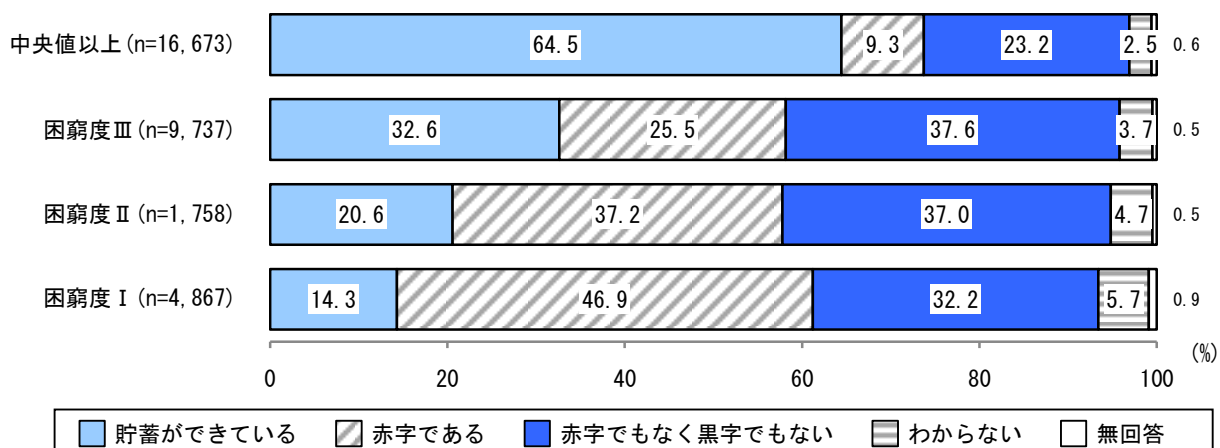


図 10. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は88.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、56.8%にとどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問 6(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

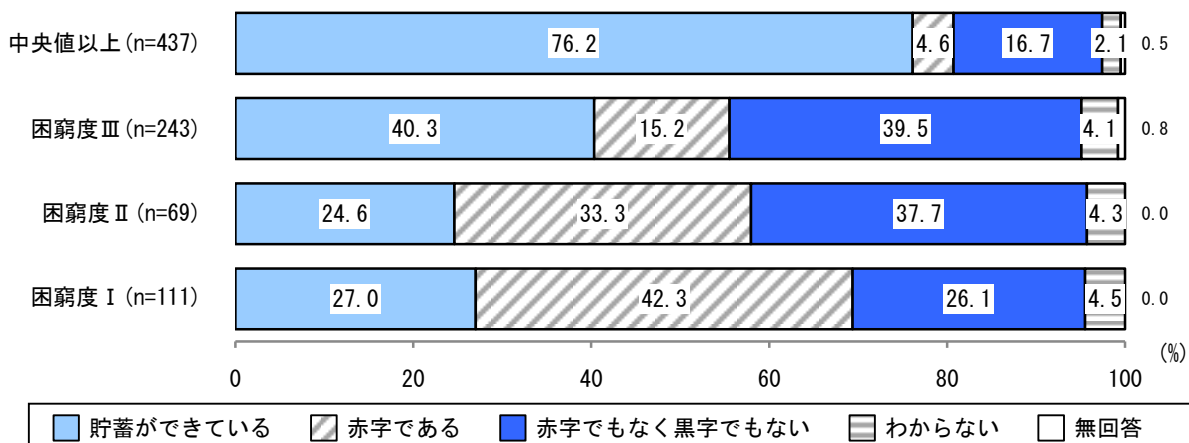
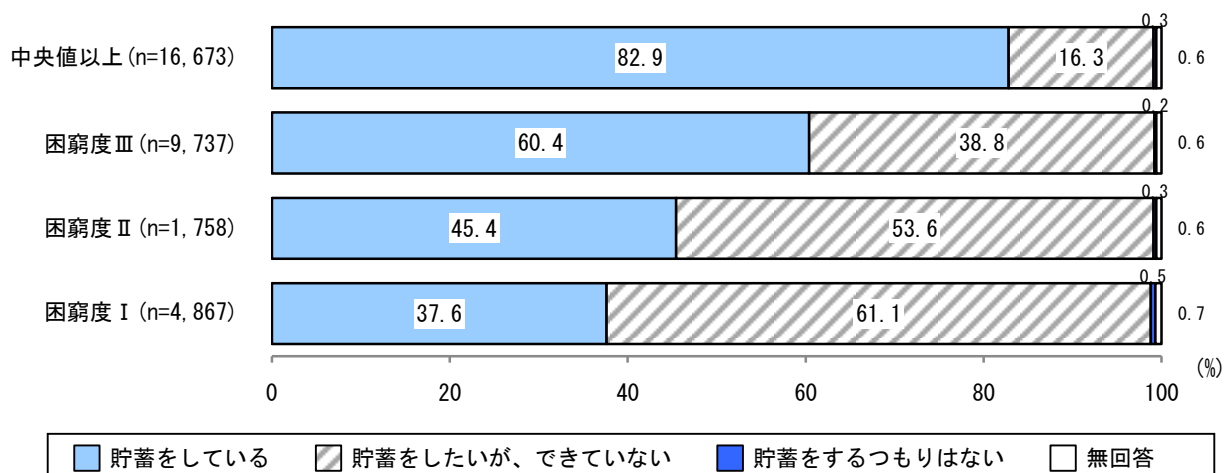


図 11. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、4.6%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、42.3%となり、4割を超えている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問 6(2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

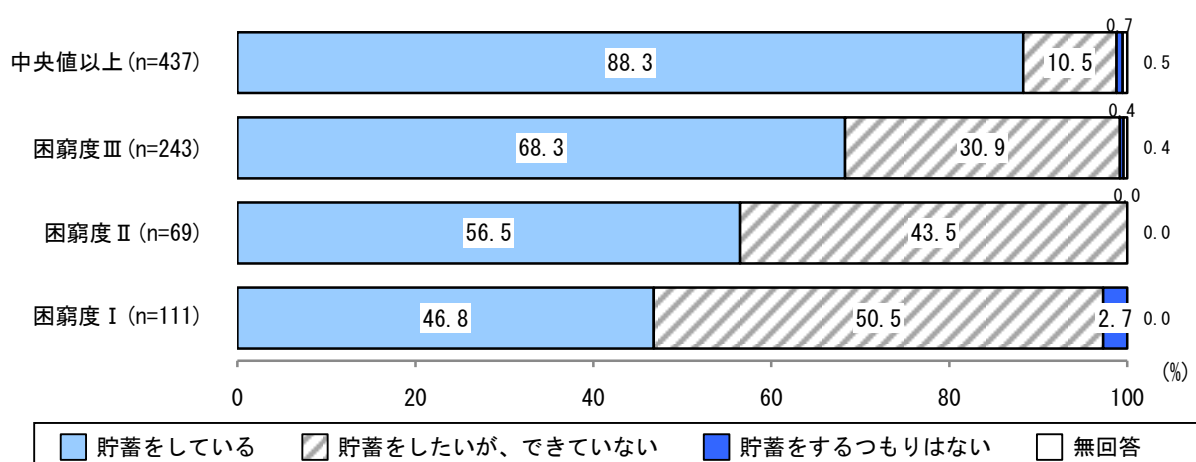
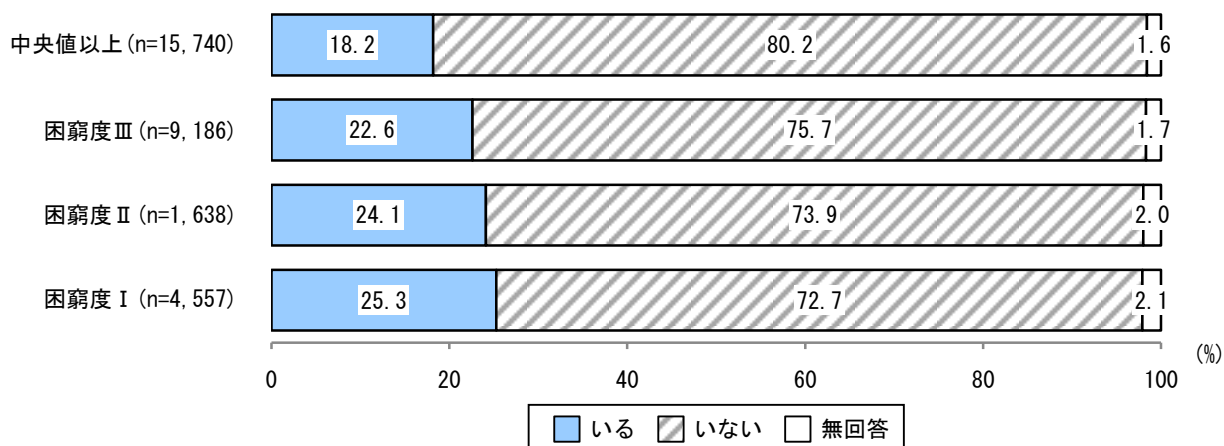


図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が88.3%を占めたが、困窮度Ⅰ群では46.8%にとどまり、約5割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

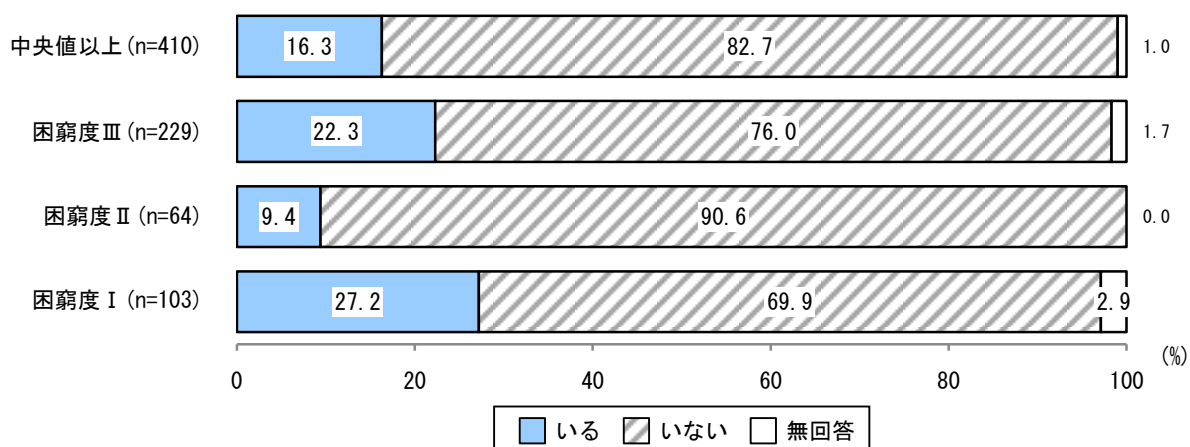


図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅰ群で27.2%と最も高くなっている。

<経済状況に関する考察>

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群が46.5%に対して、困窮度Ⅰ群では12.6%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「電気・ガス・水道などが止められた」(3.6%対該当なし)、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」(4.5%対0.2%)、「電話(固定・携帯)など通信料の支払いが滞ったことがある」(3.6%対0.5%)と回答した割合が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」(15.3%対0.2%)と回答した割合が高くなっており、子どもの親(保護者)の将来(老後)の生活困窮を示唆するデータであると言える。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」(32.4%対6.2%)と回答した割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」(28.8%対2.3%)、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」(22.5%対2.5%)と回答した割合が高くなっており、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった」(33.3%対7.1%)といった経験に大きな差がある。その一方、「どれにもあてはまらない」が、中央値以上群では80.5%であり、困窮度Ⅰ群でも40.5%ある。所得階群によって体験の機会に差が見られるが、どの階群においても子どもに対して様々な体験や勉強の機会が提供できている世帯も多数いるという点がデータから読み取れる。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「貯蓄をしている」と回答した割合が高くなっている(88.3%対46.8%)。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高くなっており(50.5%対10.5%)、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク(病気や進路選択など)に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%(令和3年度実施)、中学2年生で5.7%(令和2年度実施)と報告されている(『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告(令和3年5月17日)』)。全国調査の結果より、回答した小学6年生の15人に1人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

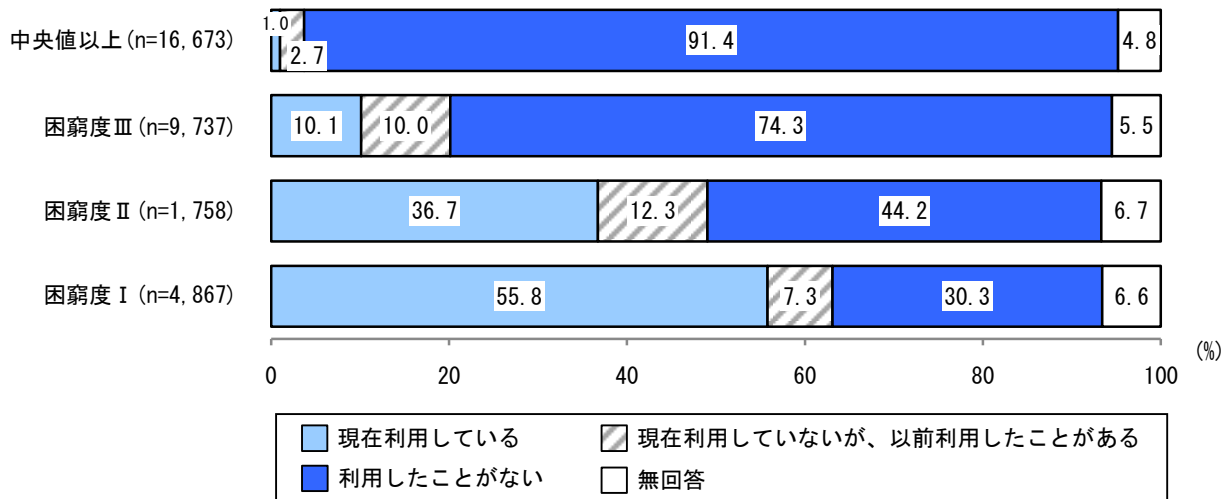
本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては18.0%であるが、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合

が高くなっている（27.2対16.3%）。これは、困窮度Ⅰ群では、回答した4人に1人程度が、中央値以上群では、6人に1人程度が世話をしている人が「いる」と回答していることになる。これらの結果から、池田市でも支援が必要なヤングケアラーが多く存在する可能性が示唆され、特に経済的困難な家庭ではその割合が高いことが読み取れる。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<池田市>

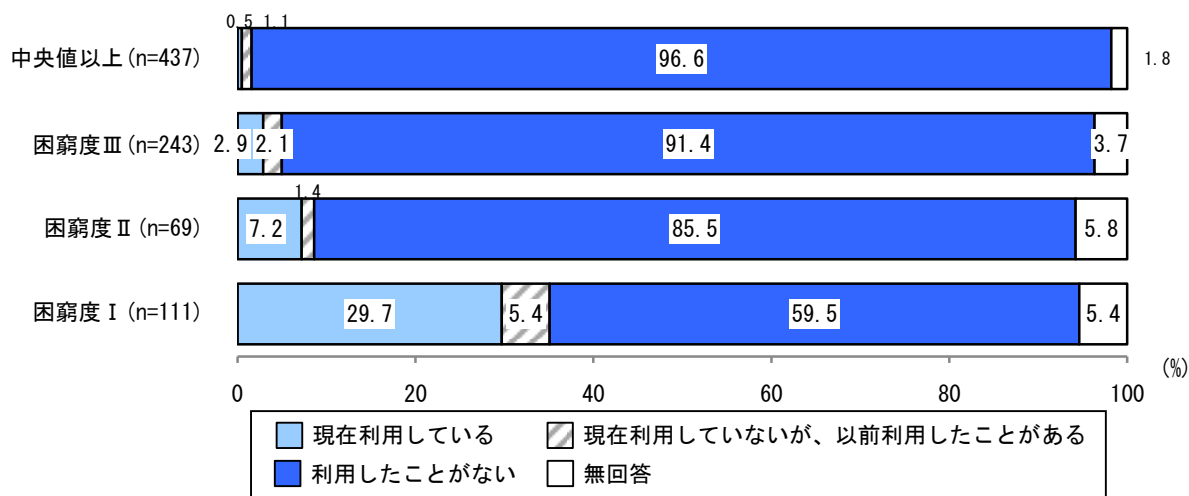
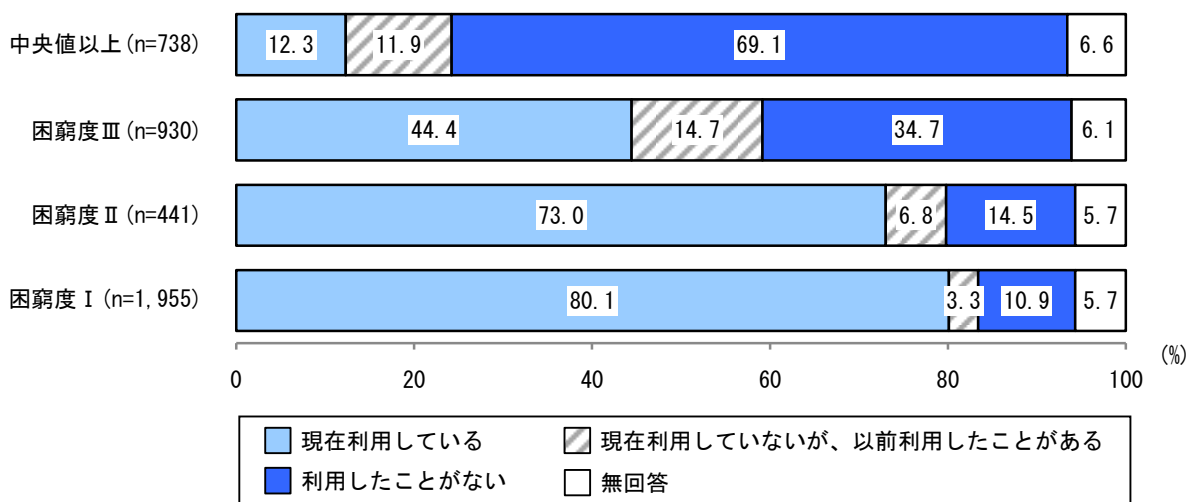


図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

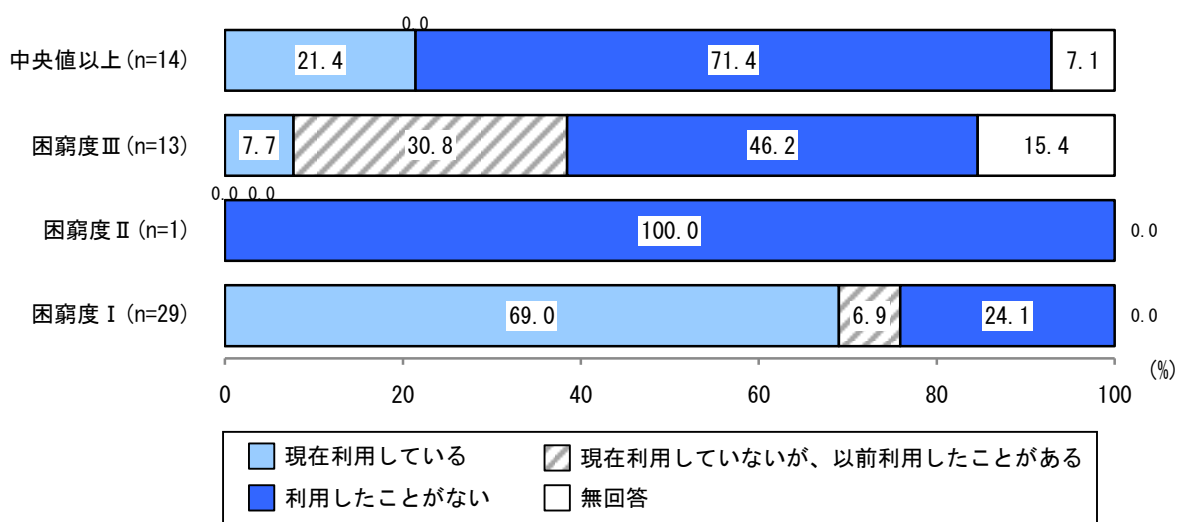
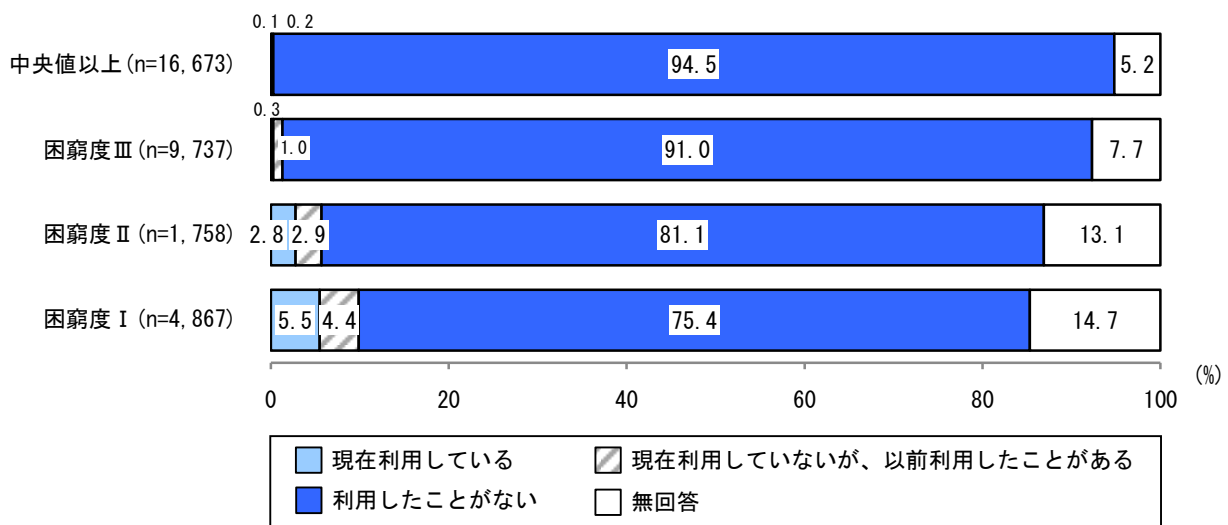


図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、中央値以上群では、「現在利用している」と回答した世帯と割合は、21.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、69.0%となり、高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<池田市>

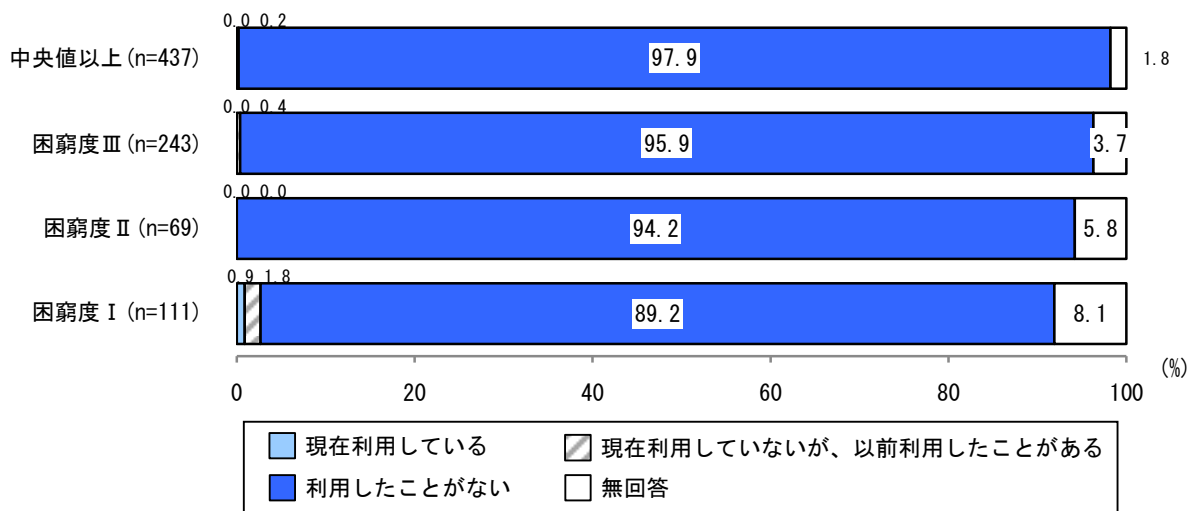
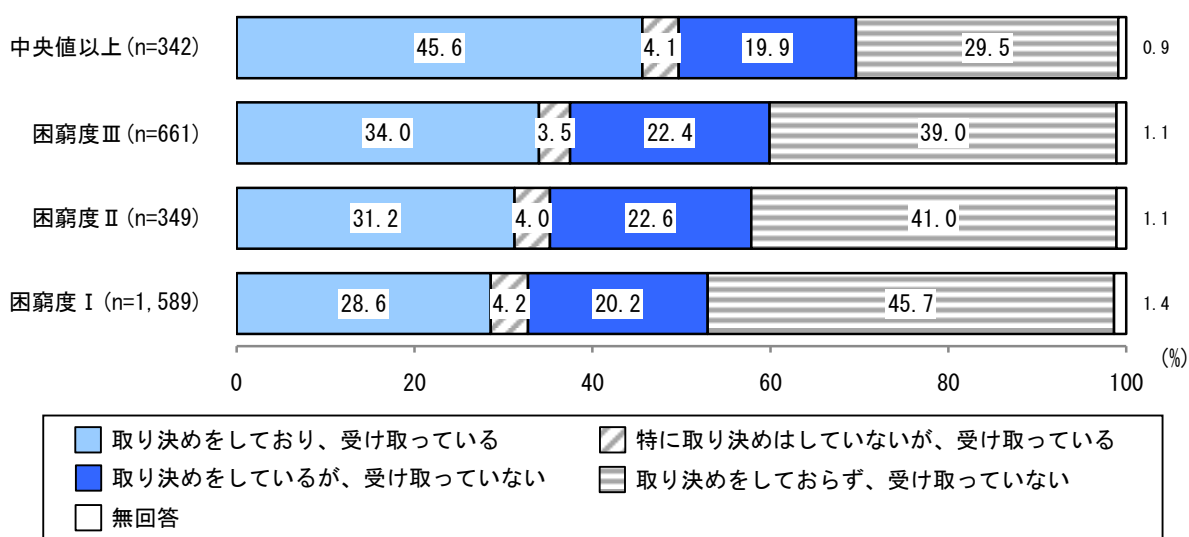


図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群でのみ「現在利用している」の回答がみられた。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問4）・ひとり親世帯のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

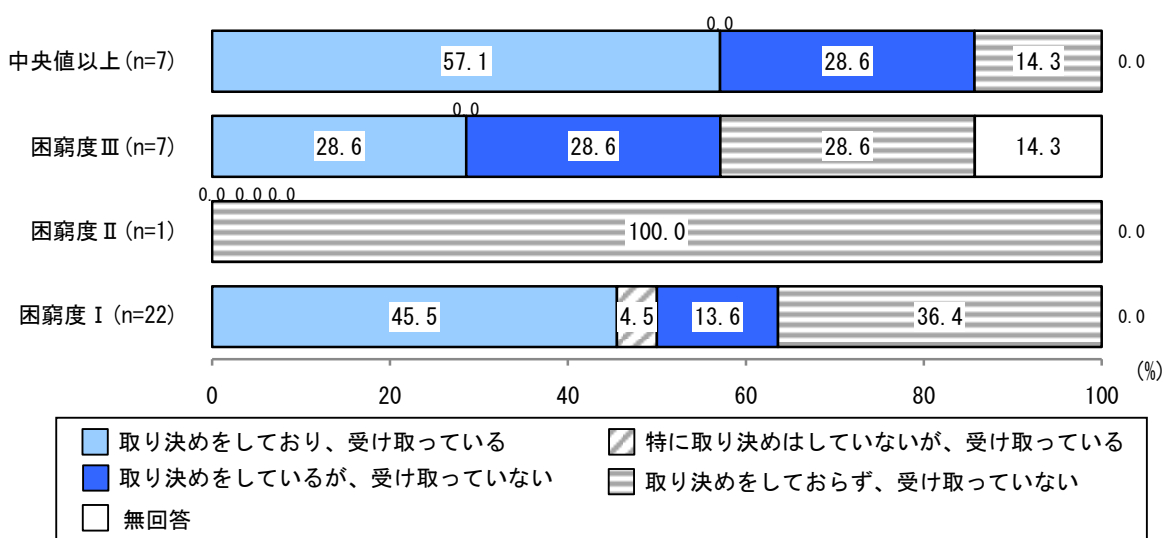
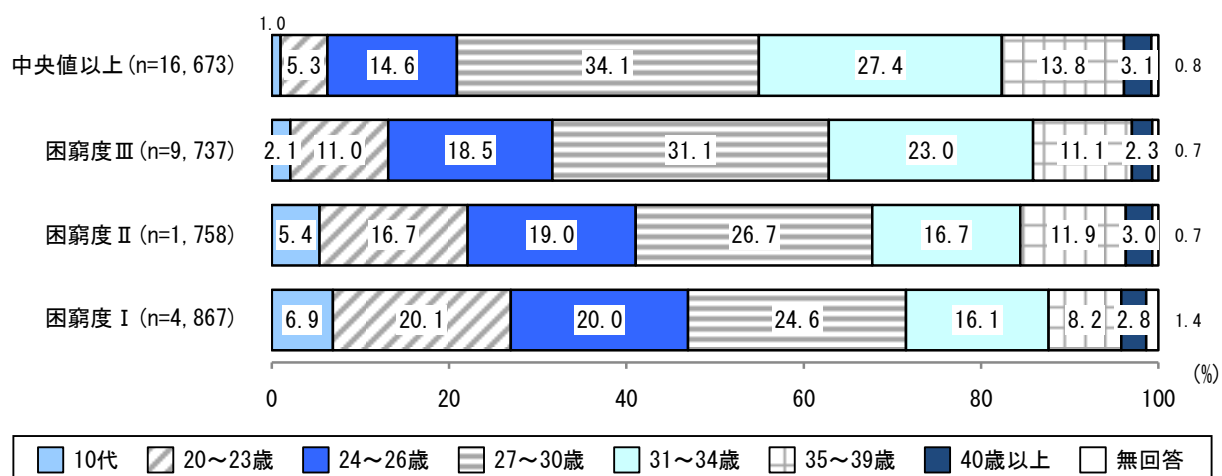


図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は45.5%であり、「取り決めをしているが、受け取っていない」（13.6%）と「取り決めをしておらず、受け取っていない」（36.4%）をあわせた養育費を受け取っていない人の割合が50.0%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

<大阪府内全体>



<池田市>

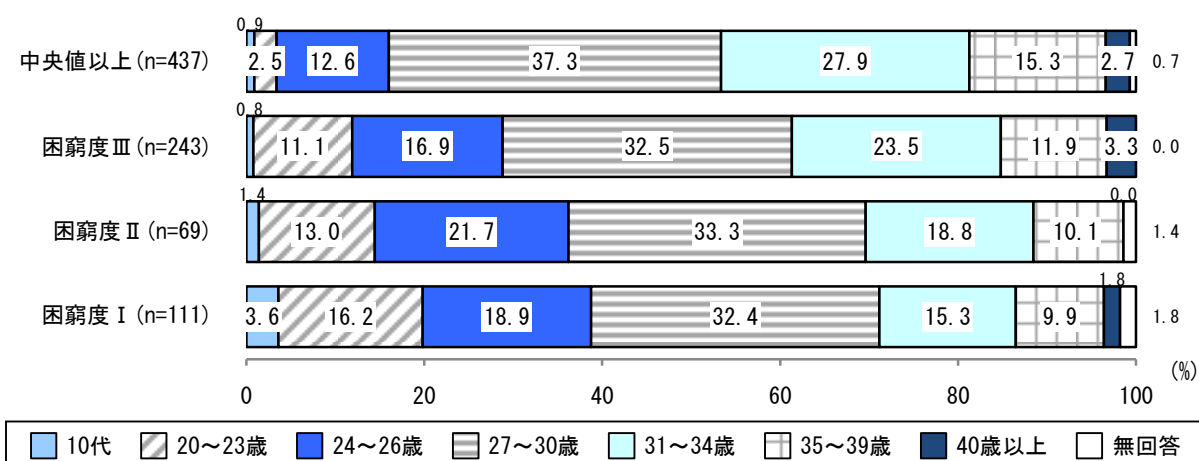
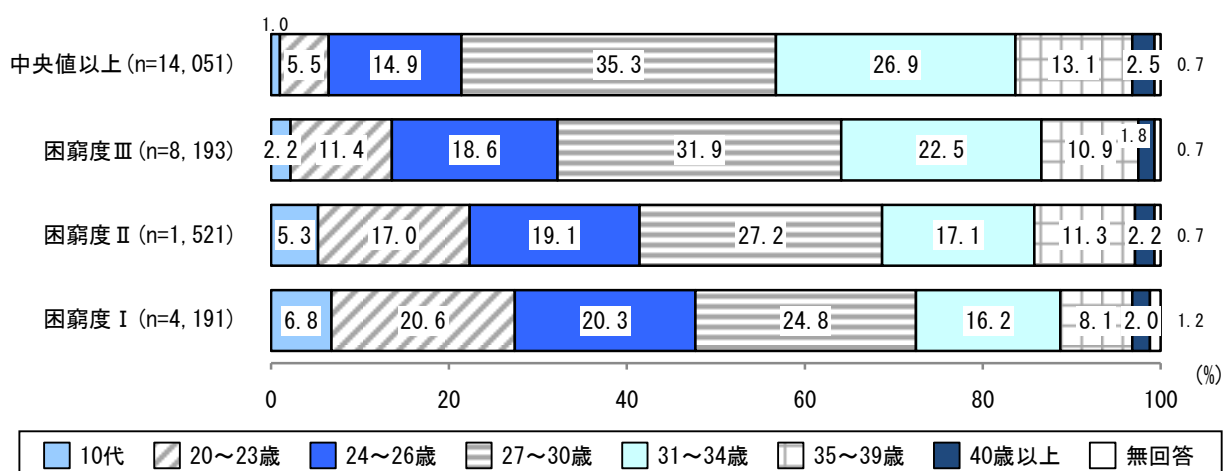


図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、「20～23歳」と回答した割合が高くなり、逆に低くなるにつれ、「31～34歳」は低くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

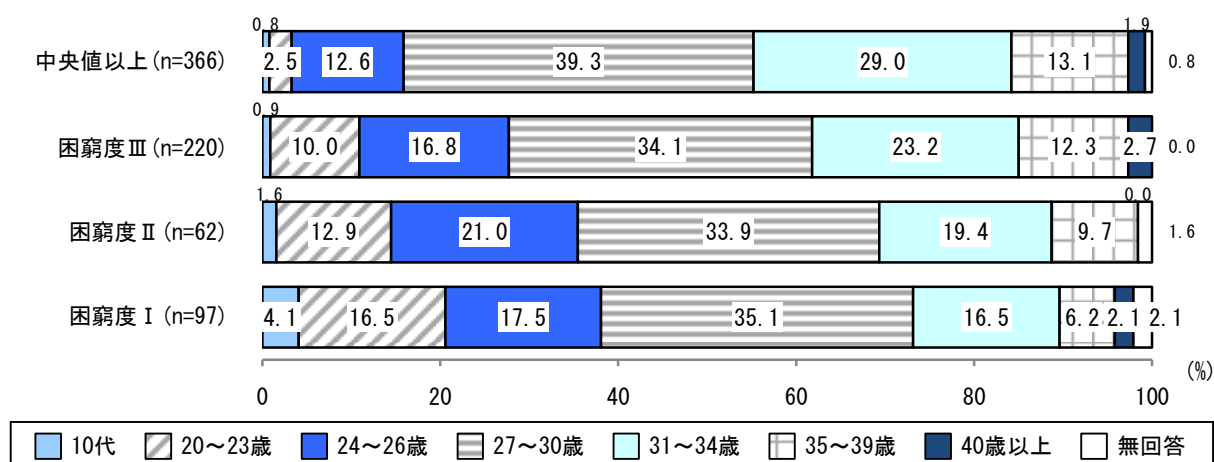
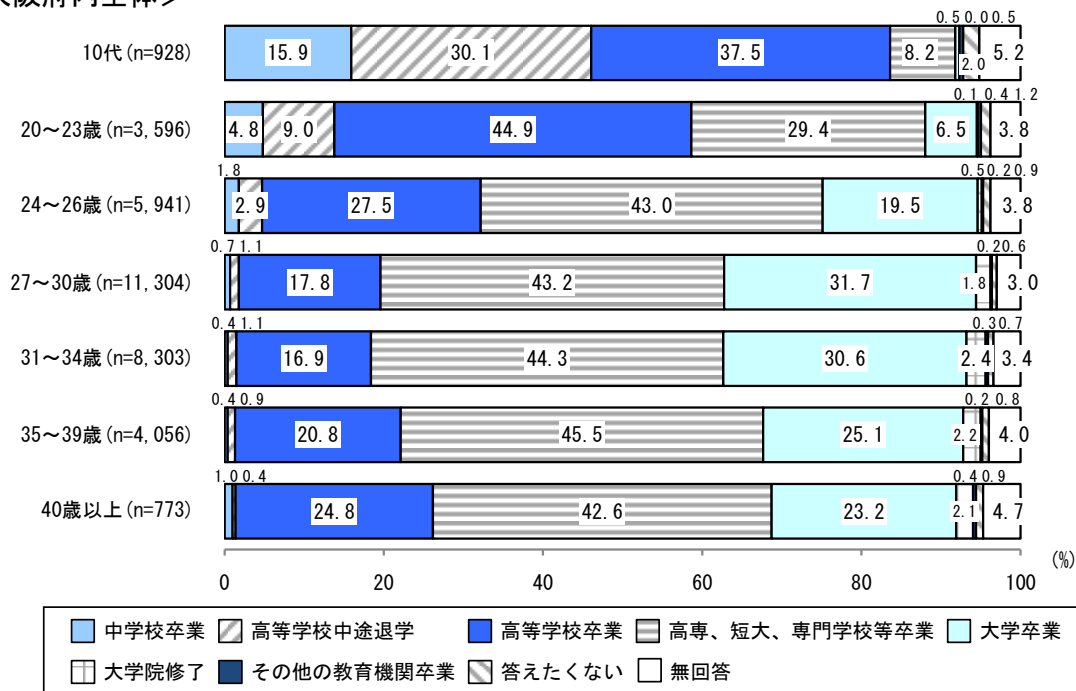


図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、23歳までに初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

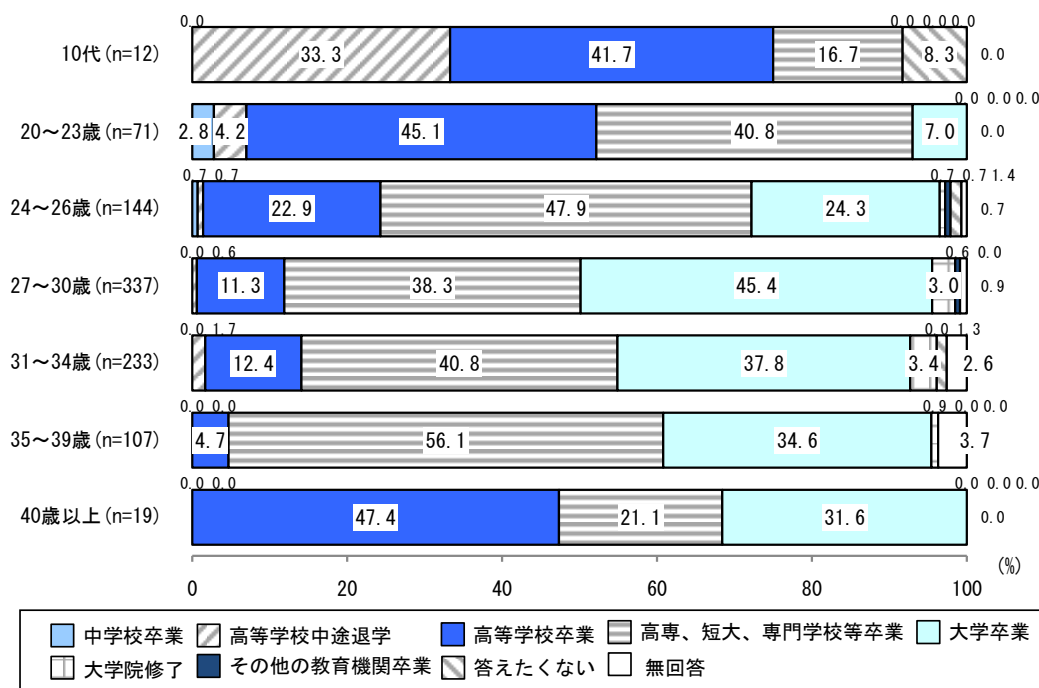
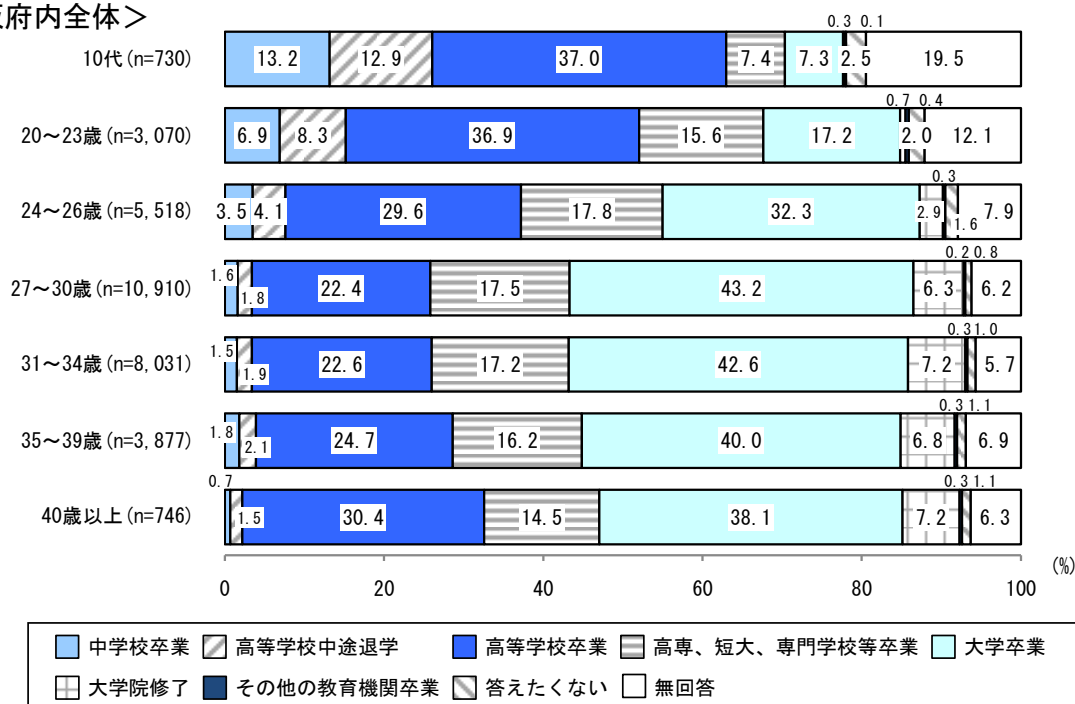


図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「高等学校中途退学」（33.3%）と回答した割合が高くなっている。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問 8）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

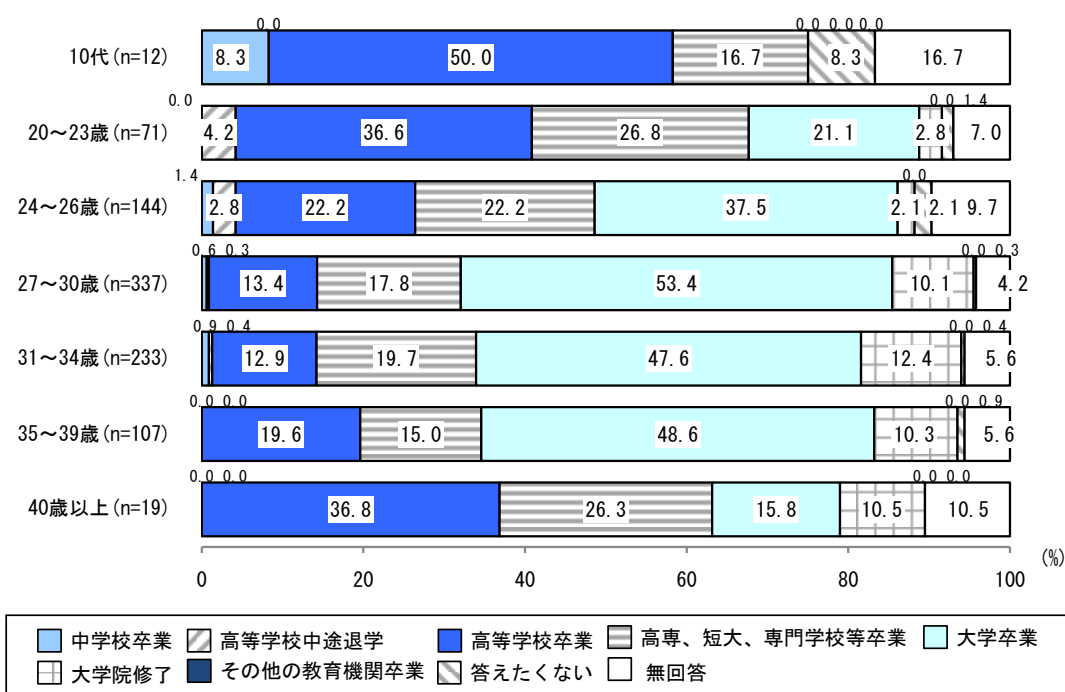
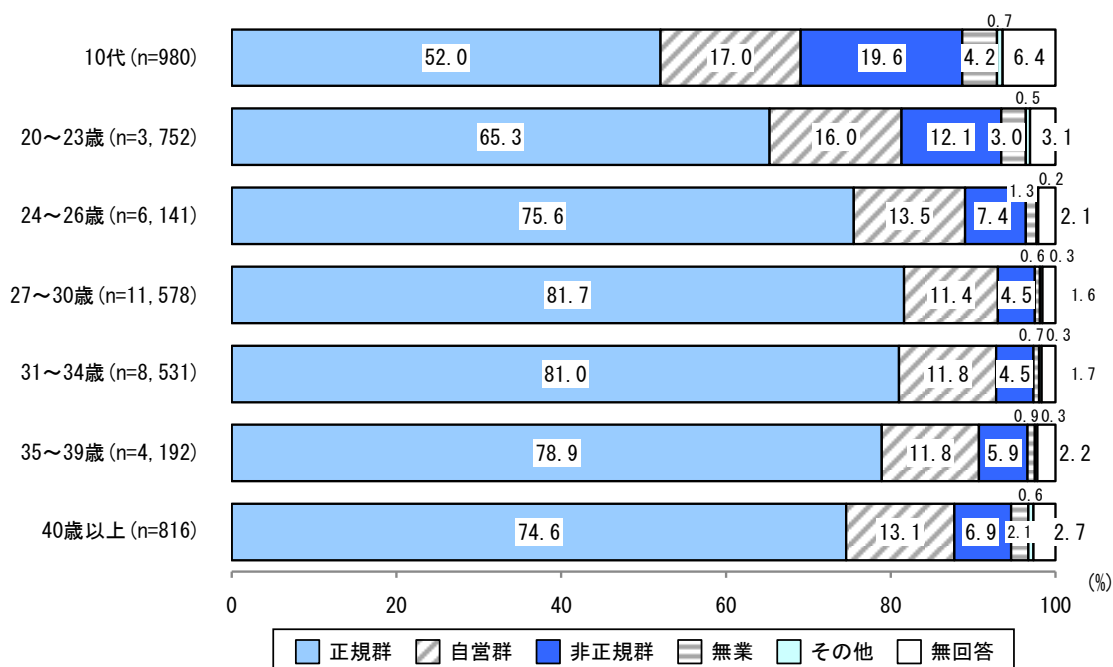


図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、「中学校卒業」と回答した割合が20歳以上では2.0%未満であるのに対し、10代は8.3%と高くなっている。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問 9）
※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

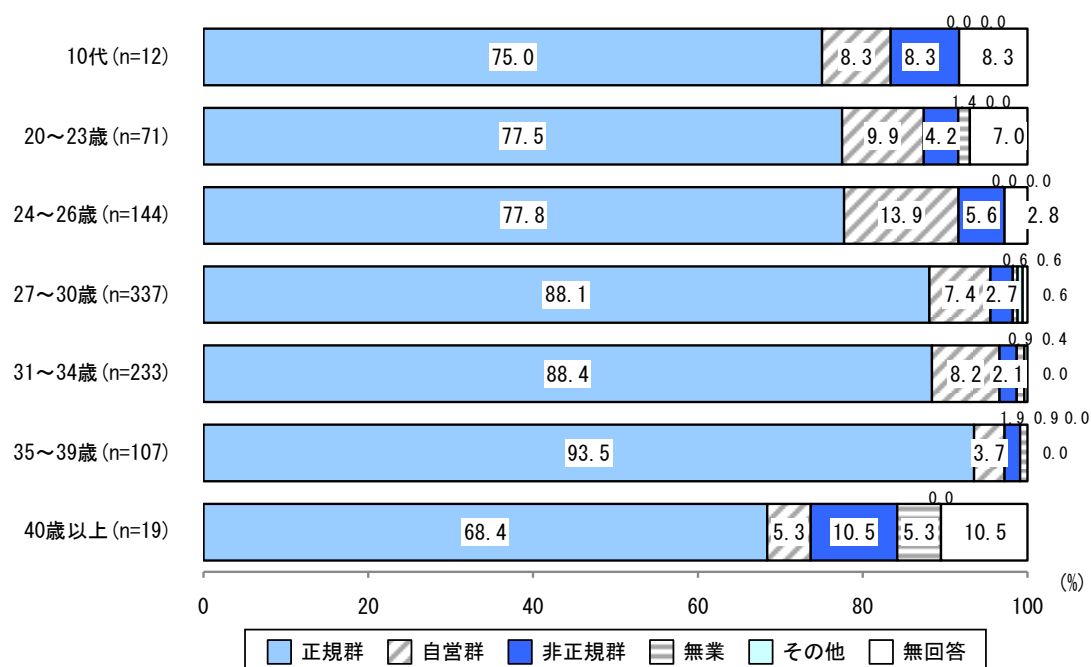
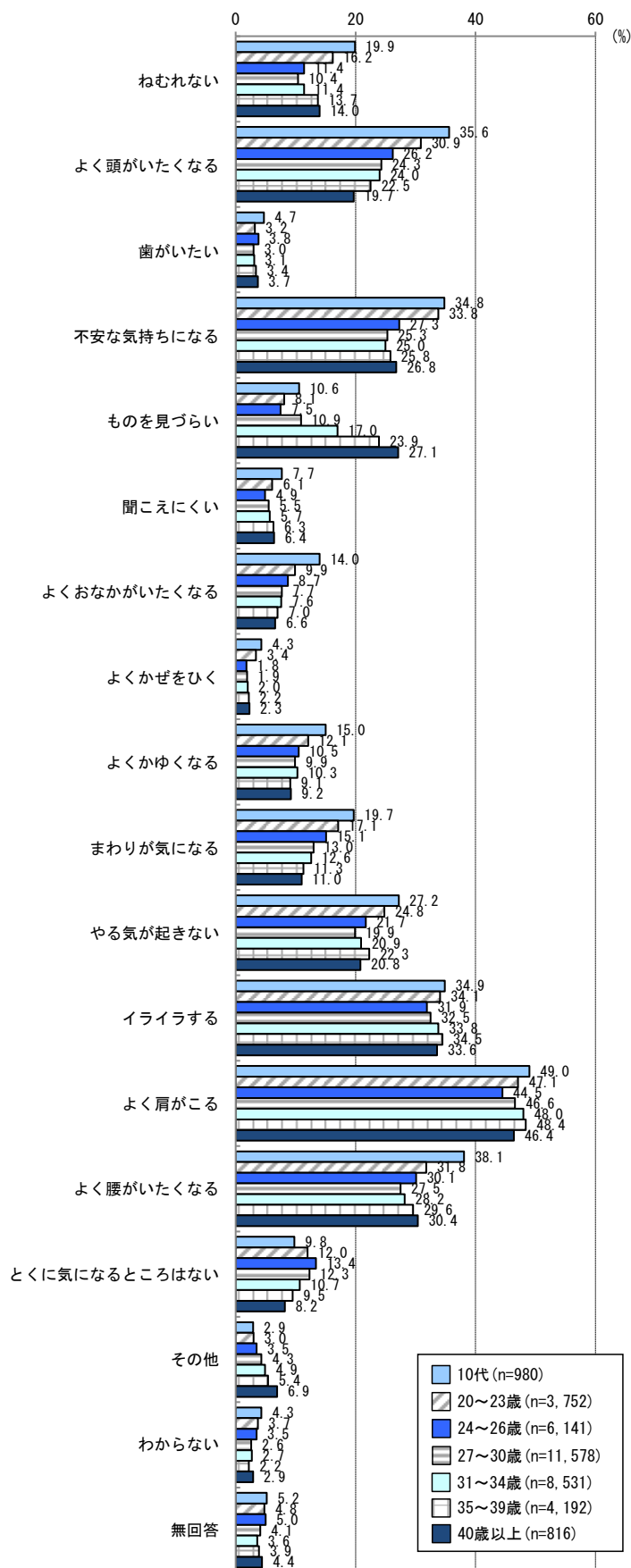


図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

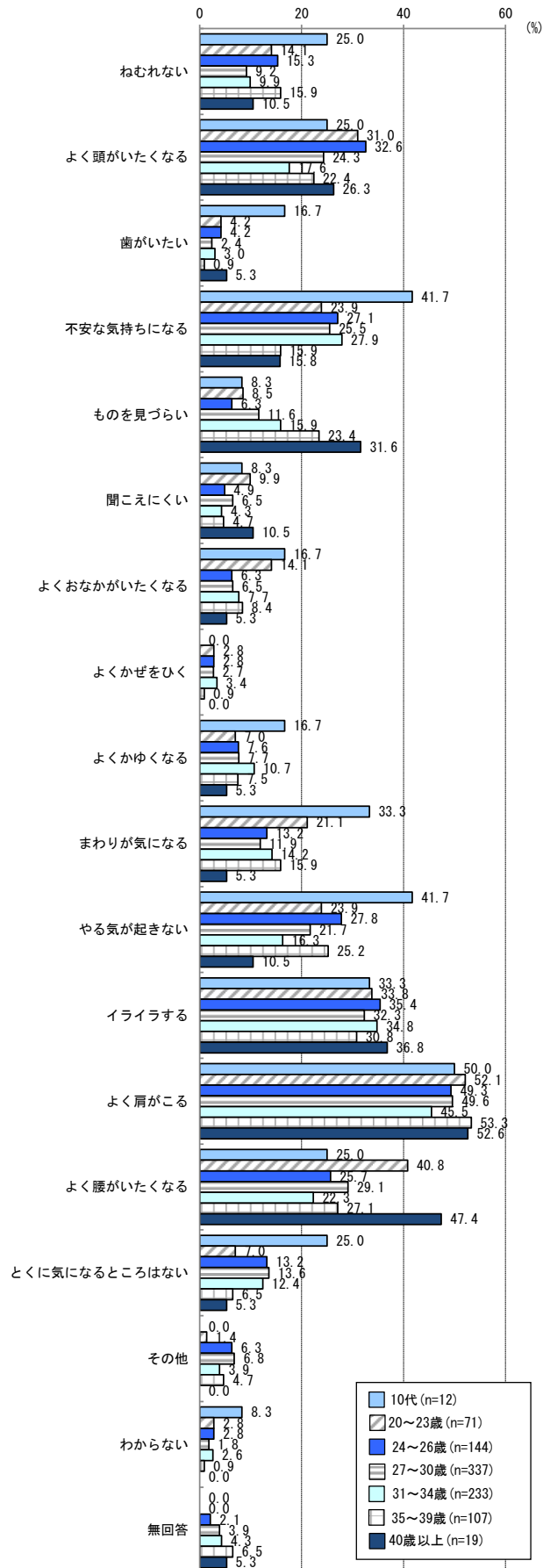
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、30歳代までは年齢が高くなるにつれ「正規群」と回答した割合が高くなっているが、40歳以上で低くなっている。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 17×保護者票問 22) ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

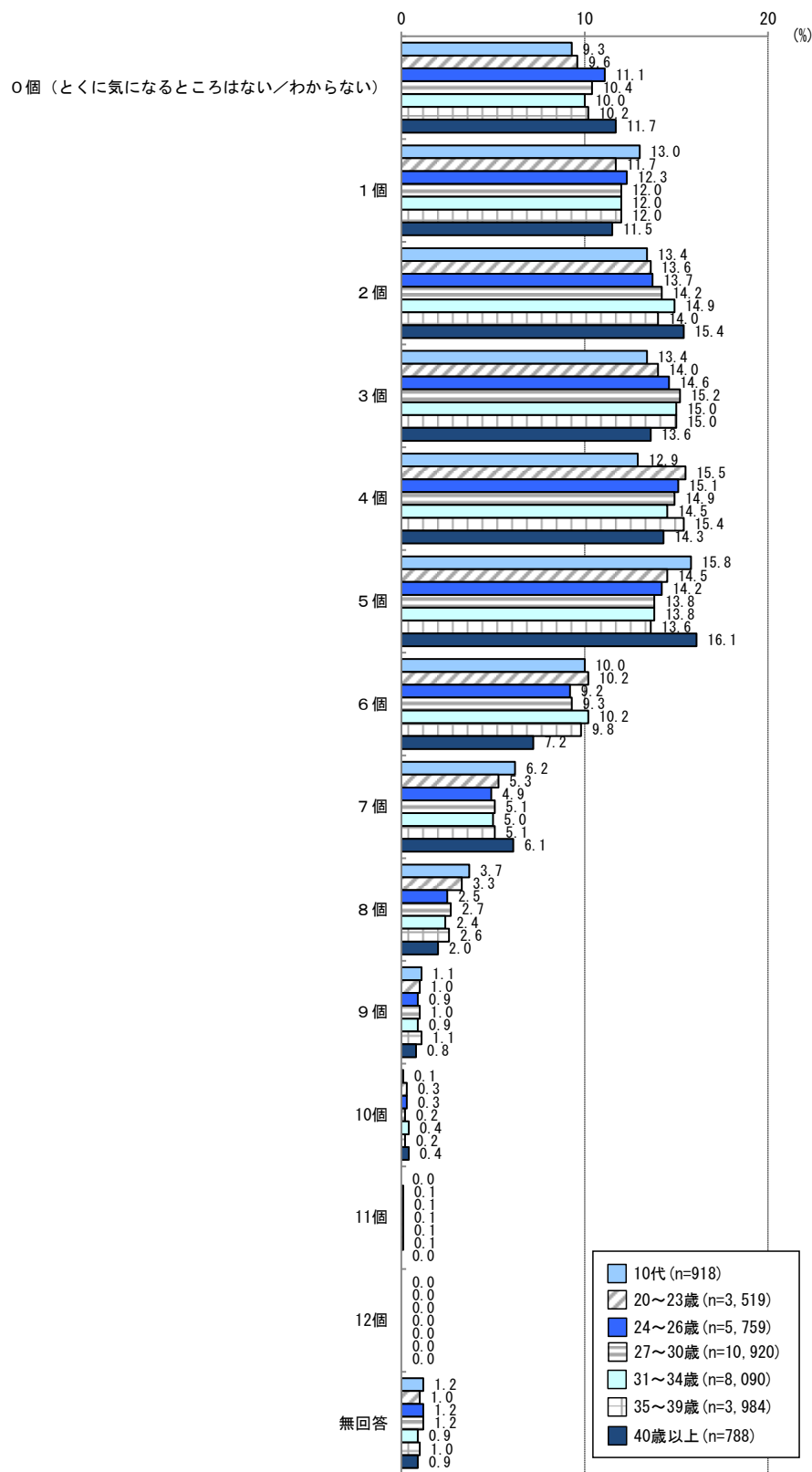


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、10代は複数の項目において回答した割合が他の年齢よりも高く、「不安な気持ちになる」、「やる気が起きない」は特に高くなっている。

図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17
× 子ども票問 19・20） ※母親の回答者のみ

<大阪府内全体>



<池田市>

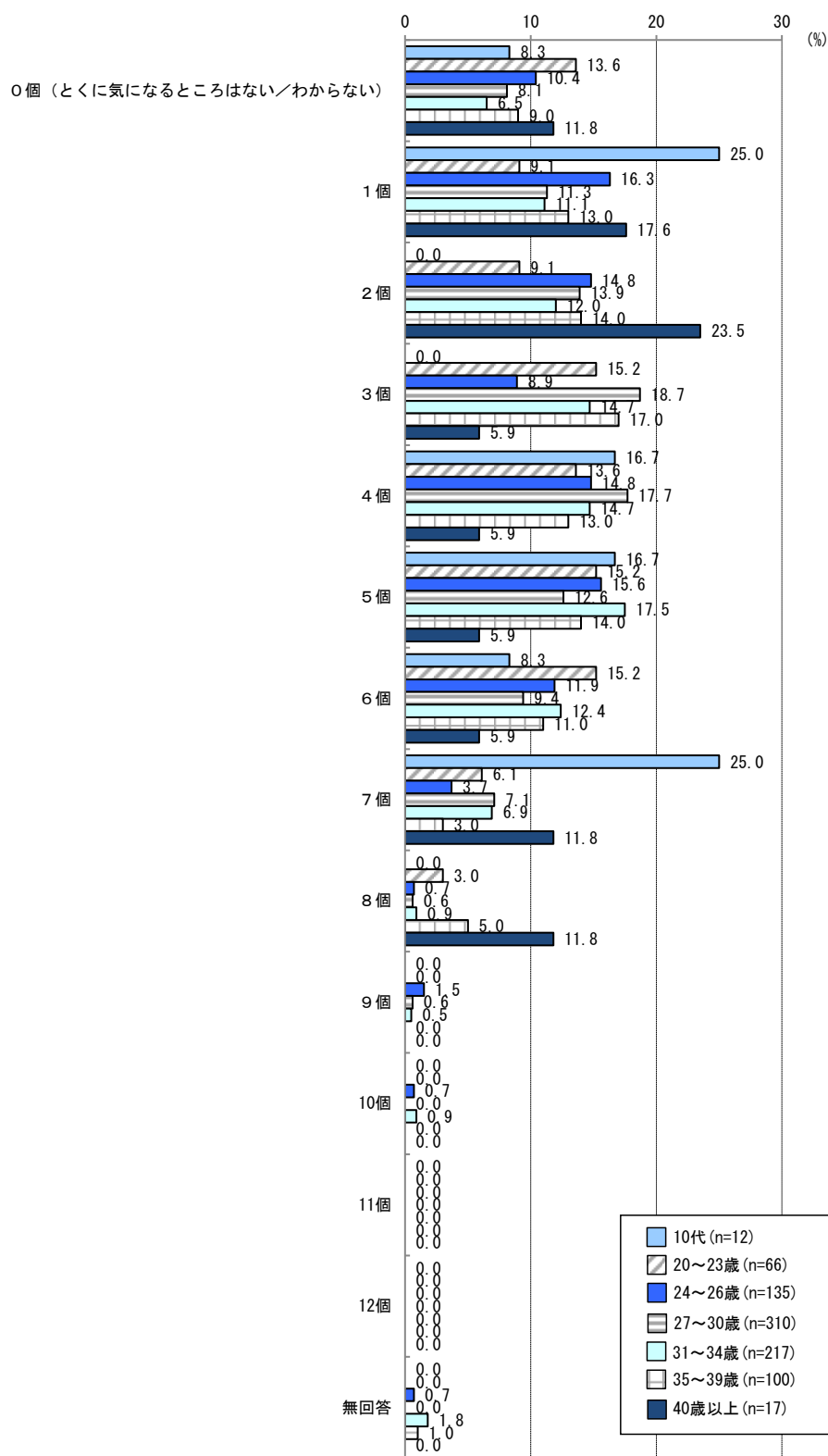
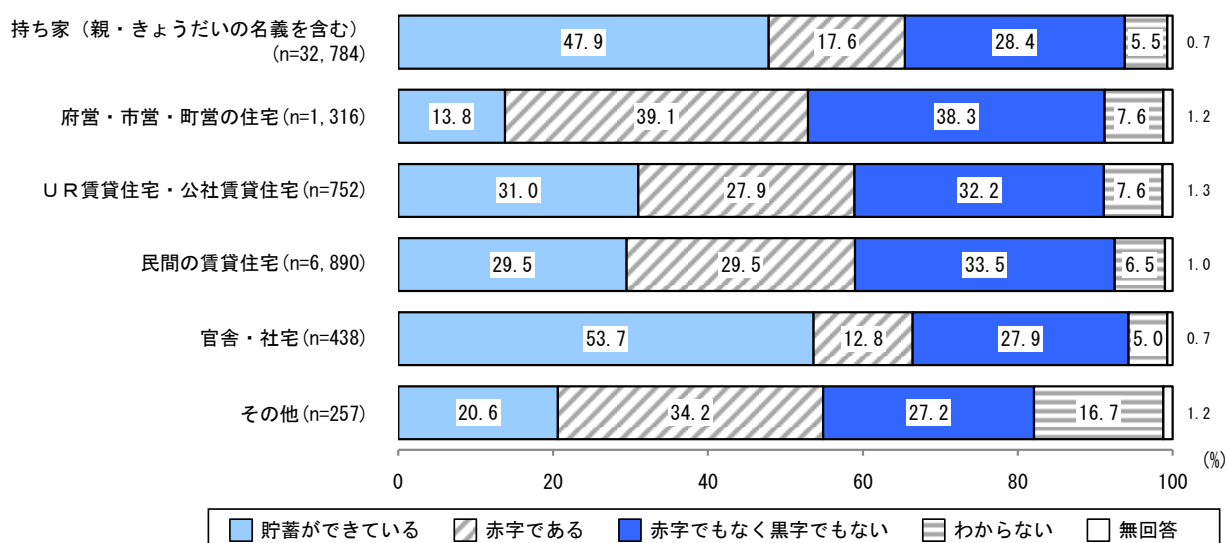


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代は、他の年代と比較して「1個」（25.0%）と「7個」（25.0%）と回答した割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問5×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

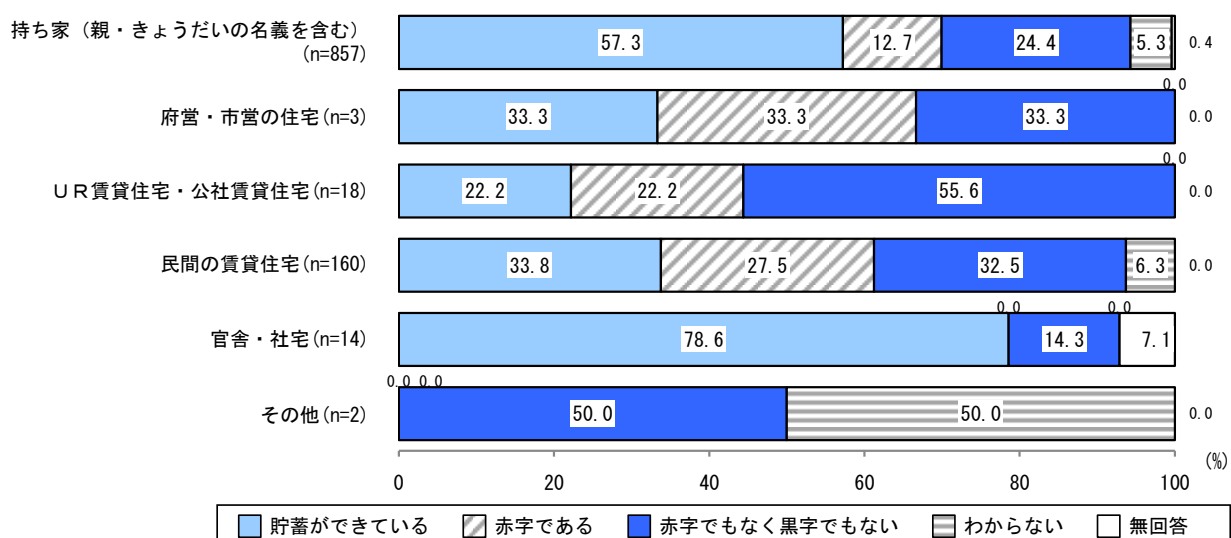
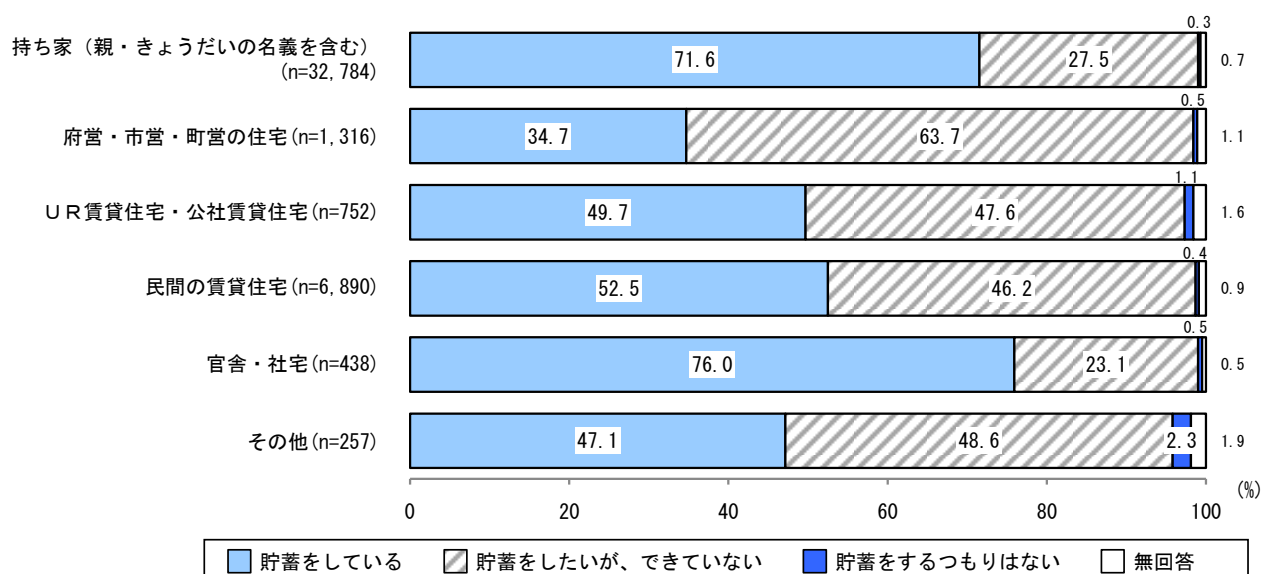


図 25. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別到家計状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答した割合は、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（22.2%）に住む人が最も低くなっている。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問5×保護者票問6(2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

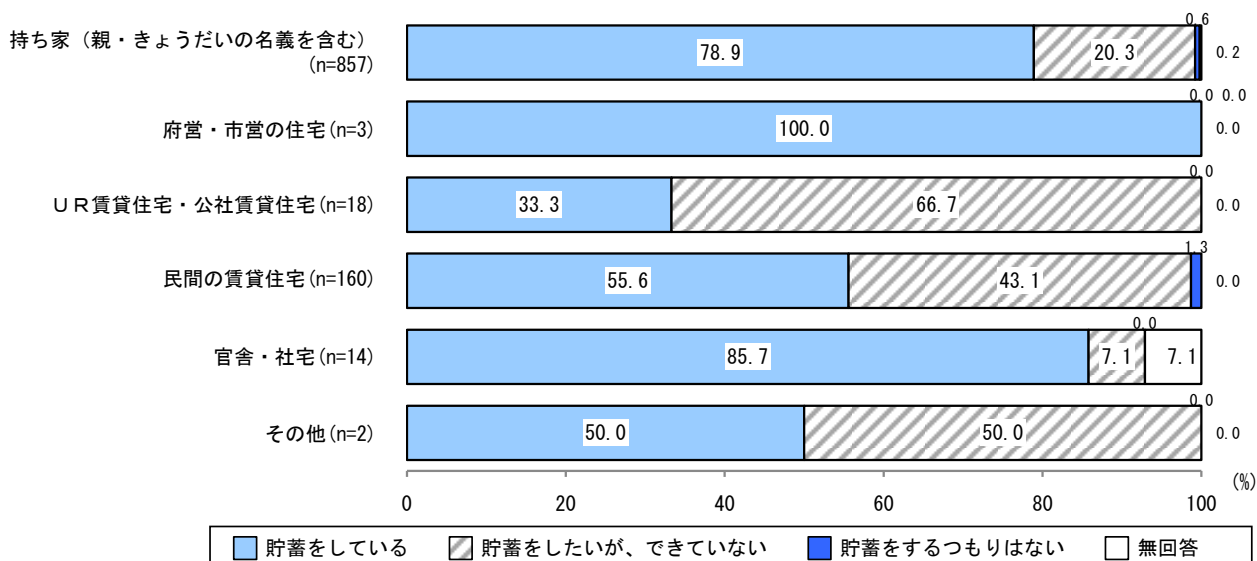
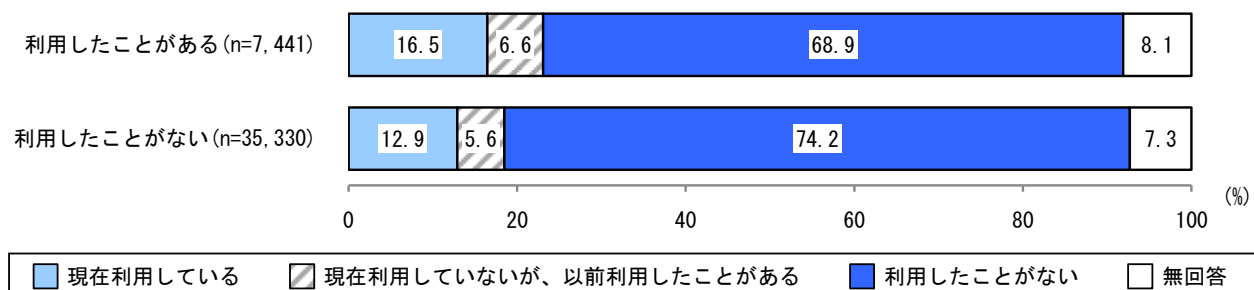


図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、持ち家（親・きょうだいの名義を含む）（0.6%）、民間の賃貸住宅（1.3%）に住む人にも「貯蓄するつもりはない」の回答がみられた。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<池田市>

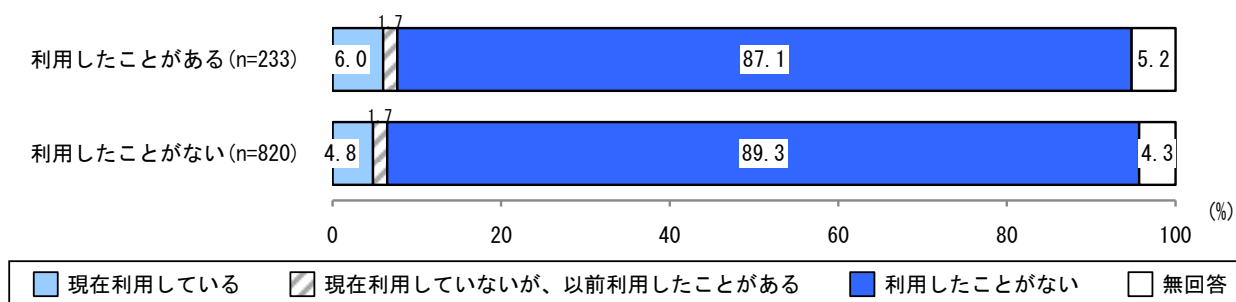
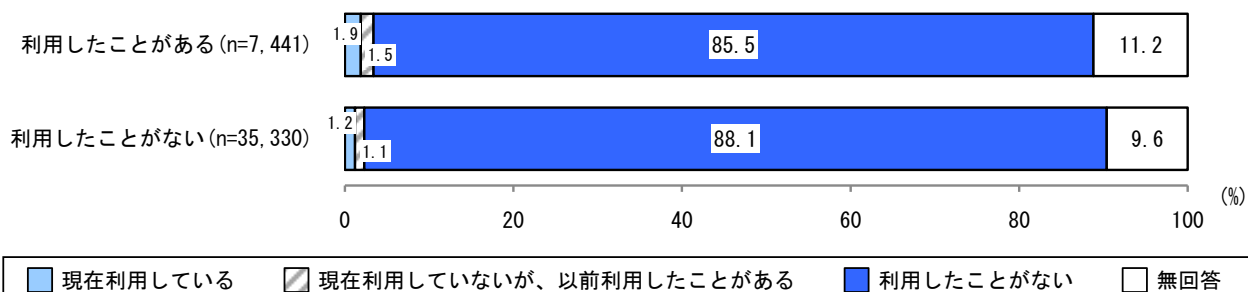


図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが就学援助を「現在利用している」と回答した割合がやや高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<池田市>

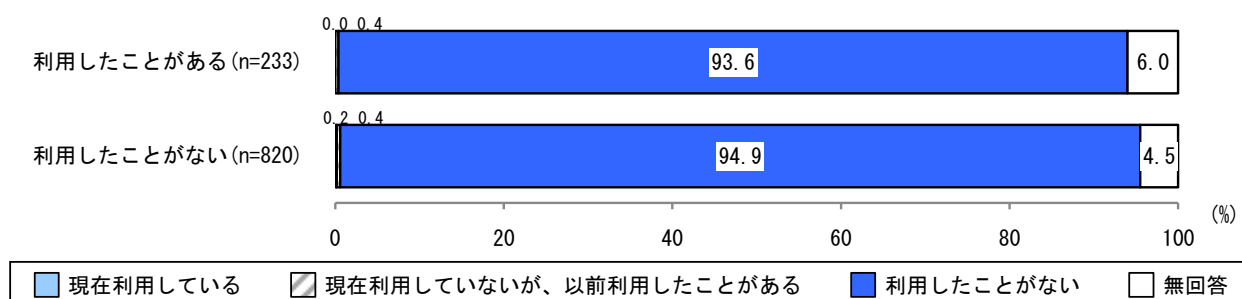
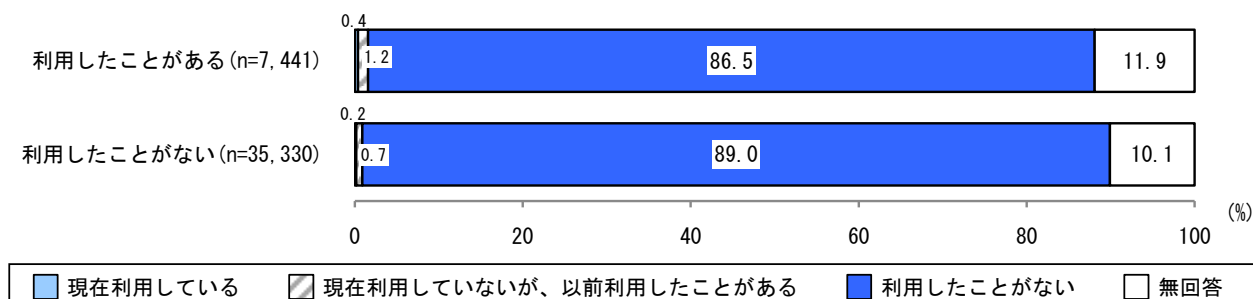


図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人にのみ、生活困窮者の自立支援相談窓口を「現在利用している」の回答がみられた。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<池田市>

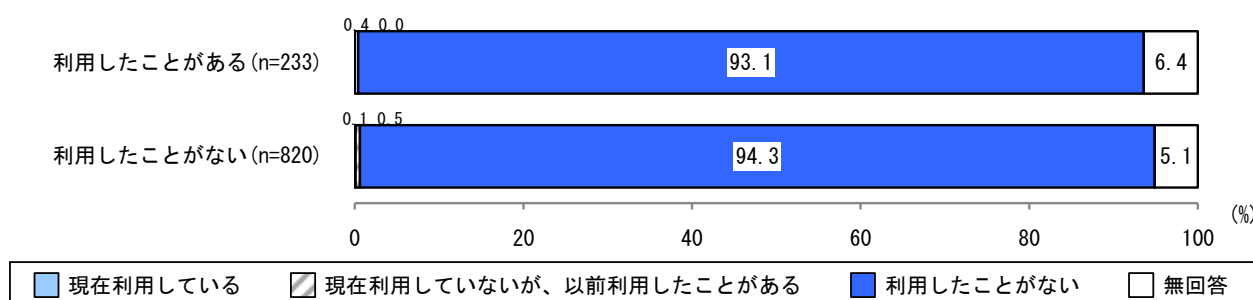
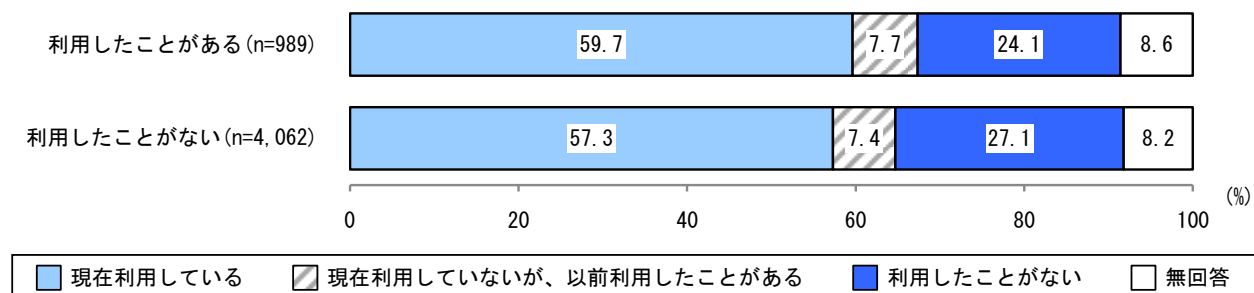


図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合がわずかに高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-d)

<大阪府内全体>



<池田市>

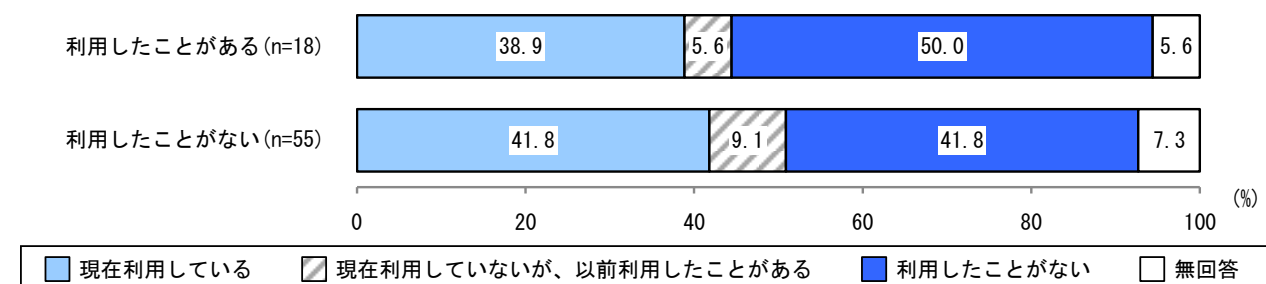
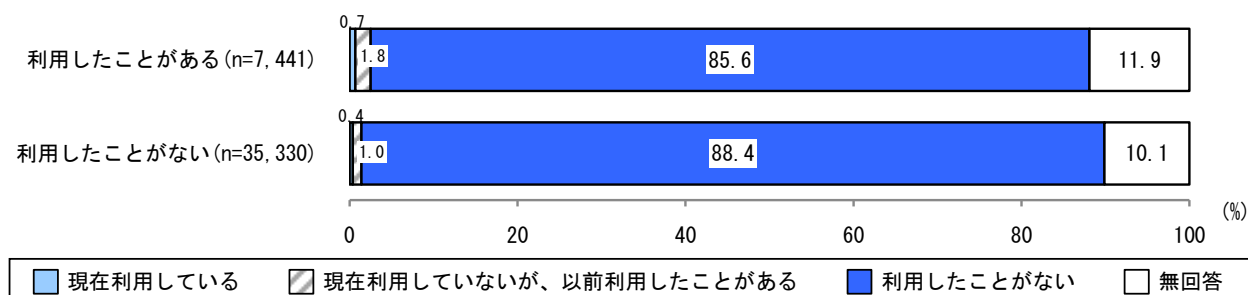


図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが児童扶養手当を「利用したことがない」と回答した割合が低くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<池田市>

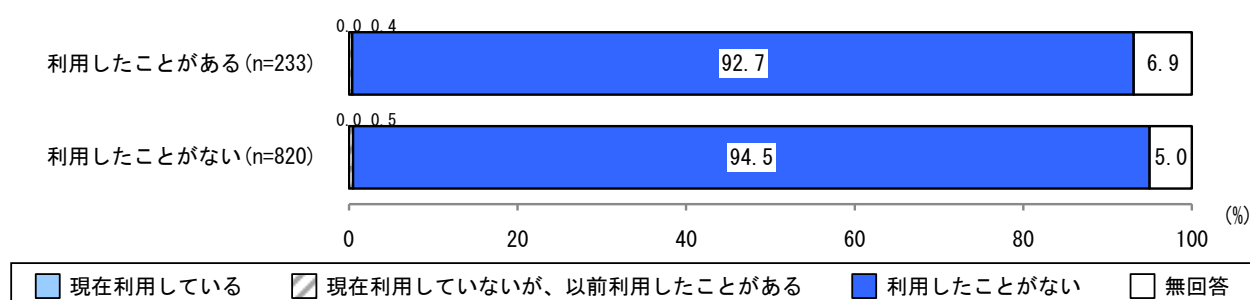
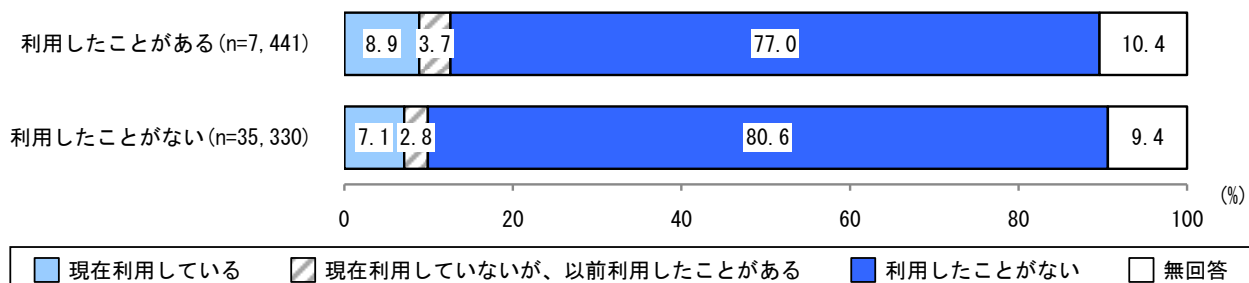


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合がわずかに高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<池田市>

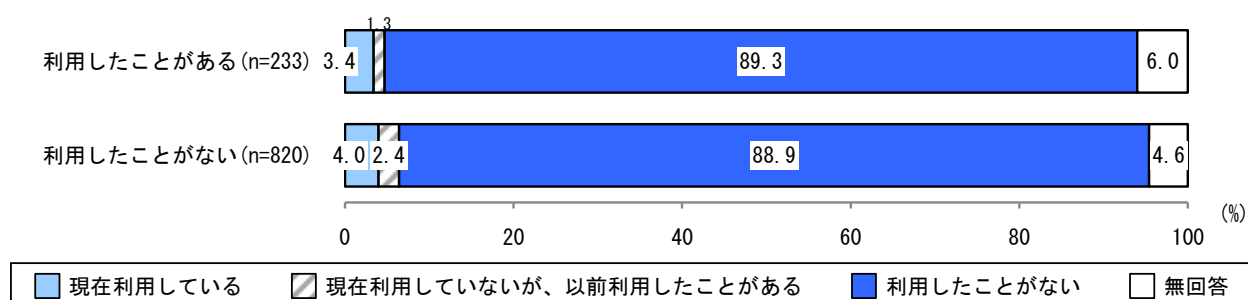
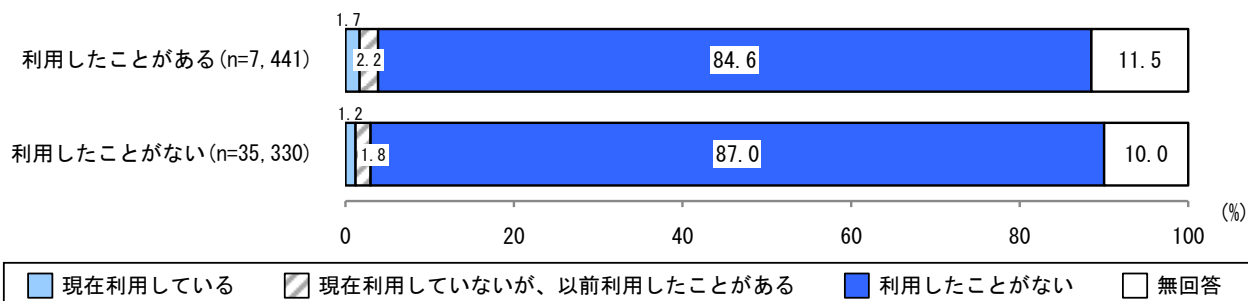


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「現在利用している」、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1) × 保護者票問 23-g)

<大阪府内全体>



<池田市>

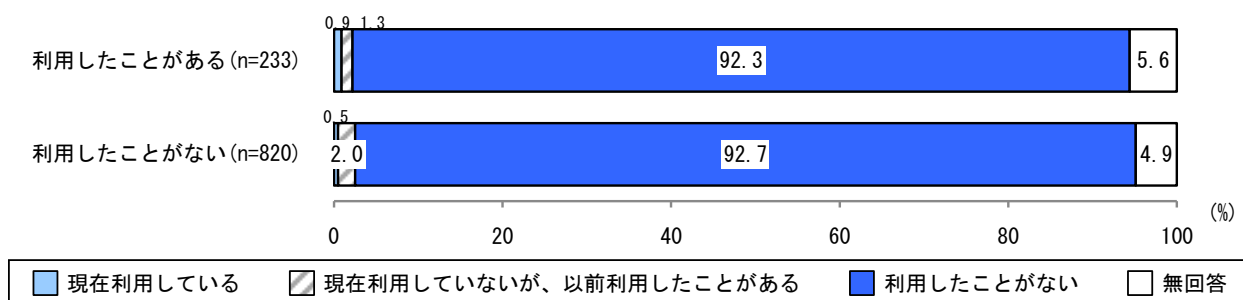
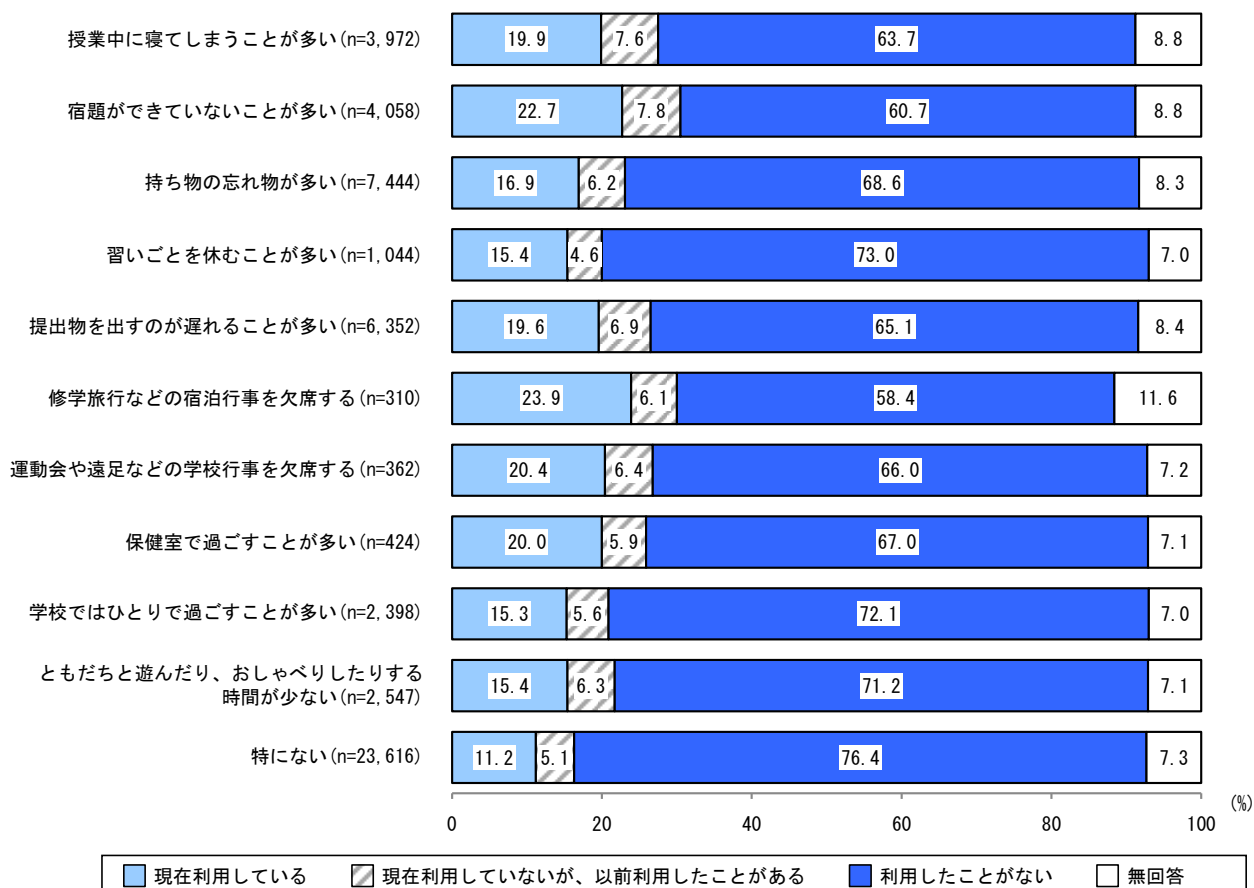


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「現在利用している」、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

<大阪府内全体>



<池田市>

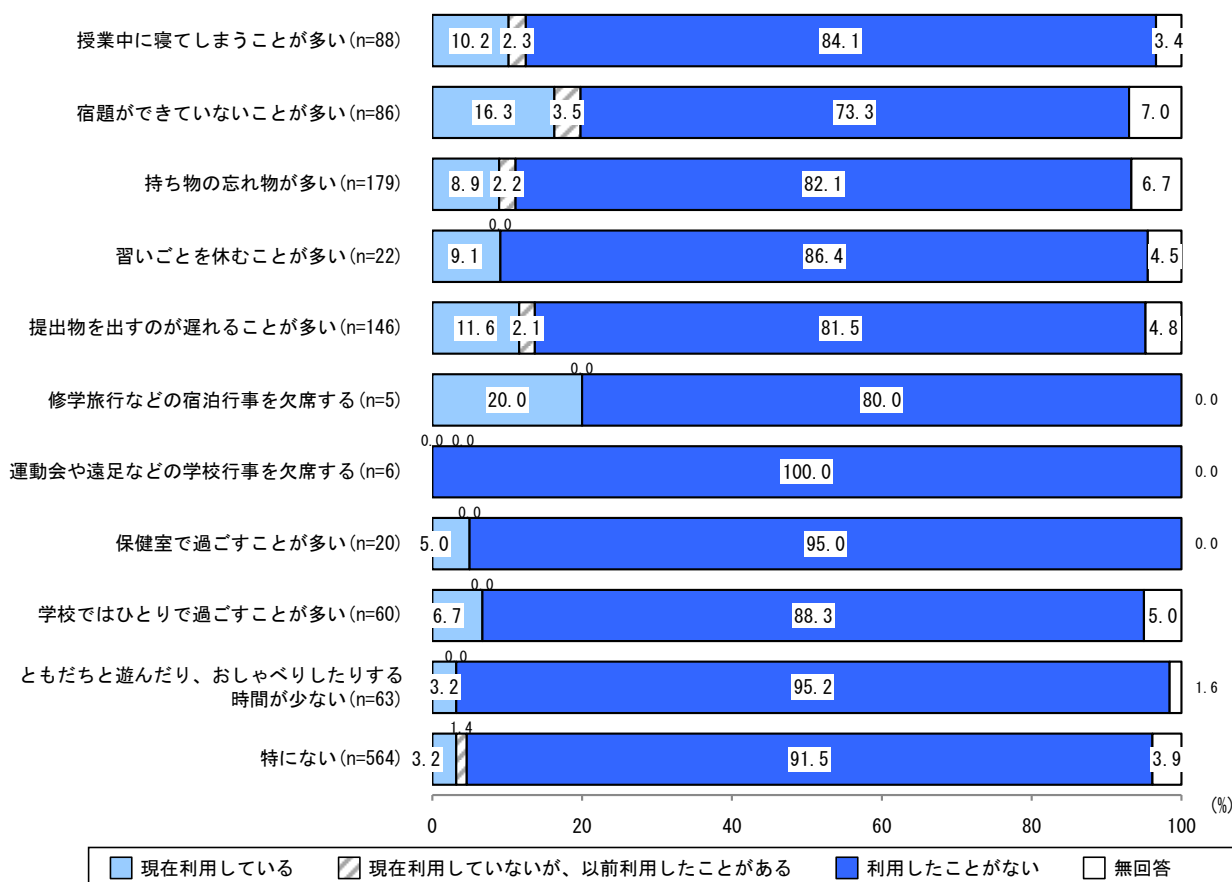
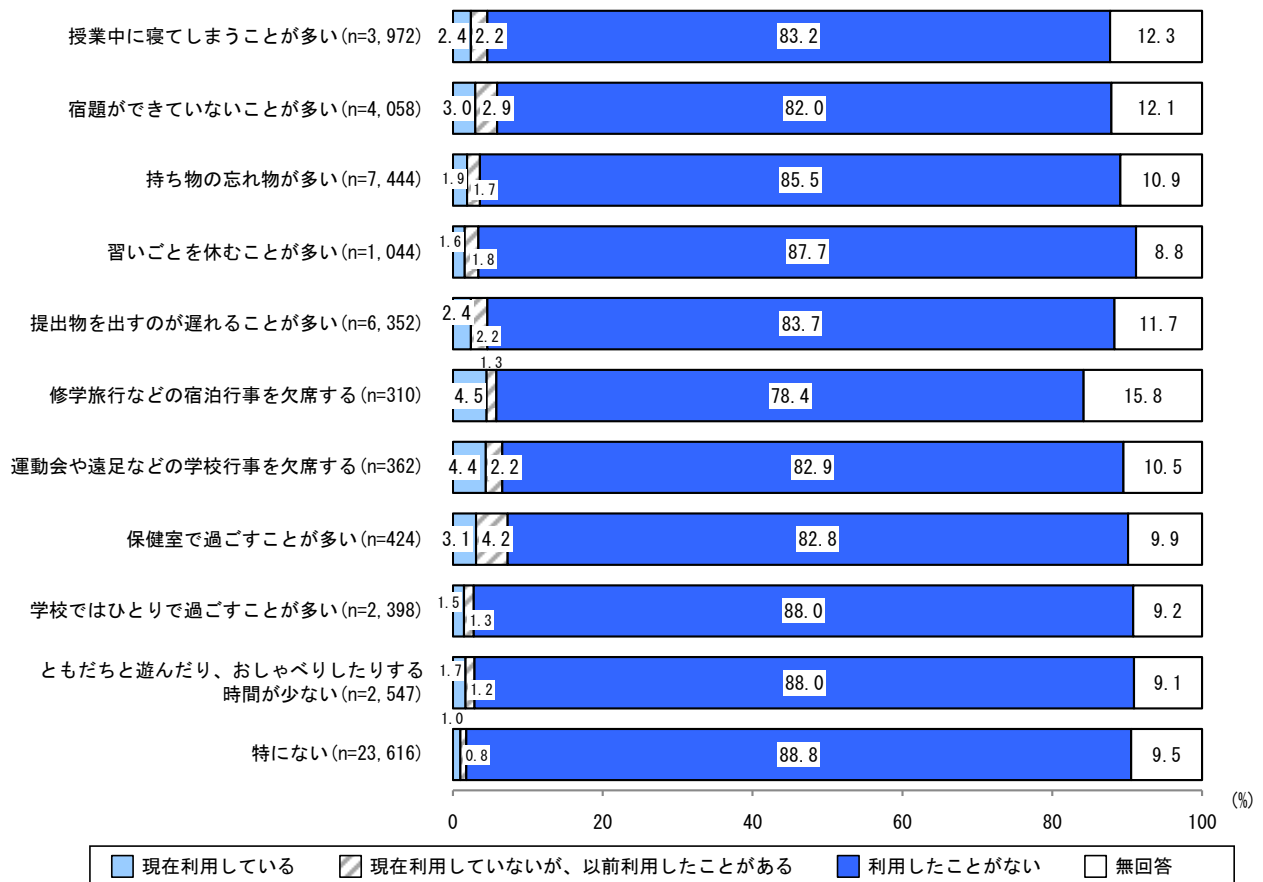


図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が20.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

<大阪府内全体>



<池田市>

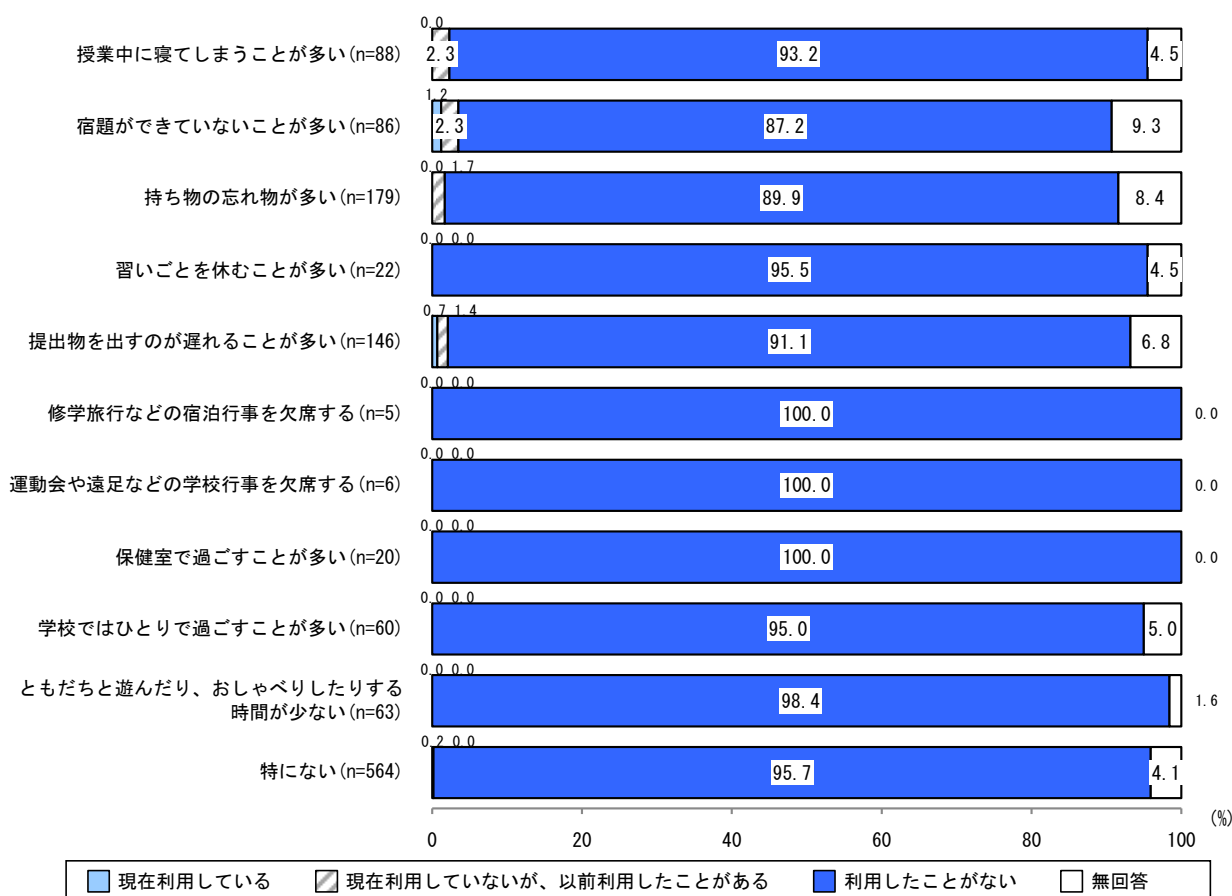
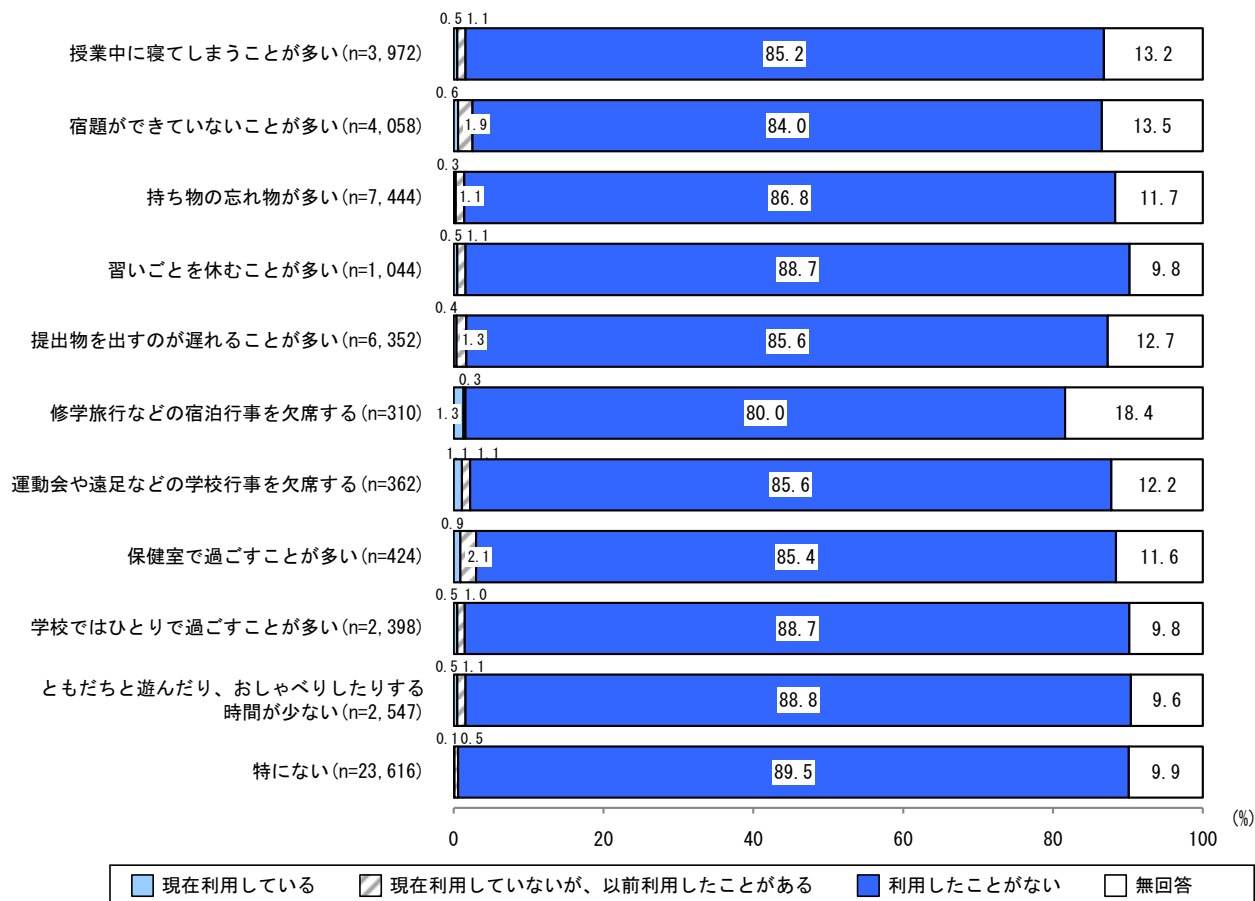


図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が1.2%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<池田市>

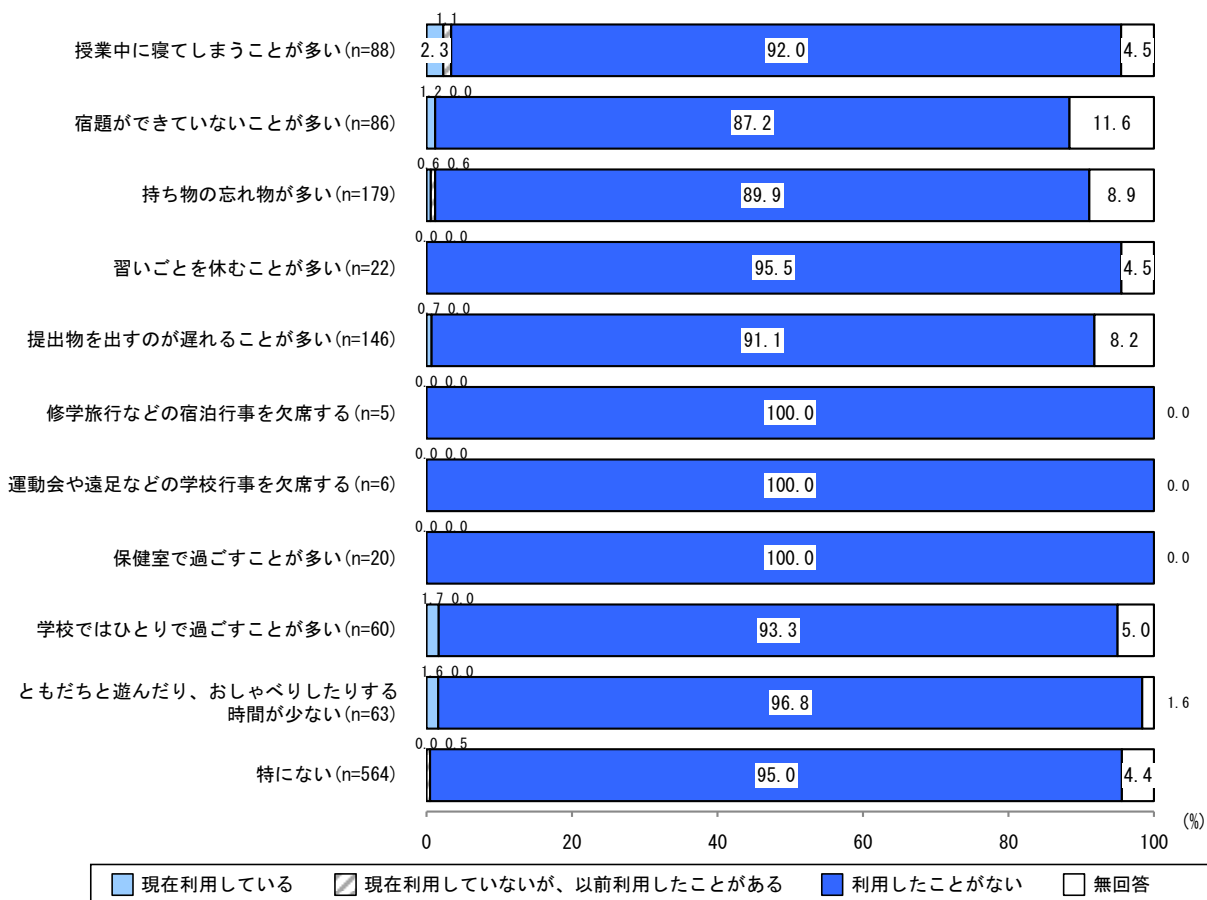
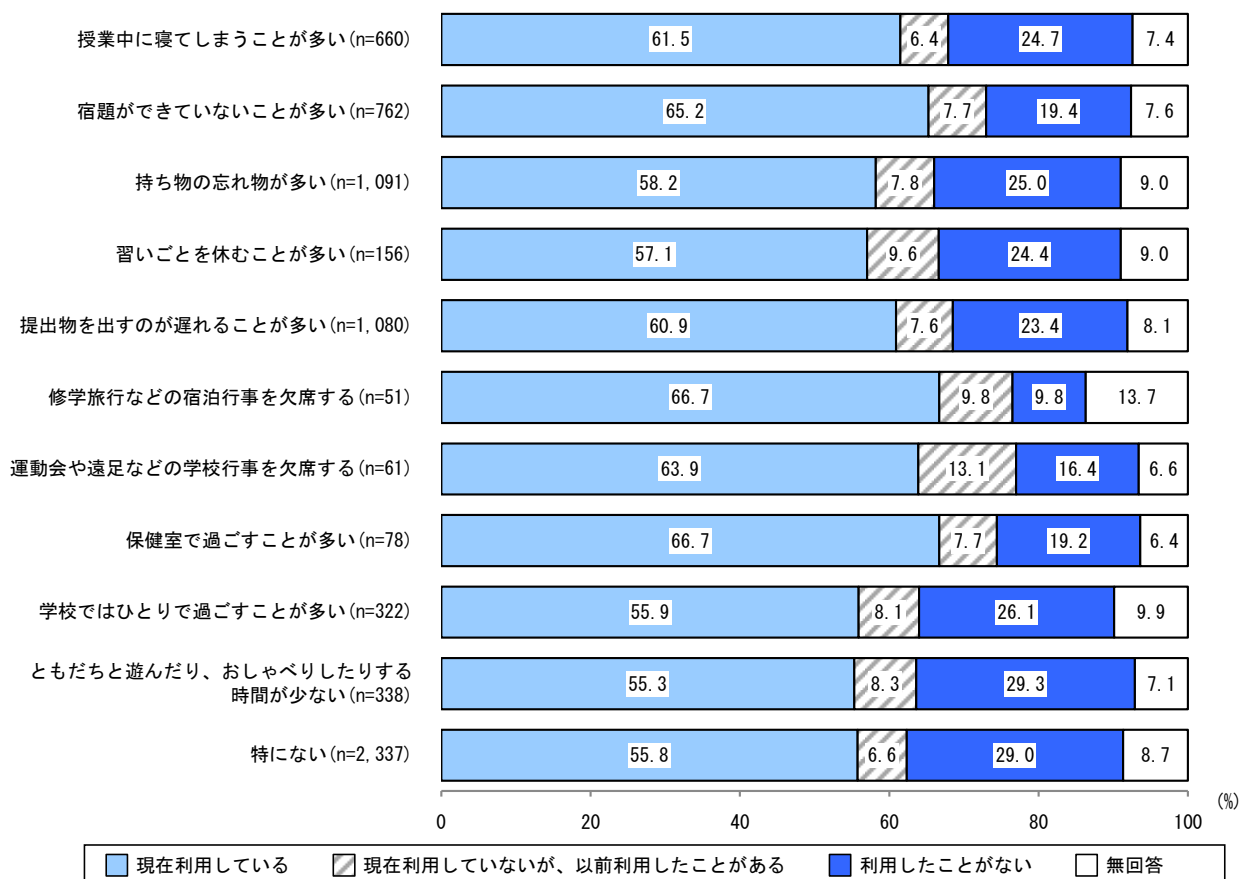


図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、複数の項目において回答した割合が最も高く、「授業中に寝てしまうことが多い」は2.3%で特に高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<池田市>

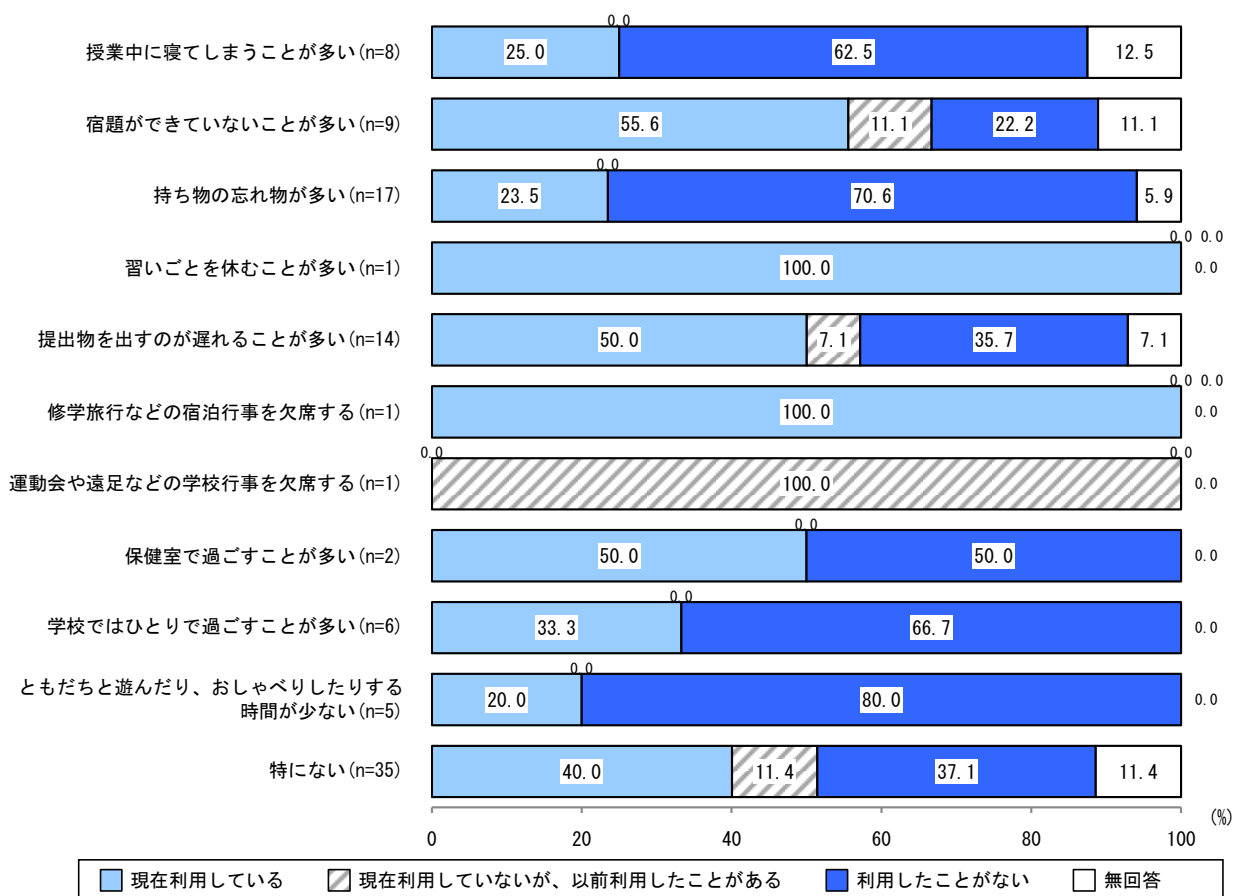
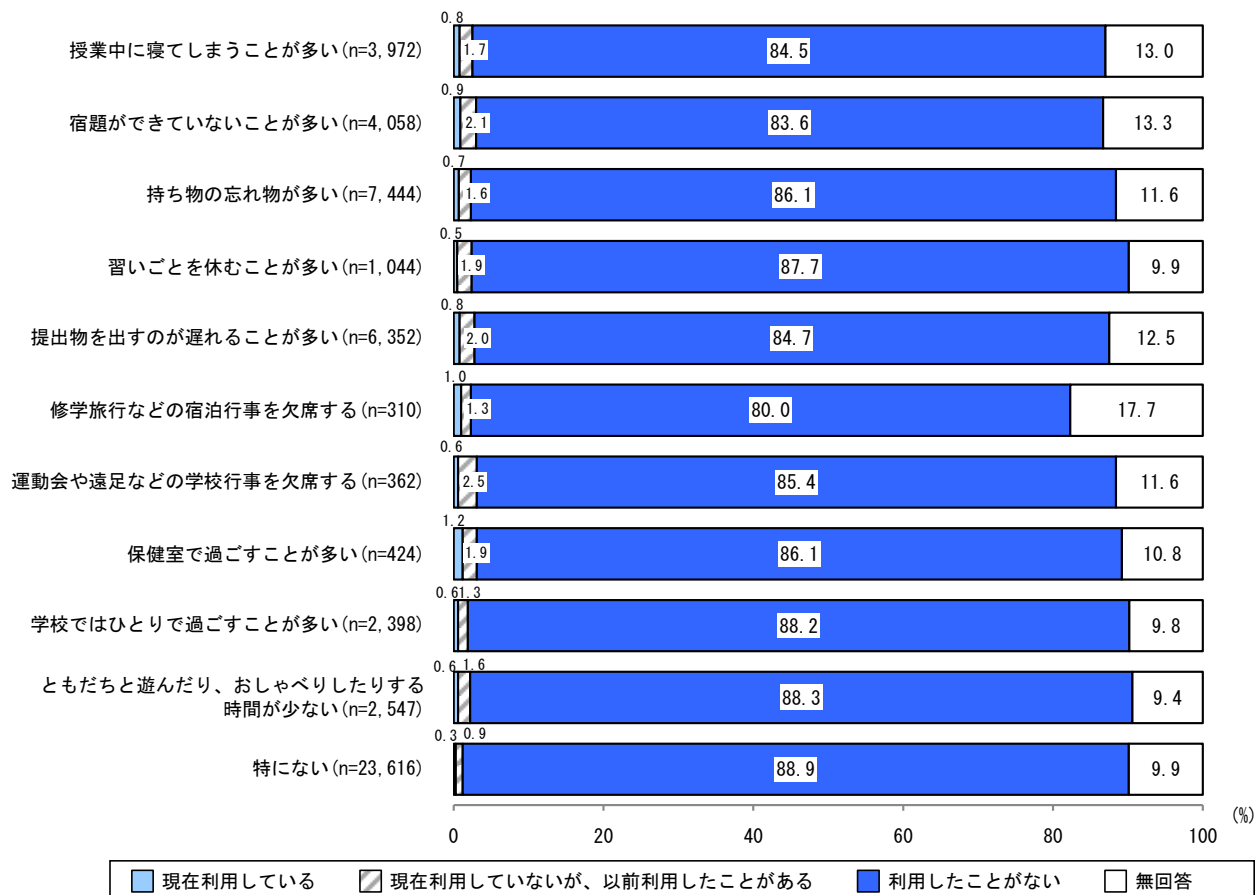


図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「授業中に寝てしまうことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」と回答した割合が低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 16×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<池田市>

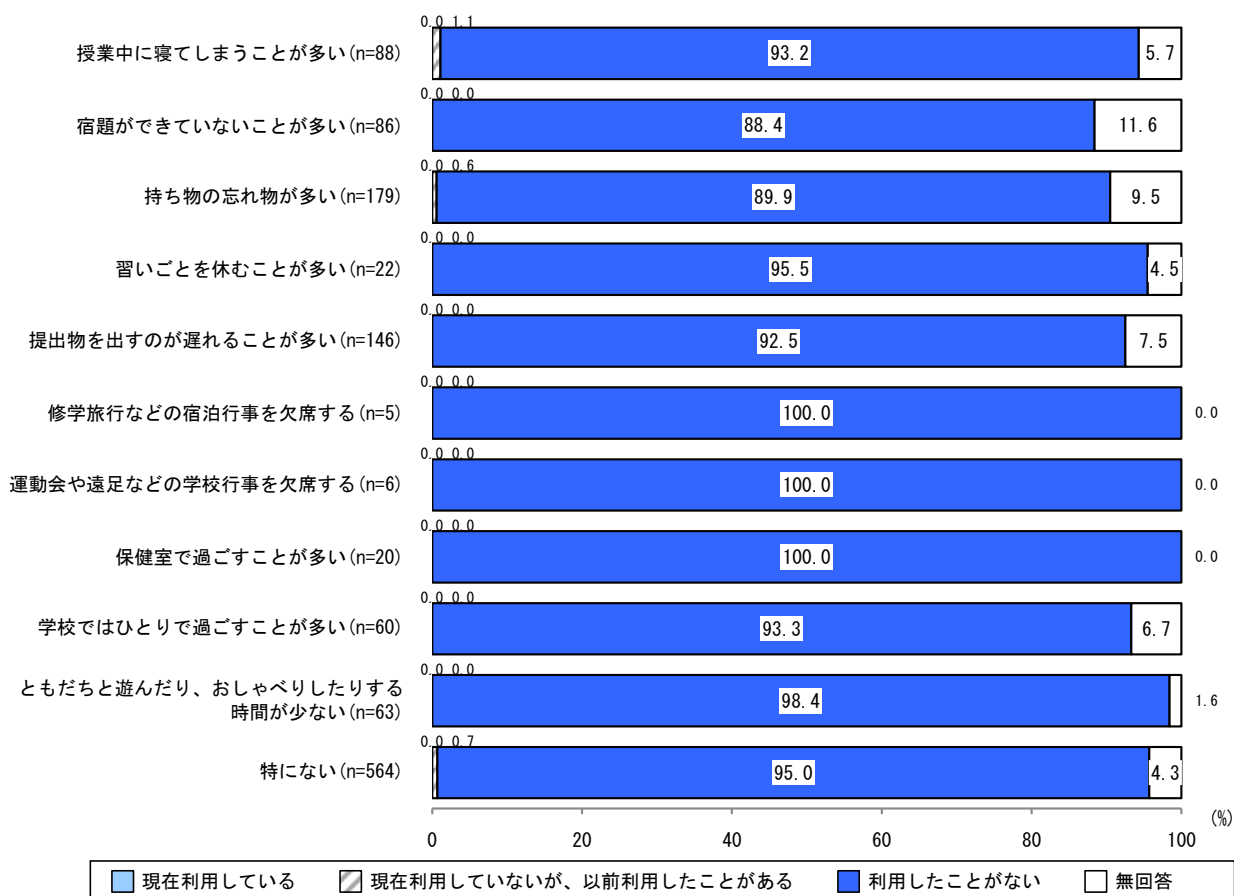
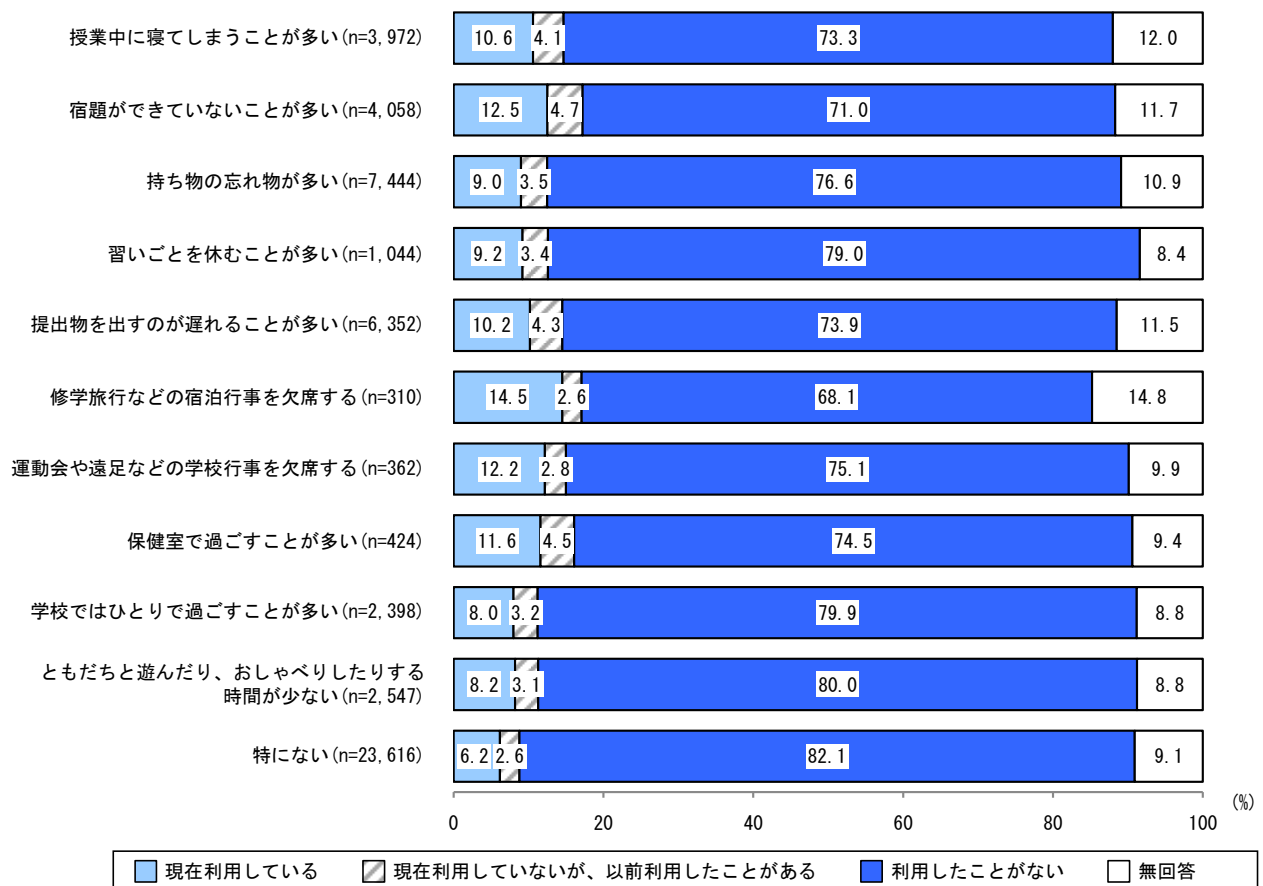


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、いずれも0.0%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<池田市>

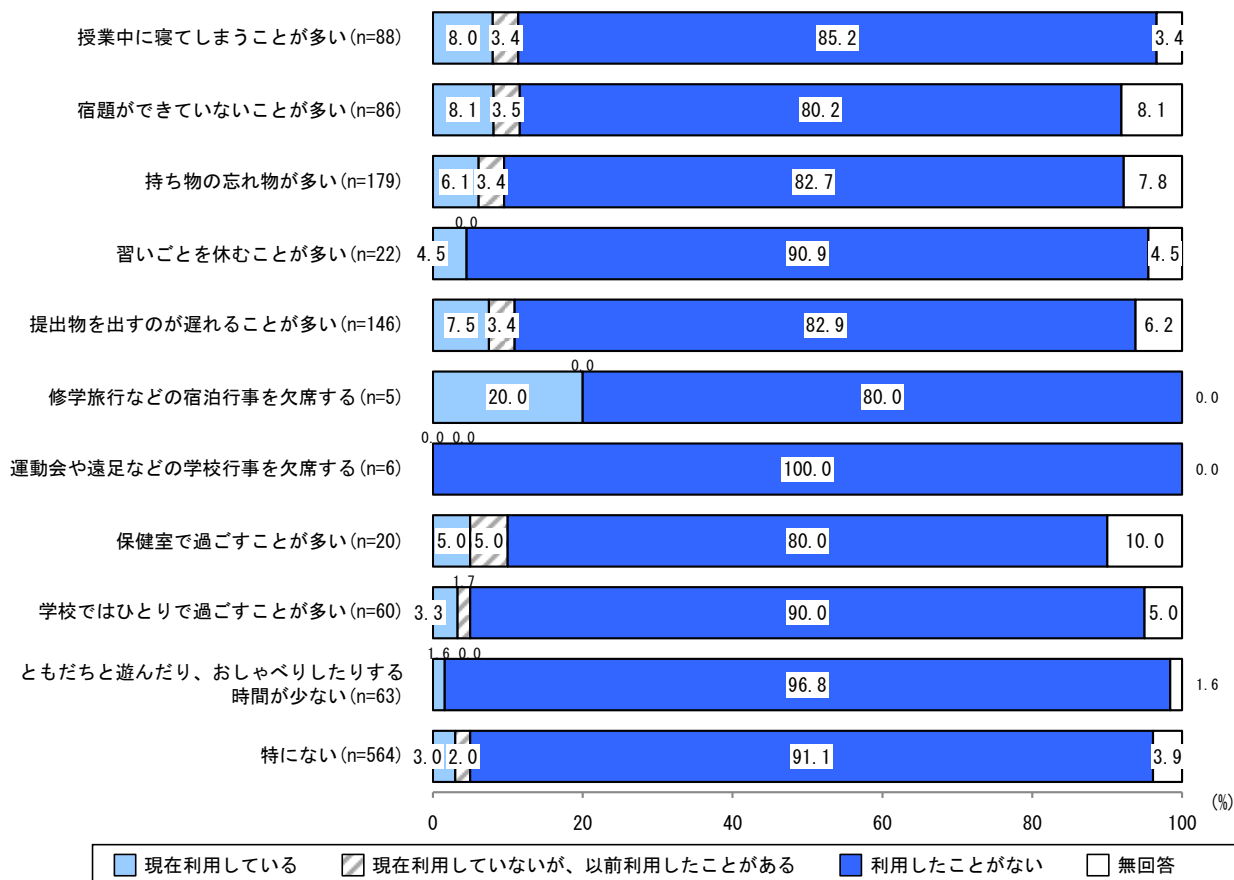
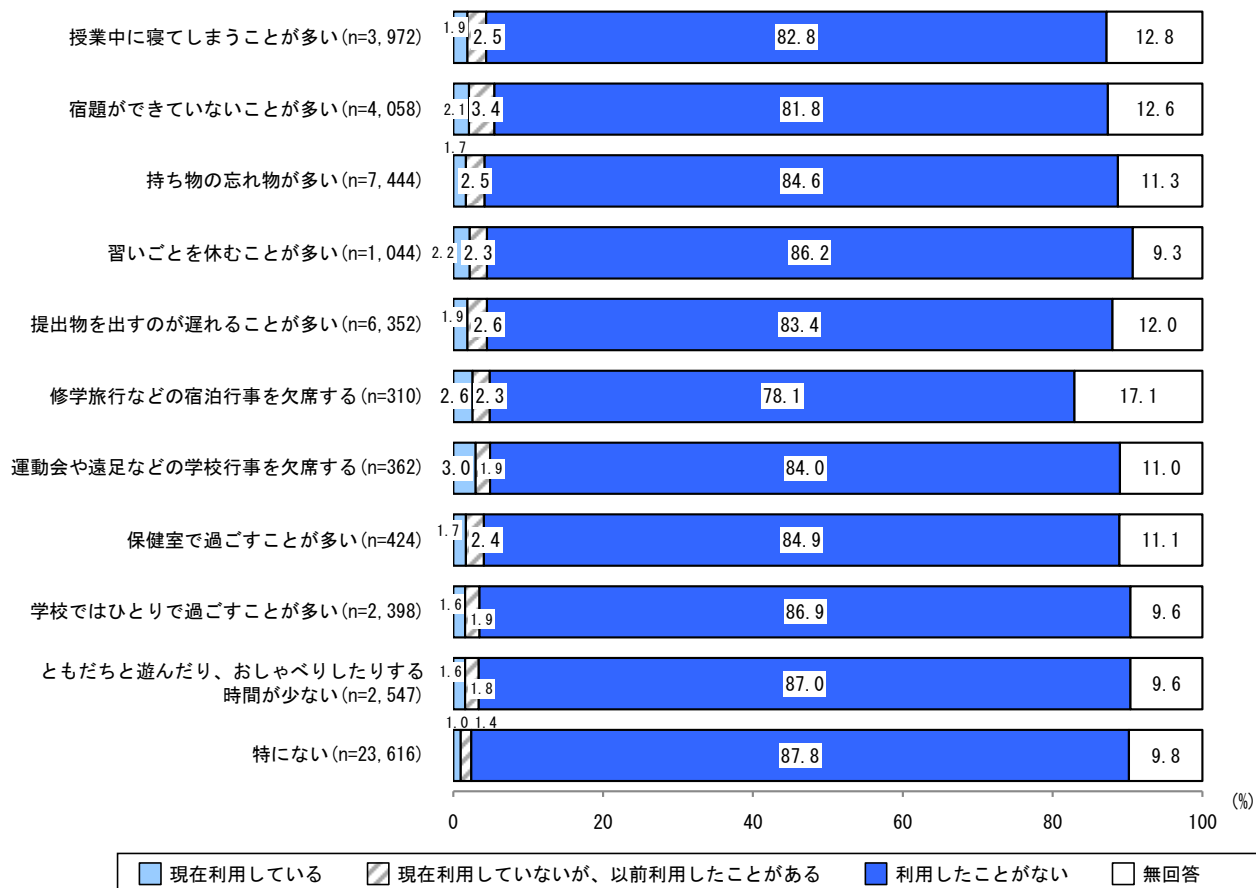


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が20.0%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<池田市>

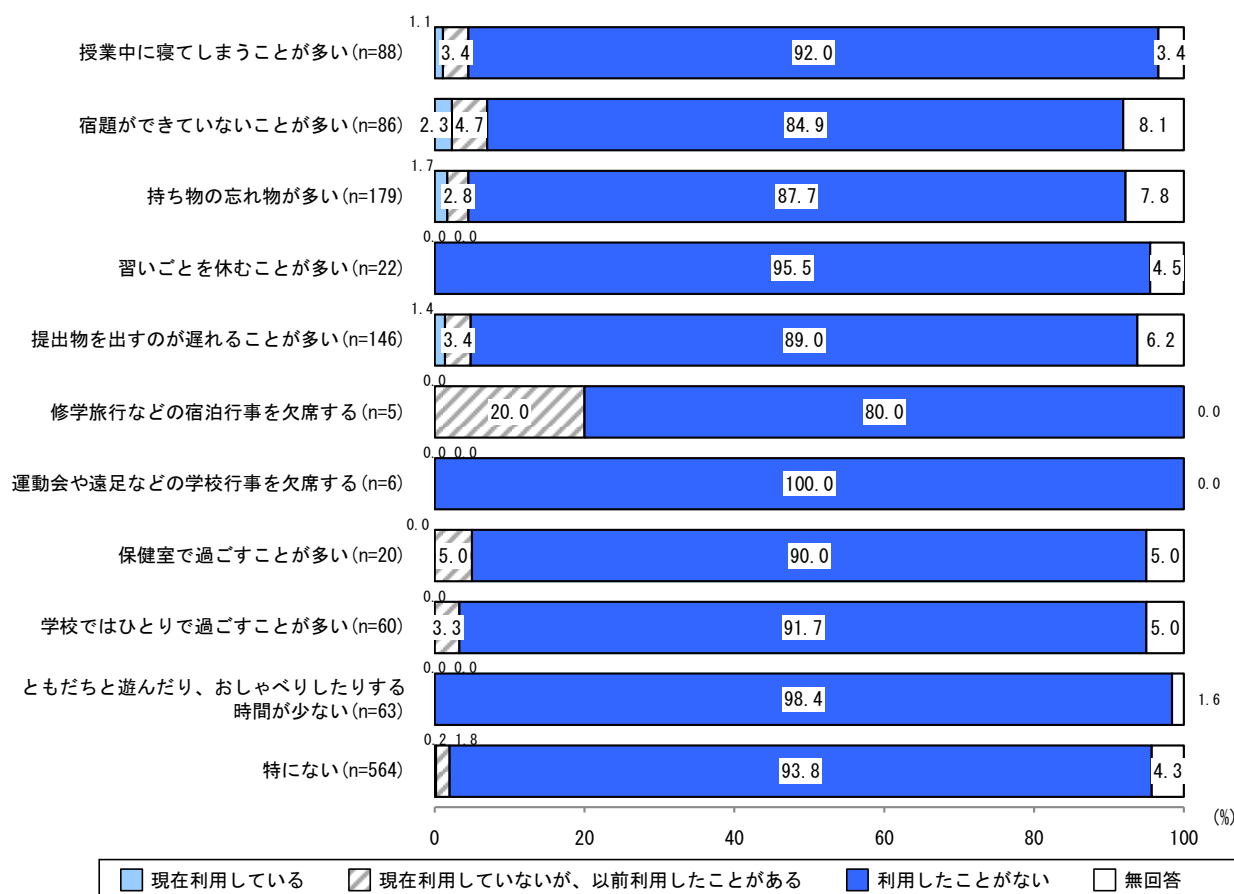
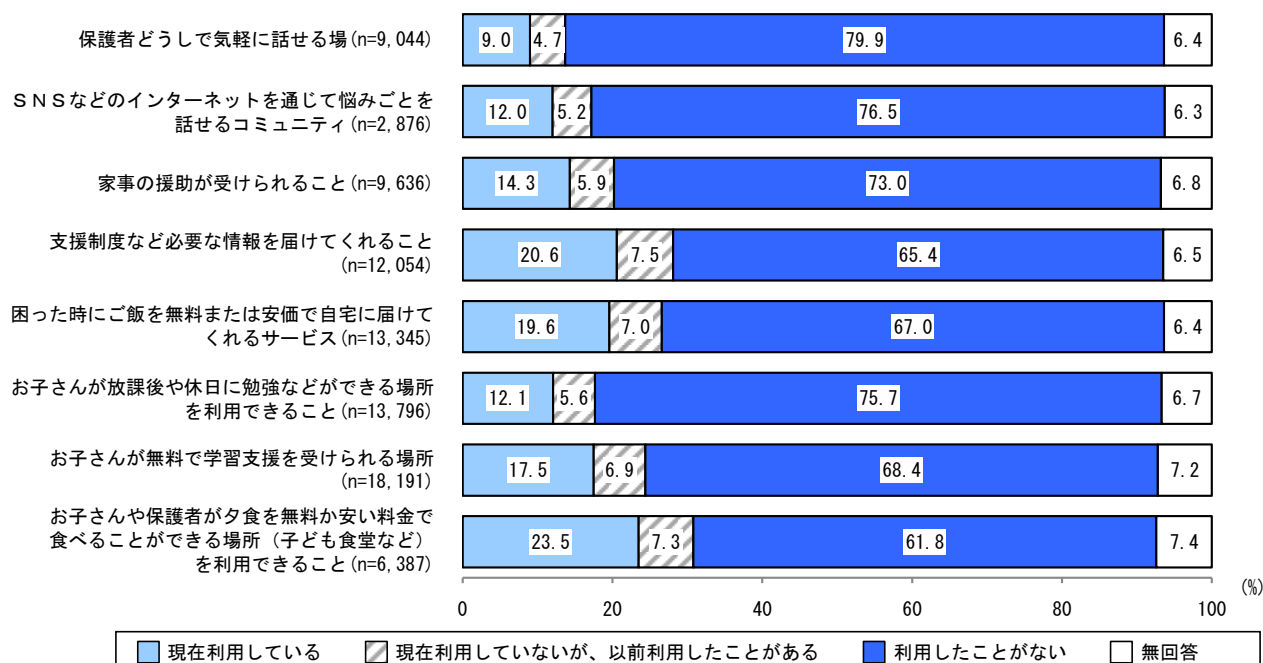


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が2.3%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況
(子ども票問 20×保護者票問 23-a)

<大阪府内全体>



<池田市>

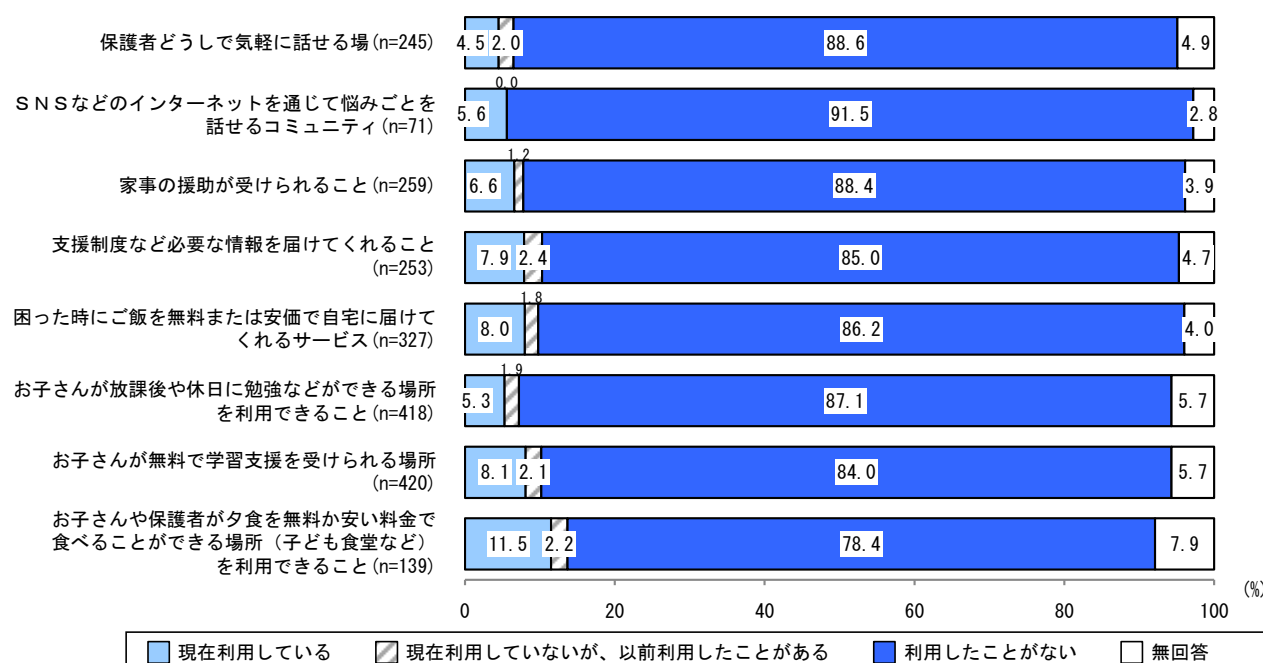
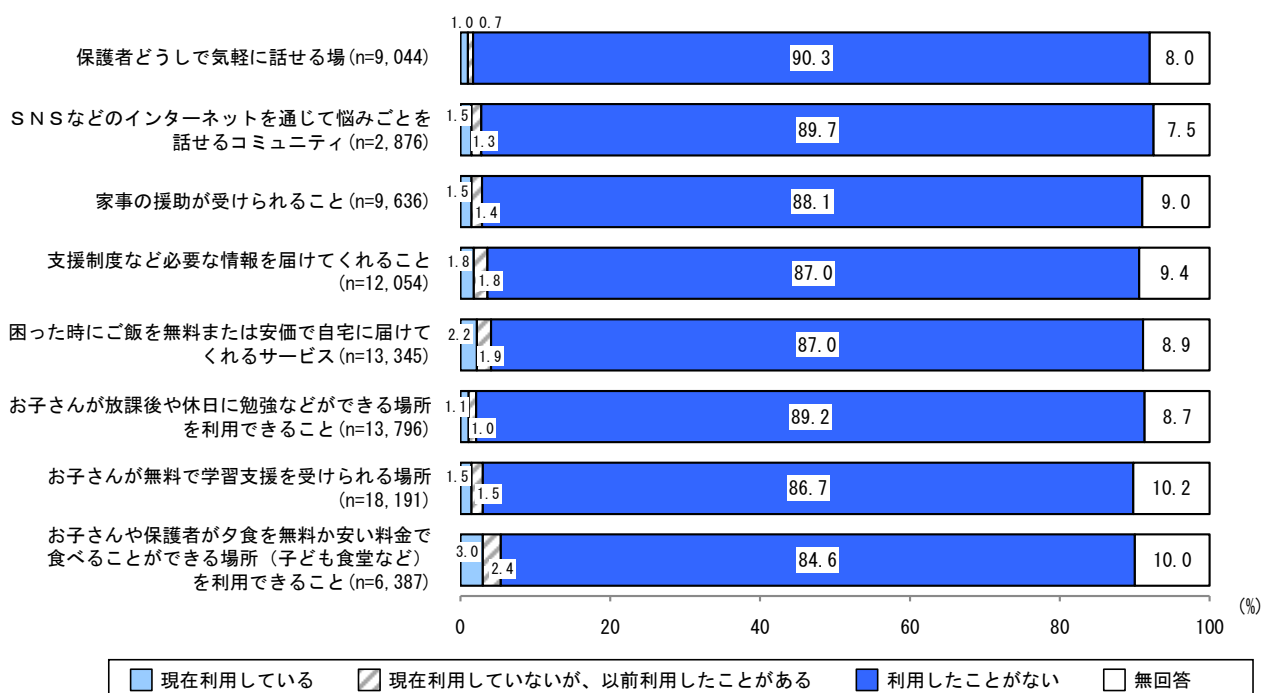


図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が11.5%で、最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
(子ども票問 20×保護者票問 23-b)

<大阪府内全体>



<池田市>

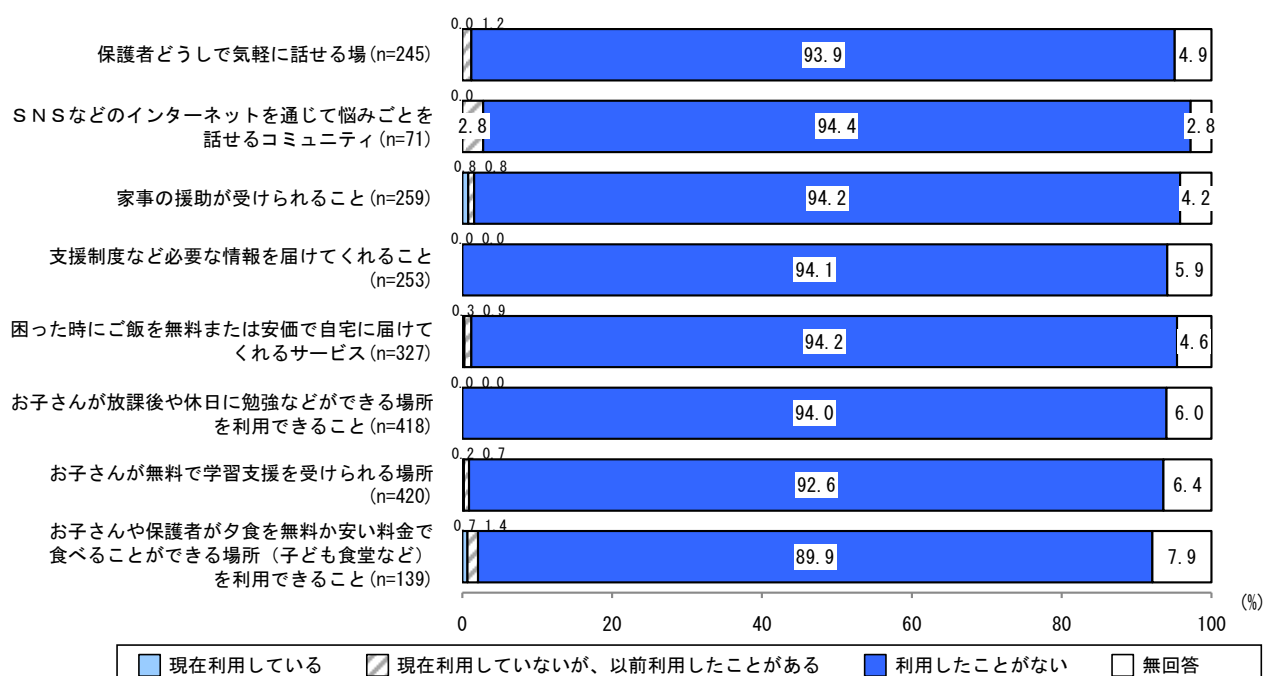
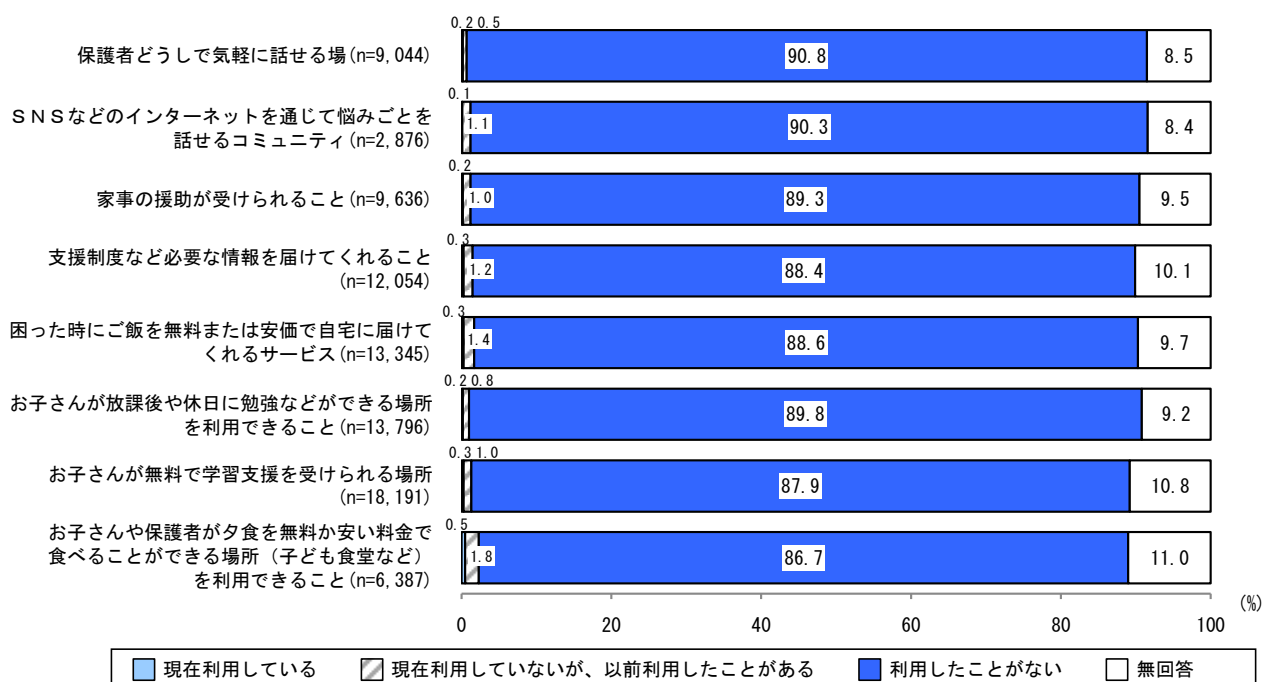


図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「家事の援助が受けられること」と回答した割合が0.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
(子ども票問 20×保護者票問 23-c)

<大阪府内全体>



<池田市>

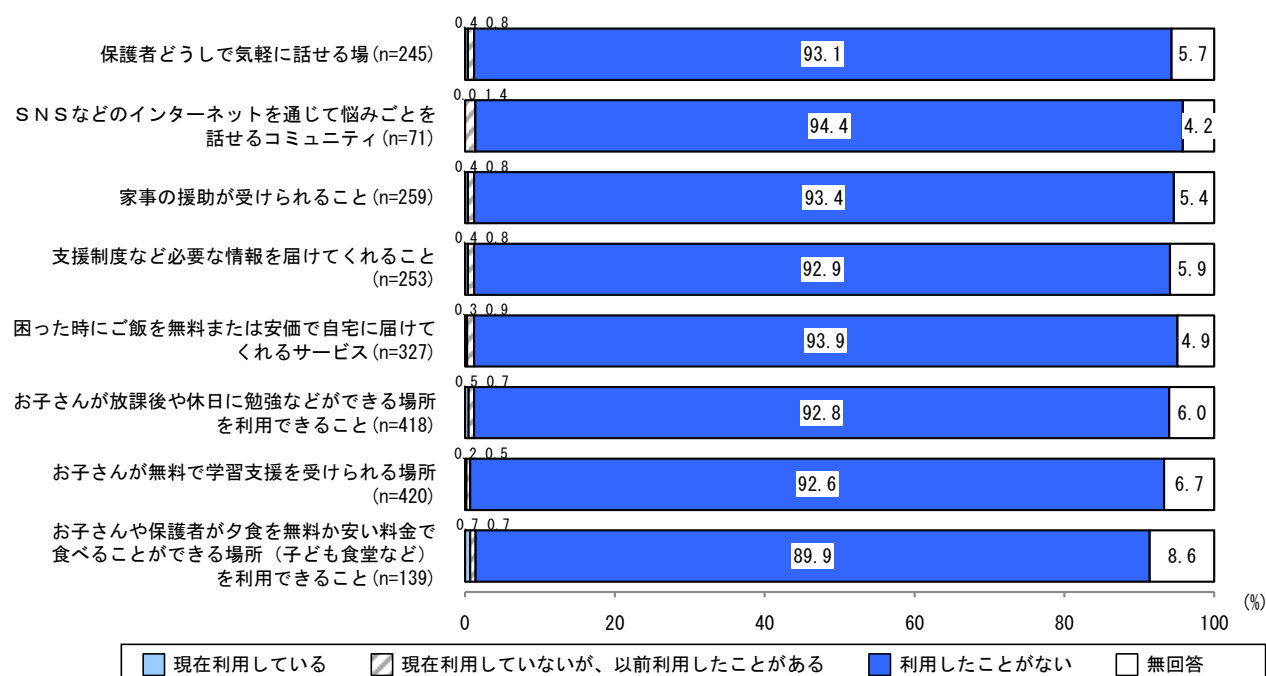
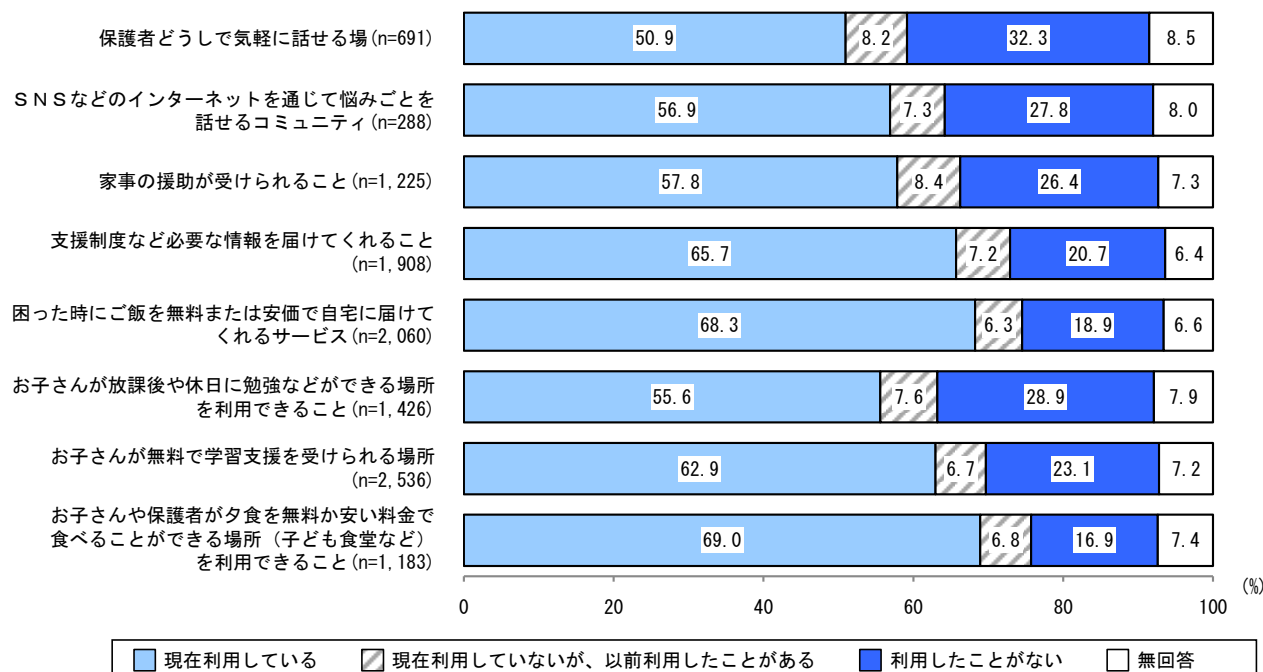


図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が0.7%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 20×保護者票問 23-d）

<大阪府内全体>



<池田市>

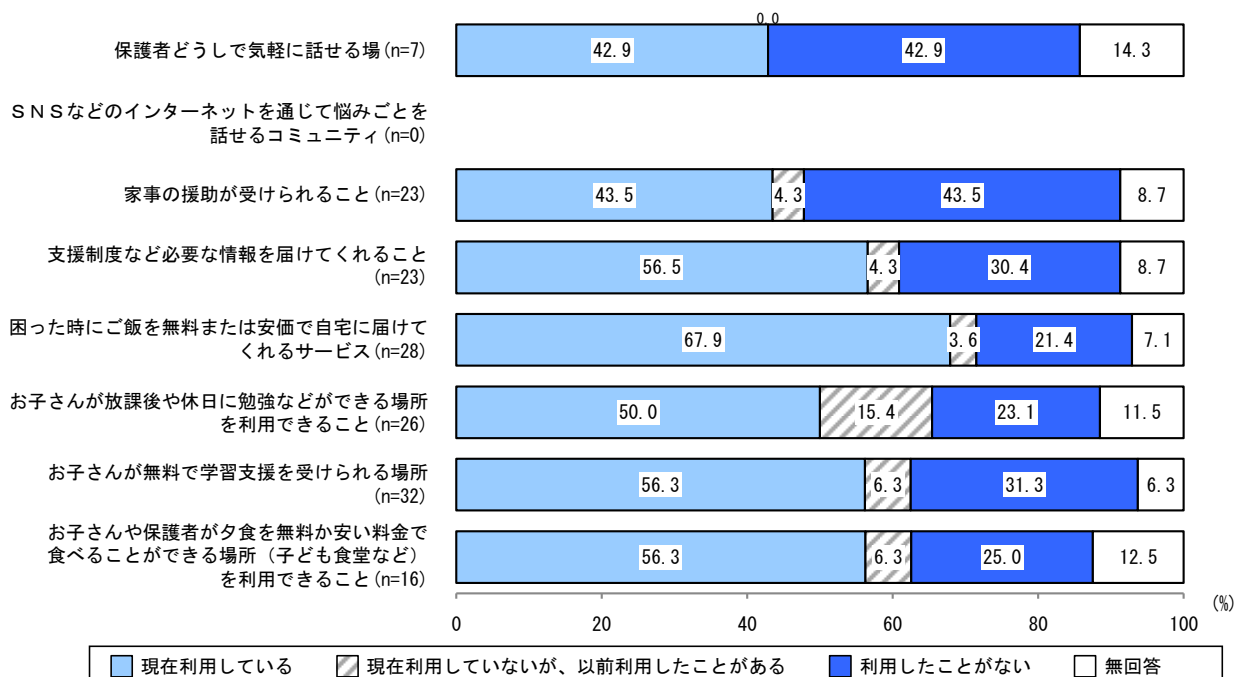
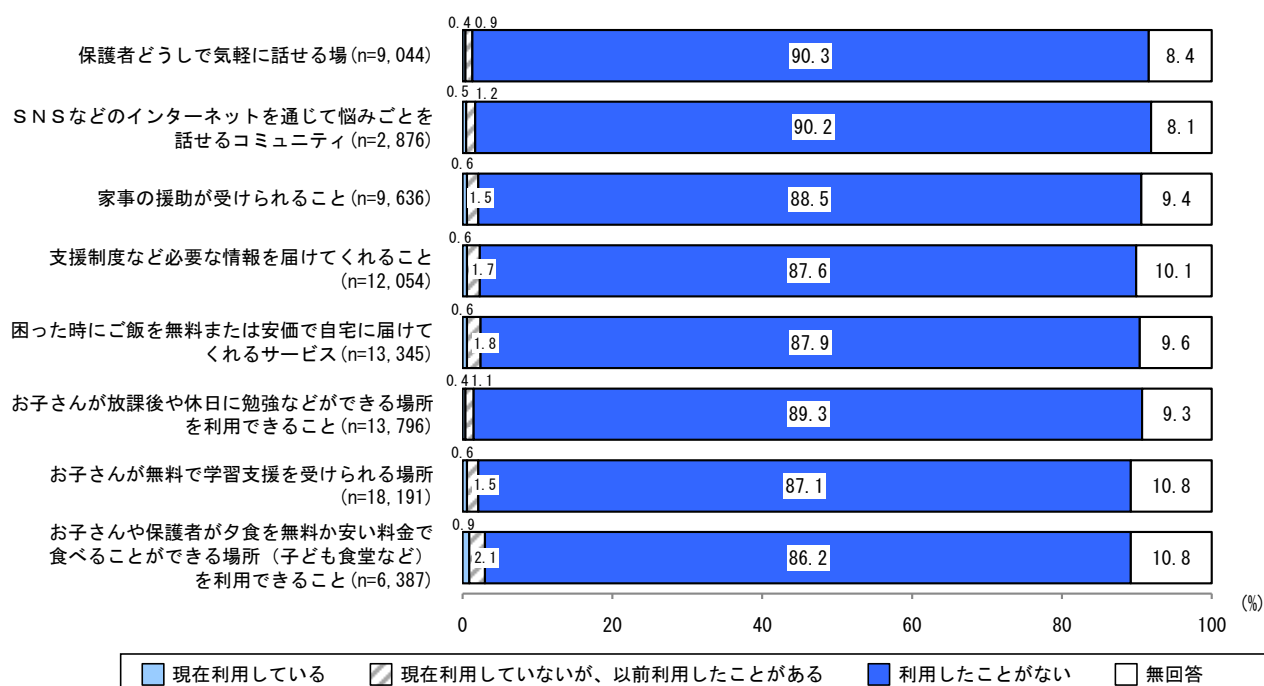


図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」と回答した割合が67.9%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
(子ども票問 20×保護者票問 23-e)

<大阪府内全体>



<池田市>

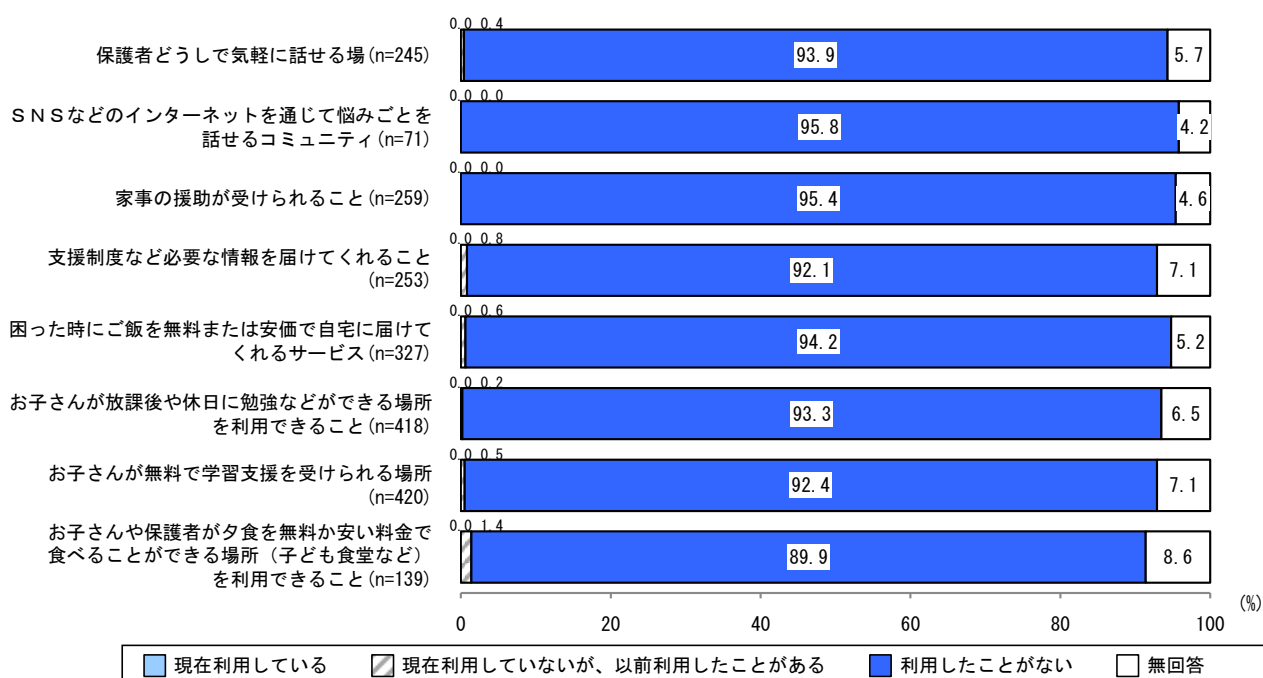
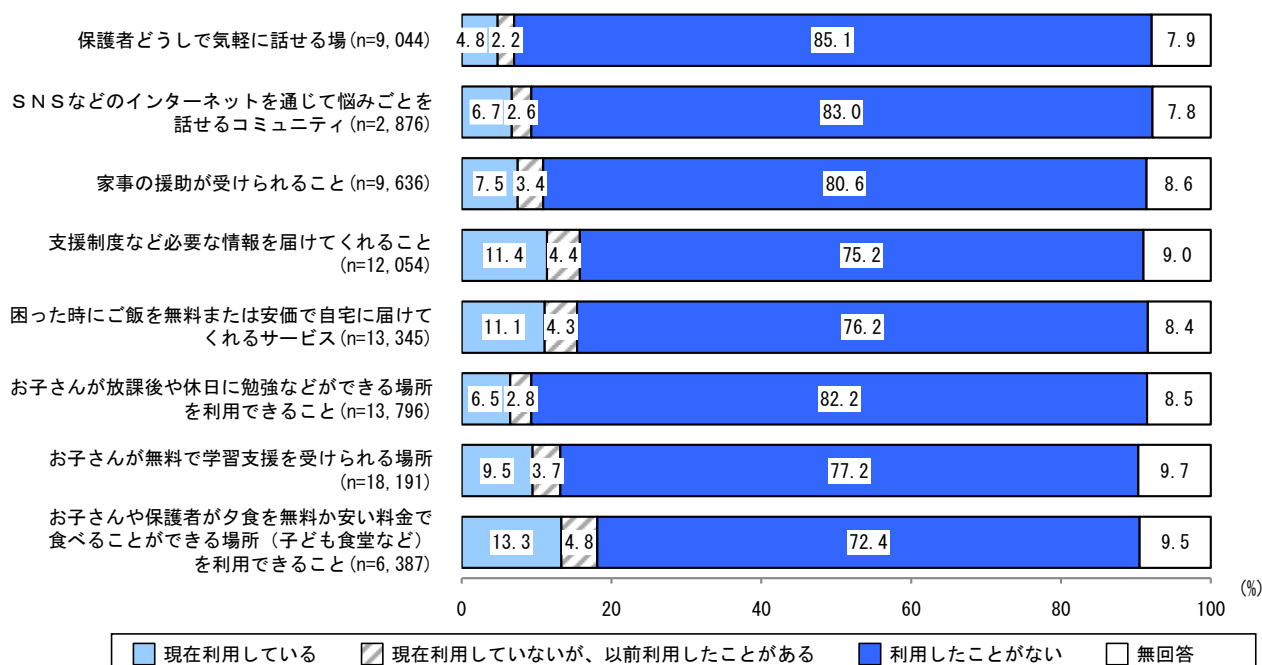


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、いずれも0.0%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 20×保護者票問 23-f）

<大阪府内全体>



<池田市>

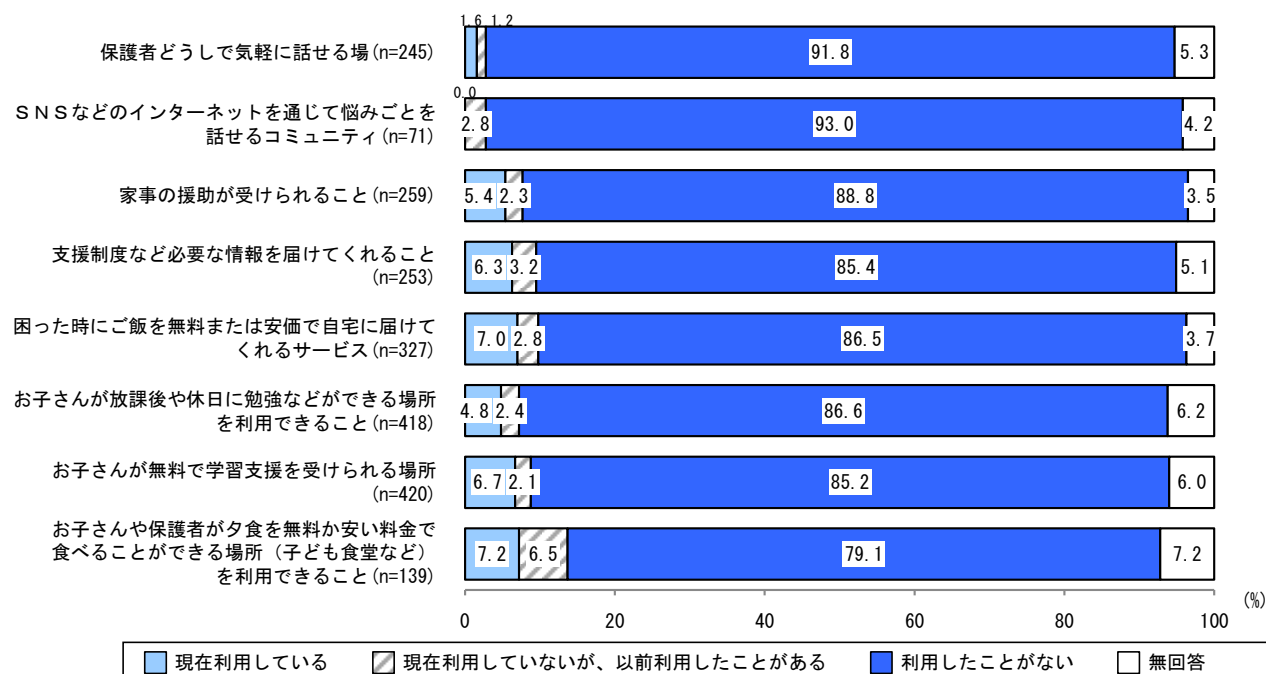
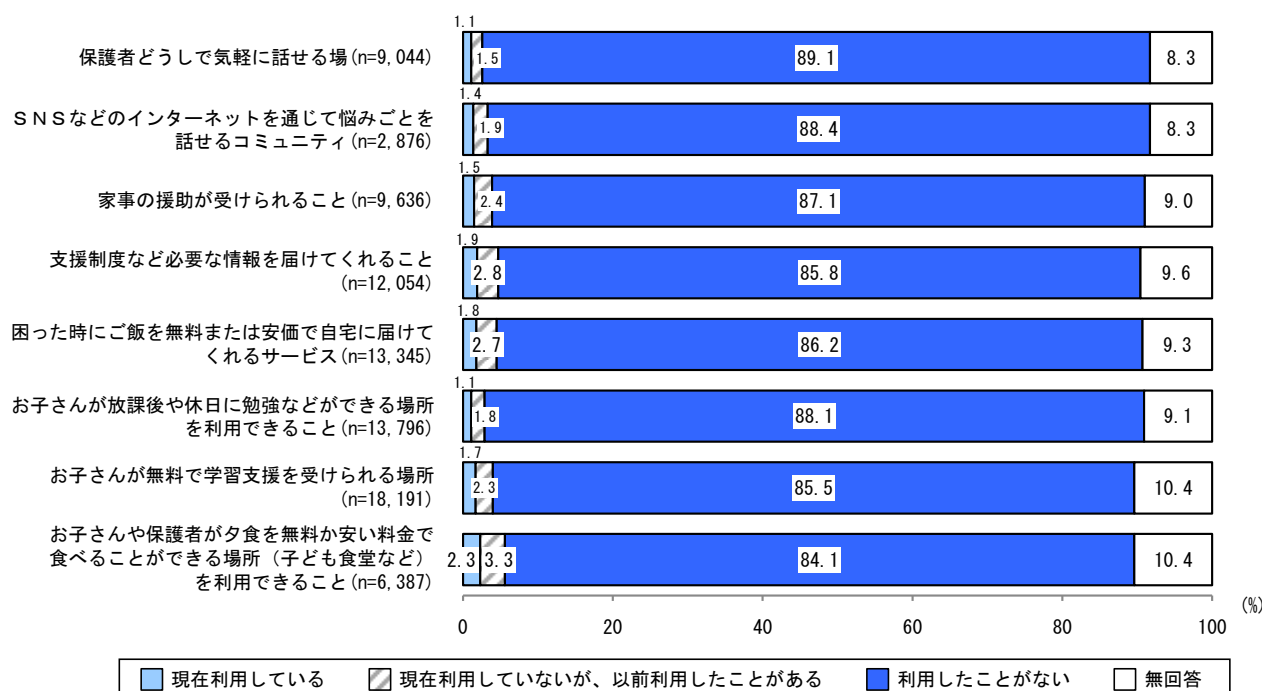


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が7.2%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 20×保護者票問 23-g）

<大阪府内全体>



<池田市>

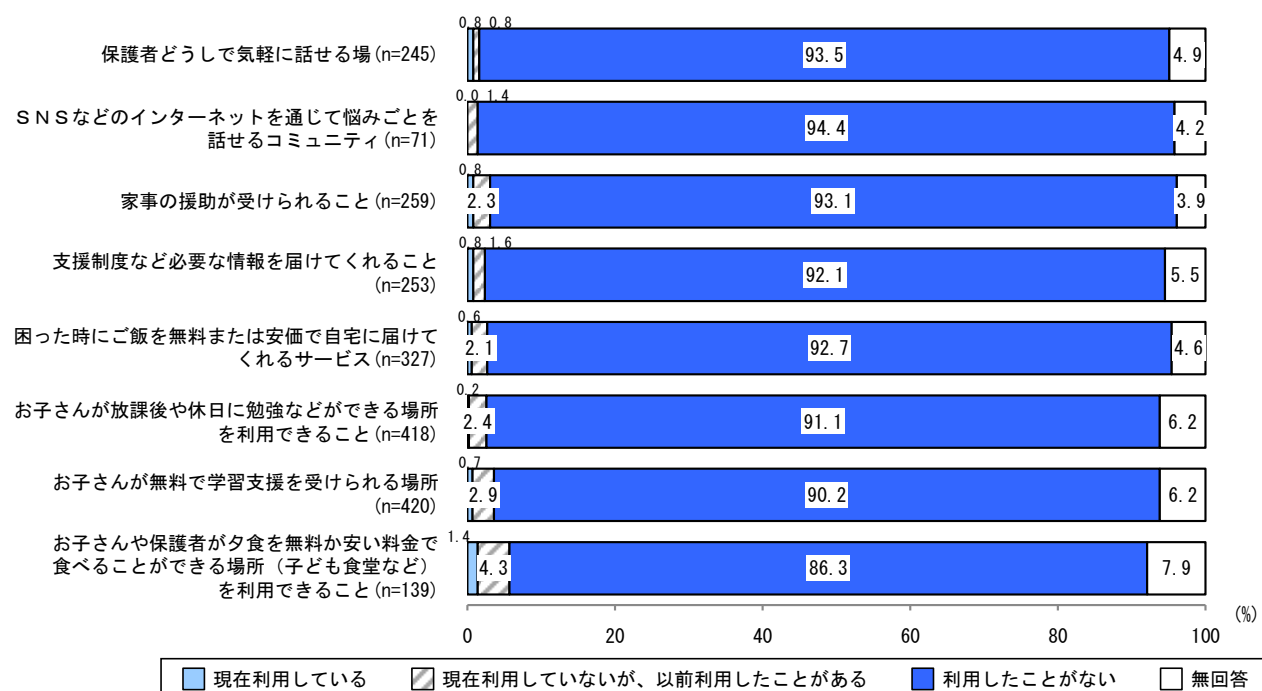


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用していないが、以前利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」と回答した割合が4.3%で最も高くなっている。

＜家庭状況（制度等）に関する考察＞

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が5.1%となっている。困窮度Ⅰ群では、29.7%、困窮度Ⅱ群では、7.2%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で41.1%、困窮度Ⅰ群で69%、困窮度Ⅱ群で0%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で0.2%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、0.9%、困窮度Ⅱ群では0%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付を必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の取り決めや受け取りをしている世帯は、全体で43.5%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で36.4%、困窮度Ⅱ群で100%となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

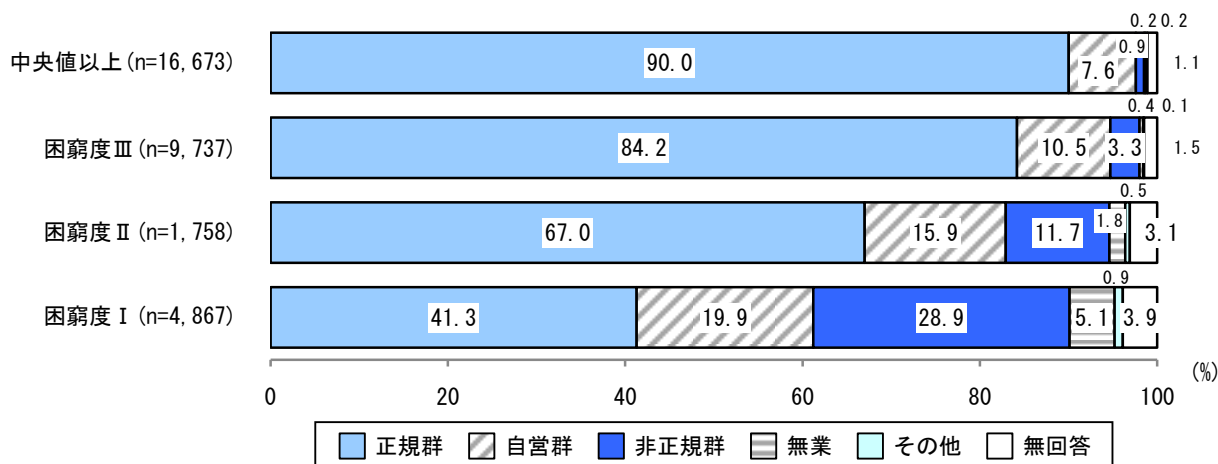
初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業は0%であるが、高等学校中途退学では33.3%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

家計を住居の所有状況別にみると「府営、市営の住宅」は他の住居形態の群と比べ、「赤字である」と回答した者の割合が33.3%と3割強を占める。家賃分の負担軽減の必要性が示されている。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全体>



<池田市>

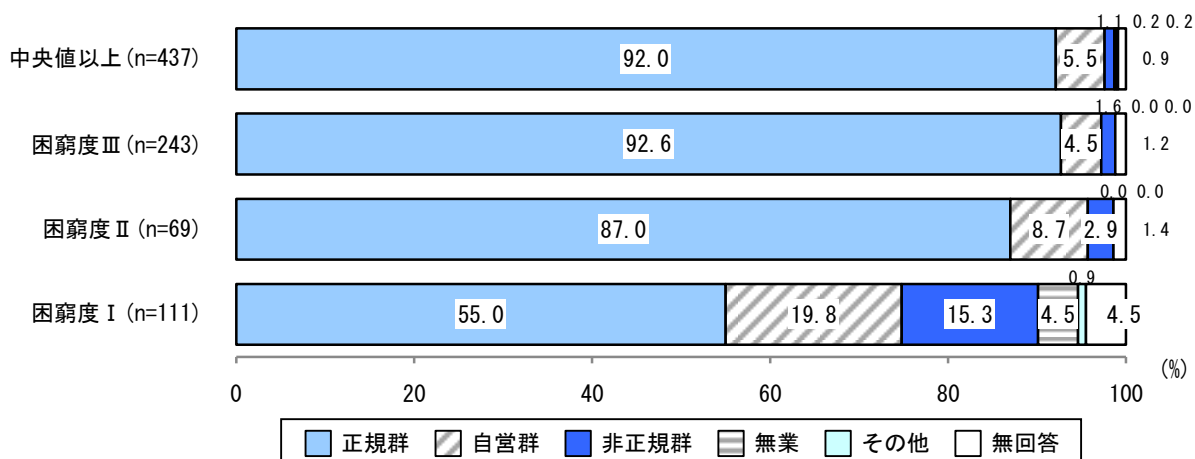


図 48. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度別に就労状況を見ると、「正規群」と回答した割合は、中央値以上群が92.0%であるのに対し、困窮度Ⅰ群は55.0%で低くなっている。

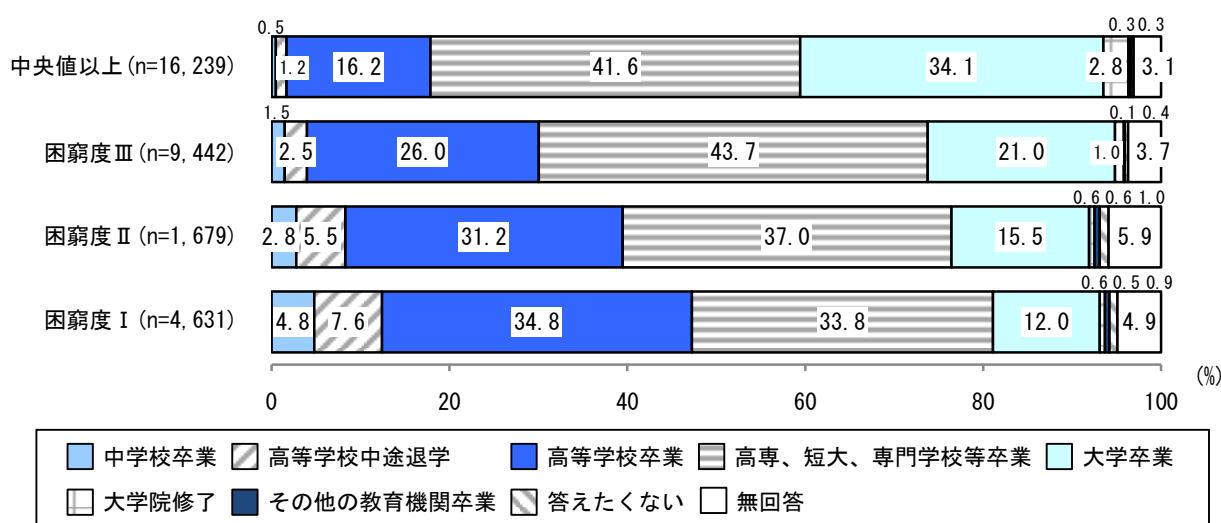
※分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）「無業」。
 上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<池田市>

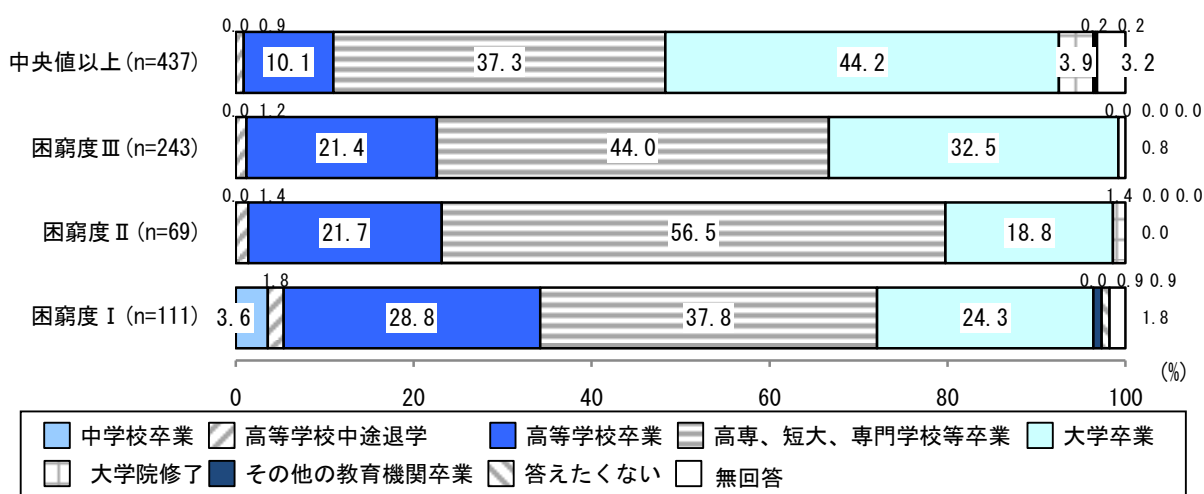
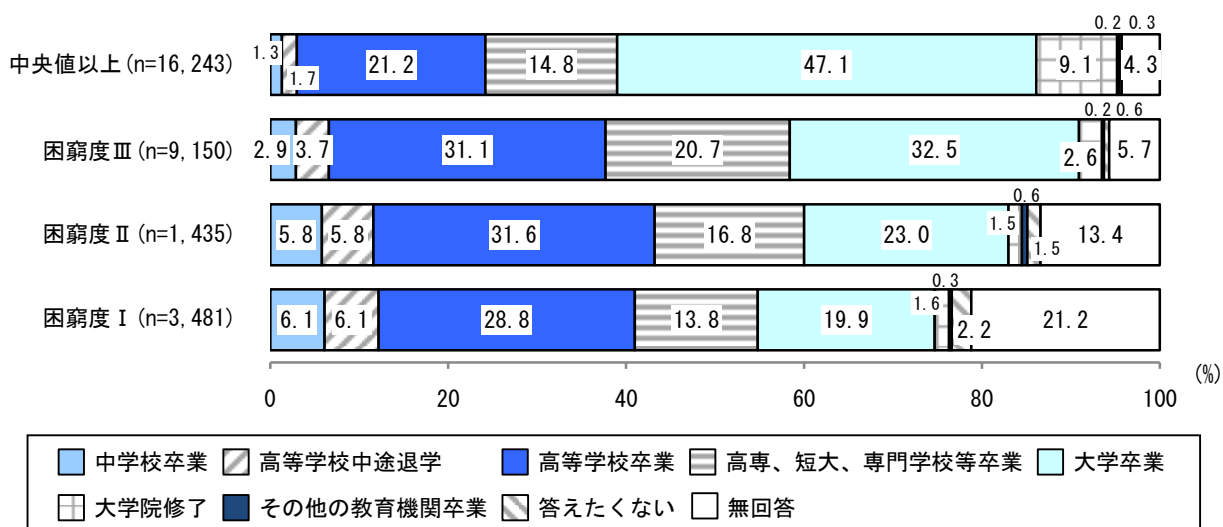


図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度が高くなるにつれ「高等学校卒業」と回答した割合が高くなっている。また、中央値以上群は「大学卒業」と回答した割合が44.2%であるのに対し、困窮度Ⅱ群は18.8%と低くなっている。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問8）

<大阪府内全体>



<池田市>

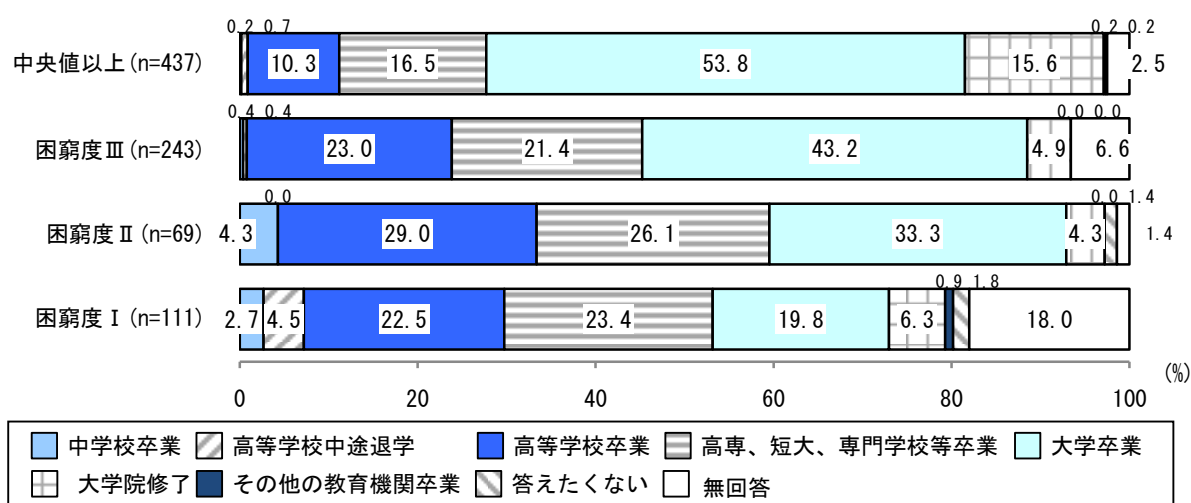
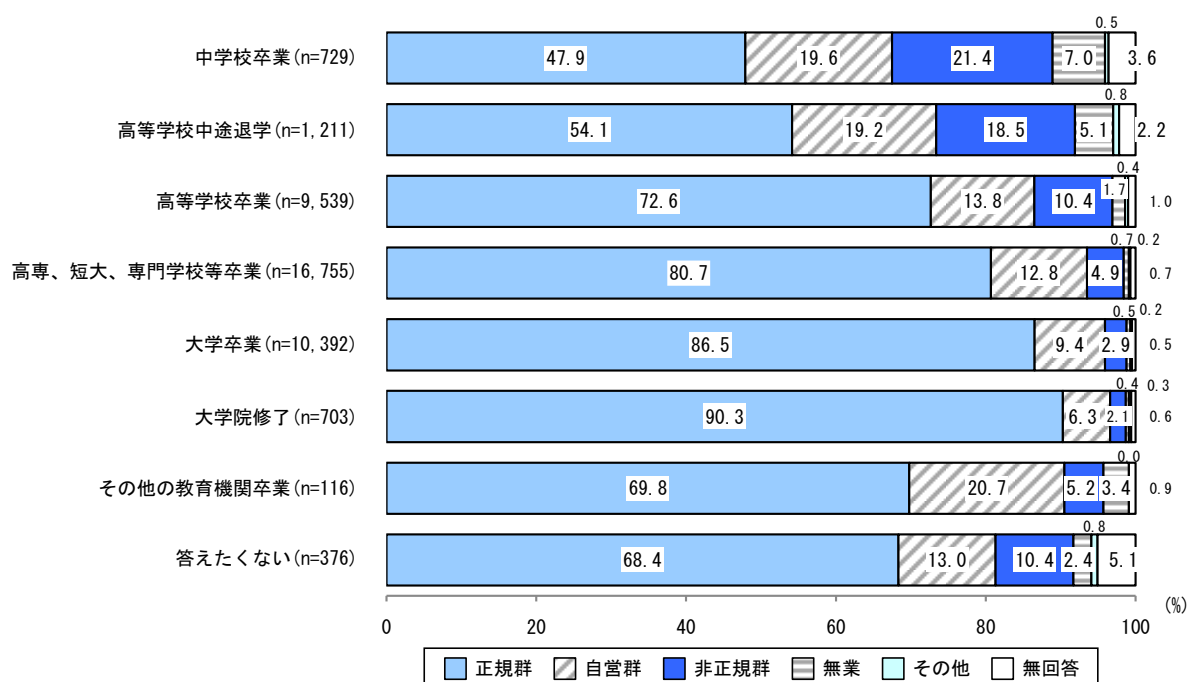


図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度が高くなるにつれ「大学卒業」と回答した割合が低くなっている。また、「中学校卒業」と回答した割合は、中央値以上群と困窮度Ⅲ群がそれぞれ0.2%・0.4%であるのに対し、困窮度Ⅱ群と困窮度Ⅰ群はそれぞれ4.3%・2.7%と高くなっている。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問 8 × 保護者票問 9）

<大阪府内全体>



<池田市>

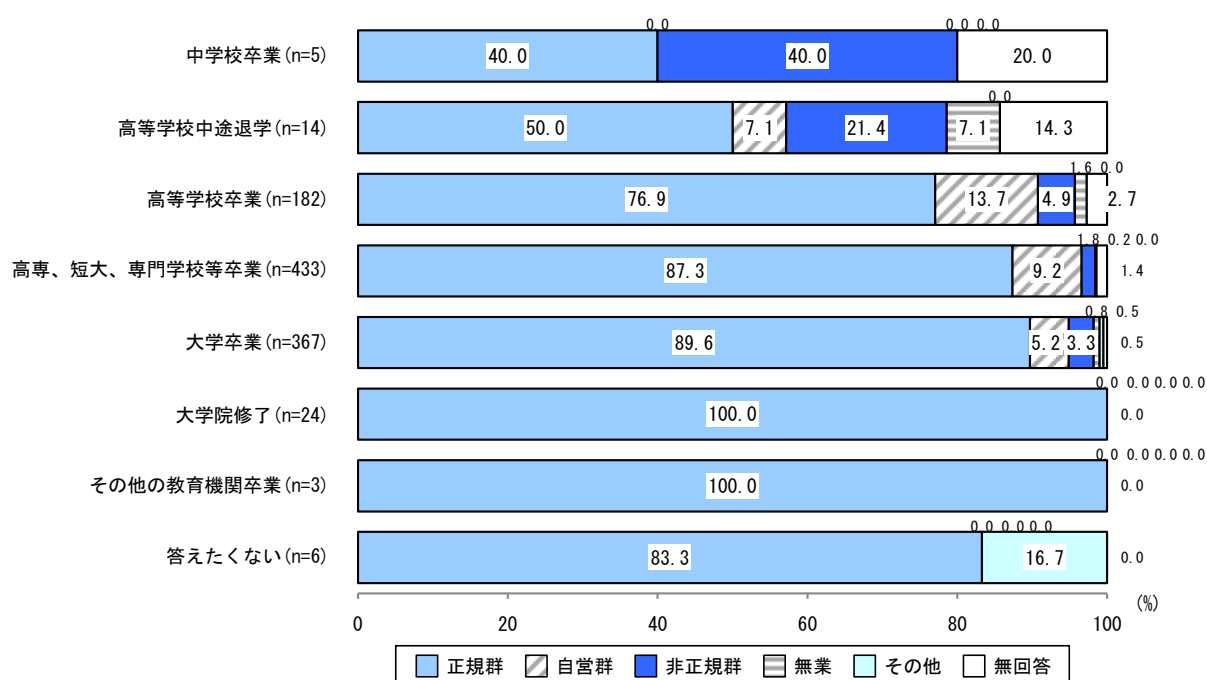
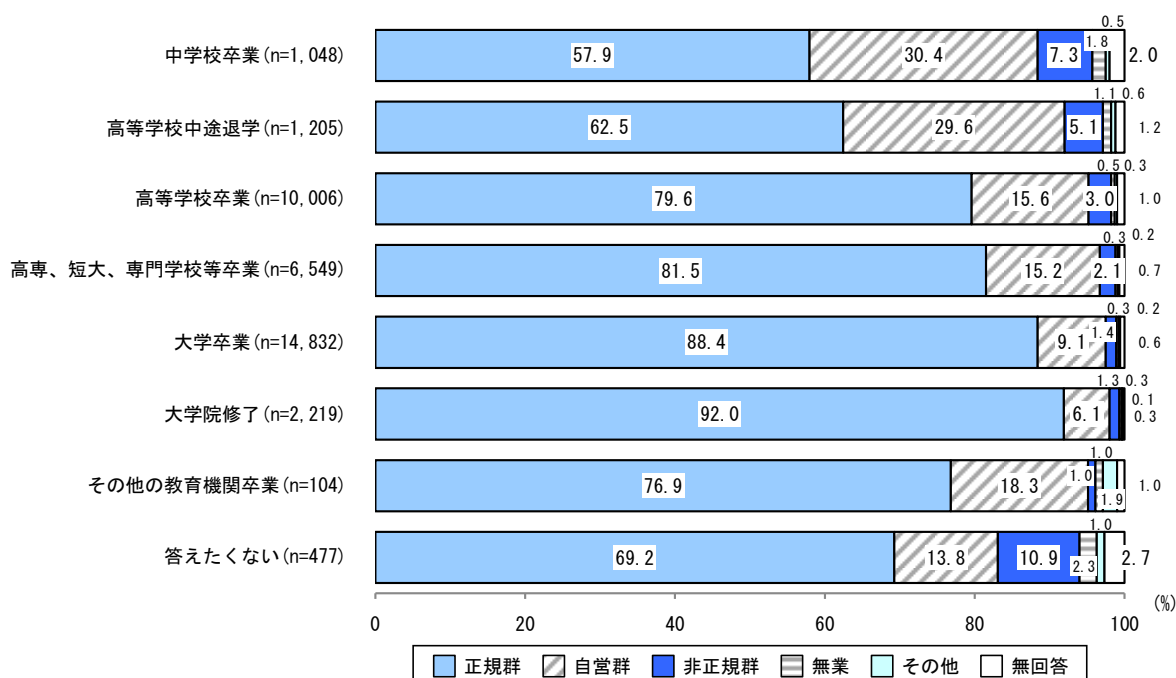


図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、母親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」と回答した割合が高くなっている。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問8×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<池田市>

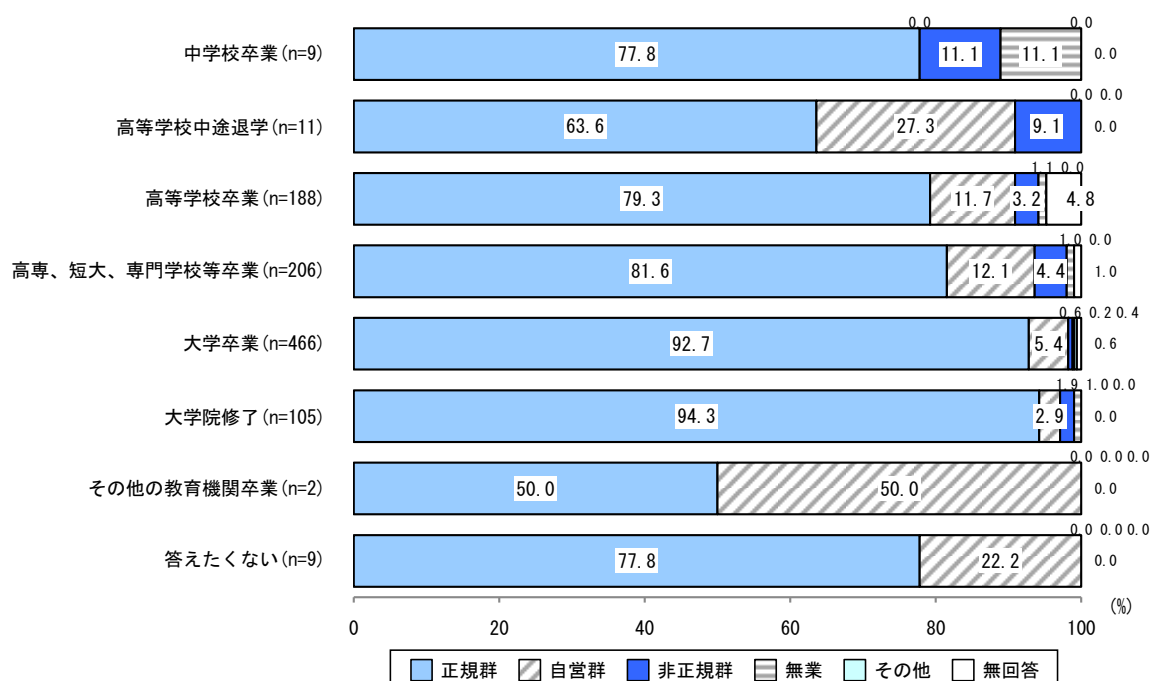
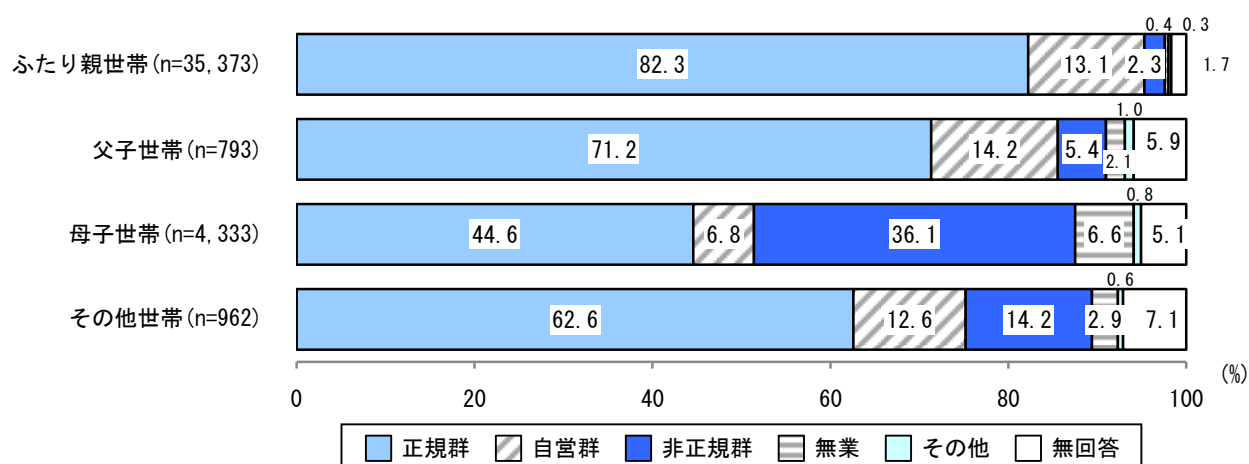


図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、父親の最終学歴に関わらず「正規群」と回答した割合が半数以上を占め、大学卒業、大学院卒業はそれぞれ92.7%・94.3%と特に高くなっている。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問2×保護者票問9）

<大阪府内全体>



<池田市>

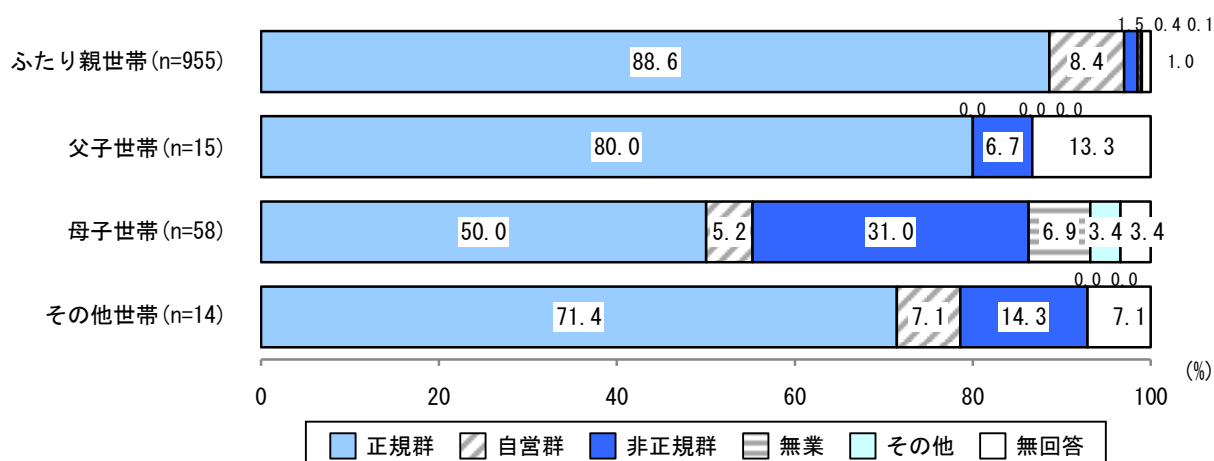
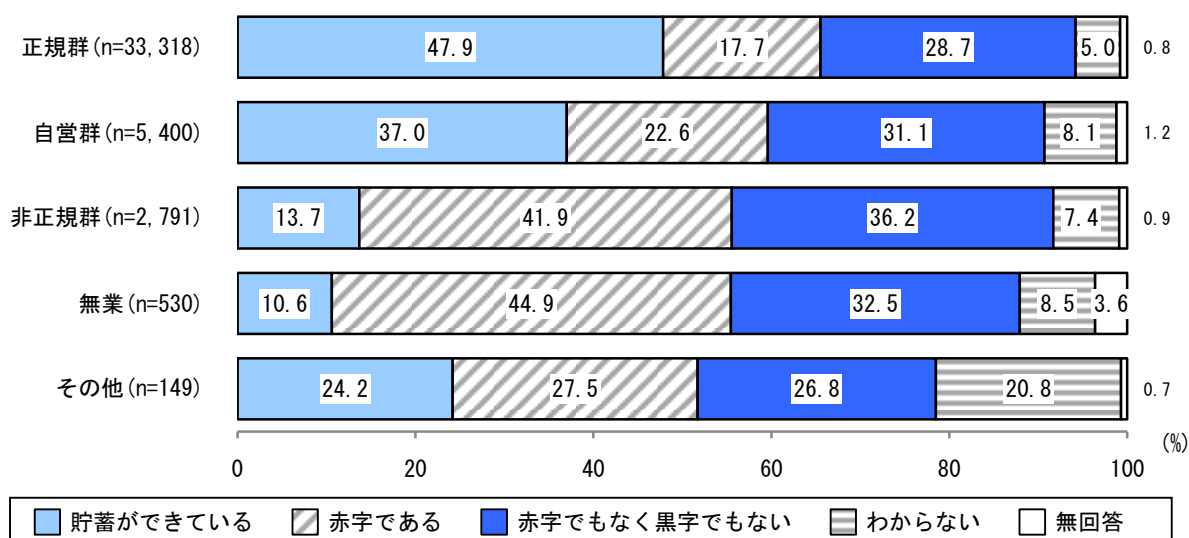


図 53. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、母子世帯では「非正規群」と回答した割合が31.0%であるのに対し、ふたり親世帯では1.5%と低くなっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問9×保護者票問6(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

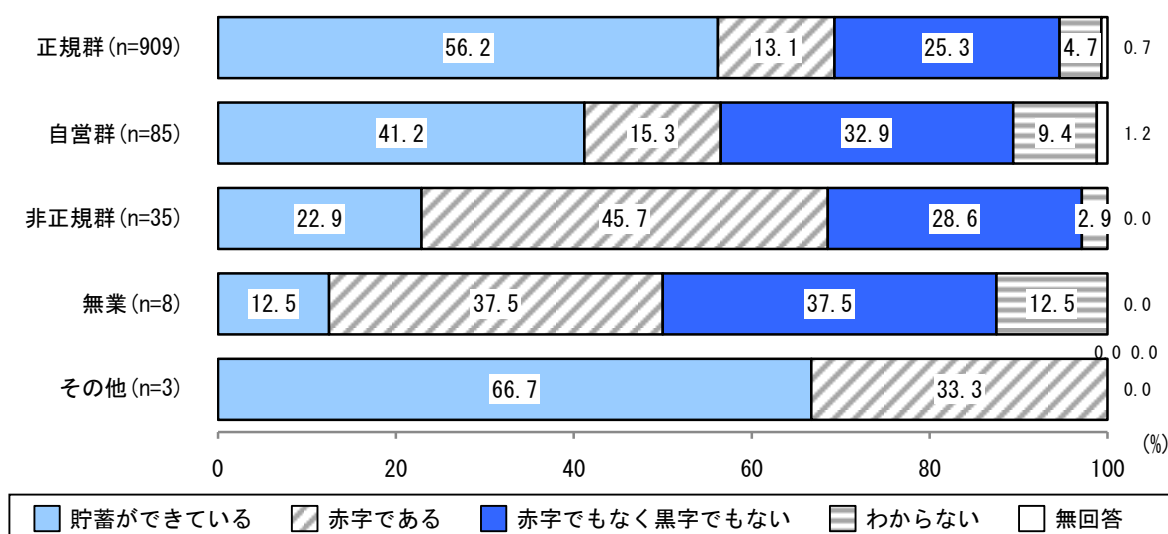


図 54. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、正規群では「貯蓄ができています」と回答した割合が56.2%と半数以上を占めており、非正規群は「赤字である」と回答した割合が45.7%と最も高くなっている。

<雇用に関する考察>

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。まず、親の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（92.0%対55.0%）が37ポイント高く、大きな差が確認できる。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（15.3%対1.1%）が14ポイント高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（28.8%対10.1%）は18ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（44.2%対24.3%）は約2倍である。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（22.5%対10.3%）は約12ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（53.8%対19.8%）は約3倍であり、「大学院卒業」群（15.6%対6.3%）は約10ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（89.6%対76.9%）が約13ポイント高くなっている。また、父親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（92.7%対79.3%）が約13ポイント高くなっている。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

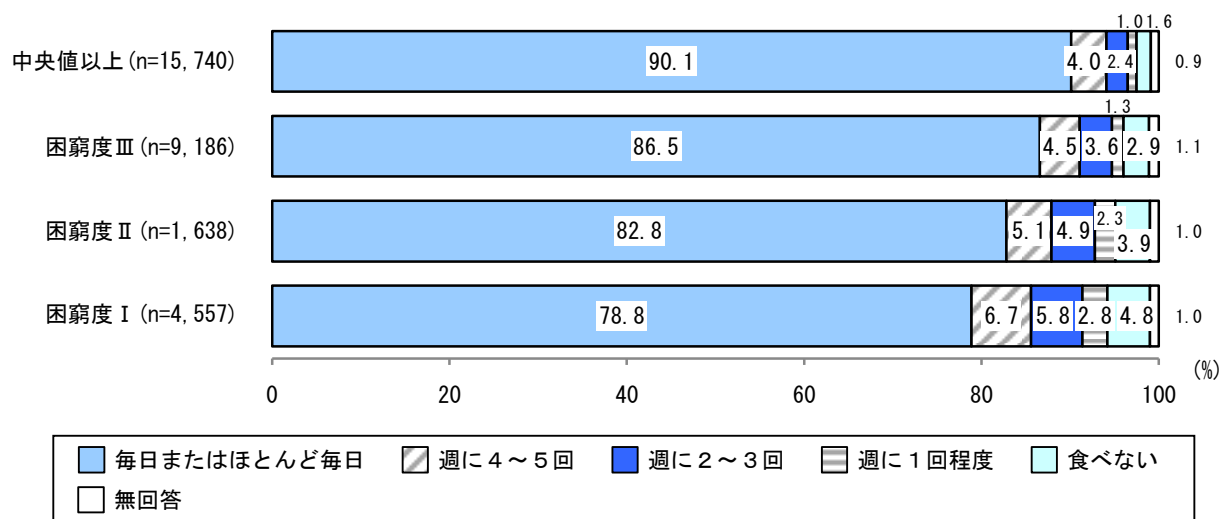
親の就労状況を世帯構成別に見ると、ふたり親世帯は母子世帯に比べ、「正規」群（88.6%対50.0%）が38ポイント以上高くなっている。また、父子世帯は母子世帯に比べ、「正規」群（80.0%対50.0%）が30ポイント高く、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。一方で、母子世帯は「非正規」群（31.0%）の割合がその他の世帯構成に比べ非常に高くなっており、不安定な就労状況にあることを示唆している。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。親の就労状況別に見ると、「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（56.2%対22.9%）は約33ポイント高くなっている。また、親の就労状況別で見ると、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（45.7%対13.1%）は約3倍である。この結果から、保護者の就労状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

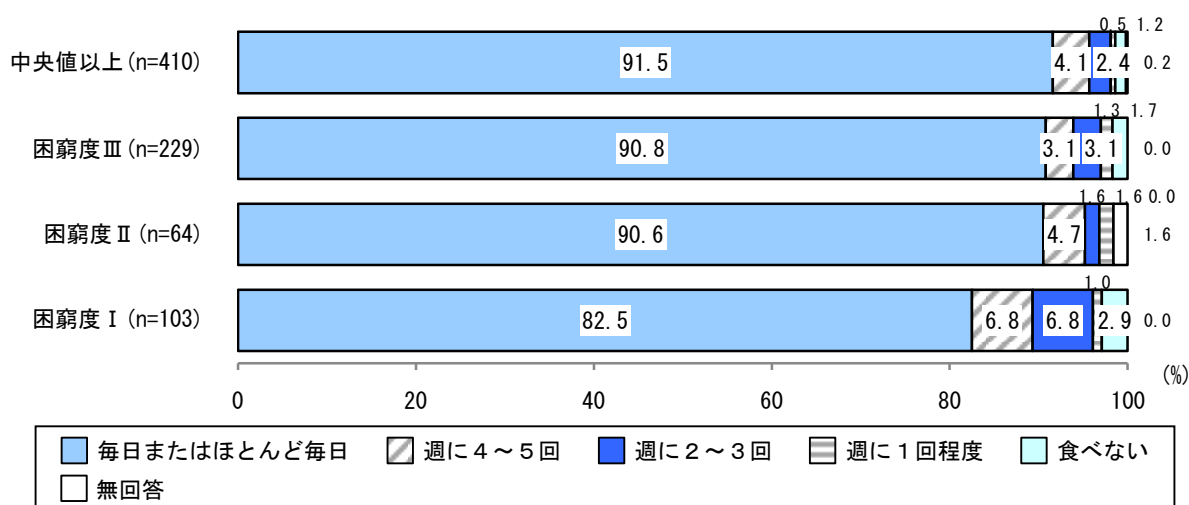
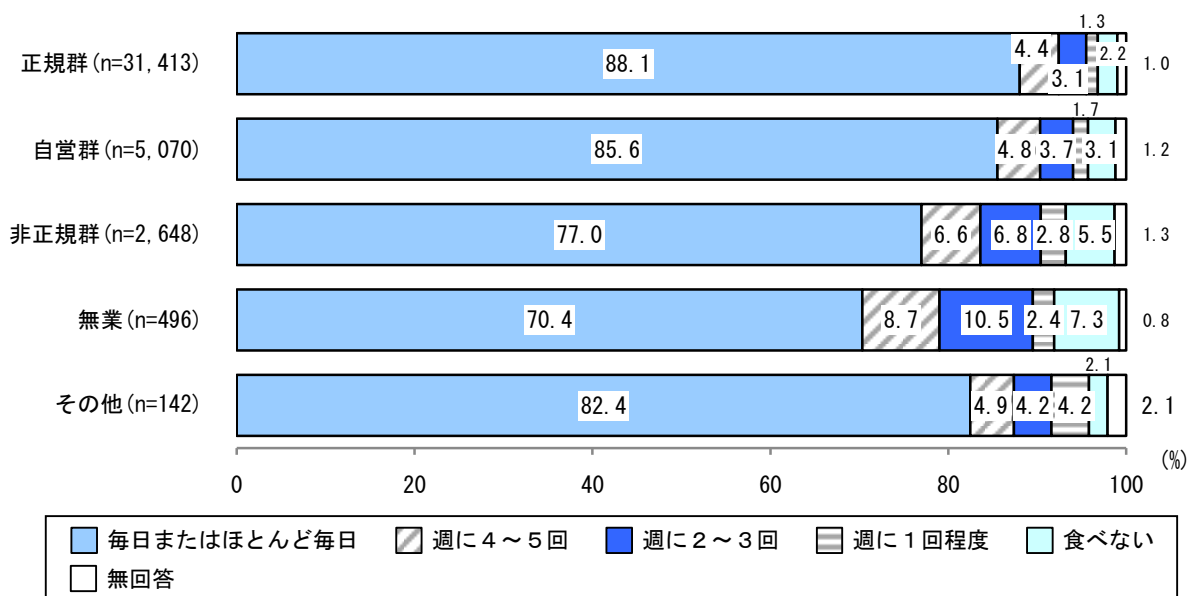


図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「毎日またはほとんど毎日」と回答した割合は低くなっている。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問4(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

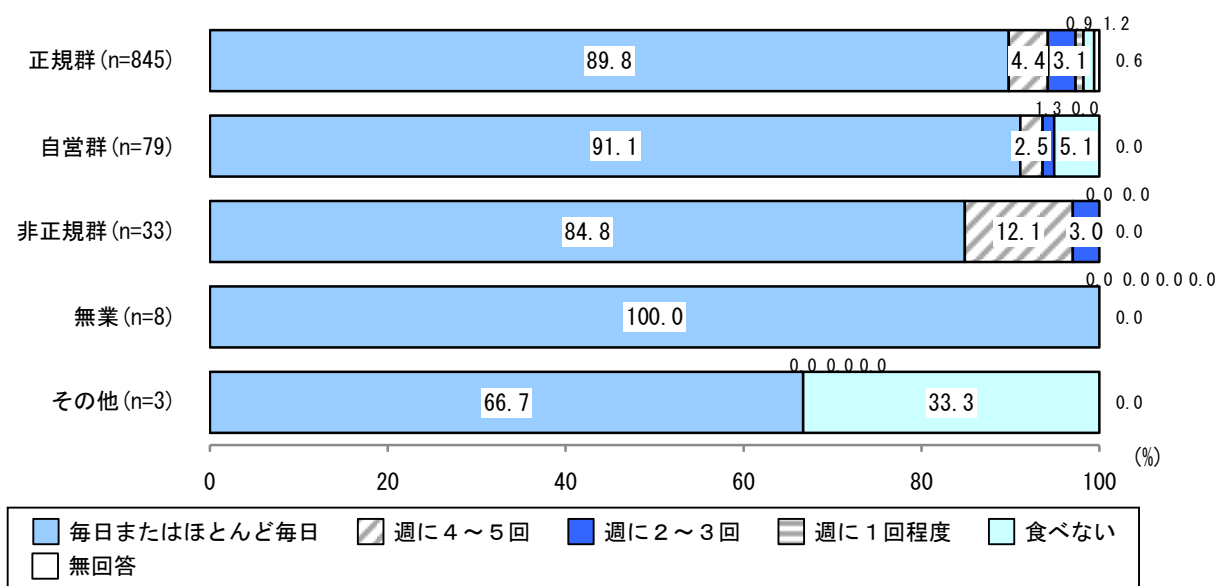
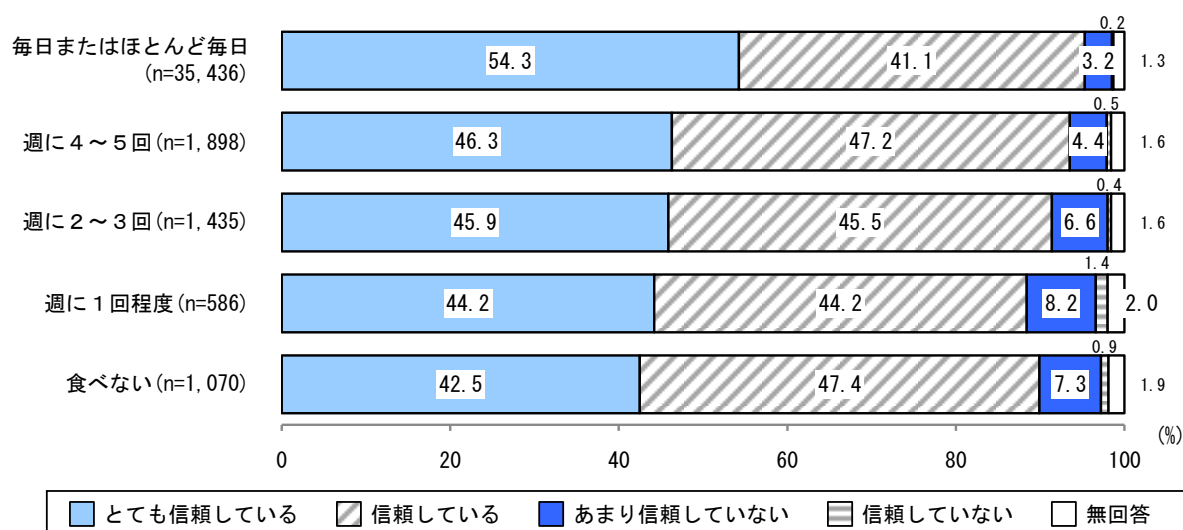


図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「食べない」と回答した割合は、自営群が5.1%で、最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問4(1)×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

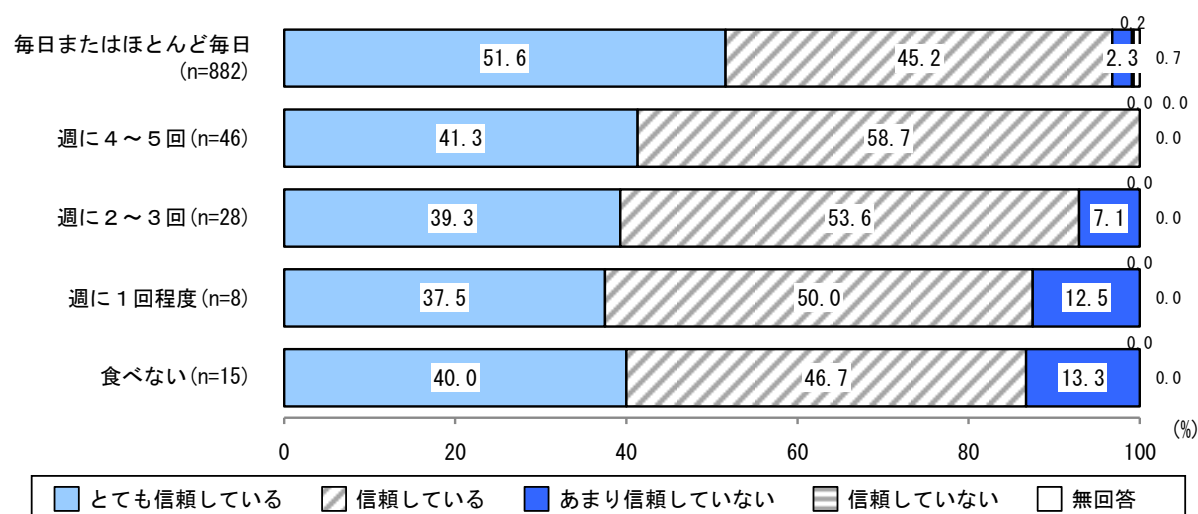
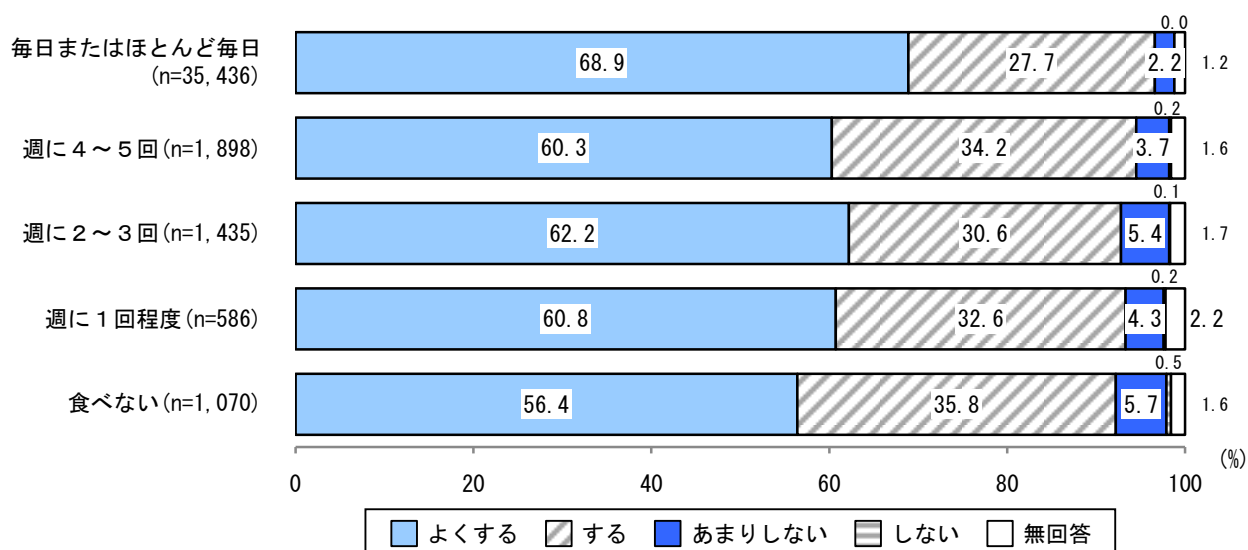


図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、朝食を食べない人を除くと、朝食の頻度が低くなるにつれ、「とても信頼している」と回答した割合が低くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

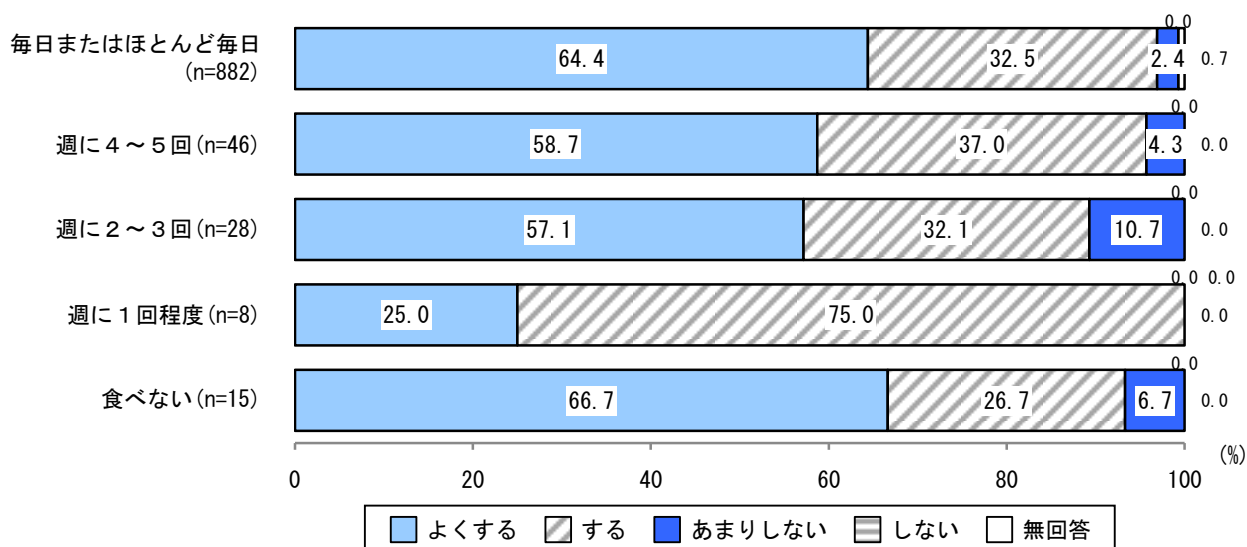
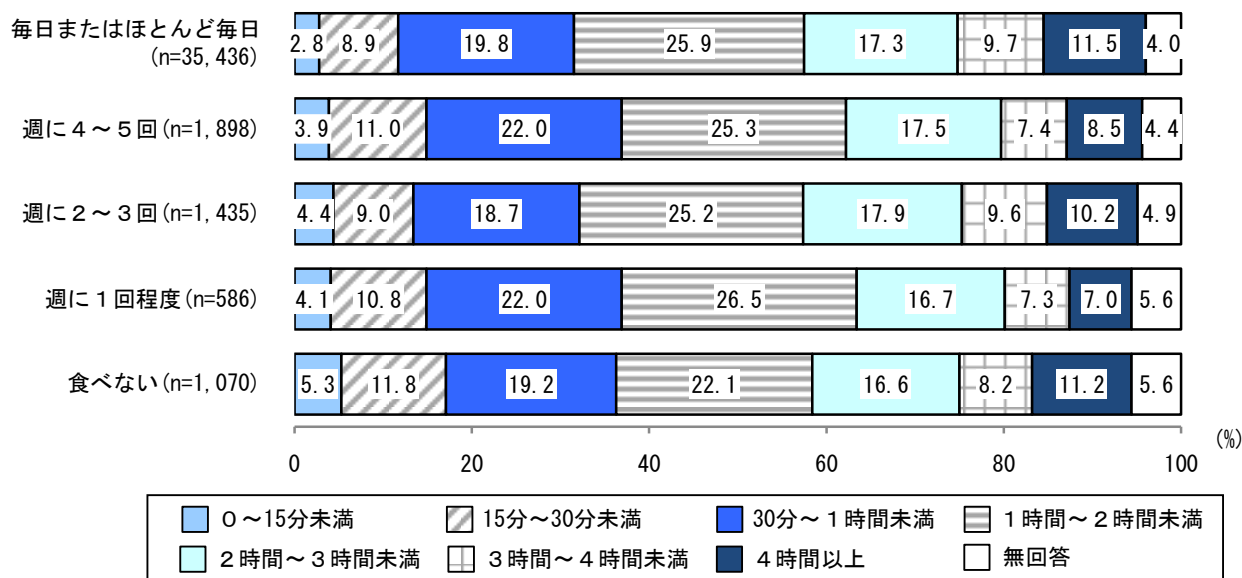


図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、朝食を食べない人を除くと、朝食の頻度が低くなるにつれ、「よくする」と回答した割合が低くなっている。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

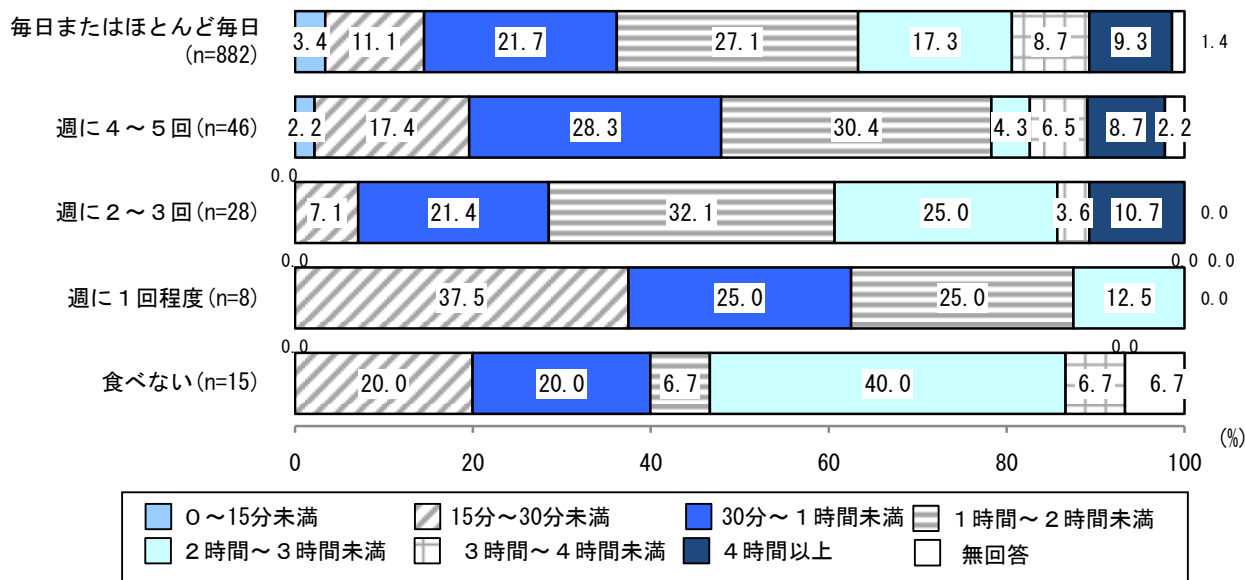
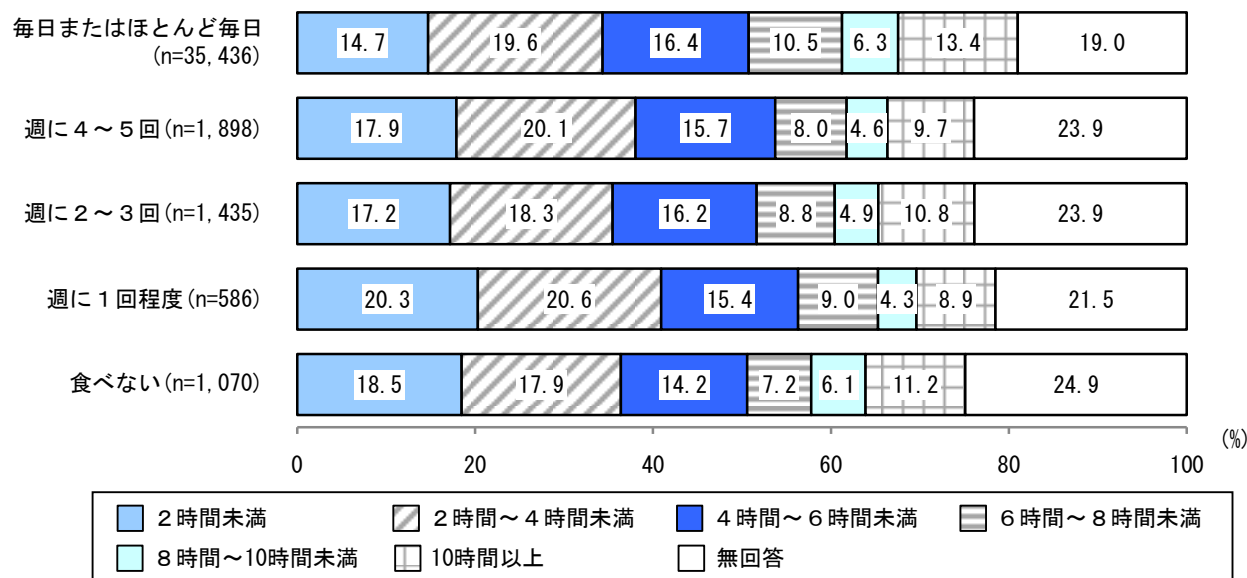


図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食の頻度が週に1回程度、または朝食を食べない人には、「4時間以上」の回答がみられない。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問4(1)×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

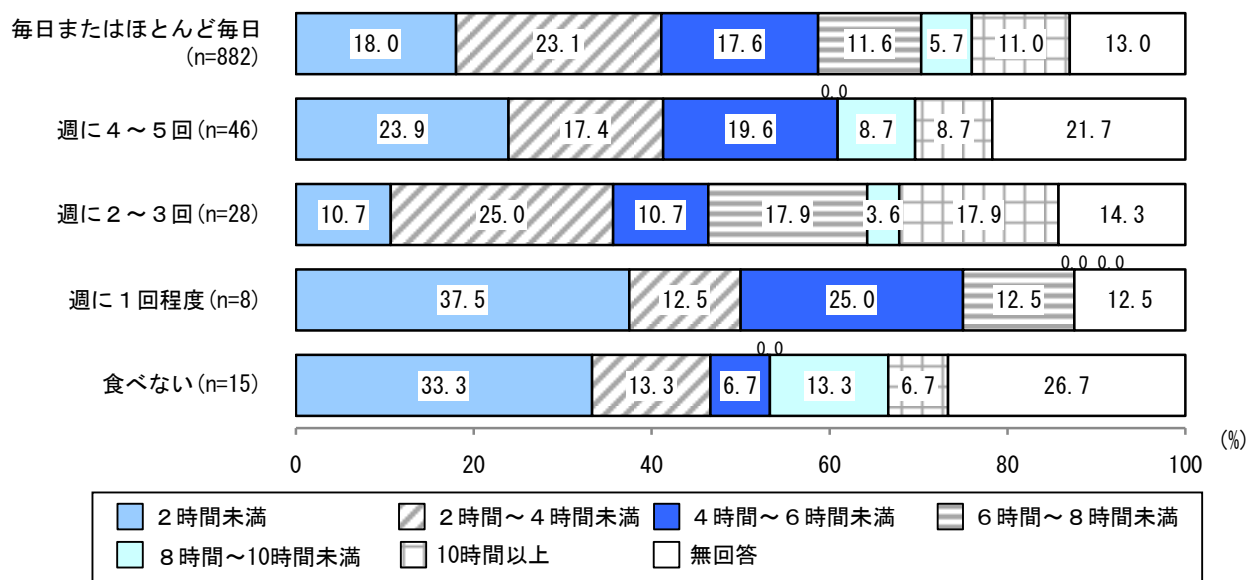
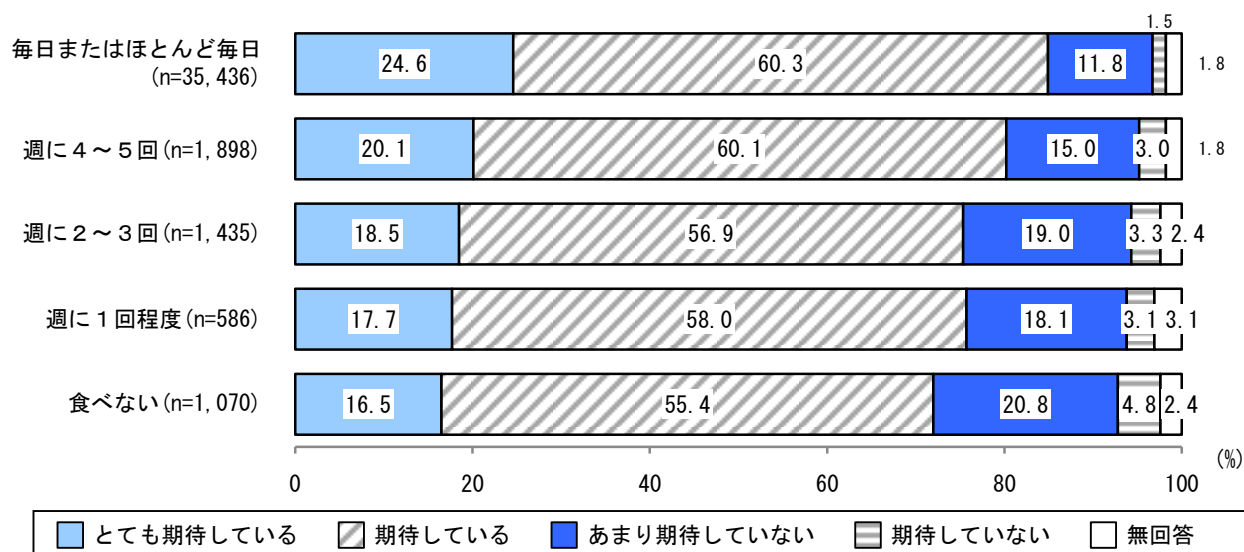


図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、朝食の頻度が週に1回程度、朝食を食べない人は、「2時間未満」と回答した割合がそれぞれ37.5%・33.3%で、週2日以上朝食を食べる人よりも高くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 4 (1) × 保護者票問 13 (4)）

<大阪府内全体>



<池田市>

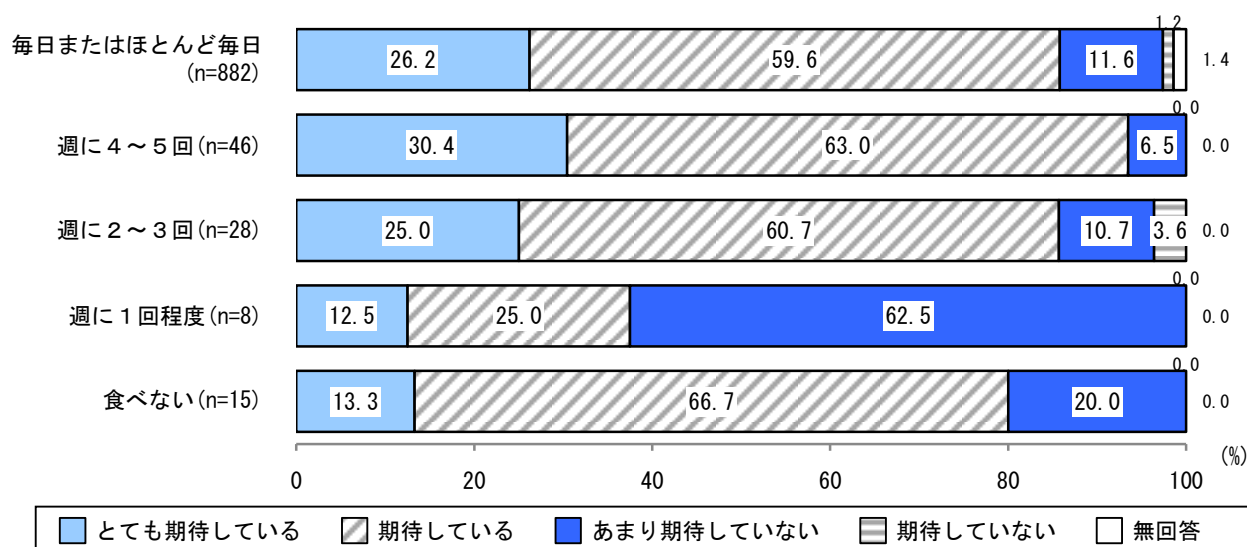


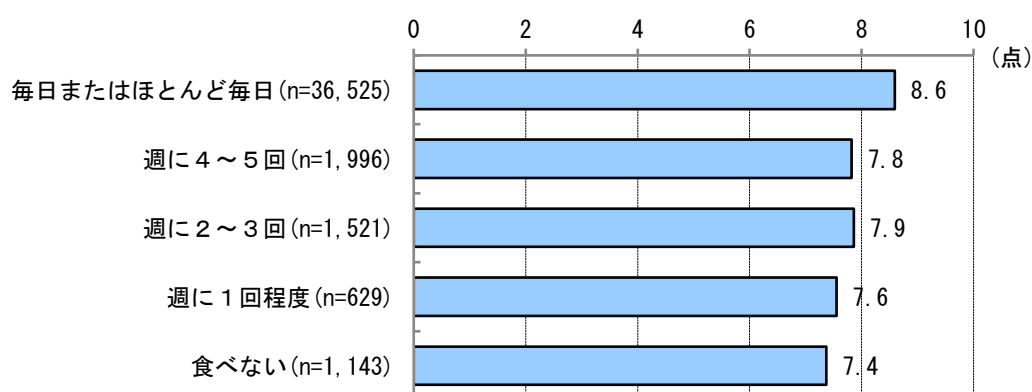
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、朝食の頻度が週に1回程度の人には子どもの将来への期待度が37.5%（「とても期待している」12.5%、「期待している」25.0%）で、最も低くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問4（1）×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全体>



<池田市>

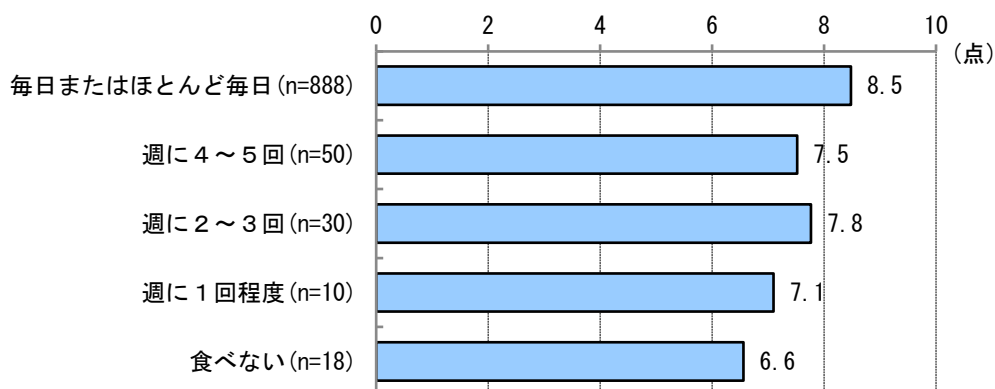
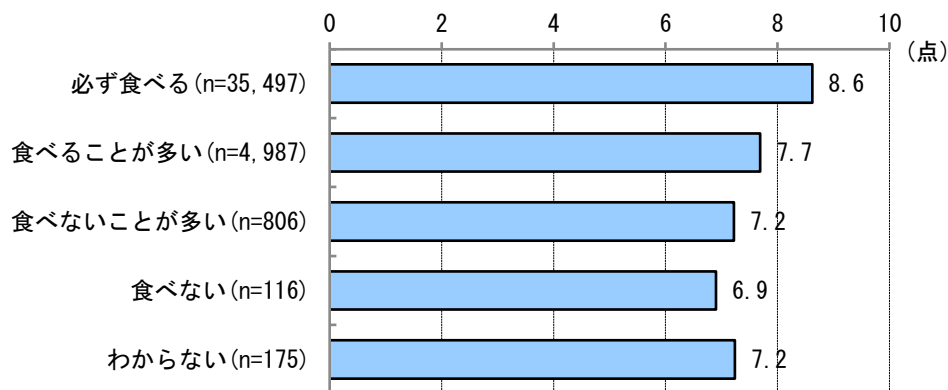


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べている人は8.5点であるのに対し、「食べない」人は6.6点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べている人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問6(1)×子ども票問23)

<大阪府内全体>



<池田市>

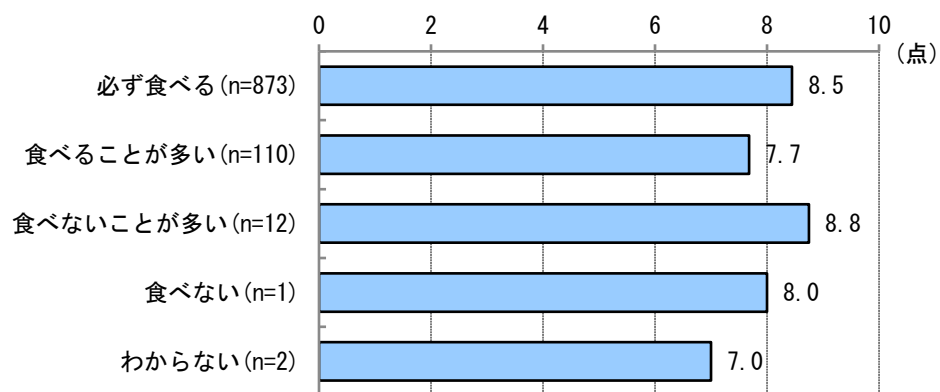
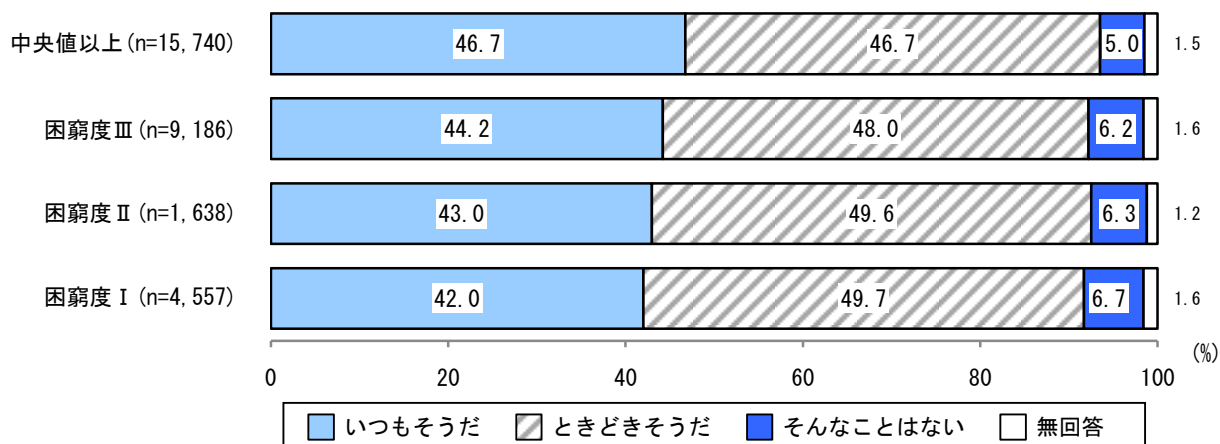


図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.5点であるのに対して、「食べない」と回答した人は8.0点と、昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある
(子ども票問 19①)

<大阪府内全体>



<池田市>

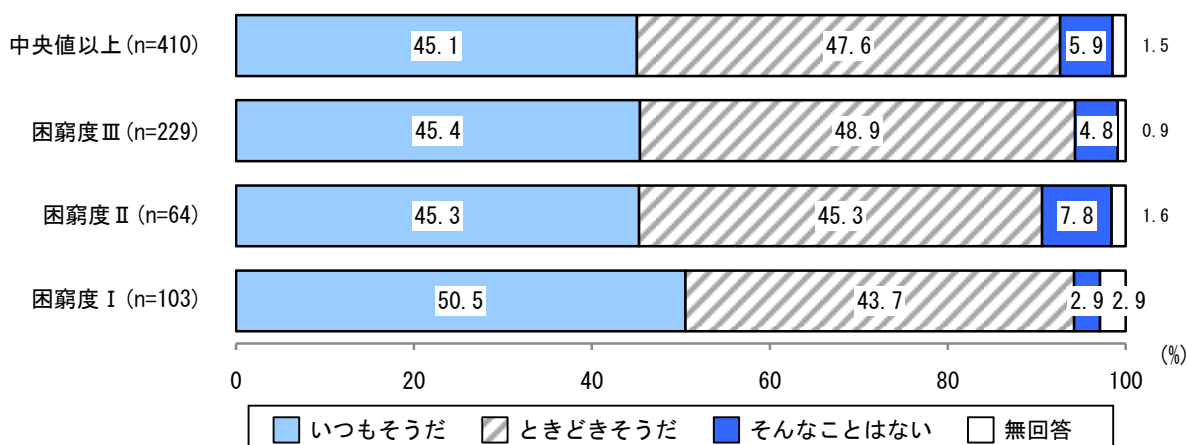
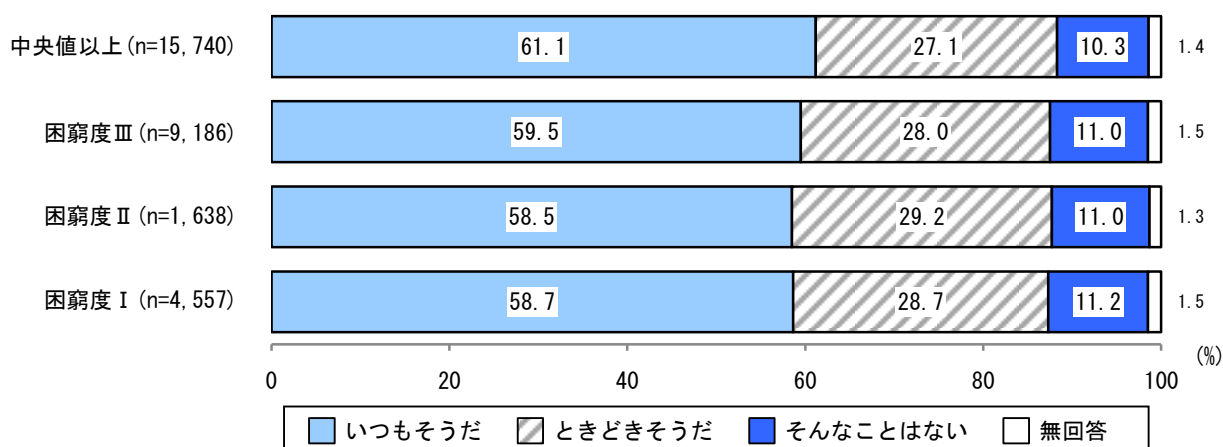


図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、困窮度Ⅰ群のみ、「いつもそうだ」と回答した割合が半数以上を占めている。「そんなことはない」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が7.8%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ(子ども票問 19②)

<大阪府内全体>



<池田市>

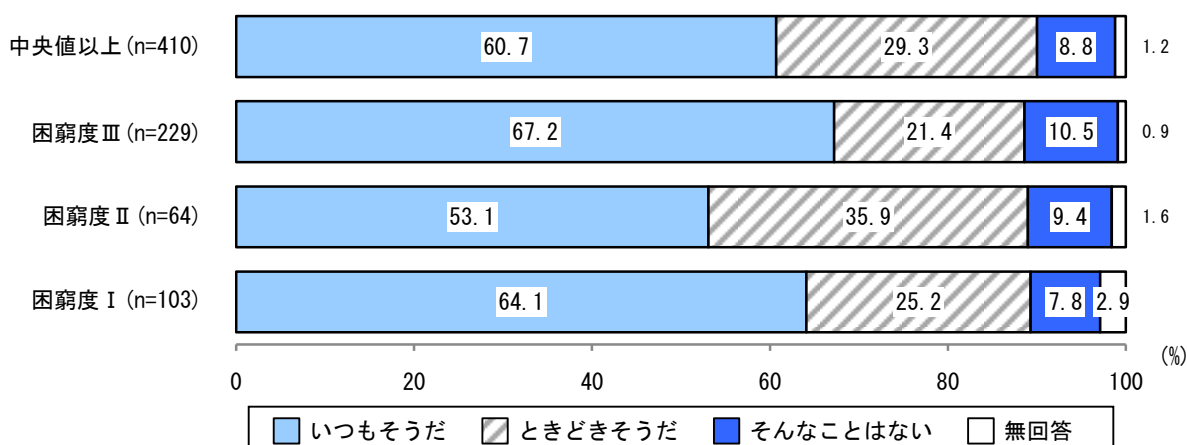
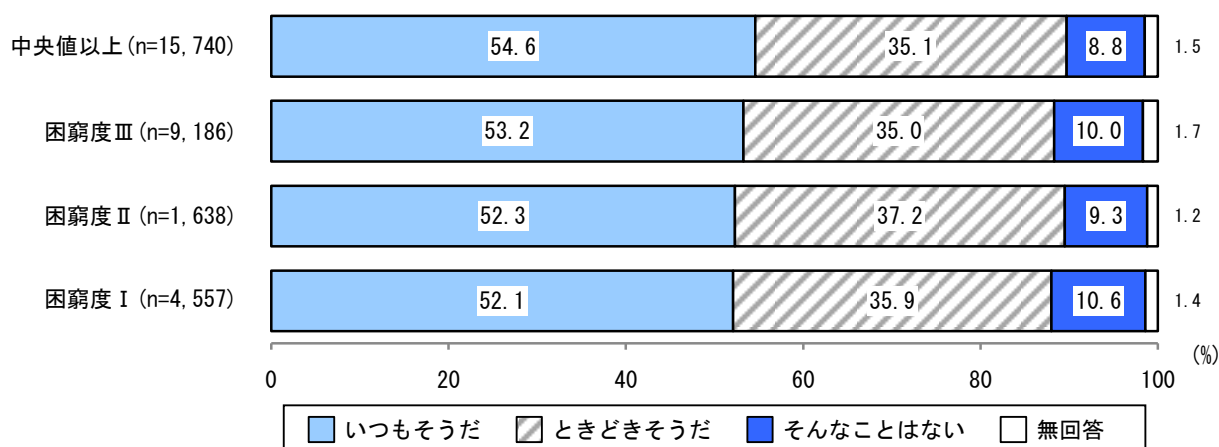


図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、困窮度Ⅱ群のみ、「いつもそうだ」と回答した割合が53.1%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

<大阪府内全体>



<池田市>

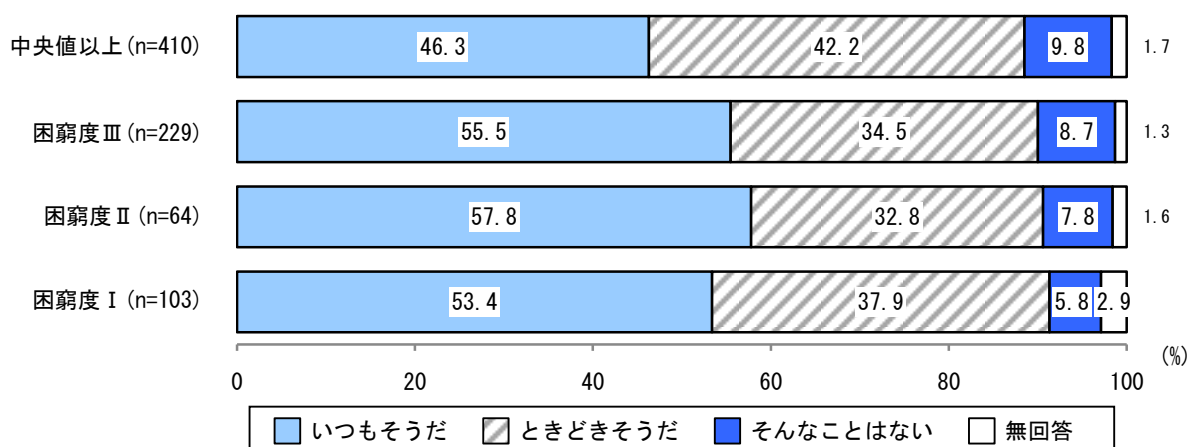
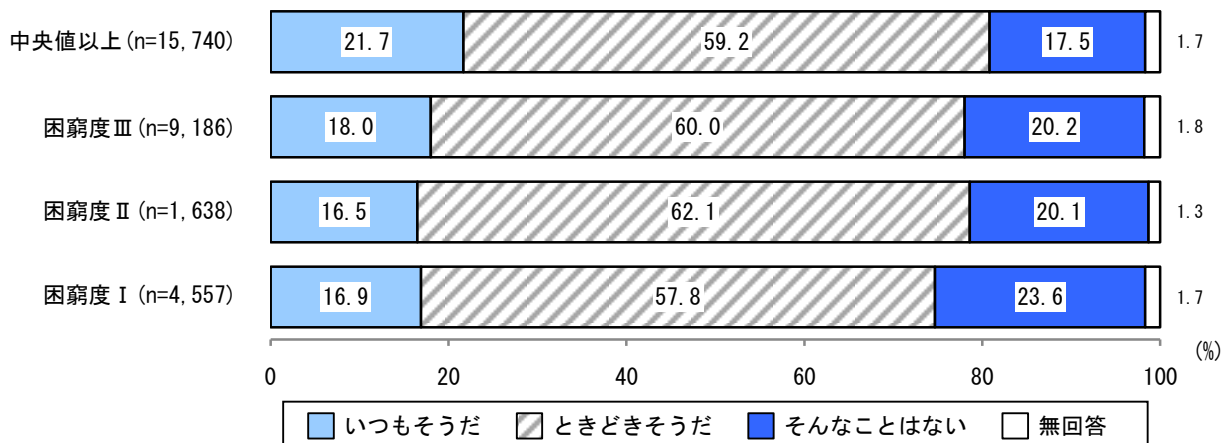


図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が57.8%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる
(子ども票問 19④)

<大阪府内全体>



<池田市>

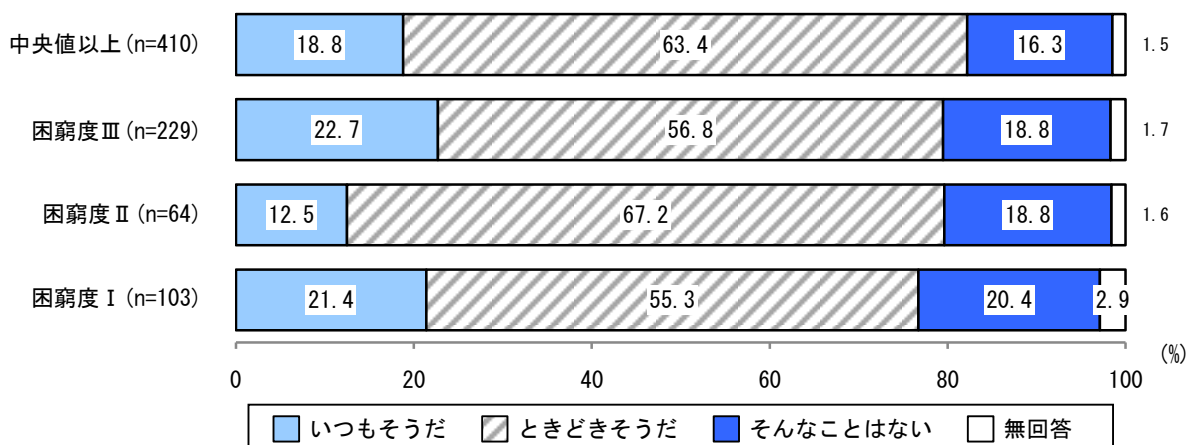
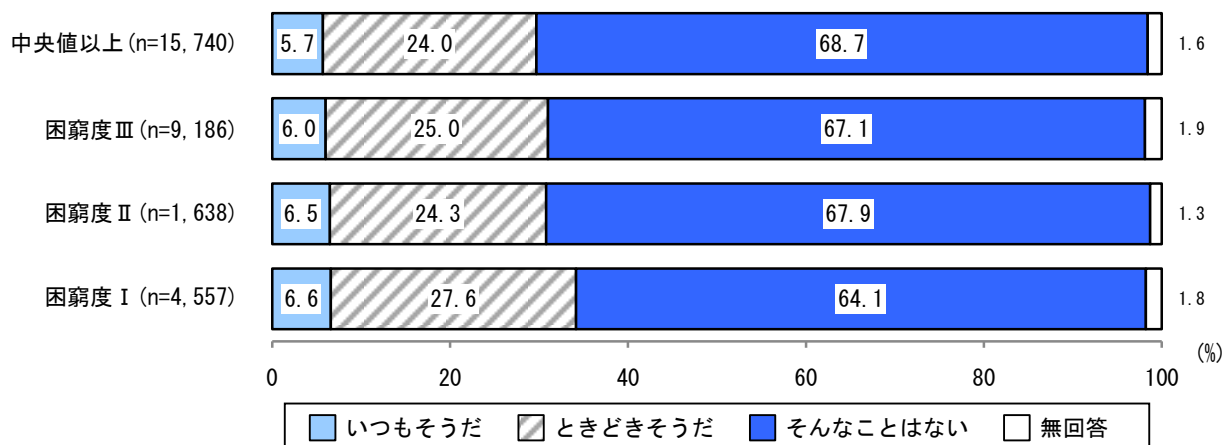


図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、困窮度が高くなるにつれ、「そんなことはない」と回答した割合が高くなっている。また、「いつもそうだ」と回答した割合は、中央値以上群が16.3%と最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする
(子ども票問 19⑤)

<大阪府内全体>



<池田市>

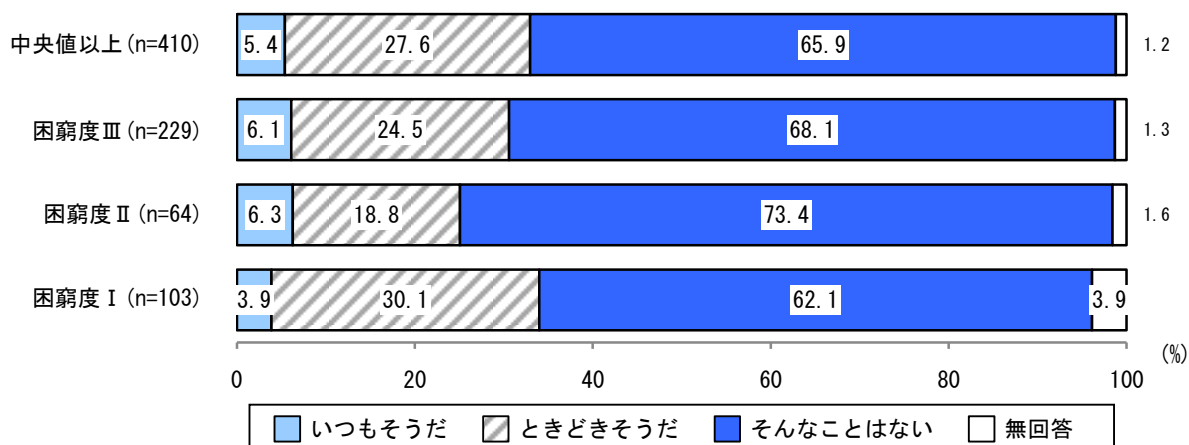
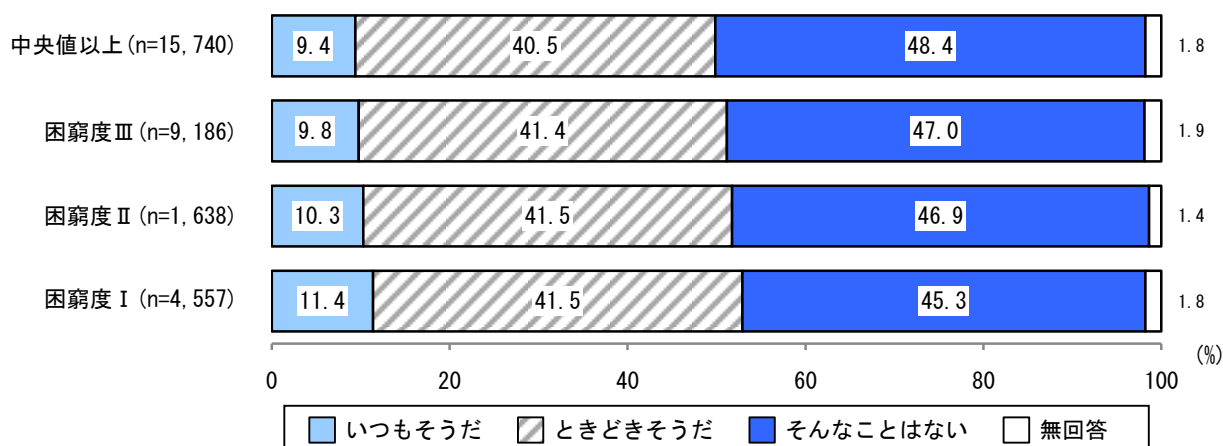


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「そんなことはない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が62.1%で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

<大阪府内全体>



<池田市>

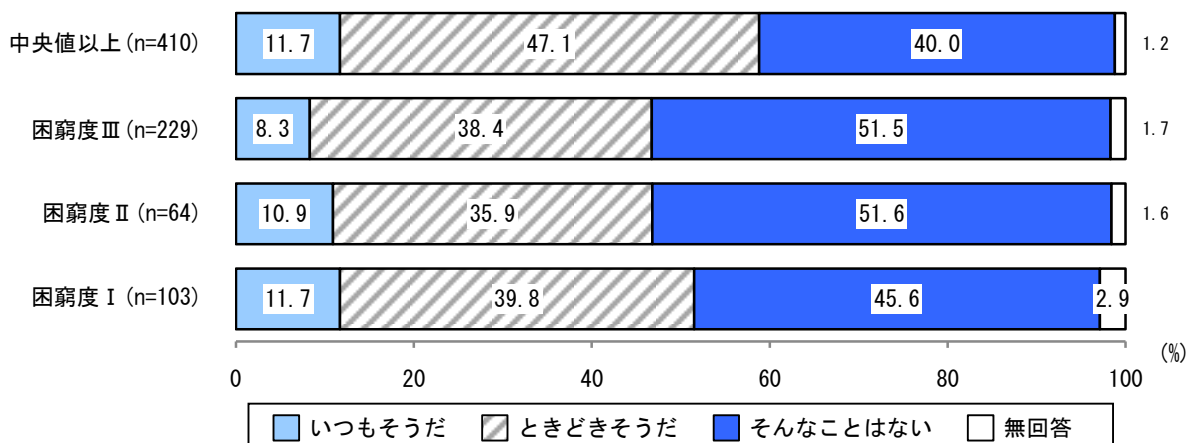
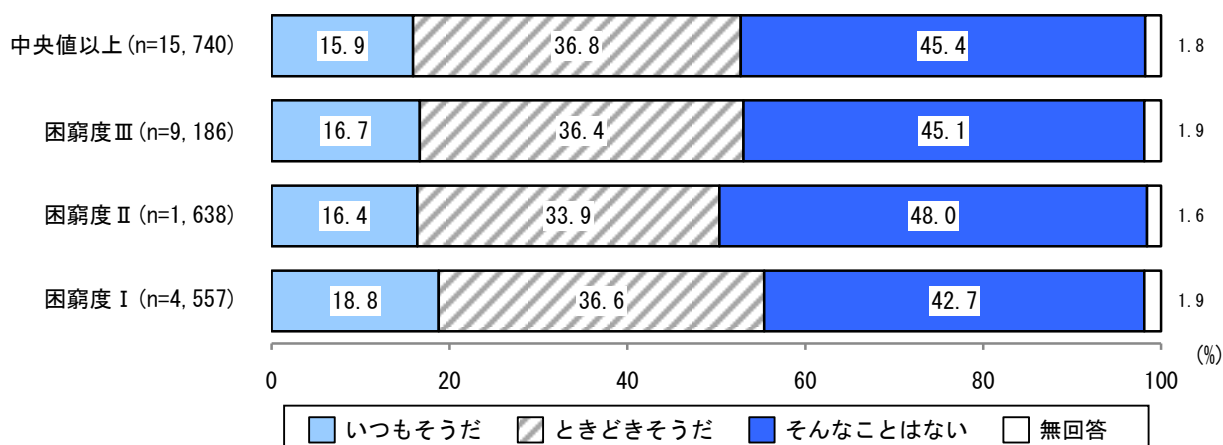


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、中央値以上群は「そんなことはない」と回答した割合が40.0%で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

<大阪府内全体>



<池田市>

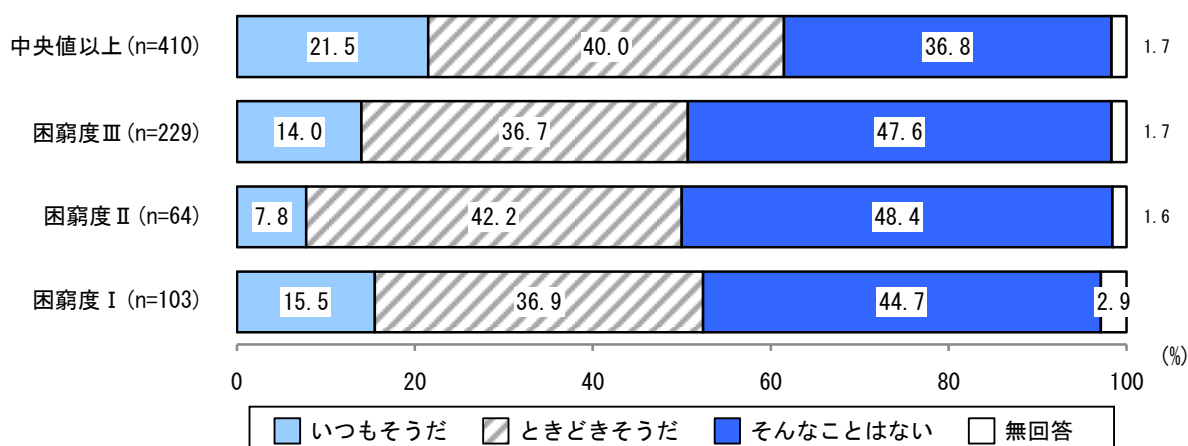
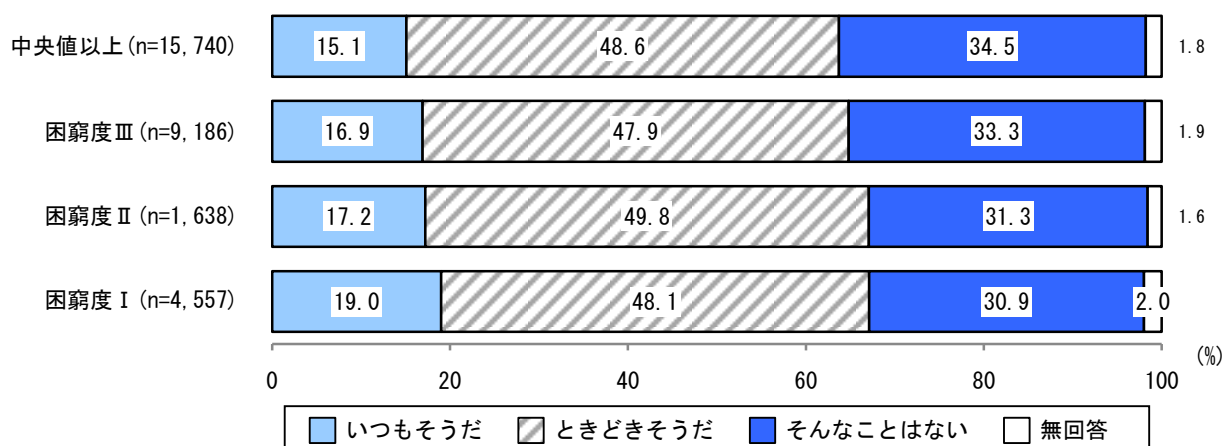


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した割合は、中央値以上群が21.5%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

<大阪府内全体>



<池田市>

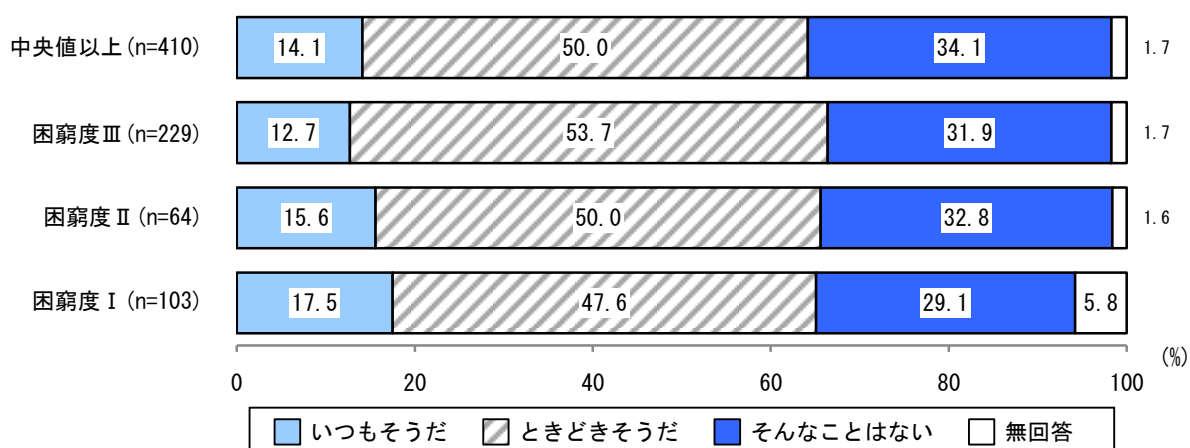
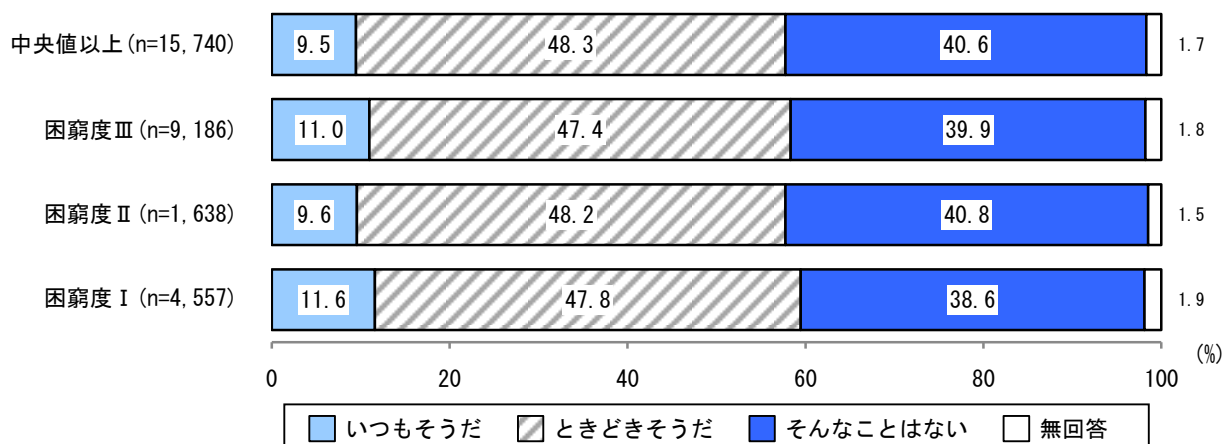


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が17.5%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

<大阪府内全体>



<池田市>

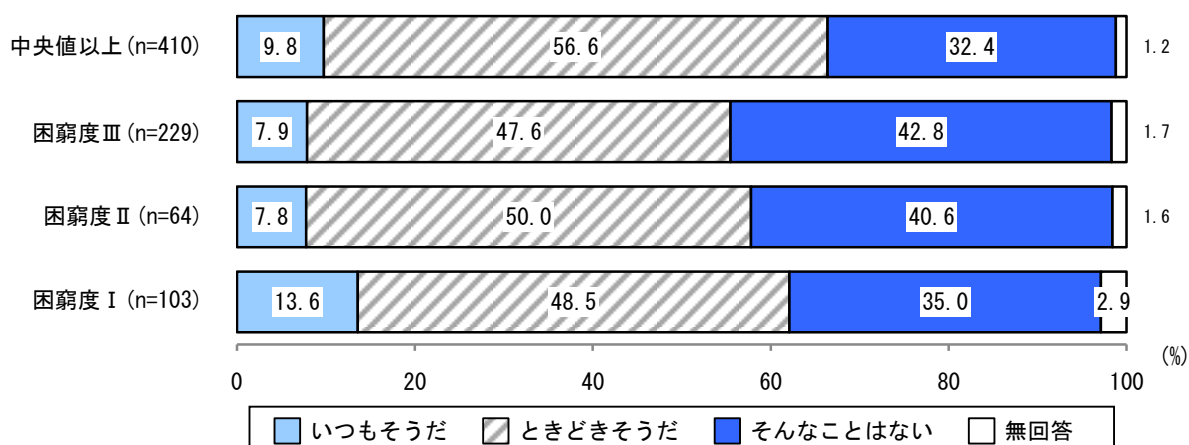
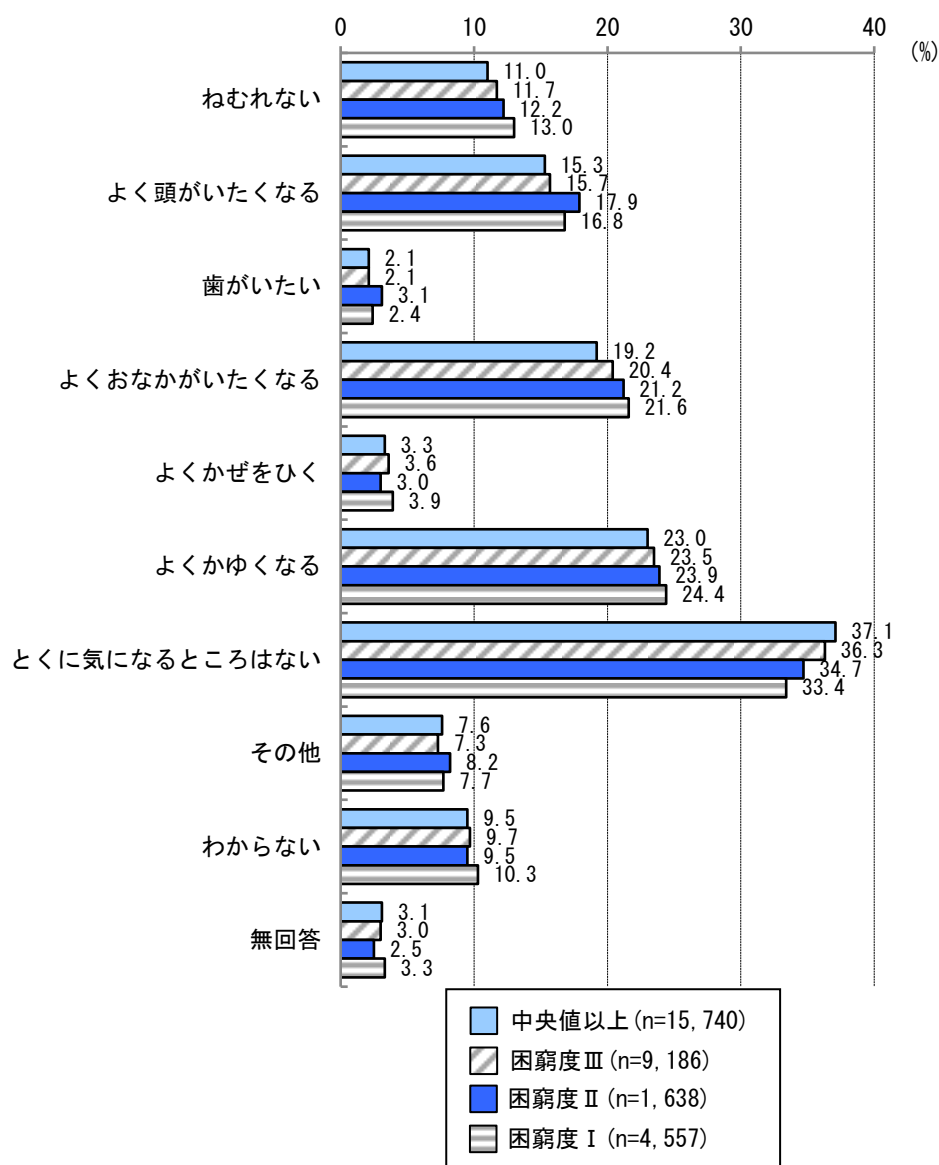


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそう」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が13.6%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

<大阪府内全体>



<池田市>

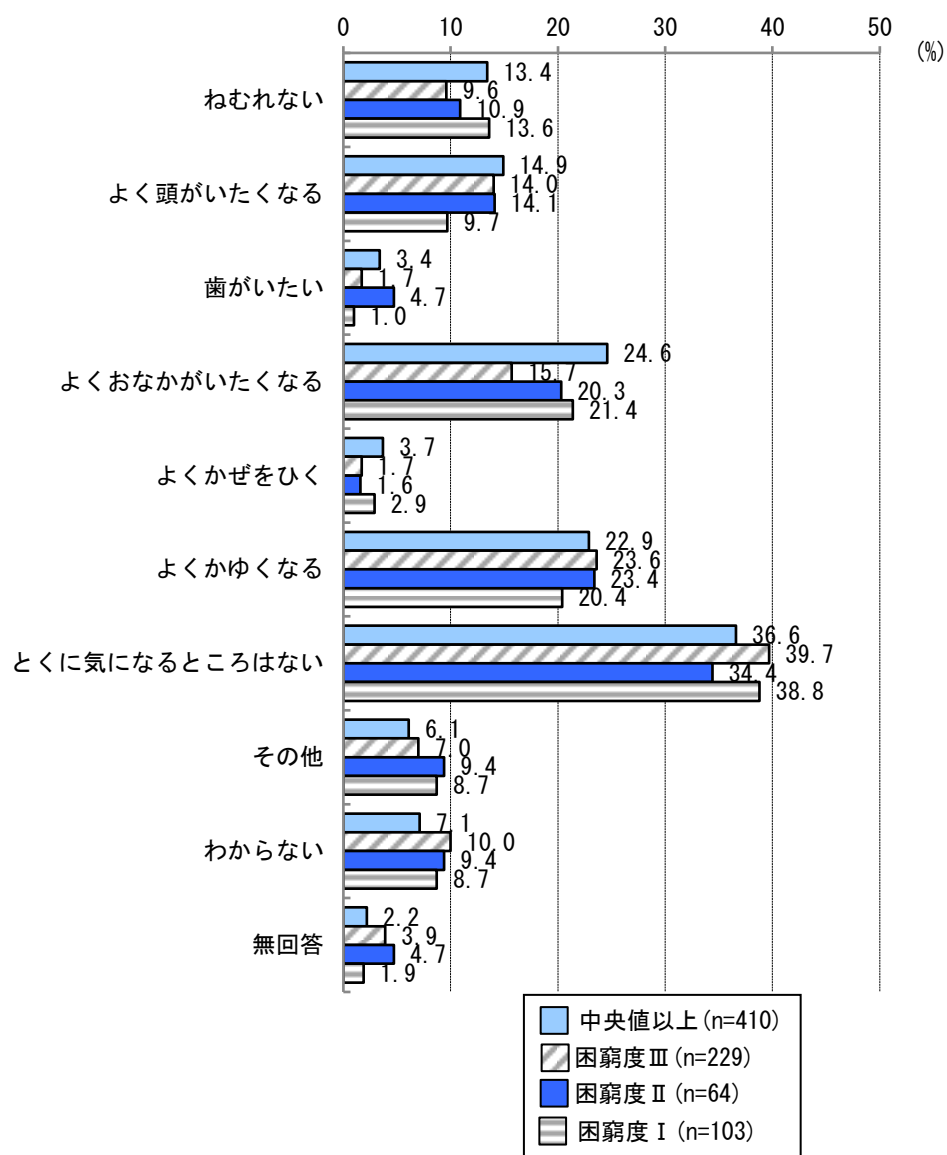
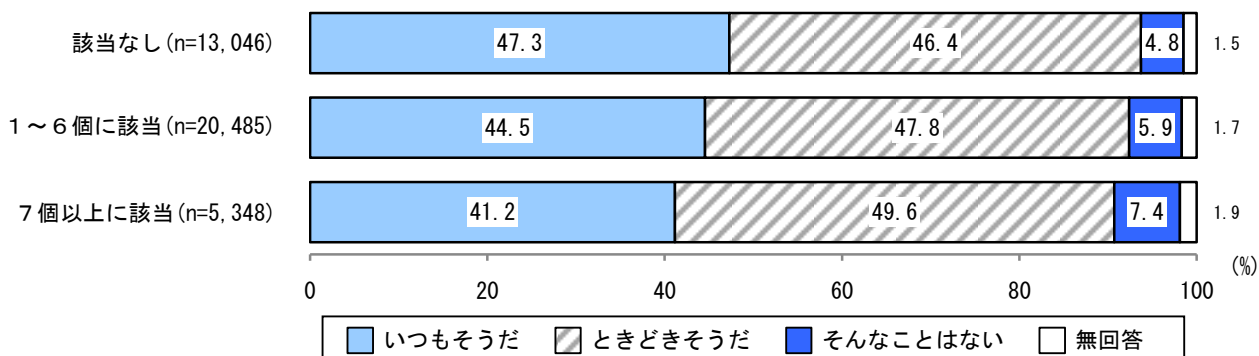


図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、「よく頭がいたくなる」「よくおなかがいたくなる」「よくかぜをひく」は、中央値以上群が最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問7×子ども票問19①）

<大阪府内全体>



<池田市>

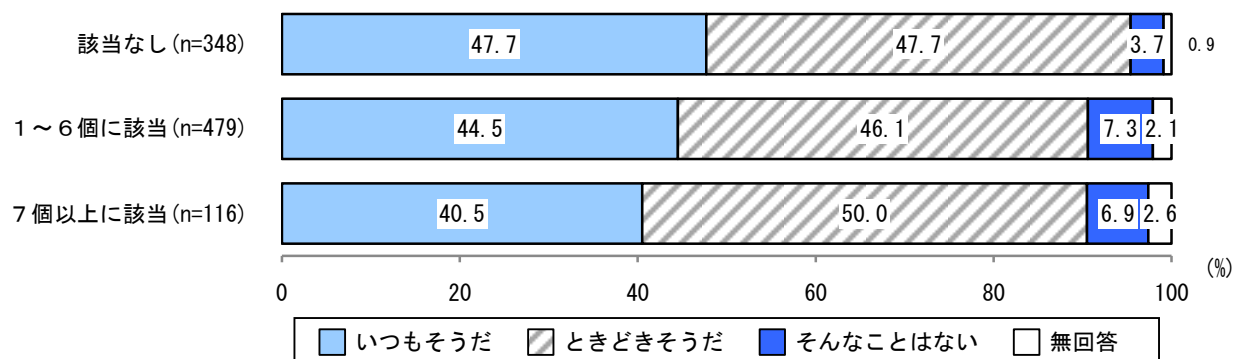
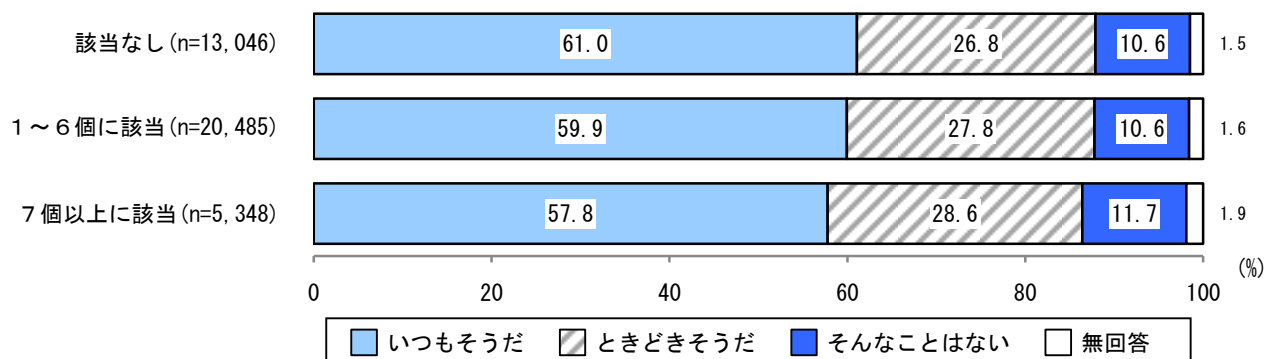


図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「そんなことはない」と回答した割合は、該当なしの人が3.7%で、最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問7×子ども票問19②）

<大阪府内全体>



<池田市>

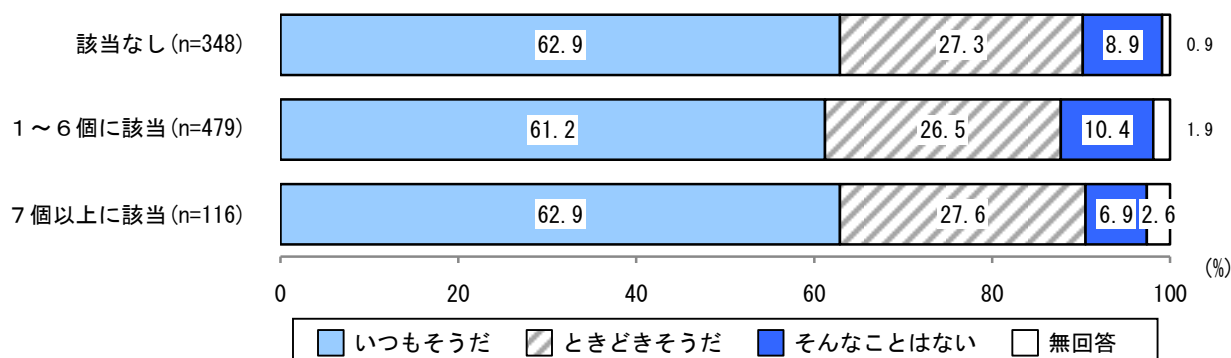
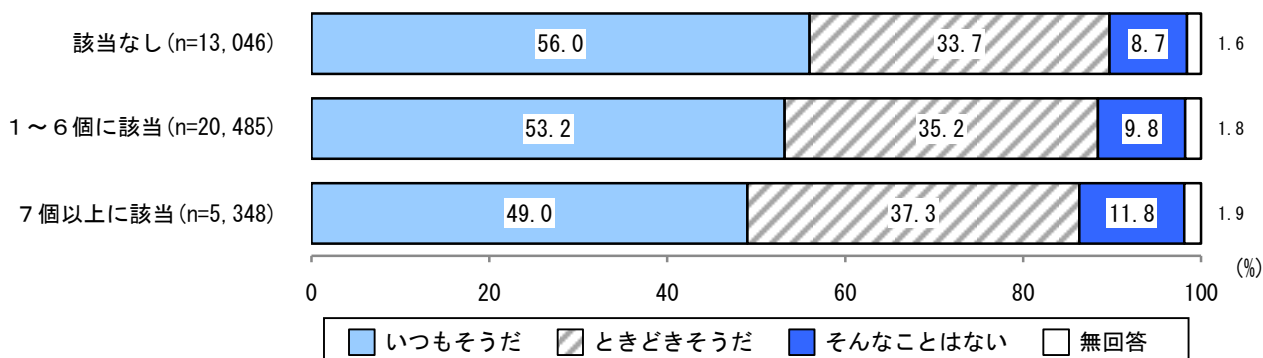


図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「そんなことはない」と回答した割合は、1～6個に該当する人が10.4%で、最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい
(保護者票問7×子ども票問19③)

<大阪府内全体>



<池田市>

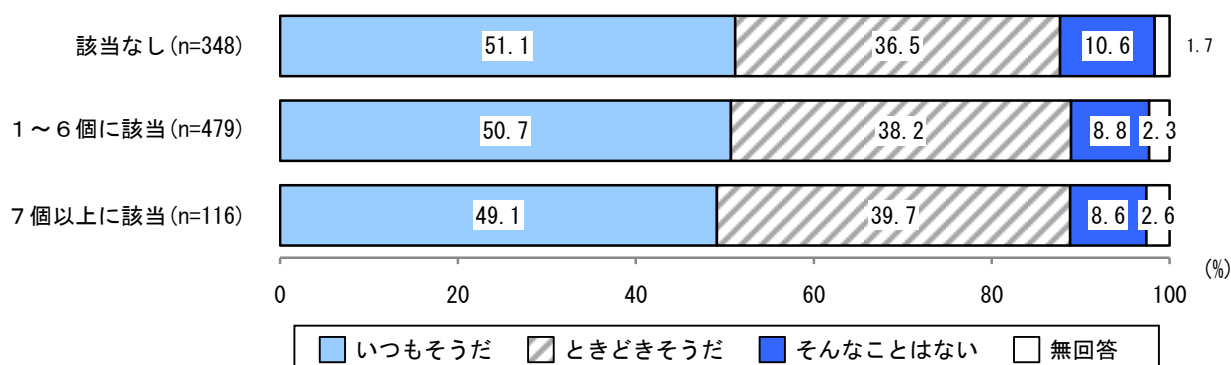
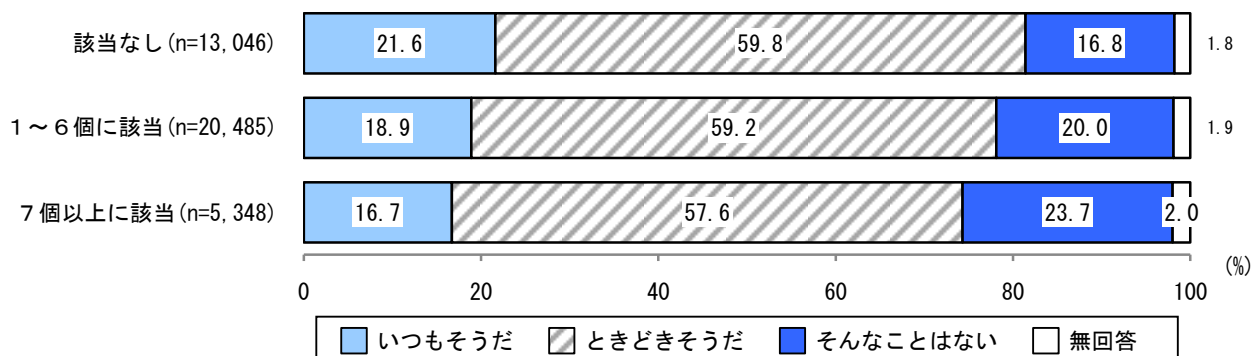


図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱい

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいを見ると、該当数が多くなるにつれ、「そんなことはない」と回答した割合が低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問7×子ども票問19④）

<大阪府内全体>



<池田市>

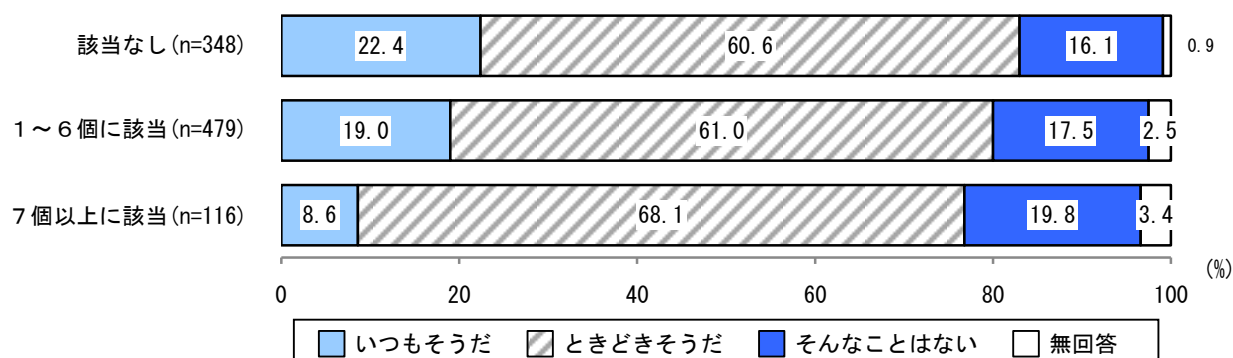
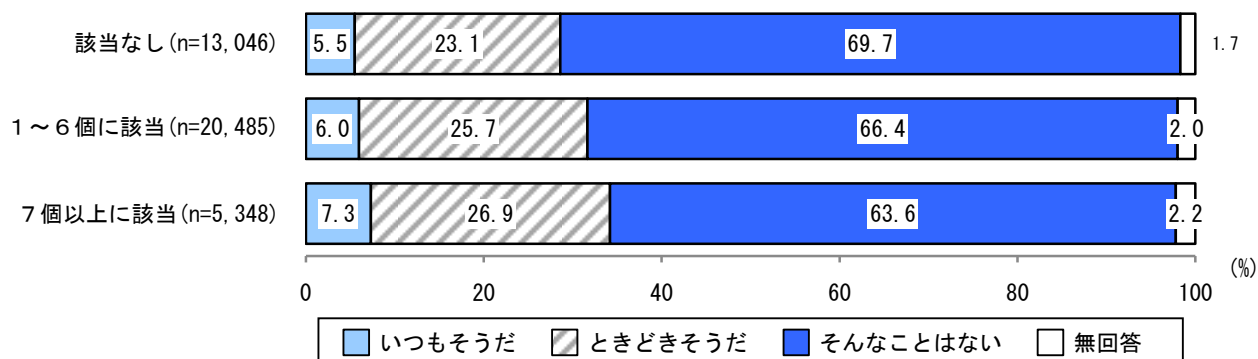


図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、該当数が多くなるにつれ、「そんなことはない」と回答した割合が高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問7×子ども票問19⑤）

<大阪府内全体>



<池田市>

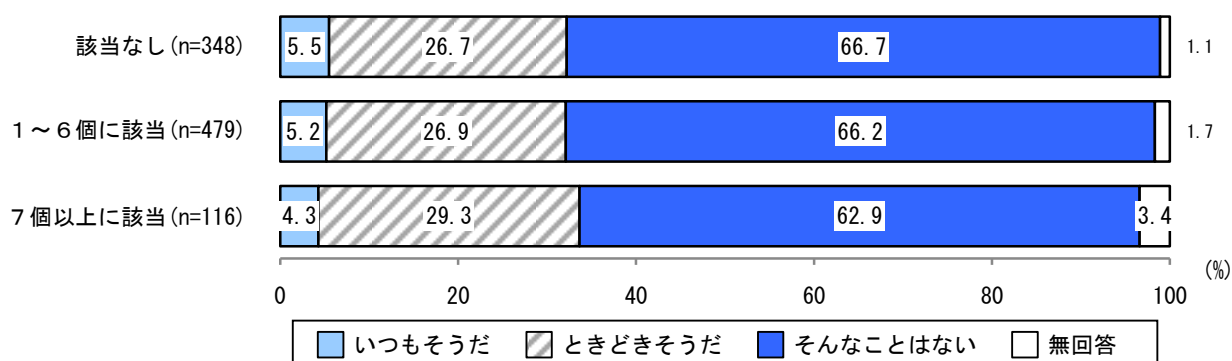
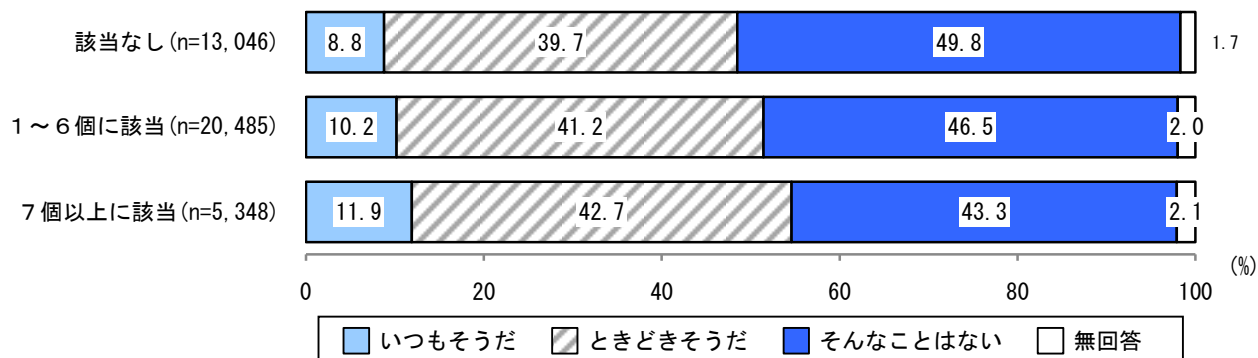


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、該当数が多くなるにつれ、「そんなことはない」と回答した割合が低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問7×子ども票問19⑥）

<大阪府内全体>



<池田市>

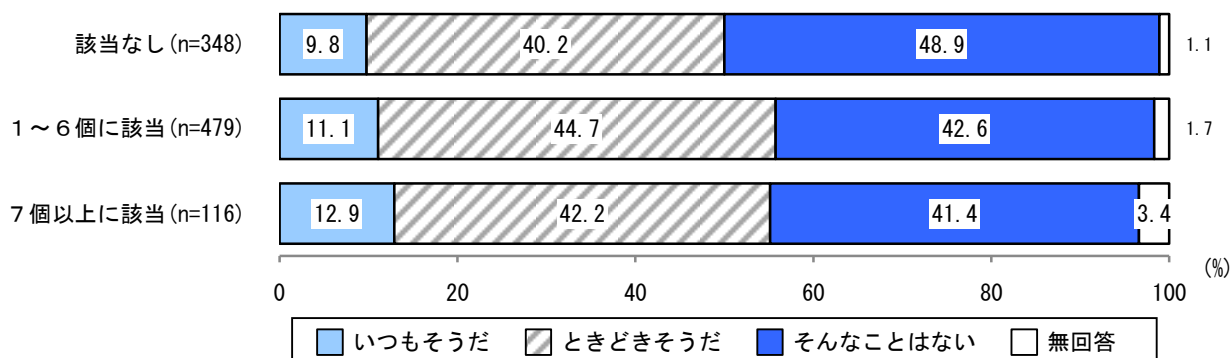
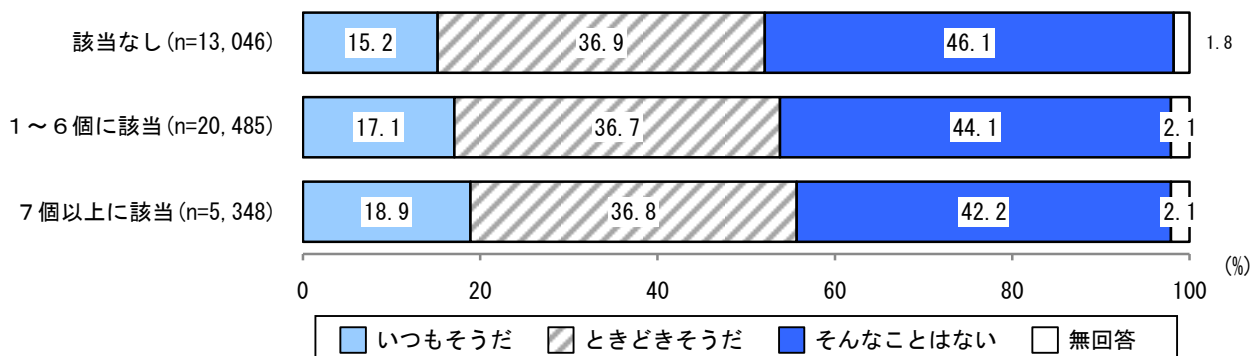


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、該当数が多くなるにつれ、「そんなことはない」と回答した割合が低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる
(保護者票問7×子ども票問19⑦)

<大阪府内全体>



<池田市>

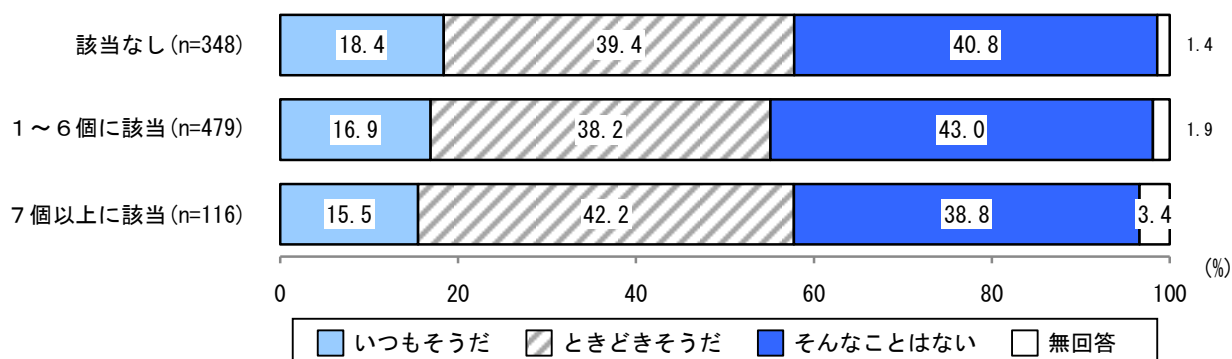
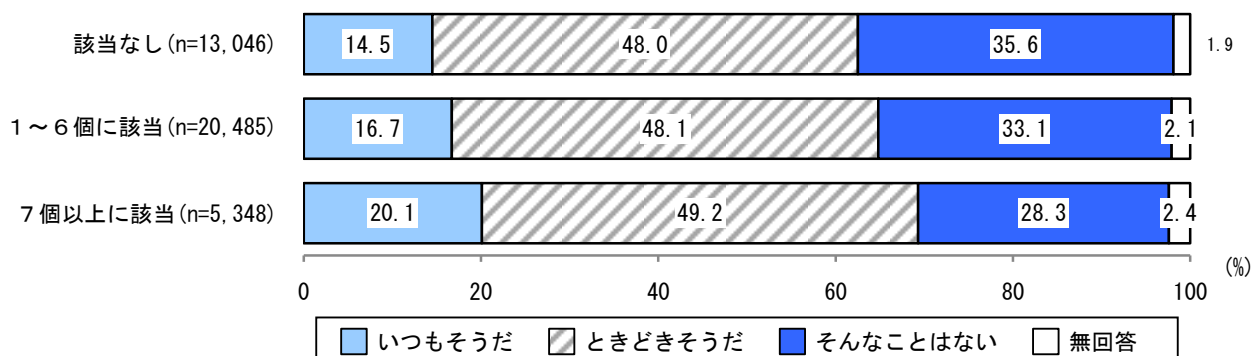


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、該当数が多くなるにつれ、「いつもそうだ」と回答した割合が低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない
(保護者票問7×子ども票問19⑧)

<大阪府内全体>



<池田市>

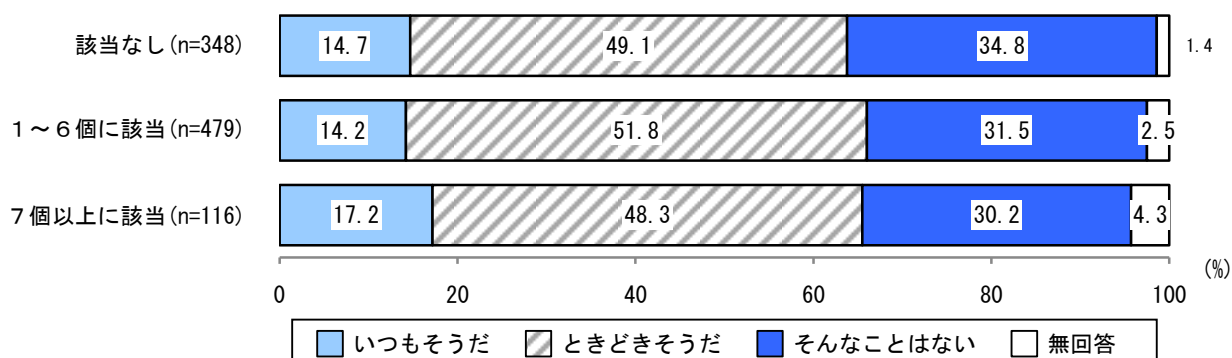
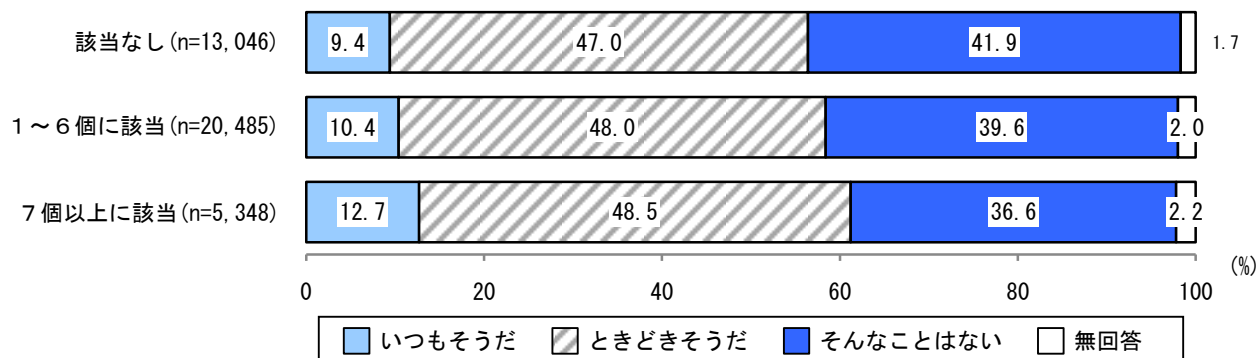


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「そんなことはない」と回答した割合は、該当なしの人が34.8%で、最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする
(保護者票問7×子ども票問19⑨)

<大阪府内全体>



<池田市>

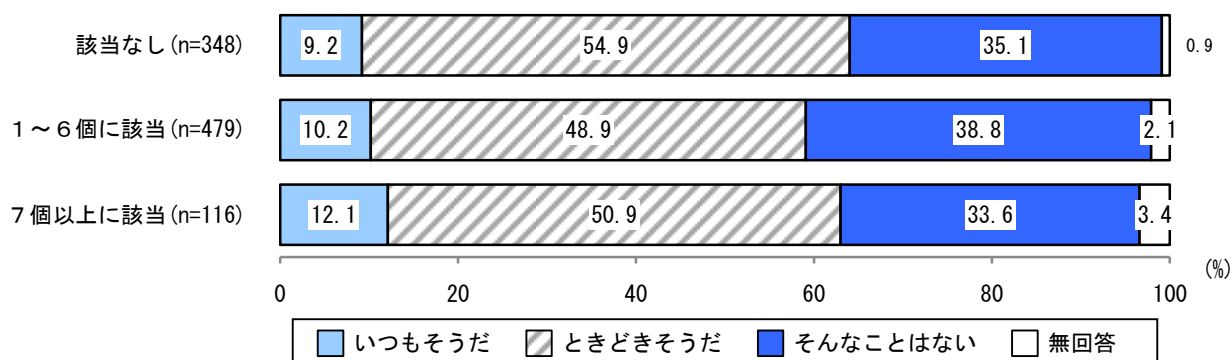
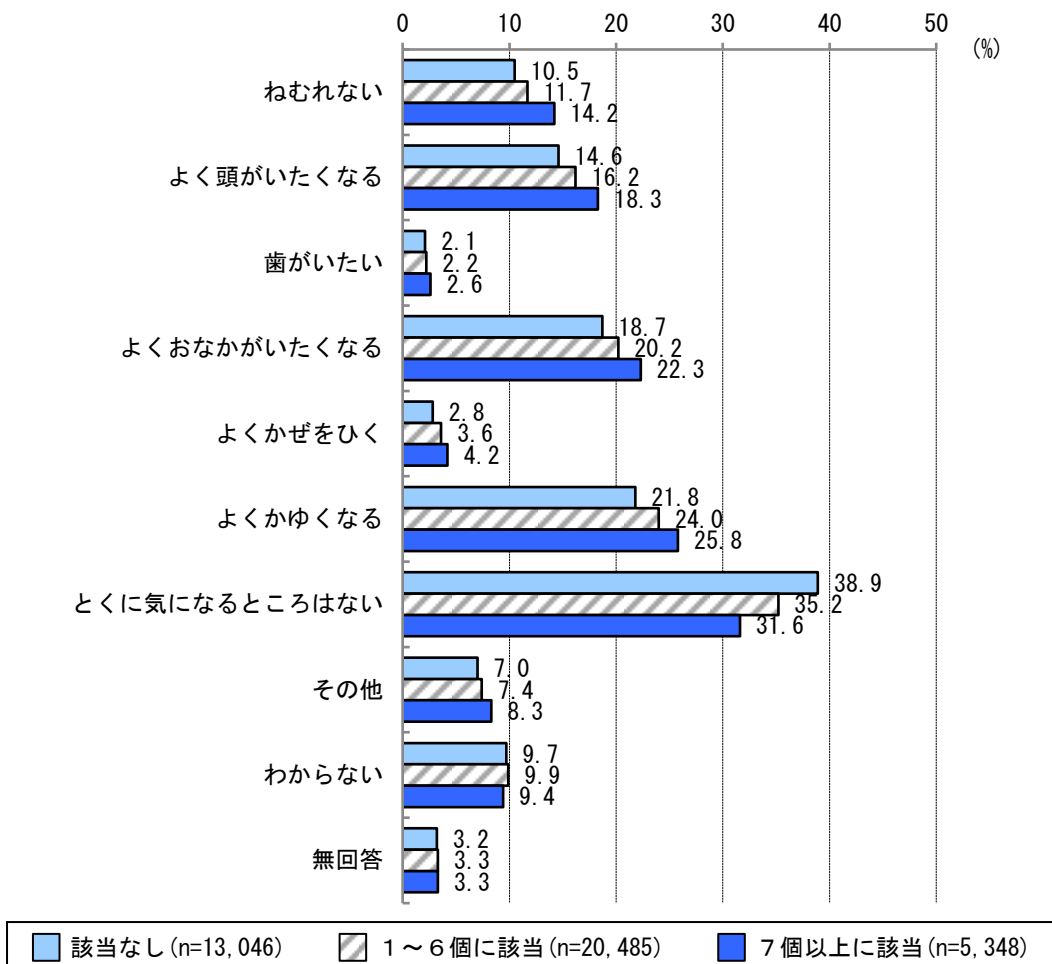


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、該当数が多くなるにつれ、「いつもそうだ」と回答した割合が高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
(保護者票問7×子ども票問20)

<大阪府内全体>



<池田市>

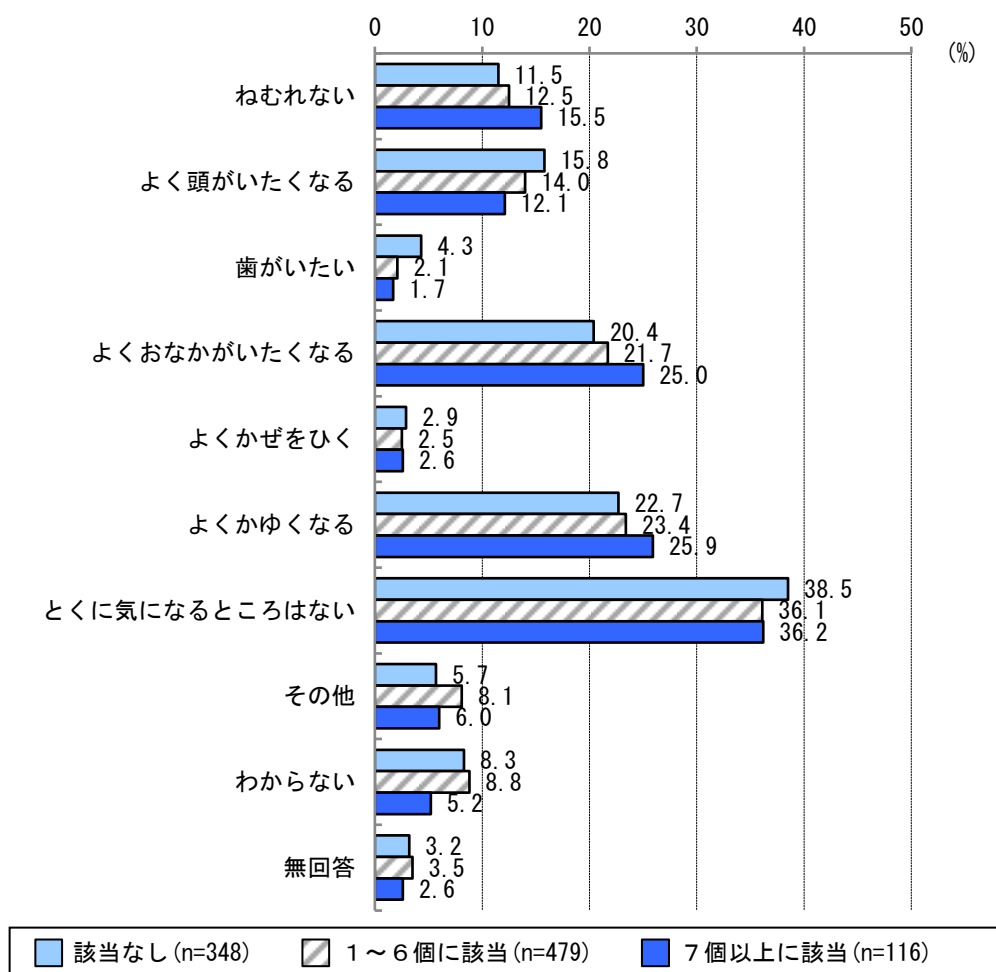
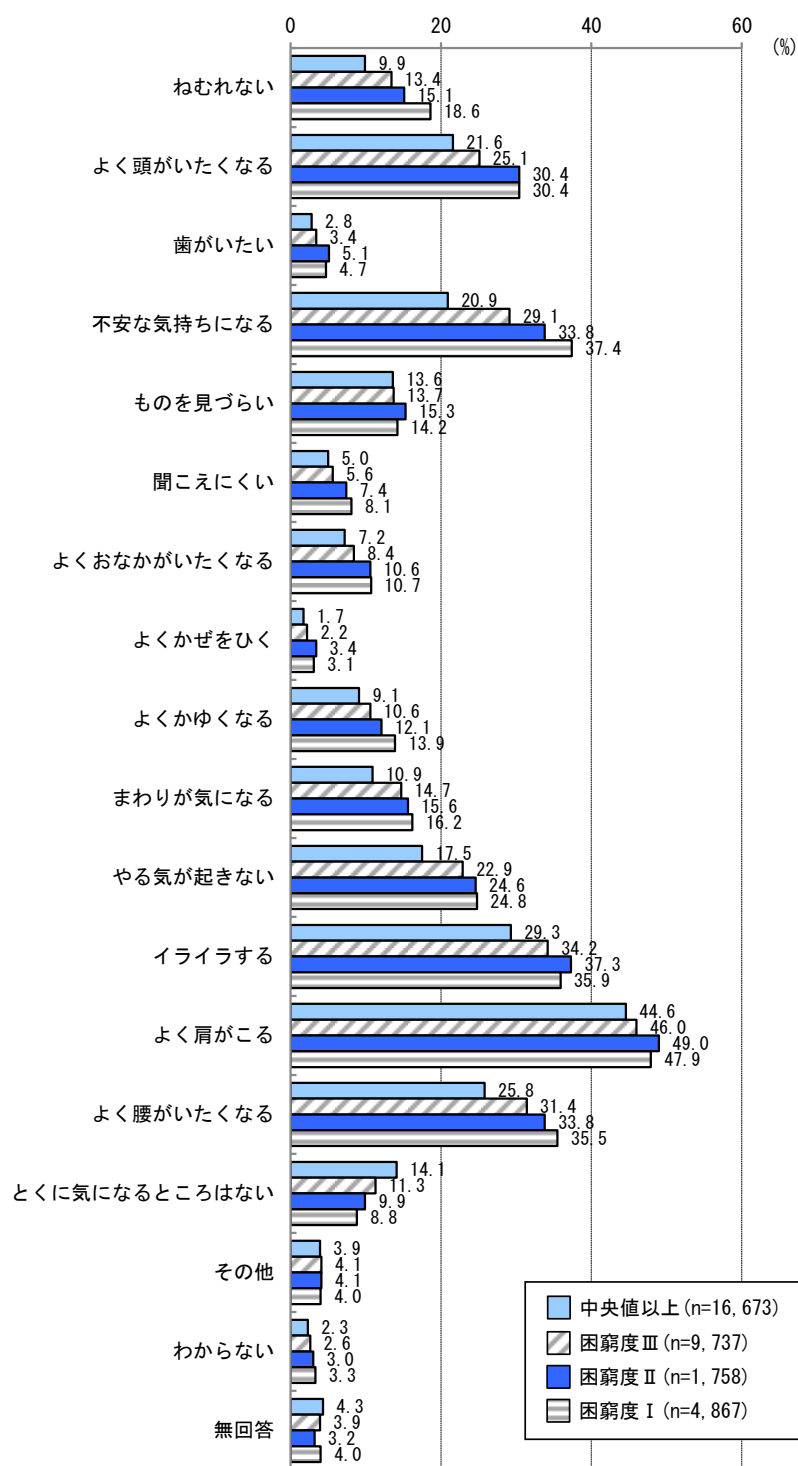


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「7個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「7個以上に該当」群の数値を挙げると、「ねむれない」15.5%（「該当なし」群に対して1.3倍）、「よくおなかがいたくなる」25.0%（同じく1.2倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<池田市>

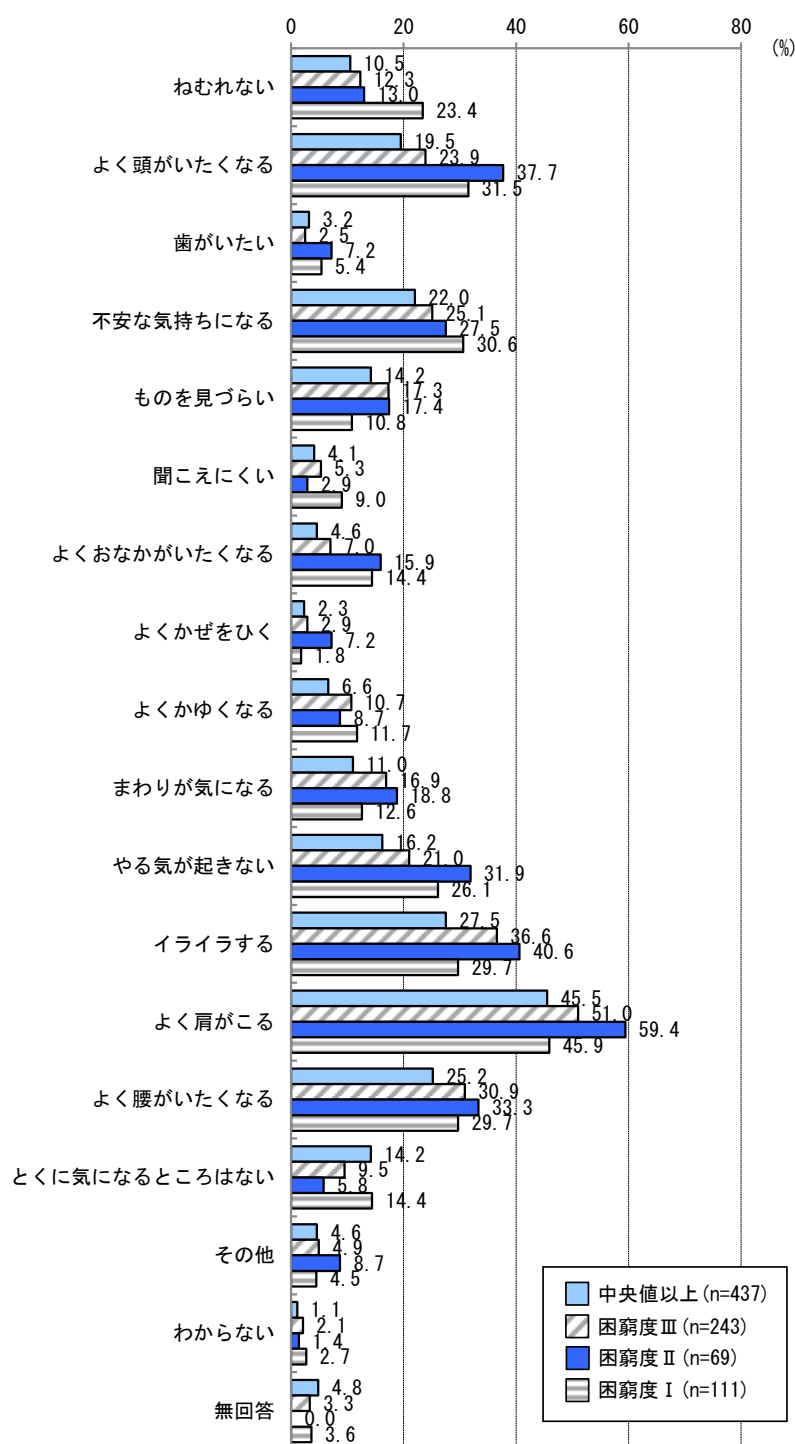
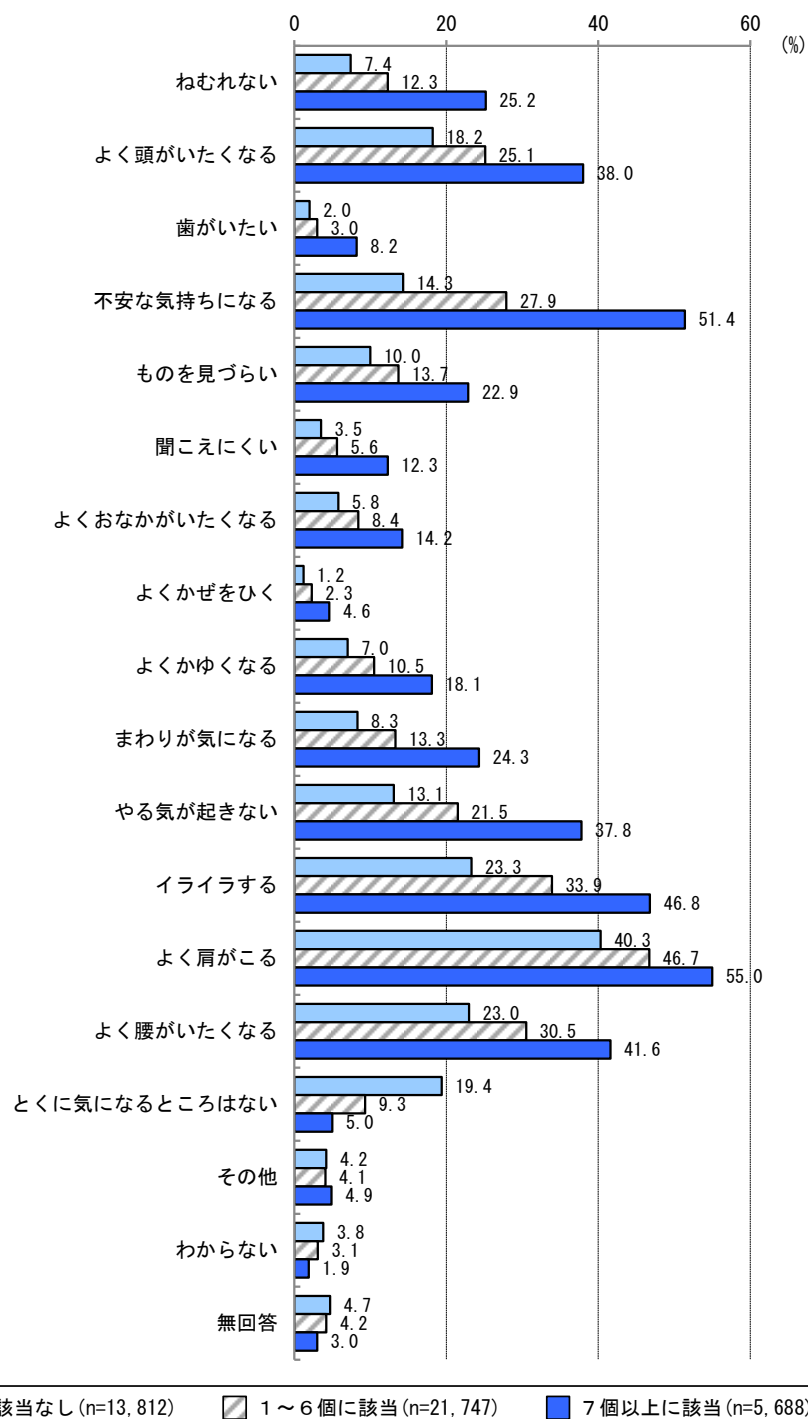


図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、「ねむれない」と「不安な気持ちになる」において、困窮度が高まるにつれ、割合が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「よくおなかがいたくなる」14.4%（中央値以上群に対し3.1倍）、「ねむれない」23.4%（同じく2.2倍）、「聞こえにくい」9.0%（同じく2.2倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
(保護者票問 7 × 保護者票問 22)

<大阪府内全体>



<池田市>

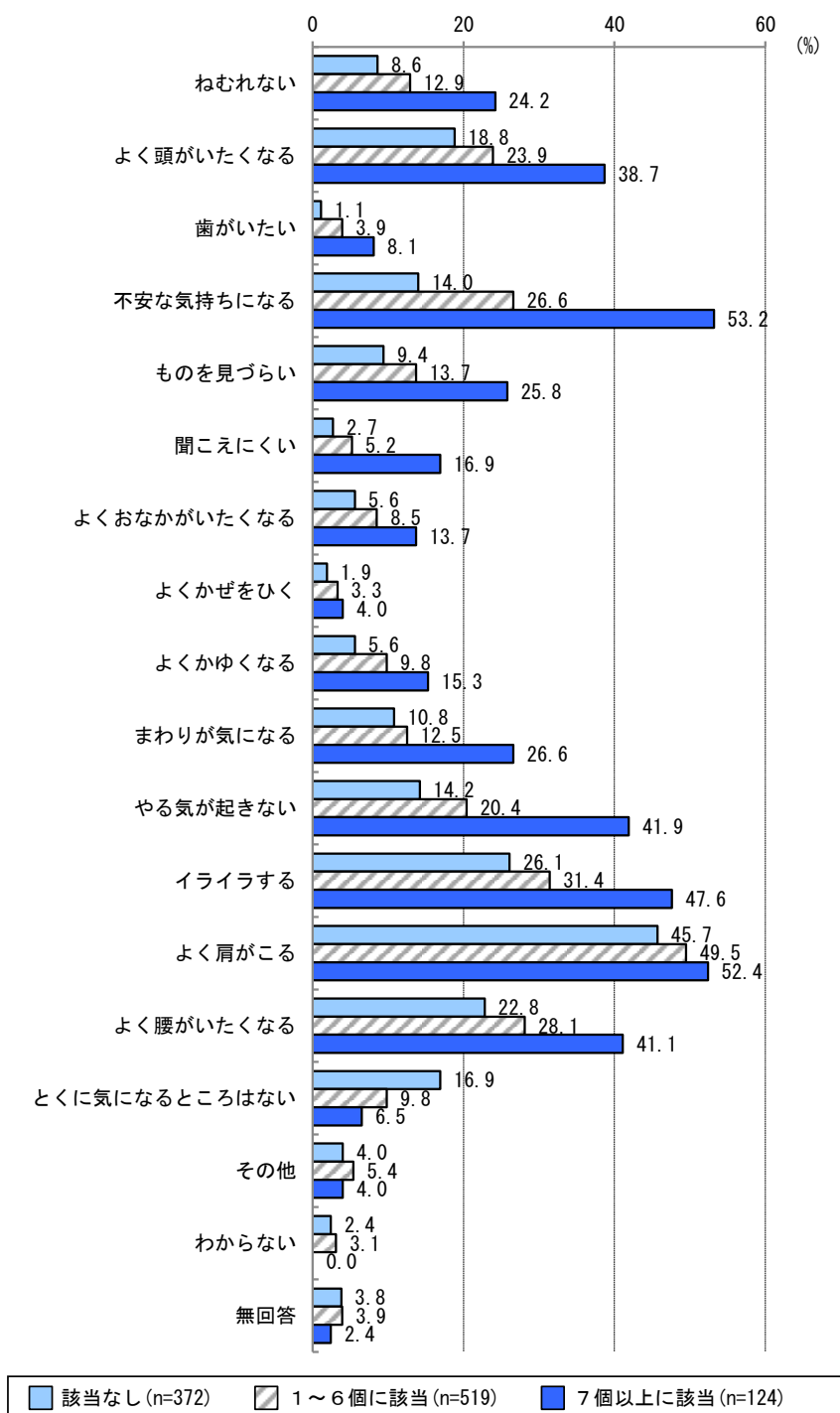
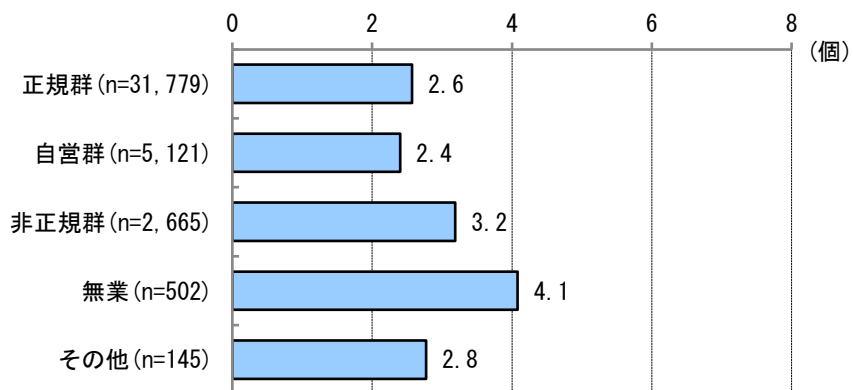


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、全ての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「歯がいたい」8.1%（「該当なし」に対して7.4倍）、「聞こえにくい」16.9%（同じく6.3倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

<大阪府内全体>



<池田市>

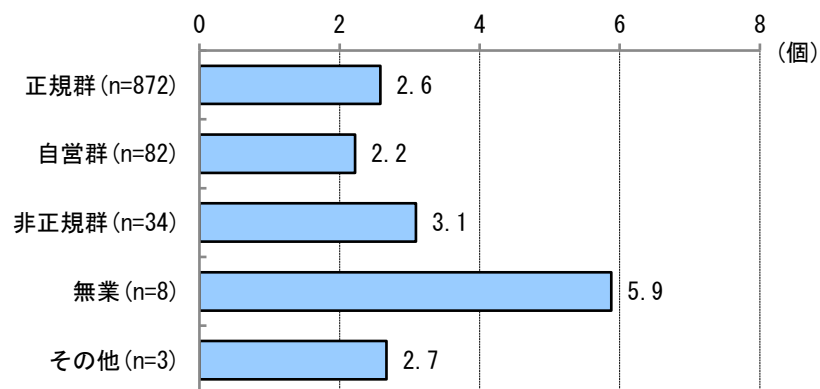


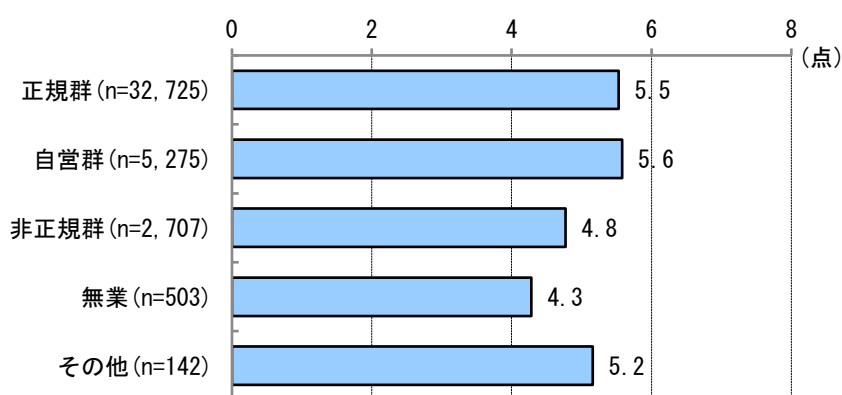
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営群」、「非正規群」に対して、「無業」群において5.9個と、該当個数が最も多くなっている。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいですか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全体>



<池田市>

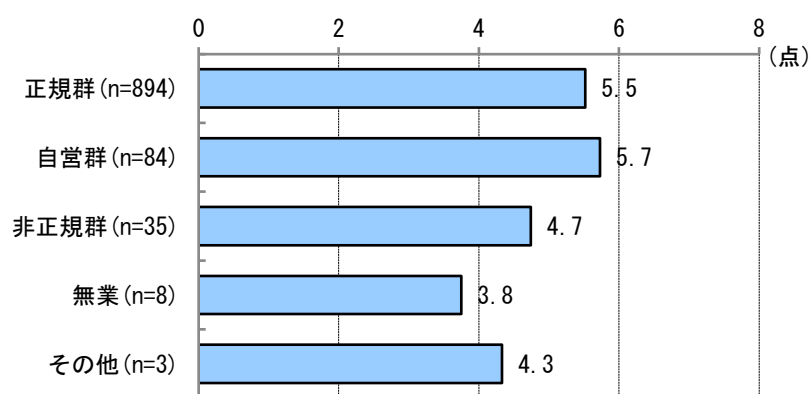
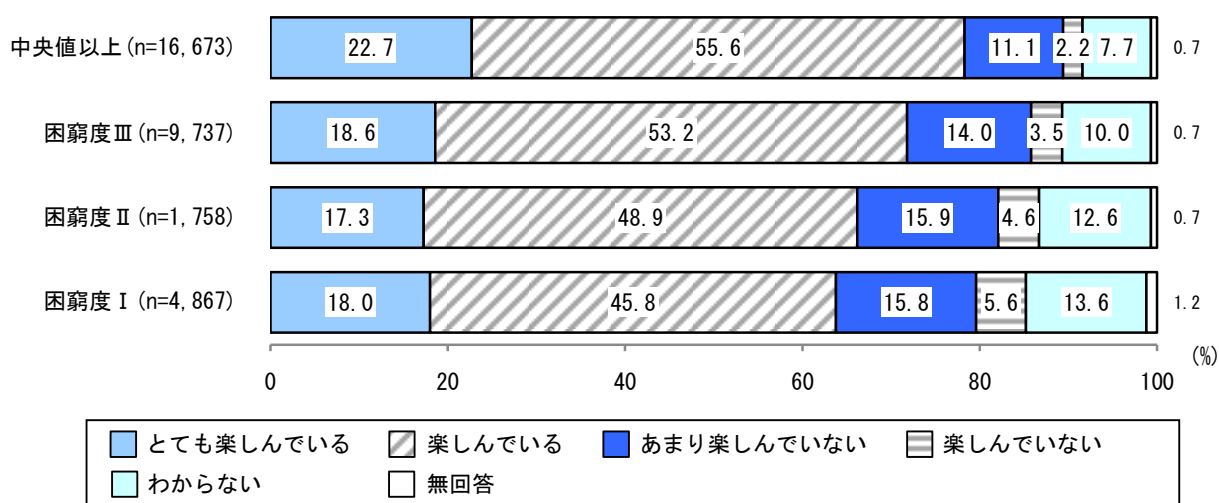


図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「自営群」が5.7点と最も高く、「無業群」が3.8点で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

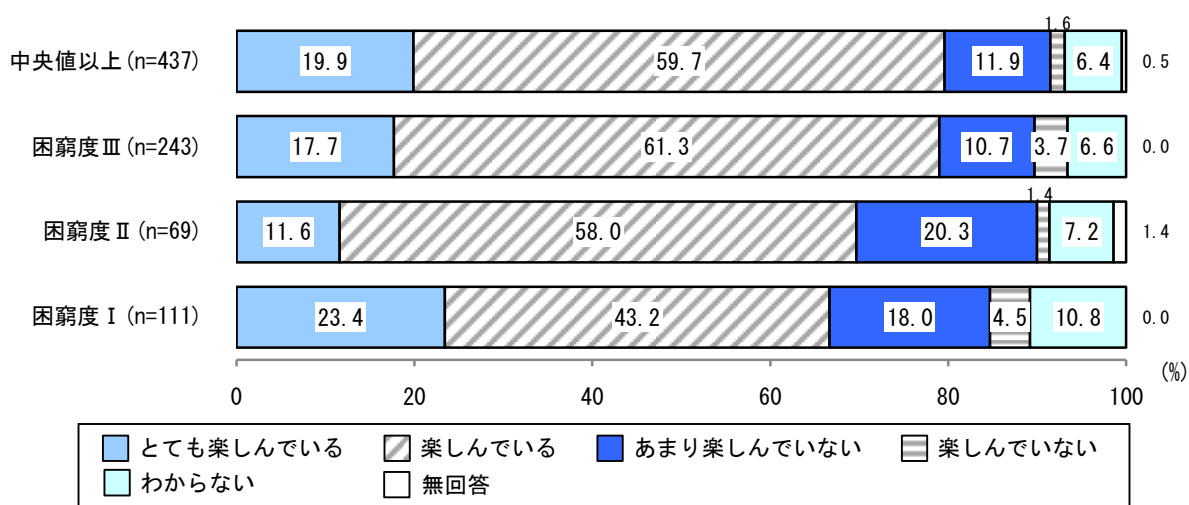
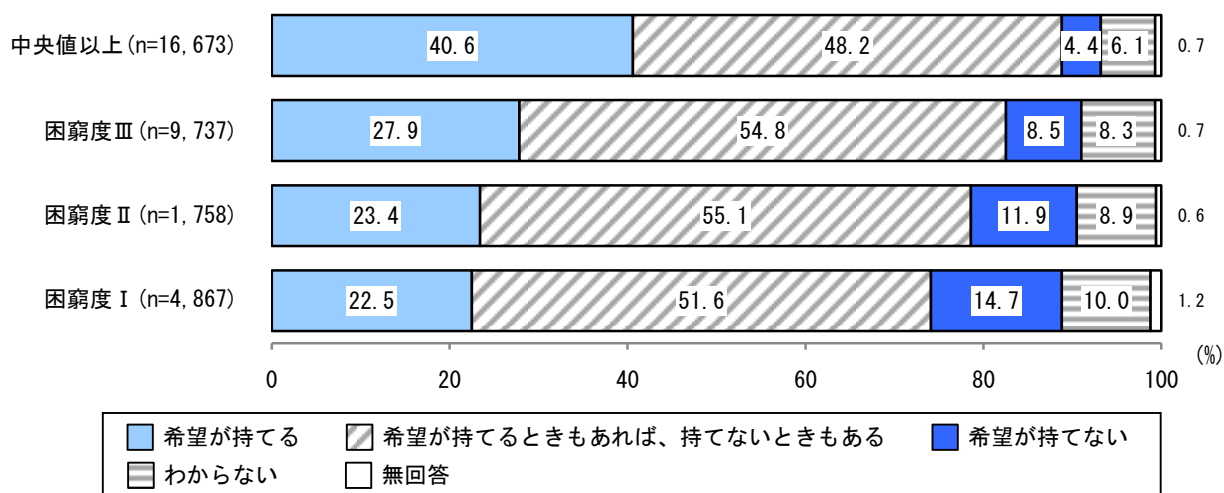


図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、中央値以上群の生活を楽しんでいると回答した割合は、79.6%（「とても楽しんでいる」19.9%、「楽しんでいる」59.7%）で、最も高い一方で、困窮度Ⅰ群の生活を楽しんでいると回答した割合は、66.6%（「とても楽しんでいる」23.4%、「楽しんでいる」43.2%）で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21 (2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

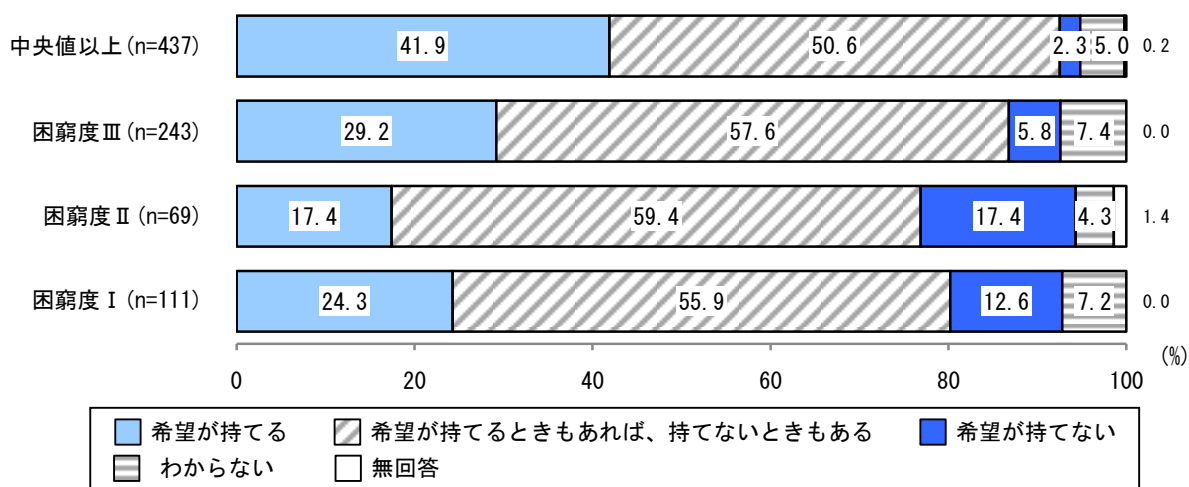
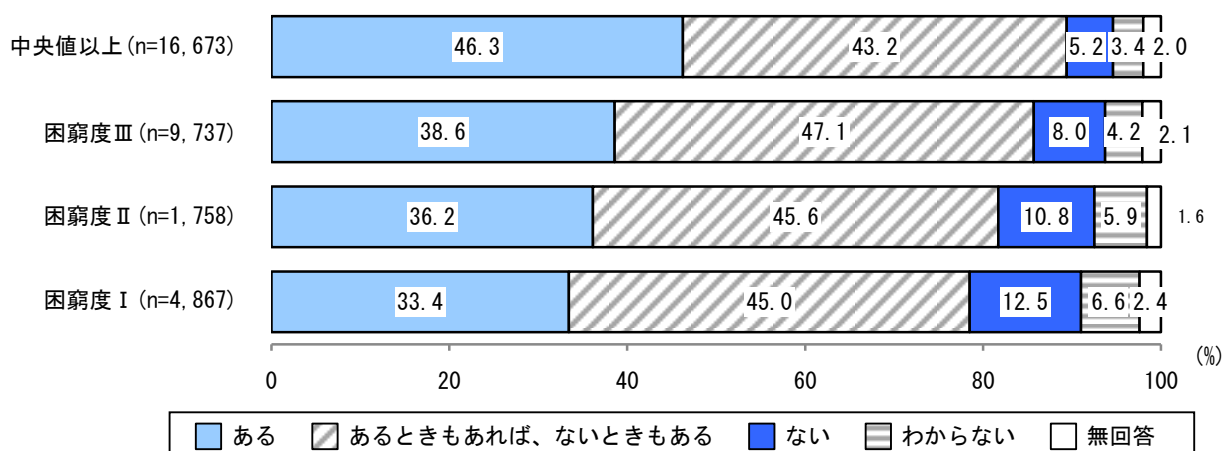


図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てない」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が17.4%で最も高く、中央値以上群が2.3%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

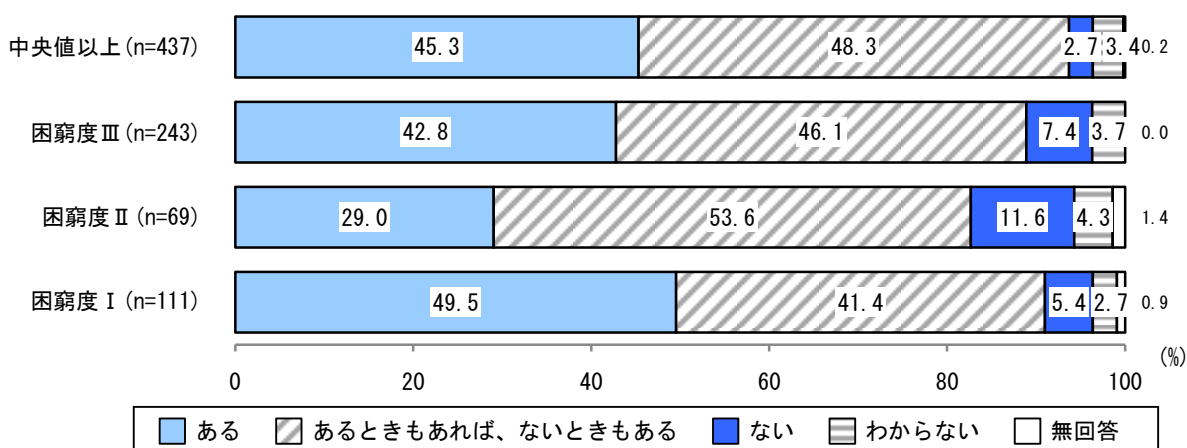
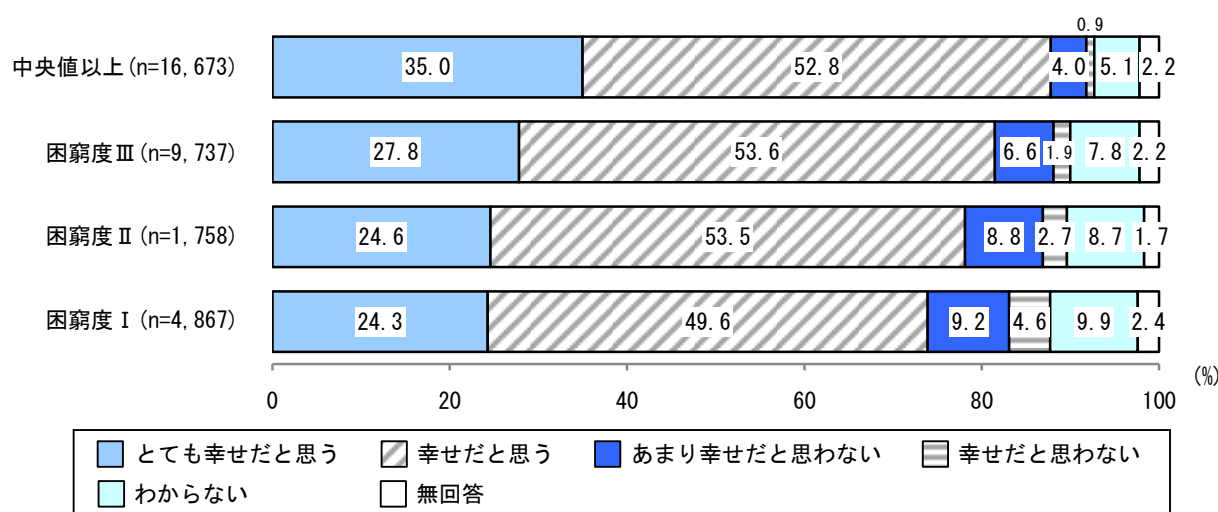


図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅱ群が11.6%と、「ない」と回答する割合が最も高く、中央値以上群では2.7%で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

<大阪府内全体>



<池田市>

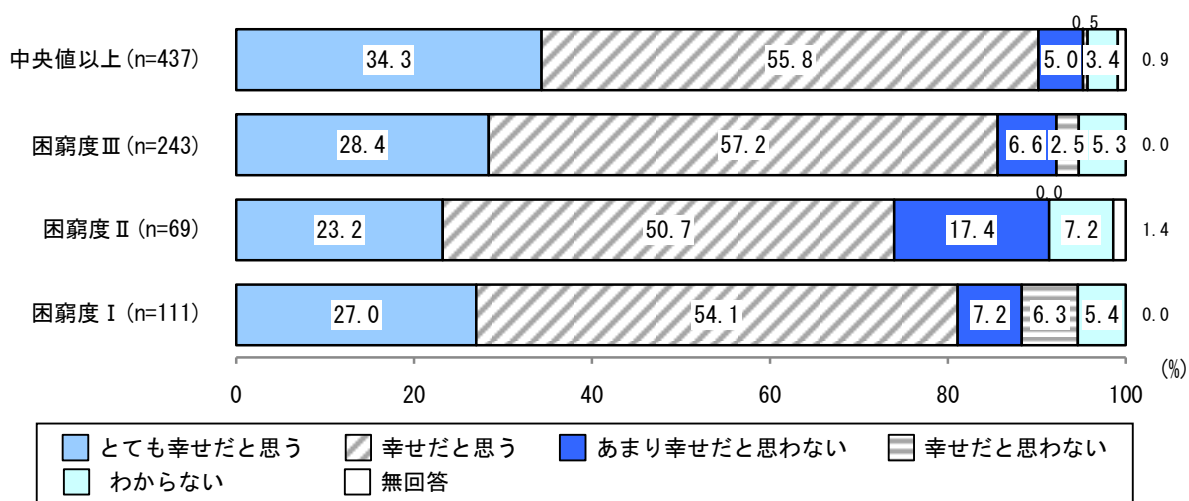


図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、中央値以上群の自分が幸せだと思うと回答した割合は90.1%（「とても幸せだと思う」34.3%、「幸せだと思う」55.8%）で、最も高い一方で、困窮度Ⅱ群の自分が幸せだと思うと回答した割合は73.9%（「とても幸せだと思う」23.2%、「幸せだと思う」50.7%）で、最も低くなっている。

<健康に関する考察>

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日またはほとんど毎日」(91.5%対82.5%)が約10ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「不安な気持ちになる」(30.6%対22.0%)、「よくおなかがいたくなる」(14.4%対4.6%)、「やる気が起きない」(26.1%対16.2%)がいずれも5ポイント以上、「ねむれない」(23.4%対10.5%)、「よく頭がいたくなる」(31.5%対19.5%)では10ポイント以上高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、生活を「楽しんでいない」(4.5%対1.6%)が約3ポイント、将来に対して「希望が持てない」(12.6%対2.3%)が10ポイント以上高くなっており、一方で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、自分が「とても幸せだと思う」(34.3%対27.0%)が5ポイント以上高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「ねむれない」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「不安な気持ちになる」「よくおなかがいたくなる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりが多く、肉体労働に従事している可能性や、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。

また、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれもねむれないと感じており、精神衛生状態が懸念される。一方で、経済的に困難のない世帯の保護者は、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

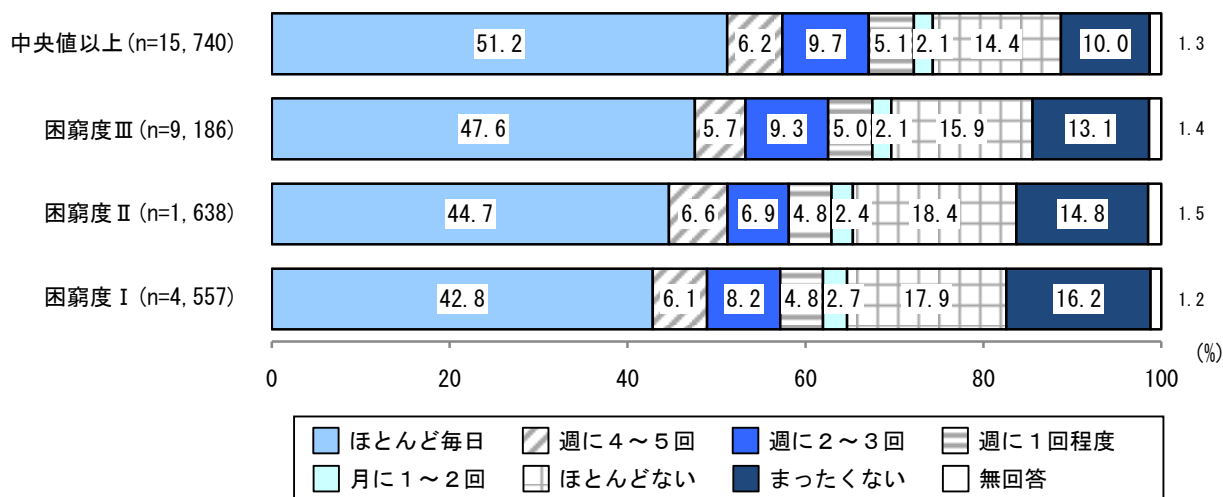
続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」および「自営群」は「非正規群」に比べて、「毎日またはほとんど毎日」(89.8%、91.1%対84.8%)朝食を摂っている割合が高くなっている。この結果から、親が正規または自営の職に就いている世帯では、朝の時間に余裕があることがうかがえる。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」(51.6%対40.0%)、子どもの将来に「とても期待している」(26.2%対13.3%)がいずれも10ポイント以上高くなっている。また、「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、休日に子どもと関わる時間が「2時間未満」(33.3%対18.0%)が20ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、1点以上高くなっている。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆された。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問8①）

<大阪府内全体>



<池田市>

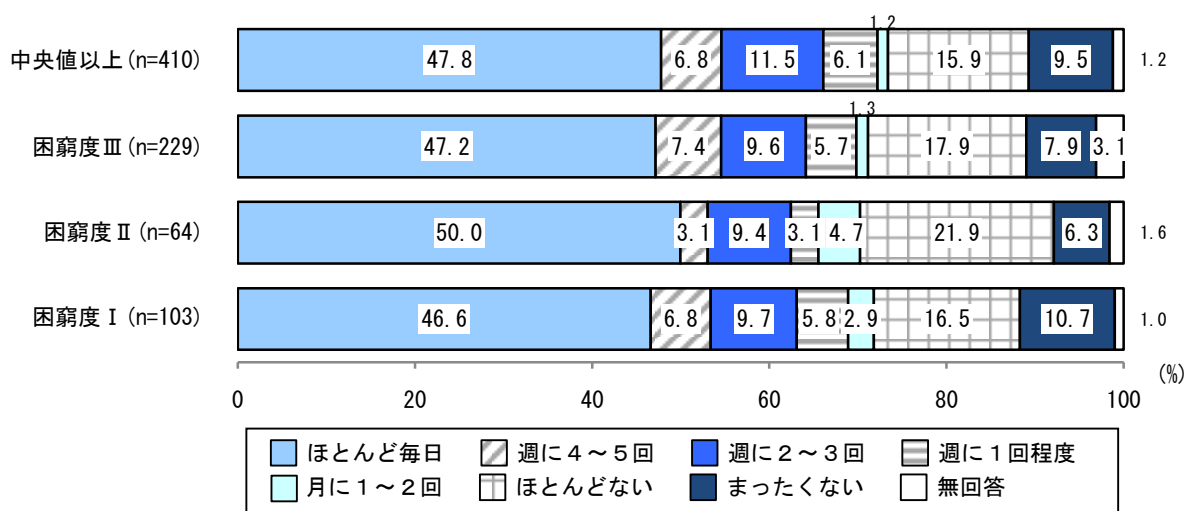
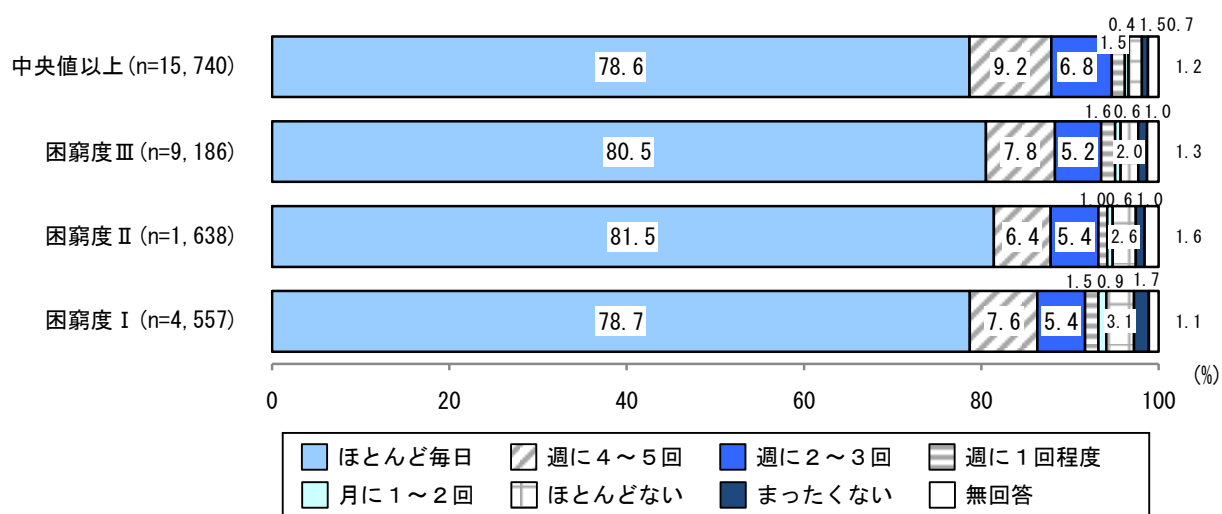


図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が50.0%で最も高く、次いで中央値以上群が47.8%となっている。一方、「まったくない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が10.7%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問8②）

<大阪府内全体>



<池田市>

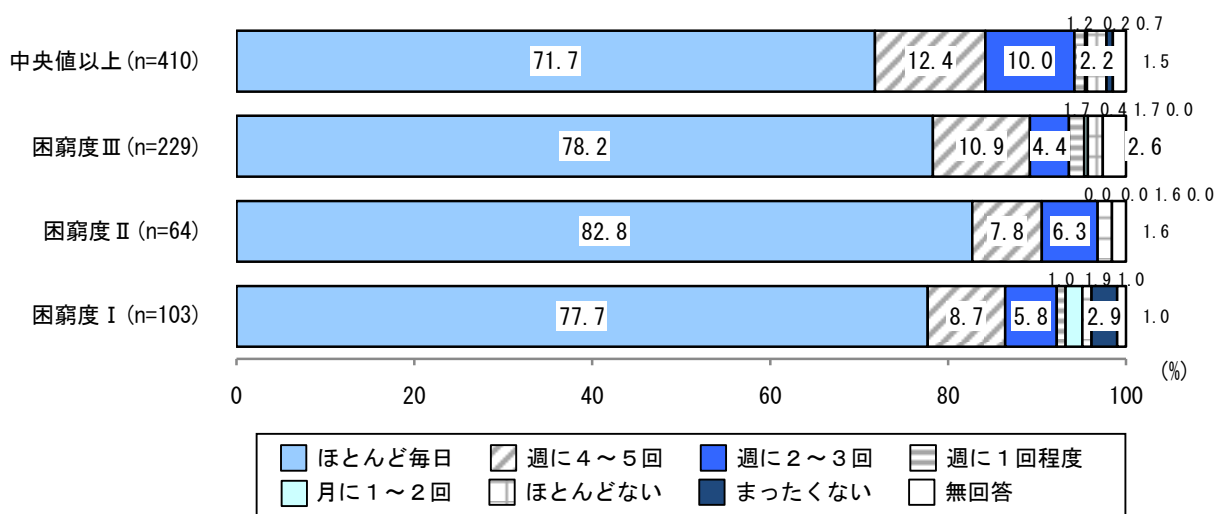
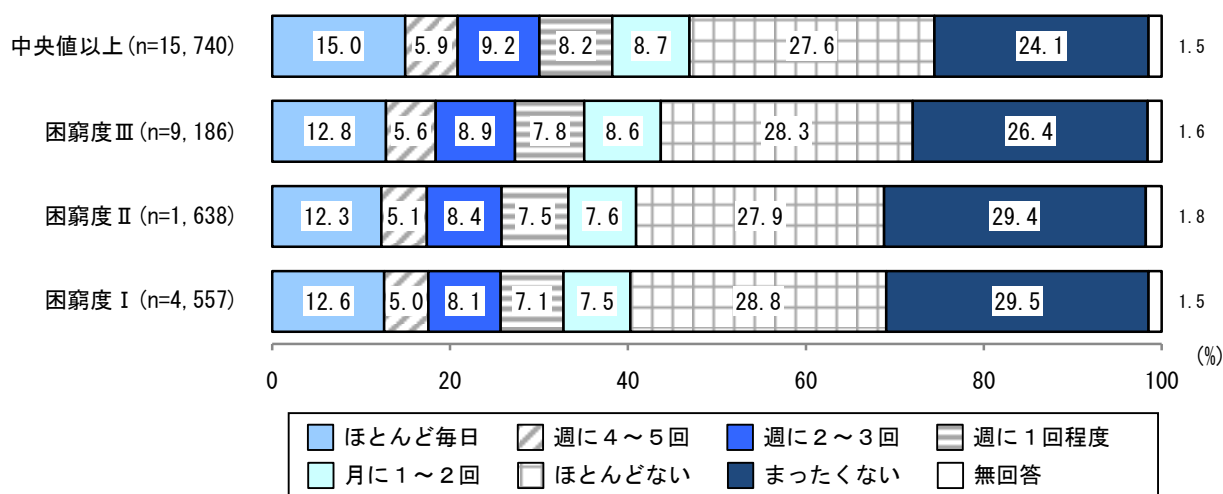


図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が82.8%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問8③）

<大阪府内全体>



<池田市>

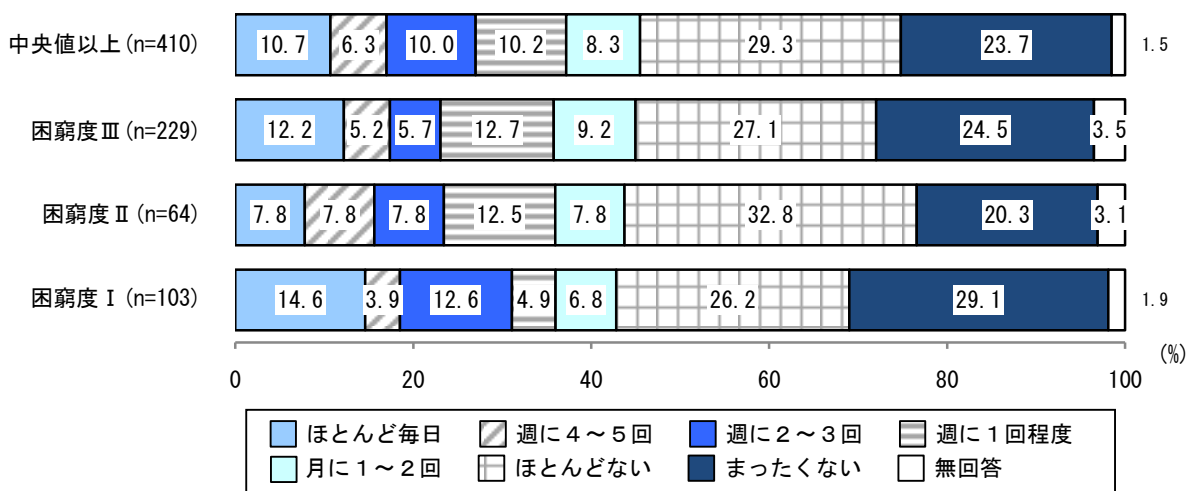
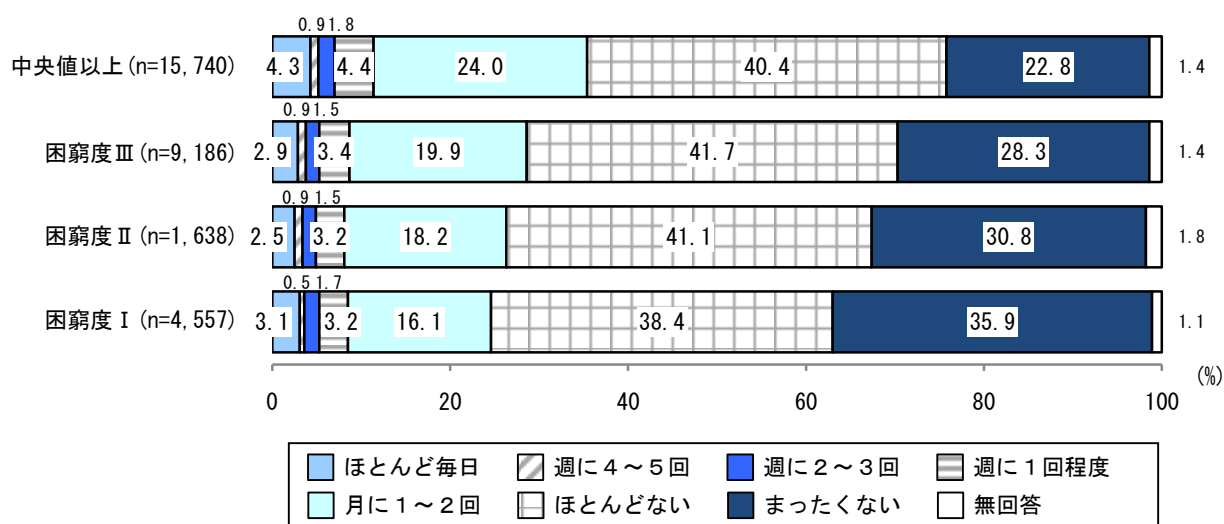


図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅰ群の「まったくない」と回答した割合が29.1%で最も高い一方、「ほとんど毎日」と回答した割合も14.6%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問8⑨）

<大阪府内全体>



<池田市>

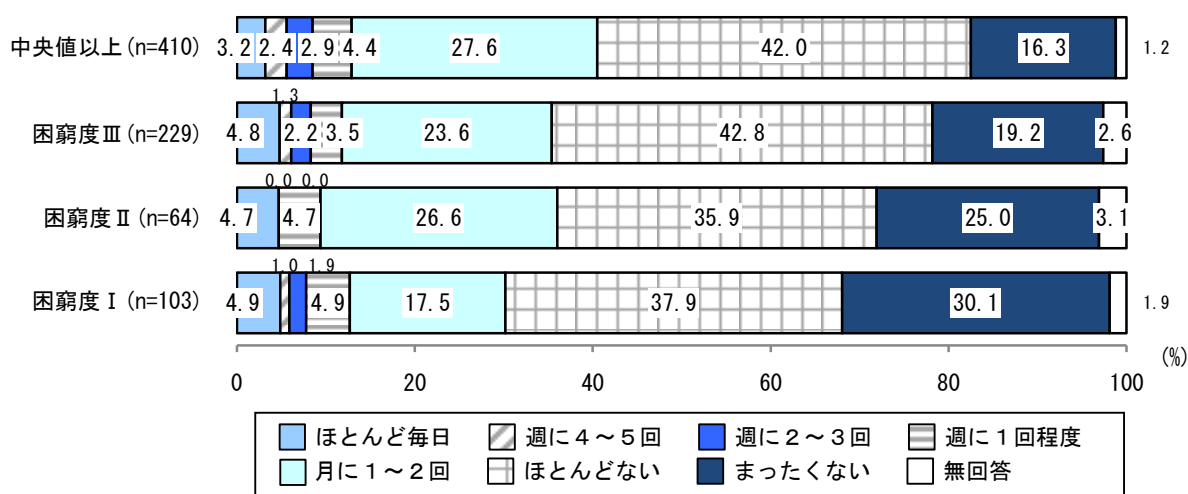
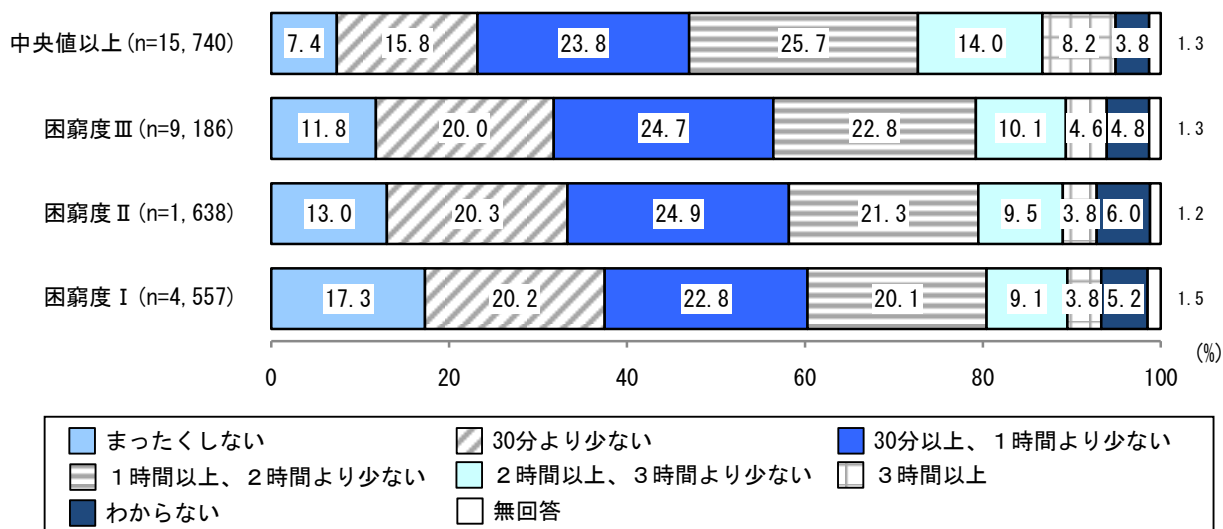


図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、困窮度が高くなるにつれ、「まったくない」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<池田市>

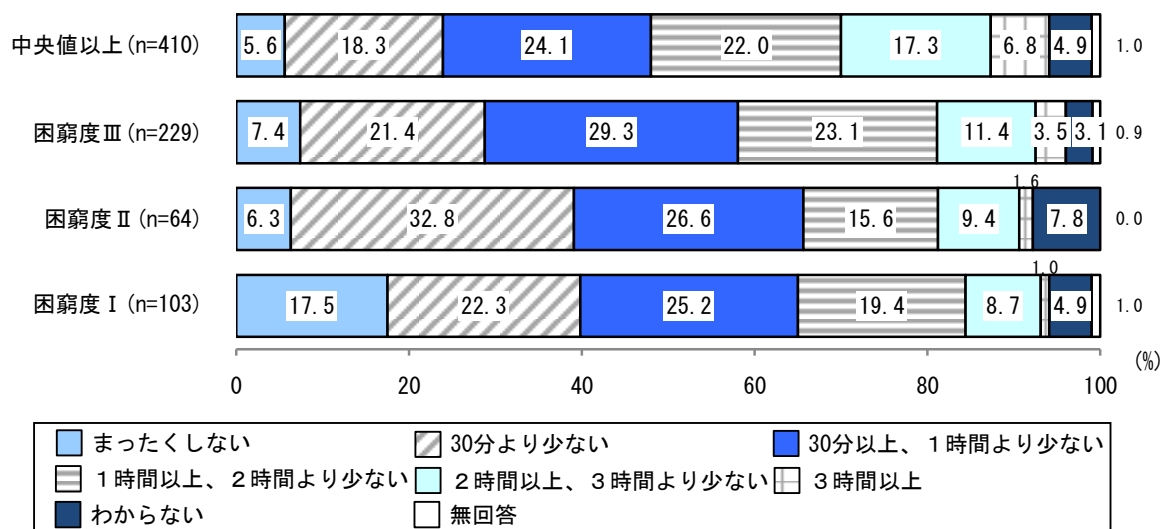
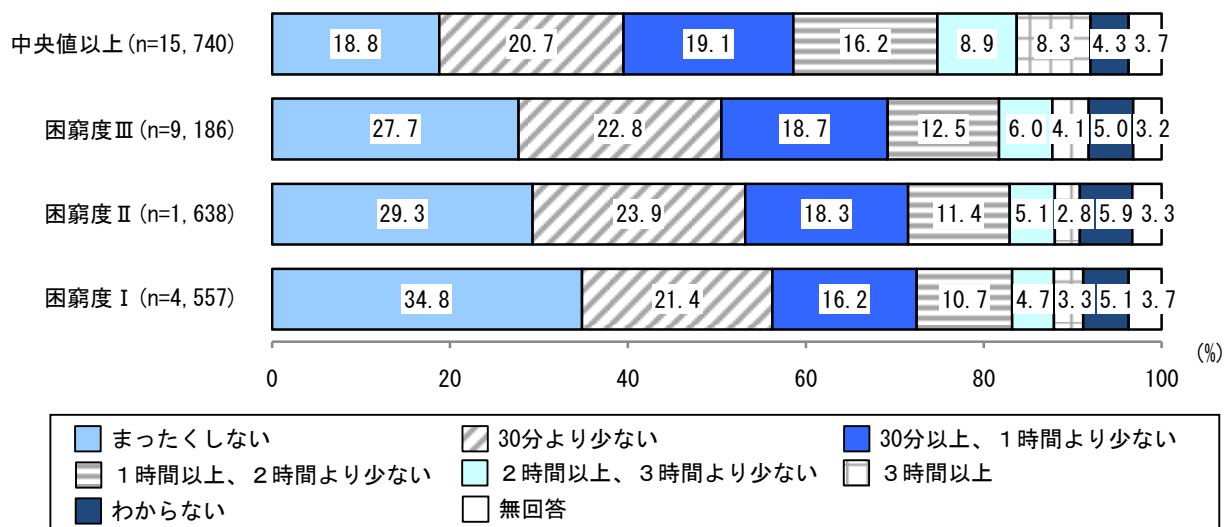


図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、困窮度が高くなるにつれ、「3 時間以上」と回答した割合が低くなっている。また、「まったくしない」と回答した割合は、中央値以上群が 5.6% で最も低く、困窮度Ⅰ群が 17.5% で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）
（子ども票問 13②）

<大阪府内全体>



<池田市>

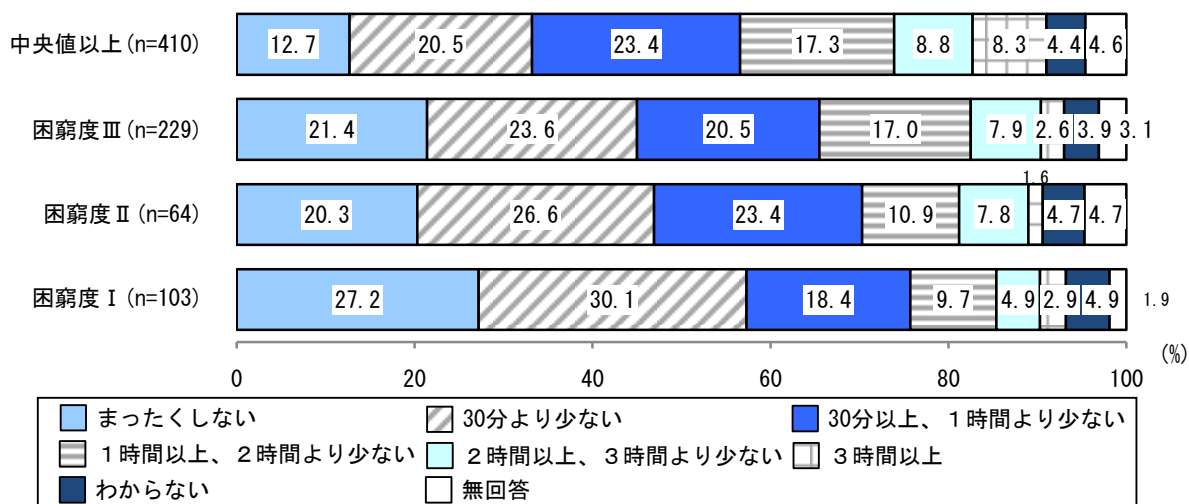
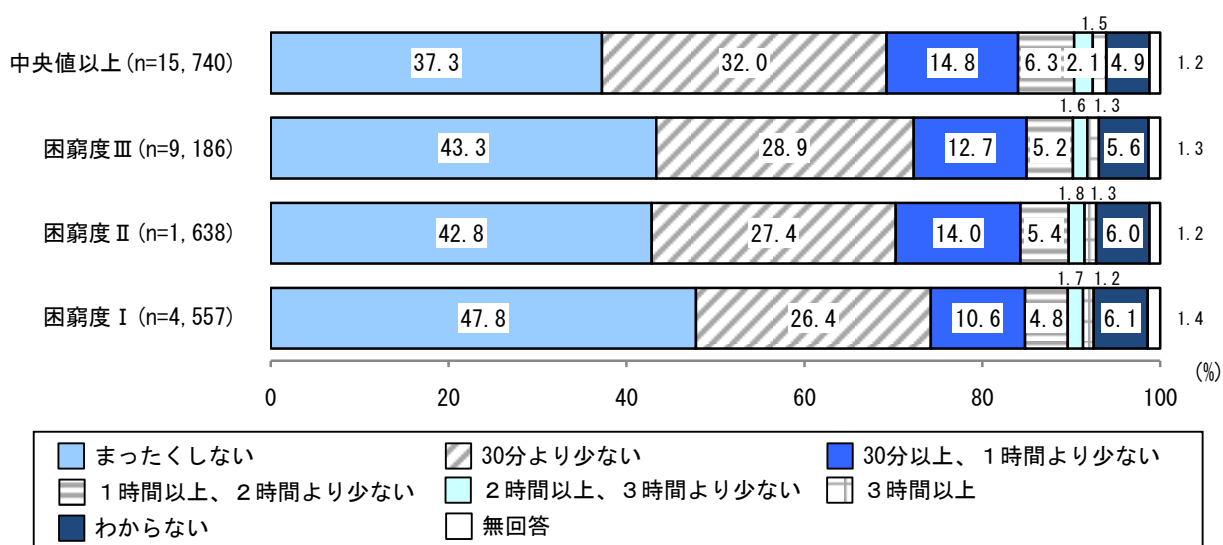


図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、「まったくしない」と回答した割合は、中央値以上群が12.7%で最も低く、困窮度Ⅰ群が27.2%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

<大阪府内全体>



<池田市>

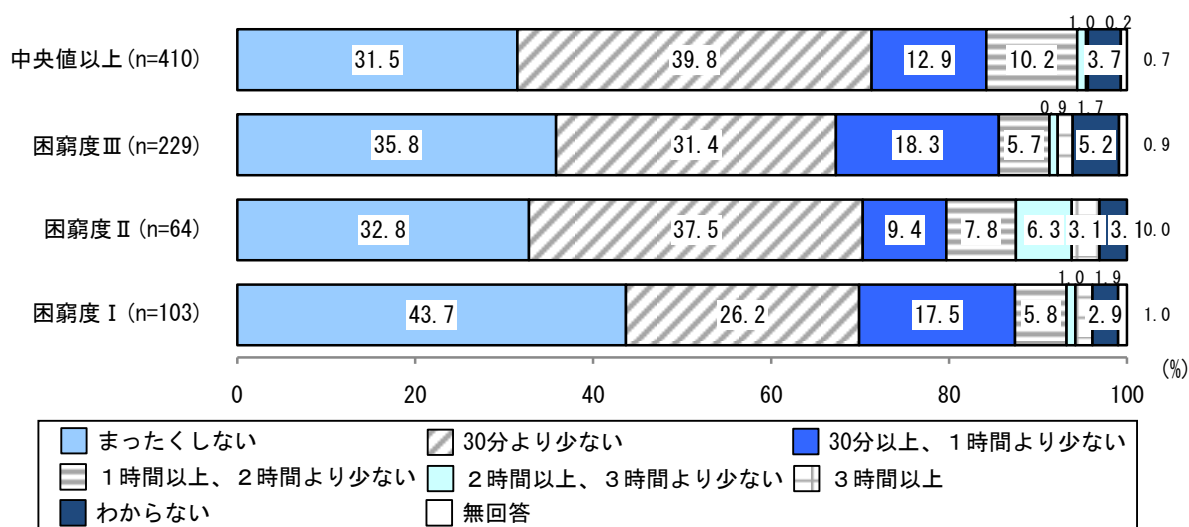
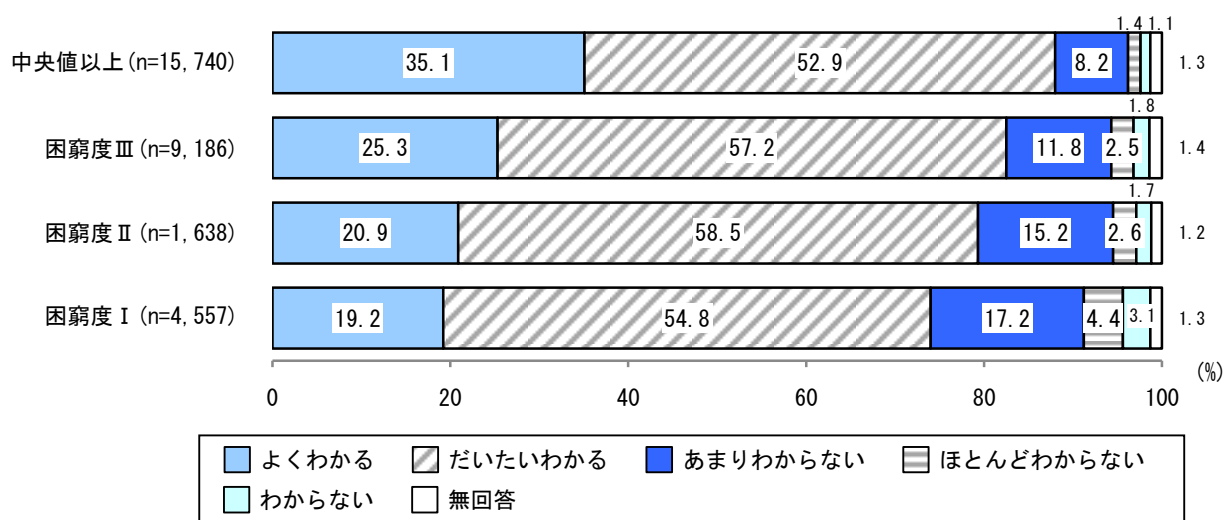


図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくない」と回答した割合は、中央値以上群が31.5%で最も低く、困窮度Ⅰ群が43.7%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

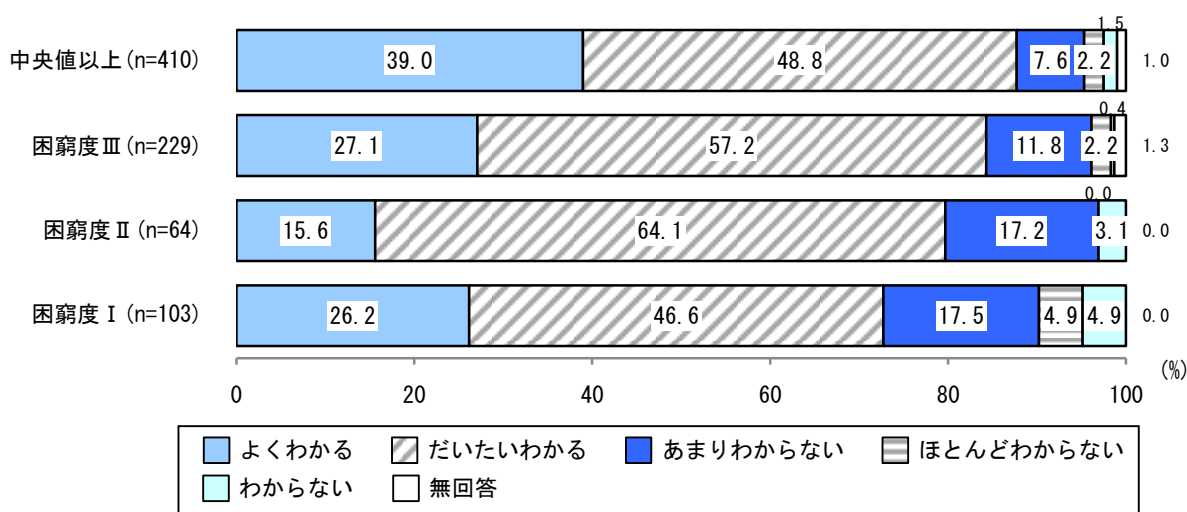


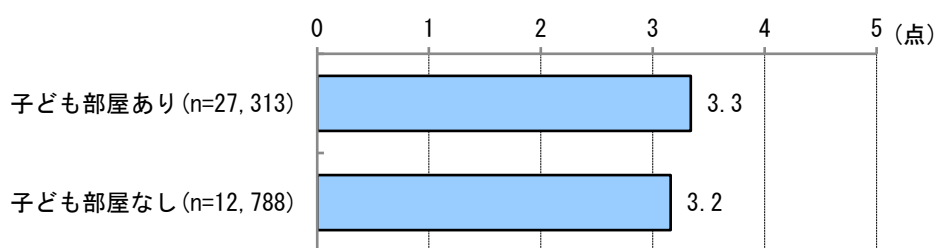
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した割合は、中央値群が39.0%で最も高く、困窮度Ⅱ群が15.6%で、最も低くなっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ①学校がある日
(月～金曜日)(子ども票問21×子ども票問13①)

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた(「7. わからない」は除く)。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全体>



<池田市>

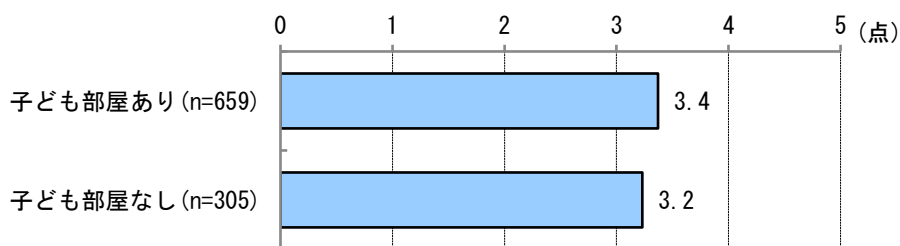
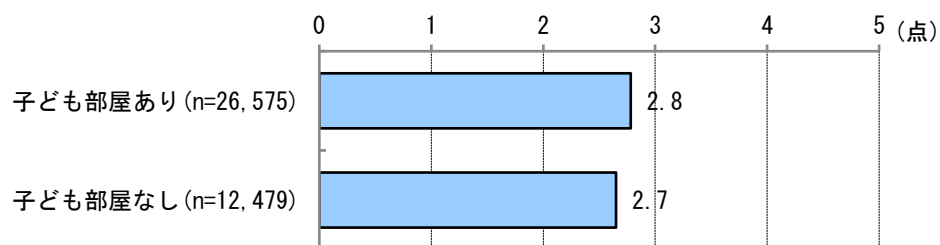


図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がある日)

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どものほうが、勉強時間がわずかに長くなっている。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 ②学校がない日
(土・日曜日・祝日)(子ども票問21×子ども票問13②)

<大阪府内全体>



<池田市>

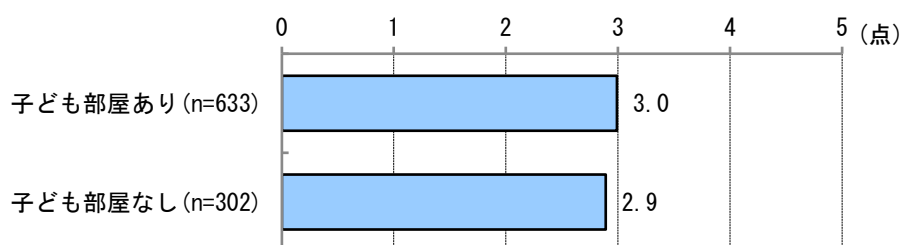
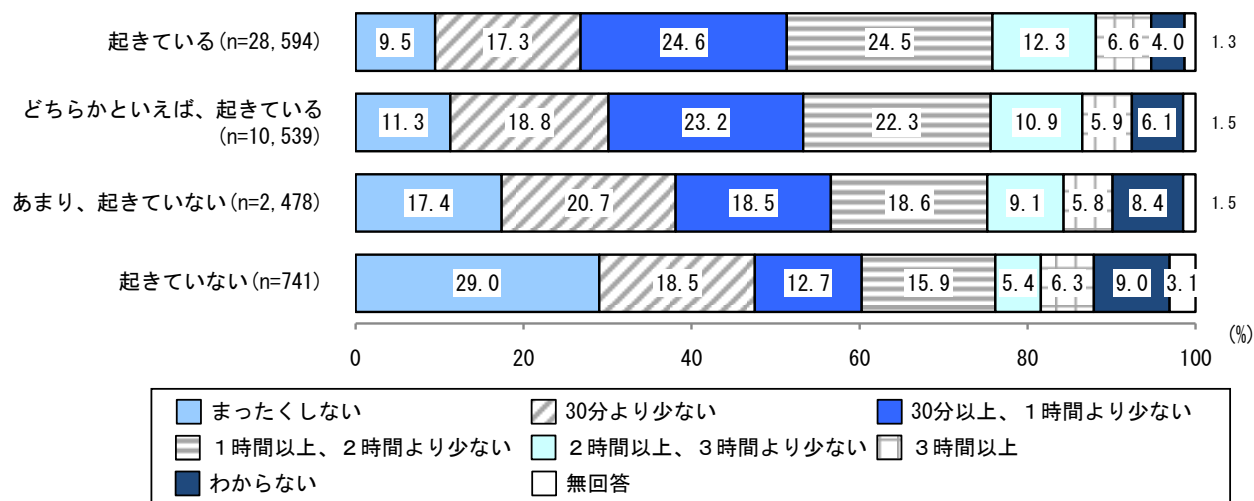


図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値 (学校がない日)

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ても、大きな差はみられない。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問2×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<池田市>

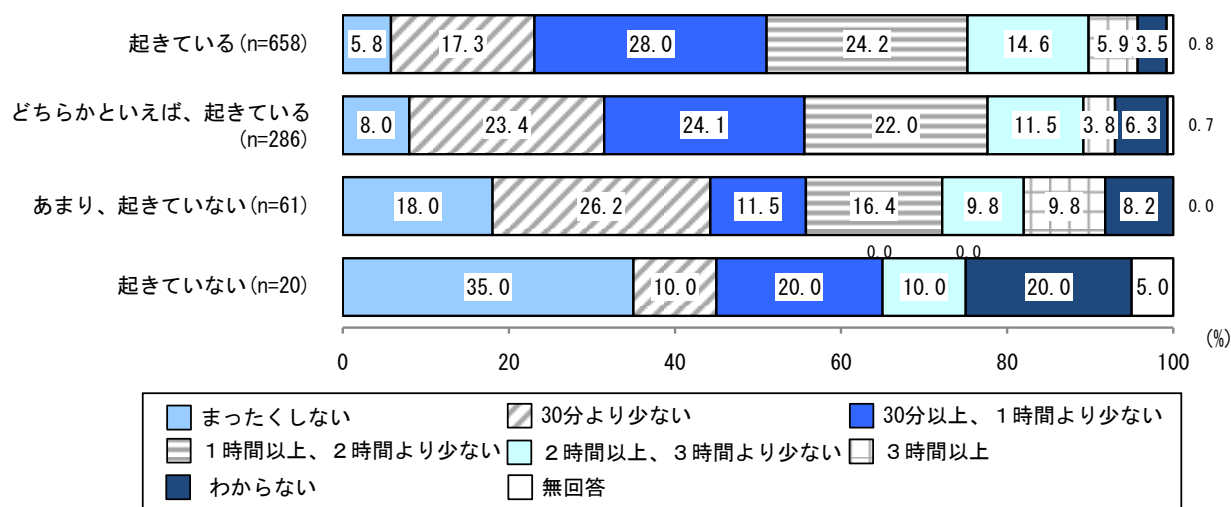
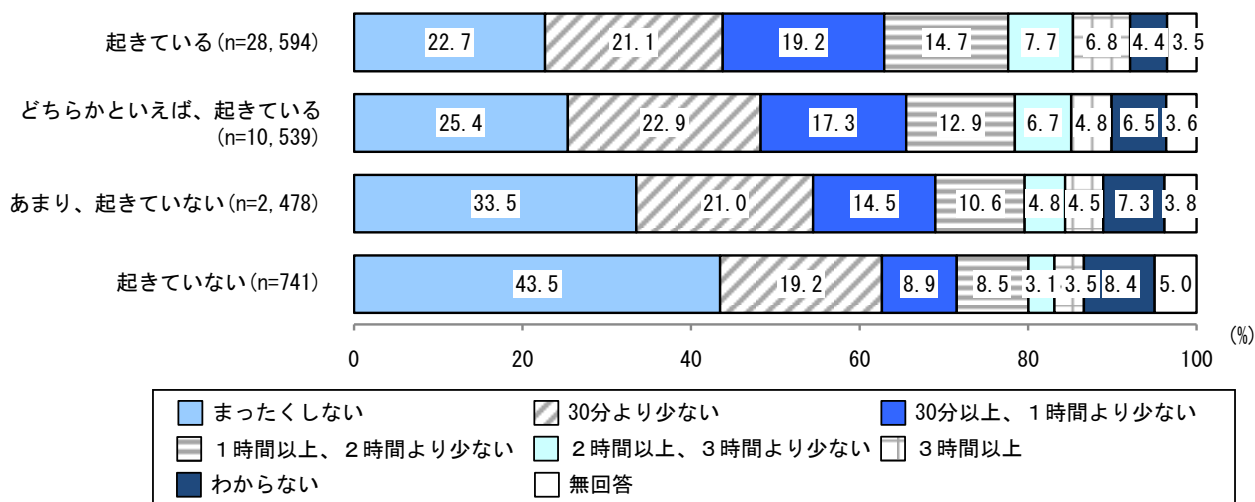


図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」は起きています人で最も低く、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど割合が高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問2×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<池田市>

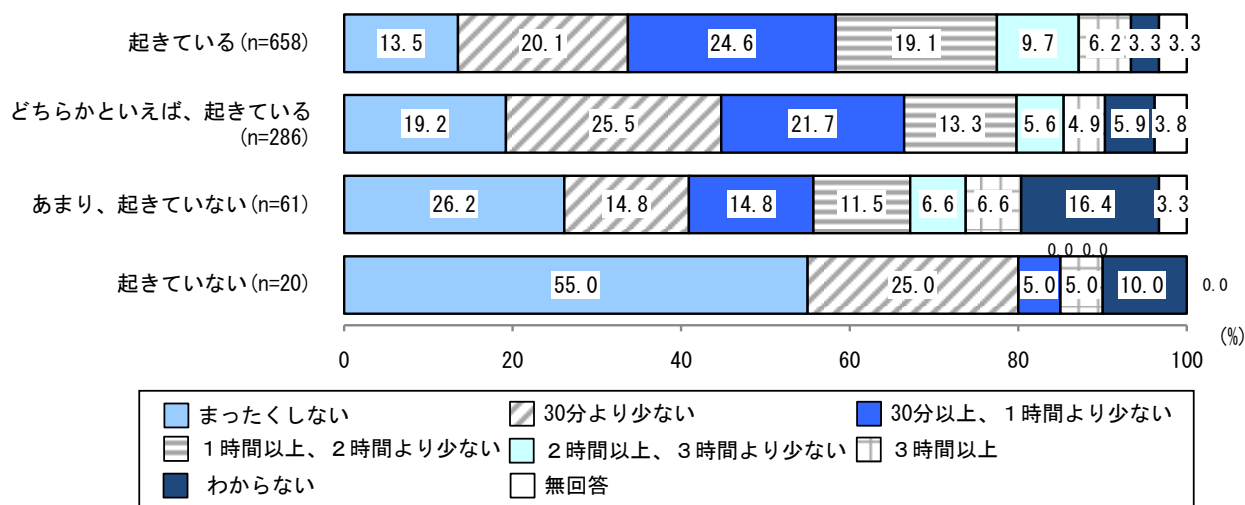
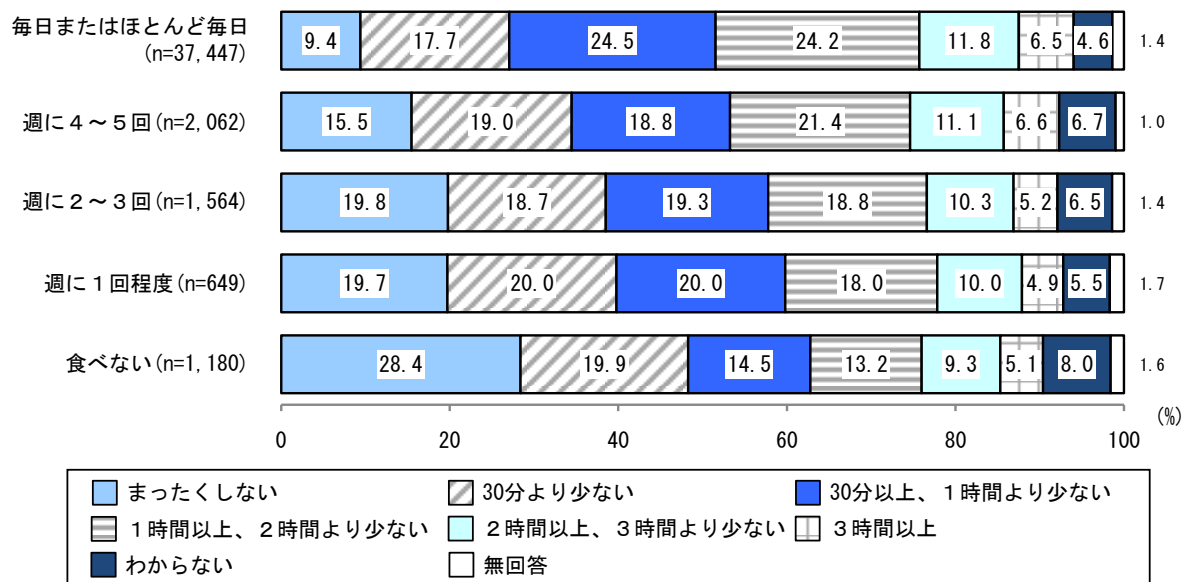


図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」は起きています人で最も低く、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど割合が高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 4 (1) × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<池田市>

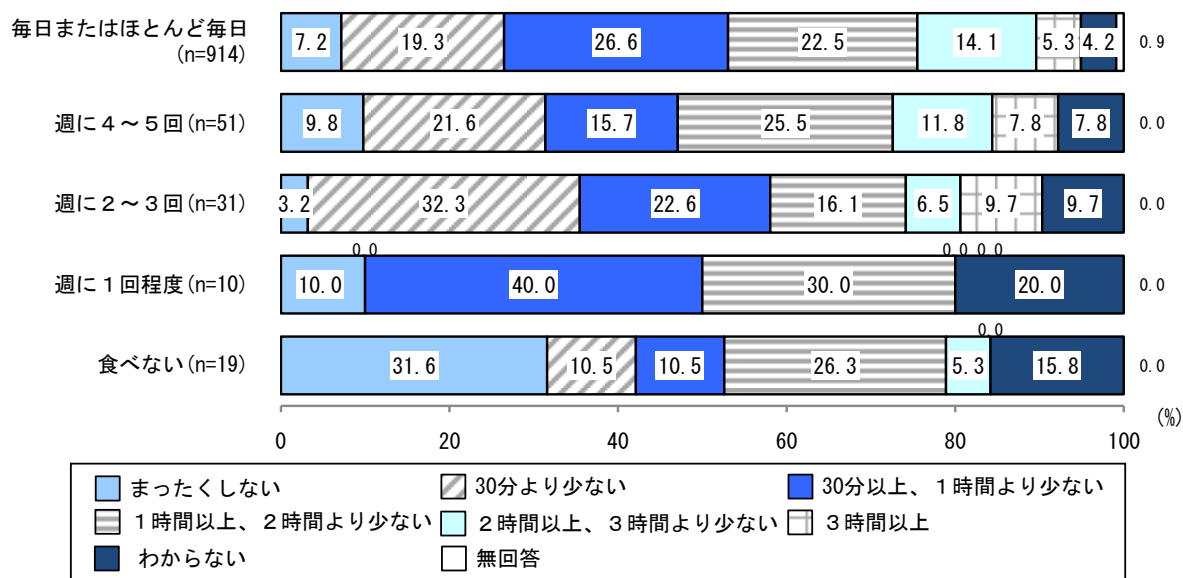
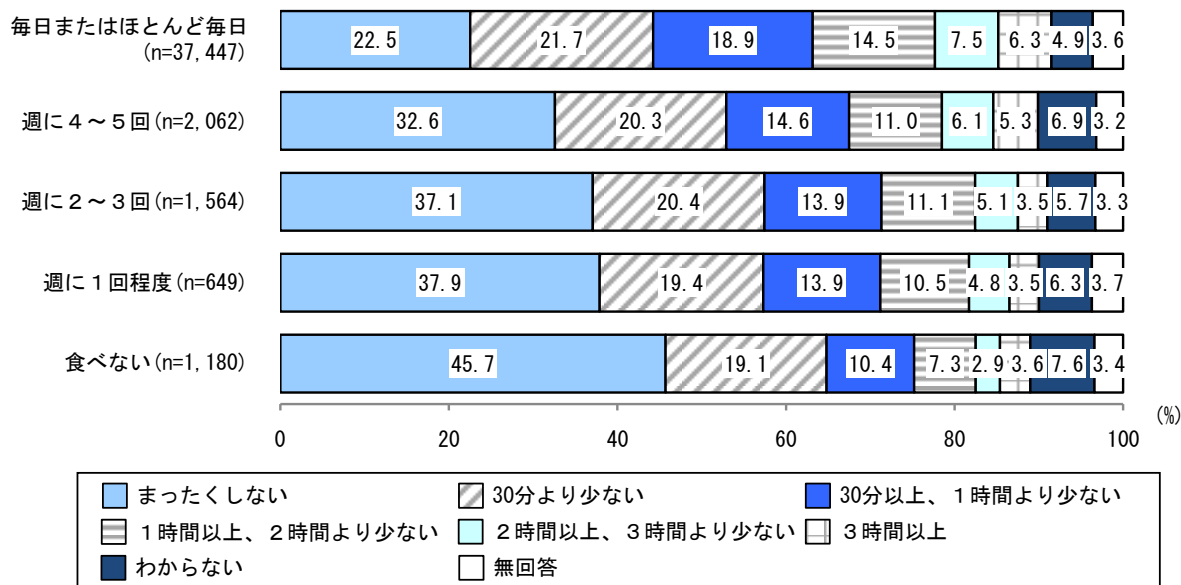


図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した割合は、朝食を食べない人が 31.6% で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問4(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<池田市>

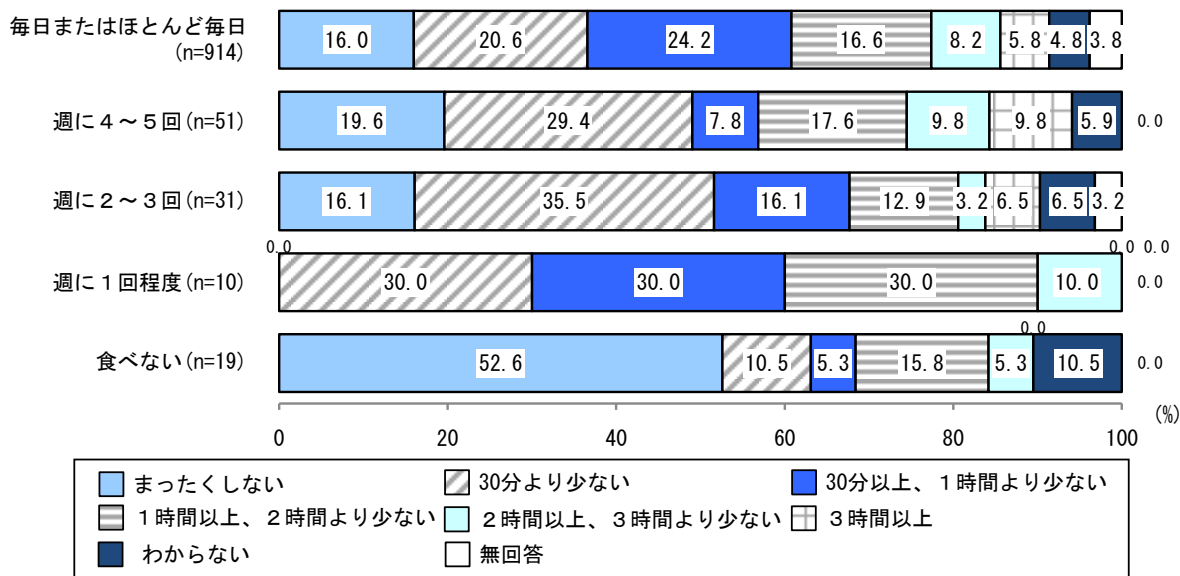
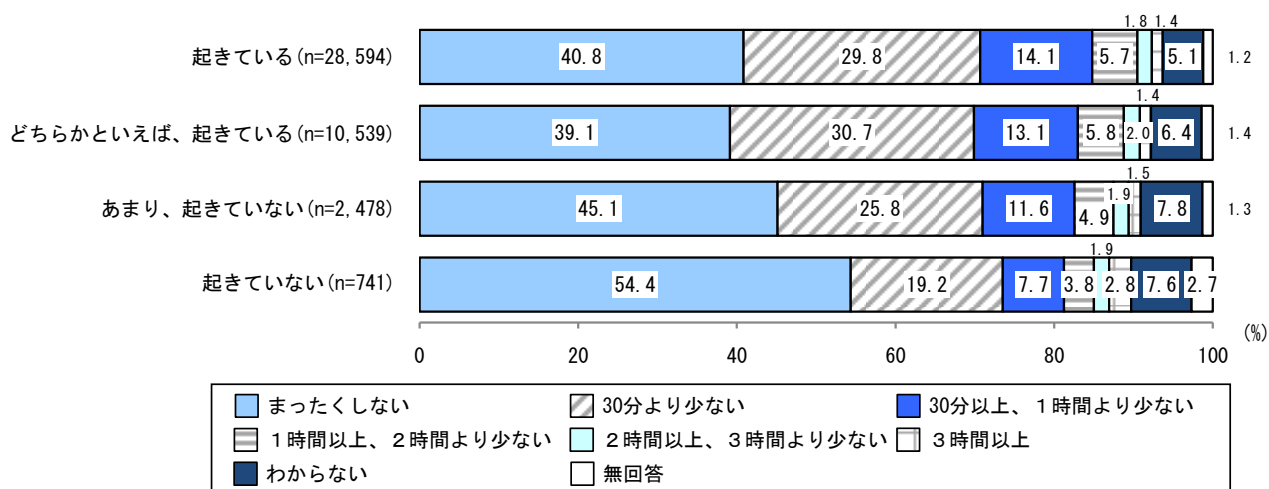


図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した割合は、朝食を食べない人が52.6%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問15）

<大阪府内全体>



<池田市>

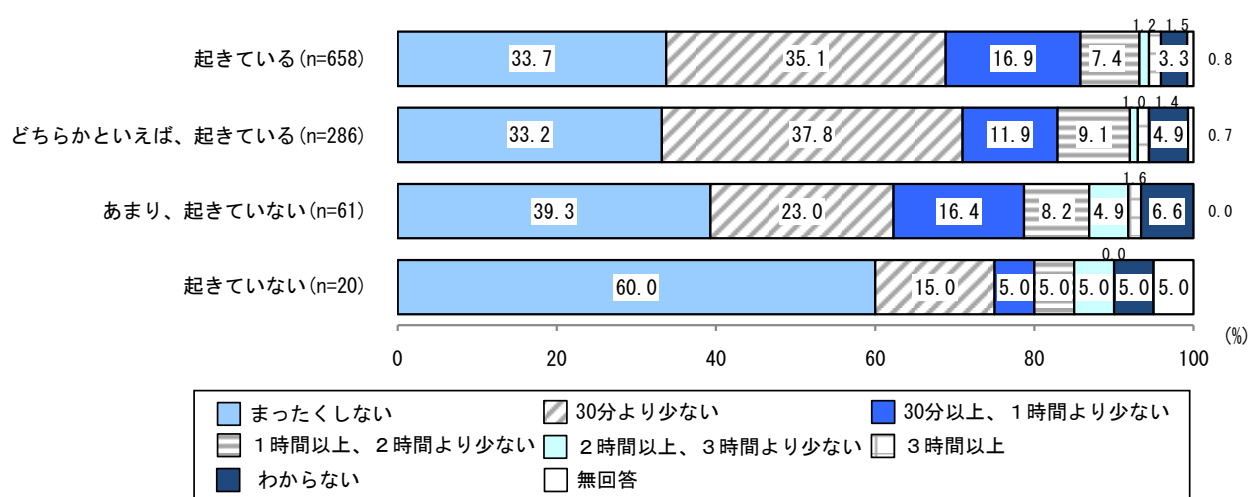
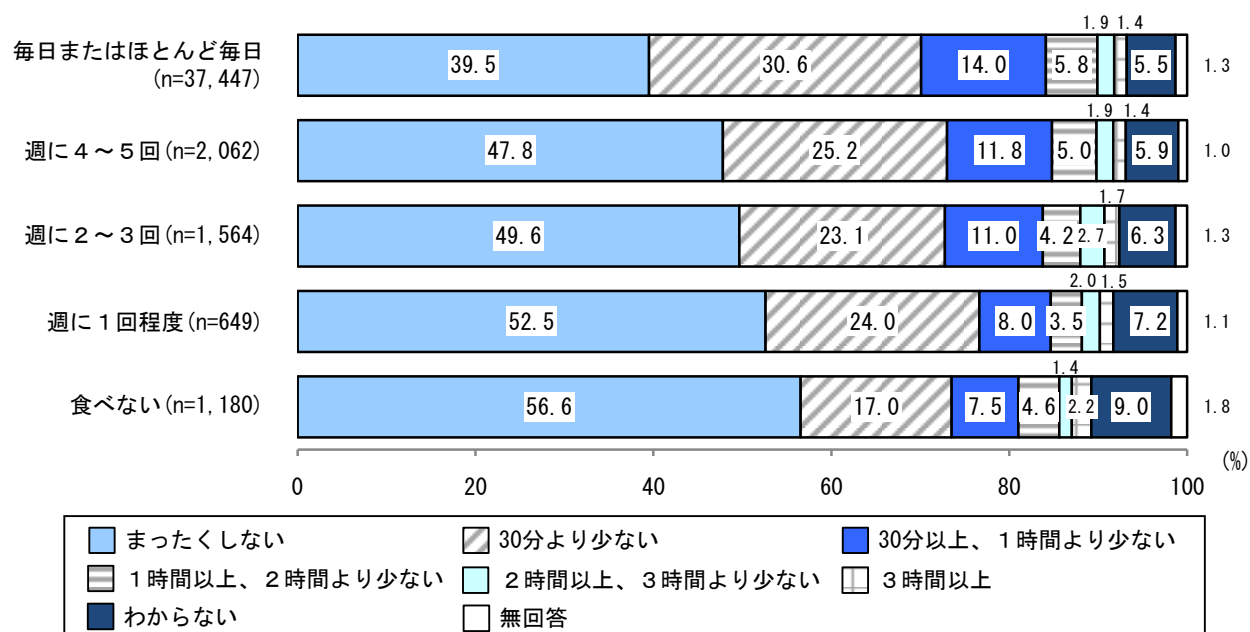


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した割合は、起きていない人で60.0%と、最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問4(1)×子ども票問15)

<大阪府内全体>



<池田市>

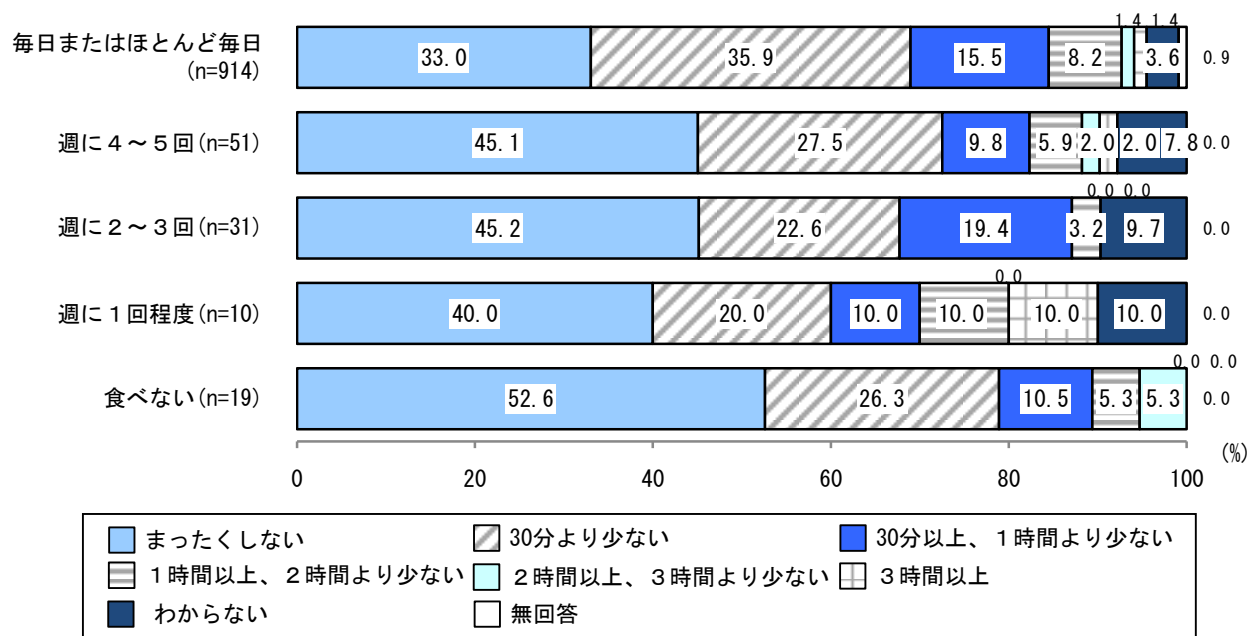
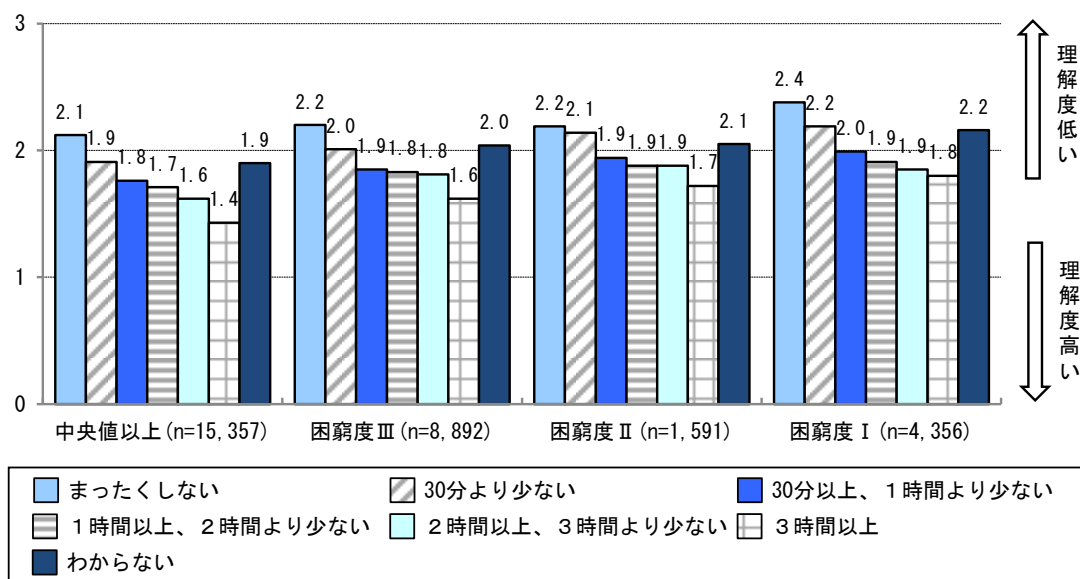


図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、毎日またはほとんど毎日食べる人は「30分より少ない」と回答した割合が35.9%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1) × 子ども票問 13①）

<大阪府内全体>



<池田市>

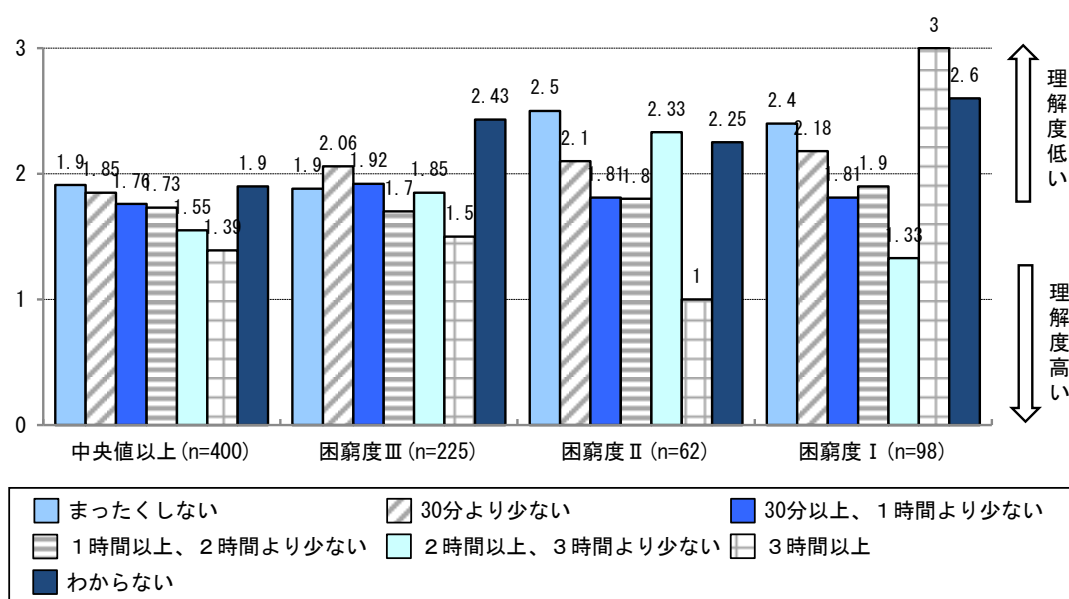
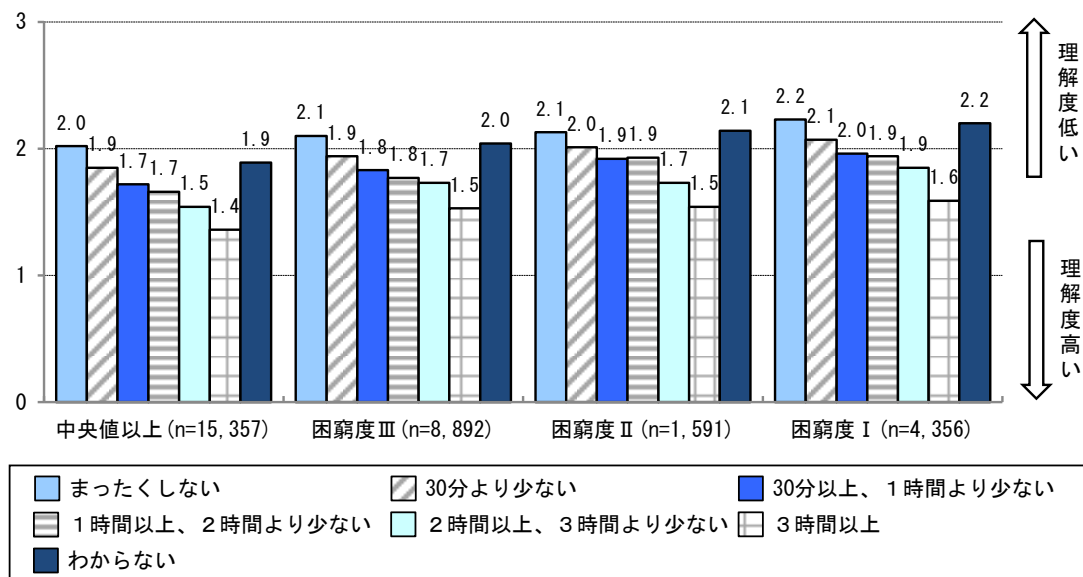


図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の 1 日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上群は、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群は、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問14(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<池田市>

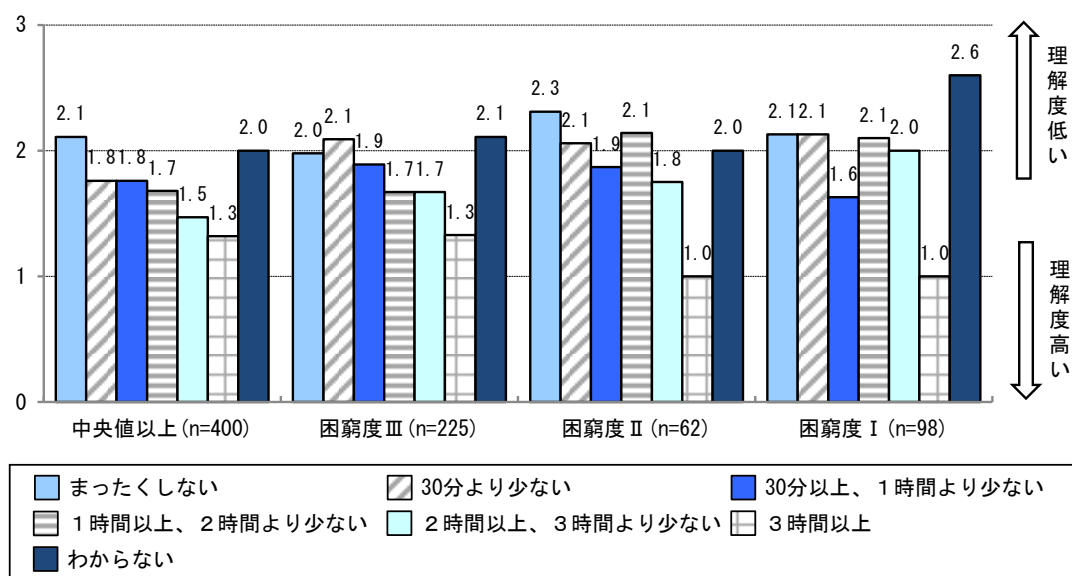
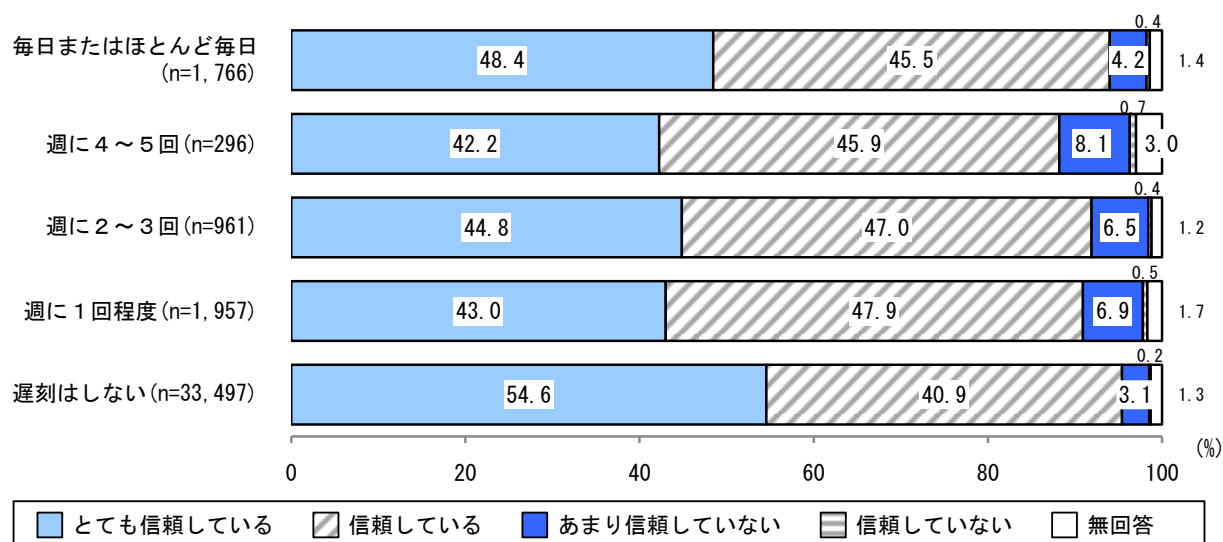


図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上群、困窮度Ⅲ群は、概ね勉強時間が長くなるほど学習理解度が高まるが、それ以外の群は学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問7×保護者票問13(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

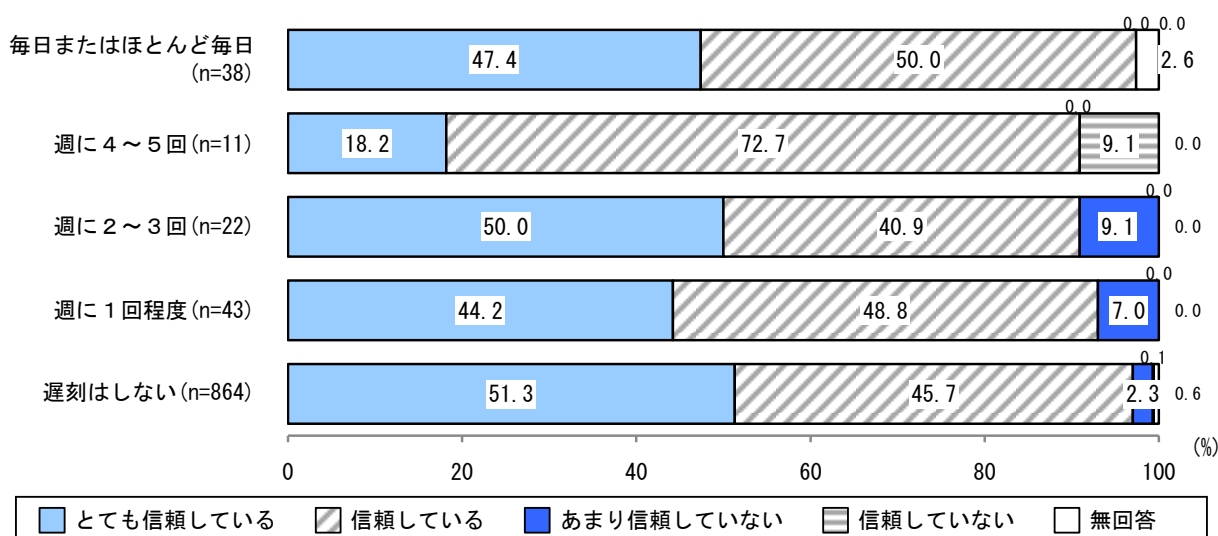
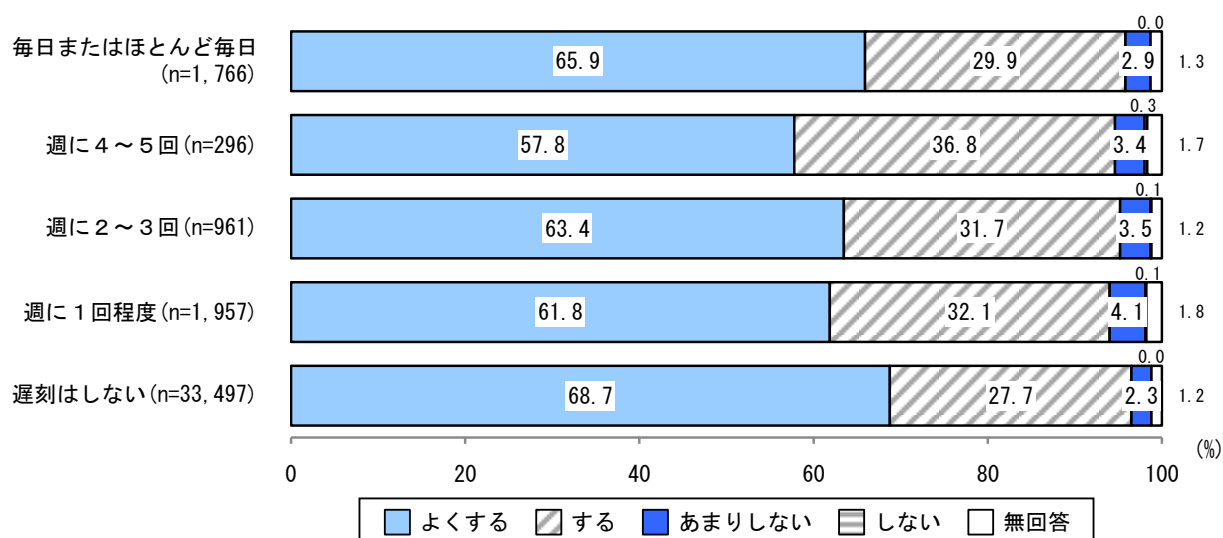


図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、週に2～3回遅刻をしている子どもの保護者は、「あまり信頼していない」と回答した割合が9.1%で、他の遅刻状況の子どもの保護者よりも高く、信頼している割合は90.9%（「とても信頼している」50.0%、「信頼している」40.9%）で最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

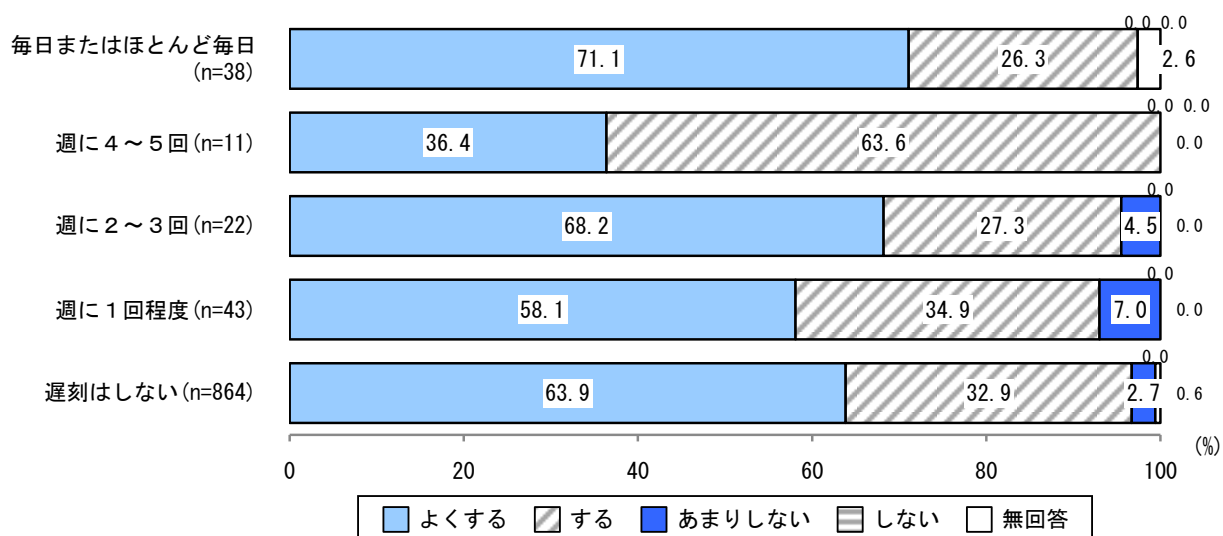
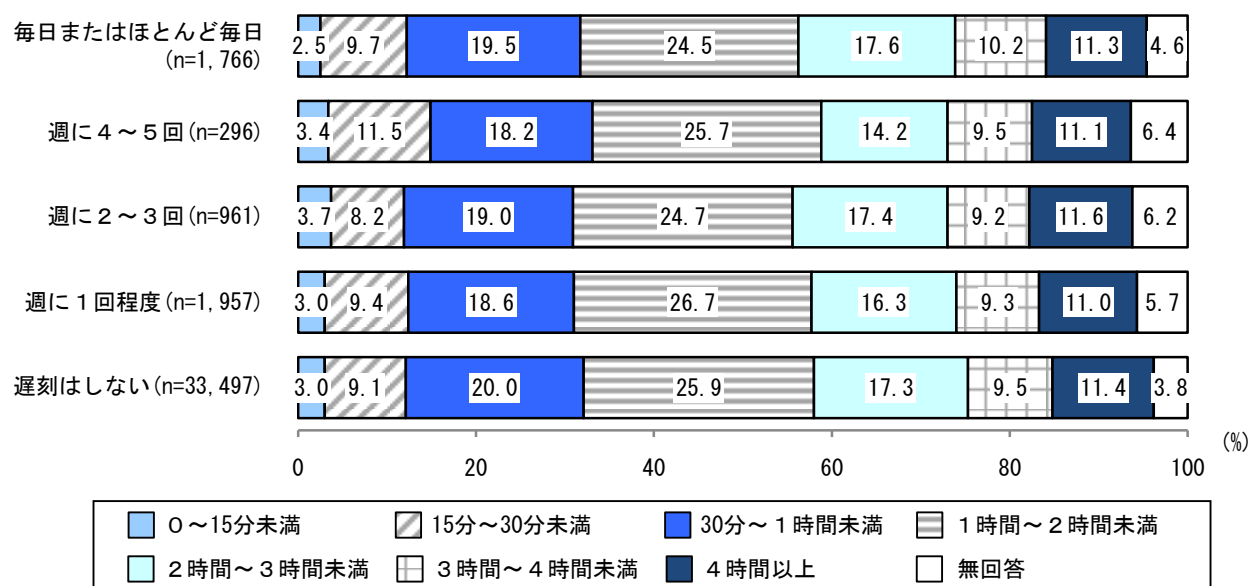


図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「あまりしない」と回答した割合は、週に1回程度遅刻をする子どもの保護者が7.0%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

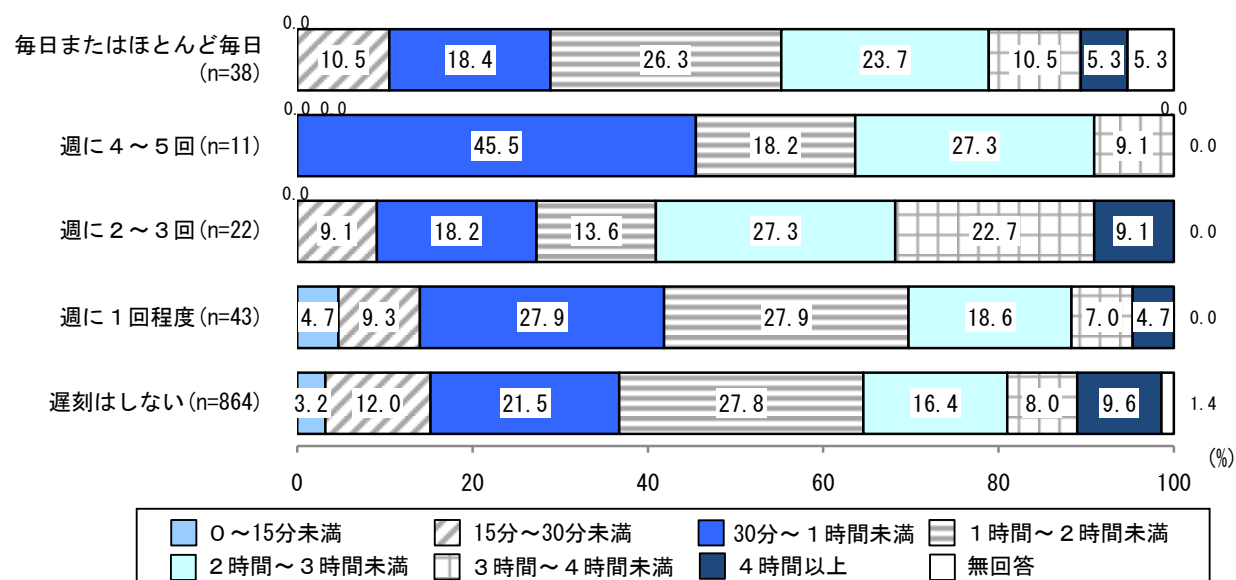
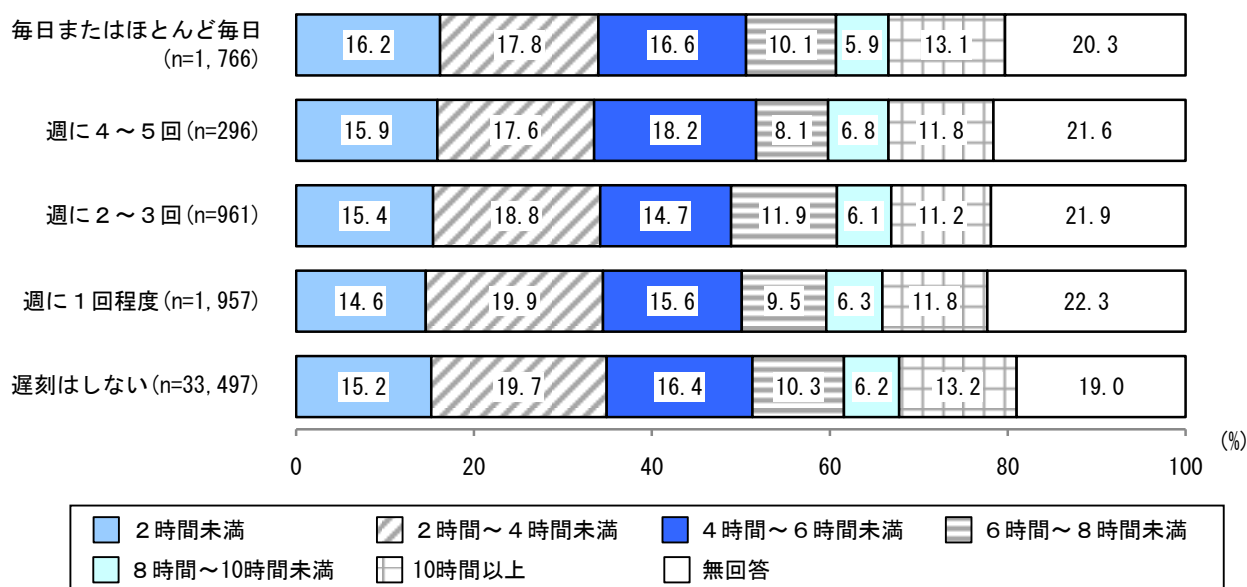


図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「4時間以上」と回答した割合は、遅刻はしない子どもの保護者が9.6%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問7×保護者票問13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

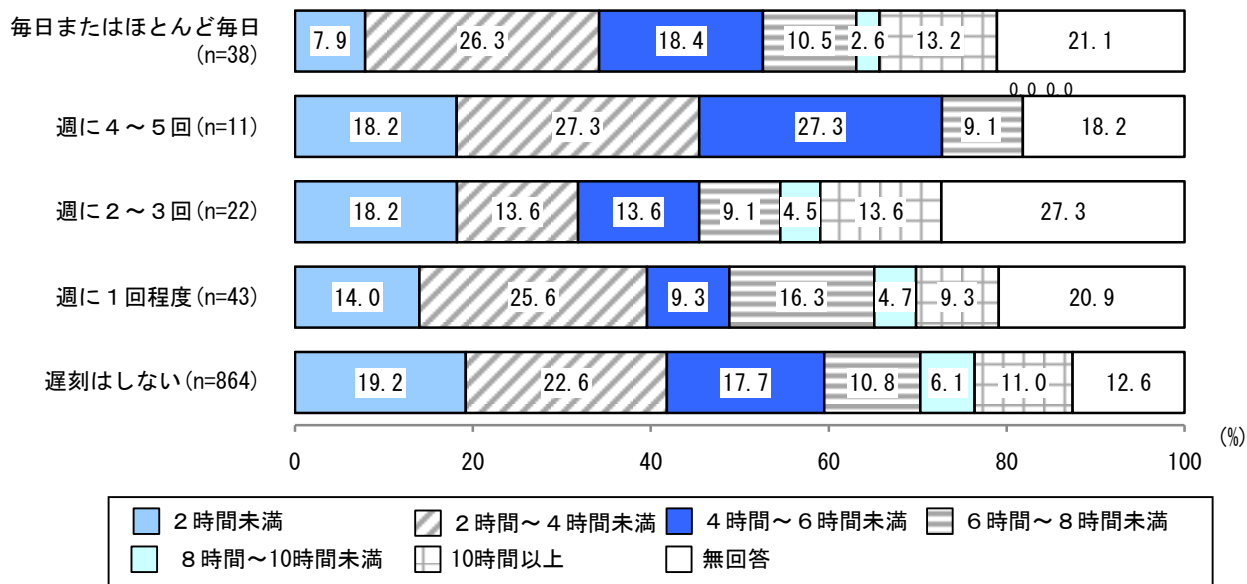
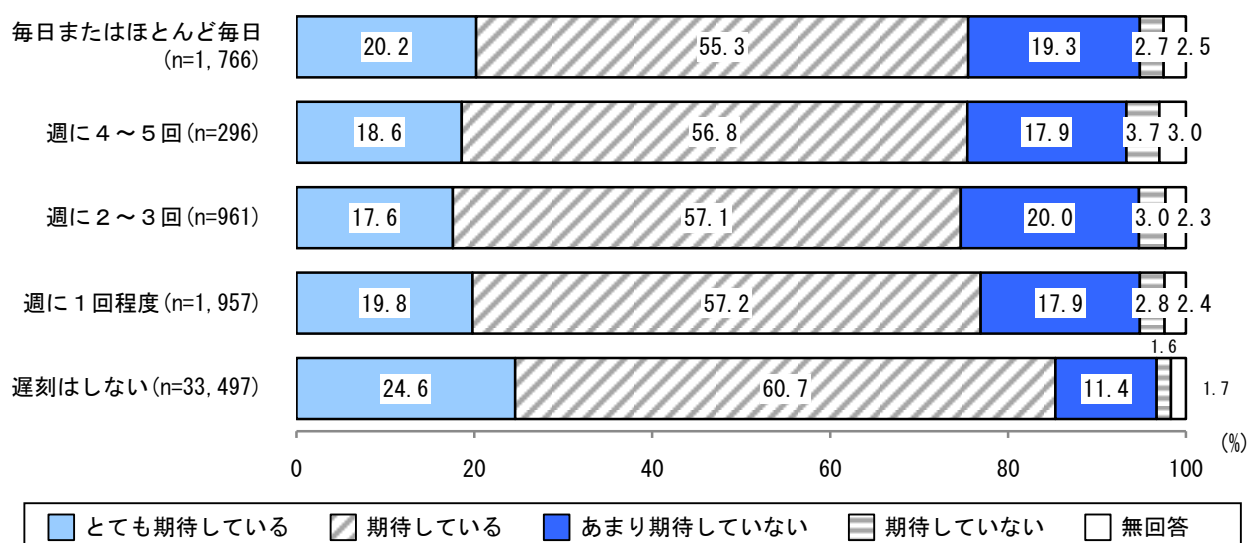


図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「2時間未満」と回答した割合は、遅刻はしない子どもの保護者が19.2%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問 7 × 保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<池田市>

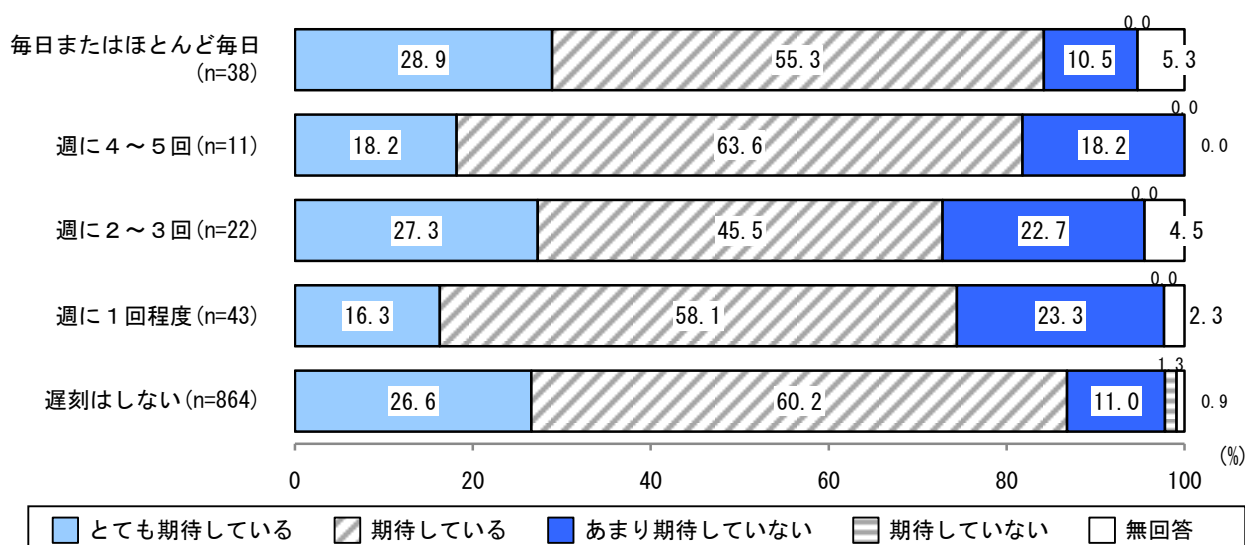
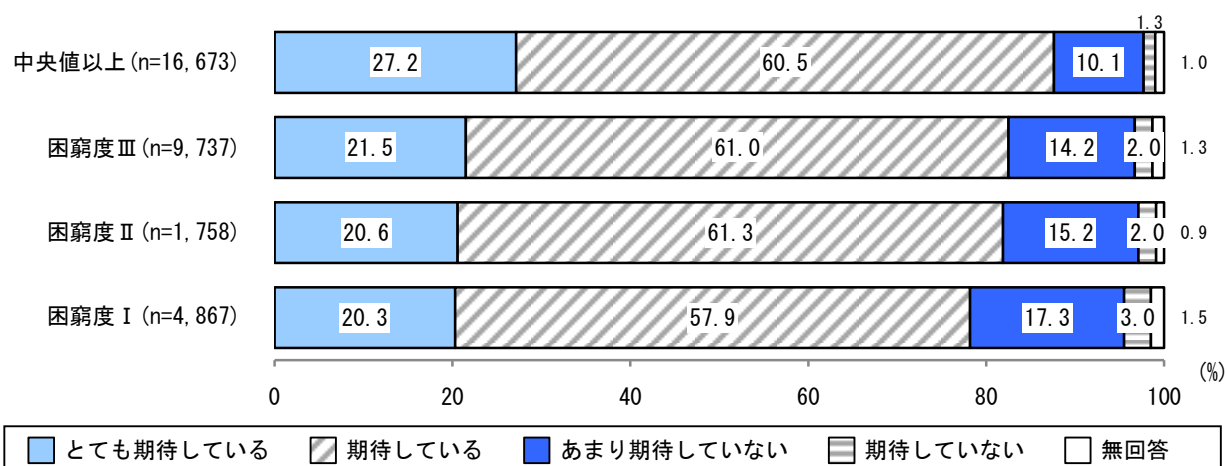


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、遅刻はしない子どもの保護者にのみ「期待していない」の回答がみられた。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

<大阪府内全体>



<池田市>

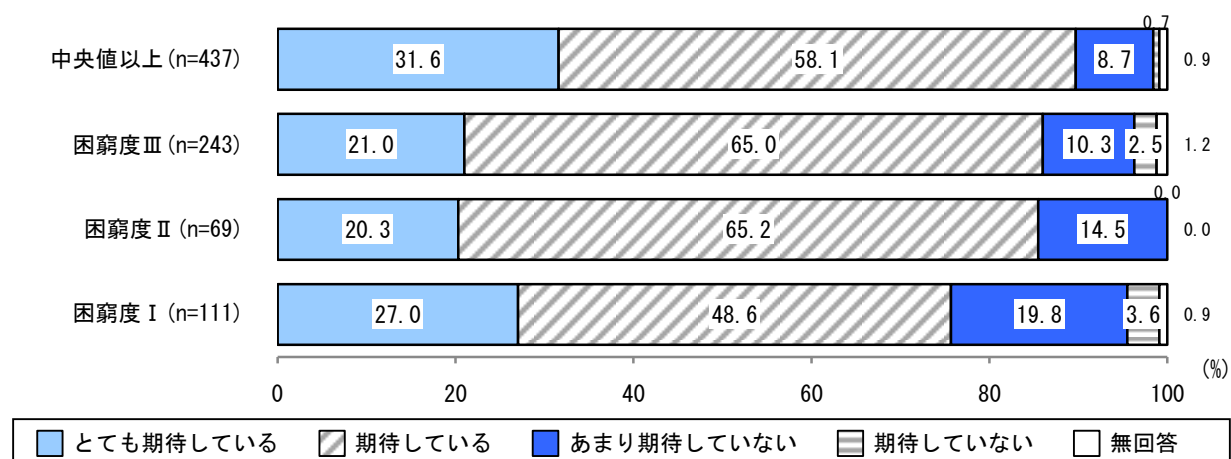
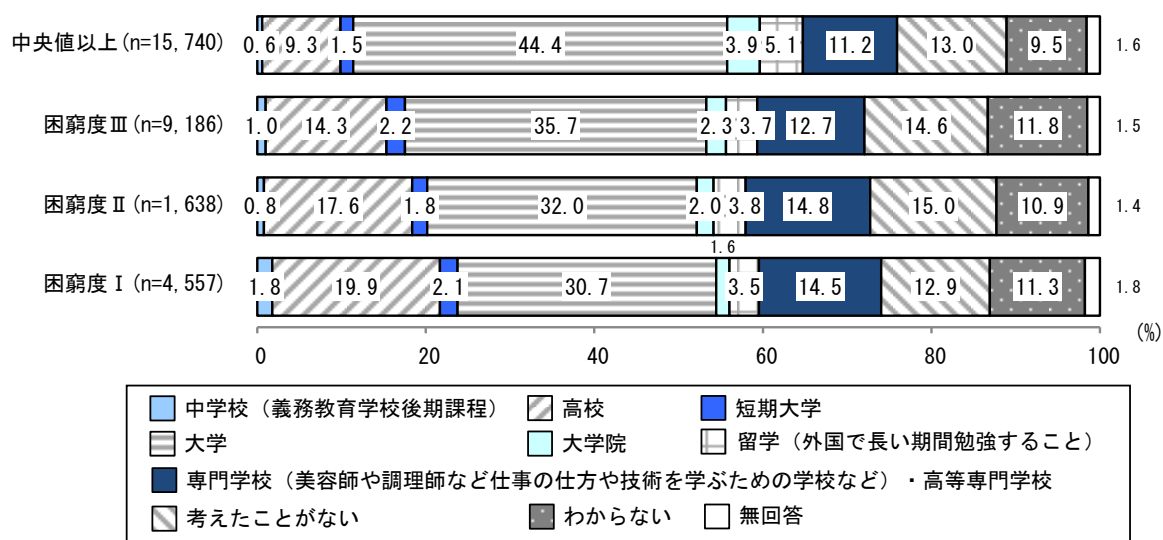


図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「あまり期待していない」と回答した割合が高くなっている。また、子どもの将来に期待している回答した割合は、中央値以上群が89.7%（「とても期待している」31.6%、「期待している」58.1%）で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<池田市>

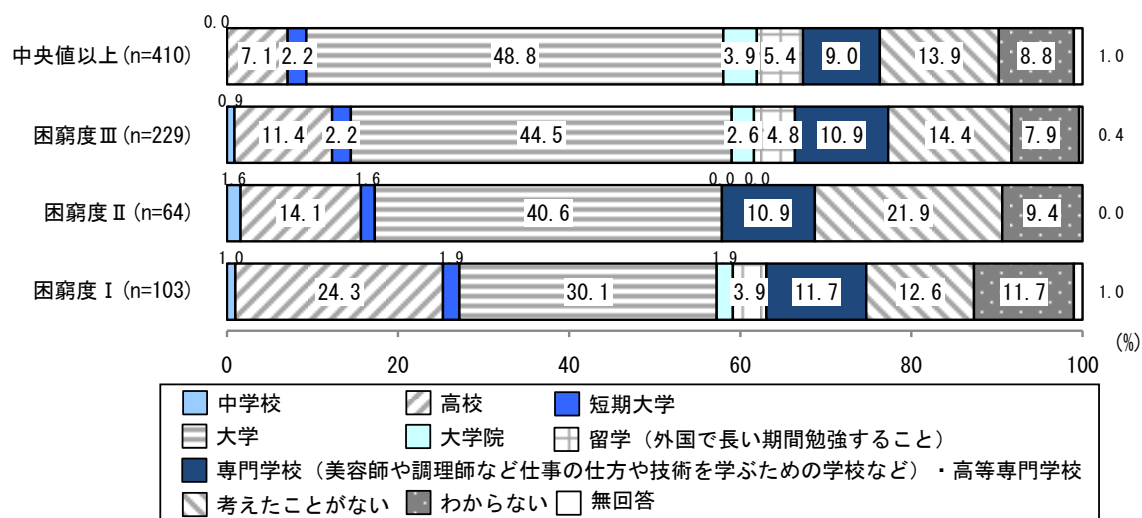
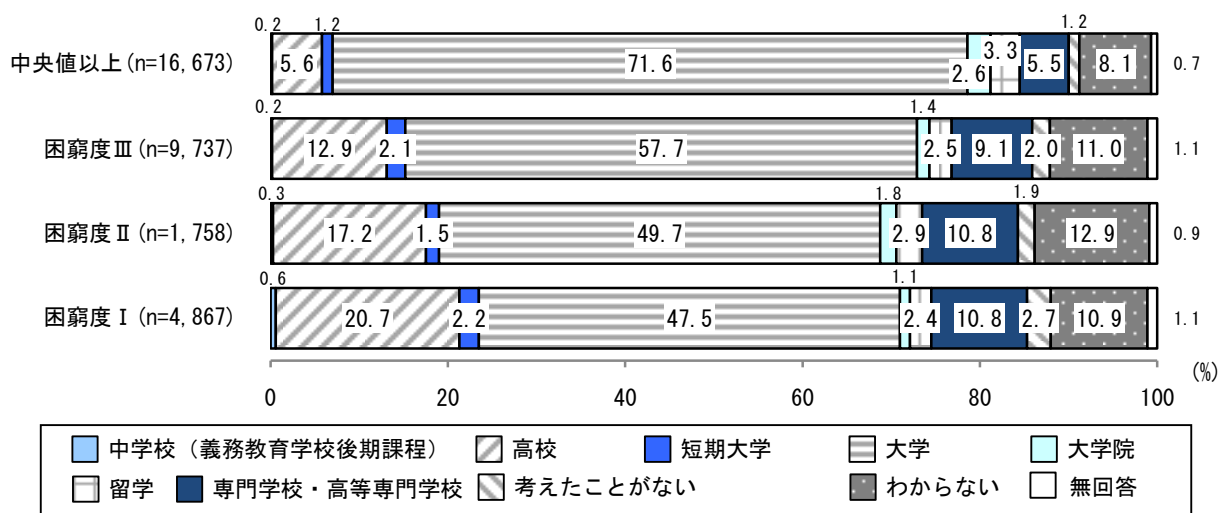


図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高くなるにつれ「大学」と回答した割合が低くなり、「高校」と回答した割合は高くなっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

<大阪府内全体>



<池田市>

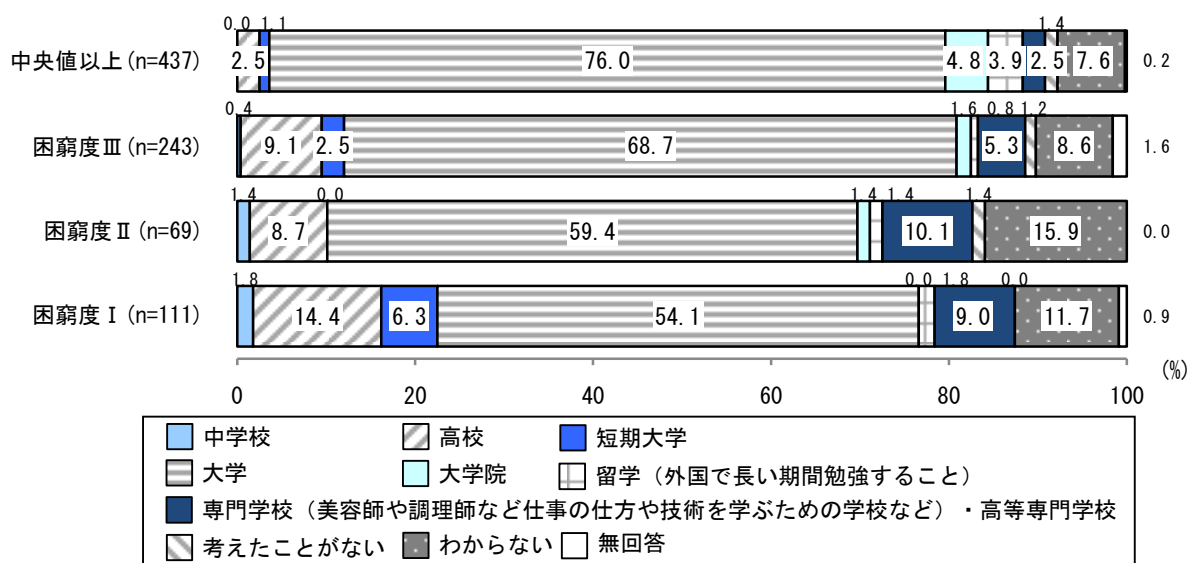
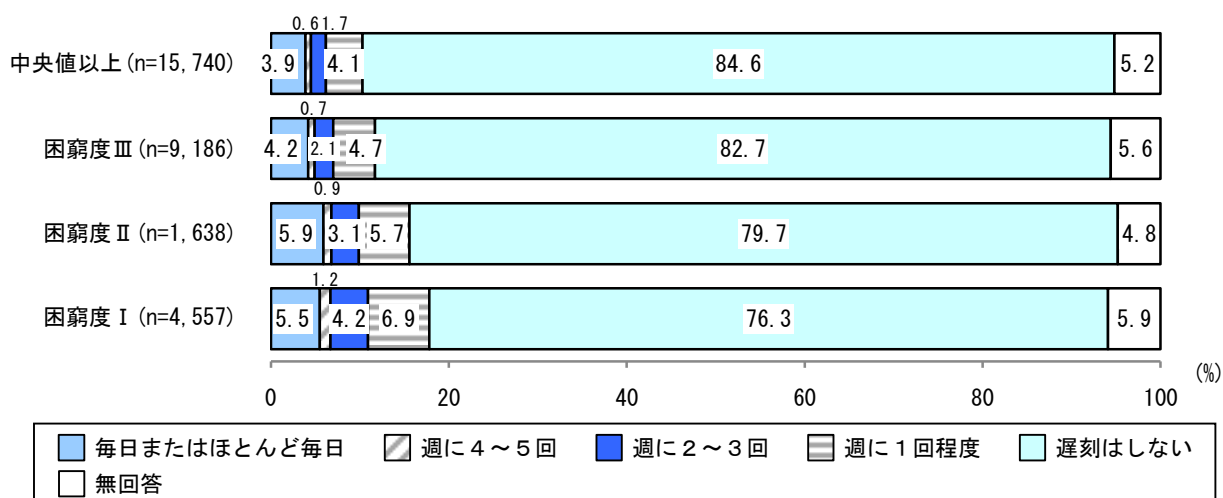


図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「大学」と回答した割合は低くなり、「高校」と回答した割合は高くなっている。また、困窮度Ⅱ群、困窮度Ⅰ群では、「中学校」と回答した割合がそれぞれ1.4%・1.8%で、中央値以上群、困窮度Ⅲ群よりも高くなっている。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問7）

<大阪府内全体>



<池田市>

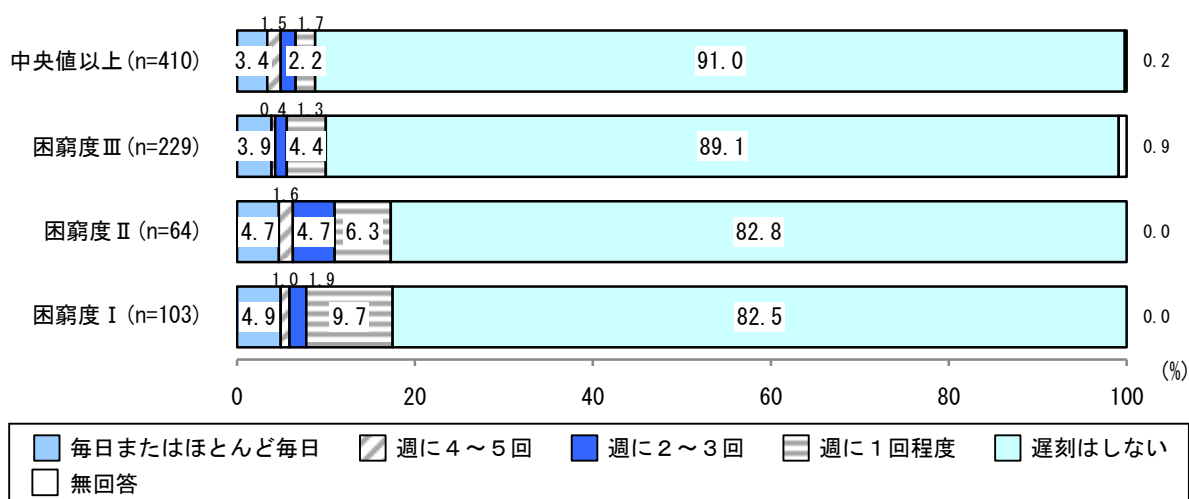
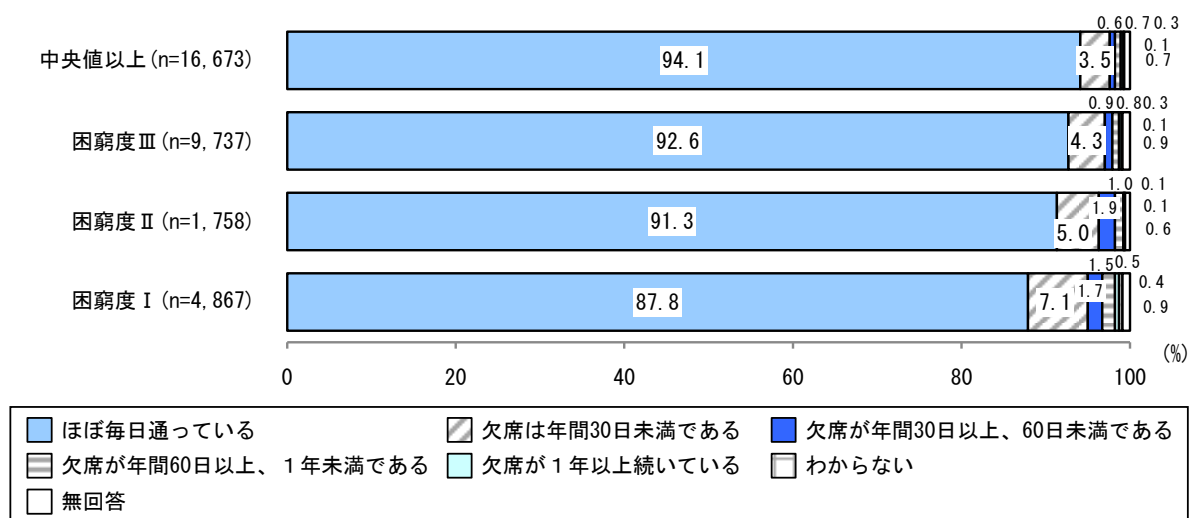


図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「毎日またはほとんど毎日」、「週に1回程度」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

<大阪府内全体>



<池田市>

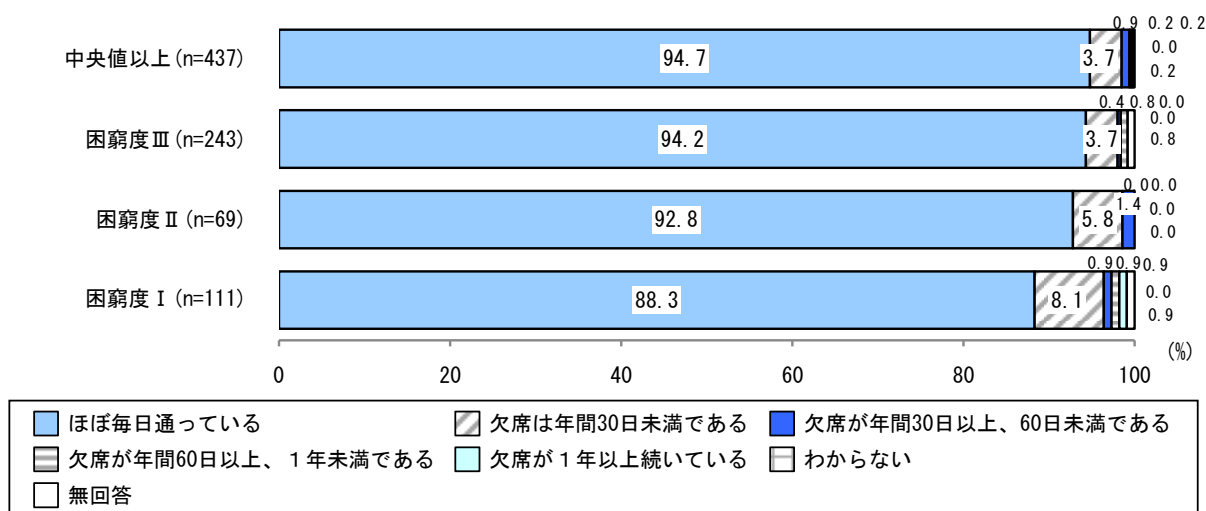
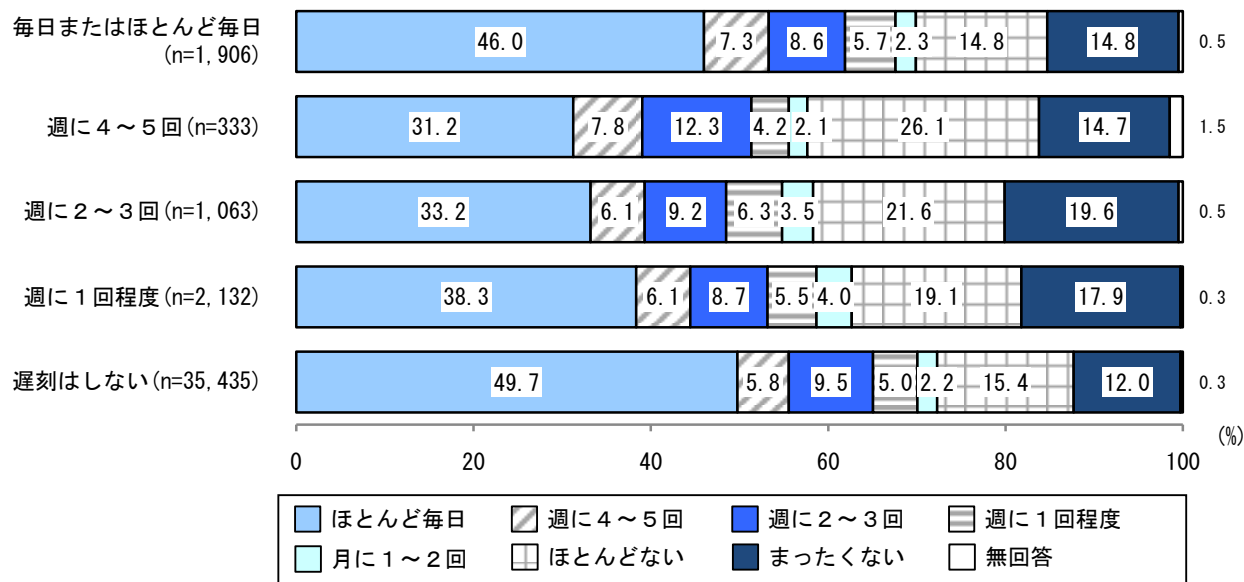


図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「ほぼ毎日通っている」と回答した割合が低く、困窮度Ⅰ群が88.3%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8①)

<大阪府内全体>



<池田市>

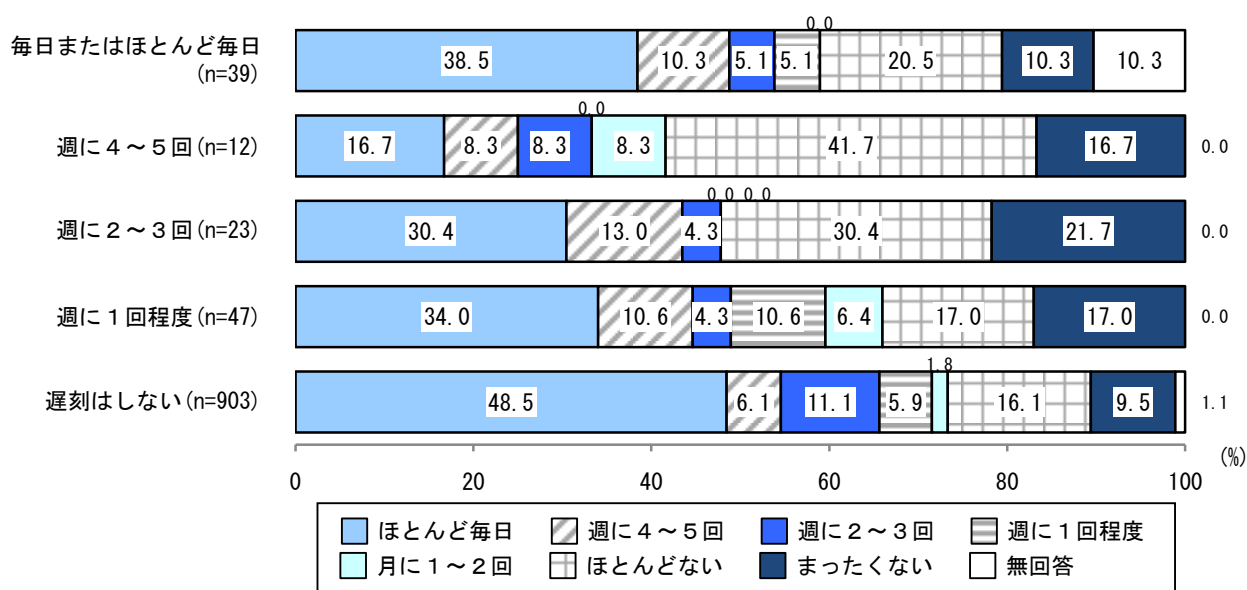
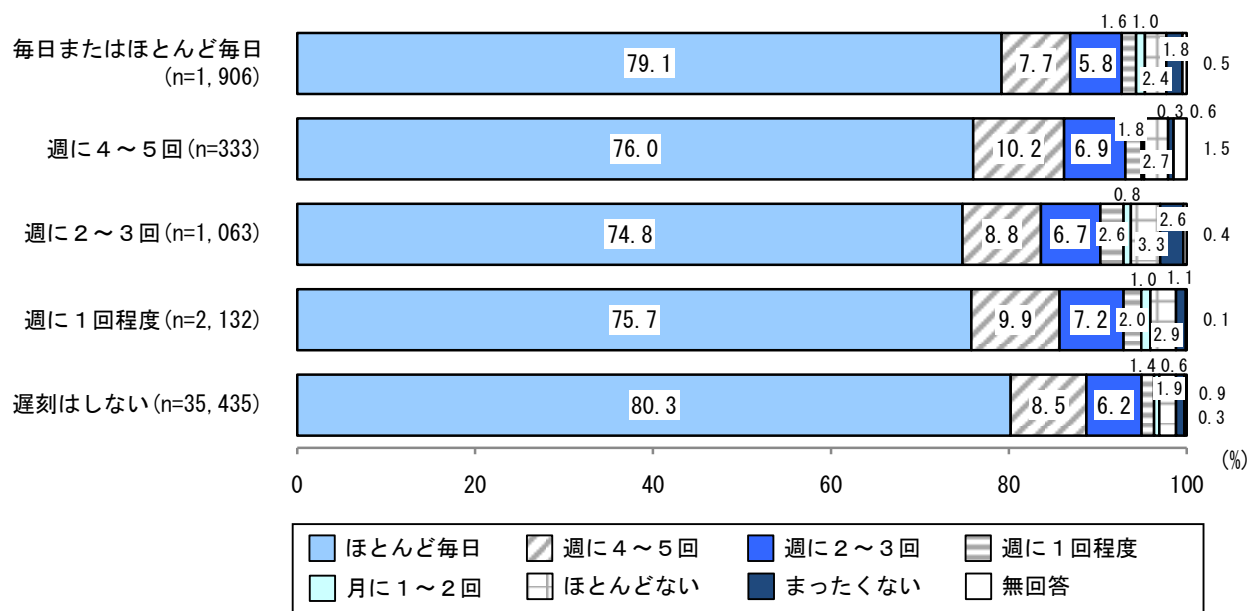


図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、遅刻はしない子どもは「ほとんど毎日」と回答した割合が48.5%で最も高く、「まったくない」と回答した割合は9.5%で最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
(子ども票問7×保護者票問8②)

<大阪府内全体>



<池田市>

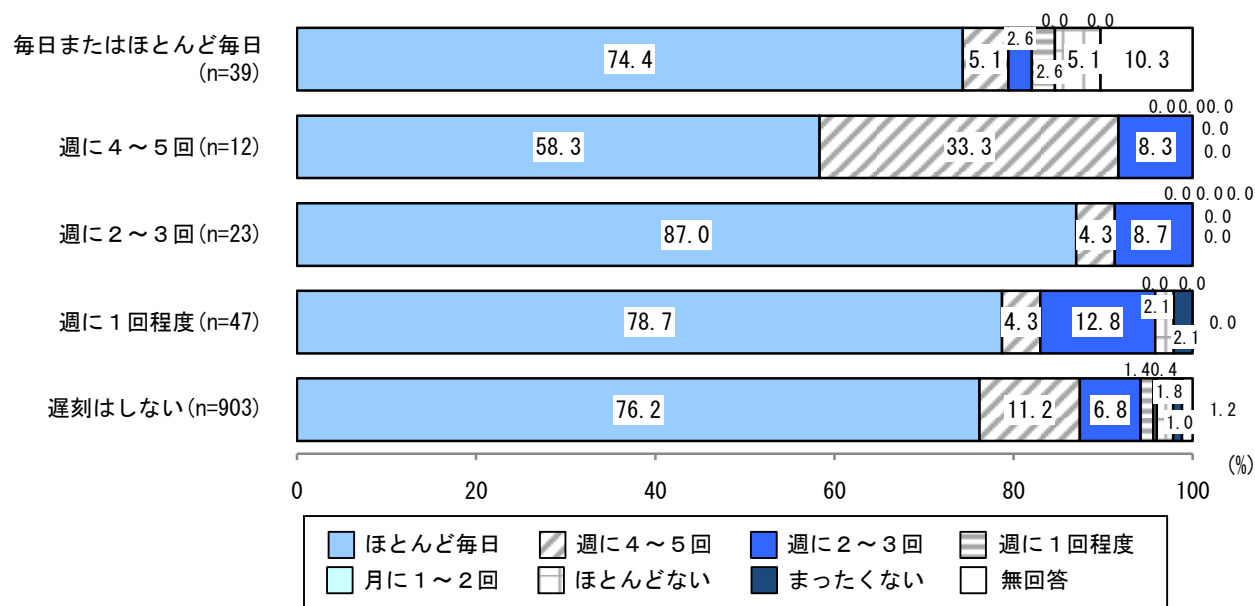
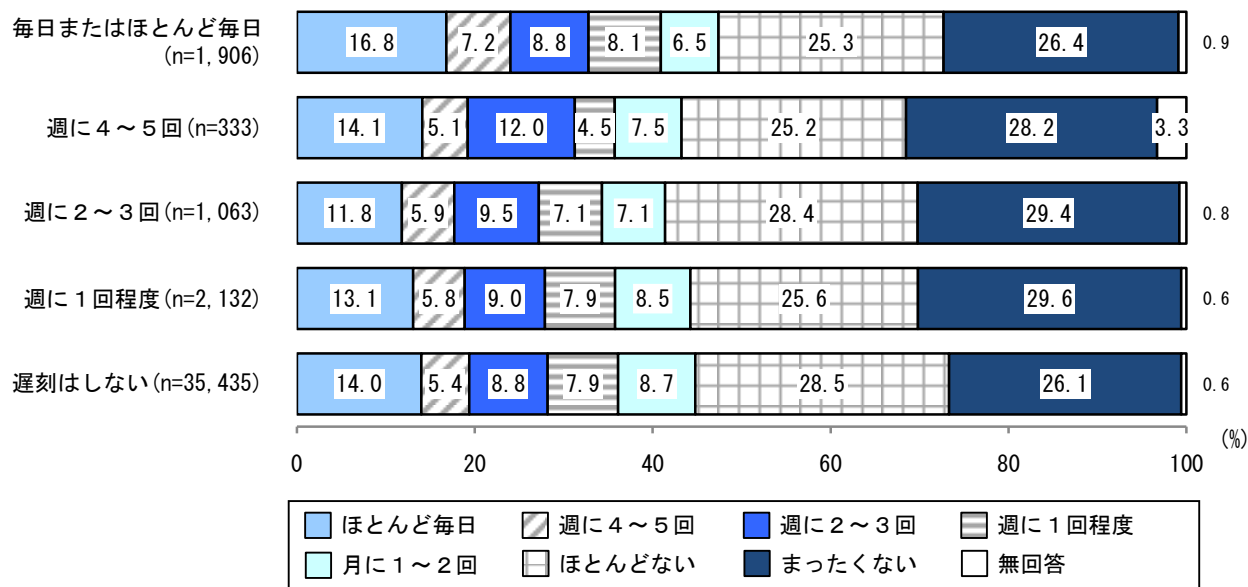


図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、週に1回程度遅刻をしている子どもと、遅刻はしない子どもにのみ、「まったくない」の回答がみられた。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問7×保護者票問8⑤）

<大阪府内全体>



<池田市>

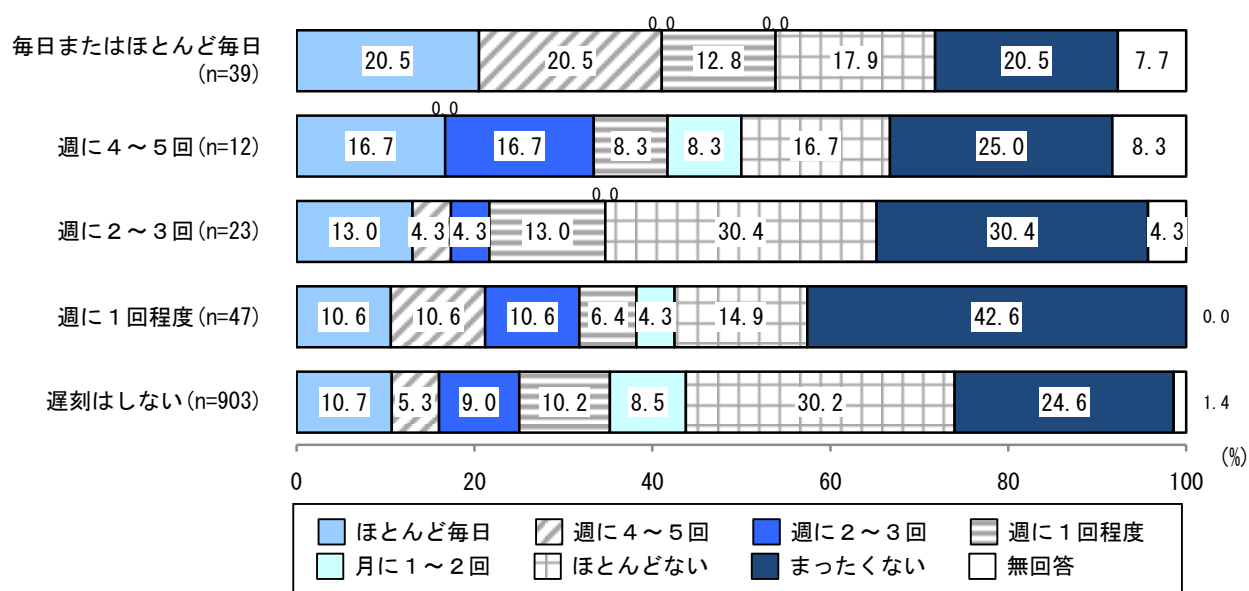
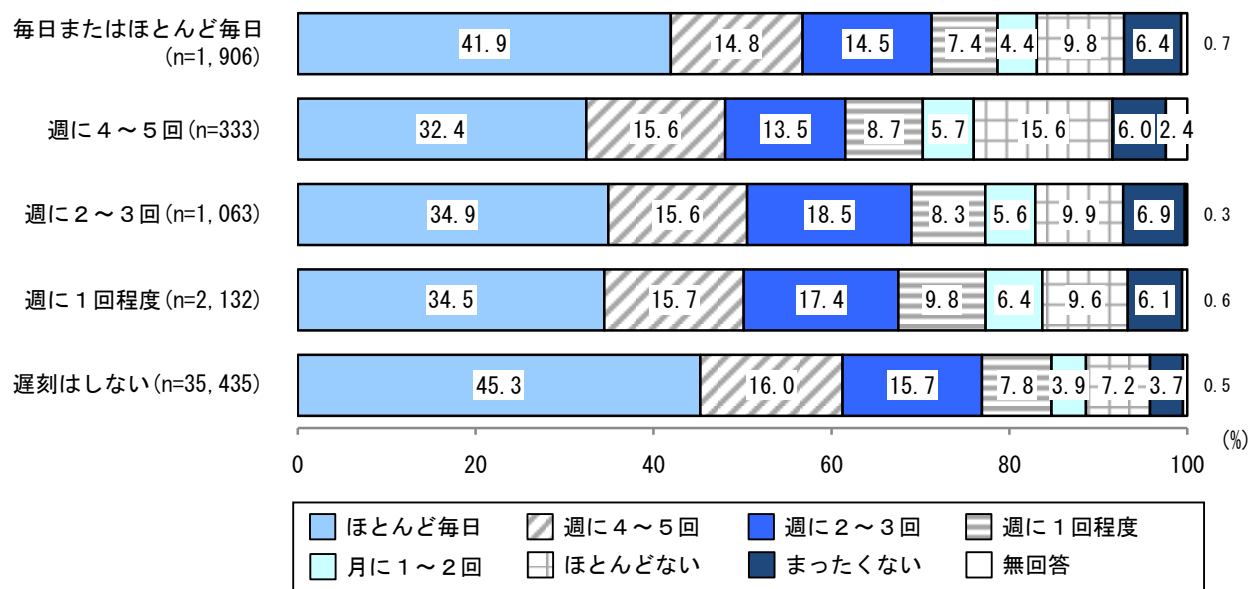


図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが20.5%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑥)

<大阪府内全体>



<池田市>

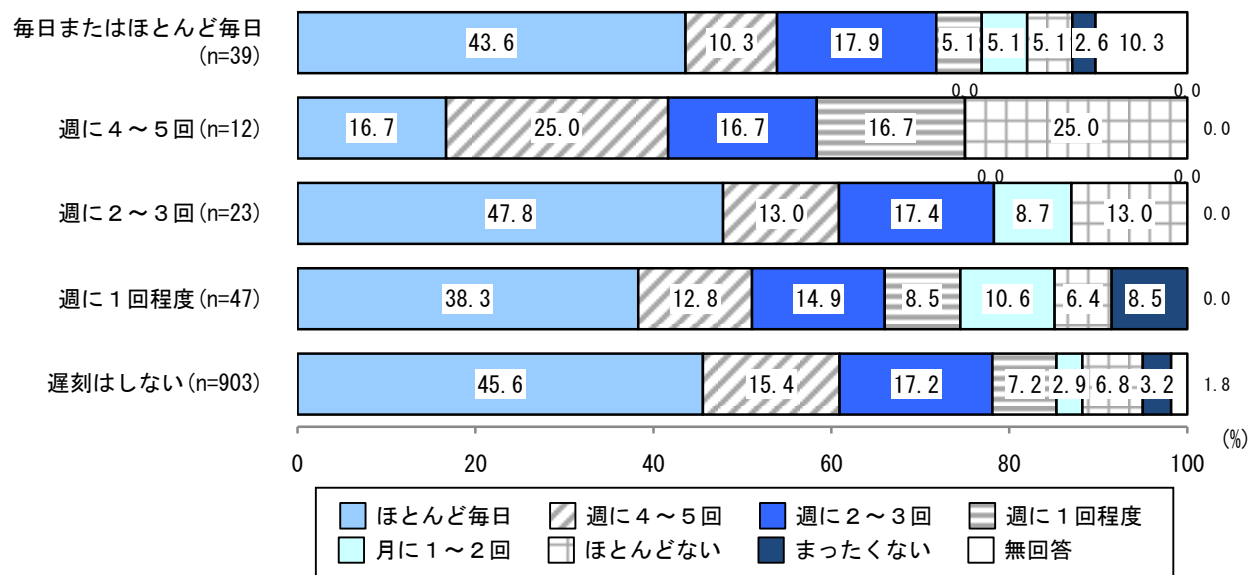
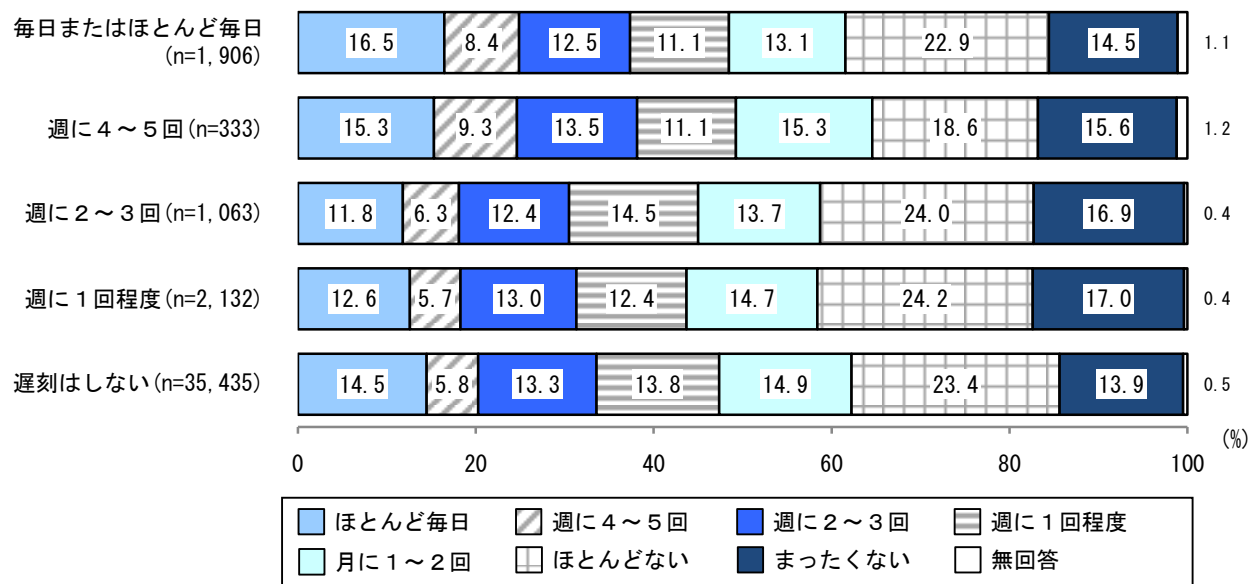


図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、週に2～3回遅刻をする子どもが47.8%で最も高く、次いで遅刻はしない子どもが45.6%となっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(子ども票問7×保護者票問8⑦)

<大阪府内全体>



<池田市>

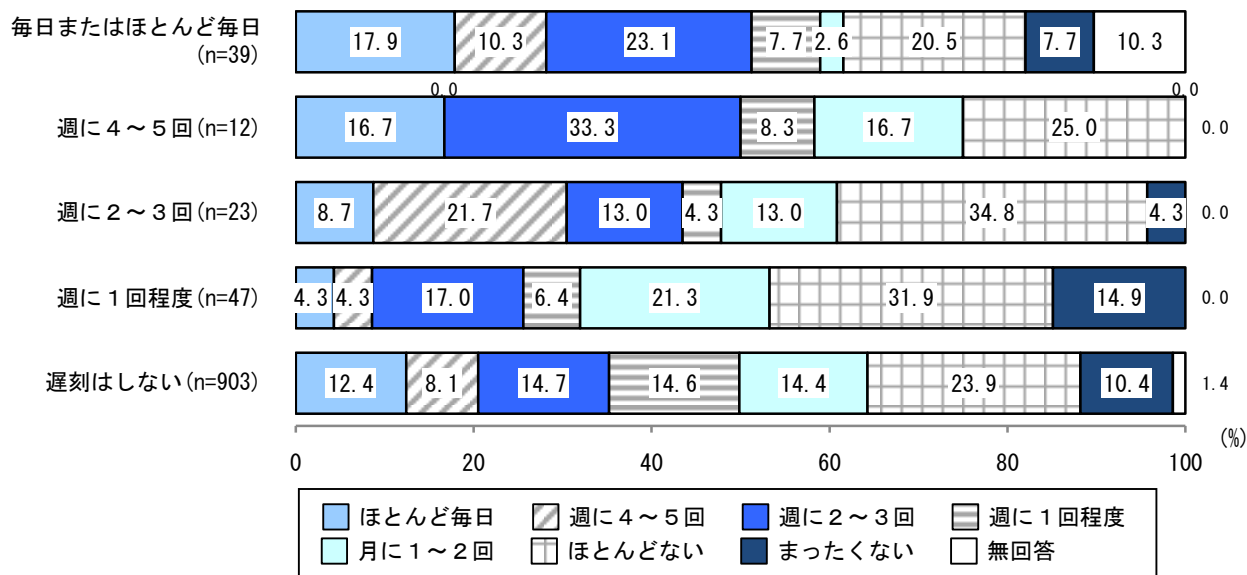
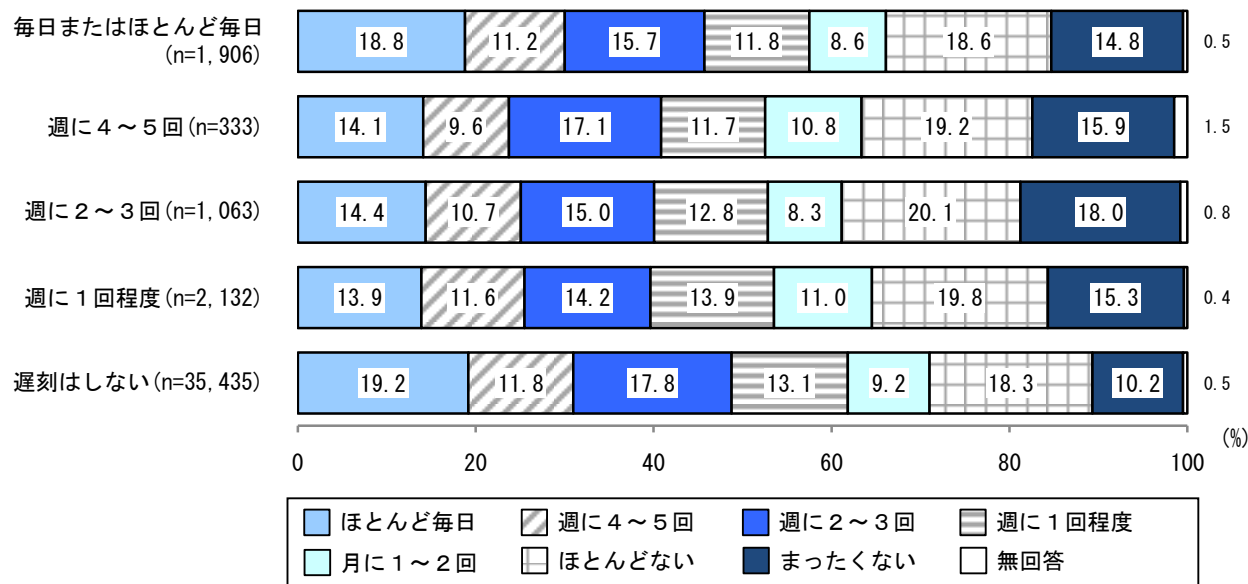


図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが17.9%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
(子ども票問7×保護者票問8⑧)

<大阪府内全体>



<池田市>

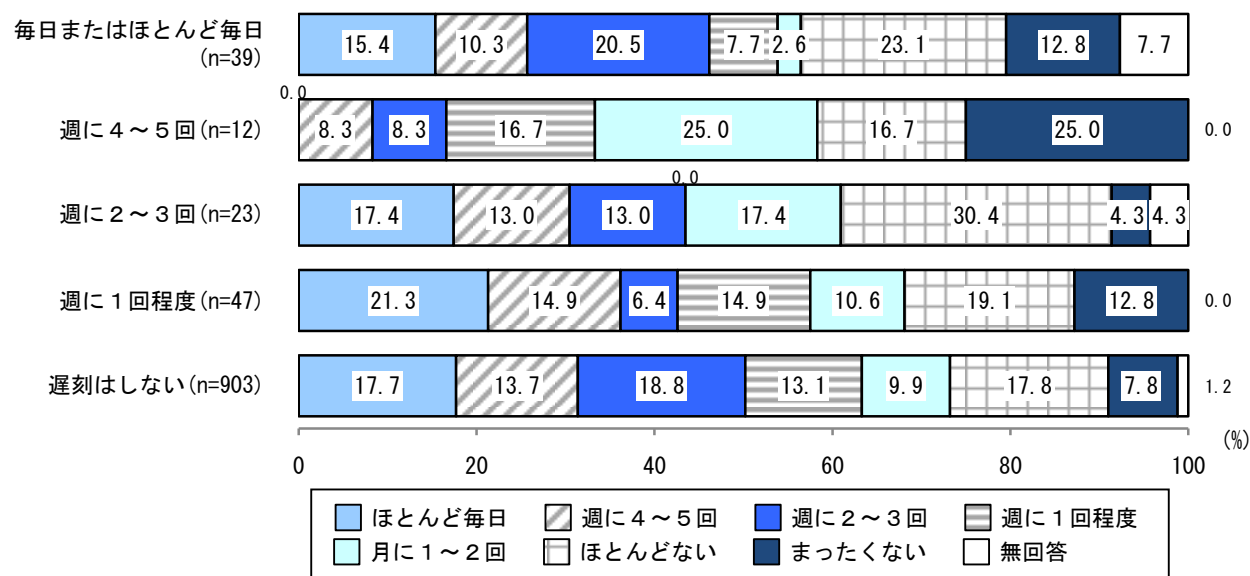
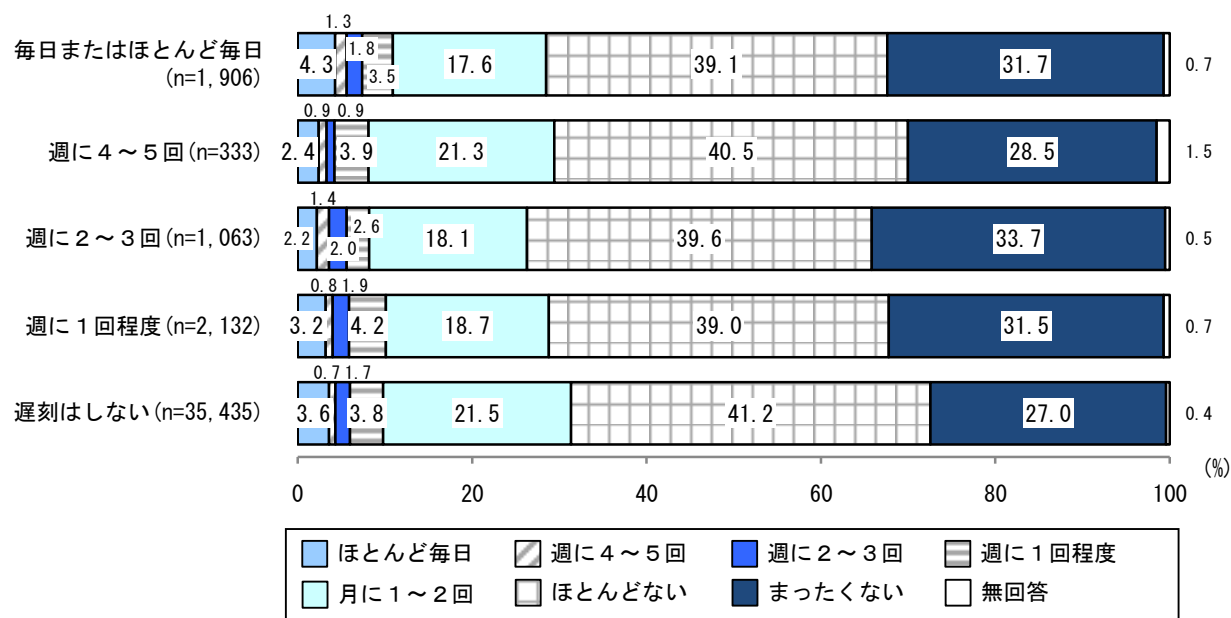


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、週に1回程度遅刻をする子どもが21.3%で最も高く、次いで遅刻はしない子どもが17.7%となっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
(子ども票問7×保護者票問8⑨)

<大阪府内全体>



<池田市>

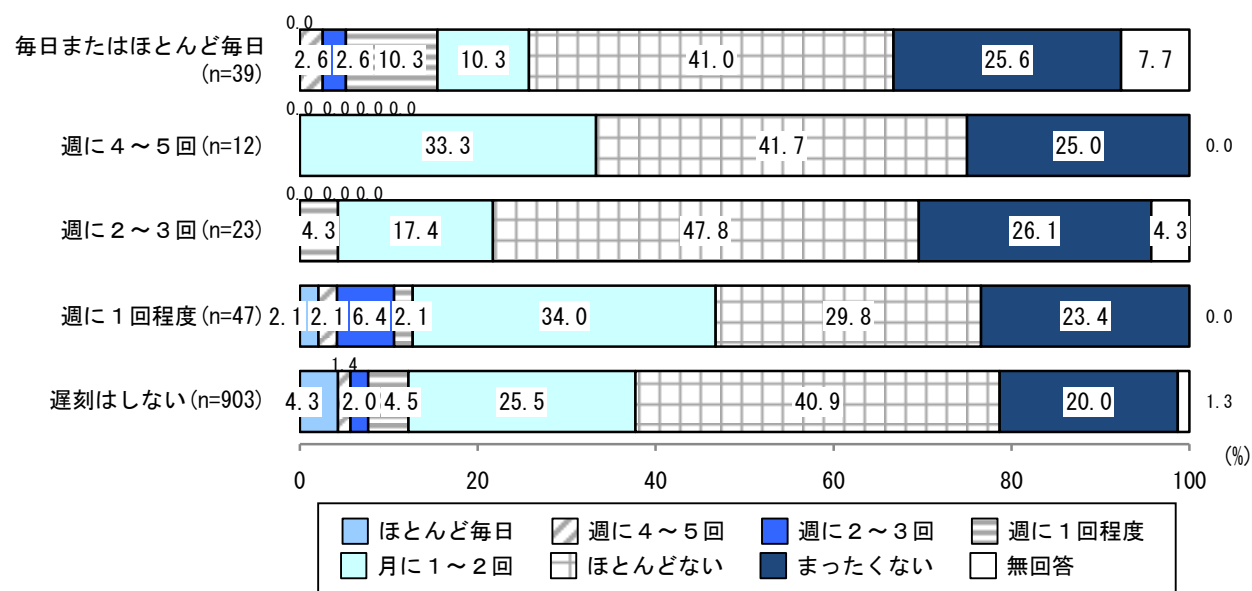
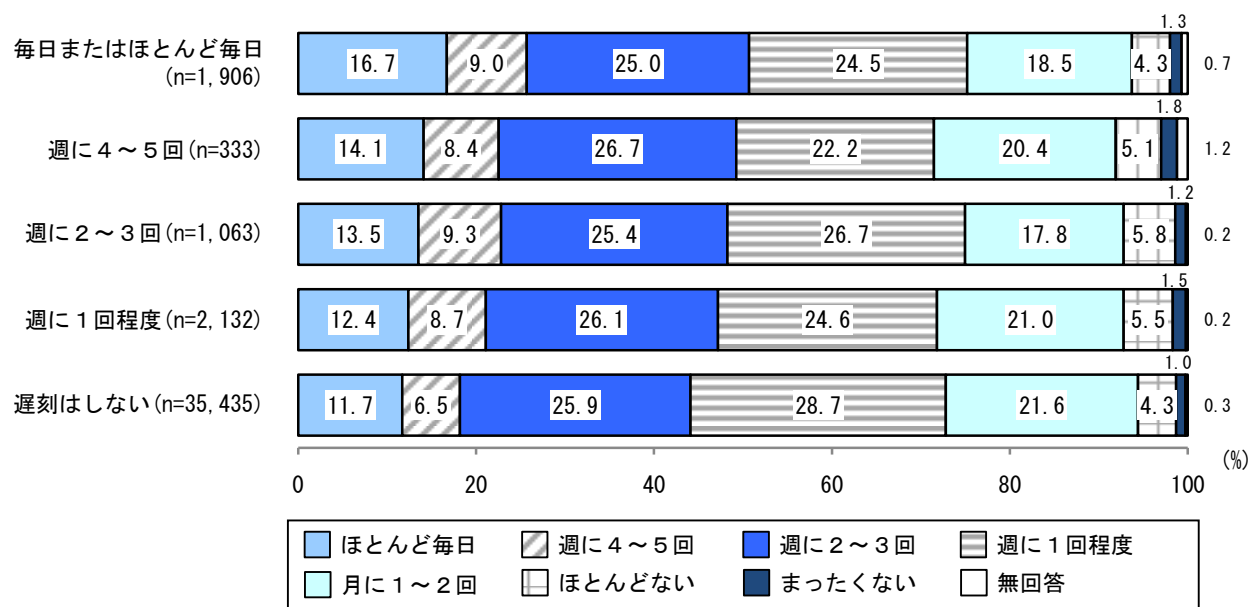


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、遅刻はしない子どもが4.3%で、最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(子ども票問7×保護者票問8⑩)

<大阪府内全体>



<池田市>

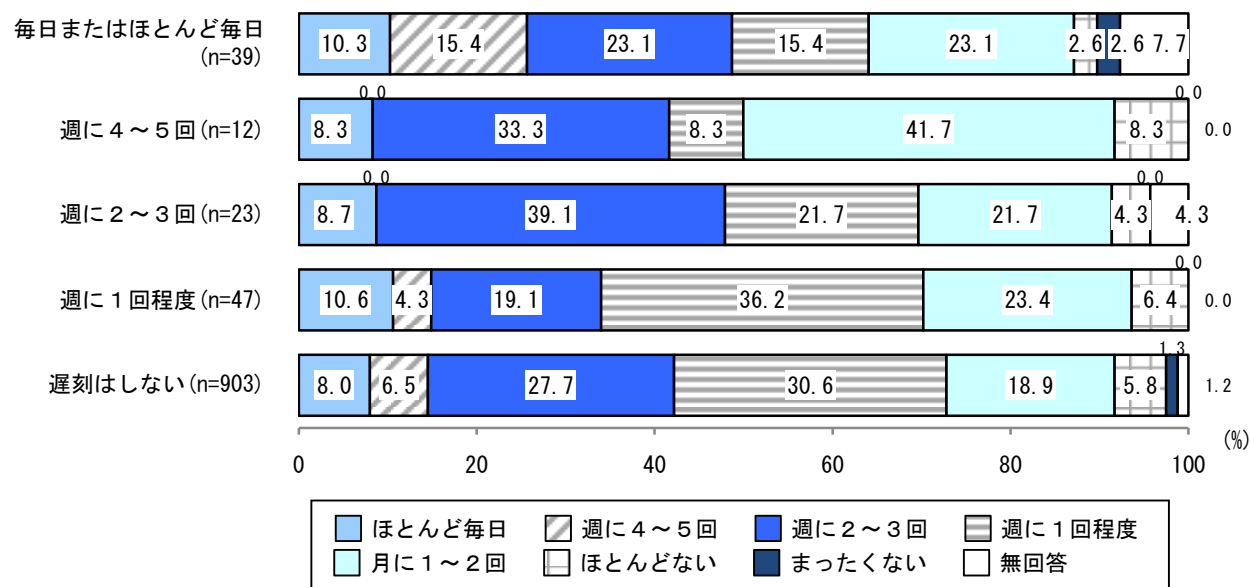
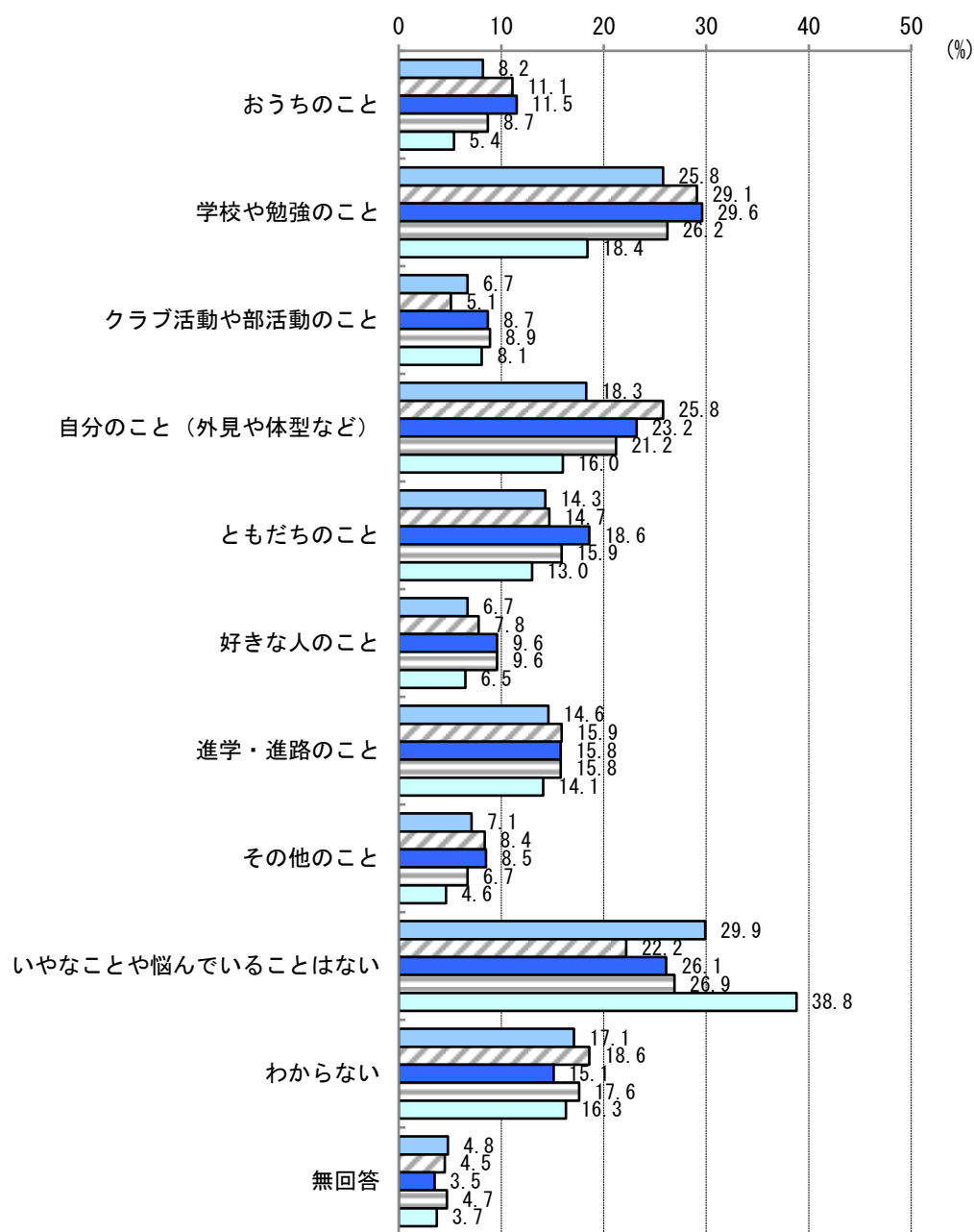


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」と回答した割合は、週に1回程度遅刻をする子どもが10.6%で最も高く、遅刻はしない子どもは8.0%で最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問7×子ども票問17）

<大阪府内全体>



■ 毎日またはほとんど毎日 (n=1,906)
 ■ 週に4～5回 (n=333)
 ■ 週に2～3回 (n=1,063)
■ 週に1回程度 (n=2,132)
 ■ 遅刻はしない (n=35,435)

<池田市>

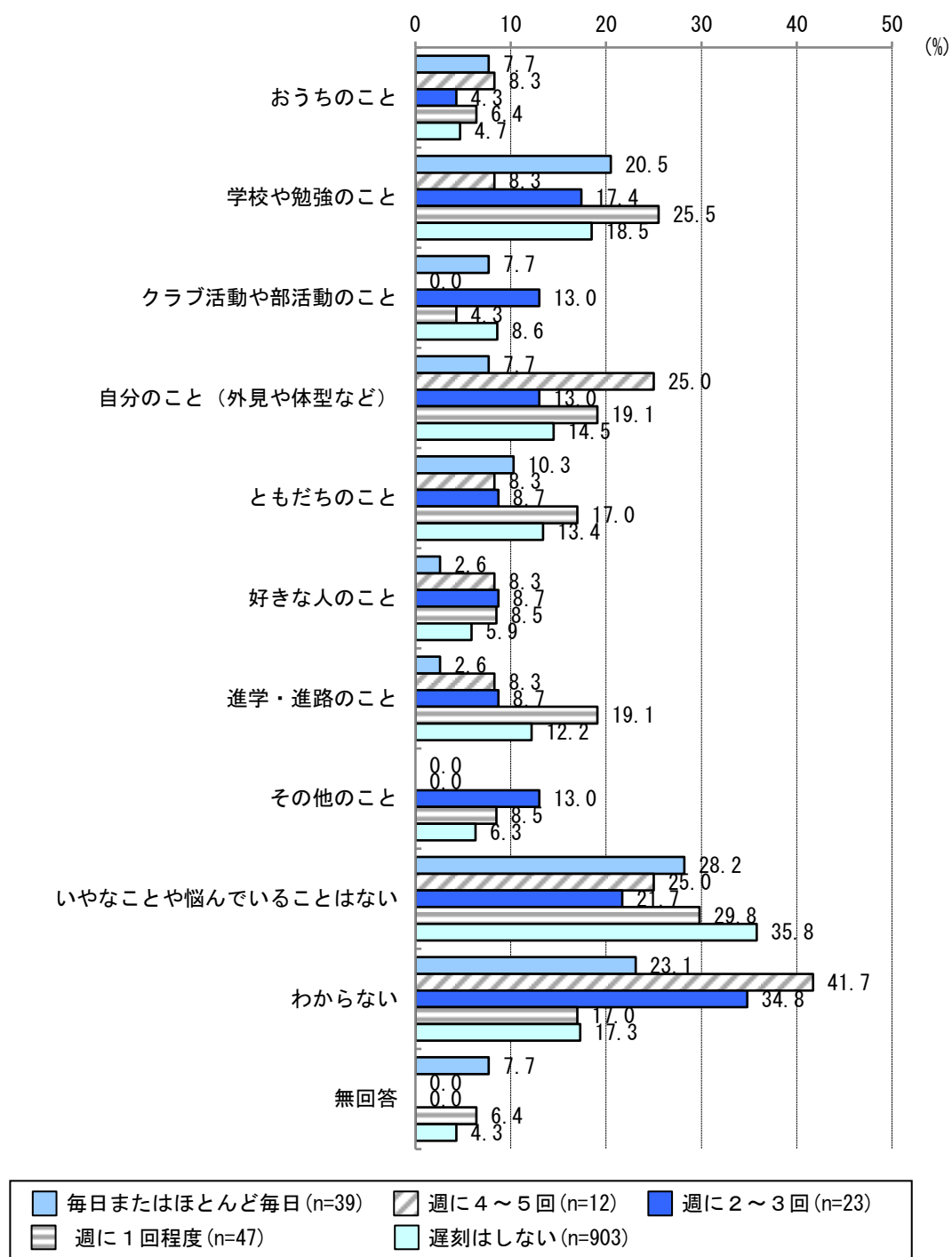
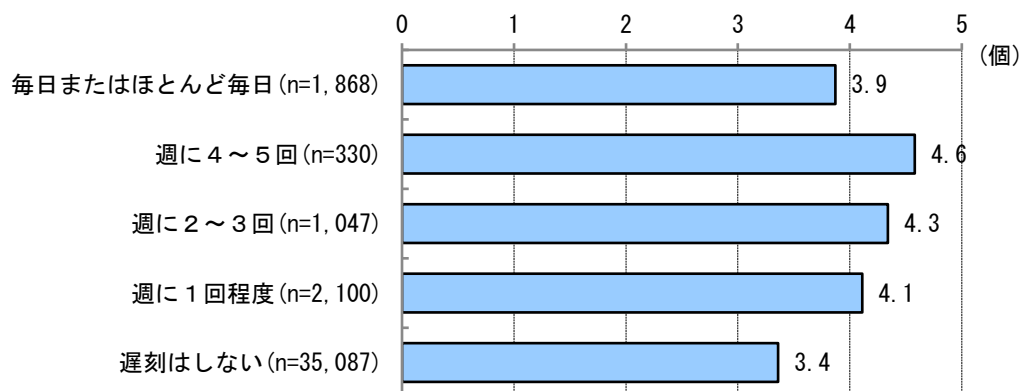


図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合は、遅刻はしない子どもが35.8%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(子ども票問7×保護者票問19・20)

<大阪府内全体>



<池田市>

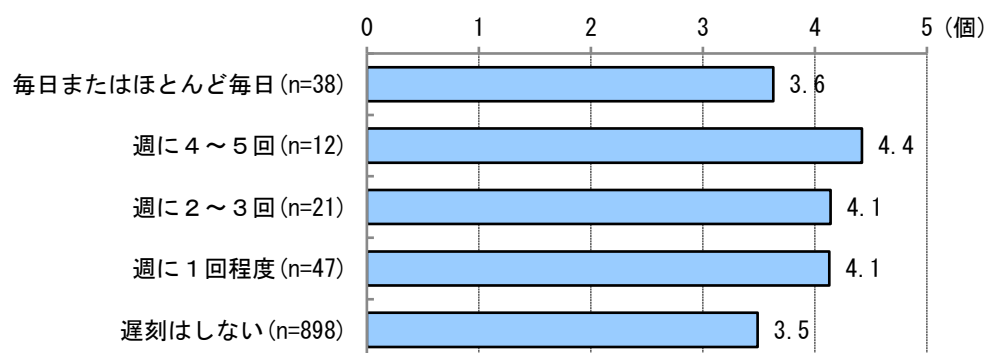
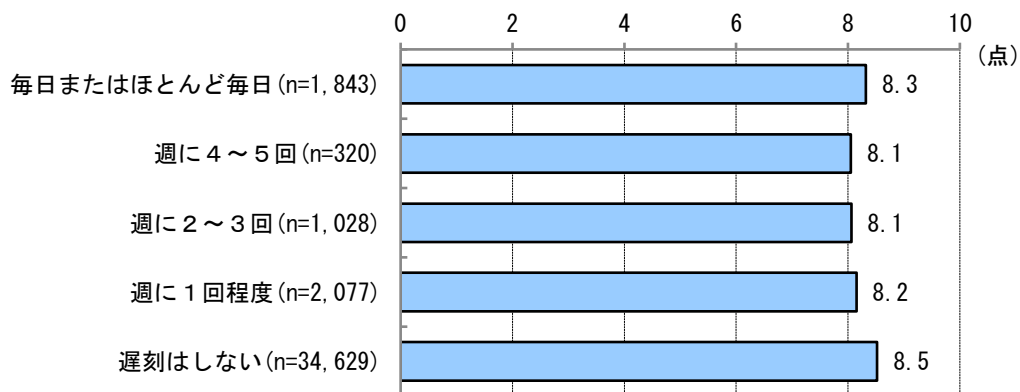


図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週に4～5回」遅刻をしている子どもが4.4個で最も多く、次いで「週に2～3回」遅刻をしている子ども、「週に1回程度」遅刻をしている子どもがそれぞれ4.1個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問7×子ども票問23）

<大阪府内全体>



<池田市>

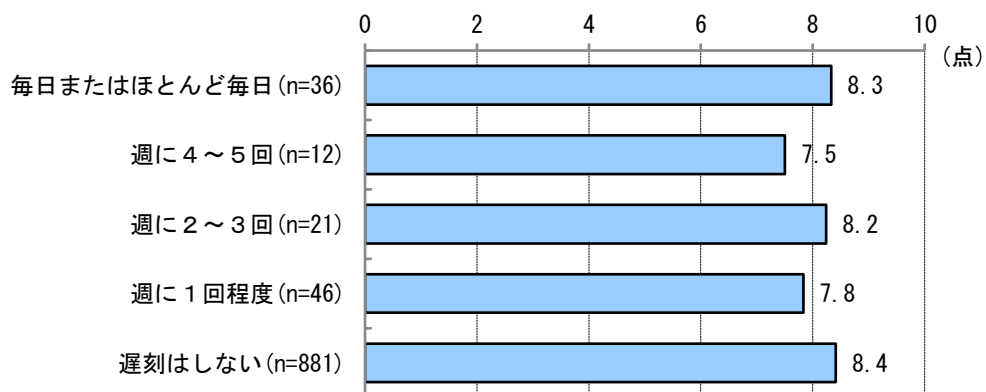
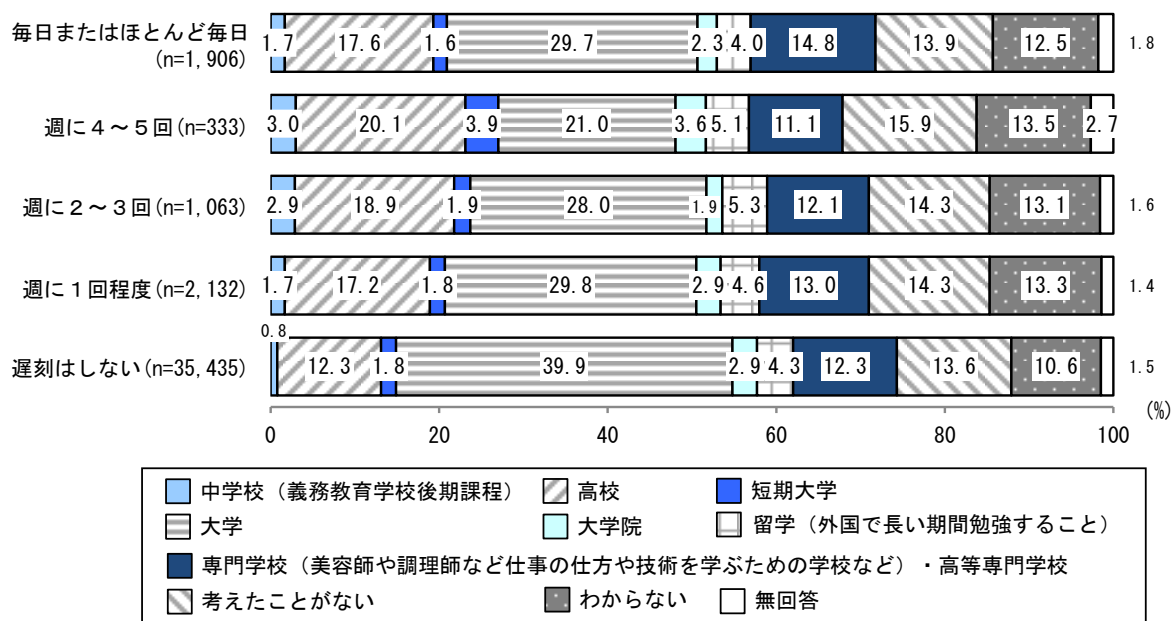


図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻している子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）がやや低くなっている。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問7×子ども票問24）

<大阪府内全体>



<池田市>

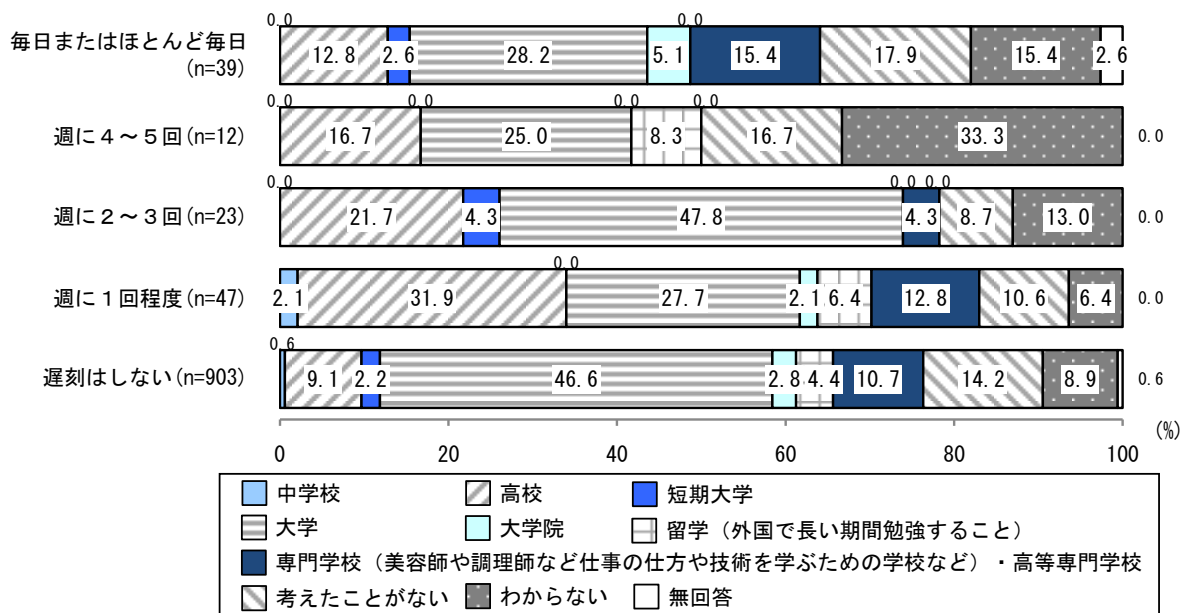
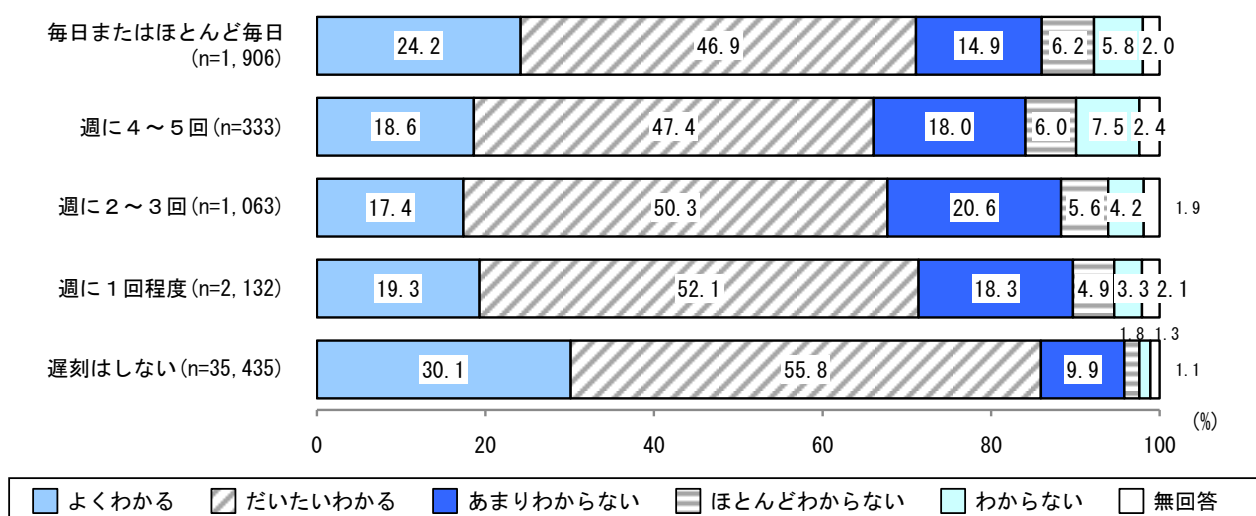


図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」と回答した割合は、週に2～3回遅刻をしている子どもが47.8%で最も高く、次いで遅刻はしない子どもが46.6%となっている。また、遅刻の頻度が高くなるにつれ、「高校」と回答した割合が低くなっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問7×子ども票問14(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

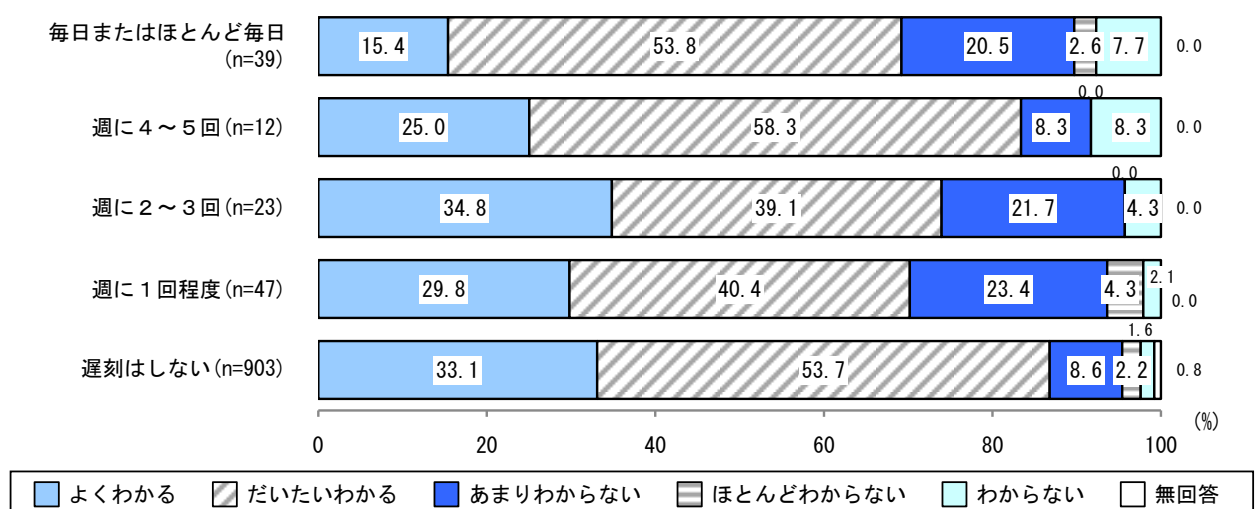
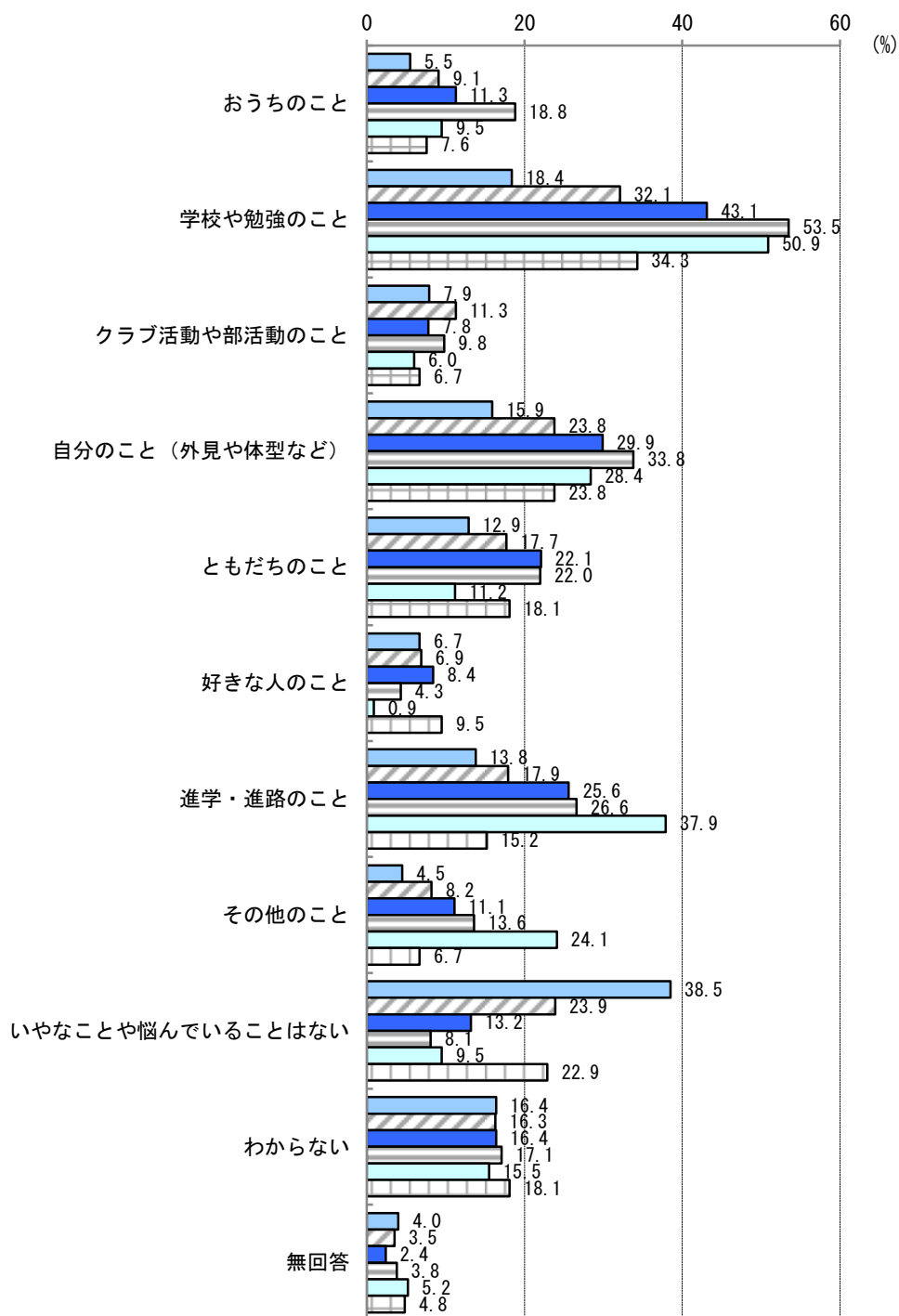


図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」と回答した割合は、毎日またはほとんど毎日遅刻をする子どもが15.4%で最も低く、次いで週に4～5回遅刻をしている子どもが25.0%となっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

<大阪府内全体>



■ ほぼ毎日通っている (n=37,661) ■ 欠席は年間30日未満である (n=1,775)
■ 欠席が年間30日以上、60日未満である (n=371) ■ 欠席が年間60日以上、1年未満である (n=346)
■ 欠席が1年以上続いている (n=116) ■ わからない (n=105)

<池田市>

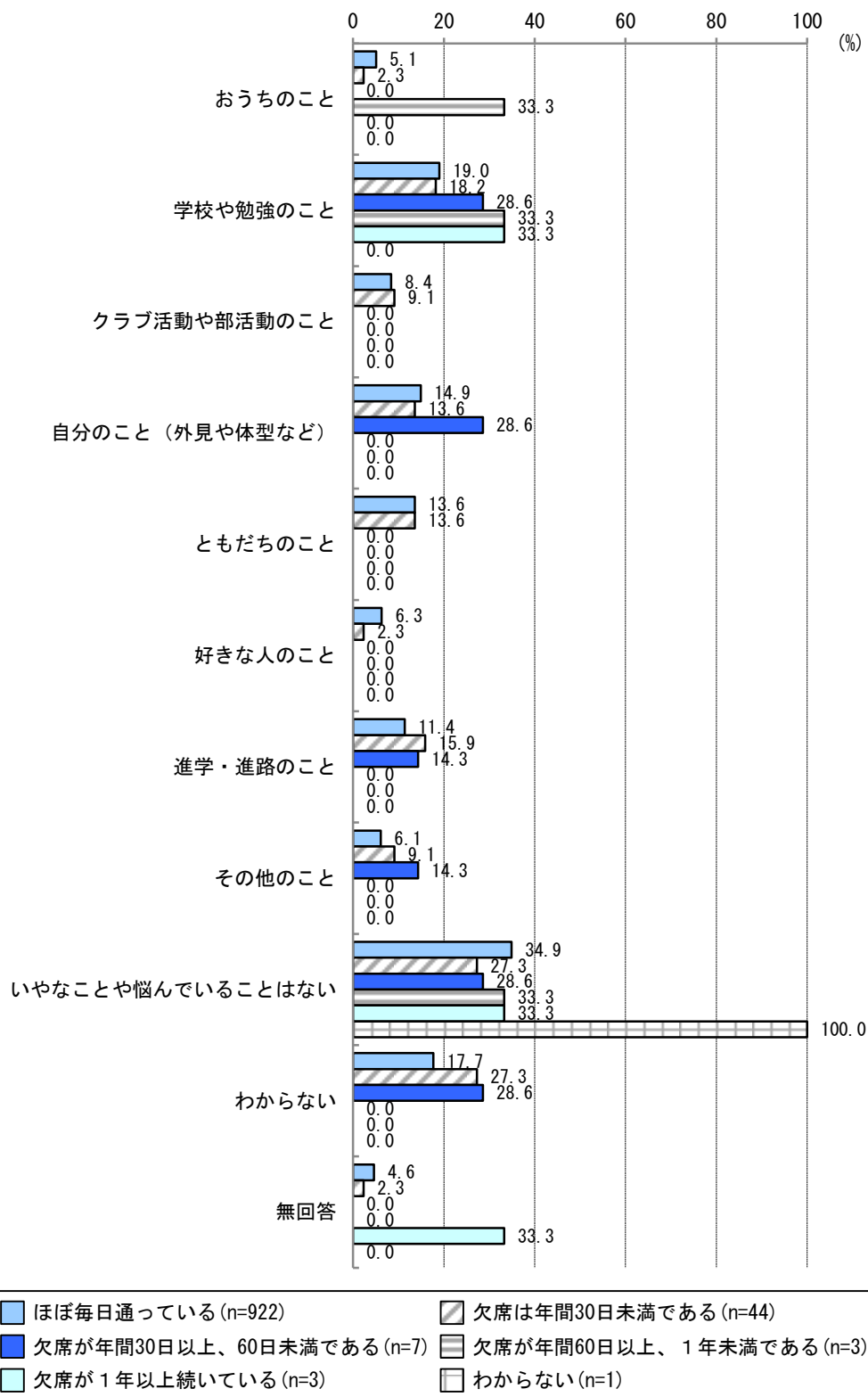
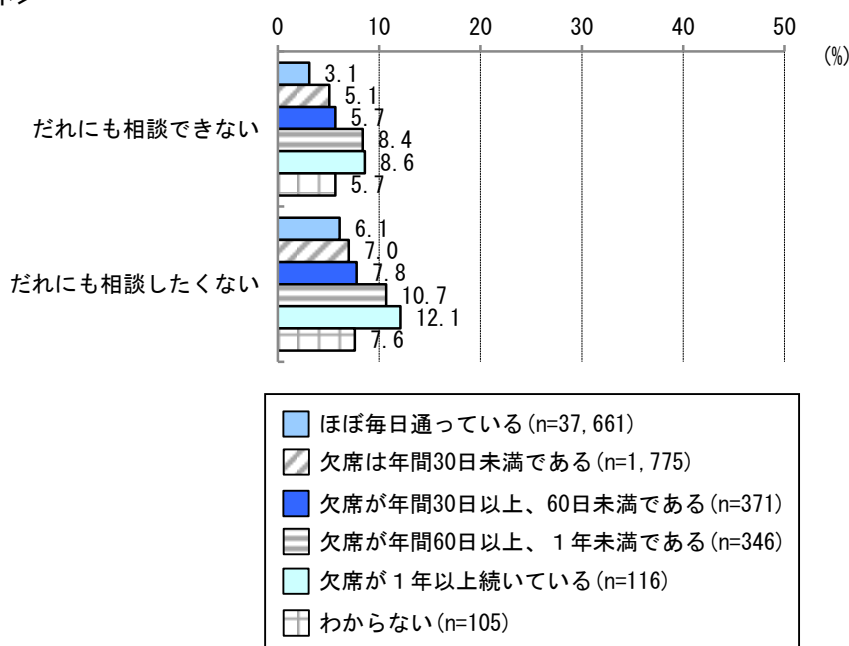


図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」、「学校や勉強のこと」と回答した割合は、概ね子どもの欠席が多くなるほど高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
(保護者票問 15×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

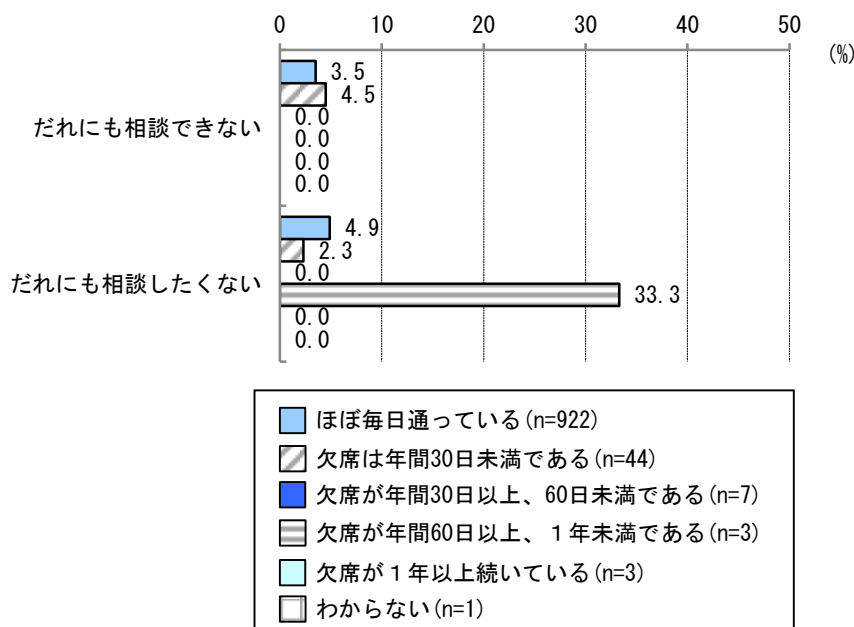
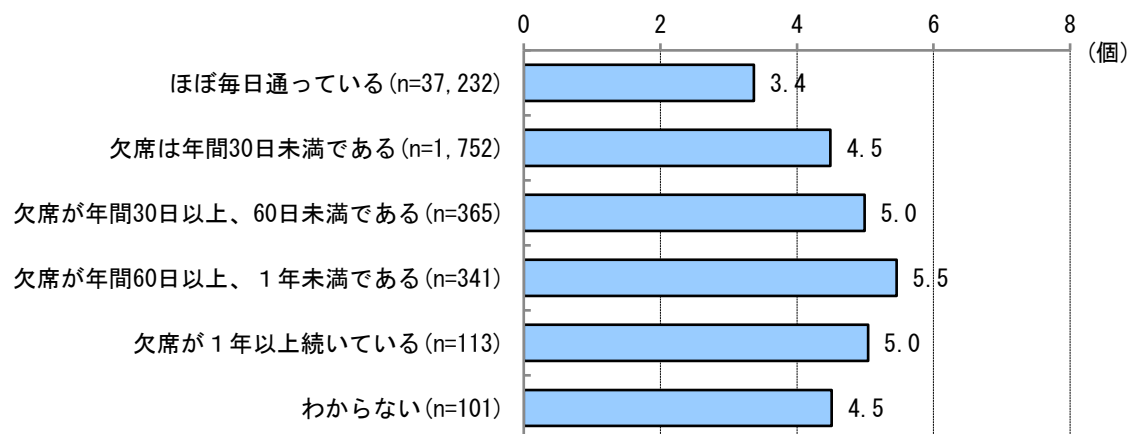


図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「だれにも相談できない」と回答した割合は、欠席は年間30日未満である子どもが4.5%で最も高く、「だれにも相談したくない」と回答した割合は、欠席が年間60日以上、1年未満である子どもが33.3%で、最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
(保護者票問 15×子ども票問 19・20)

<大阪府内全体>



<池田市>

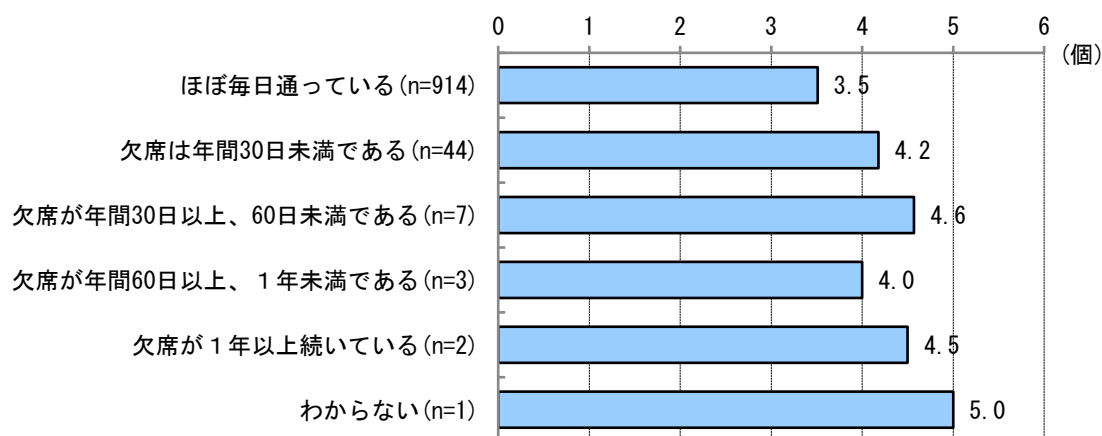
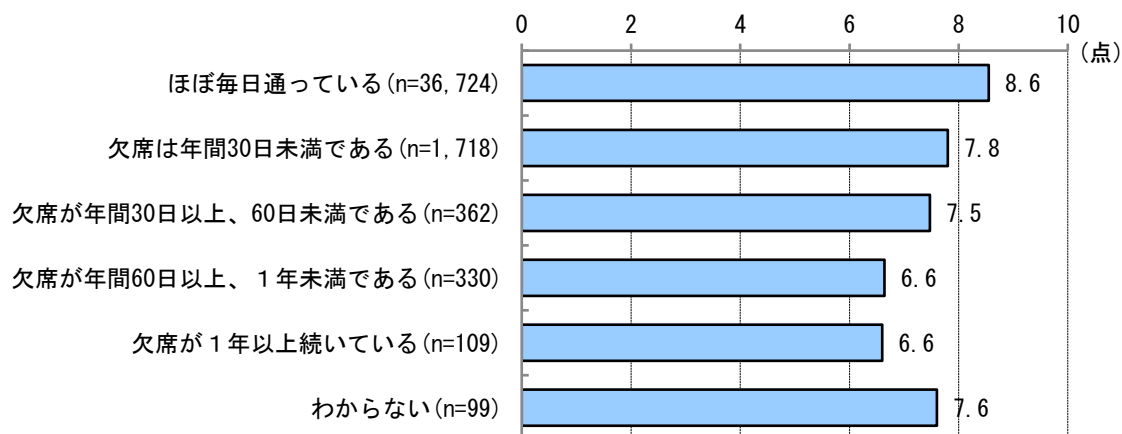


図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、欠席が年間30日以上、60日未満である子どもが4.6個で最も多く、次いで欠席が1年以上続いている子どもが4.5個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<池田市>

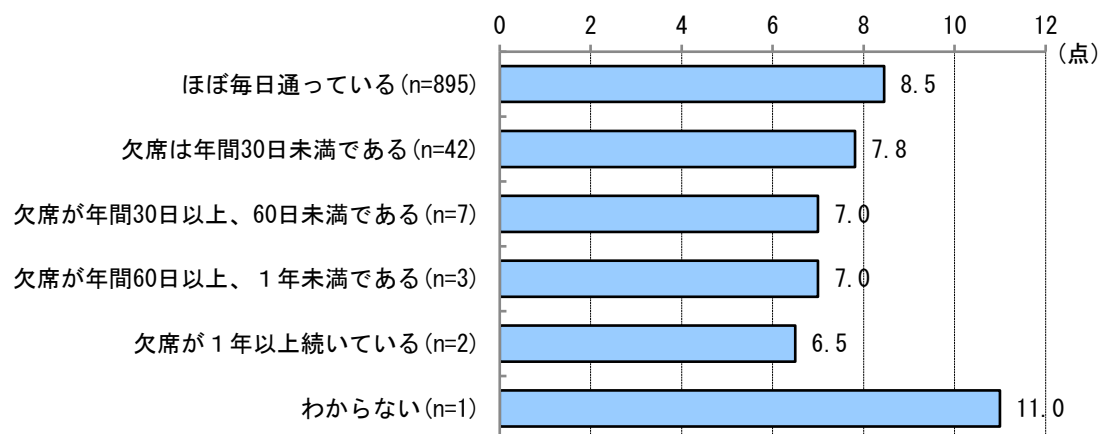
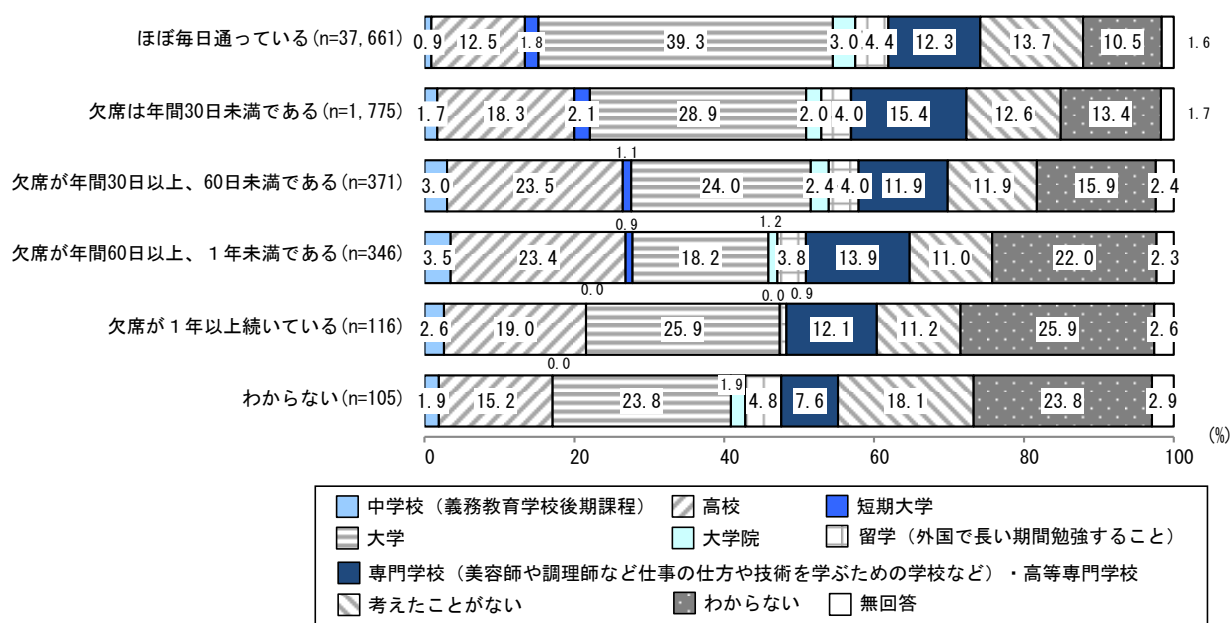


図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、「ほぼ毎日通っている」子どもが8.5点で最も高く、通学日数が低くなるほど、点数が低くなっている。通学日数が少ない子どものほうがセルフ・エフィカシーが低い結果となった。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

<大阪府内全体>



<池田市>

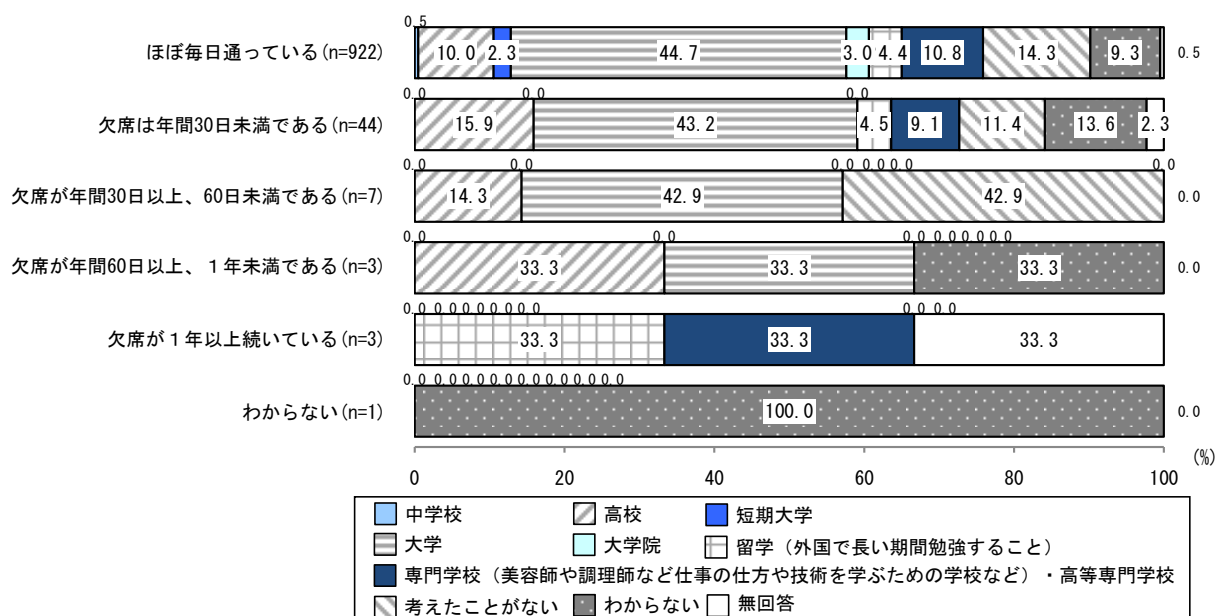
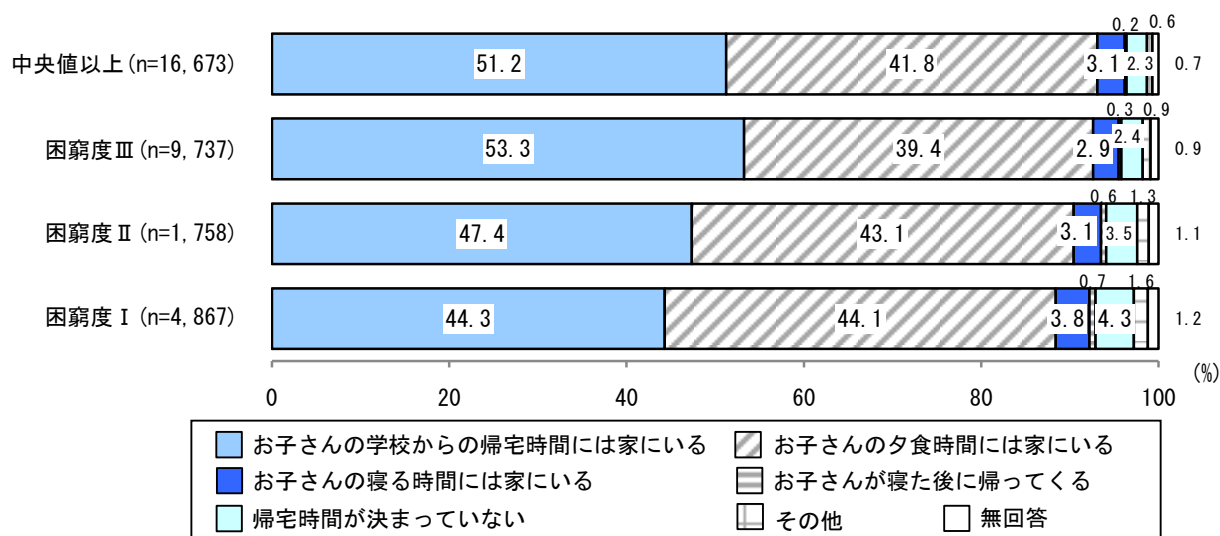


図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」と回答した割合は、ほぼ毎日通っている子どもが44.7%で最も高く、次いで欠席は年間30日未満である子どもが43.2%となっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

<大阪府内全体>



<池田市>

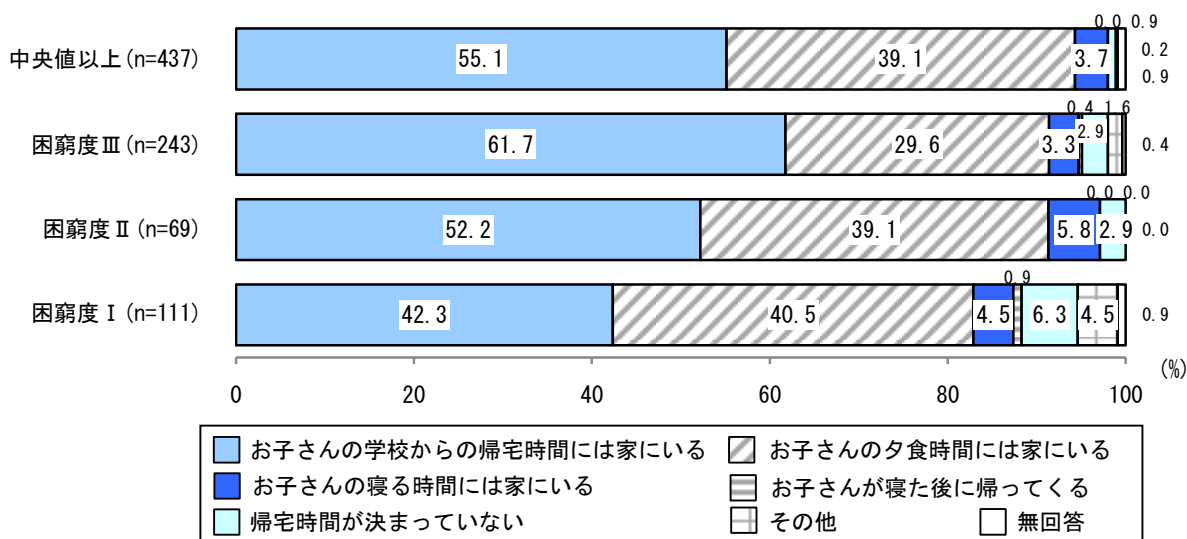
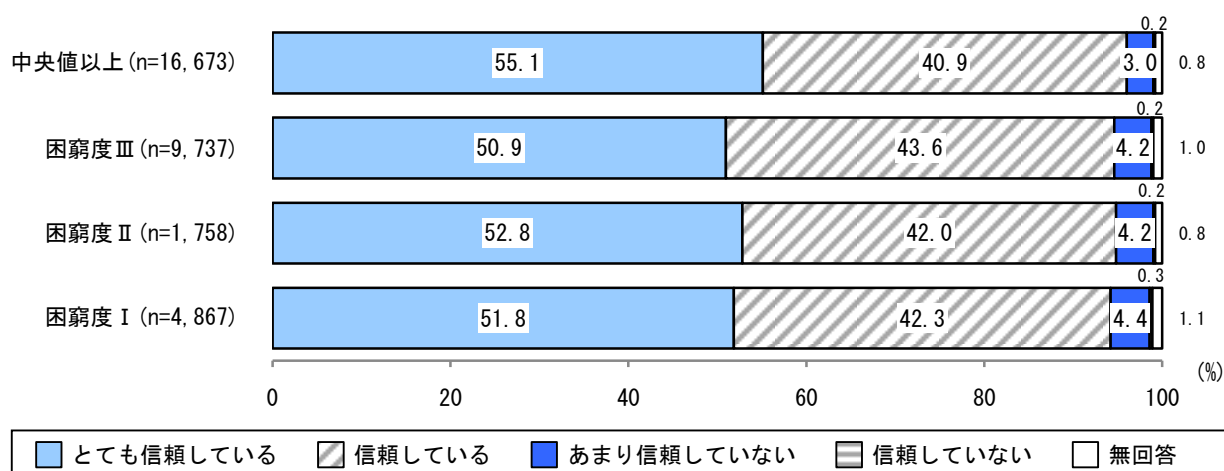


図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、中央値以上群を除くと困窮度が高くなるにつれ、「お子さんの学校からの帰宅時には家にいる」と回答した割合が低くなっている。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

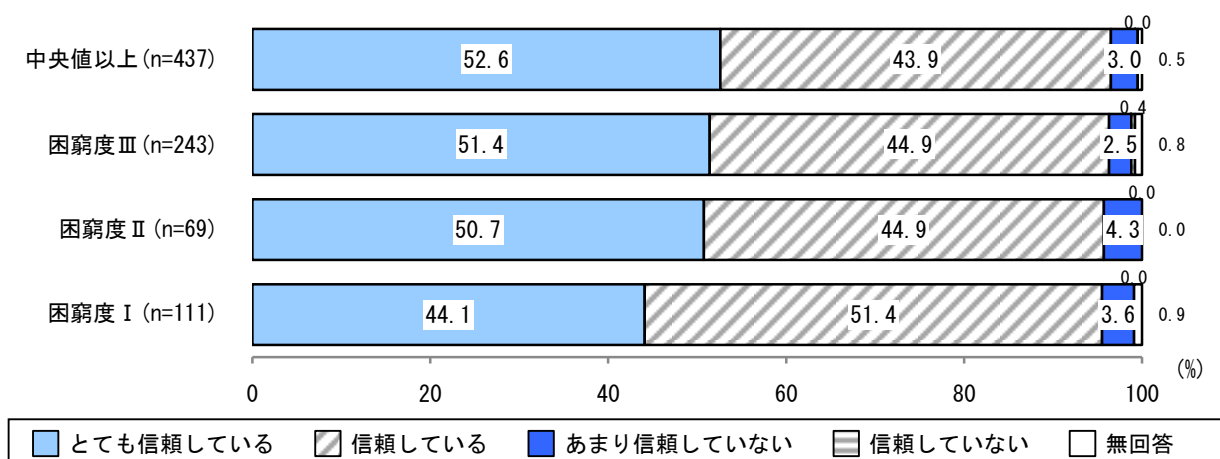
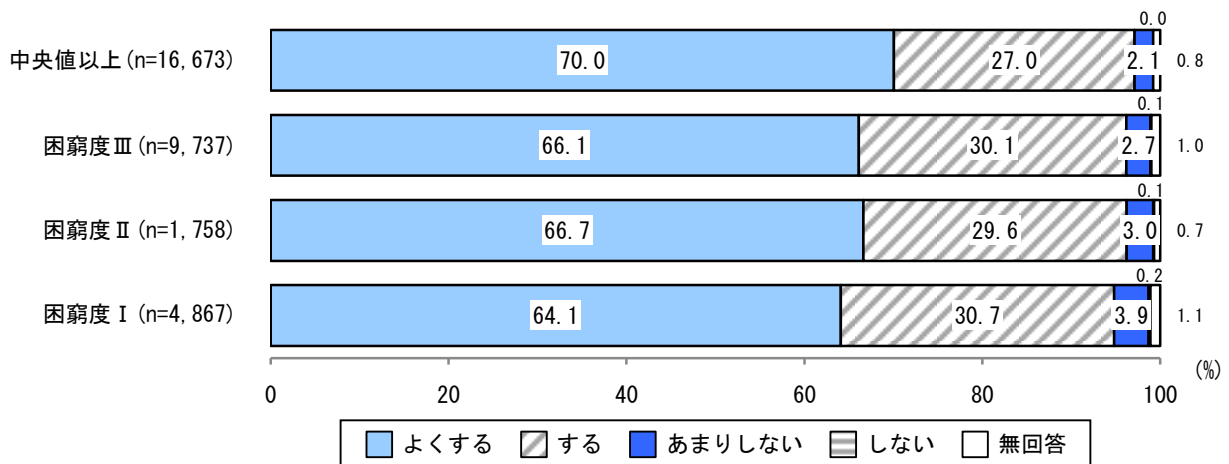


図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「とても信頼している」と回答した割合が低くなっている。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

<大阪府内全体>



<池田市>

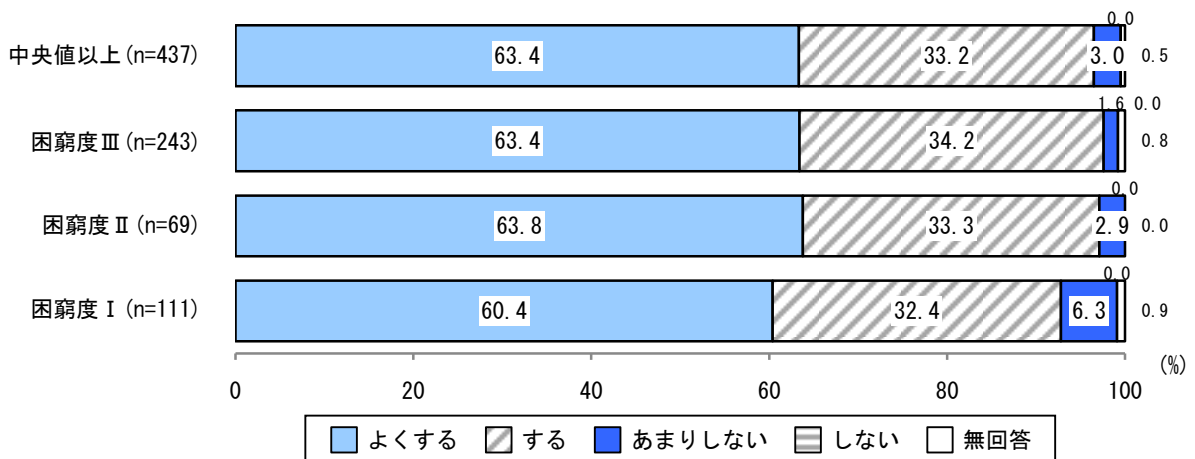
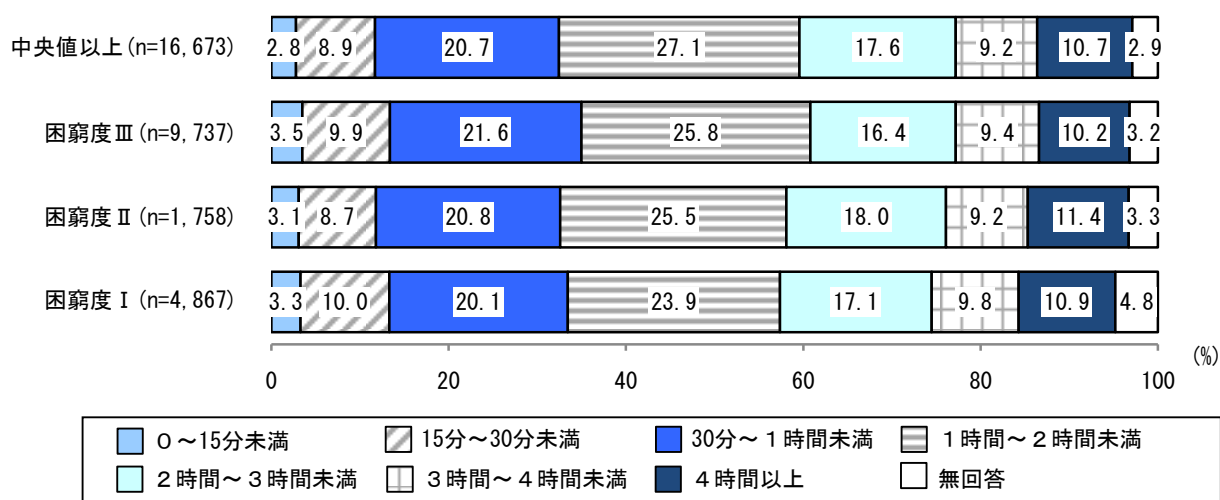


図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、「よくする」、「する」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群がそれぞれ60.4%、32.4%で、最も低くなっている。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

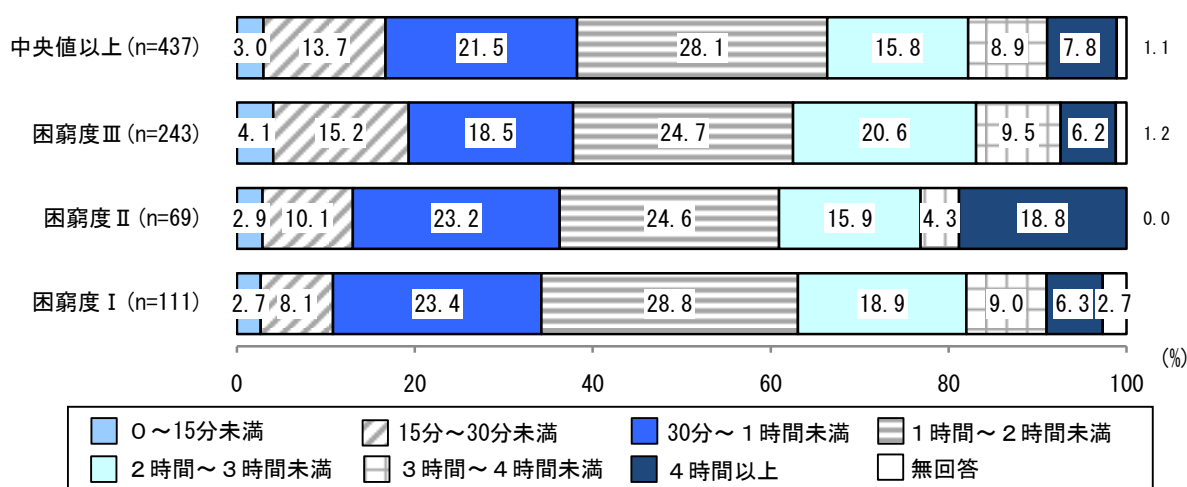
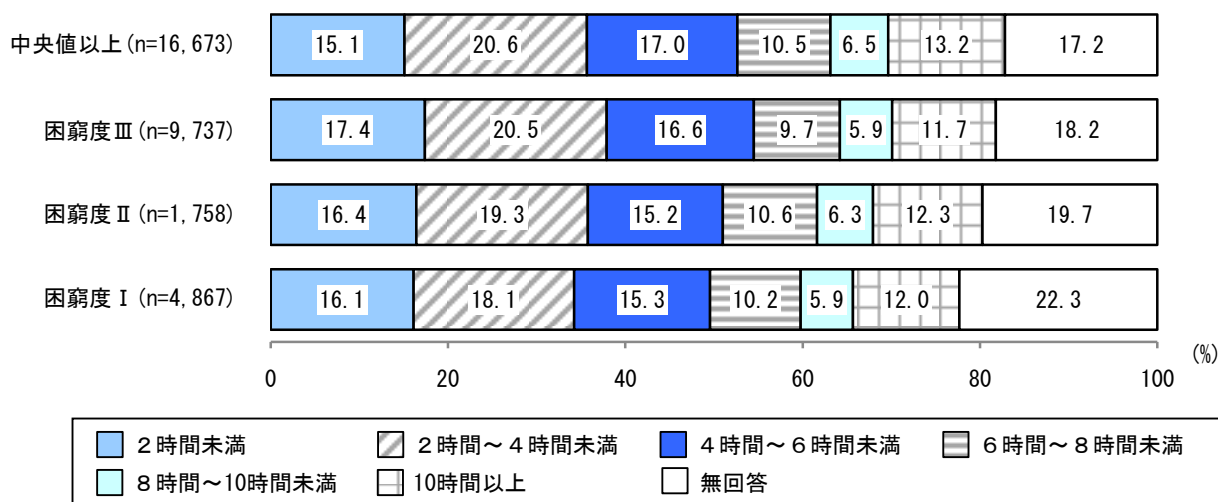


図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「4時間以上」と回答した割合は、困窮度Ⅱ群が18.8%で、最も高くなっている。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

<大阪府内全体>



<池田市>

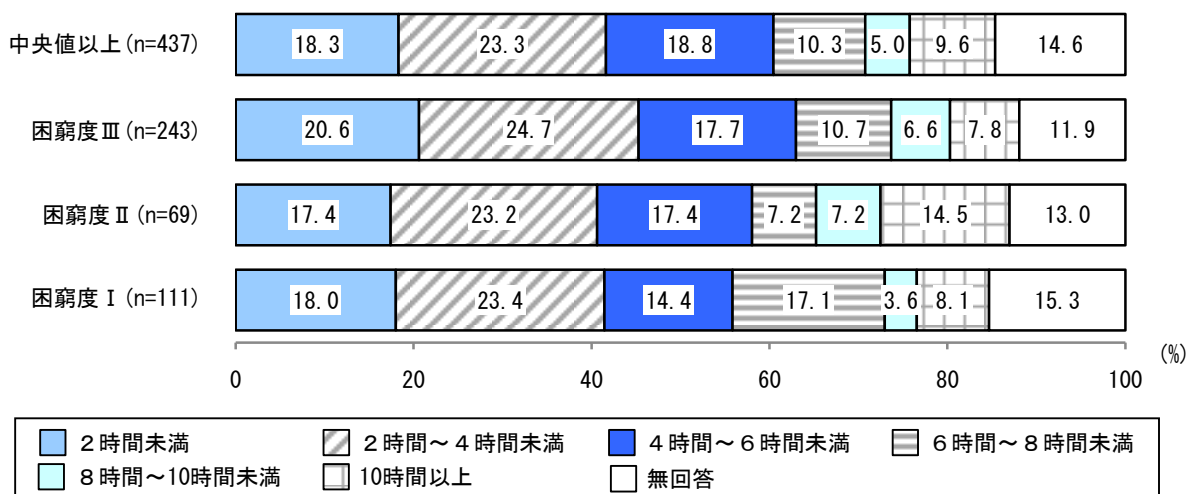
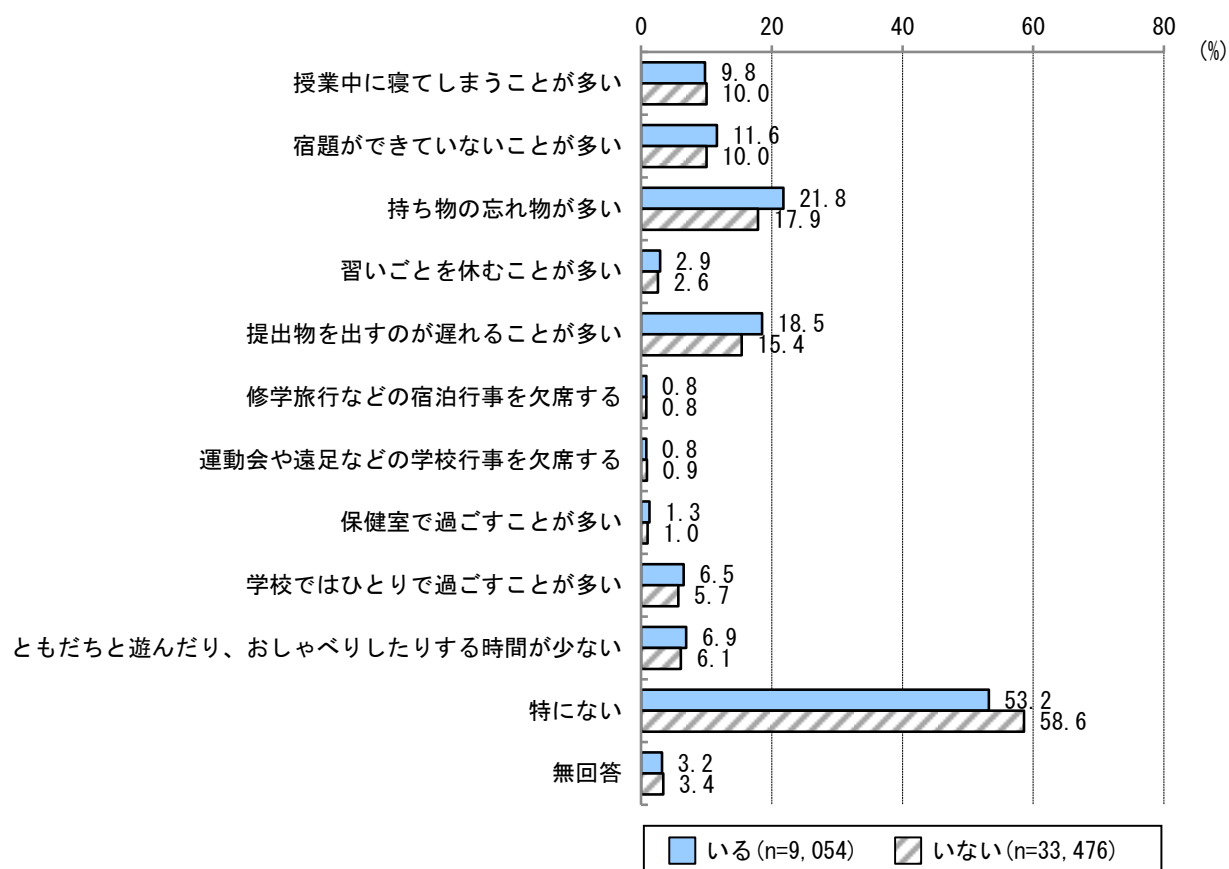


図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、困窮度Ⅱ群は「2時間未満」と回答した割合が17.4%で最も低い一方で、「10時間以上」と回答した割合は14.5%で最も高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 16)

<大阪府内全体>



<池田市>

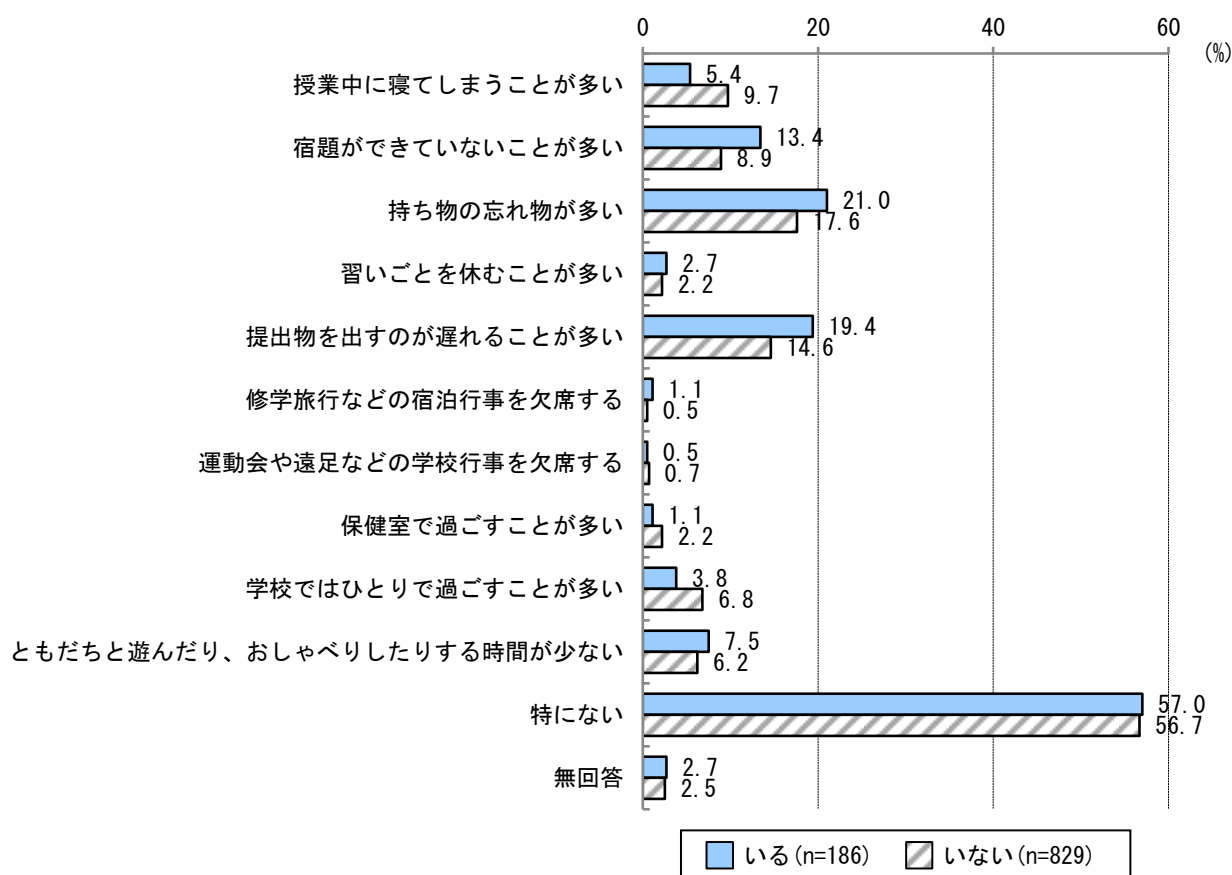
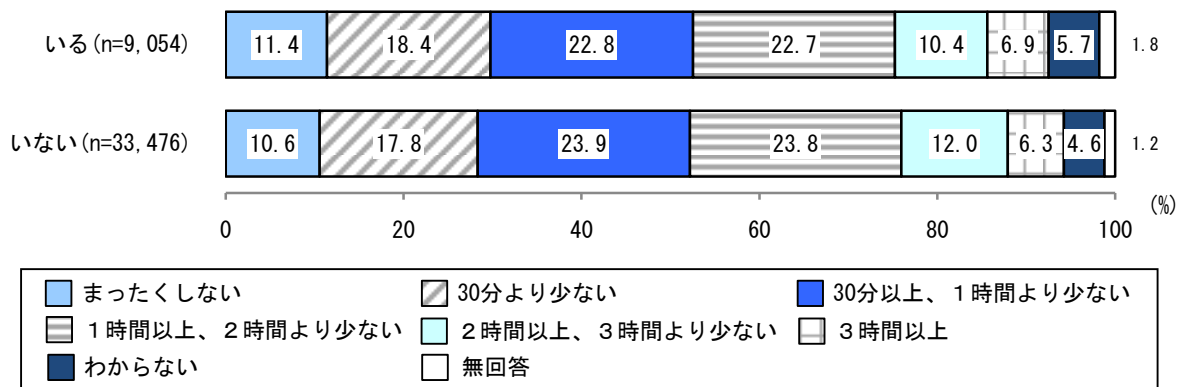


図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、複数の項目で世話をしている人がある子どもが、世話をしている人がいない子どもより回答した割合が高く、「宿題ができていないことが多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」は特に差が大きくなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問26(1)×子ども票問13①）

<大阪府内全体>



<池田市>

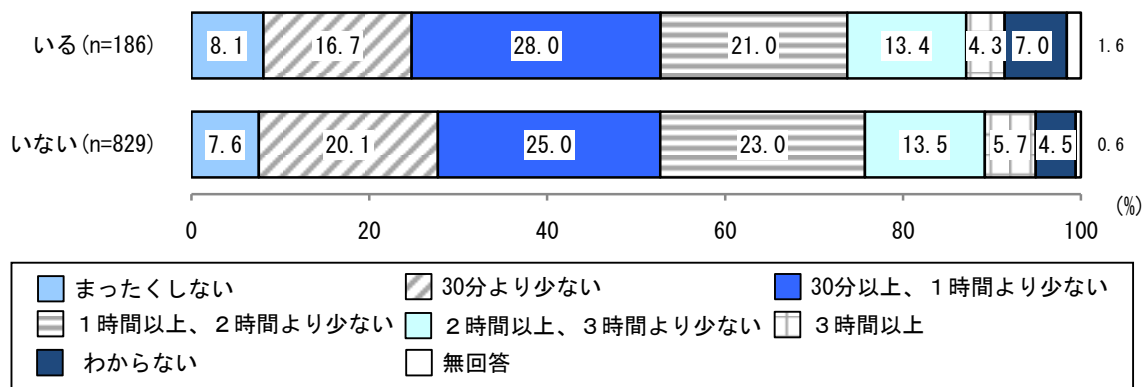
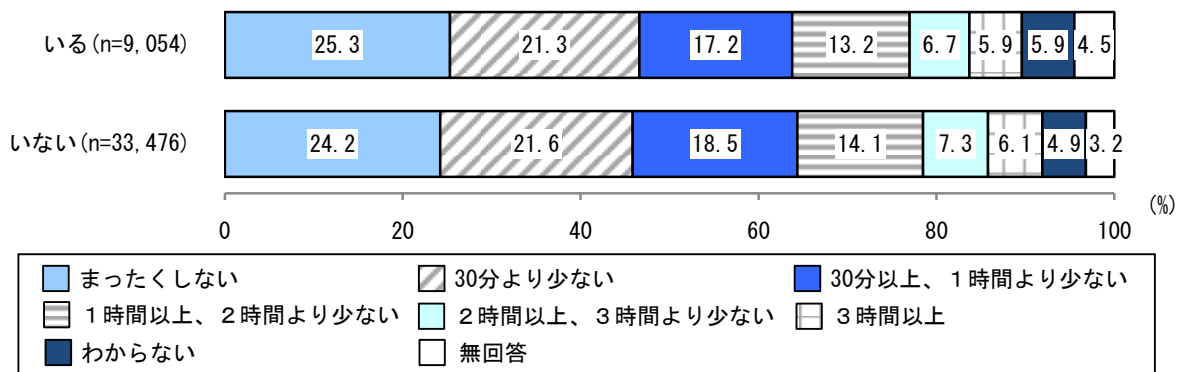


図 144. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合は、世話をしている人がいない子どもより、いる子どものほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間 ②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問26(1)×子ども票問13②）

<大阪府内全体>



<池田市>

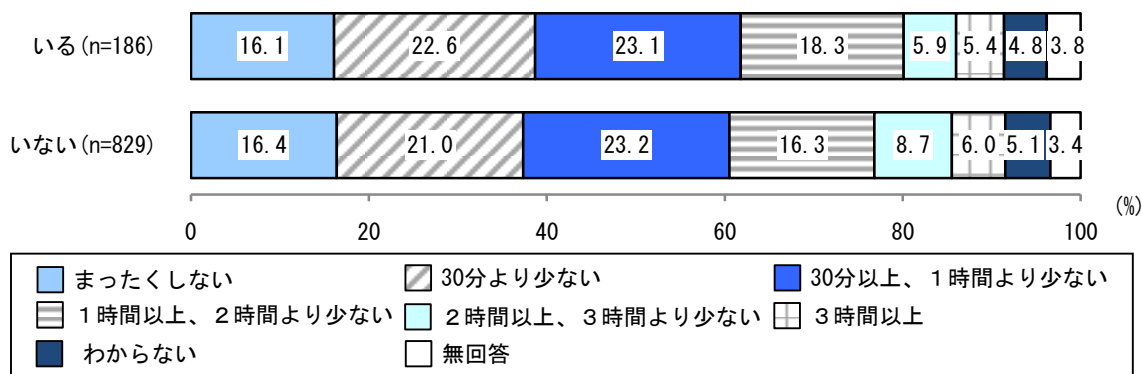


図 145. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の1日あたりの勉強時間を見ると、「2時間以上、3時間より少ない」と回答した割合は、世話をしている人がいない人より、いる人のほうが低くなっている。

<家庭生活・学習に関する考察>

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目しながら確認する。おうちの人と文化活動をする頻度を見ると、「ほとんど毎日」(4.9%対3.2%)では困窮度Ⅰ群と中央値以上群間の差異は見られないものの、「まったくしない」(30.1%対16.3%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ13.8ポイント高くなっており、文化的経験を得る機会の差が伺える。また、子どもの将来に対する保護者の期待度を見ると、「とても期待している」と「期待している」の合計(89.7%対75.6%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ14.1ポイント高くなっている。さらに、保護者が家にいる時間帯を見ると、「帰宅時間が決まっていない」(6.3%対0.9%)困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ5.4ポイント高くなっている。これらの結果から、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。おうちの大人の人と朝食をとる頻度を見ると、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をする群と比べ、「ほとんど毎日」(48.5%対38.5%)が10ポイント高くなっている。一方、「毎日またはほとんど毎日」遅刻をする群は「遅刻はしない」群と比べ、「ほとんどない」(20.5%対16.1%)が4.4ポイント高くなっている。また、子ども自身の悩んでいることを見ると、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をする群と比べ、「悩んでいることはない」(35.8%対28.2%)が7.6ポイント高くなっている。これらの結果から、遅刻頻度が多いと生活リズムが乱れるためか保護者との朝食の機会を得られにくく、また何かしらの悩みも抱えやすくなる可能性が示唆された。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や進学希望の関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間の差に着目して述べる。学校がある日の勉強時間を見ると、「まったくしない」(17.5%対5.6%)が困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ11.9ポイント高くなっている。一方、1時間以上勉強していると回答した割合(46.1%対29.1%)が、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ17ポイント高くなっている。学校がない日の勉強時間を見ると、「まったくしない」(27.2%対12.7%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ14.5ポイント高くなっており、反対に、1時間以上勉強する割合(34.4%対17.5%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ16.9ポイント高くなっている。授業以外の読書時間を見ても、「まったくしない」(43.7%対31.5%)が困窮度Ⅰ群では中央値以上群と比べ12.2ポイント高くなっている。また、学習理解度を見ると、学校の勉強に対して「よくわかる」「だいたいわかる」と感じている割合(87.8%対72.8%)が中央値以上群では困窮度Ⅰ群と比べ15ポイント高くなっている。希望進学先を見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「高校」(24.3%対7.1%)が17.2ポイント、保護者の希望する進学先で「高校」(14.4%対2.5%)が11.9ポイント高くなっている。一方、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「大学」(48.8%対30.1%)が18.7ポイント、保護者の希望する進学先で「大学」(76.0%対54.1%)が21.9ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。

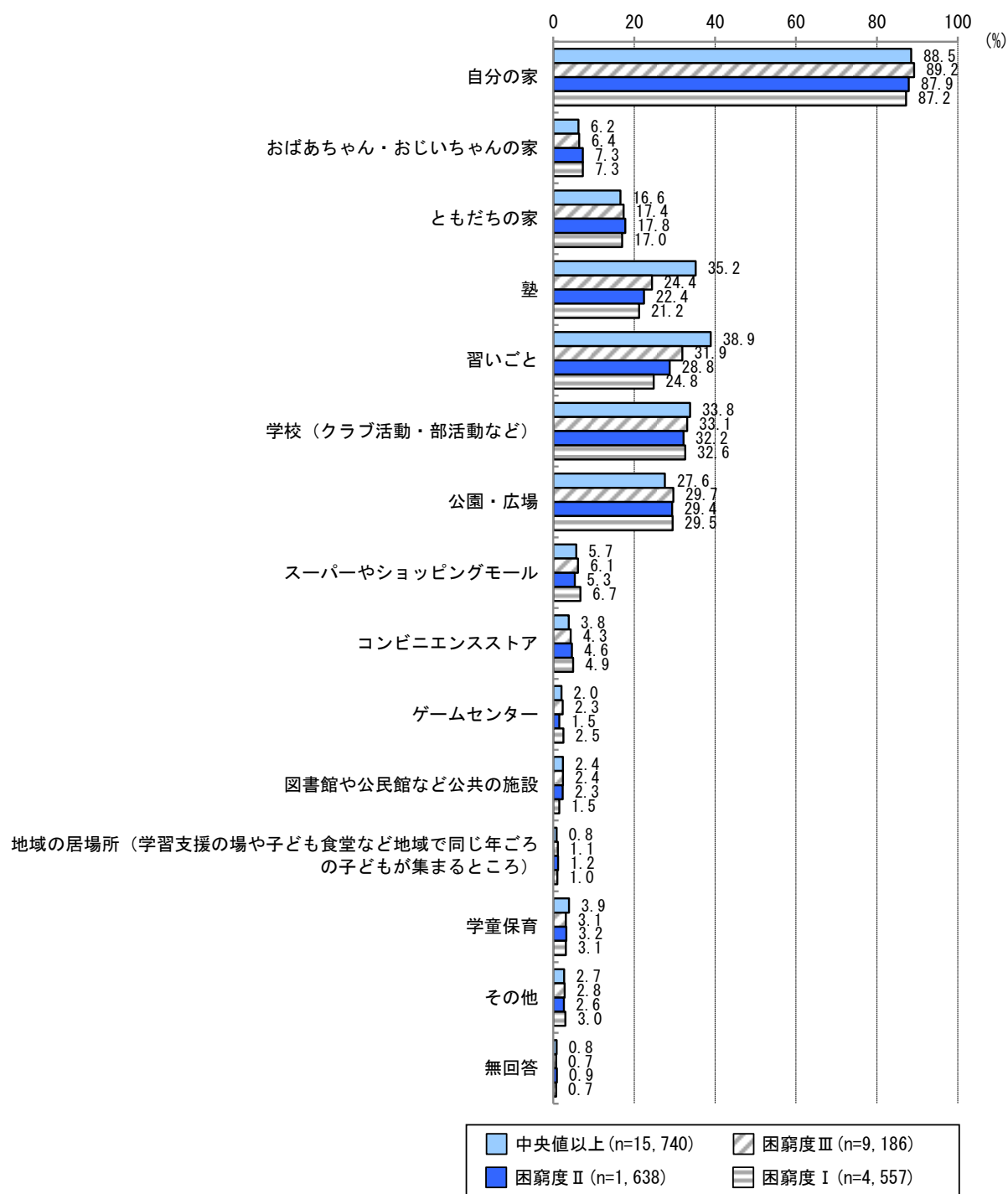
続いて、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習にかかわる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性別に学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(35.0%対5.8%)が29.2ポイント、学

校がない日の勉強時間では「まったくしない」(55.0%対13.5%)が41.5ポイント高くなっている。また、朝食の頻度別に見ると、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」(31.6%対7.2%)が「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べる群と比べ24.4ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」(52.6%対16.0%)が「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べる群と比べ36.6ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」(60.0%対33.7%)が「起きていない」群では「起きている」群と比べ26.3ポイント高くなっている。学校への遅刻状況別に学習理解度を見ると、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻をする群と比べ、「よくわかる」(33.1%対15.4%)が17.7ポイント高くなっている。これらの結果から、朝の習慣が身についていないことは、学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、朝の習慣が身についていないと遅刻につながり、授業を受けられていないため学習理解に影響が出ている可能性がある。

3-5. 対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問 11）

<大阪府内全体>



<池田市>

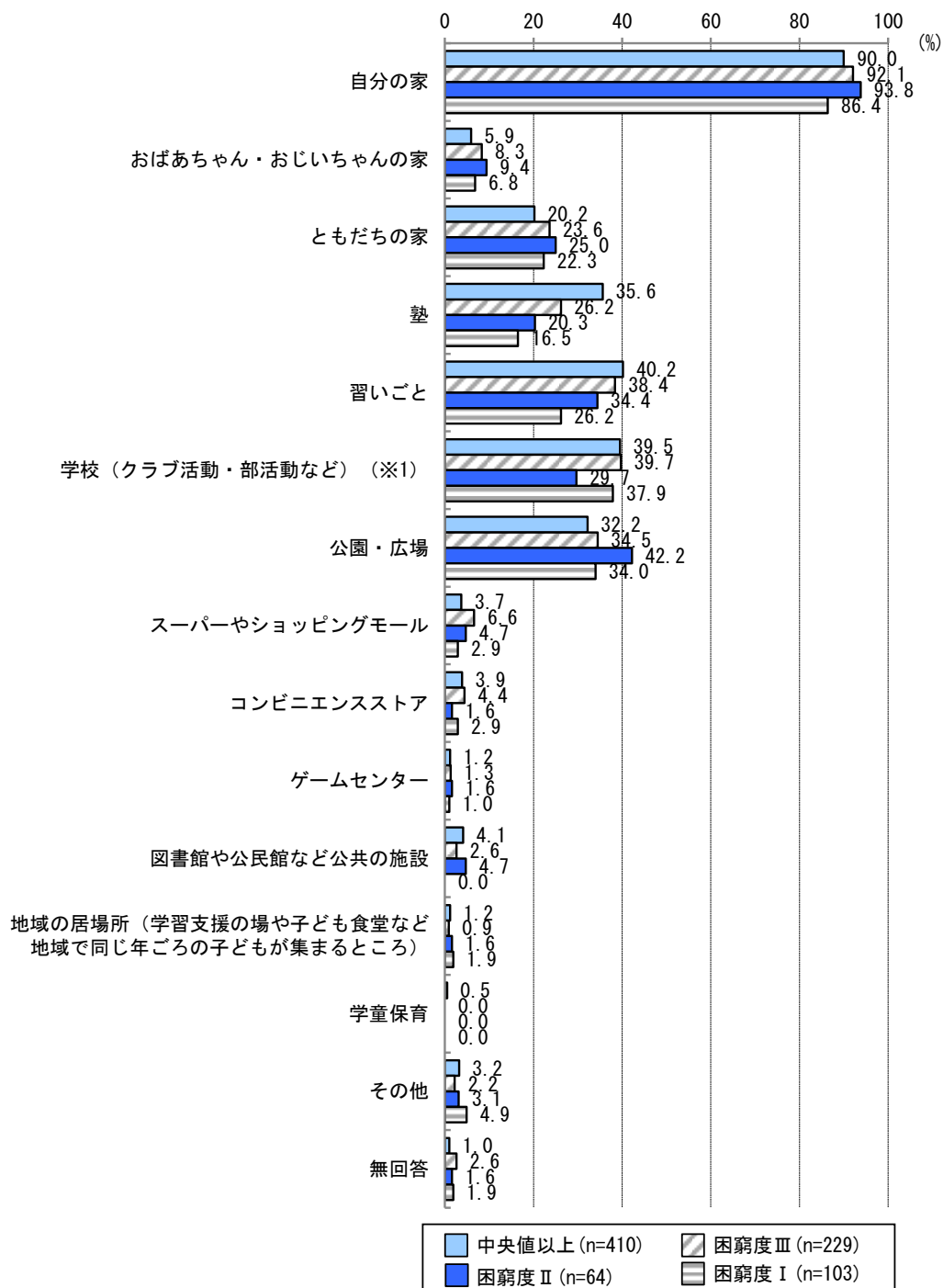
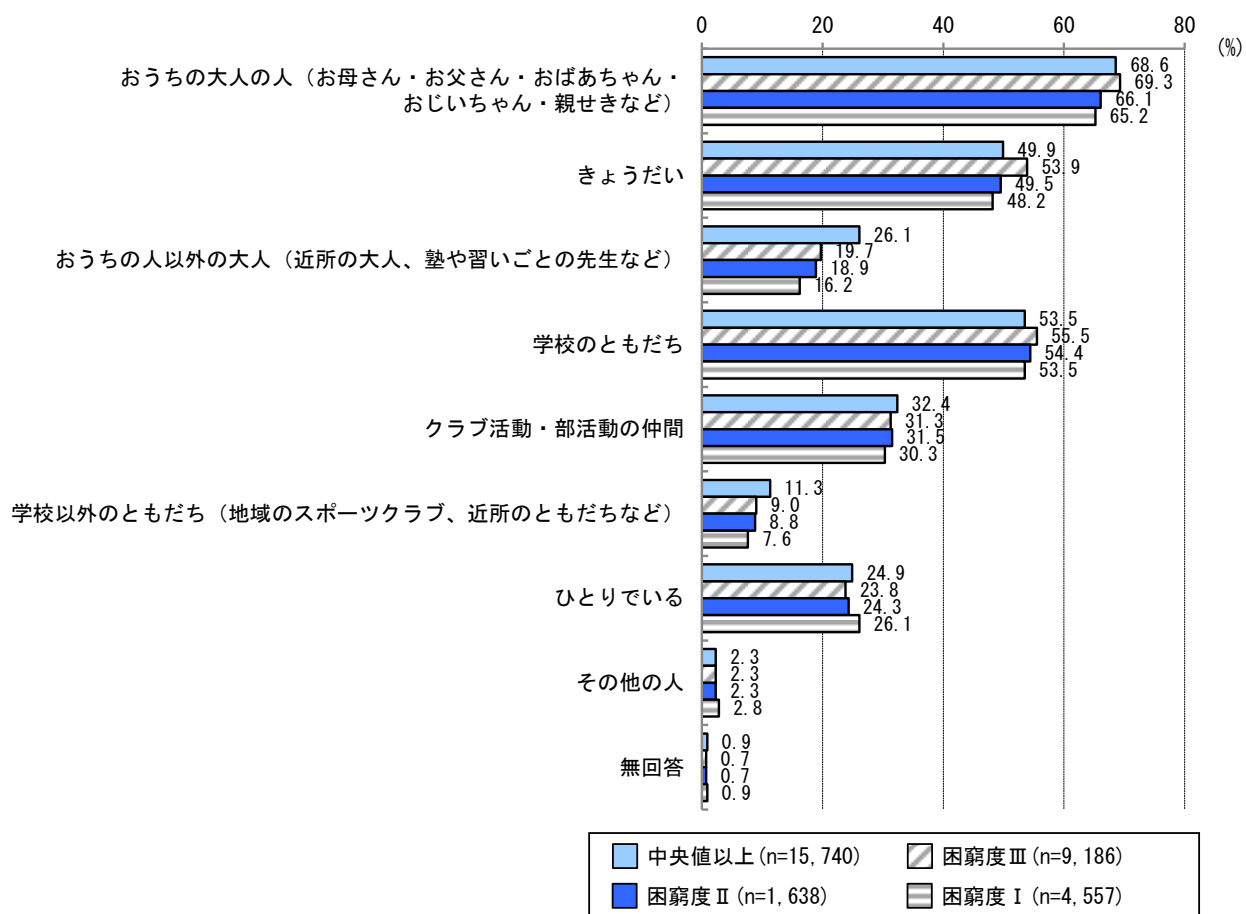


図 146. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）」1.9%（中央値以上群に対して1.6倍）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」6.8%（同じく1.2倍）、「ともだちの家」22.3%（同じく1.1倍）、「公園・広場」34.0%（同じく1.1倍）となっている。一方、中央値以上群では、「塾」35.6%（困窮度Ⅰ群に対して2.2倍）、「習いごと」40.2%（同じく1.5倍）などが高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問10）

<大阪府内全体>



<池田市>

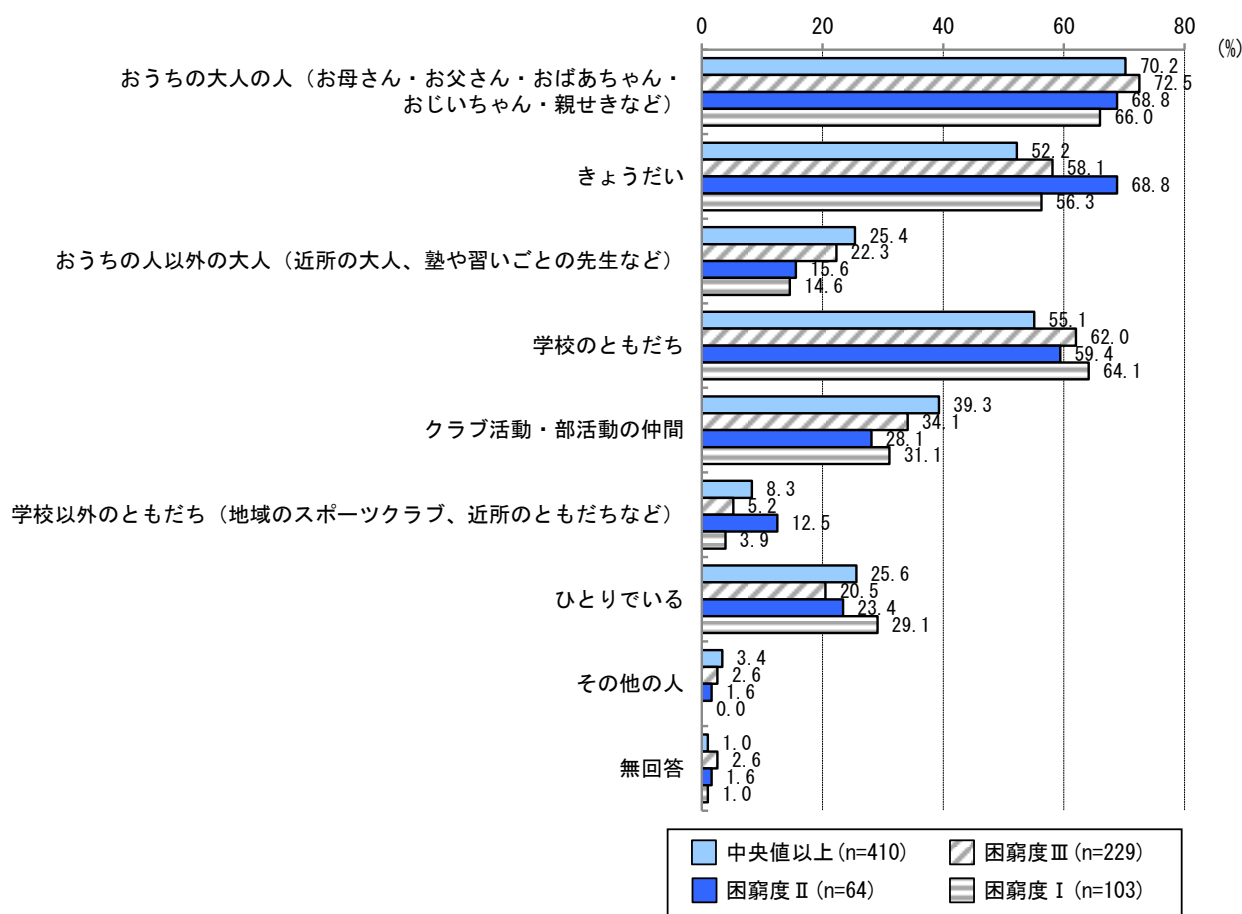
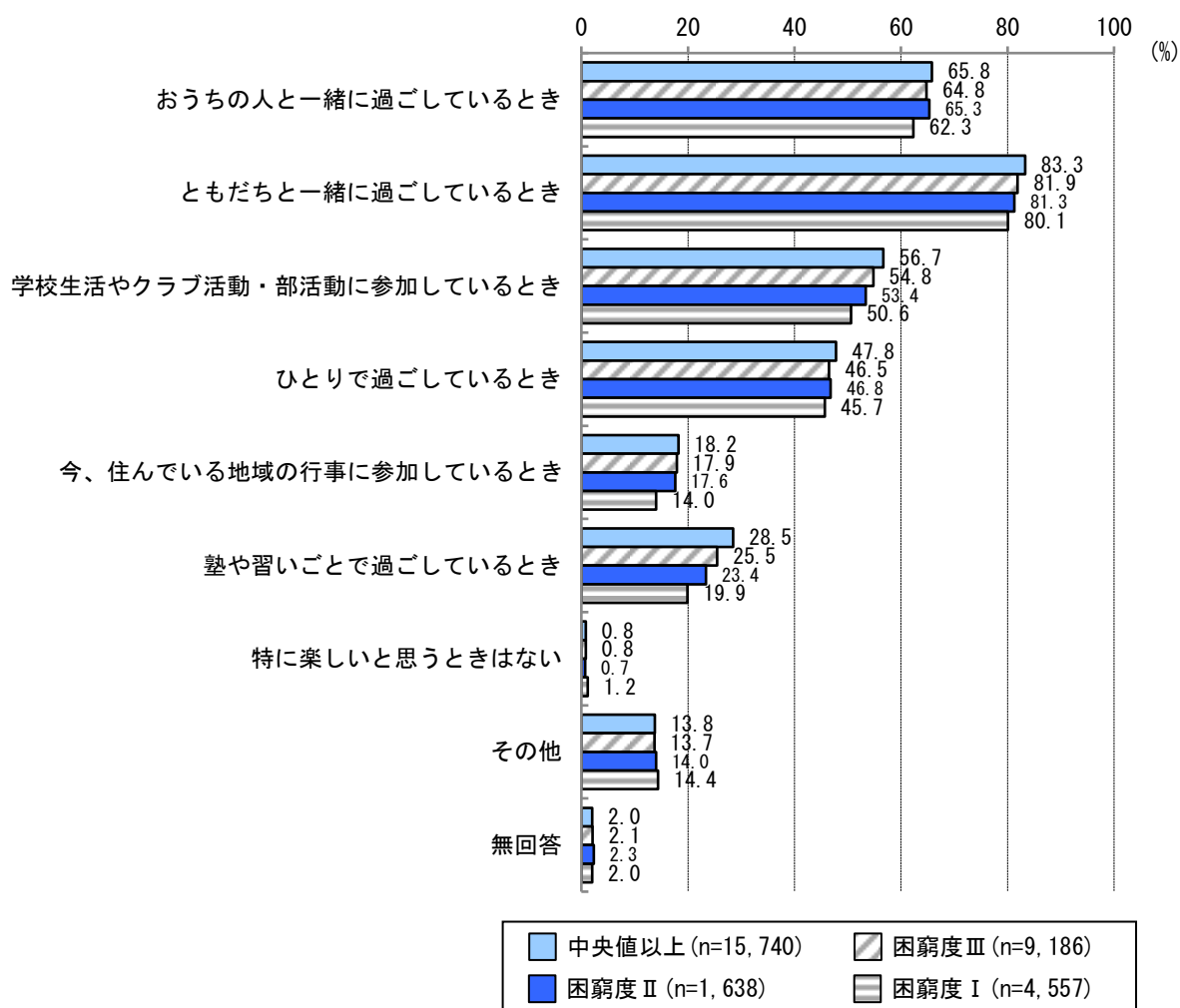


図 147. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」8.3%（困窮度Ⅰ群に対して2.1倍）、「うちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」25.4%（同じく1.7倍）、「クラブ活動・部活動の仲間」39.3%（同じく1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問9）

<大阪府内全体>



<池田市>

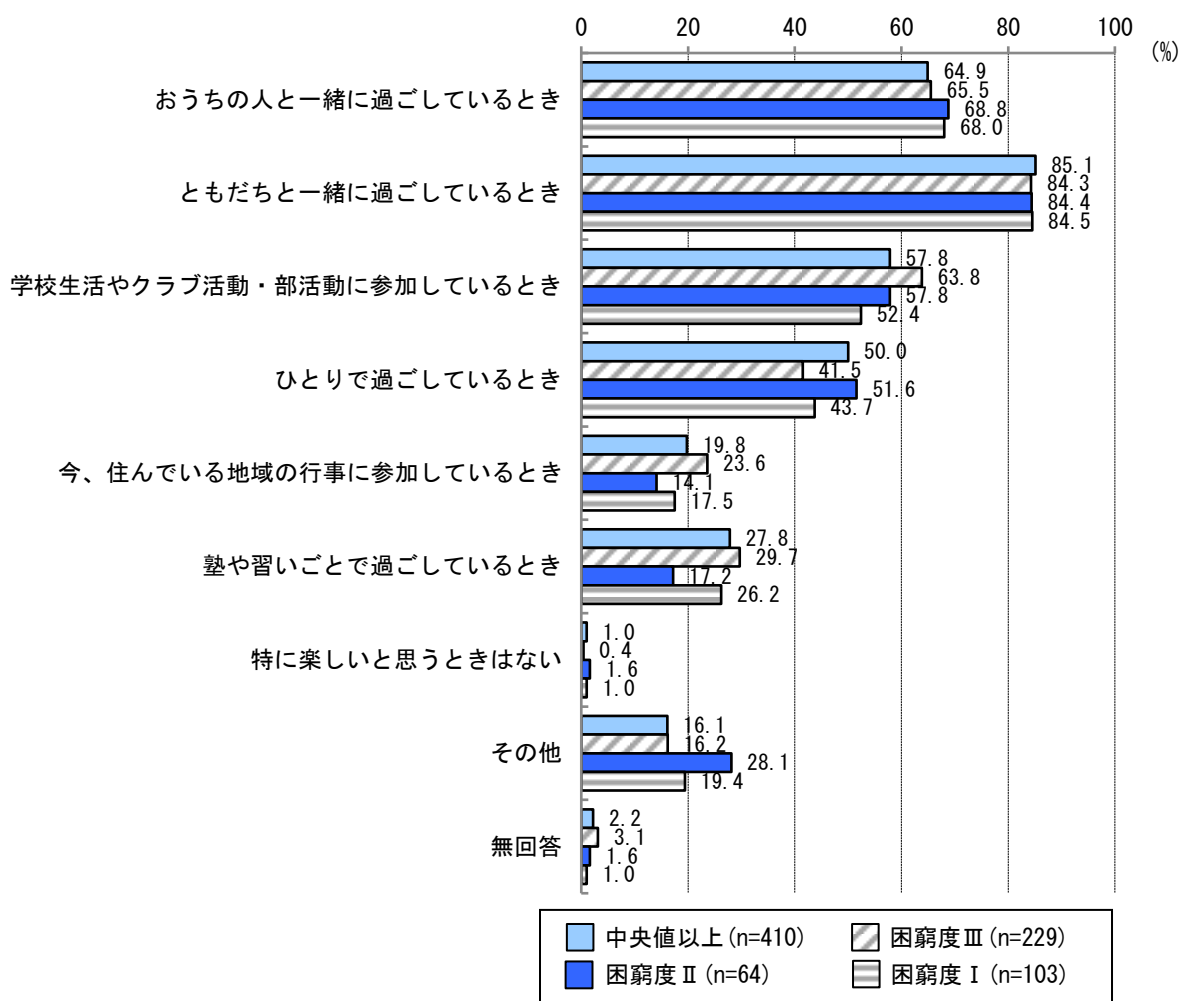
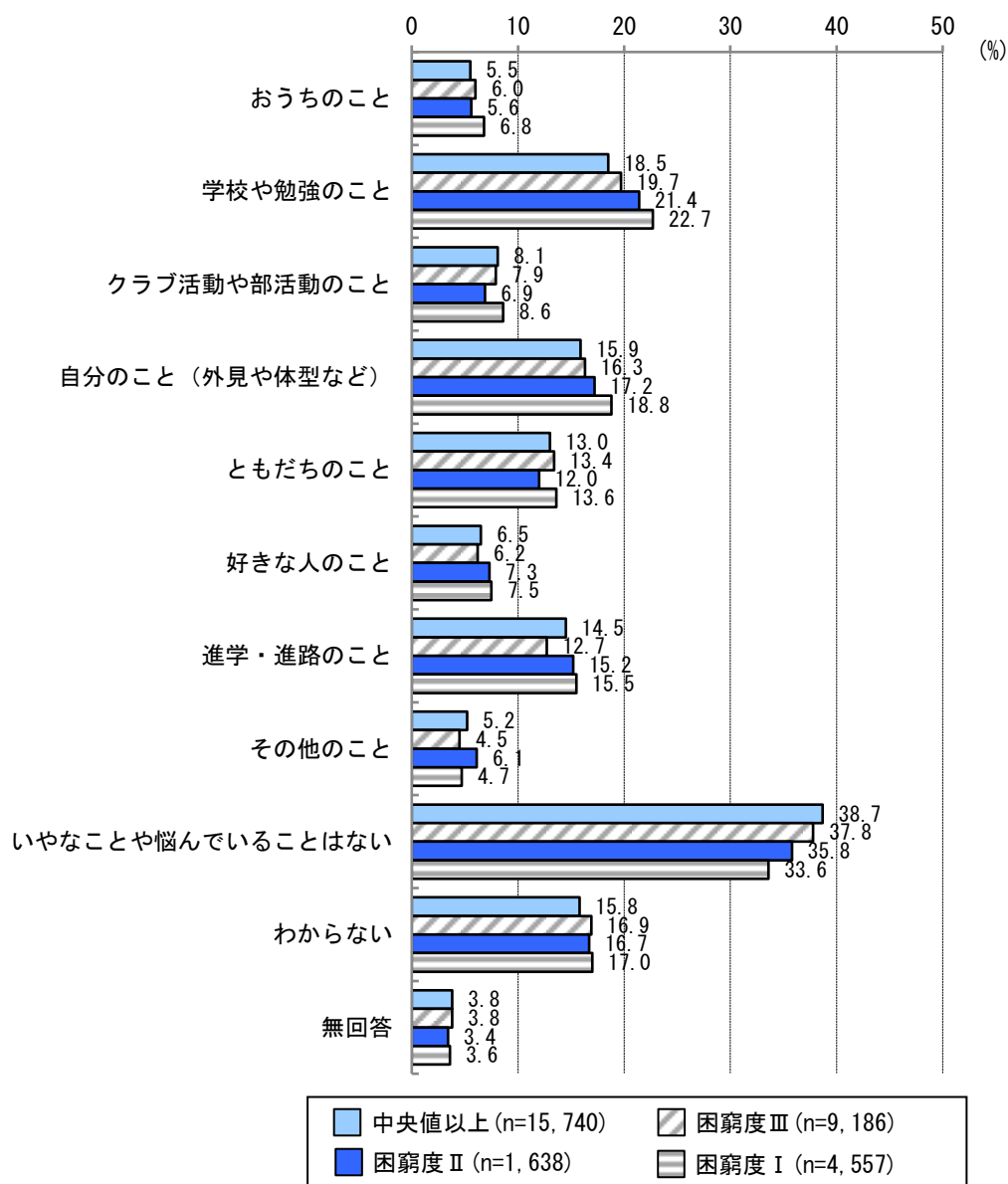


図 148. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「ひとりで過ごしているとき」50.0%（困窮度Ⅰ群に対して1.1倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」19.8%（同様に1.1倍）、「塾や習いごとで過ごしているとき」27.8%（同様に1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問17）

<大阪府内全体>



<池田市>

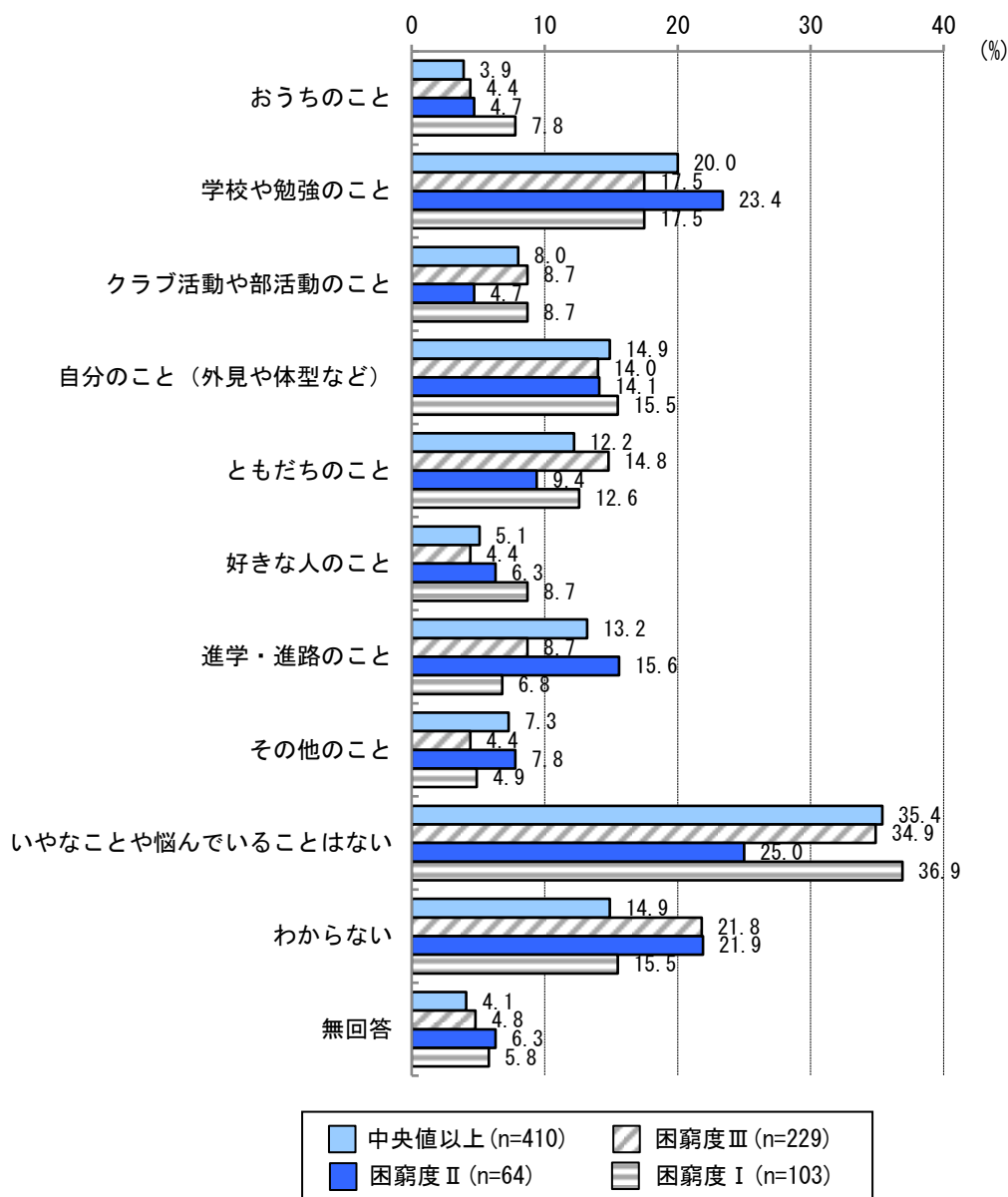
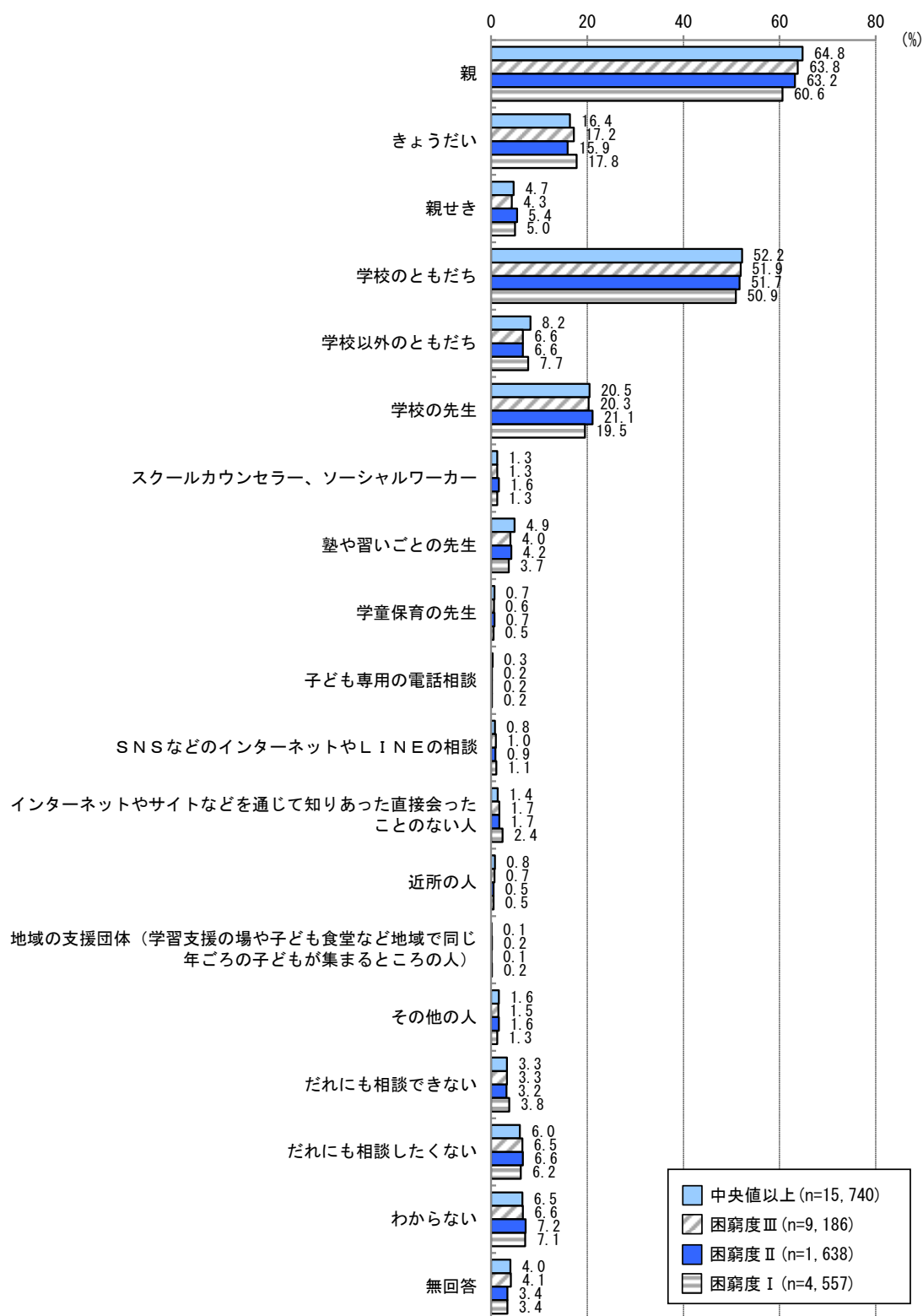


図 149. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「おうちのこと」7.8%（中央値以上群に対して2.0倍）、「好きな人のこと」8.7%（同じく1.7倍）が高く、中央値以上群では「進学・進路のこと」13.2%（困窮度Ⅰ群に対して1.9倍）、「学校や勉強のこと」20.0%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 18）

<大阪府内全体>



<池田市>

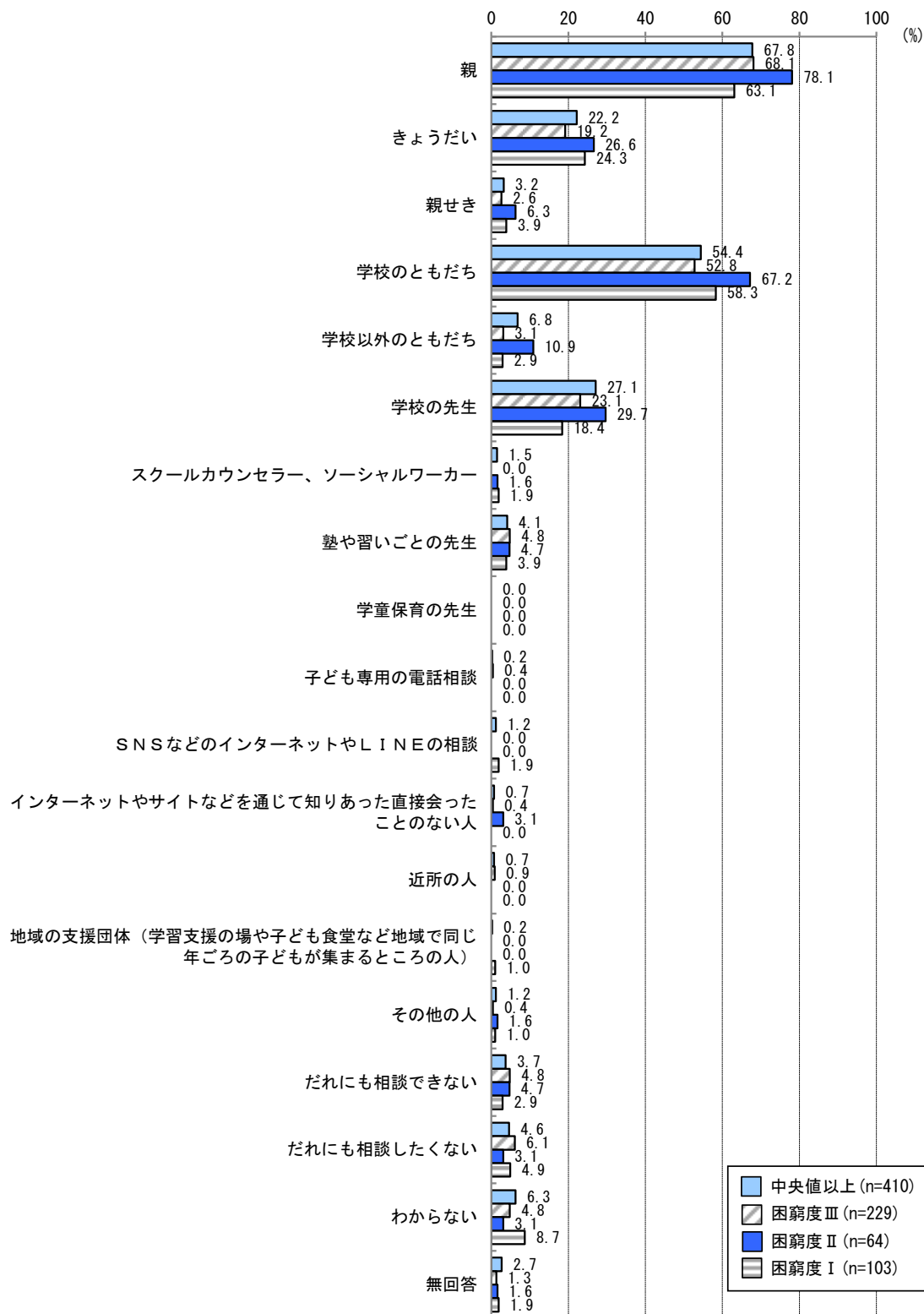
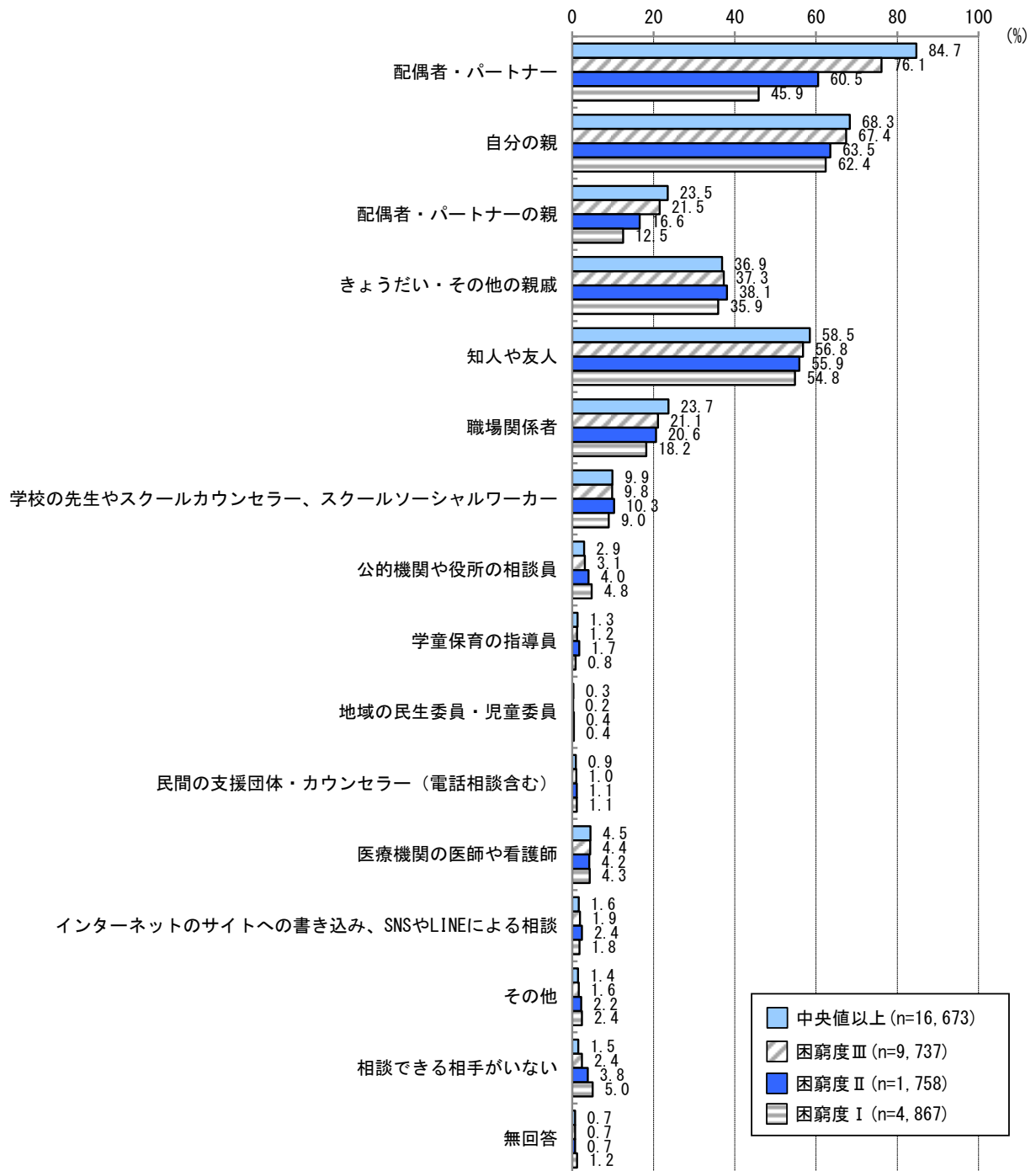


図 150. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「地域の支援団体」1.0%（中央値以上群に対して5.0倍）、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」1.9%（同様に1.6倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



<池田市>

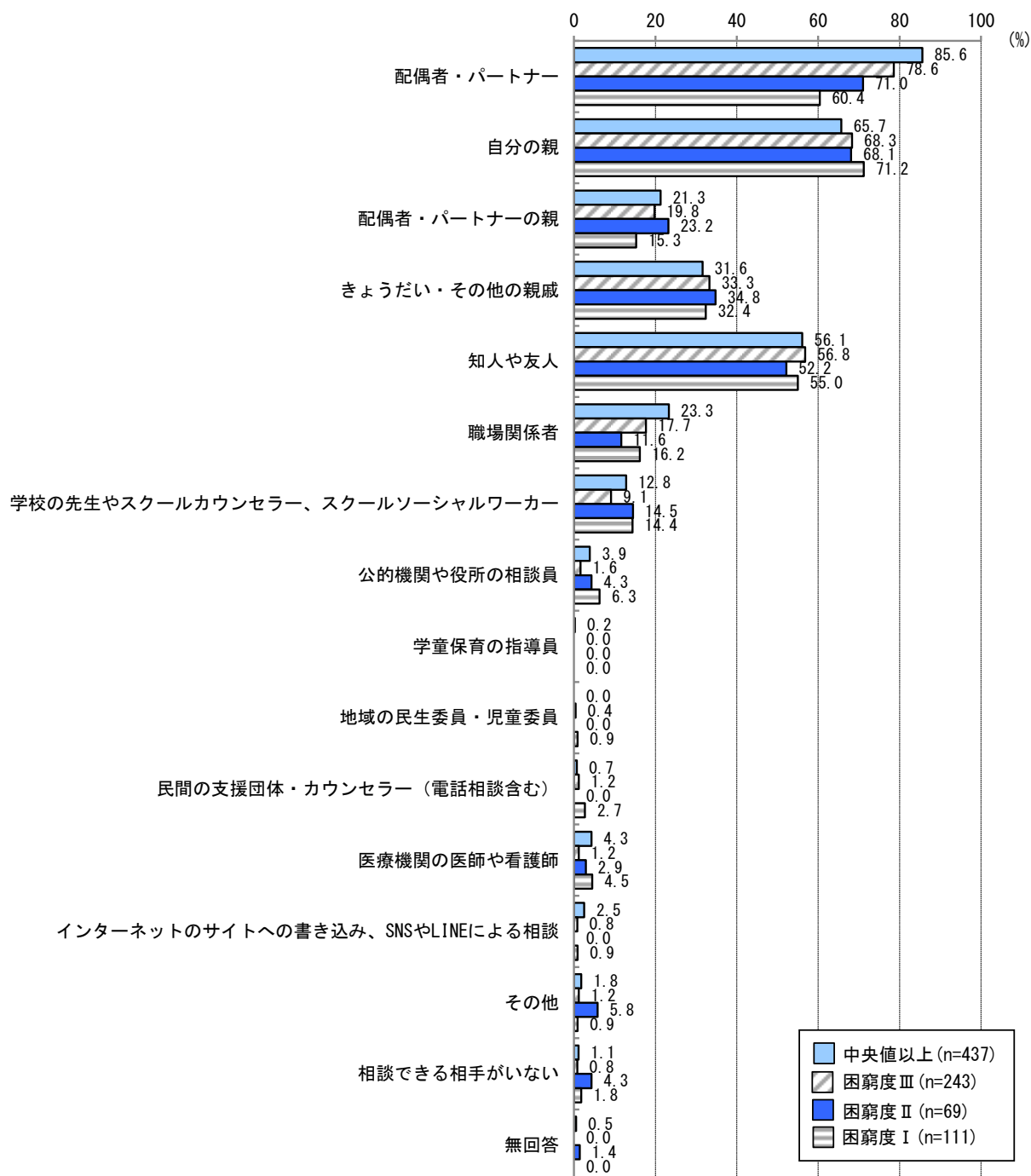
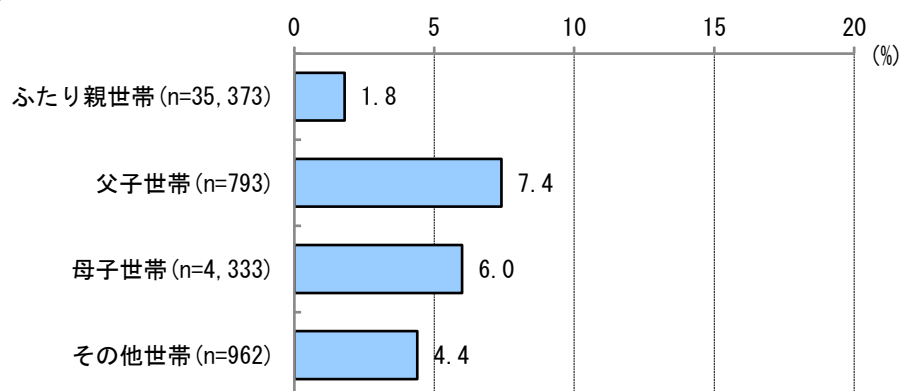


図 151. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」2.7%（中央値以上群に対して3.9倍）、「公的機関や役所の相談員」6.3%（同じく1.6倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINE」による相談2.5%、（困窮度Ⅰ群に対して2.8倍）、「職場関係者」23.3%（同じく1.4倍）、「配偶者・パートナー」85.6%（同じく1.4倍）、「配偶者・パートナーの親」21.3%（同じく1.4倍）となっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合
(保護者票問2×保護者票問19)

<大阪府内全体>



<池田市>

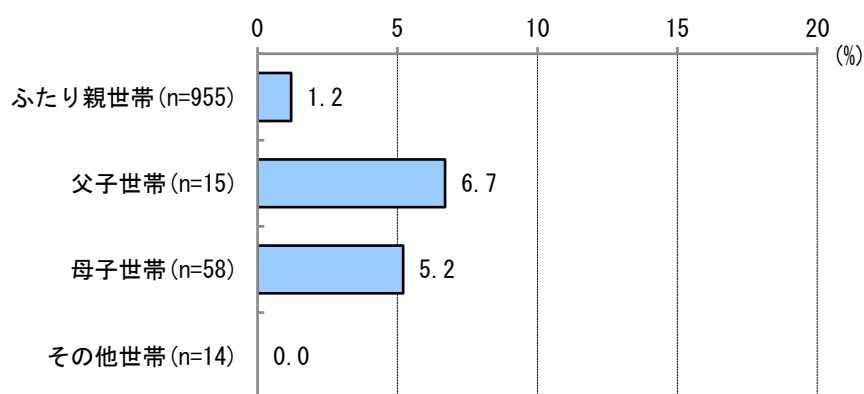
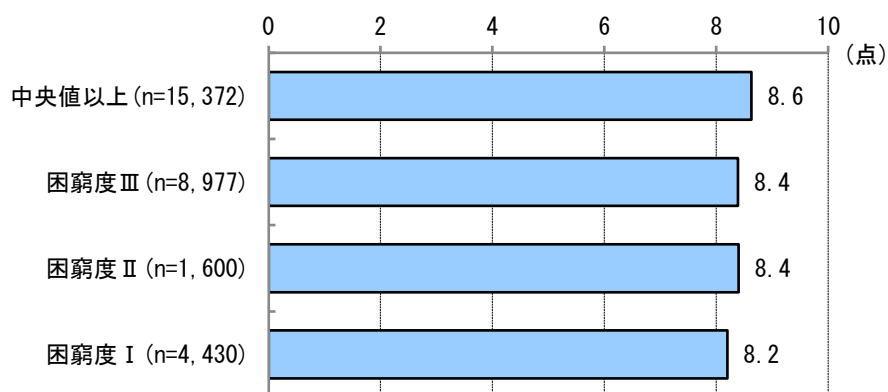


図 152. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合を見ると、「相談できる相手がない」と回答した割合は、父子世帯で6.7%、母子世帯で5.2%となっている。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<池田市>

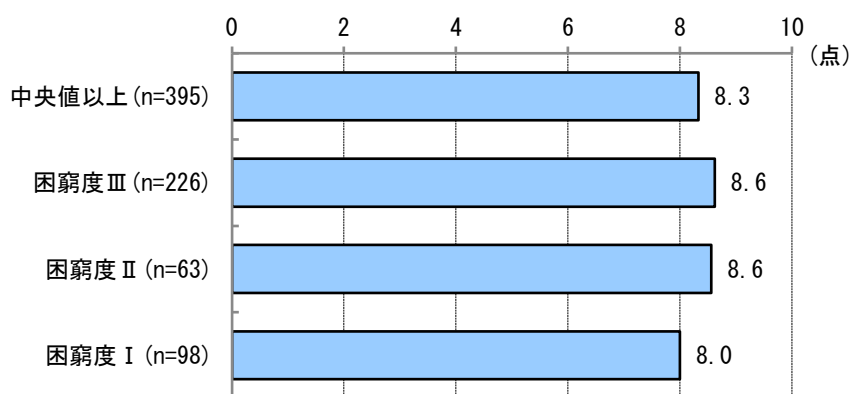
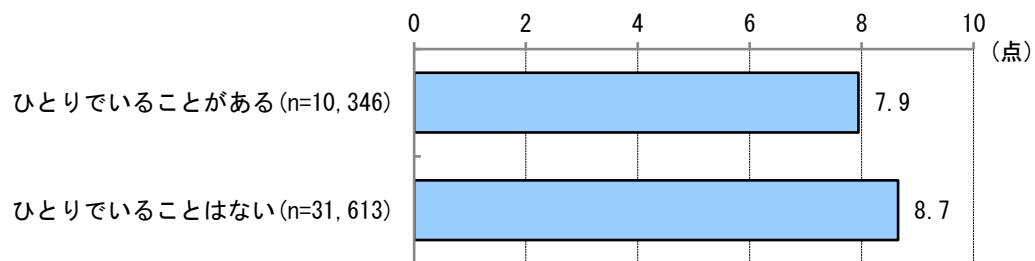


図 153. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅱ・Ⅲ群でセルフ・エフィカシーが8.6点と高くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

<大阪府内全体>



<池田市>

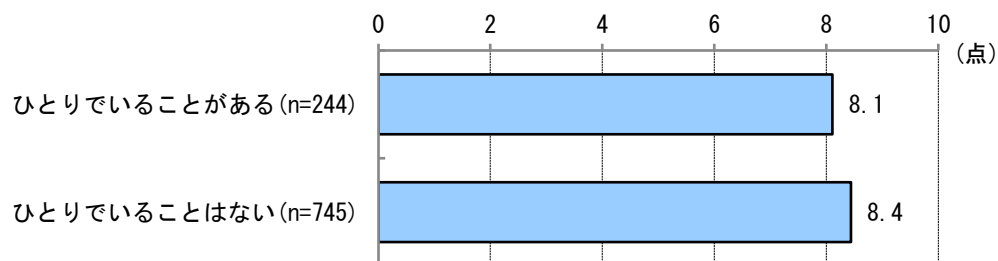


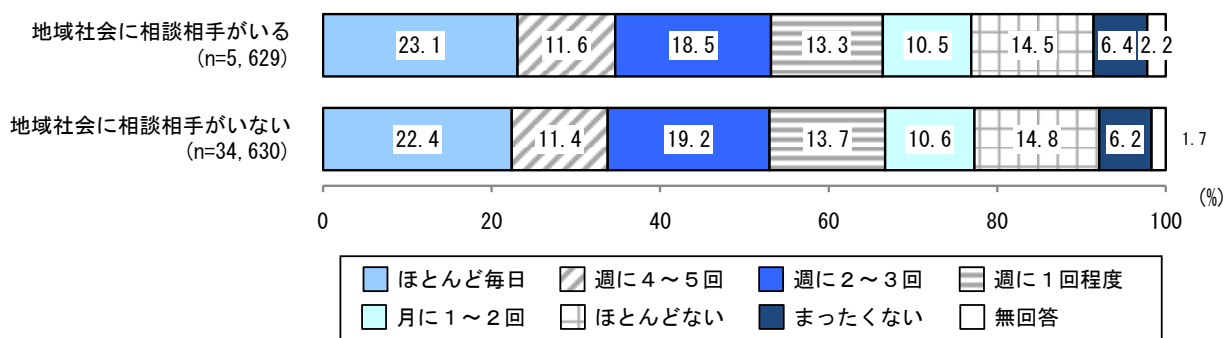
図 154. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どものほうがそれでない子どもよりも自己効力感(セルフ・エフィカシー)が低くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
(保護者票問 19×子ども票問 8④)

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全体>



<池田市>

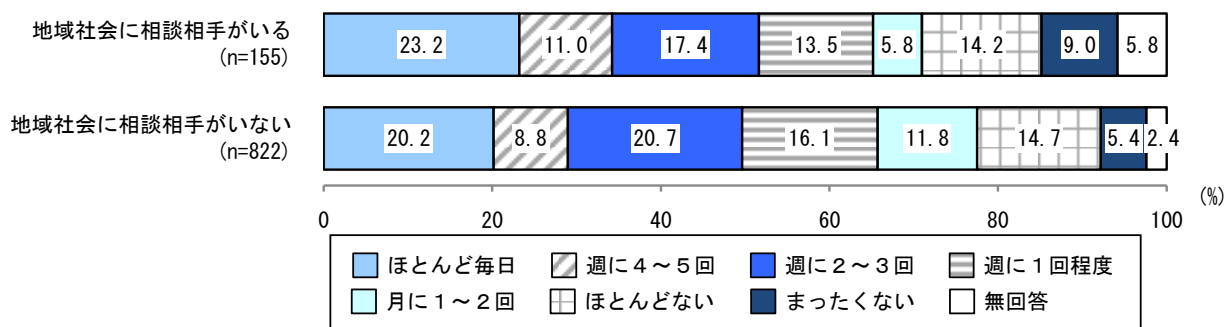
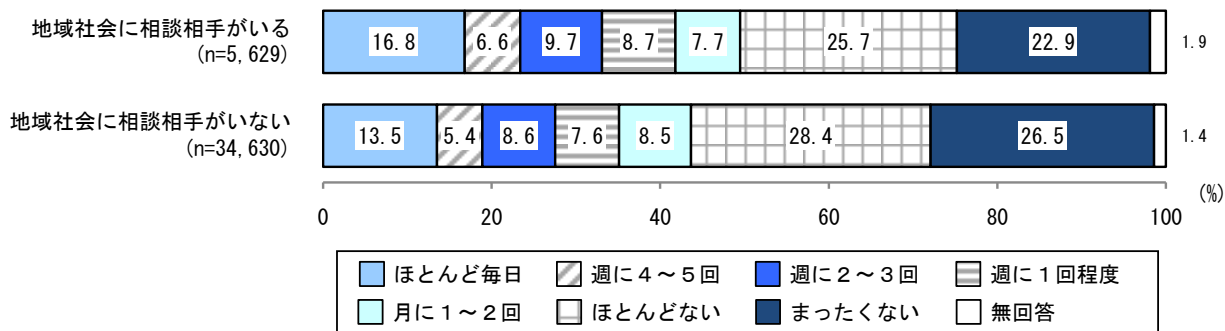


図 155. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「ほとんど毎日」、「週に4～5回」、「まったくない」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑤）

<大阪府内全体>



<池田市>

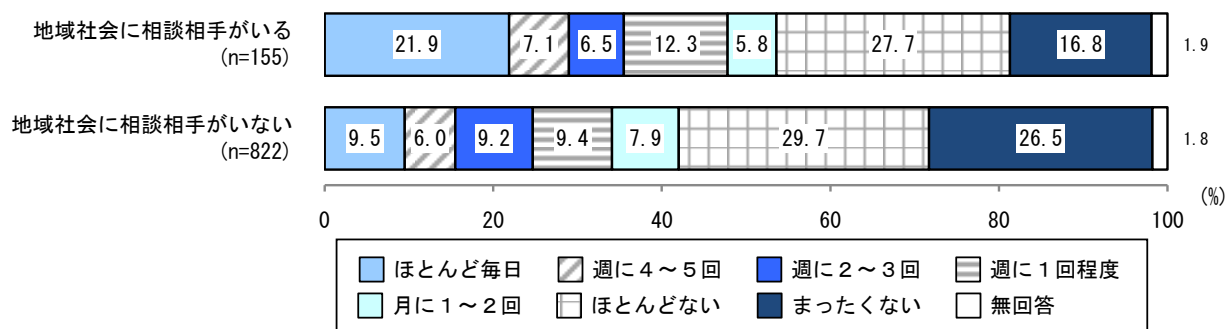
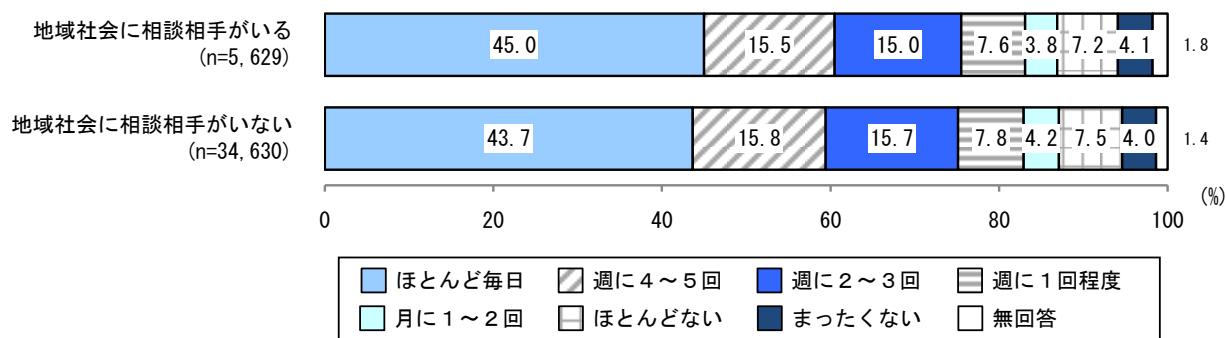


図 156. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「ほとんど毎日」、「週に4～5回」、「週に1回程度」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか
（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑥）

<大阪府内全体>



<池田市>

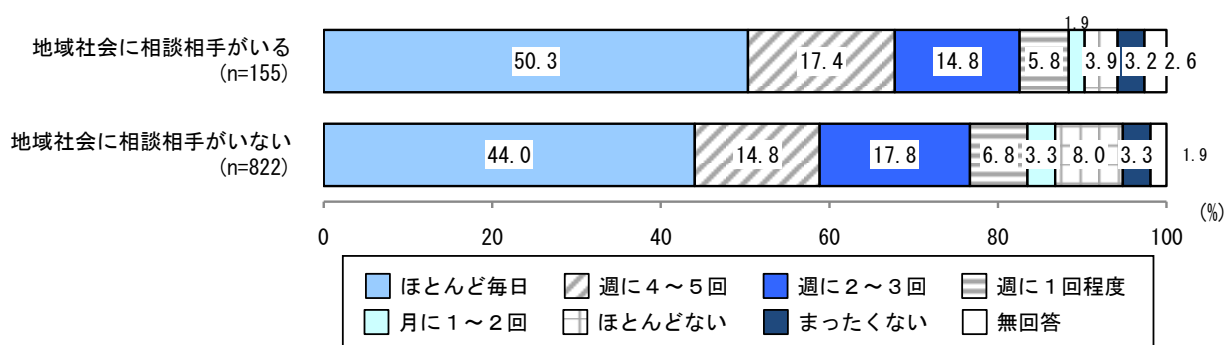
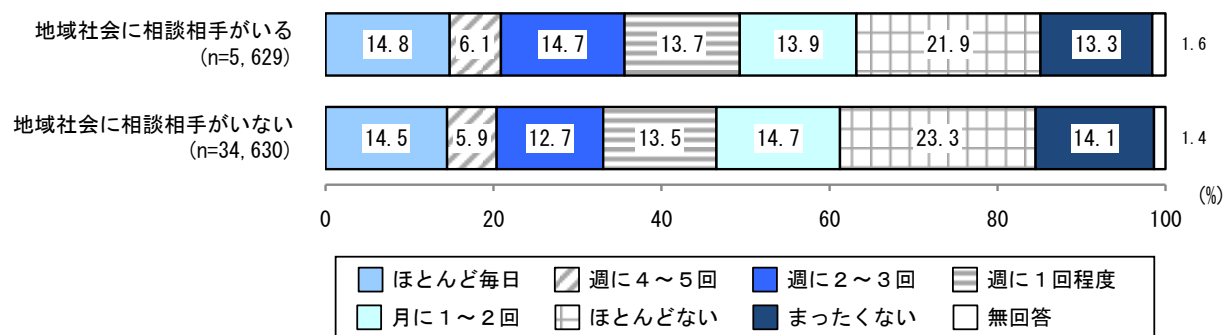


図 157. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」、「週に4～5回」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑦)

<大阪府内全体>



<池田市>

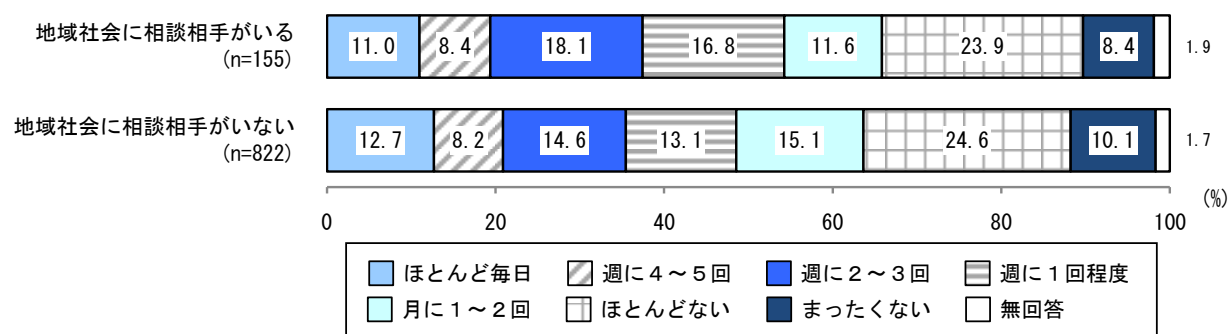
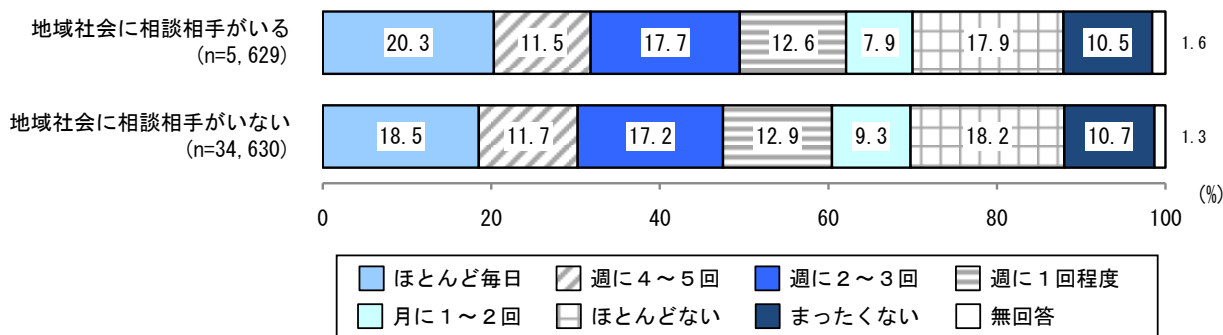


図 158. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかに「週に4～5回」、「週に2～3回」、「週に1回程度」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問 8 ⑧）

<大阪府内全体>



<池田市>

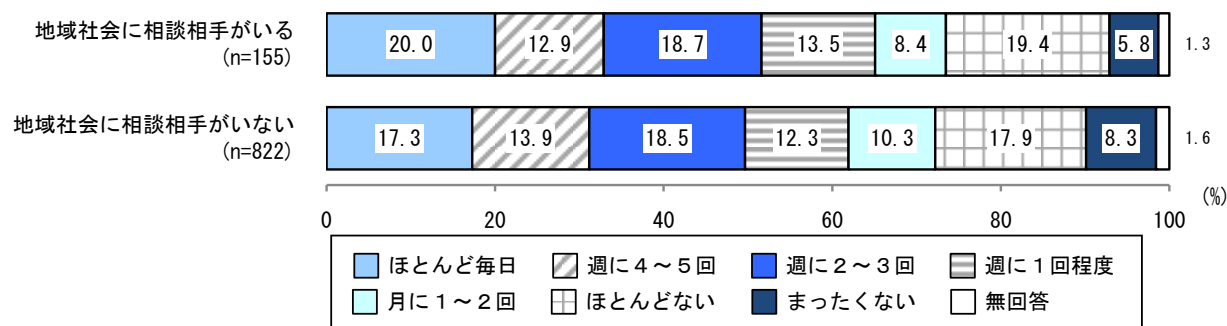
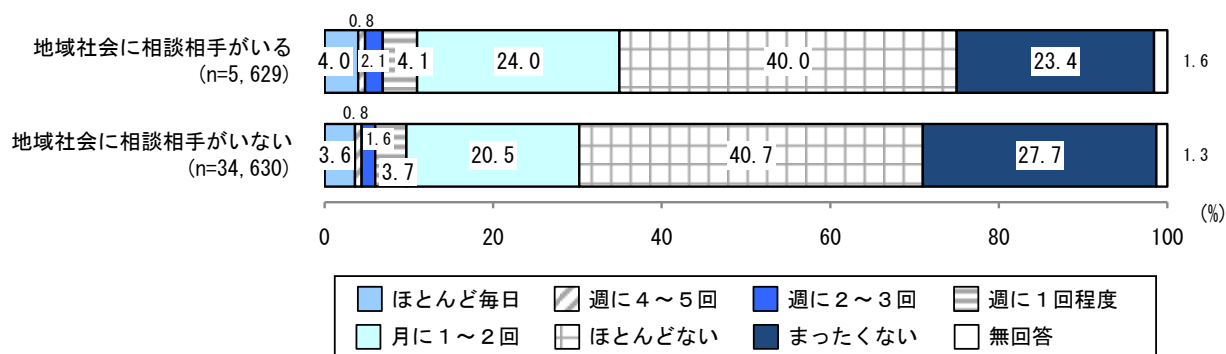


図 159. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」、「週に2~3回」、「週に1回程度」、「ほとんどない」と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑨)

<大阪府内全体>



<池田市>

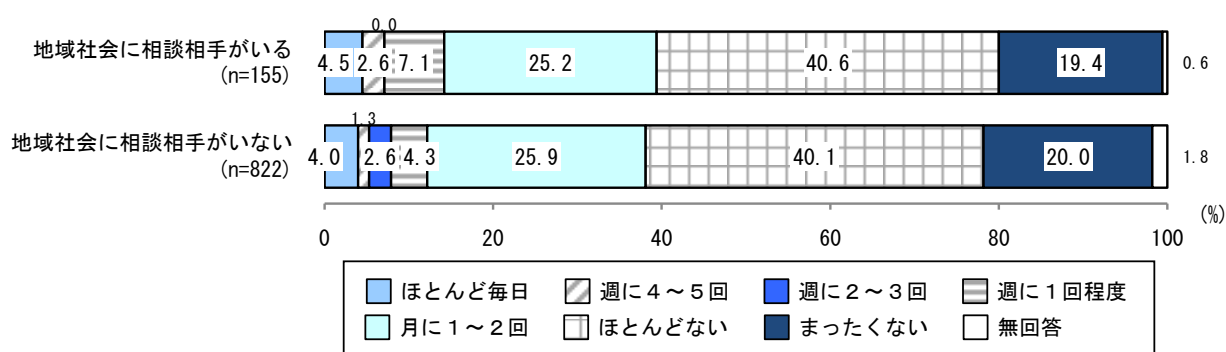
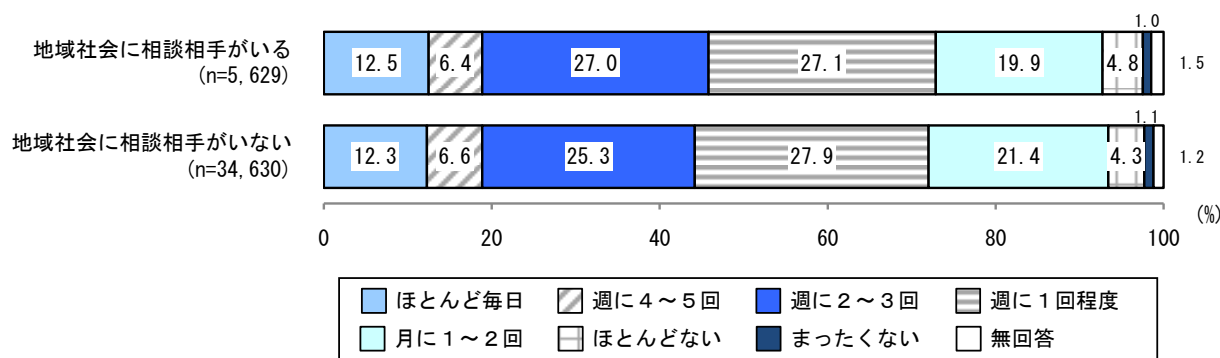


図 160. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりもおうちの大人の人と文化活動をするかに月に1回以上と回答する割合が高くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
(保護者票問 19×子ども票問 8 ⑩)

<大阪府内全体>



<池田市>

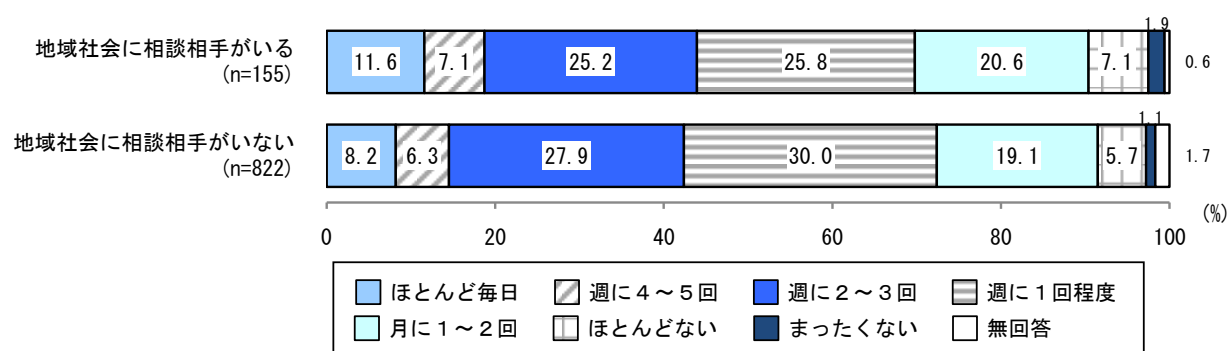
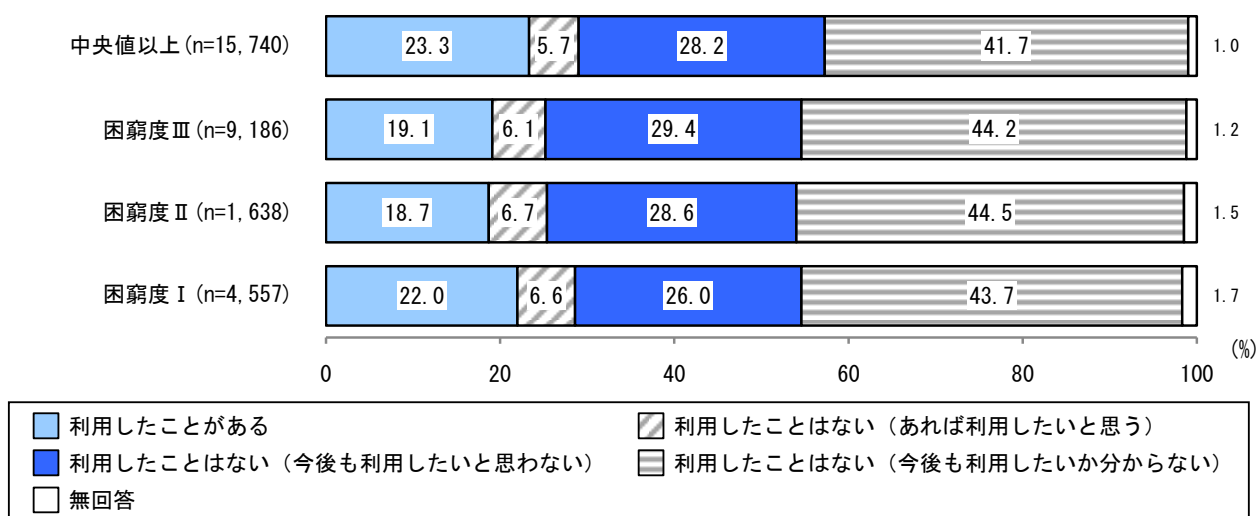


図 161. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人のほうが、「地域社会に相談相手がない」人よりも、おうちの大人の人と一緒に外出するかに「ほとんど毎日」、「週に4～5回」、「月に1～2回」、「ほとんどない」、「まったくない」と回答する割合が高くなっている。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

<大阪府内全体>



<池田市>

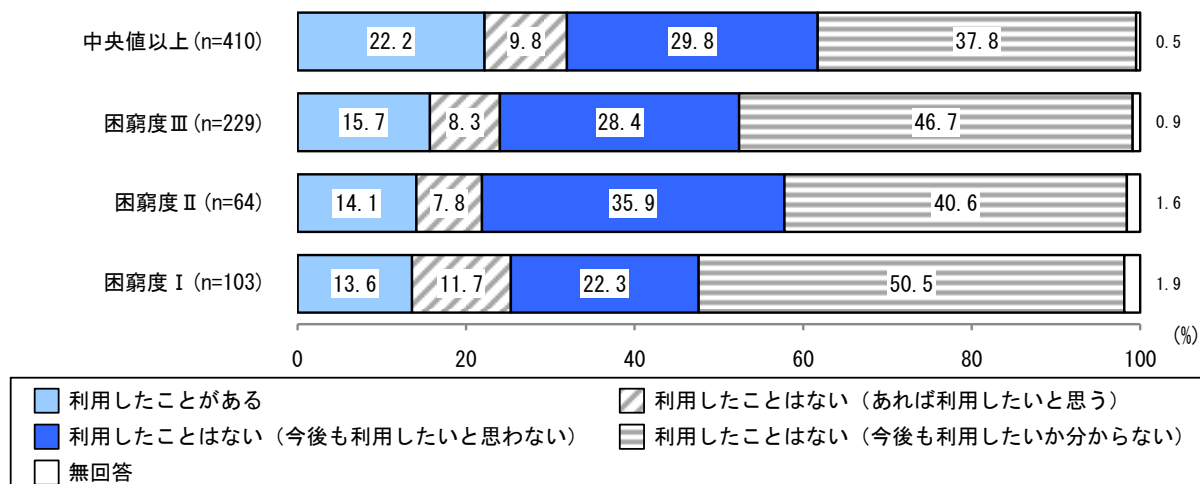
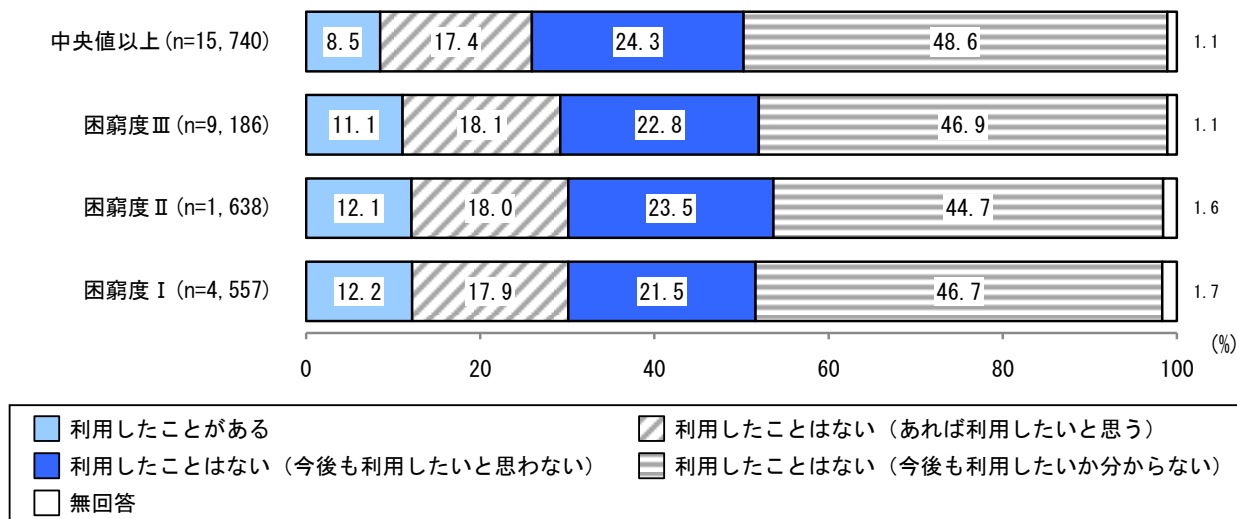


図 162. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、困窮度が高まるにつれて、「利用したことがある」と回答した割合が低くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
(子ども票問 25(1)②)

<大阪府内全体>



<池田市>

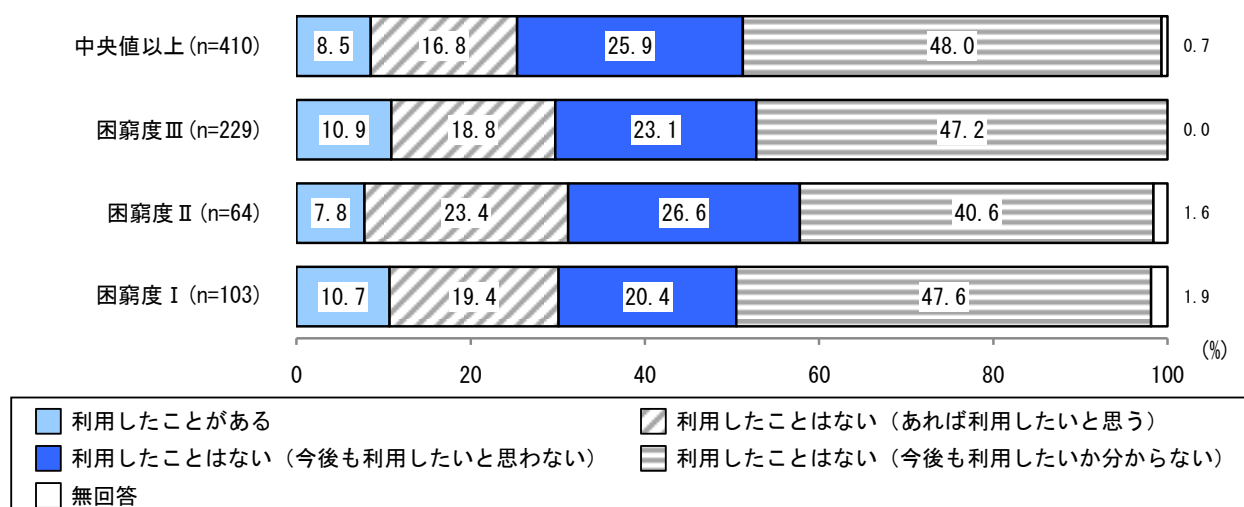
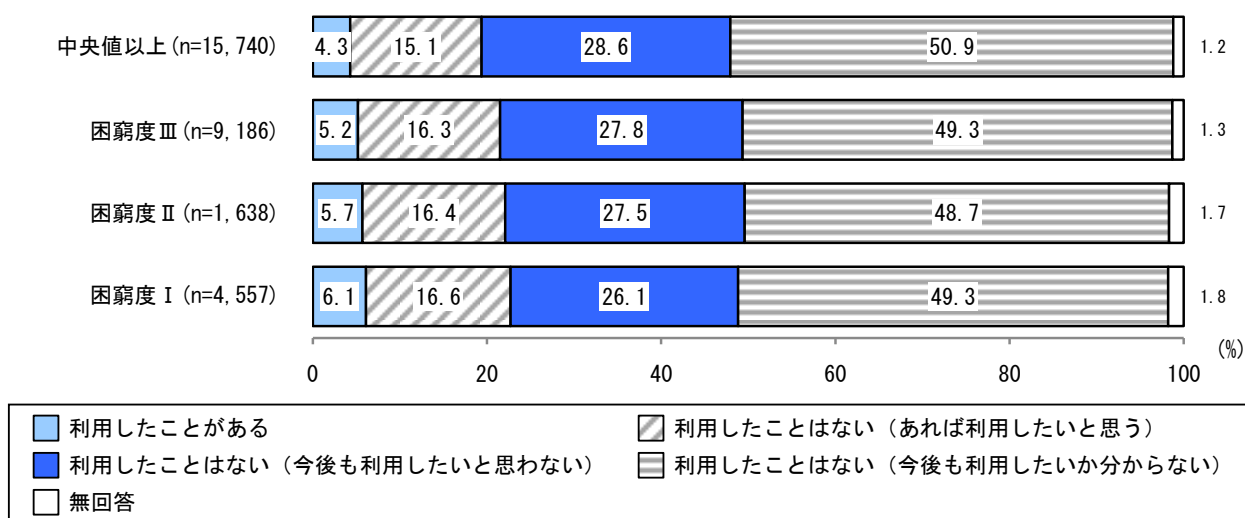


図 163. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答した割合は、中央値以上群が48.0%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（子ども票問 25(1)③）

<大阪府内全体>



<池田市>

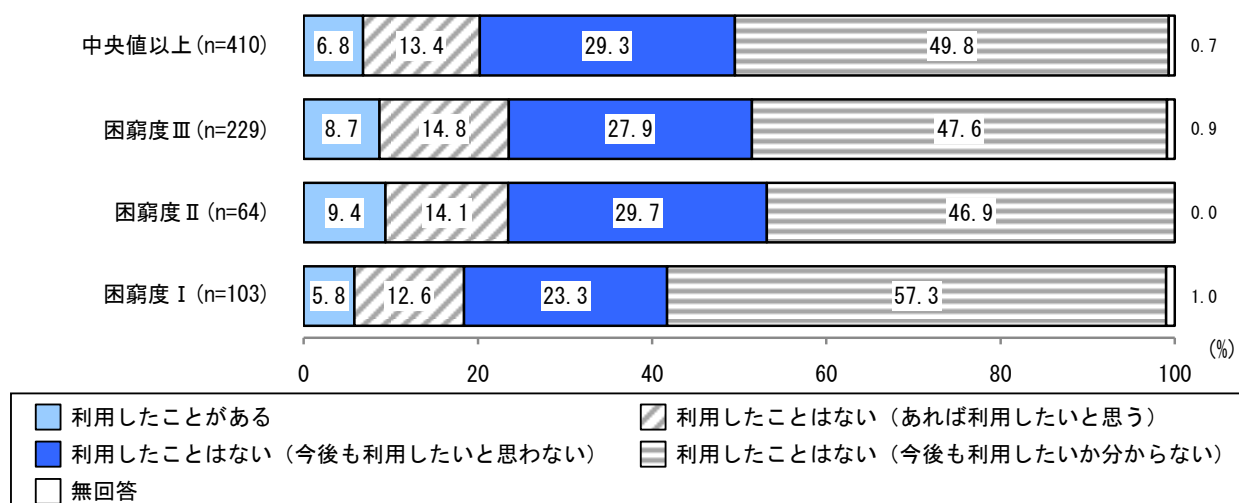
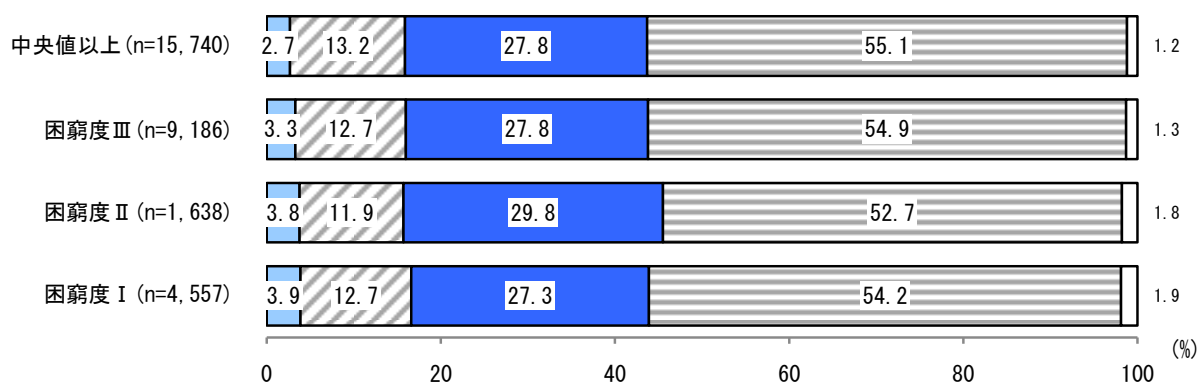


図 164. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群が57.3%で最も高くなっている。

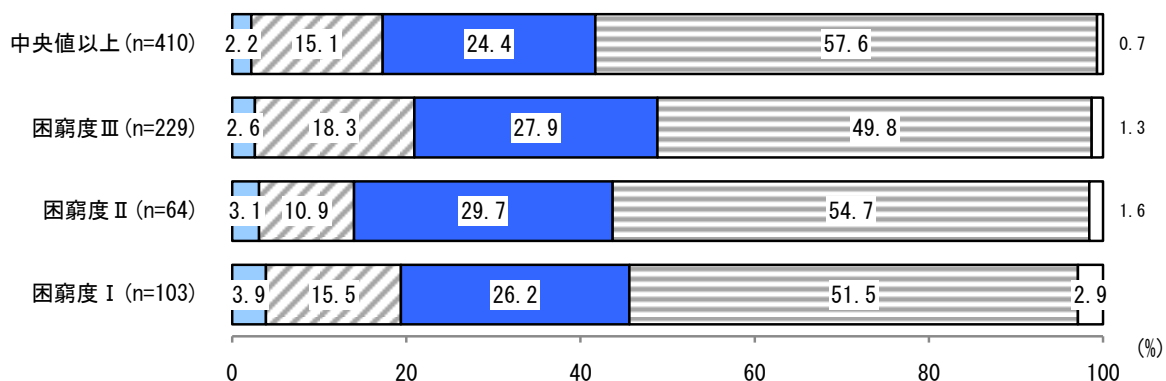
困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

<大阪府内全体>



利用したことがある
 利用したことはない（あれば利用したいと思う）
 利用したことはない（今後も利用したいと思わない）
 利用したことはない（今後も利用したいか分からない）
 無回答

<池田市>



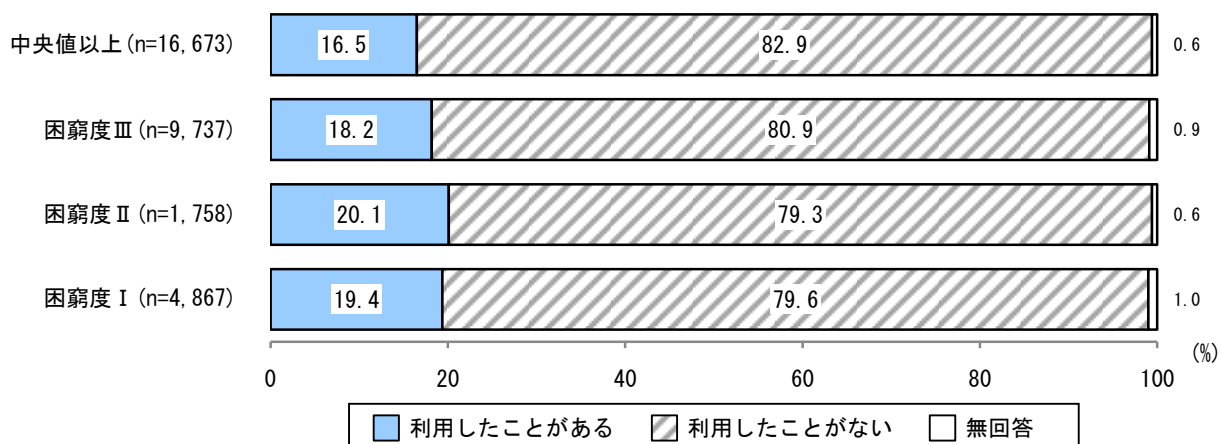
利用したことがある
 利用したことはない（あれば利用したいと思う）
 利用したことはない（今後も利用したいと思わない）
 利用したことはない（今後も利用したいか分からない）
 無回答

図 165. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「利用したことがある」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

<大阪府内全体>



<池田市>

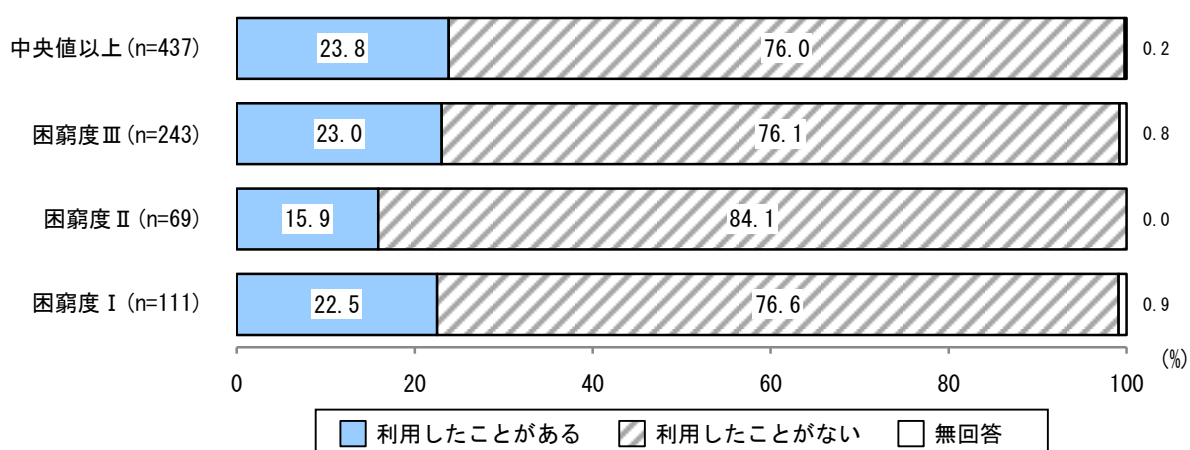
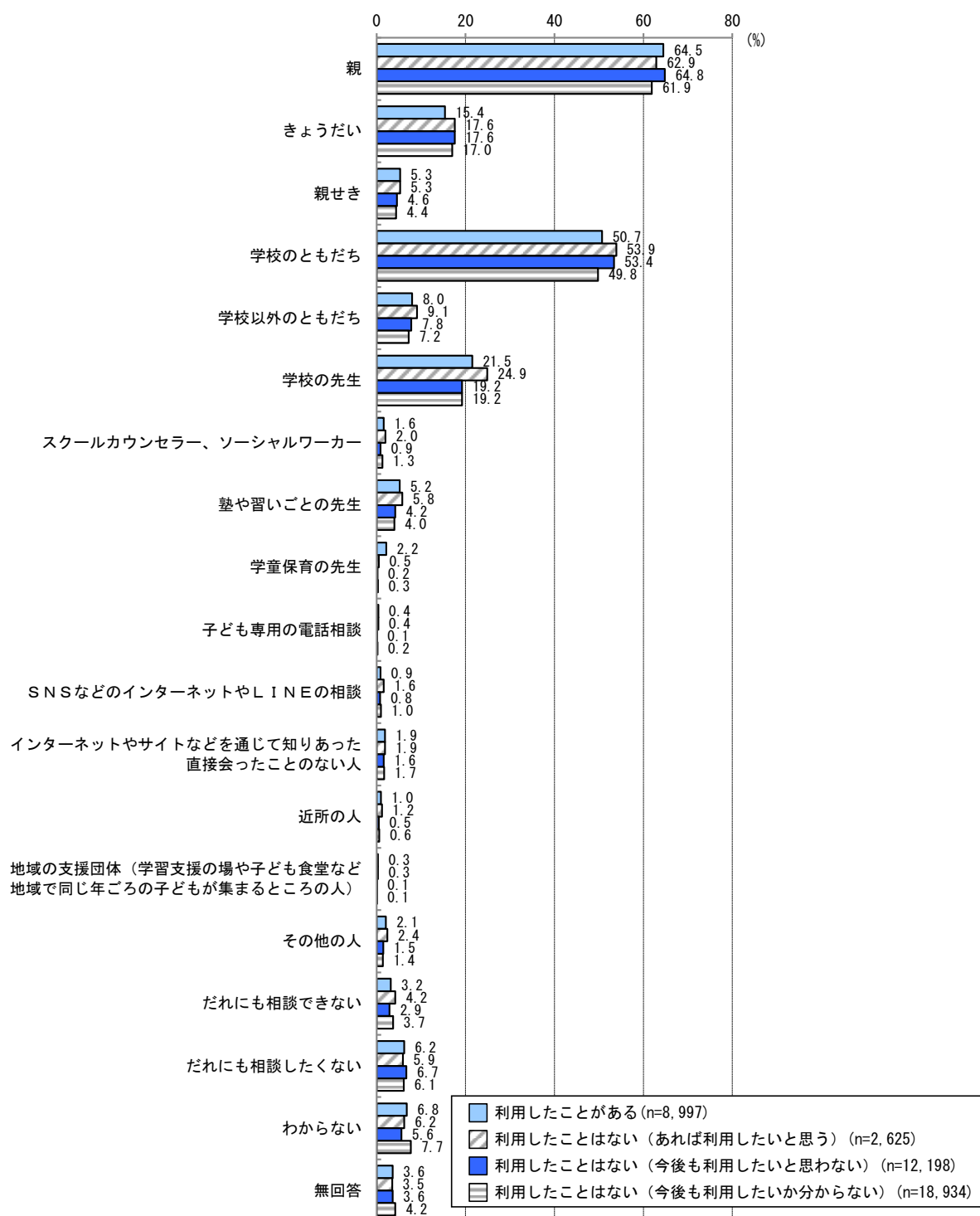


図 166. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、中央値以上群が23.8%で最も高く、困窮度Ⅱ群が15.9%で最も低くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)①×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

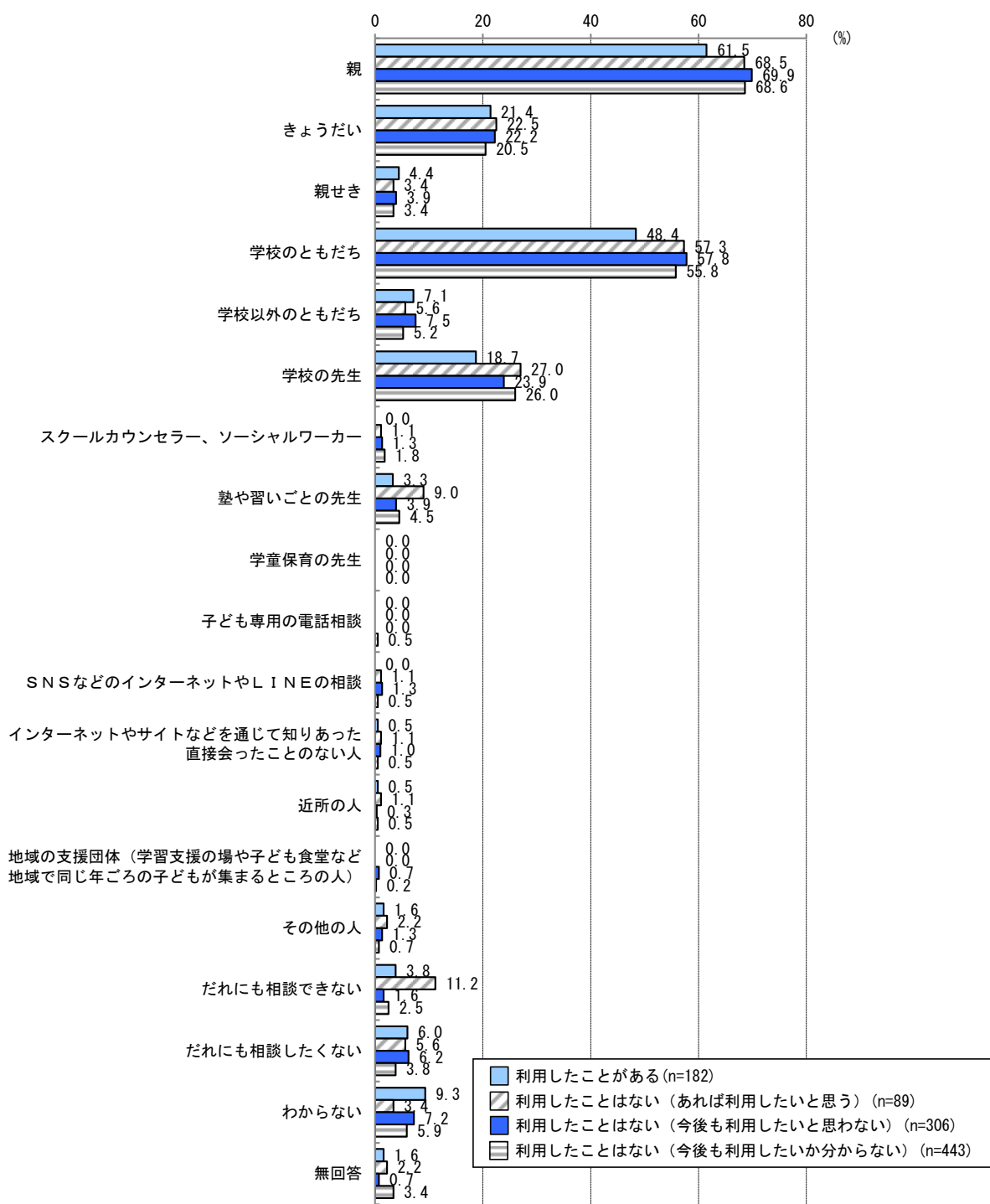
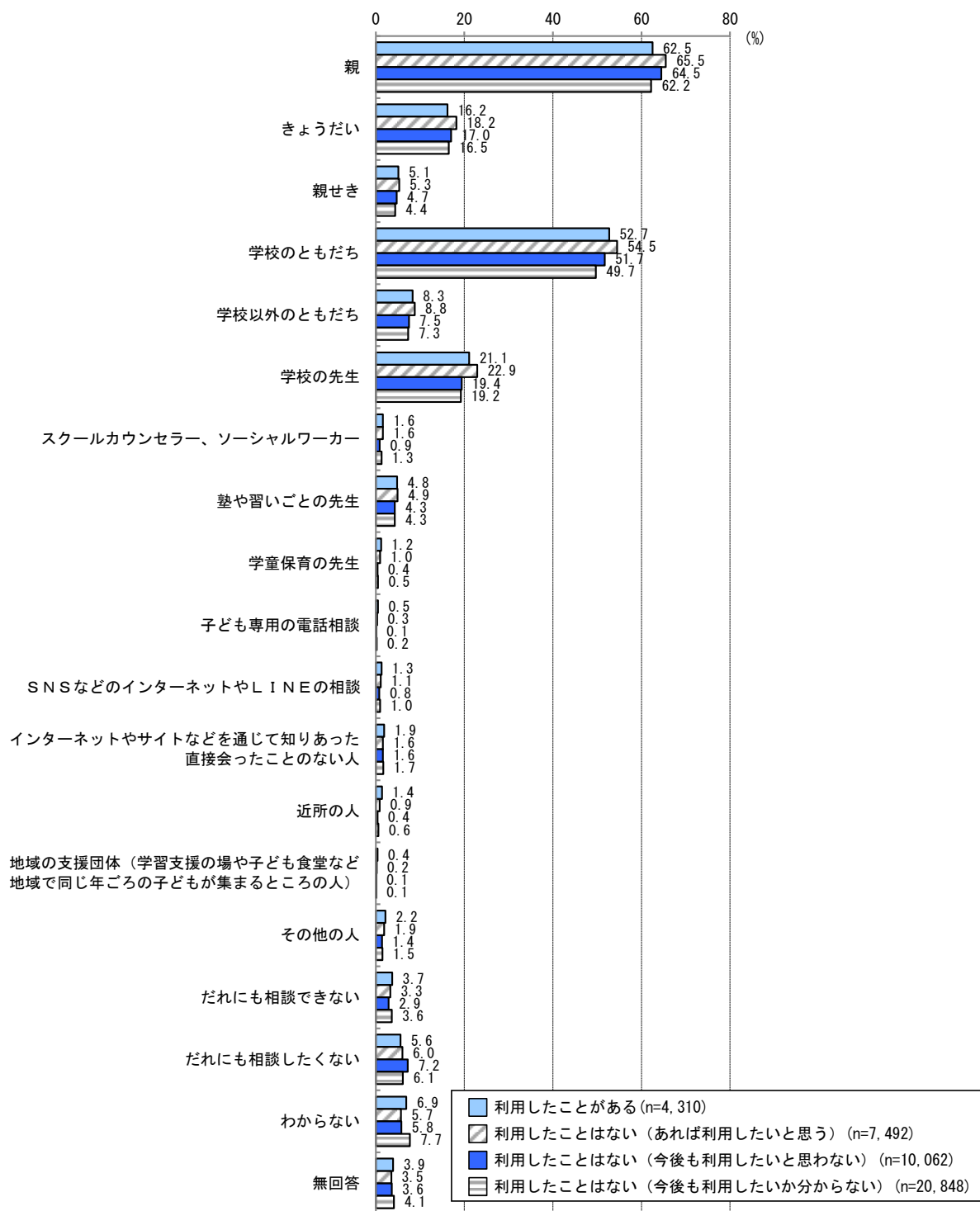


図 167. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した割合は、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」と回答した人が69.9%と最も高くなっている。また、「学校のともだち」も「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」と回答した人が57.8%で最も高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25 (1)②×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

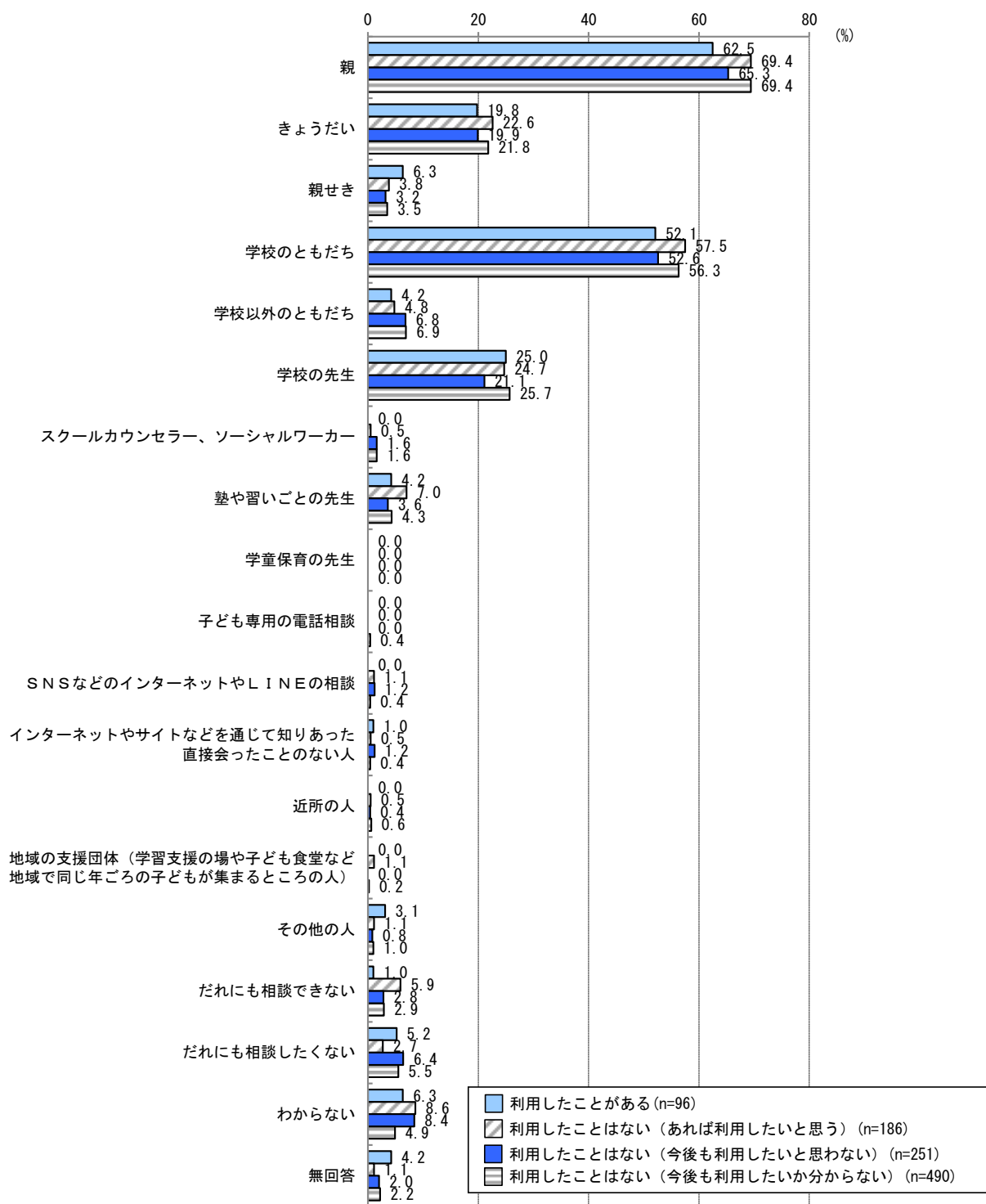
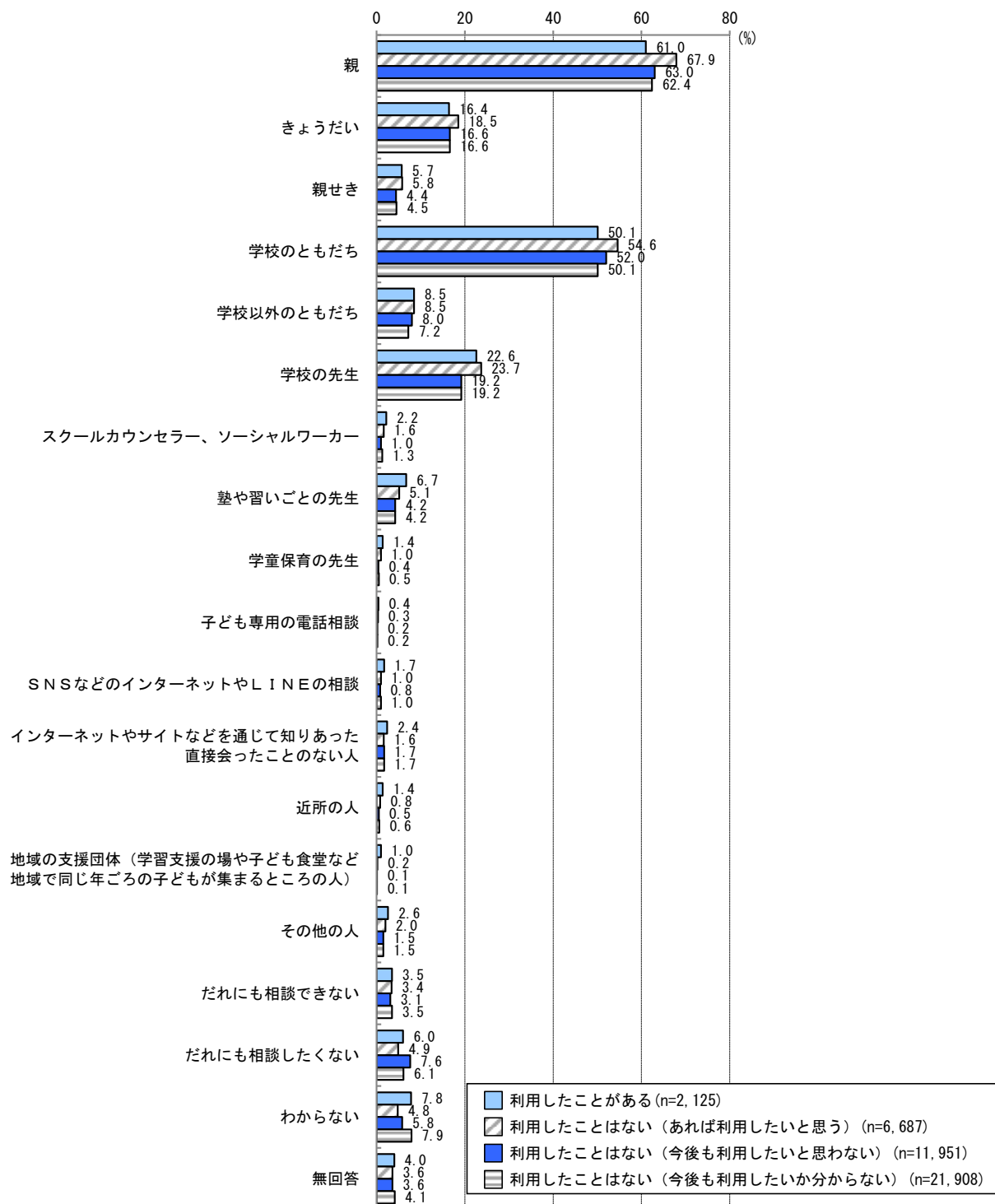


図 168. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)③×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

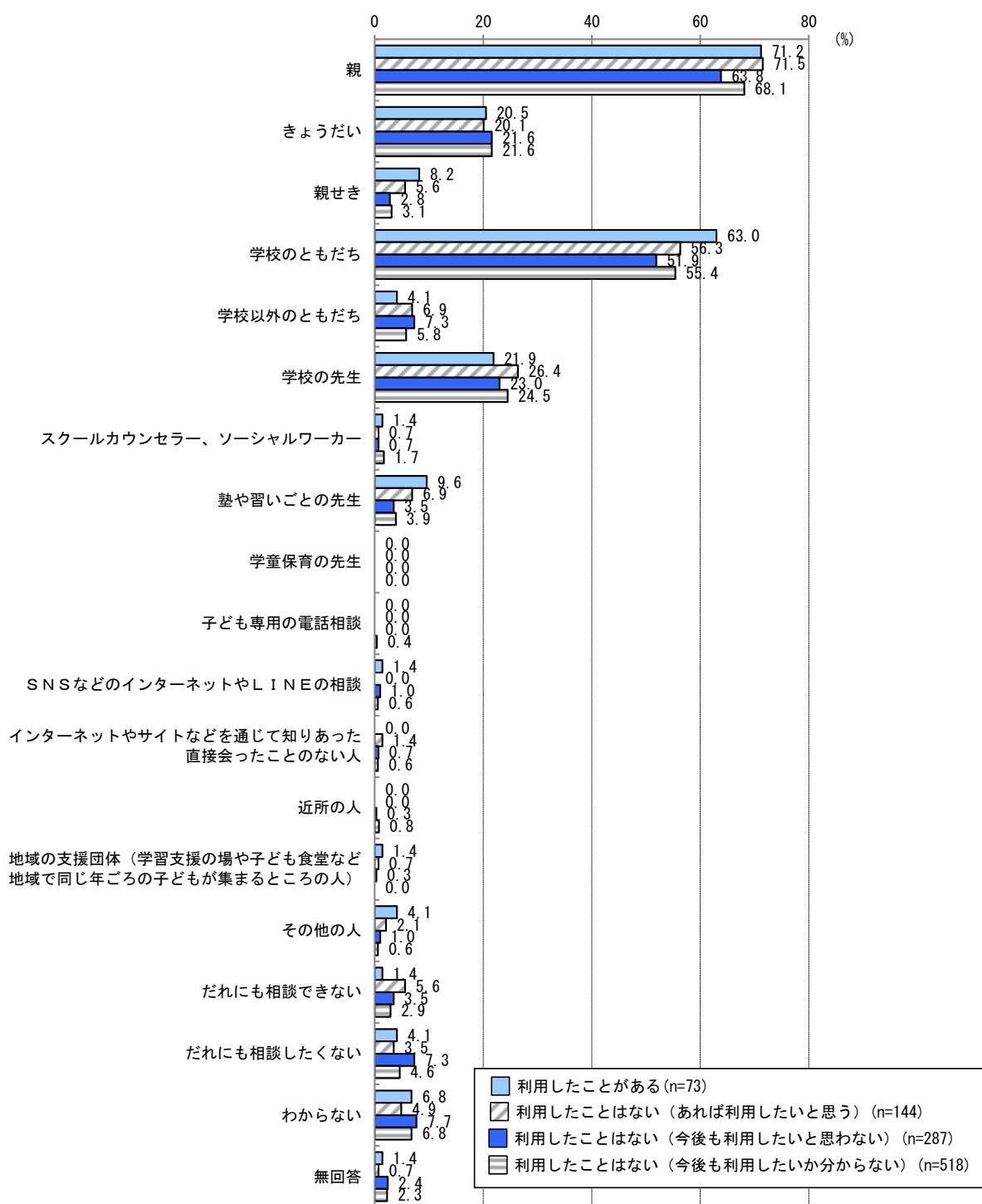
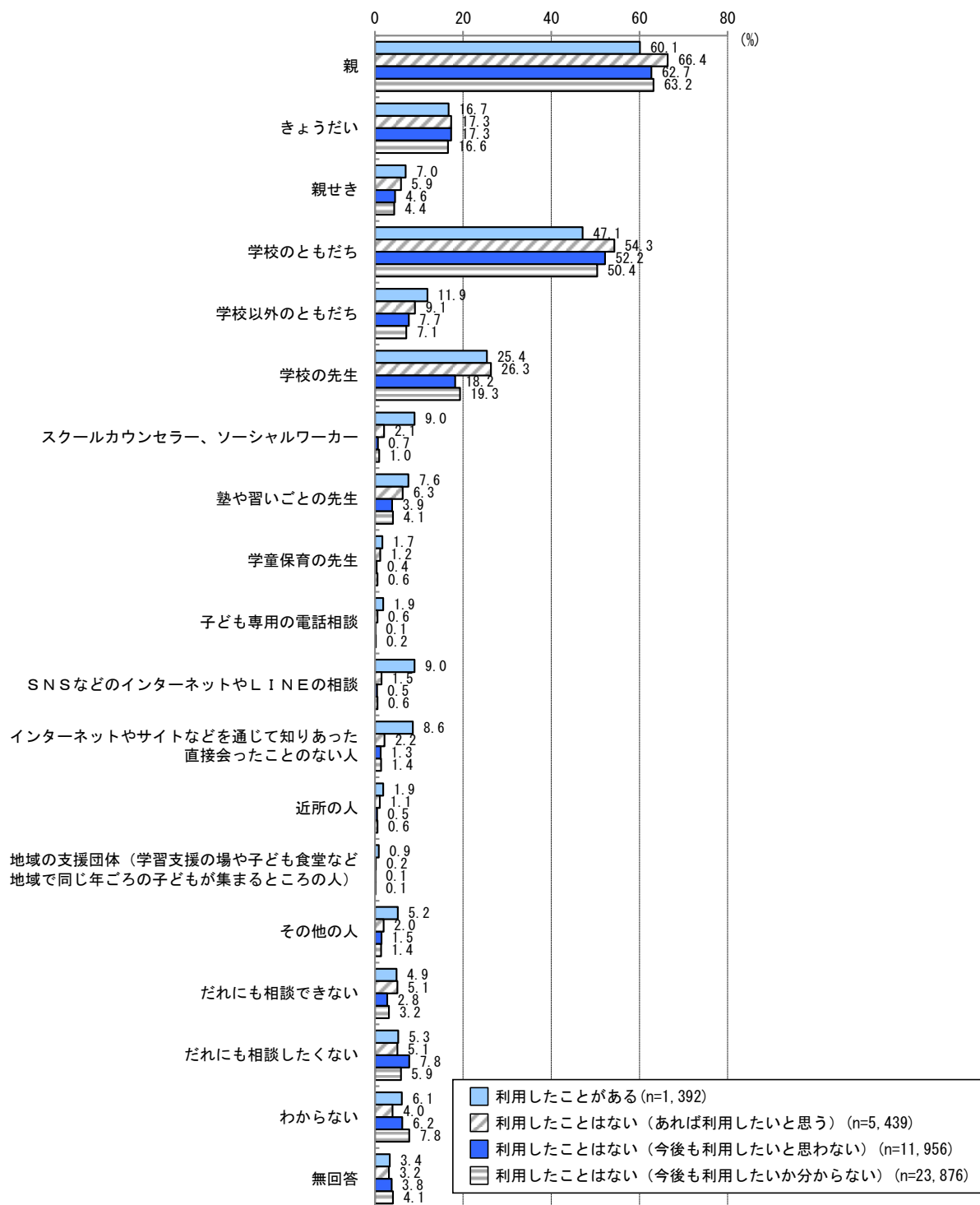


図 169. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親せき」、「学校のともだち」、「塾や習いごとの先生」、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」、「地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂等地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所の人）」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 25(1)④×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

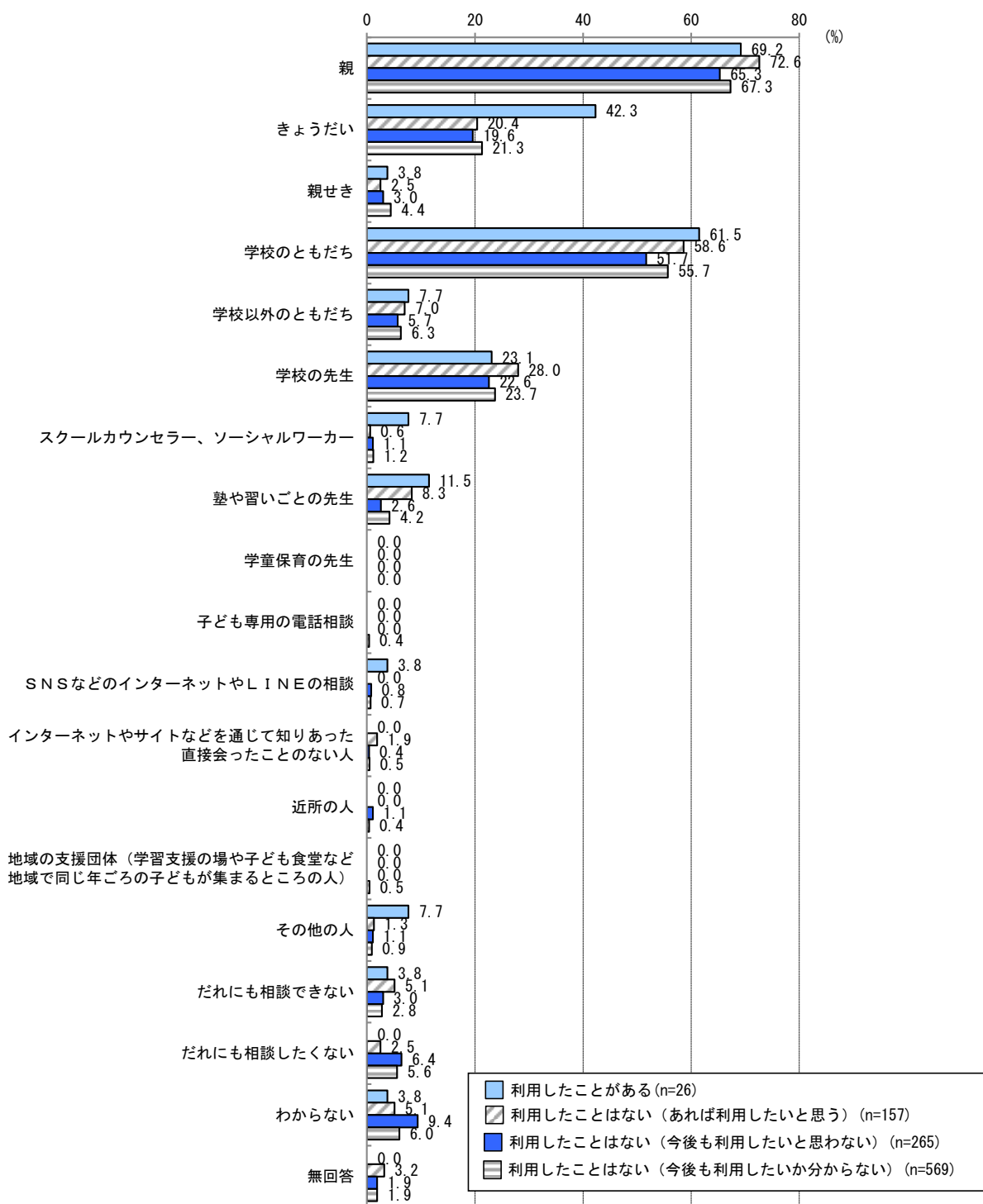
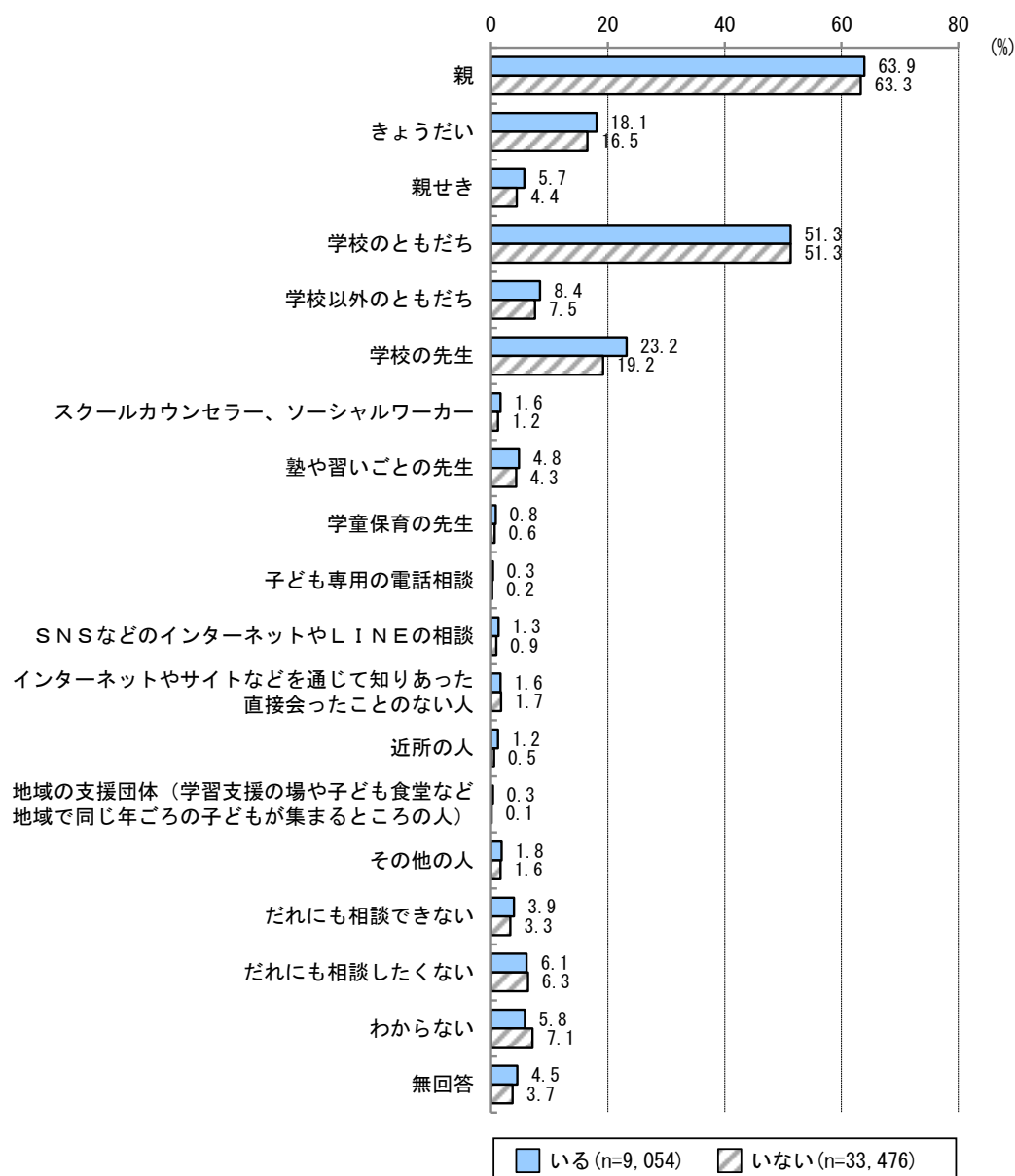


図 170. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「きょうだい」、「学校のともだち」、「学校以外のともだち」、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」、「塾や習いごとの先生」、「SNSなどのインターネットやLINEの相談」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 18)

<大阪府内全体>



<池田市>

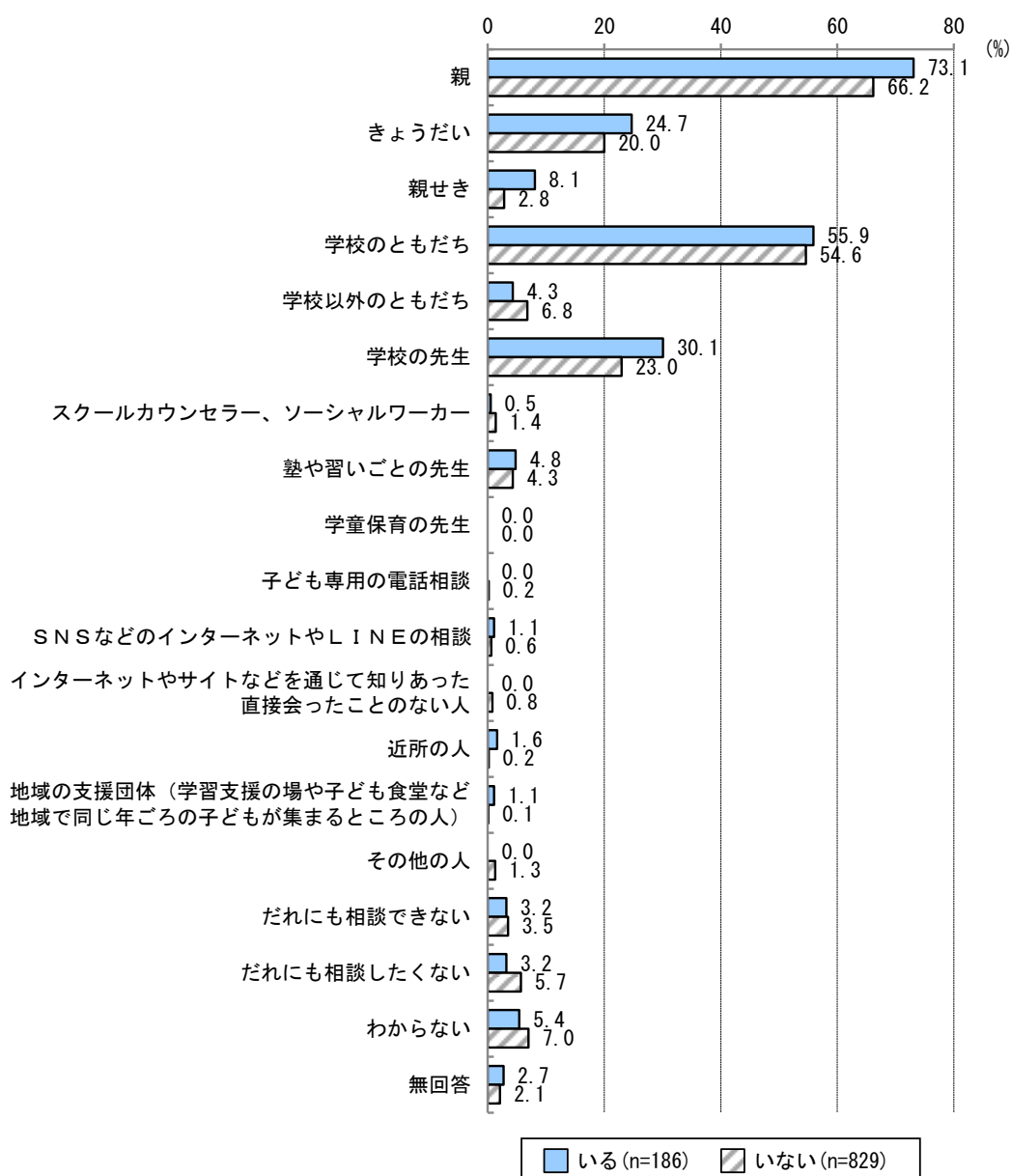
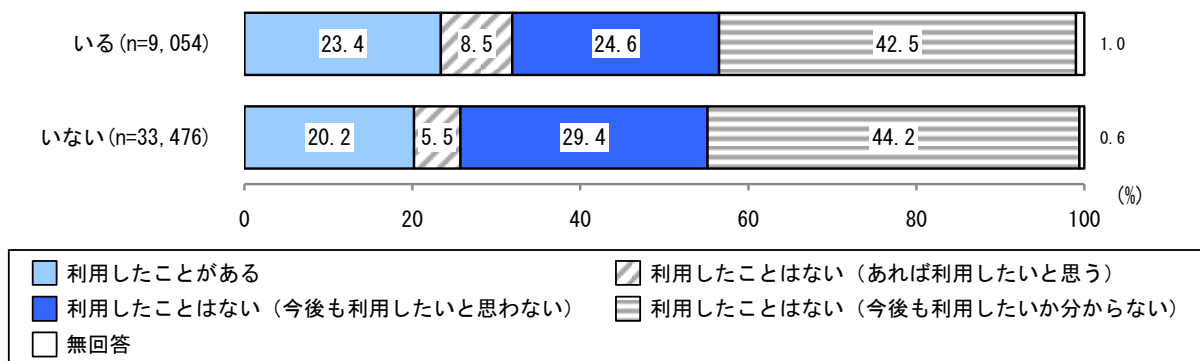


図 171. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、複数の項目で世話をしている人がある子どものほうが回答した割合が高く、「学校の先生」と回答した割合は世話をしている人がある子どもが30.1%、いない子どもが23.0%で最も差が大きくなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<池田市>

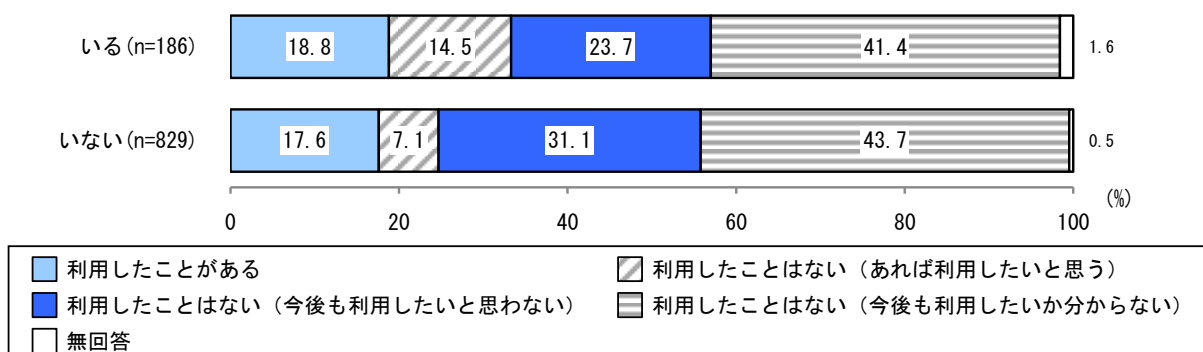
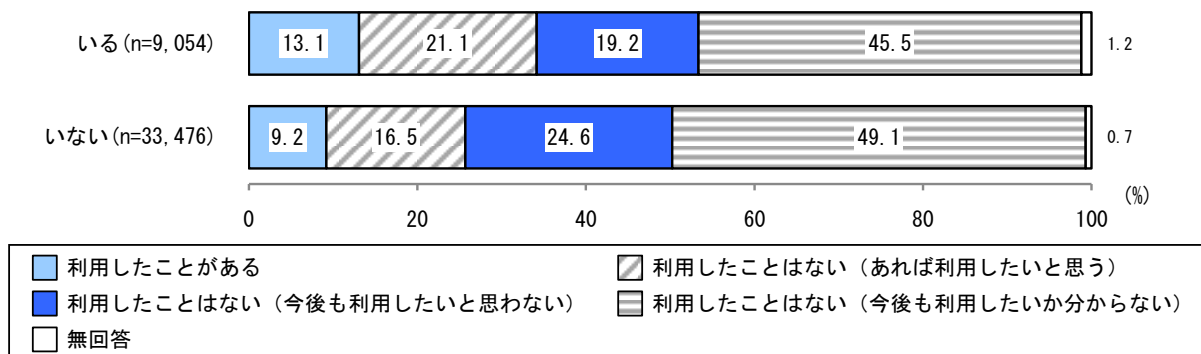


図 172. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した割合は、世話をしている人がいない子どもよりいる子どものほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<池田市>

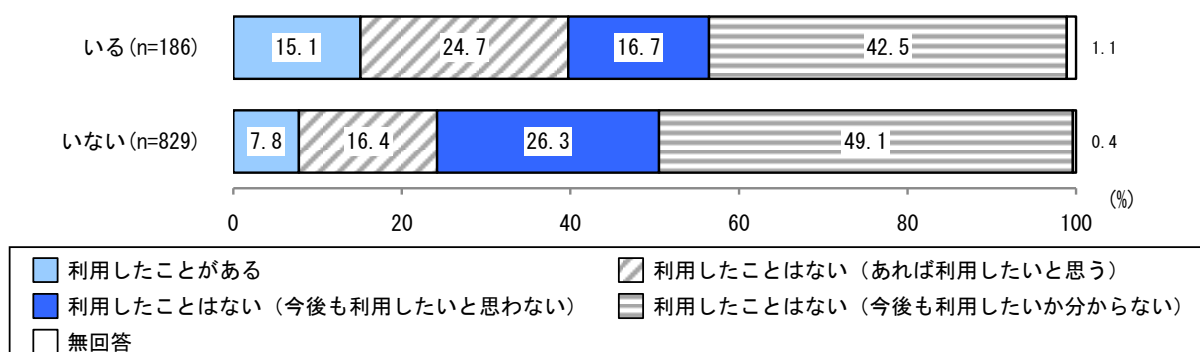
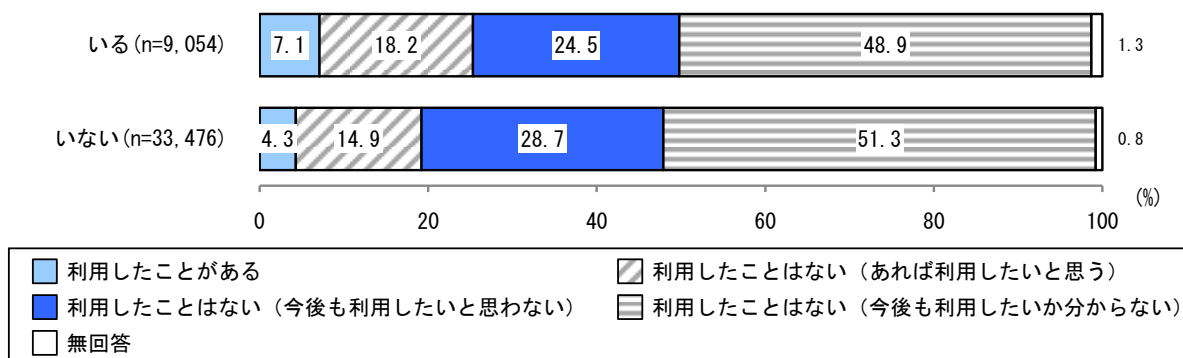


図 173. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない (今後も利用したいと思わない)」、「利用したことはない (今後も利用したいか分からない)」と回答した割合は、世話をしている人がいる子どもよりいない子どものほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<池田市>

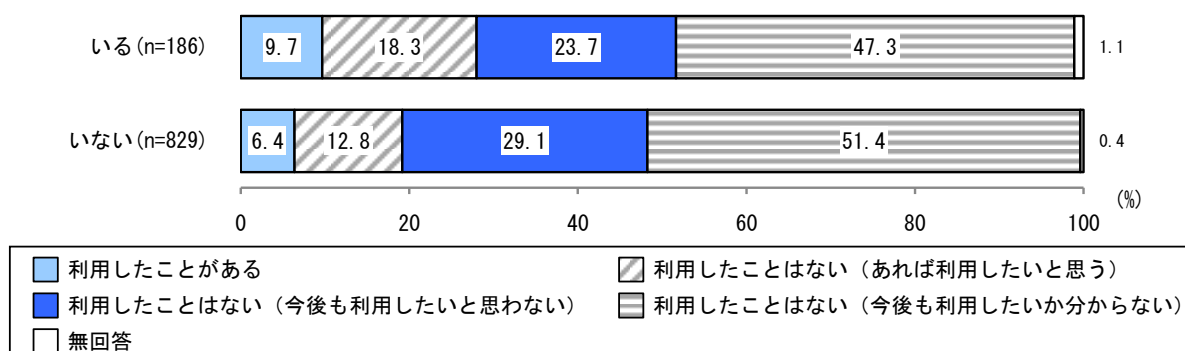
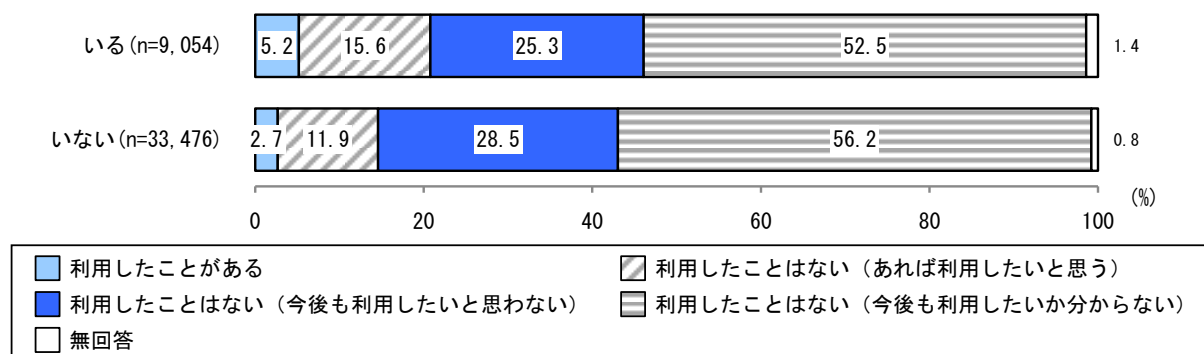


図 174. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した割合は、世話をしている人がいない子どもよりいる子どものほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 26(1) × 子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<池田市>

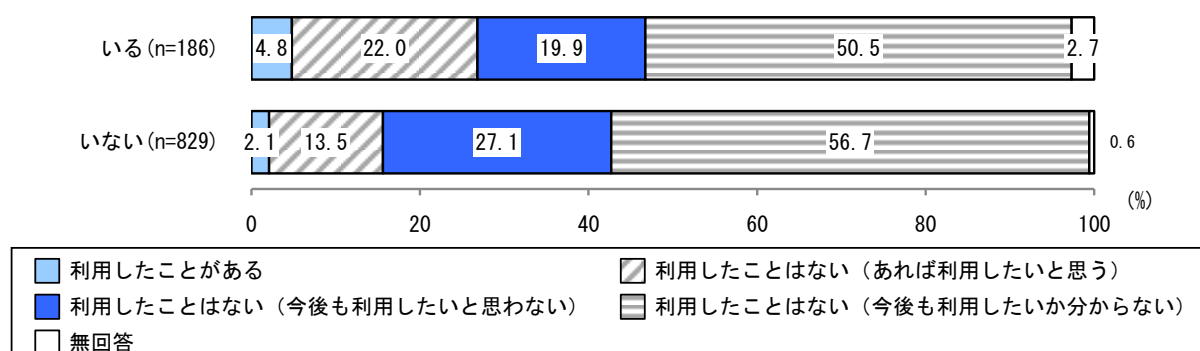
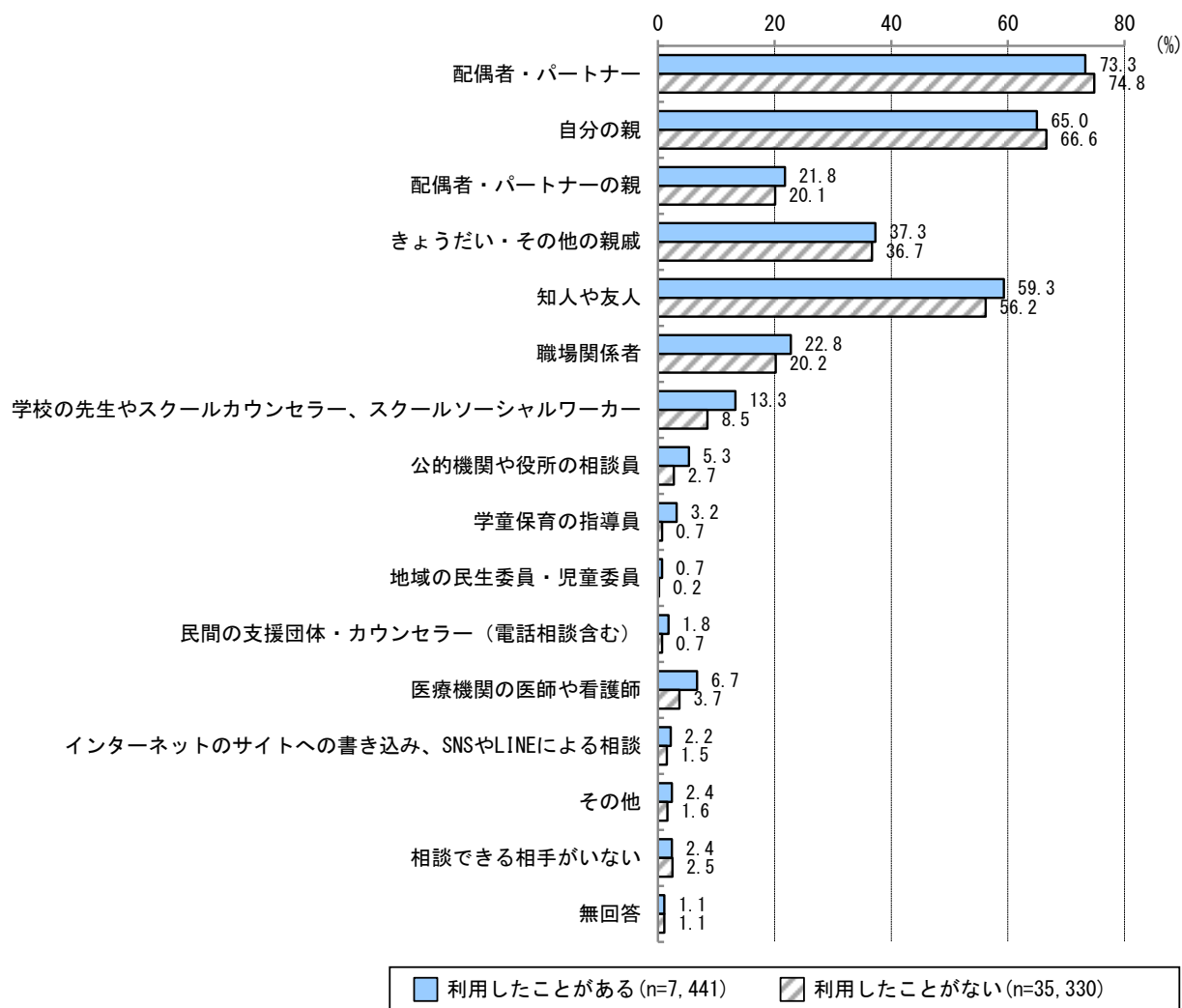


図 175. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した割合は、世話をしている人がいない子どもよりいる子どものほうが高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
(保護者票問 16(1) × 保護者票問 19)

<大阪府内全体>



<池田市>

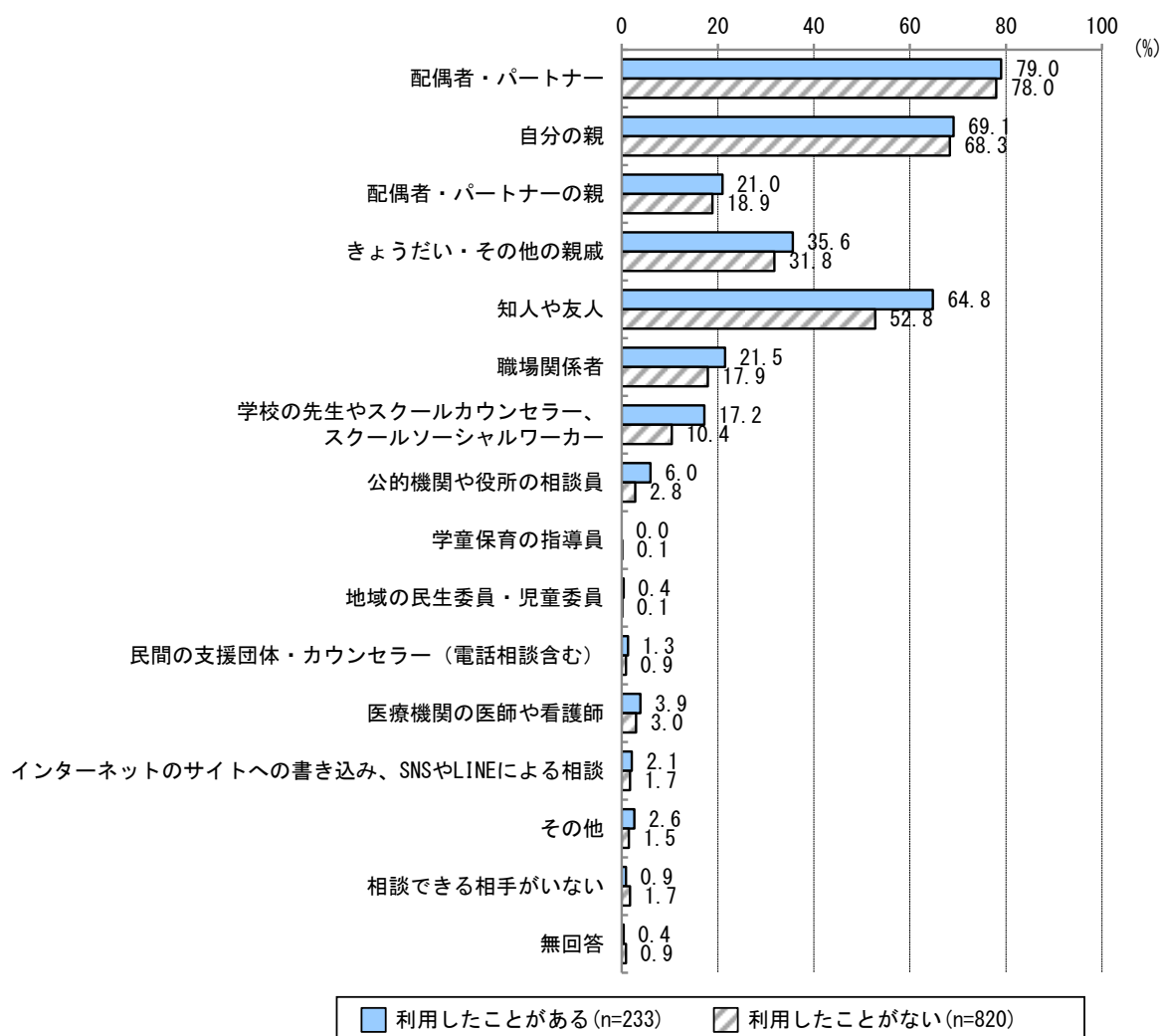
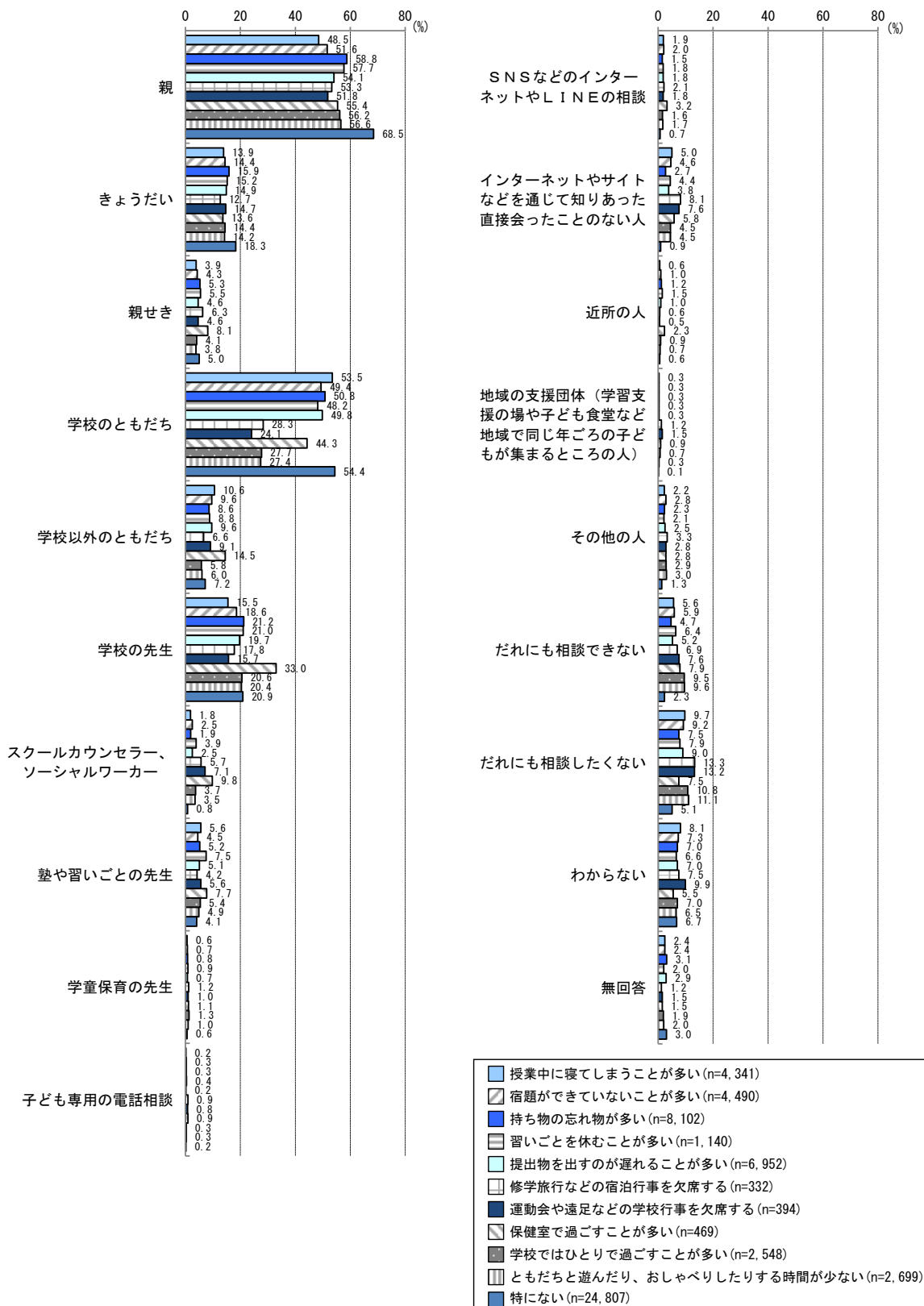


図 176. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、複数の項目で子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが回答した割合が高く、特に「知人や友人」はそれぞれ64.8%・52.8%で最も差が大きくなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
(子ども票問 16×子ども票問 18)

<大阪府内全体>



＜池田市＞

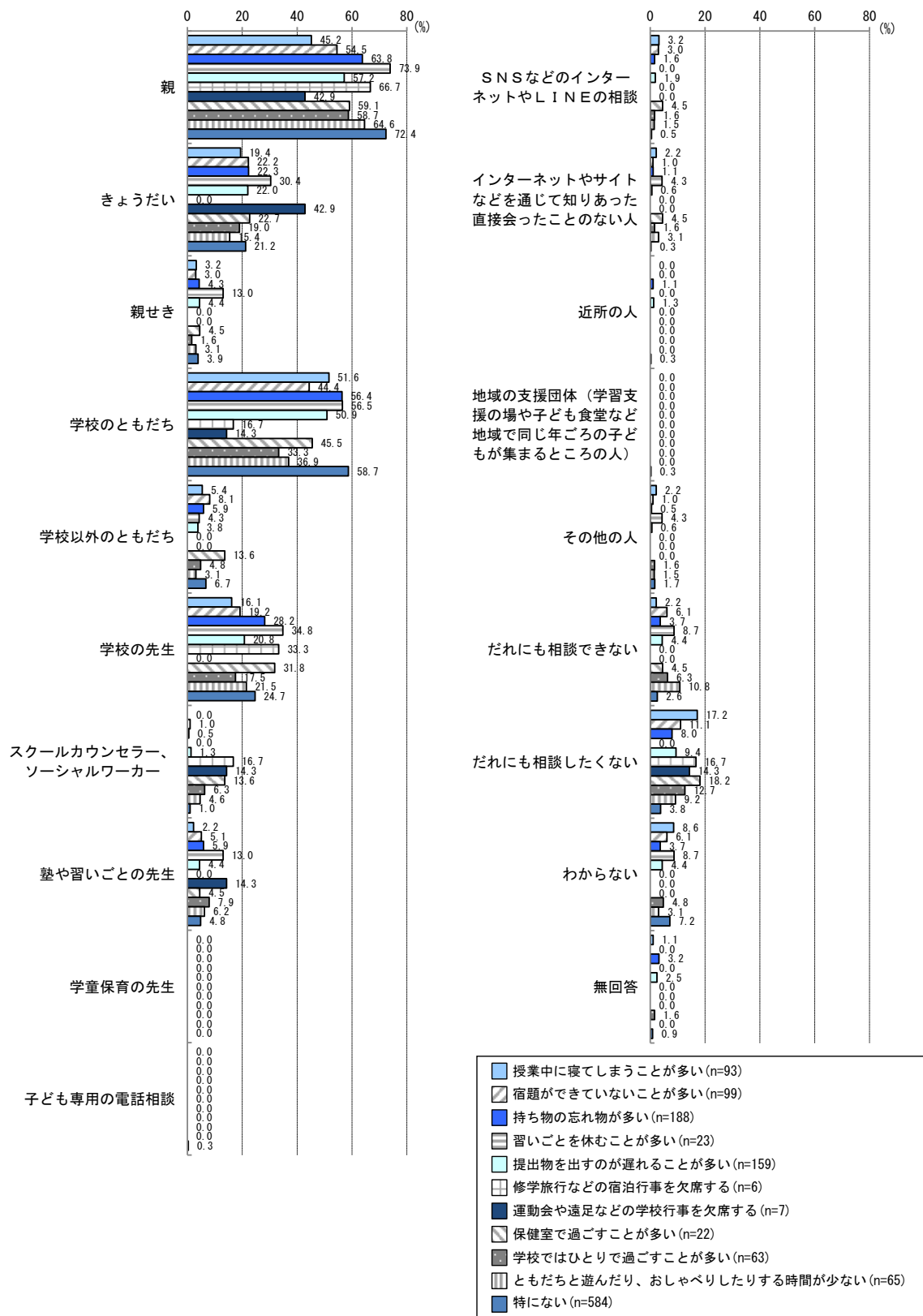
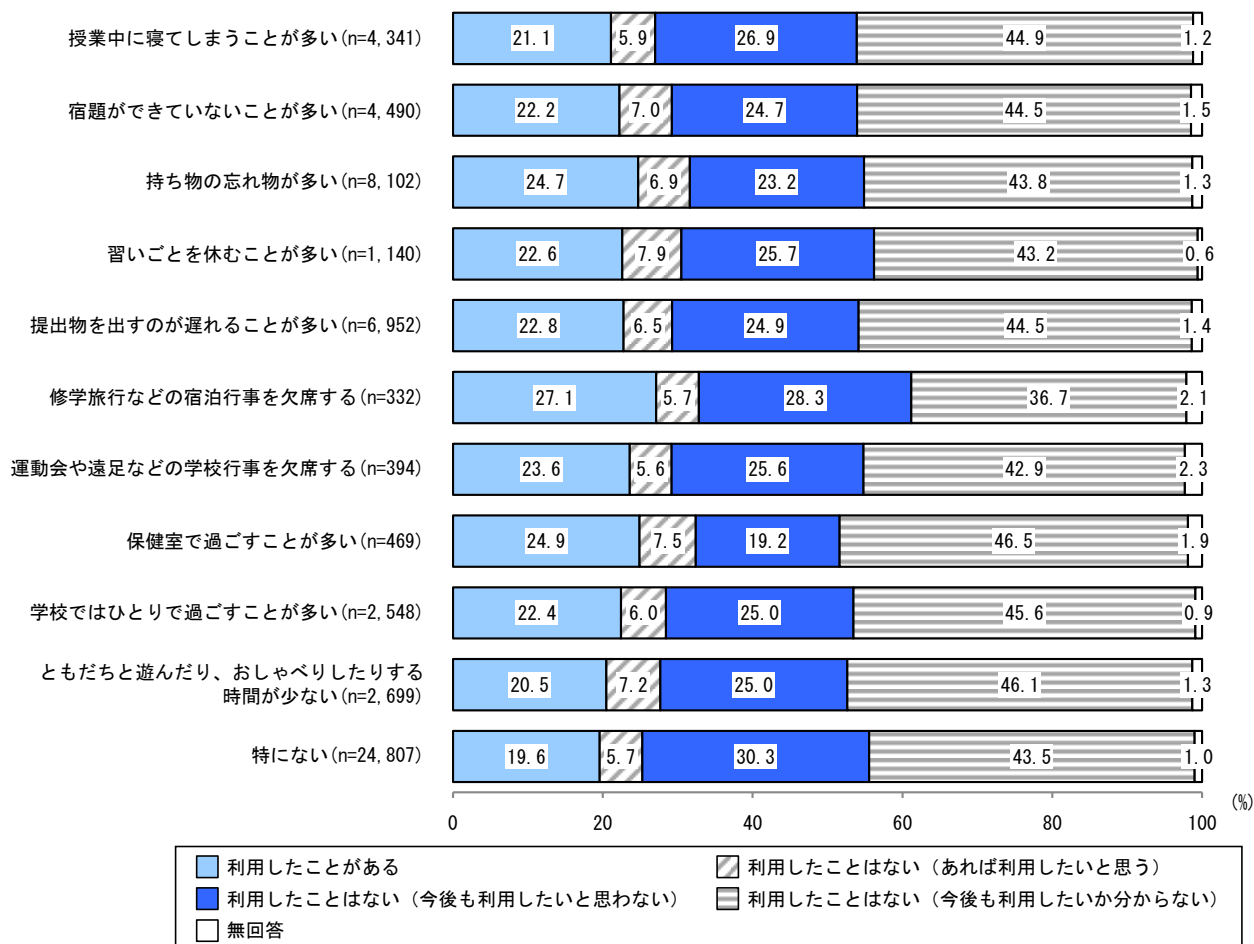


図 177. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」と回答した人の割合が73.9%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<池田市>

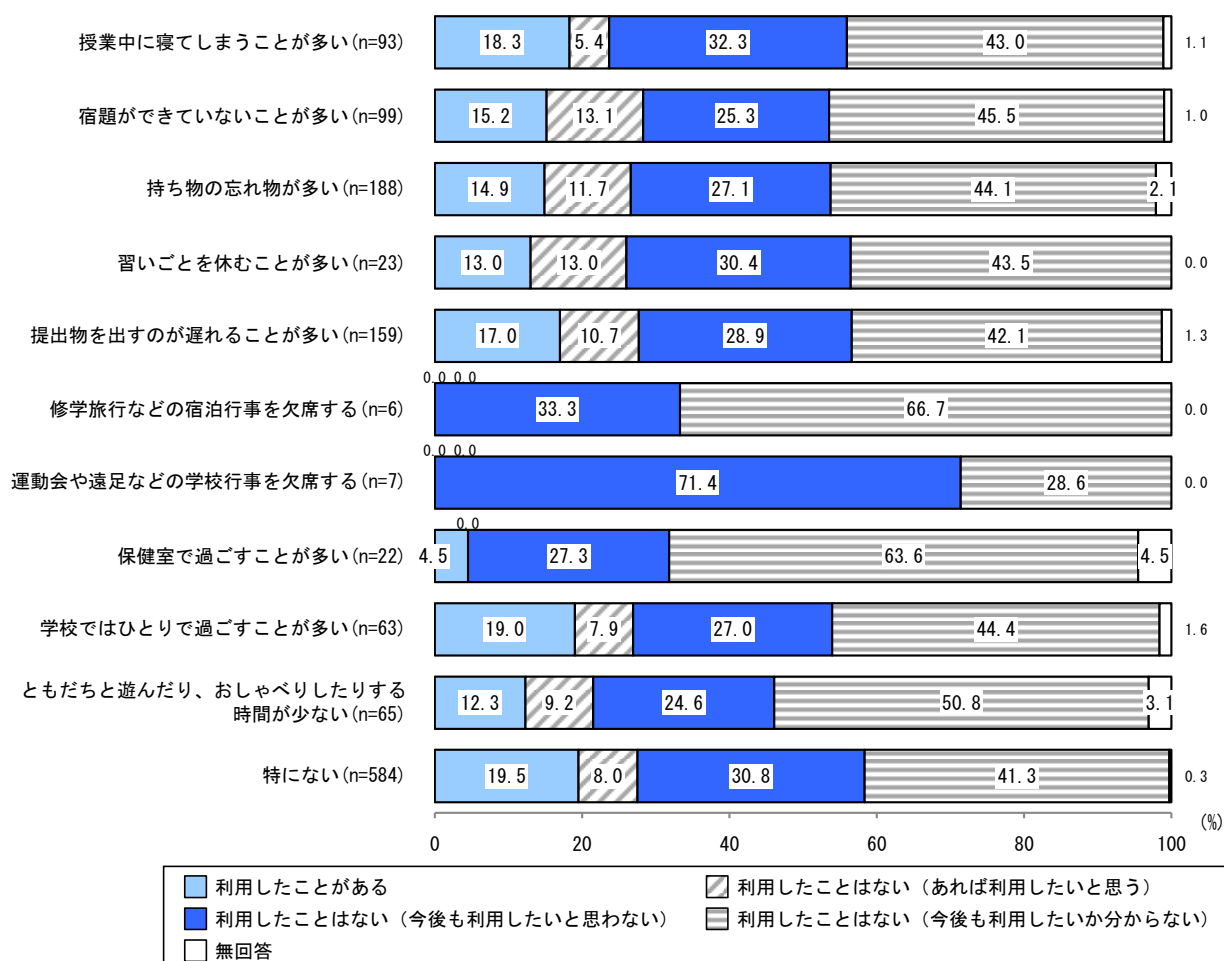
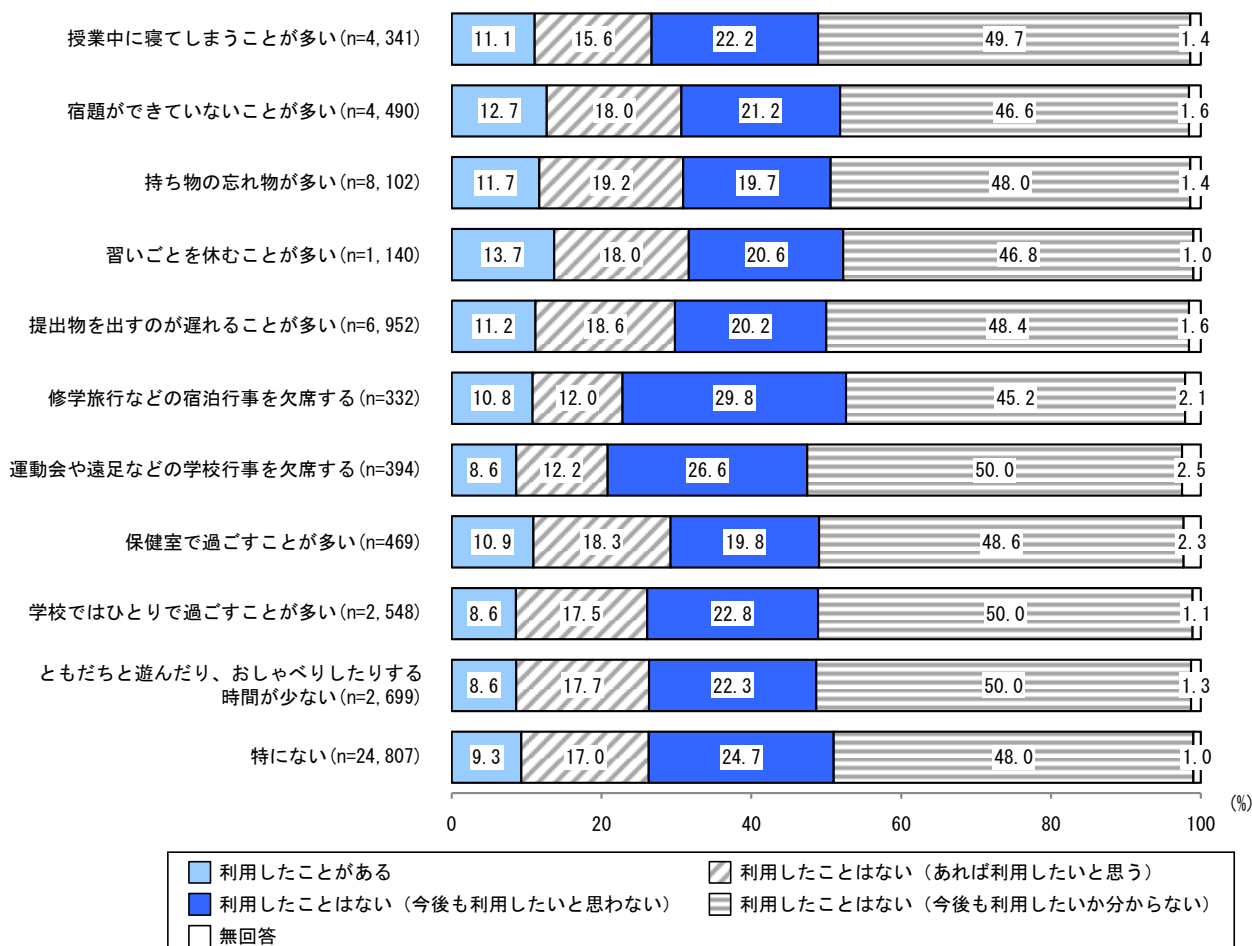


図 178. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「学校ではひとりで過ごすことが多い」が19.0%で、最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<池田市>

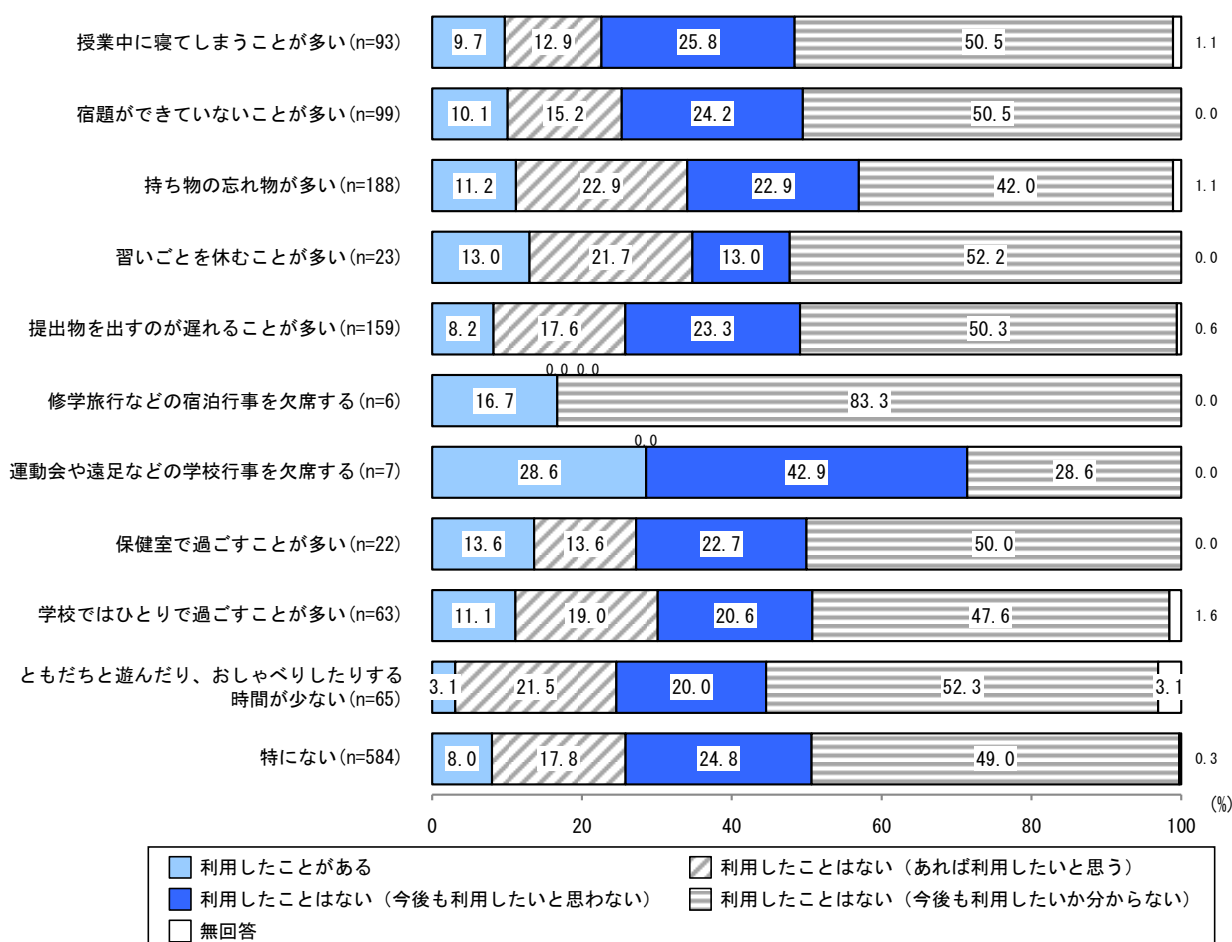
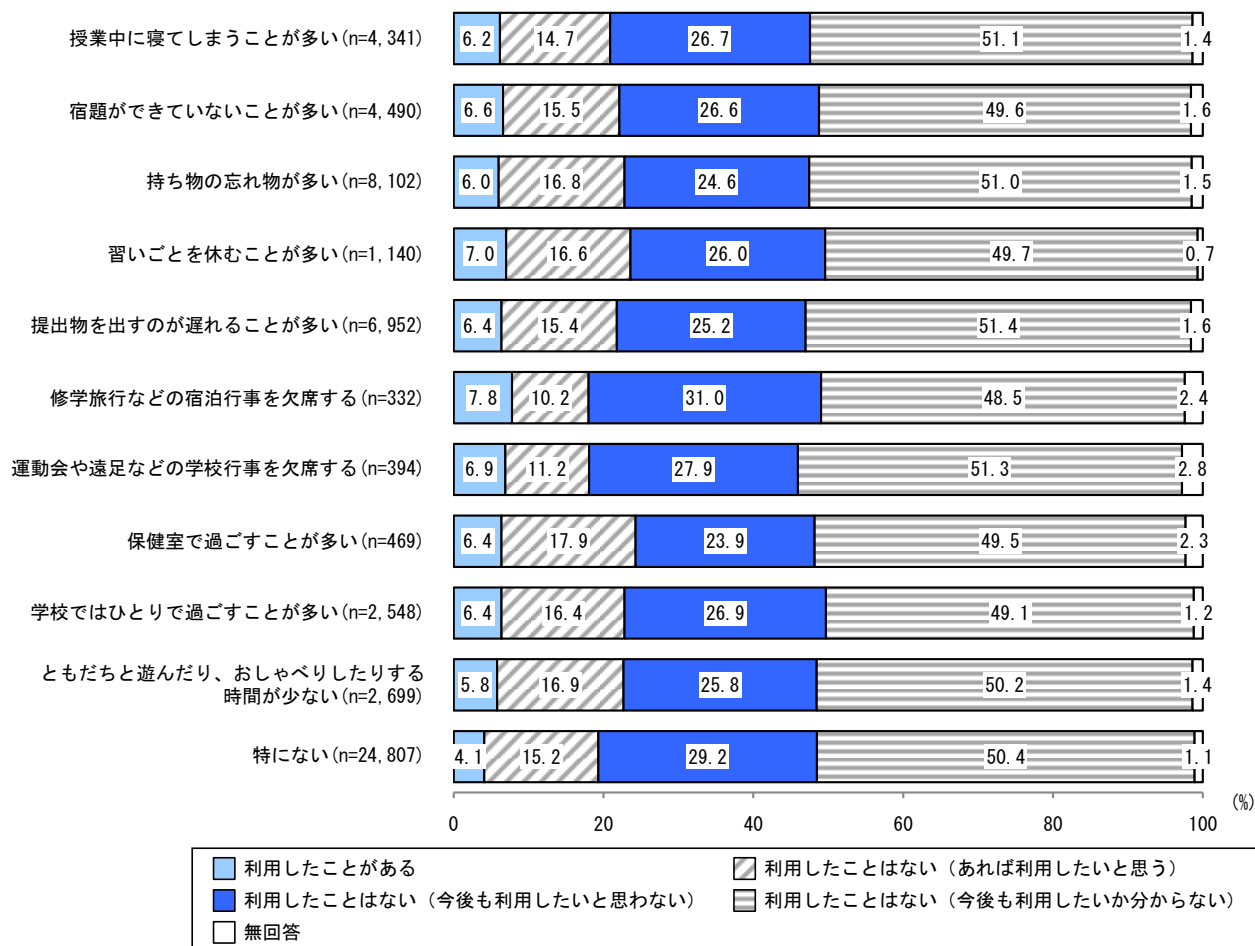


図 179. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」が28.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<池田市>

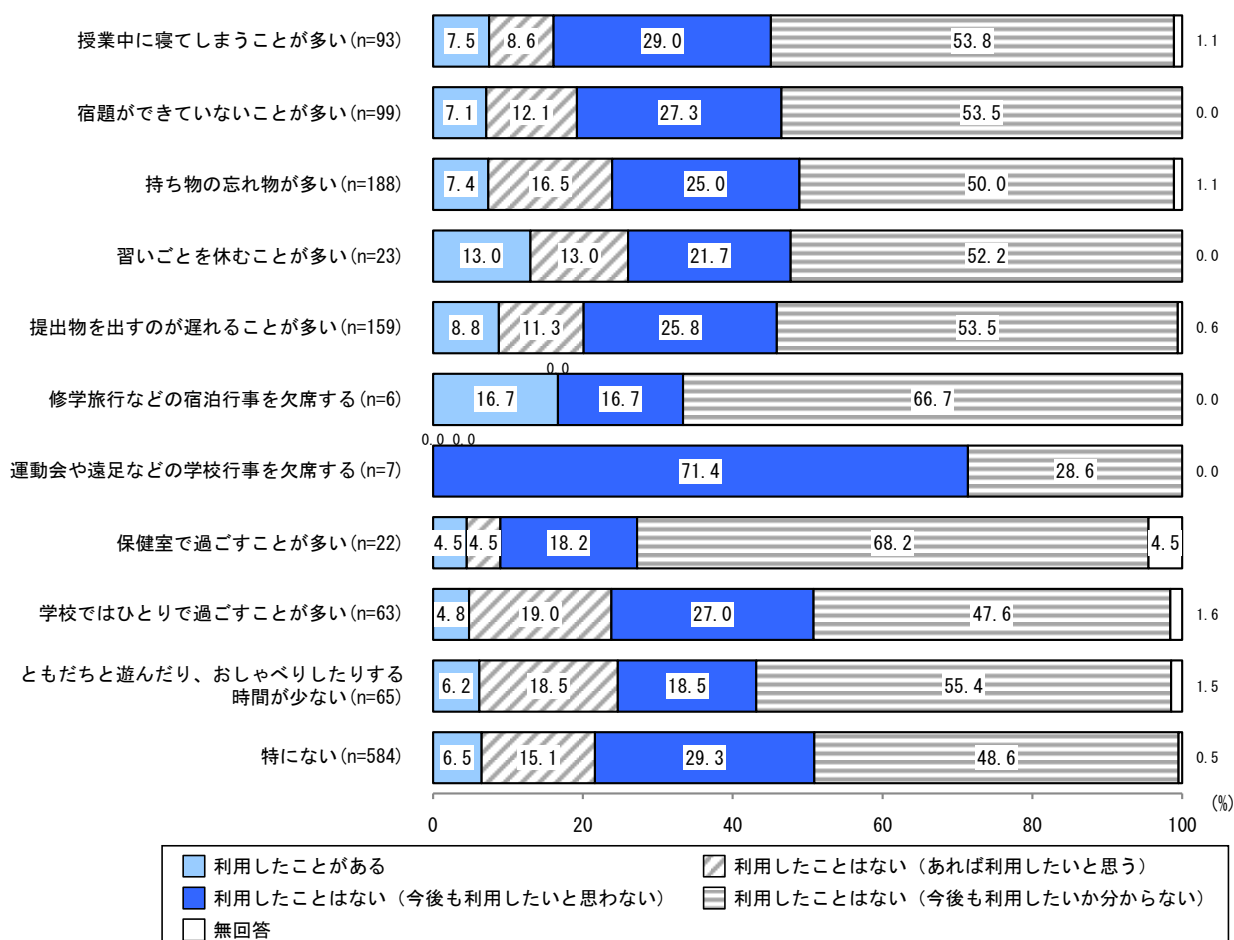
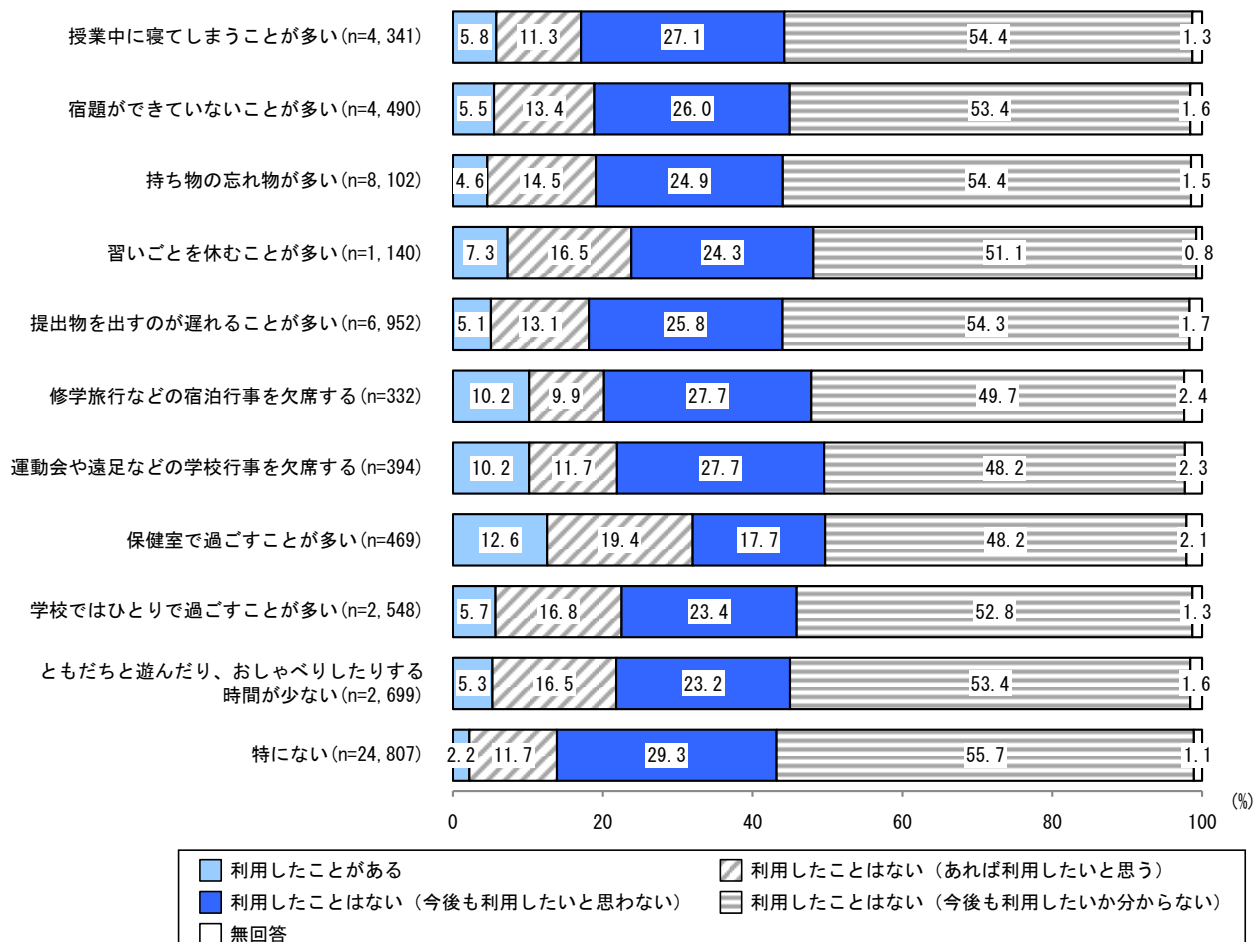


図 180. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」が16.7%で、最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
(子ども票問 16×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<池田市>

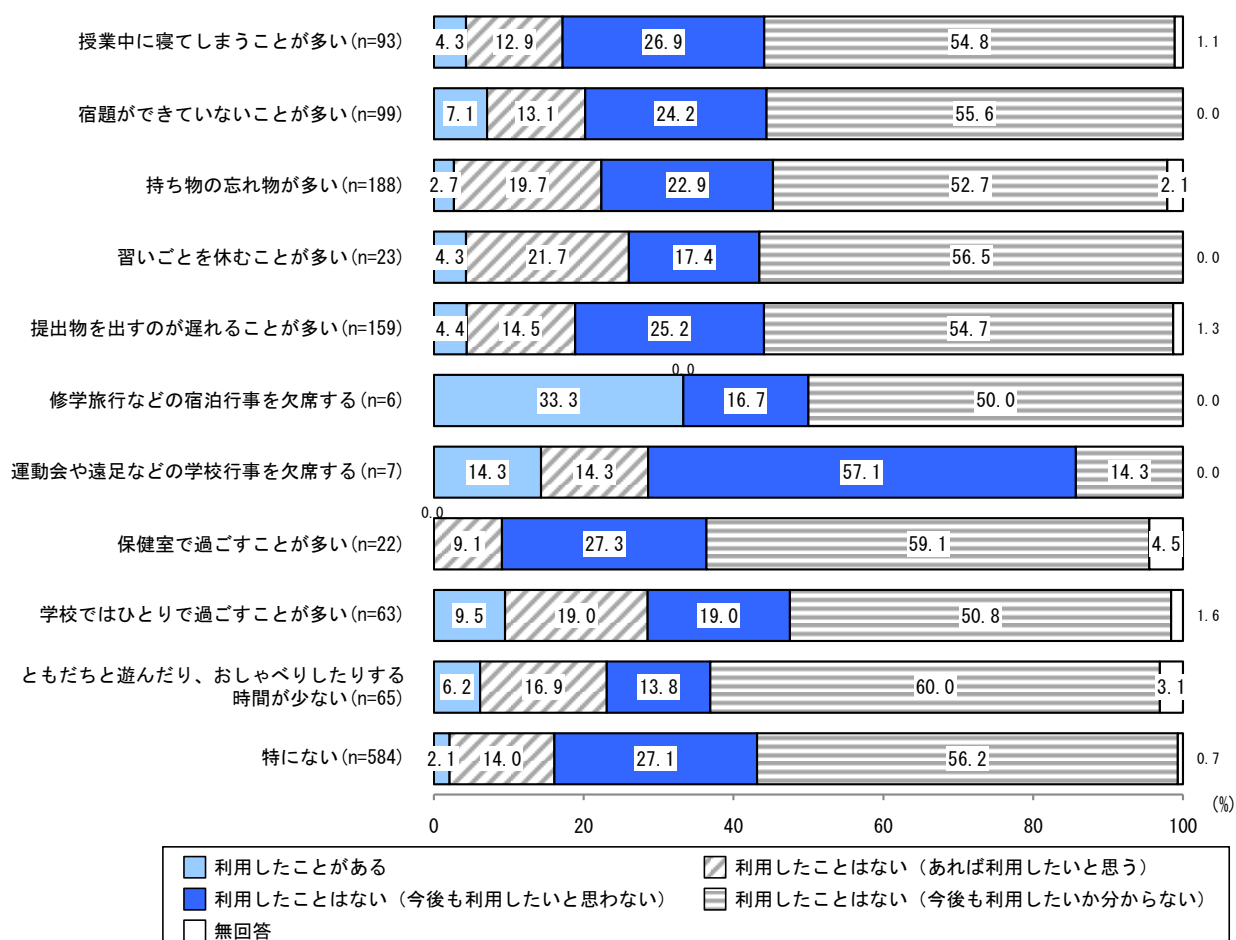
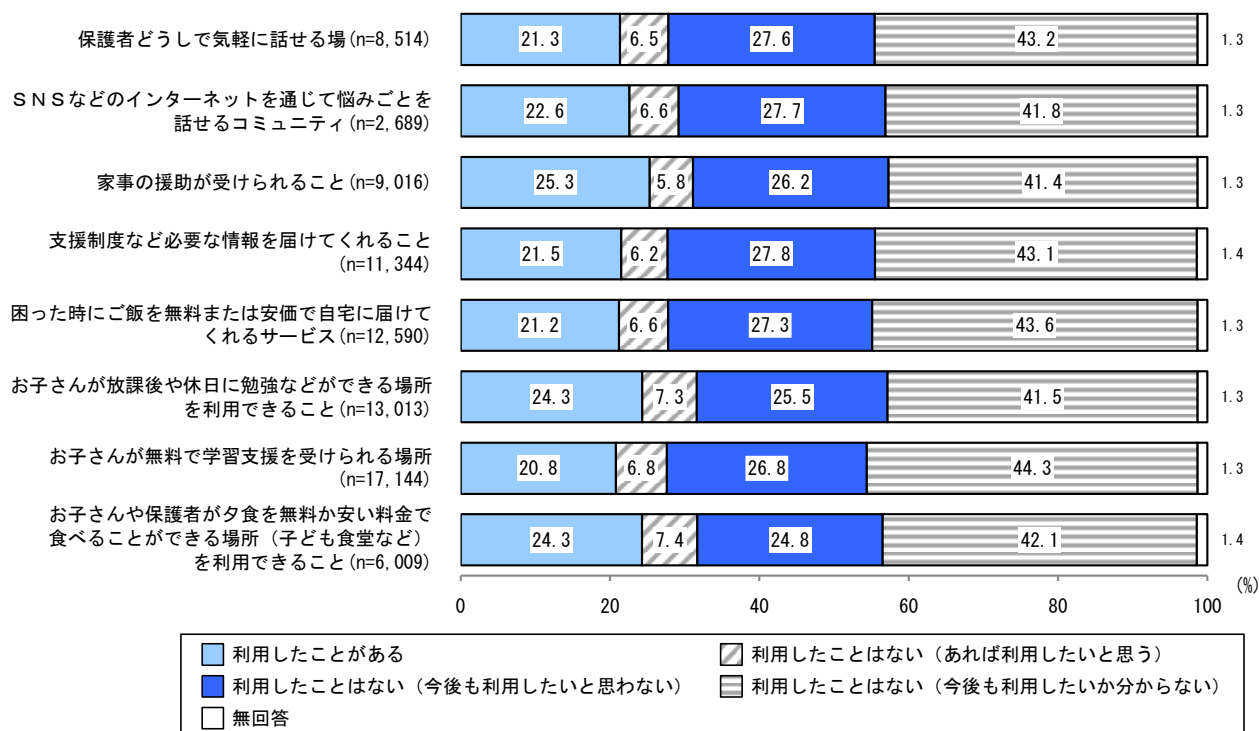


図 181. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」が33.3%で最も高く、次いで「運動会や遠足などの行事を欠席する」が14.3%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)①)

<大阪府内全体>



<池田市>

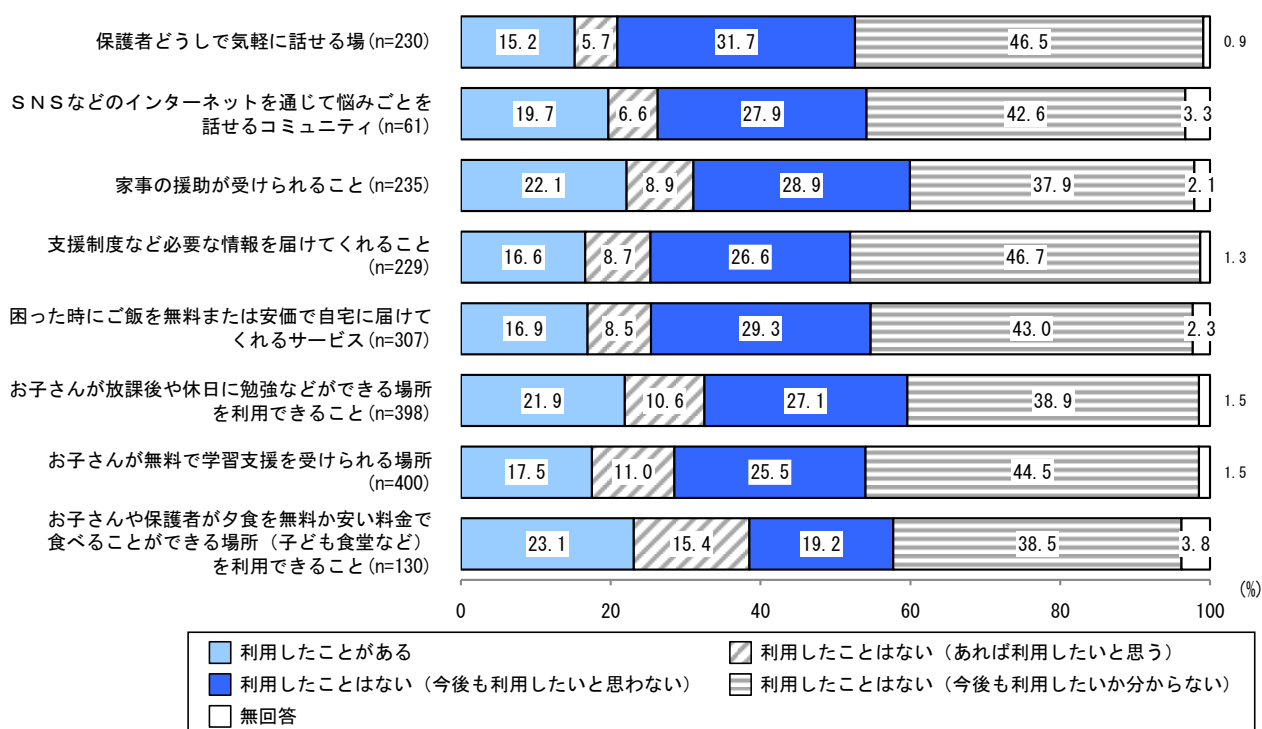
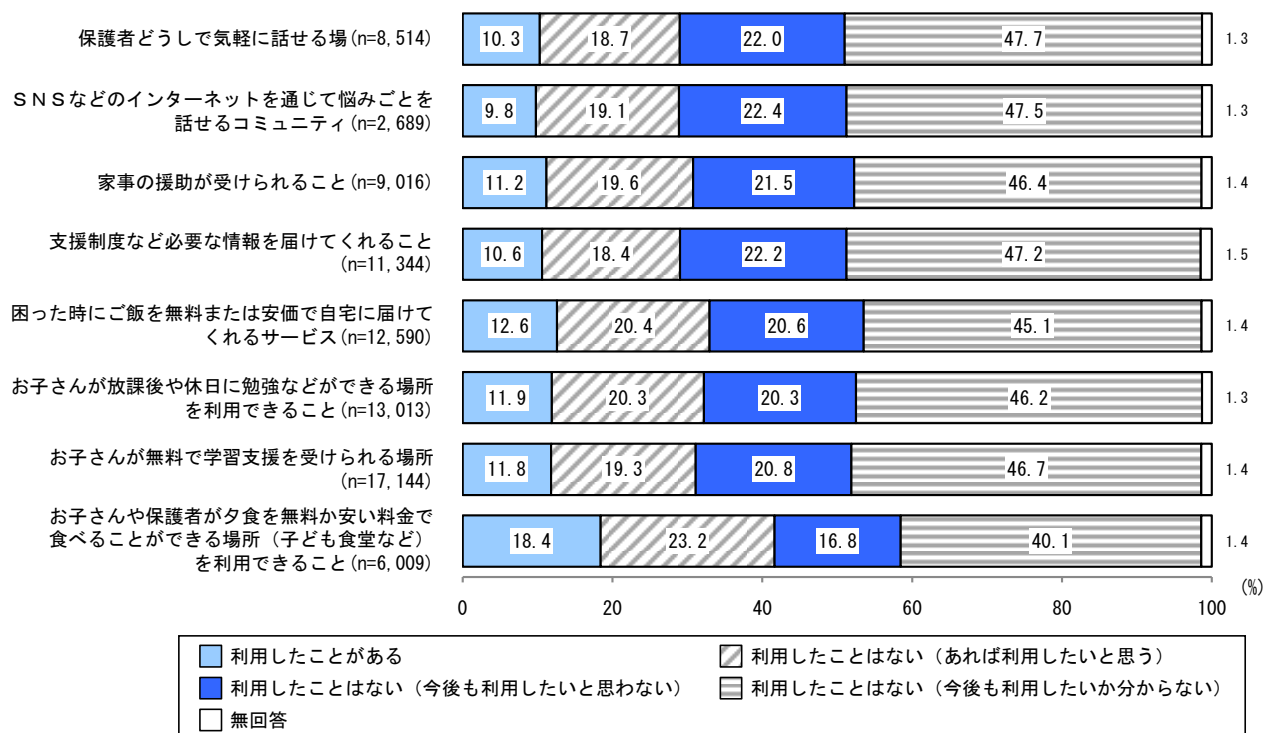


図 182. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が23.1%で最も高く、次いで「家事の援助が受けられること」が22.1%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金を食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

<大阪府内全体>



<池田市>

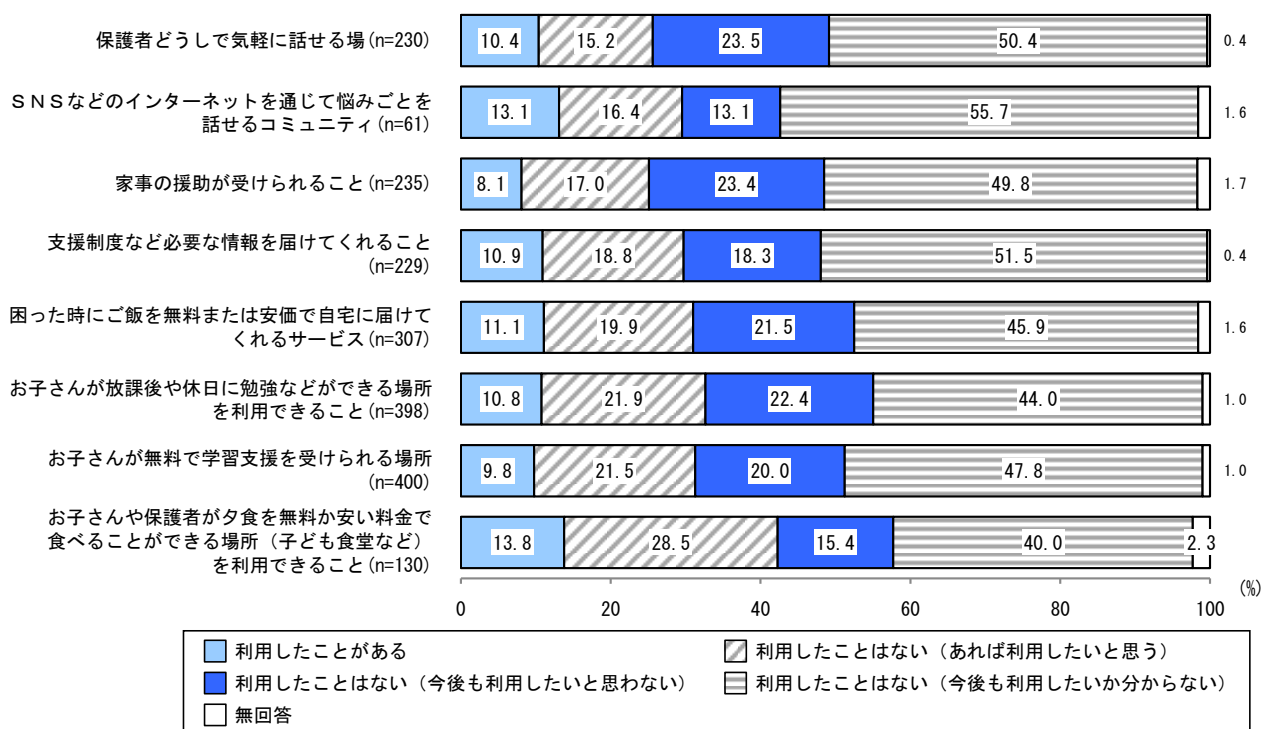
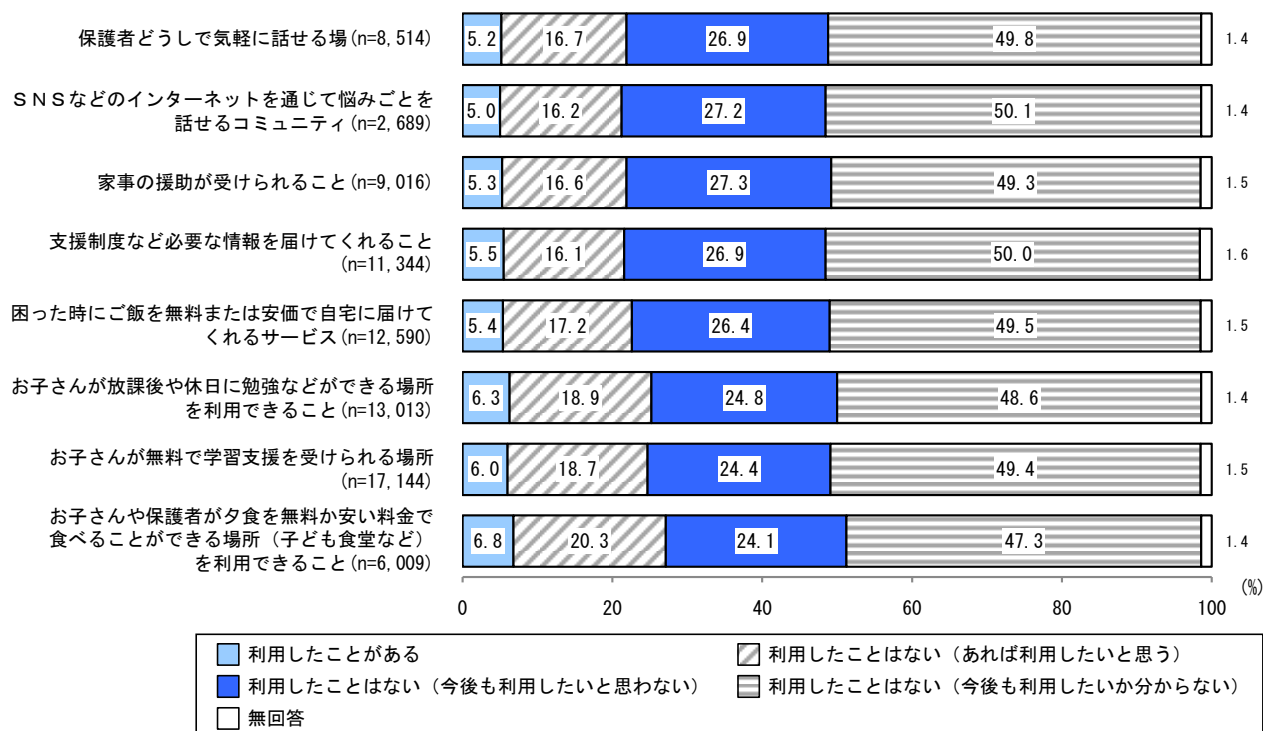


図 183. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が13.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)③)

<大阪府内全体>



<池田市>

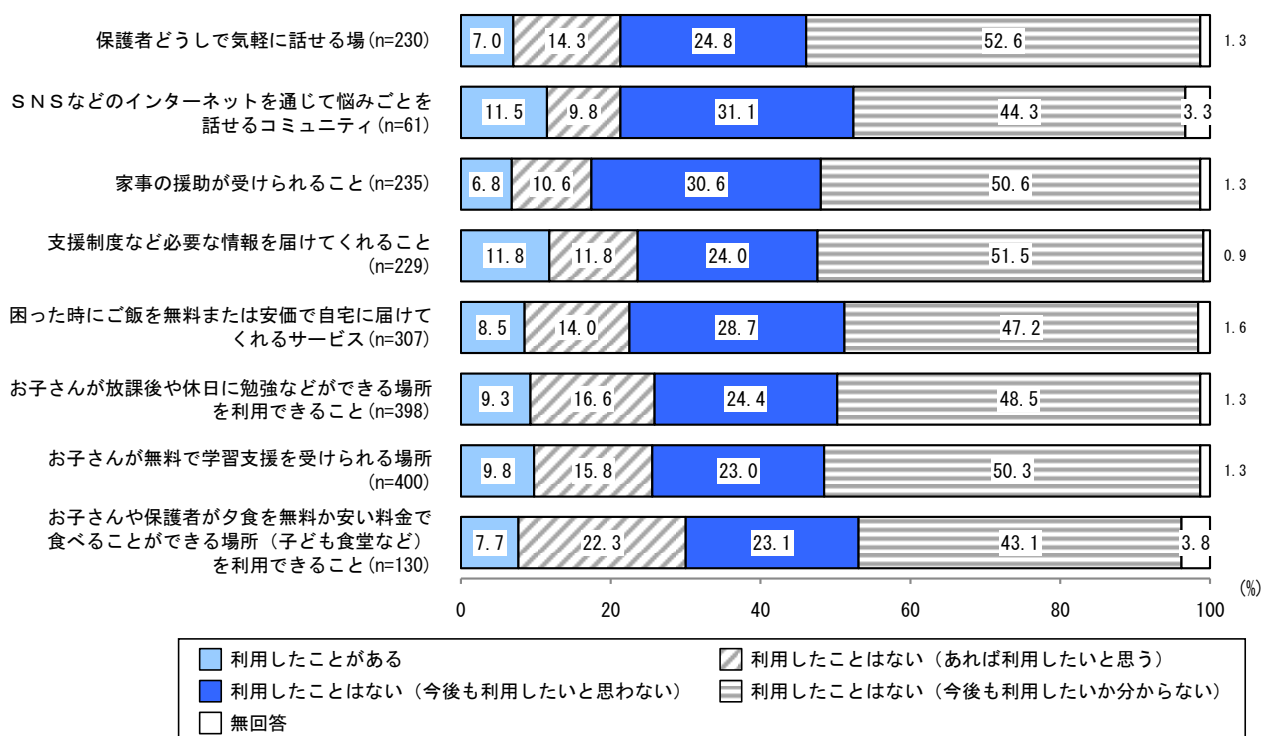
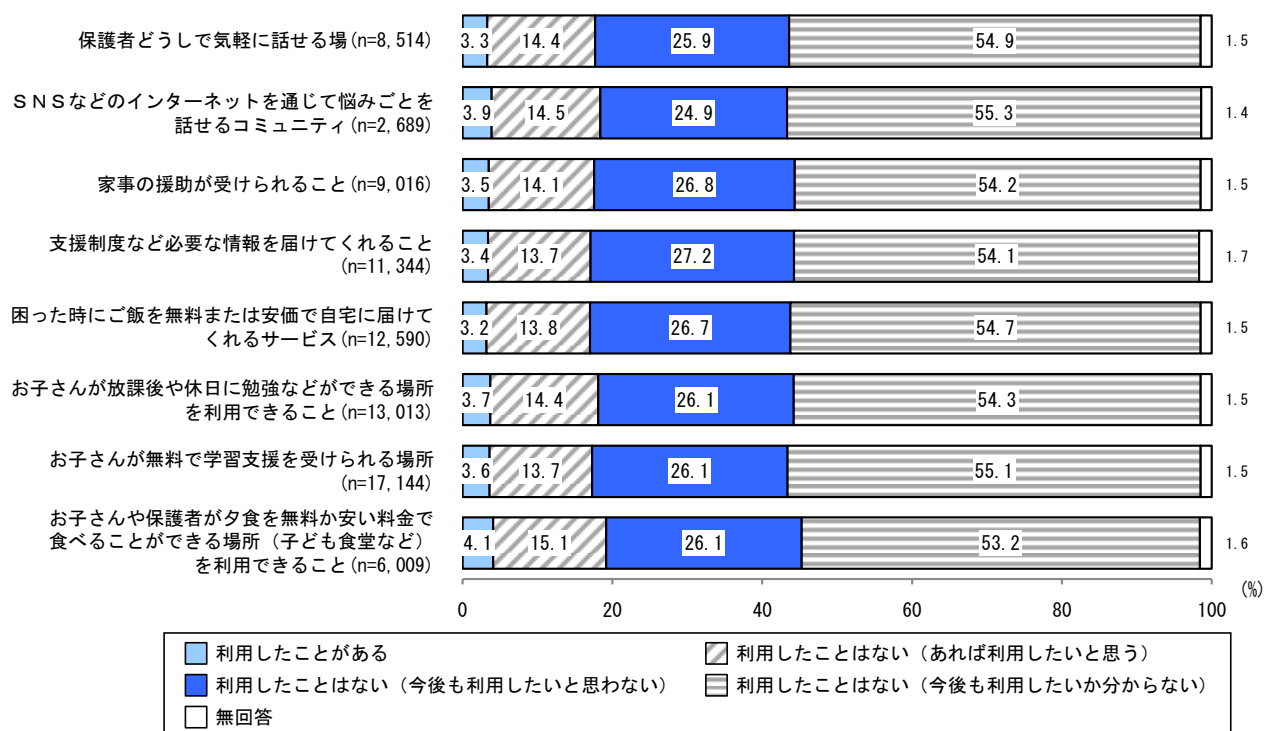


図 184. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が11.8%で最も高く、次いで「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が11.5%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
(保護者票問 20×子ども票問 25(1)④)

<大阪府内全体>



<池田市>

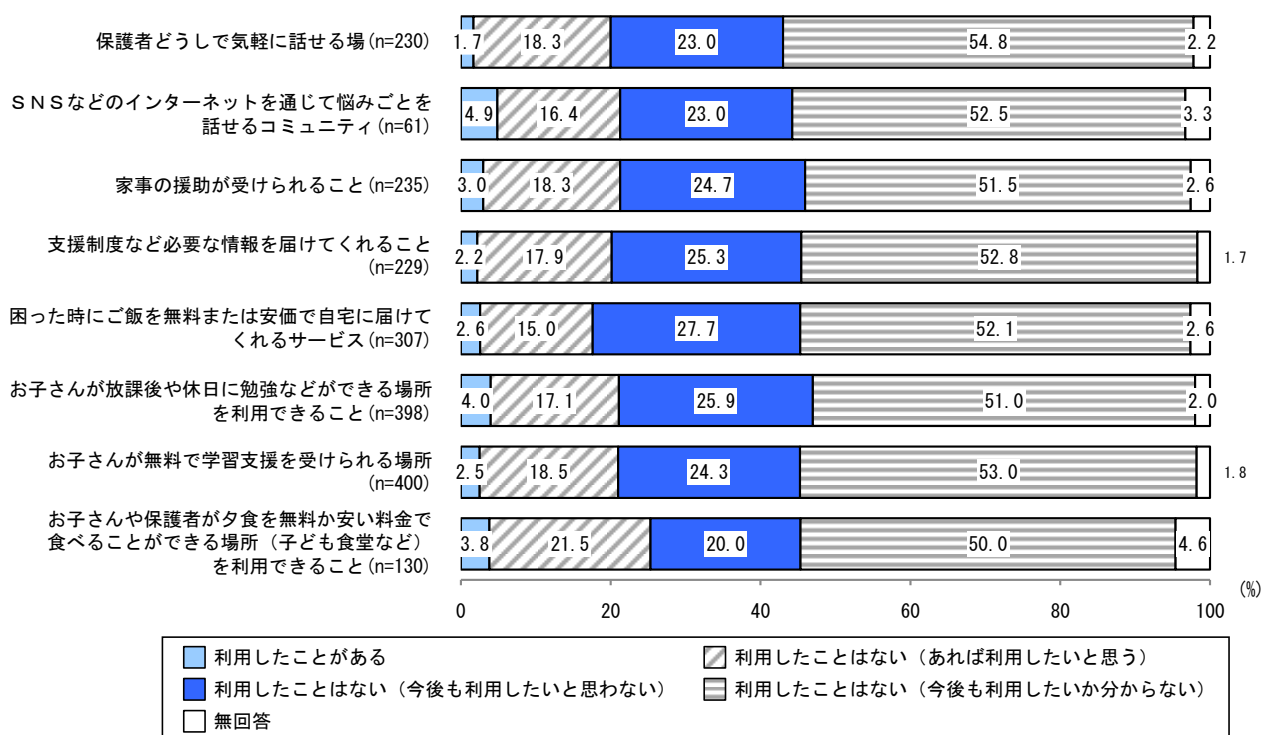
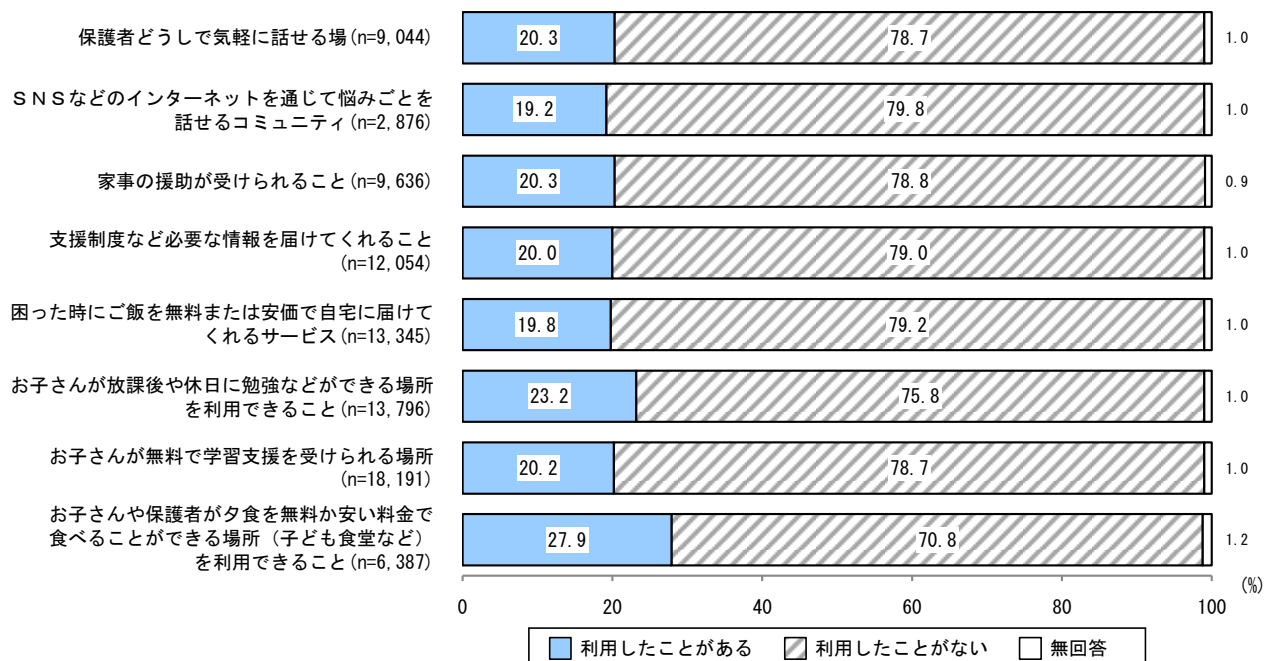


図 185. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など) を利用できること」が21.5%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
(保護者票問 20×保護者票問 16(1))

<大阪府内全体>



<池田市>

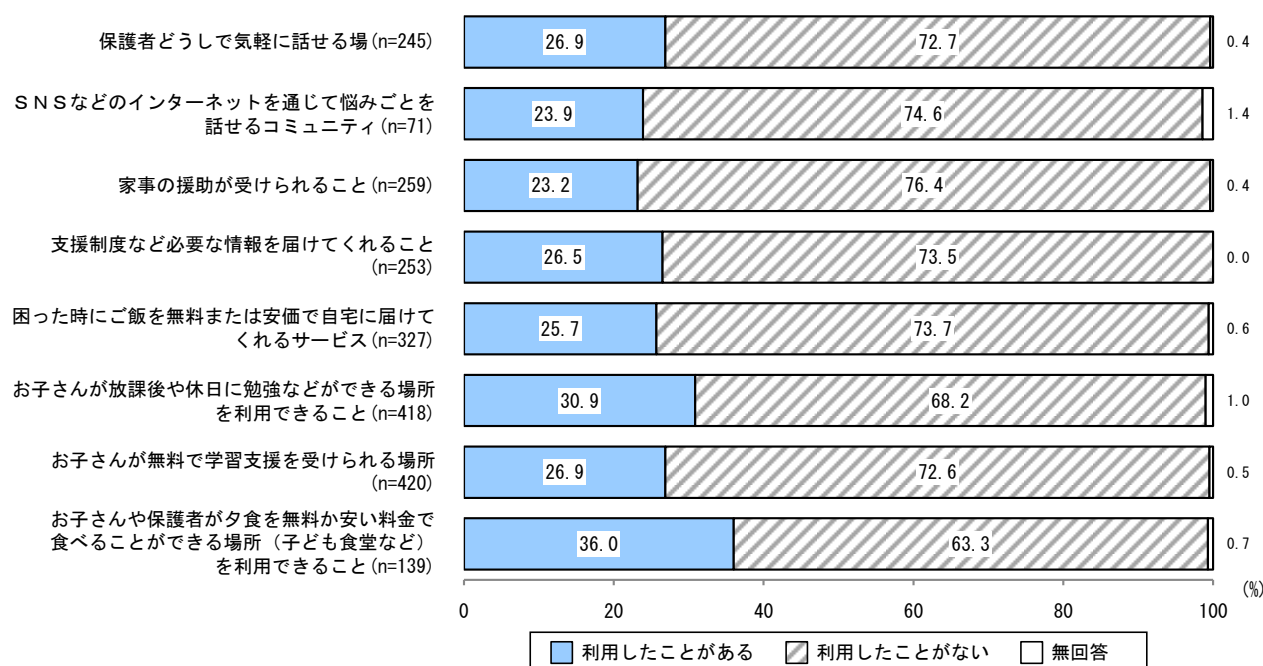
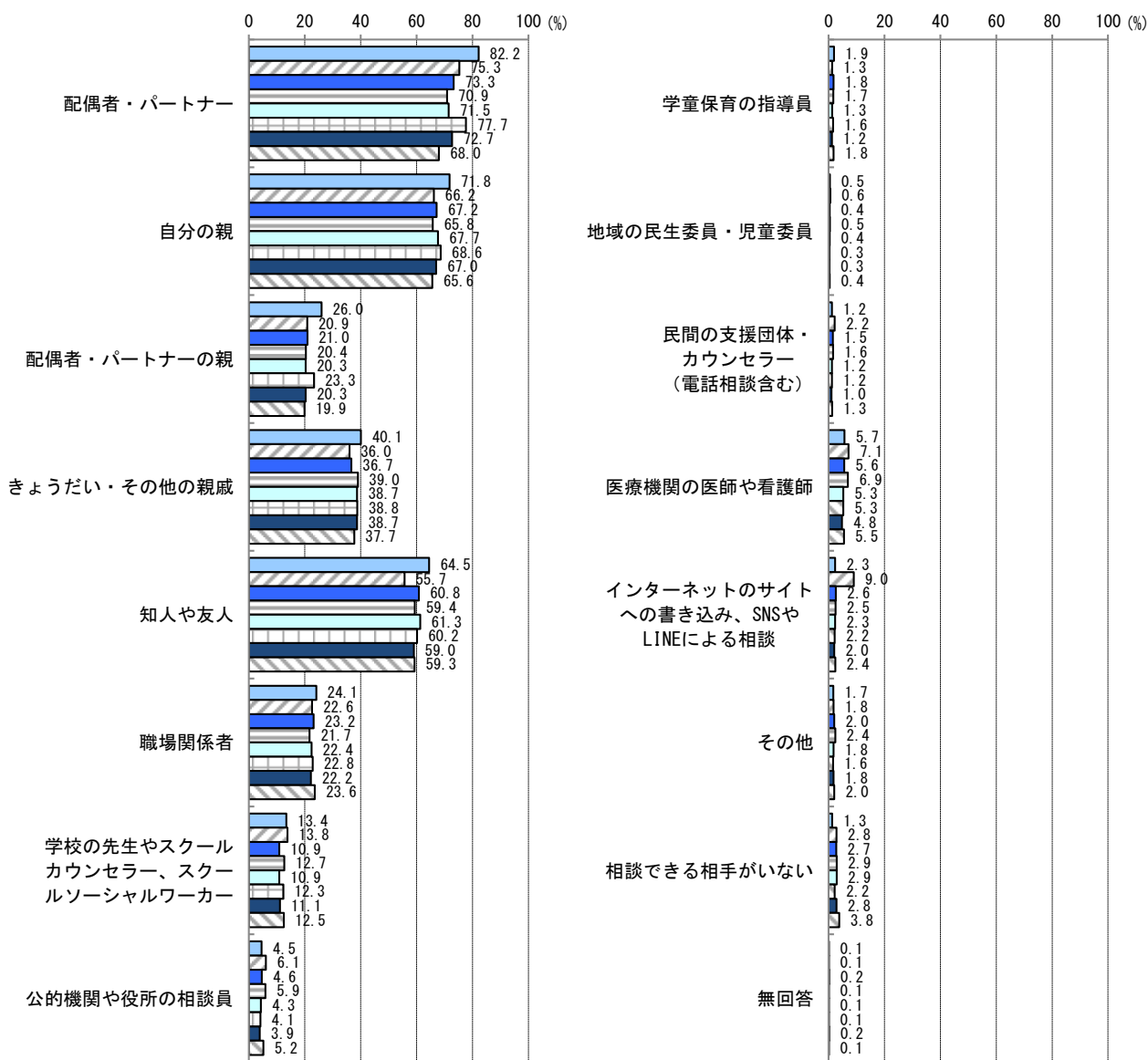


図 186. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が36.0%で最も高く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が30.9%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

<大阪府内全体>



- 保護者どうして気軽に話せる場 (n=9, 044)
- SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ (n=2, 876)
- 家事の援助が受けられること (n=9, 636)
- 支援制度など必要な情報を届けてくれること (n=12, 054)
- 困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス (n=13, 345)
- お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること (n=13, 796)
- お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 (n=18, 191)
- お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること (n=6, 387)

<池田市>

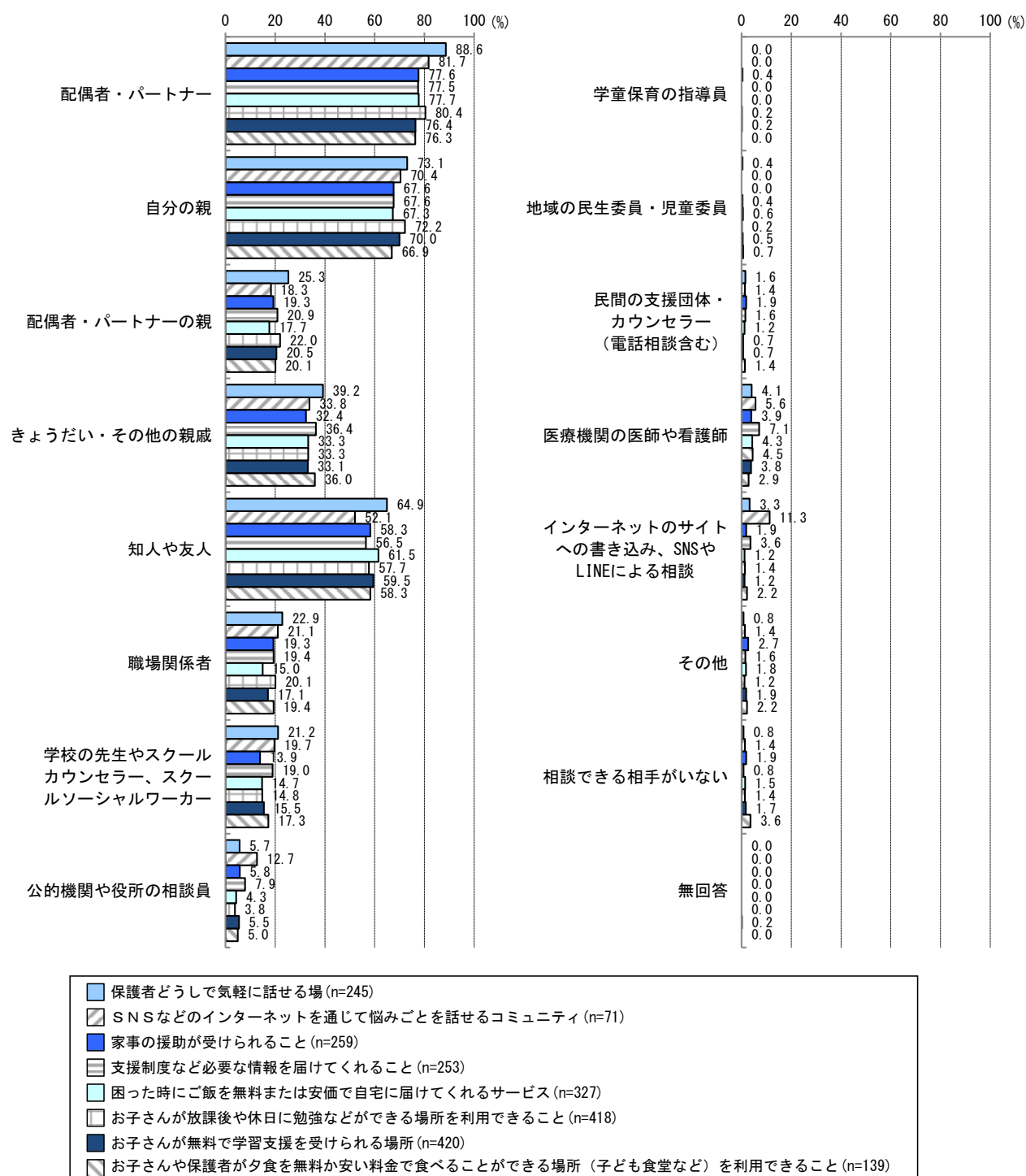


図 187. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「保護者どうして気軽に話せる場」が88.6%で最も高く、次いで「SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が81.7%となっている。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが「放課後に過ごす場所」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾」(35.6%対16.5%)の利用率が約2倍である。次いで「習いごと」(40.2%対26.2%)の利用率が約1.5倍である。子どもが「放課後に一緒に過ごしている人物」では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(25.4%対14.6%)、「クラブ活動・部活動の仲間」(39.3%対31.1%)と一緒に過ごす割合が約10ポイント高く、次いで「学校以外のともだち」(8.3%対3.9%)と一緒に過ごす割合が4.4ポイント高くなっている。一方で困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「学校のともだち」(64.1%対55.1%)と一緒に過ごす割合が9ポイント高くなっている。「毎日の生活で楽しいこと」では中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「ひとりで過ごしているとき」(50.0%対43.7%)が楽しいと考えている子どもの割合が6.3ポイント高く、次いで「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」(57.8%対52.4%)が楽しいと考えている子どもの割合が5.4ポイント高くなっている。なお「ともだちと一緒に過ごしているとき」が楽しいと考えている子どもの割合は中央値以上群及び全困窮度群において約84ポイントと高い割合である。「悩んでいること」では中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「進学・進路のこと」(13.2%対6.8%)に悩んでいる割合が約2倍である。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセスが制限されるだけでなく、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されていることが示唆される。一方で、教育的な活動へのアクセスが容易になることで、進学や進路のことなど将来的に迎えるイベントに対する悩みが増加することが示唆される。「嫌なことや悩んでいるときの相談相手」では中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「学校の先生」(27.1%対18.4%)を相談相手に選ぶ割合が8.7ポイント高くなっている。つまり教育的な活動へのアクセスが容易であればあるほど学校生活において、より先生という家族以外の大人へサポートを求める頻度が高まることが示唆される。

困窮度別に子どもの世話をしている人の有無をみると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、誰かの世話をしている割合が高くなっている(27.2%対16.3%)。また、子どもの世話をしている人の有無別に相談相手をみると、世話をしている子どもはそうでない子どもと比べて、「親」(73.1%対66.2%)、「きょうだい」(24.7%対20.0%)、「親せき」(8.1%対2.8%)、「学校の先生」(30.1%対23.0%)に相談する割合が高く、「昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所」(15.1%対7.8%)、「勉強を無料か安い料金でみってくれる場所」(9.7%対6.4%)、「何でも相談できる場所」(4.8%対2.1%)といった居場所を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆される。

一方、困窮度別に保護者の相談相手をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(85.6%対60.4%)、「配偶者・パートナーの親」(21.3%対15.3%)、「職場関係者」(23.3%対16.2%)に相談する割合が約1.5倍高くなっている。特に「配偶者・パートナー」に相談する割合は25ポイントも高くなり顕著である。また世帯構成別の保護者の相談相手をみると、母子世帯群及び父子世帯群はふたり親世帯群と比べ、「相談できる相手がいない」(5.2%及び6.7%対1.2%)割合はそれぞれ約4倍及び約6倍高くなっている。これらの結果は、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示唆される。また地域社会の相談相手の有無別に、子どもが「おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらうか」に着目すると、地域社会に相談相手がいる群は地域社会に相談相手がいない群と比べて、「ほとんど毎日」(21.9%対9.5%)勉強

をみてもらっている割合は約2倍高くなっている。また「おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか」についても「ほとんど毎日」(50.3%対44.0%)話している割合は6.3ポイント高くなっている。これらのことから、特定の世帯構成の保護者は相談相手がいらないため、子どもの教育的な活動に関心を向けるほどの余裕がないことが示唆される。

Ⅲ 調査研究業務共同実施者公立大学法人大阪大阪公立大学による総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の大阪府共同調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタル、の3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。

次に、総合考察においては、池田市が実施した数値で検討を行う。各ページにはグラフコメントやクロス分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、まさに考察すべきものを中心に記載している。単純集計はセクションコメントに出てこないもので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。

1) 大阪府共同調査の意義

本調査では、池田市の調査のみならず大阪府内43自治体で共同実施して把握したことは、回答者数の多さ、および大阪府全域の実態把握という点において意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として池田市の調査結果を裏付けるものであった。

本報告では、すべての項目に池田市のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

2) 単純集計

<経済面・家庭状況制度面>

本調査では、池田市の可処分所得の分布が明らかとなった。保護者全体では「550～600万円未満」が5.9%で最も多く、「700～750万円未満」が5.5%、「600～650万円未満」と「1,000～1,100万円未満」が5.3%と続く。また、小学生の保護者では「700～750万円未満」が7.2%、「550～600万円未満」が6.2%、「600～650万円未満」が5.6%と続き、中学生の保護者では「1,000～1,100万円未満」が7.0%、「550～600万円未満」が6.0%、「650～700万円未満」と「800～850万円未満」が5.7%と続く。等価可処分所得の中央値は324万円、相対的貧困率は12.9%であった。

池田市では、14.9%の世帯が赤字であり、中学生の世帯が小学生の世帯よりも高くなっている（15.9%対13.4%）。クラブや塾などが小学生よりも中学生において家計を圧迫していることが考えられる。また、子どものための貯蓄状況では、貯蓄をしたいができない状態が24.3%であった。

経済的な理由で経験できなかったこと（はく奪項目）については、「どれもあてはまらない」が35.2%であった一方、「趣味やレジャーの出費を減らした」37.5%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」33.3%、「食費を切りつめた」30.8%がいずれも30%を超えた。また、経済的理由による子どもに関する経験できなかったこと（子どものはく奪）に関しては、「どれもあてはまらない」が69.6%であった一方、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が14.4%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が9.5%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.2%であった。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、「自転車」85.6%、「ゲーム機」84.0%、「テレビ」82.5%が80%を超え、「スマートフォン・タブレット機器」76.8%、「マンガ・雑誌」

75.5%、「本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）」75.0%が続いている。スマートフォンやタブレットの所有率が高いのは、学校からの配布の成果であると考えられる。

以上から、経済的・文化的に困窮に関しては現時点では趣味やレジャーの削減が主でありより深刻な状況である医療補助を受けられない場合は少ないが、学習塾・習い事や食費の切りつめも見られることから、子どもの生活や学習に直結する事項の推移を注視し、経済的理由による子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも実現できるような方策が非常に重要である。

養育費について、「取り決めをして受け取っている」のは46.4%であった。反面、養育費を「取り決めをしておらず受け取っていない」のは28.6%であり、小学生の保護者では中学生の保護者よりも10ポイント以上高い（34.6%対20.8%）。また、「取り決めをしているが、受け取っていない」は17.9%であり、中学生の保護者では小学生の保護者よりも約10ポイント高い（25.0%対15.4%）。参考までに、2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であった。養育費関連の施策立案の基盤として、今後も継続的に調査することを期待する。

<雇用・健康>

本調査では、居住形態や保護者の学歴について調査した。居住形態では、「持ち家」が81.0%を占め、次いで「民間の賃貸住宅」が15.1%であった。母親の学歴は、高校卒業が17.2%、大学卒業が34.7%、大学院修了2.3%であった。また、父親の学歴は、高校卒業が17.8%、大学卒業が44.0%、大学院修了9.9%であった。雇用状況では、何らかの仕事をしている母親は82.2%であり、うち正規職員が23.6%、非正規職員（パートまたはアルバイト）が52.0%であった。同様に、何らかの仕事をしている父親は98.5%であり、うち正規職員が86.9%、非正規職員（パートまたはアルバイト）が1.6%であった。これらは、経済面・家庭状況制度面の項で述べた可処分所得が比較的高いこととの相関が示唆される。

支援制度の利用状況は、就学援助は5.1%、児童扶養手当が8.6%、生活保護が0.2%であった（それぞれ、54人、91人、2人）。各制度について、利用したことがない理由を尋ねると「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の合計は就学援助では3.5%、児童扶養手当では0.5%、生活保護では1.4%であった（それぞれ、32人、5人、14人）。一方で、可処分所得の結果から困窮度Iに該当する保護者は111人おり、もっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていない。各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマ（差別や偏見など不当な扱いを受けること）を無くし受けやすくする工夫が必要である。

<健康・家庭生活・学習・対人関係>

まず食事から確認する。「朝食を食べない」（週に1回も食べていない）は1.8%であり、食べない理由では「おなかがすいていない」が、55.0%、「時間がない」が29.7%であった。「時間がない」と回答した割合は、小学生の方が中学生よりも約6ポイント高かった（34.1%対27.7%）。小学生の7名、中学生の11名は、週に1回も朝食を食べない。また、家族の人と食事をしていない子どもは、（家族と朝食を食べる機会が）「ほとんどない」「まったくない」を合計して、朝食では、小学5年生の子どもが約123名、夕食では小学5年生で約12名いる。朝食の欠食および

食事の個食は、改善すべき喫緊の課題である。

放課後過ごす場所は、「自分の家」が91.0%、「学校（クラブ活動など）」が40.2%、「習いごと」38.2%、「公園・広場」33.9%、「習いごと」38.2%、「塾」30.4%の順に高かった。小学生から中学生にかけて、「習いごと」から「塾」へ、「公園・広場」から「学校（クラブ活動など）」へのシフトが示唆される。また、いっしょに過ごす人としては、全体では「おうちの大人の人」71.0%、「学校のともだち」が59.0%、「きょうだい」が55.2%であった。中学生では「クラブ活動・部活動の仲間」が69.4%と増加する点が特徴的である。自宅や家族が高い理由として、コロナの影響による社会的交流が減ったことからの可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」は小学5年生になってから（42.2%）、中学生は1年生（47.4%）でつまづいている子どもが多いことがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは8.5%であった。特に、「だれにも相談したくない」と回答する割合は、中学生が小学生の約2倍である（7.4%対3.6%）。この一週間の気持ちの状況では、ほかのポジティブ選択肢においては「いつもそうだ」が45.4%から61.7%である中、「やろうと思ったことがうまくできる」で「いつもそうだ」が18.9%である点、および、ネガティブ選択肢において「いつもそうだ」が5.5%から10.8%である中、「まわりが気になる」が17.7%、「やる気が起きない」が15.1%である点が注目される。体の状態で気になることでは、「とくに気になるところはない」が36.6%、「よくかゆくなる」が23.0%、「よくおなかがいたくなる」が21.0%であった。「よくかゆくなる」は小学生が中学生よりも高く（27.4%対17.8%）、「よくおなかがいたくなる」は中学生が小学生よりも高かった（23.4%対19.1%）。

悩みについては、最も多いのが「いやなことや悩んでいることはない」が34.8%である一方、「学校や勉強のこと」18.6%、「自分のこと（外見や体型のこと）」14.5%、「ともだちのこと」13.2%の順に高かった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」の利用では小学生で20.7%、中学生で13.7%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小学生で8.9%、中学生で9.7%、「学習支援の居場所」は小学生で3.9%、中学生で11.1%、「何でも相談できる場所」は、小学生で2.4%、中学生で2.5%の子どもが利用したことがあった。これらと併せて、居場所の効果として「友だちの増加」が小学生で37.1%、中学生で19.2%、「気軽に話せる大人が増えた」は小学生で18.0%、中学生で6.7%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小学生が16.8%、中学生が7.5%という結果であった。一方で、小学生の21.0%、中学生の33.3%は「特に変化なし」と回答している。ポジティブ選択肢が多くを占めたことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」9.3%、「学習支援の居場所」7.1%、「何でも相談できる場所」は2.5%と低くなり、将来の利用に関する積極的な利用希望も「食事提供の居場所」が小学生、中学生合わせて18.0%、「学習支援の居場所」が小学生、中学生合わせて14.0%である。子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ない考える傾向があるかもしれないこと、などから居場所の充実とより自然な提供が望まれる。

最後にヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、厚生労働省の研究事業として実施された調査結果と比べると、小学生6.5%（日本総研2022）、中学生5.7%（MURC2021）という値よりはるかに高い、小学生が24.6%、中学生が9.5%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小学生は83.3%（小学6年生28.5%：日本総研2022）、中

学生が73.2%（中学生79.8%：MURC2021）である。小学生は国に比べてきょうだいの世話の割合が高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小学生の世話の内容を家事と答えたのが、35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話より高いが、本調査の結果では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあるであろう。今後、定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

今回の調査で保護者が身近にあるといいと思うことは、上位3つが「無料で学習支援が受けられる場所」39.7%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」39.5%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」30.9%であった。学習に関して最も気にかけていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。

3) クロス集計

経済状況、経済状況、支援制度、雇用、健康、家庭生活と学習、対人関係の各領域について、課題を明らかにする。

経済面から確認する。経済的な大人のはく奪に関しては、「電気・ガス・水道などが止められた」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」「国民年金の支払いが滞ったことがある」などの項目において困窮度Ⅰ群は中央値以上群よりも値が高く差も大きかった。また、そのことが困窮度Ⅰ群における「生活の見通しがたたくて不安になったことがある」との回答の高さに反映されていることが示唆された。子どものはく奪に関しては、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比較してお子さんを習い事や塾に通わすことができなかった割合が高く、経済状況によって、子どもの学習環境の格差が生じていることが窺われる。さらに、子どものために「貯蓄したいが、できていない」割合では困窮度Ⅰ群と中央値以上群との間に約5倍の開きがあり、家計の厳しさが示されたと言える。

支援制度に関しては、まず就学援助制度は、申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても利用したことがない人が59.5%、児童扶養手当は、困窮度Ⅰ群で利用したことがない人が24.1%、生活保護制度は、困窮度Ⅰ群において「利用している」はわずか0.9%（1名）であり、「利用したことがない」は89.2%（99名）と極めて高い。困窮度Ⅰ群にとって、つまり厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、特に生活保護については全く進んでいないと言っても過言ではない。制度の周知状況および住民・行政双方において制度利用を妨げたり抑制したりしている要因の有無を直ちに探る必要があろう。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において大阪府全体で6.4%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は1.2%である。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入200万未満の世帯で35.6%（山野研究室2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上にされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要があろう。

10代で親になった母親の最終学歴は、中卒（「中学校卒業」および「高等学校中途退学」）が33.3%を占めており、他の年齢群に比べて4倍以上の高い割合を示している。また、就労状況において正規社員の割合が、他の年齢群と比べて低くなっている。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を

大切にすることや将来を見せるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育を含む生きる教育（西澤・西岡ほか2022）の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、非正規雇用は正規雇用と比較して困窮度が増すことや、最終学歴が低いほど困窮度Ⅰに占める割合が高くなる傾向がある。世帯構成と就労状況の関係をみると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が31.0%と高くなっており、母子世帯へのさらなる重点支援を検討すべきである。健康に関しては、困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食摂取が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関しては、経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションの深さや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。また、子ども自身も保護者も大学以上の高いレベルの教育を望まなくなっており、これは経済的事情と学習理解の低さのいずれもが要因となっている可能性がある。子どもの将来に関して、経済的に困難な世帯の子どもは、将来への希望が持てていない。

経済状況が生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい。（イギリスやアメリカで活用されるメンター制度など）

対人関係に関して、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比較して、放課後過ごす人として「おうちの人以外の大人」「クラブ活動・部活動の仲間」「学校以外のともだち」など家族以外と過ごす割合が高い。また、場所については、「塾」「習いごと」において中央値以上群は困窮度Ⅰ群よりも高かった。経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性が考えられる。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外と話せる機会が必要である。しかし、家庭と学校しかソーシャル・キャピタルを持たない子どもたちにとって、今回の調査において、「おうちの人に関する悩み」は「おうちの人」と「学校の友だち」に話しにくいという結果であった。これは、子どもたちを孤立させ、ますますソーシャル・キャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や友だちに話せないという今回の結果から、自然と話せるような場や人材を確保し、すべての子どもが自然に通う、

自然に構えずに参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する実態が明らかとなった。経済的にはく奪に関しては、現時点では趣味やレジャーの削減が主であるが、学習機会や食費の切りつめなど子どもの貧困につながる可能性があるのはく奪の兆しが認められる。このことは、子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとして子ども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんやかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。以下のような覚悟ある対策をとる必要がある。

なお、対策の中には国および都道府県の制度と密接に関係するものも含まれているため、そのような場合には国および都道府県と連携したり、制度の変更を促したりすることが必要である。

- ① 母子世帯への支援や収入のアップを企業側が実行できるような施策が必要である。また、困窮度Ⅰ群において就学援助や生活保護を「利用したことがない」の割合が高く、特に生活保護については全く進んでいないと言っても過言ではない。制度の十分な周知や適切な認定が行われているか検証するとともに、住民・行政双方において制度利用を妨げたり抑制したりしている要因の有無を直ちに検証し、「支援を必要とする人に適切な支援を提供する」という行政の基盤的役割が機能するよう、支援施策全般の抜本的な見直しが必要である。
- ② 学校だけでなく、すべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などが想定される。保護者のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入されており、貧困調査の結果から支援員を多数投入し、訪問による給付や支援の申請書作成のサポートなどの人的支援方策を実施した。そういう方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータ連携、社会資源を選択できるよう可視化、自治体内でどこもこの部署でも所持するような共有化が必要である。
- ③ 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。
- ④ 教育の力はすべての子どもに影響を与えることができる。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡 2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川 2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになってからも早期にSOSが出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。
- ⑤ 相談や支援の場所を周知することである。支援施策や支援を受ける方法などをパンフなどなどの形にまとめ、市内の施設や学校で配布するなど拡充する必要がある。子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園など安心して寄れるような場を使ったたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる場が子どもが自力で行ける小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストである。その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所にあり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくする必要がある。相談機関を増やして

も子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。

- ⑥ 連携とは個人情報共有をしなければいけないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持ってない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらを周知徹底させることである。
- ⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。
- ⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館や博物館なども場であり、さらなる協働を明確にする。
(子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど)
- ⑨ 必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨(2020)のYOSSスクリーニング(山野研究室2021)の仕組みが必要である。今回の大阪府全体の調査では2016年からの比較によってアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明らかになった。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。
- ⑩ 洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。クラウド化によっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。
- ⑪ これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成に力を入れる必要がある。スキルを取得する訓練講座の予算化や新たな認定制度になることも家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。
- ⑫ その専門職の1つがスクールソーシャルワーカーである。各校に1名配置できるよう、正規職化への働きかけ、あるいは各自治体での正職化計画を立てる必要がある。
- ⑬ これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成すべきである。
- ⑭ デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。データ連携することでどこに必要な子どもが存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からクラウド化に向けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

アーネ・リンドクウィスト&ヤン・ウェステル、川上 邦夫(翻訳)(1997)『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論。

大阪府(2023)「大阪府子ども(子育て世帯)に対する食費支援事業(第2弾)」

(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf>)

大阪府立大学(2017)「大阪府子どもの生活実態調査」

北川達夫(2005)「図解フィンランド・メソッド入門」経済界。

厚生労働省(2004)「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」

- (<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html>)
- 厚生労働省 (2017) 「平成 28 年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf>)
- 厚生労働省 (2022) 「2022 (令和 4) 年国民生活基礎調査の概況」
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html>)
- 柴田悠 (2016) 『子育て支援が日本を救う—政策効果の統計分析』 勁草書房.
- 内閣府 (2010) 「平成 21 年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html)
- 西澤哲・西岡加名恵ほか (2022) 『『生きる』教育：自己肯定感を育み, 自分と相手を大切にする方法を学ぶ』 日本標準.
- 日本総研 (2022) 「令和 3 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」 厚生労働省.
- 三菱 UFJ リサーチコンサルティング (株) (2021) 「令和 2 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」 厚生労働省.
- 文部科学省 (2023) 「令和 5 年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)
- 文部科学省・山野研究室 (2020) 「スクリーニング活用ガイド」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/_icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf)
- 山野則子編著 (2019) 『子どもの貧困調査—子どもの生活に関する実態調査から見てきたもの』 明石書店.
- 山野則子 (2018) 『学校プラットフォーム』 有斐閣.
- 山野則子研究室 (2021) 「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」 厚生労働省.
- 山野則子研究室 (2021) 「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」 文部科学省.
- 柳澤靖明・福島尚子 (2019) 『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』 太郎次郎社エディタス.
- UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ (<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167>)

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験	162
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験	164
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	166
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	167
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	168
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	169
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成	170
図 8. 世帯構成別に見た、家計の状況	171
図 9. 困窮度別に見た、子どもの人数	172
図 10. 困窮度別に見た、住居形態	173
図 11. 困窮度別に見た、家計の状況	174
図 12. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	175
図 13. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無	176
図 14. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況	179
図 15. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	180
図 16. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況	181
図 17. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）	182
図 18. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	183
図 19. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）	184
図 20. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	185
図 21. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）	186
図 22. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）	187
図 23. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）	189
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ...	191
図 25. 住居形態別に見た、家計の状況	192
図 26. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況	193
図 27. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況.....	194
図 28. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況.....	195
図 29. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況.....	196
図 30. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	197
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	198
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ...	199
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	200
図 34. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況.....	202
図 35. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況.....	204
図 36. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	206
図 37. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	208
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	210
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	212
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況	214
図 41. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況.....	215
図 42. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況.....	216
図 43. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況	217
図 44. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）	218
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況	219
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況	220
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 ...	221

図 48. 困窮度別に見た、就労状況	223
図 49. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴	224
図 50. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴	225
図 51. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況	226
図 52. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況	227
図 53. 世帯構成別に見た、就労状況	228
図 54. 就労状況別に見た、家計の状況	229
図 55. 困窮度別に見た、朝食の頻度	231
図 56. 就労状況別に見た、朝食の頻度	232
図 57. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度	233
図 58. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度	234
図 59. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	235
図 60. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	236
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度	237
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	238
図 63. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	239
図 64. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある	240
図 65. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	241
図 66. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	242
図 67. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる	243
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	244
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	245
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	246
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	247
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	248
図 73. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること	250
図 74. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ①楽しみにしていることがたくさんある ..	251
図 75. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ②遊びにでかけるのが好きだ	252
図 76. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ③元気いっぱいだ	253
図 77. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ④やろうと思ったことがうまくできる ..	254
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑤一人ぼっちのような気がする	255
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑥不安な気持ちになる	256
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑦まわりが気になる	257
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑧やる気が起きない	258
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況 ⑨いらいらする	259
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること	261
図 84. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	263
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	265
図 86. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	266
図 87. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	267
図 88. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	268
図 89. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）	269
図 90. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）	270
図 91. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）	271
図 92. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べているか	273
図 93. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べているか	274
図 94. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	275
図 95. 困窮度別に見た、おうちの大人のひとと文化活動をするか	276

図 96. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	277
図 97. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	278
図 98. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間	279
図 99. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	280
図 100. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）	281
図 101. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）	282
図 102. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	283
図 103. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	284
図 104. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	285
図 105. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	286
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間	287
図 107. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間	288
図 108. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連	289
図 109. 困窮度別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連	290
図 110. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度	291
図 111. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度	292
図 112. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間	293
図 113. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間	294
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度	295
図 115. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度	296
図 116. 困窮度別に見た、希望する進学先	297
図 117. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学	298
図 118. 困窮度別に見た、学校への遅刻	299
図 119. 困窮度別に見た、子どもの通学状況	300
図 120. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか	301
図 121. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか	302
図 122. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか	303
図 123. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校のできごとについて話すか	304
図 124. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか	305
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか	306
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか	307
図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか	308
図 128. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること	310
図 129. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	311
図 130. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	312
図 131. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先	313
図 132. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの	314
図 133. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること	316
図 134. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合	317
図 135. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	318
図 136. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	319
図 137. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先	320
図 138. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯	321
図 139. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度	322
図 140. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度	323
図 141. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間	324
図 142. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間	325
図 143. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況	327

図 144.	自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がある日）	328
図 145.	自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の1日あたりの勉強時間（学校がない日）	329
図 146.	困窮度別に見た、放課後を過ごす場所	333
図 147.	困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人	335
図 148.	困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	337
図 149.	困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること	339
図 150.	困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	341
図 151.	困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	343
図 152.	世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がない割合	344
図 153.	困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	345
図 154.	子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	346
図 155.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか	347
図 156.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらうか	348
図 157.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと学校のできごとについて話すか	349
図 158.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと遊んだり、体を動かしたりするか	350
図 159.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話すか	351
図 160.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと文化活動をするか	352
図 161.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人のひとと一緒に外出するか	353
図 162.	困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	354
図 163.	困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	355
図 164.	困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所	356
図 165.	困窮度別に見た、何でも相談できる場所	357
図 166.	困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験	358
図 167.	平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	360
図 168.	昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	362
図 169.	勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	364
図 170.	何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	366
図 171.	自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	368
図 172.	自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	369
図 173.	自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	370
図 174.	自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所	371
図 175.	自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所	372
図 176.	子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	374
図 177.	学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	376
図 178.	学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	378
図 179.	学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	380
図 180.	学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所	382
図 181.	学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所	384
図 182.	身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所	386
図 183.	身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所	388
図 184.	身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみしてくれる場所	390
図 185.	身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所	392
図 186.	身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無	394
図 187.	身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先	396

IV 資料編

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがく せい む ちようさ ちようさひよう い け だ し
小学生・中学生向け調査 調査票【池田市】

ちようさ きょうりよく ねが
< 調査への協力のお願い >

- ◆この調査は、池田市内の小学生5年生と中学生2年生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆池田市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月19日までに回答してください。

う え ぶ かいたう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをざらんください。
- ※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

かみ ちようさ ひよう かいたう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じて、おうちの人に渡してください。

きげん れいわ ねん がつ にち すいようび
◆期限： 令和5年7月19日（水曜日）◆

ちようさ かん といあわ さき
【調査に関するお問合せ先】

いけだし こ けんこうぶ こ わかちのせいさくか
池田市子ども・健康部子ども・若者政策課

でんわ 072-754-7004 (直通) ※8:45~17:15 土・日曜日・祝日を除く
ふあくしみり
ファクシミリ 072-752-9785

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などを書いてありますので、それにしがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問5 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に 2 ～ 3 回	5. 食べない
2. 週に 4 ～ 5 回	4. 週に 1 回程度	

(2) 前の質問で「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 お休みの日の昼食についておたずねします。

(1) あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。)(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べることが多い	4. 食べない	

(2) 前の質問で「1. 必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に 2 ～ 3 回	5. 遅刻はしない
2. 週に 4 ～ 5 回	4. 週に 1 回程度	

とい 問8 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号ばんごう
ひと まる
1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日 まいにち	週に4～5回 しゅう かい	週に2～3回 しゅう かい	週に1回程度 しゅう かい いど	月に1～2回 つき かい	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人のひとと一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人のひとと一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人のひとに朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちのてっだの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人のひとに宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人のひとと学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人のひととあそんだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人のひととニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人のひとと一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問9 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいとおもいますか。

（あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください）

1. おうちのひとと一緒にすごしているとき	5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
2. ともだちと一緒にすごしているとき	6. 塾や習いごとですごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	7. 特に楽しいと思うときはない
4. ひとりですごしているとき	8. その他

とい
問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- | |
|--|
| 1. おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 学校のともだち
5. クラブ活動・部活動の仲間
6. 学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7. ひとりでいる
8. その他の人 |
|--|

とい
問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家 2. おばあちゃん・おじいちゃんの家 3. ともだちの家 4. 塾 5. 習いごと 6. 学校（クラブ活動・部活動など） 7. 公園・広場 8. スーパーやショッピングモール	9. コンビニエンスストア 10. ゲームセンター 11. 図書館や公民館など公共の施設 12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所） 13. 学童保育（※） 14. その他

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

とい
問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 自分で勉強する 2. 塾で勉強する 3. 学校の補習を受ける 4. 家庭教師に教えてもらう 5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	6. おうちの人に教えてもらう 7. ともだちと勉強する 8. その他 9. 学校の授業以外で勉強はしない

とい 問13 あなたは、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 (塾などの時間もふくみます。)(①、②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	7
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	7

あと半分だよ。
 がんばってね！

とい 問14 学校の勉強についておたずねします。
 (1) 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

(2) 前の質問で「3. あまりわからない」「4. ほとんどわからない」「5. わからない」に○をつけた方に
 おたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 小学1・2年生のころ	3. 小学5年生になってから	5. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 小学6年生のころ	6. 中学2年生になってから

とい 問15 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
 (教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

とい 問16 あなたは、^{がっこう}学校や^{がっこう}学校の^{ぎょうじ}行事等で次のようなことがありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{じゅぎょうちゆう} 授業中に ^ね 寝てしまうことが多い	7. ^{うんどうかい} 運動会や ^{えんそく} 遠足などの ^{がっこうぎょうじ} 学校行事を ^{けっせき} 欠席する
2. ^{しゅくだい} 宿題ができていないことが多い	8. ^{ほけんしつ} 保健室で ^す 過ごすことが多い
3. ^も 持ち物の ^{わす} 忘れ物が ^も 多い	9. ^{がっこう} 学校では ^{ひとり} ひとりで ^す 過ごすことが多い
4. ^{なら} 新しいことを ^{やす} 休むことが ^{おほ} 多い	10. ^{ともだち} ともだちと ^{あそ} 遊んだり、 ^{おしゃべり} おしゃべりしたりする ^{じかん} 時間が
5. ^{ていしゅつぶつ} 提出物を ^だ 出すのが ^{おく} 遅れることが ^{おほ} 多い	^{すく} 少ない
6. ^{しゅうがくりょこう} 修学旅行などの ^{しゅくはくぎょうじ} 宿泊行事を ^{けっせき} 欠席する	11. ^{とく} 特にない

とい 問17 今、あなたは、^{いま}いやなことや^{なや}悩んでいることはありますか。

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おうち} のこと	6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと
2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと	7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと
3. ^{くらぶ} クラブ活動や ^{ぶかつどう} 部活動のこと	8. ^た その他のこと
4. ^{じぶん} 自分のこと（ ^{がいけん} 外見や ^{たいけい} 体型など）	9. ^{なや} いやなことや悩んでいることはない
5. ^{ともだち} のこと	10. ^{わから} ない

とい 問18 あなたは、^{なや}いやなことや悩んでいることがあるとき、^{そうだん}だれかに相談しますか。（^{はな}だれに話しますか。）

(^{ばんごう}あてはまる番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ^{おや} 親	12. ^{いんたーねっと} インターネットや ^{さいと} サイトなどを ^{つうし} 通じて知り ^し あった
2. ^{きょうだい} きょうだい	^{ちよくせつ} 直接 ^あ 会ったことの ^{ひと} ない人
3. ^{しん} 親せき	13. ^{きんじよ} 近所の ^{ひと} 人
4. ^{がっこう} 学校の ^{ともだち} ともだち	14. ^{ちいき} 地域の ^{しえんだんたい} 支援団体
5. ^{がっこうがい} 学校以外の ^{ともだち} ともだち	^{がくしゅうしえん} （学習支援の ^ば 場や ^こ 子ども ^{しょくどう} 食堂など ^{ちいき} 地域で
6. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	^{おなとし} 同じ ^こ 年ごろの ^{あつ} 子どもが ^{ひと} 集まるところの ^{ひと} 人）
7. ^{すくー} スクール ^{かうんせらー} カウンセラー、 ^{そーしゃるわーかー} ソーシャルワーカー	15. ^た その他の ^{ひと} 人
8. ^{じゅく} 塾や ^{なら} 習いごとの ^{せんせい} 先生	16. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談 ^{でき} できない
9. ^{がくどうほいく} 学童保育の ^{せんせい} 先生（※）	17. ^{だれ} だれにも ^{そうだん} 相談 ^{した} したくない
10. ^こ 子ども ^{せんよう} 専用の ^{でんわ} 電話 ^{そうだん} 相談	18. ^{わから} ない
11. ^{えすえぬえす} SNSなどの ^{いんたーねっと} インターネットや ^{らいん} LINEの ^{そうだん} 相談	

※「^{がくどうほいく}学童保育」とは、「^{ほうかごじどうくらぶ}放課後児童クラブ」、「^{ほしかい}いきいき放課後児童クラブ」、「^{るすかていじどうかい}留守家庭児童会（室）」、「^{がくどうくらぶ}学童クラブ」、「^{なかよ}仲良し^{くらぶ}クラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

(①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そいつ だも	ときどき そうだ	そんな こと
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	6. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	7. とくに気になるところはない
3. 歯がいたい	8. その他
4. よくおなかがいたくなる	9. わからない
5. よくかぜをひく	



答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

とい 問21 あなたが、持^もっているものや、あなたが使^{つか}うことができるものを選^{えら}んでください。

(あてはまる番号^{ばんごう}すべてに^{まる}○をつけてください)

1. 本 ^{ほん} (学校 ^{がっこう} の教科書 ^{きょうかしょ} やマンガ ^{まんが} ・雑誌 ^{ざっし} はのぞく)	8. テレビ ^{てれび}
2. マンガ ^{まんが} ・雑誌 ^{ざっし}	9. けいたい電話 ^{でんわ}
3. 子ども部屋 ^{こ べ や} (ひとり部屋 ^{べ や} やきょうだいと 一 ^{いっ} 緒 ^{しょ} に使 ^{つか} っている部屋 ^{へ や} など)	10. スマートフォン ^{すまーとふぉん} ・タブレット機器 ^{たぶれっとき き}
4. インターネット ^{いんたーねっと} につながるパソコン ^{ぱそこん} (学校 ^{がっこう} のパソコン ^{ぱそこん} はのぞく)	11. 化粧品 ^{けしょうひん} ・アクセサリ ^{あくせさりー}
5. 運動用具 ^{うんどうようぐ} (ボール ^{ぼーる} ・ラケット ^{らくetto} など)	12. 習いごとなどの道具 ^{どうぐ} (ピアノ ^{ぴあの} など)
6. ゲーム機 ^{げーむき}	13. 自分 ^{じぶん} で選 ^{えら} んだ服 ^{ふく}
7. 自転車 ^{じてんしゃ}	14. キャラクターグッズ ^{きゃらくたーぐっず}
	15. その他 ^た
	16. あてはまるものはない

あなたが、ふだん 考^{かんが}えていることについておたずねします。

とい 問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立^たち直^{なお}ることができますか。

(あてはまる番号^{ばんごう}1つに^{まる}○をつけてください)

1. そう思 ^{おも} う	3. どちらかというと思 ^{おも} わない
2. どちらかというと思 ^{おも} う	4. そう思 ^{おも} わない

とい 問23 あなたがふだん 考^{かんが}えていることについて、次の(1)～(3)について教^{おし}えてください。

(あてはまる番号^{ばんごう}1つに^{まる}○をつけてください)

(1) 自分^{じぶん}に自信^{じしん}がある

1. ある	3. どちらかというとな ^{ない}
2. どちらかというとある	4. な ^い

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというときできない
2. どちらかというときできる	4. できない

(3) 自分の将来の夢や目標を持っている

1. 持っている	3. どちらかというとき持っていない
2. どちらかというとき持っている	4. 持っていない

とい 問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	6. 留学 (外国で長い期間勉強すること)
2. 高校	7. 専門学校 (美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) ・高等
3. 短期大学	せんもんがっこう 専門学校
4. 大学	8. 考えたことがない
5. 大学院	9. わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

(1) あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

(①～④それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	利用 した こと が あ る	利用 した こと は な い (あ れ ば 利 用 し た い と 思 う)	利用 した こと は な い (今 後 も 利 用 し た い と 思 わ な い)	利用 した こと は な い (今 後 も 利 用 し た い か 分 か ら な い)
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (学童保育など)	1	2	3	4
② 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
③ 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 (一般的な学習塾とはちがう学習支援など)	1	2	3	4
④ 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

(2) 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ともだちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(3) 問25(1)の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. どこにあるか知らないから	7. Wi-fi (インターネット通信環境) がないから
2. 家の近く(ひとりでいける場所)にないから	8. 行きたいと思わないから
3. 家で過ごしたいと思うから	9. 何をしているかわからないから
4. 楽しくなさそうだから	10. 利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
5. 「行っはいいけない」と親などの大人にいわれるから	11. その他
6. 行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがうちでしているお世話の様子についておたずねします。

(1) うちの人のなかあなたが世話をしている人はいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. いる	2. いない

(2) 前の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじいちゃん
2. お父さん	5. きょうだい
3. おばあちゃん	6. その他

(3) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 料理や買い物、食器洗いなど	5. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
2. 洗濯など	6. その他
3. そうじやゴミ捨てなど	
4. きょうだいのめんどろを見ることや保育所のおむかえなど	

(4) 前の質問で「6. その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

(5) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をするのはどれくらいありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ほぼ毎日	3. 週に1日または2日
2. 週に3日～5日	4. 1か月に数日

(6) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を1日のうちどれくらいしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1時間より少ない	4. 3時間以上、5時間より少ない
2. 1時間以上、2時間より少ない	5. 5時間以上、7時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない	6. 7時間より多い

(7) 問26(1)の質問で「1. いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と話したり遊んだりすることが 増える	8. とても疲れることがある
2. 時間の使い方を工夫できる	9. いろいろしやすい
3. 家の中で気持ちよく過ごすことができる	10. 気持ちが落ち込む
4. おうちの人健康に過ごすことができる	11. 学校を欠席や遅刻、早退することがある
5. 「お世話」にやりがいを感じる	12. その他
6. おうちの人以外と話す時間が減る	13. 特になし
7. 自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男子	3. その他
2. 女子	4. 答えたくない

質問しつもんはこれで終わりおです。調査ちょうさにご協力きょうりょくいただきありがとうございました。

「小学生・中学生用しょうがくせい ちゅうがくせいよう」と書いてある封筒ふうとうに入れ、のりづけやセロハンテープせろはんてーぷで閉じて、保護者ほごしゃの方に渡わたしてください。

そうだんまどぐち あんない
相談窓口のご案内

■大阪府

＜子どもの悩み相談フリーダイヤル＞

TEL : 0 1 2 0 - 7 2 8 5 - 2 5

2 4 時間 3 6 5 日

LINE <https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html>

＜親子のための相談LINE＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

＜すこやかホットライン＞

TEL : 0 6 - 6 6 0 7 - 7 3 6 1

月曜日～金曜日 : 9 時～1 7 時 3 0 分 (※祝日・年末年始を除く)

Eメール sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

■池田市

＜ハローダイヤル（池田市教育センター）＞

TEL : 0 7 2 - 7 5 3 - 8 6 0 0

月曜日～金曜日 : 9 時～1 7 時 (※祝日・年末年始を除く)

＜池田市子ども・健康部子育て支援課＞

TEL : 0 7 2 - 7 5 4 - 6 4 0 1

月曜日～金曜日 : 8 時 4 5 分～1 7 時 1 5 分 (※祝日・年末年始を除く)

【ひとりで悩まないで、相談してね。】

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700082>

- ◆ 最初の画面がでてきたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府子どもの生活に関する実態調査
ほごしや む ちようさ ちようさひよう いけだし
保護者向け調査 調査票 【池田市】

ちようさ きようりよく ねが
< 調査への協力をお願い >

- ◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、池田市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。
- ◆調査の対象は、池田市内の小学5年生・中学2年生の子ども、及びその保護者の皆様です。
- ◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。
- ◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。
- ◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。
- ◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和5年7月19日までに回答してください。

う え ぶ かいたう
(1) Webによるご回答

- この調査は、Webから回答することができます。
- 回答方法は、16ページをごらんください。
※Webでの回答は1回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

かみ ちようさ ひよう かいたう
(2) 紙の調査票によるご回答

- ・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、期限までにお子さんから担任の先生に提出してください。

きげん れいわ ねん がつ にち すいようび
◆期限： 令和5年7月19日（水曜日）◆

ちようさ かん といあわ さき
【調査に関するお問合せ先】

いけだし こ けんこうぶ こ わかものせいさくか
池田市子ども・健康部子ども・若者政策課

でんわ ちよくつう どの ちようび しゅくじつ のぞ
電話 072-754-7004（直通） ※8:45～17:15 土・日曜日・祝日を除く
ふあくしみり
ファクシミリ 072-752-9785

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号 1 つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしただけでください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おじいさん・おばあさん	6. その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和5年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含まれます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問2 あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人 2. 2人	0. いない 1. 1人	0. いない 1. 1人	1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん (本人) (※)	⑥妹・弟	⑦その他	
0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	1人	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	0. いない 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問3 お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む。）	4. 未婚
2. 離婚	5. わからない
3. 死別	6. いない

問4 前の質問で「2. 離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。

また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 取り決めをしており、受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3. 取り決めをしているが、受け取っていない
4. 取り決めをしておらず、受け取っていない

問5 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（1） 前年（2022年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

（2） お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 食費を切りつめた	13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした
2. 電気・ガス・水道などが止められた	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある
3. 医療機関を受診できなかった	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	16. 趣味やレジャーの出費を減らした
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある	17. 冷暖房の使用を控えた
6. 金融機関などに借金をしたことがある	18. 友人・知人との外食を控えた
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある	19. 敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した	22. 1～21の項目には、どれもあてはまらない
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

とう お父さん	1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
1. いる	2. いない



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「7. 仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め（常勤・正規職員） 2. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務） 3. 勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務） 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事を探していない ①家事や育児に専念したため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	4. お子さんが寝た後に帰ってくる
2. お子さんの夕食時間には家にいる	5. 帰宅時間が決まっていない
3. お子さんの寝る時間には家にいる	6. その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね1年の間でお考えください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. お子さんを医療機関に受診させることができなかった	9. お子さんを学習塾に通わせることができなかった
2. お子さんの進路を変更した	10. お子さんの誕生日を祝えなかった
3. お子さんのための本や絵本が買えなかった	11. お子さんにお年玉をあげることができなかった
4. お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12. お子さんの学校行事などに参加することができなかった
5. お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13. 子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
6. お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14. 家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
7. お子さんを習い事に通わすことができなかった	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない
8. お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

とい 問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1 日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15 分未満	1. 2 時間未満
2. 15 分～30 分未満	2. 2 時間～4 時間未満
3. 30 分～1 時間未満	3. 4 時間～6 時間未満
4. 1 時間～2 時間未満	4. 6 時間～8 時間未満
5. 2 時間～3 時間未満	5. 8 時間～10 時間未満
6. 3 時間～4 時間未満	6. 10 時間以上
7. 4 時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

(5) お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よく参加している	3. あまり参加していない
2. ととき参加している	4. まったく参加していない

とい 問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	4. 大学	7. 専門学校・高等専門学校
2. 高校	5. 大学院	8. 考えたことがない
3. 短期大学	6. 留学	9. わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

(1) あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- ・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
- ・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
- ・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない

(2) 前の質問で「1. 利用したことがある」と答えた方におたずねします。

お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 地域の人とつながれるから 2. お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから 3. 栄養バランスのとれた食事がとれるから 4. 運営者が相談に乗ってくれるから 5. 低額（または無料）でご飯が食べられるから	6. 宿題など勉強を見てくれるから 7. お子さんが楽しんでいるから 8. 特になし 9. その他

(3) 問16(1)の質問で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。

子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. どこにあるかわからないから 2. 家の近く（小学校区内）にないから 3. 家で過ごしてほしいと思うから 4. 居場所のイメージがよくないから 5. お子さんが「行きたい」と言っているから	6. 行きたい日・時間に開いていないから 7. 利用したいと思わないから 8. 何をしているかわからないから 9. その他

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	9. 学童保育の指導員(※)
2. 自分の親	10. 地域の民生委員・児童委員
3. 配偶者・パートナーの親	11. 民間の支援団体・カウンセラー(電話相談含む)
4. きょうだい・その他の親戚	12. 医療機関の医師や看護師
5. 知人や友人	13. インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談
6. 職場関係者	14. その他
7. 学校の先生やスクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	15. 相談できる相手がいない
8. 公的機関や役所の相談員	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会(室)」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」も含みます。

とい 問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 保護者^{ほごしや}どうして気軽に^{きがる}話せる^{はな}場^ば 2. SNS^{えすえぬえす}などのインターネット^{いんたーねっと}を通じて^{つう}悩み^{なや}ごとを話せる^{はな}コミュニティ^{こみゆにてい} 3. 家事^{かじ}の援助^{えんじよ}が受けられる^うこと 4. 支援^{しえん}制度^{せいど}など必要な^{ひつよう}情報^{じょうほう}を届^{とど}けてくれる^くこと 5. 困^{こま}った時^{とき}にご飯^{はん}を無料^{むりよう}または安価^{あんか}で自宅^{じたく}に届^{とど}けてくれる^くサービス^{さーびす}	6. お子^こさんが放課^{ほうか}後^ごや休日^{きゅうじつ}に勉強^{べんきよう}などができる^{できる}場所^{ばしょ}を利用^{りよう}できる^{できる}こと 7. お子^こさんが無料^{むりよう}で学習^{がくしゅう}支援^{しえん}を受けられる^う場所^{ばしょ} 8. お子^こさんや保護^{ほご}者^{しや}が夕食^{ゆうしよく}を無料^{むりよう}か安い^{やす}料金^{りようきん}で食べる^たこととができる^{できる}場所^{ばしょ}（子ども食堂^{こどもしきどう}など）を利用^{りよう}できる^{できる}こと

とい 問21 あなたの心^{こころ}の状態^{じょうたい}についておたずねします。

（1）生活^{せいかつ}を楽し^{たの}んでいますか（仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など）。

（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても楽し ^{たの} んでいる	3. あまり楽し ^{たの} んでいない	5. わからない
2. 楽し ^{たの} んでいる	4. 楽し ^{たの} んでいない	

（2）将来^{しょうらい}に対して希望^{たい}を持^{きぼう}っていますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てるときもあれば、持 ^も てないときもある	4. わからない

（3）ストレス^{すとれす}を発散^{はつさん}できるものがありますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

（4）あなた^{じぶん}は、ご自分^{しあわ}が幸^{おも}せだと思^{おも}いますか。（あてはまる番号^{ばんごう}1つに○をつけてください）

1. とても幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	4. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない
2. 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} わない	

とい
問22 あなたは、自分の^{じぶん}体^{からだ}や^き気持ち^もで^き気になることはありますか。

(あてはまる番号^{ばんごう}すべてに^{まる}○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気になる
2. よく頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気が起きない
3. 歯 ^は がいたい	12. イライラ ^{いらいら} する
4. 不安 ^{ふあん} な ^き 気持ち ^も になる	13. よく肩 ^{かた} がこる
5. ものを見 ^み づらい	14. よく腰 ^{こし} がいたくなる
6. 聞 ^き こえにくい	15. とくに ^き 気になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他 ^た
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

こた
答え^{こた}たくない^{しつもん}質問^{こた}に^{ひつよう}答^{こた}える必要^{ひつよう}はありません。

こた
答^{こた}えに迷^{まよ}う場合^{ばあい}には、あなたの^き気持ち^もや^{かんが}考^{かんが}えに^{ちか}できるだけ^{えら}近い^{ちか}もの^{えら}を選^{えら}ぶようにしてください。

問23 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～gそれぞれについて、1～3のあてはまる番号1つに○をつけてください)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の 自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・ 自立支援センター ※5	f 低所得 の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う 生活福祉資金(貸付金) ※7
現在利用している	1	1	1	1	1	1	1
現在利用していないが、 以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3	3	3
制度の対象外 (収入などの条件を 満たさない) だと思う から	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に 利用したいと思わなか ったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今まで この支援制度を知ら なかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続が わからなかったり、 利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

(参考)

※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。
- ※ 6 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。
- ※ 7 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24 前年（2022年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

新型ウイルスの感染状況についておたずねします。

問25 この1年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。
（例：母 1回、長男 1回 ⇒ 2回とお答えください。）

	かい 回

問26 あなたの住居環境についておたずねします。

（1）あなたが住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに
○をつけてください）

1. ワンルーム	3. 居室2部屋（2K、2DK、2LDK）
2. 居室1部屋（1K、1DK、1LDK）	4. 居室3部屋（3K、3DK、3LDK）以上

（2）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

	にん 人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

■池田市

<子どもと家庭に関する各種相談>

池田市子ども・健康部子育て支援課

TEL：072-754-6401、8:45～17:15（土日祝、年末年始を除く）

<ひとり親家庭の各種相談>

池田市子ども・健康部子育て支援課

TEL：072-754-6525、8:45～17:15（土日祝、年末年始を除く）

<子どもの心身の発達や教育上の諸問題について>

池田市教育委員会教育部 教育センター

TEL：072-751-4971、8:45～17:15（土日祝、年末年始を除く）

<子どもの発達や障がいに関する相談>

池田市子ども・健康部発達支援課

TEL：072-754-6102、8:45～17:15（土日祝、年末年始を除く）

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

[二次元バーコード]



- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src/2700081>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ ID

※ IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

池田市子どもの生活に関する実態調査

令和6年3月

池田市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学